P-09A

ISSUE DATE: '09.6

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

docomo SMART series

ドコモ W-CDMA・GSM/GPRS方式

このたびは、「docomo SMART series P-09A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

P-09Aは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。
  しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様はSSL/TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL/TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、
  グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、
  セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。

本書のご使用にあたって

本FOMA端末は、きせかえツール（P.105）に対応しております。
きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（メニュー番号）が適用されないものがあります。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
（http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html）
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書ではFOMA端末を正しく簡単にお使いいただくために、操作のしかたをイラストやマークを交えて説明しています。

- 本書の手順や画面は、主に本体色「GOLD」のお買い上げ時の設定（P.448参照）で記載しています。ただし、下記の設定を変更しています。
  - ･「画面表示設定」→「待受画面」：OFF
  - ･「画面表示設定」→「時計」→「待受時計」→「表示位置」：パターン1
  - ･「カラーテーマ設定」：ホワイト
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しております。
- 本書では、「P-09A」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作説明では、ボタンを押す操作を簡略なボタンイラストで表現しています。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについてはP.344参照。

知りたい機能の探しかた

次のような検索方法で、機能やサービスの説明ページを探せます。

索引から

機能名･サービスがわかっている場合はここから探します。

かんたん検索から

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。

表紙インデックスから

表紙のインデックスを利用して探します。

詳しくは次ページで説明しています。

目次から

機能ごとに分類された目次から探します。

主な機能から

主な機能をご利用になりたい場合はここから探します。

機能一覧から

機能一覧表を利用して探します。

クイックマニュアルから ►►P.534

基本的な機能について簡潔に説明しています。外出の際に切り離してお持ちいただけます。また、クイックマニュアル「海外利用編」も記載しておりますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。

「アラーム」を検索する方法を例にして説明します。

注：上記ページはサンプルです。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

ワンセグを使いこなしたい

こんなこともできます

- よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しております。（P.534参照）

目次

P-09Aの主な機能

◆ｉコンシェル　►►P.210

ｉコンシェルとは、待受画面上のキャラクター(マチキャラ)が役立つ情報(インフォメーション)を教えてくれたり、サイトからスケジュール(ｉスケジュール)をダウンロードすることにより便利にご利用いただけるサービスです。
ダウンロードしたｉスケジュールやトルカは自動で最新の情報に更新されたり、電話帳にはお店や会社の住所情報などが自動で追加されます。

◆ｉアプリコール　►►P.287

ｉアプリコールとは対戦ゲームにおいて相手のアプリを起動させるなど、第三者またはコンテンツプロバイダから対応する所定のアプリに対して起動を促すよう通知することができる便利な機能です。

◆国際ローミング　►►P.278、P.432

日本国内でお使いのFOMA端末･電話番号･メールアドレスが海外でもそのまま使えます(3G･GSMエリアに対応)。
また、日本語で話しかければ英語や中国語に、英語や中国語で話しかければ日本語に翻訳する「日英版／日中版　しゃべって翻訳 for P」をプリインストールしています。

◆ｉウィジェット　►►P.290

ｉウィジェットとは電卓･時計やテレビ番組表、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール(ウィジェットアプリ)に簡単にアクセスすることが可能となる便利な機能です。
ｉウィジェット画面を立ち上げるだけで、欲しい最新の情報を一目で確認することが可能です。

◆ｉモード　►►P.178

操作性が向上し、より便利にホームページから情報をご利用いただけるようになったほか、Flash® VideoやWindows Media® Videoにも対応し、さらに多彩な動画コンテンツをお楽しみいただけます。

◆ワンセグ　►►P.230

モバイル向け地上デジタル放送の「ワンセグ」を視聴できます。光センサーで周囲の明るさに合わせてバックライトを自動調整したり、液晶AIにより明るさに合わせて画質を補正することもできます。

◆Bluetooth機能　►►P.395

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続し、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

◆大画面液晶

約3.0inchのフルワイドVGA(480ドット×854ドット)ディスプレイに静止画や動画を表示でき、ワンセグの番組も迫力ある大画面で楽しめます。

◆Feel＊Mail　►►P.164

45種類のキャラクタの動きとイルミネーションによってメールの雰囲気を再現します。メールの内容に応じて楽しいアニメーションやイルミネーションが表示されます。

◆プライベートメニュー ▶▶P.385
ビジネスシーンを想定して、利用頻度が高い機能をそろえました。

◆ナチュラルトーク ▶▶P.60
受話音声を補正して、目の前の人と話しているような自然な音声にします。

◆ワンプッシュオープン ▶▶P.42

■オープン設定 ▶▶P.64
着信があった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで電話に出ることができます。

■オープン新着表示 ▶▶P.102
不在着信や新着メールがあった場合、ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くだけで不在着信履歴詳細画面や受信メール一覧画面を表示できます。

◆ビューブラインド ▶▶P.104
斜めの角度からディスプレイを見えにくくできます。周囲の視線を気にせずにFOMA端末を利用できます。

◆カメラ ▶▶P.214
約320万画素の高精細カメラで静止画や動画を撮影できます。

◆ボイスレコーダー ▶▶P.363
音声をメモ代わりに録音できます。打ち合わせ中などに録音すると、何度も再生できて便利です。

◆着もじ ▶▶P.54
◆テレビ電話 ▶▶P.48
◆ｉモードメール／デコメール®／デコメ®絵文字 ▶▶P.130、P.133、P.316
◆ｉアプリ／メガｉアプリ ▶▶P.270
◆高速通信対応 ▶▶P.442
◆着うたフル®／うた・ホーダイ／Music&Videoチャネル ▶▶P.250、P.256、P.258
●「着うたフル」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
◆ミュージックプレーヤー ▶▶P.258
◆GPS ▶▶P.306
◆おサイフケータイ／トルカ ▶▶P.294、P.296
◆きせかえツール ▶▶P.105、P.343
◆各種ネットワークサービス ▶▶P.413
◆あんしん設定 ▶▶P.111

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードの取り扱いについて〈共通〉

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。

また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

つづく

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

禁止

人の近くや顔を近づけて、ワンプッシュオープンでFOMA端末を開かないでください。
本人や他の人に当たり、けがの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	素材	表面処理
ワンプッシュオープンボタンの金属部分	アルミニウム	アルマイト処理
充電端子	銅合金	ニッケルメッキ下地に金メッキ仕上げ
リアカバー	ステンレス	焼き付け塗装
上筐体	ABS	錫蒸着、ハードコート

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

つづく

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破壊、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

アダプタの取り扱いについて

警告

禁止

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタおよび卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタおよび卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指 示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V
（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指 示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指 示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指 示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指 示

アダプタをコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタのコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

注意

指 示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指 示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指 示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

つづく

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、アダプタ、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものがつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■FOMA端末、アダプタ、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバー、microSDカード差し込み口カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
■ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。
■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
■電池パックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。
･満充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
･電池残量なしの状態(本体の電源が入らない程消費している状態)での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
長期保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本または3本の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
■次のような場所では、充電しないでください。
･湿気、ほこり、振動の多い場所
･一般の電話機やテレビ･ラジオなどの近く
■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
■使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
■他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
■お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
■お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
■極端な高温･低温は避けてください。
■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
■FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

つづく

■FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

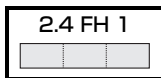
Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4 FH 1

2.4　:2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH　:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
1　:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
▭▭▭　:2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCa リーダー／ライターについてのお願い

■FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

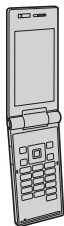
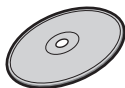
■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

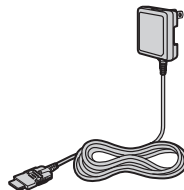
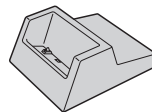
■Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

■FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。

FOMA端末の FeliCa リーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

本体付属品および主なオプション品

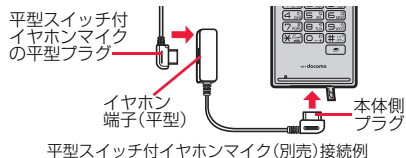
<本体付属品>	
●P-09A本体 （保証書、リアカバー P37）	●P-09A用CD-ROM PDF版「パソコン接続マニュアル」 PDF版「区点コード一覧」を収録しています。
●取扱説明書（本書） クイックマニュアル添付（P.534参照）	●電池パック P19

<主なオプション品>

●FOMA ACアダプタ 01/02
（保証書、取扱説明書付き）

●卓上ホルダ P34
（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.482

ご使用前の確認

各部の名称と機能

■イヤホンのご利用について
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。
- 変換アダプタを抜き差しするときは、本体側プラグを持ってまっすぐに抜き差ししてください。また、抜くときは、外部接続端子カバーと本体側プラグを一緒に持たないようにご注意ください。
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01（別売）は3極のミニプラグのみ接続することができます。詳しくは外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01の取扱説明書をご覧ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

❶光センサー
・明るさを感知する(P.103参照)
●光センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを検知できないことがあります。

❷受話口
・相手の声をここから聞く

❸ディスプレイ(表示部)
(P.26参照)

❹メールボタン

❺メニューボタン

❻クリアボタン/iウィジェットボタン
・操作を1つ前の状態に戻す
・入力した文字や電話番号を消す

❼開始ボタン/ハンズフリーボタン
・電話をかける/受ける(P.48、P.62参照)
・ハンズフリーで通話する(P.61参照)

❽送話口
・自分の声をここから相手に送る

❾赤外線ポート
・赤外線通信や赤外線リモコンに使用
(P.358、P.362参照)

❿コマンドナビゲーションボタン
・機能操作やメニュー操作を行う(P.24参照)

⓫iモードボタン/iアプリボタン

⓬カメラボタン/ワンセグボタン

⓭電源/終了ボタン
・通話を終了する
・各機能を終了する
・電源を入れる(1秒以上)/切る(2秒以上)
(P.43参照)

⓮ダイヤルボタン
・電話番号や文字を入力

⓯マルチボタン

⓰外部接続端子
・ACアダプタ(別売)、DCアダプタ(別売)、FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)、ステレオイヤホンマイク 01(別売)などを接続
●充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子です。

⓱着信/充電ランプ
・電話の着信時/通話中/メールの受信時などに点滅(P.106参照)
・充電中に赤色に点灯
・カメラ撮影時に点灯/点滅
●ご使用のFOMA端末によっては、イルミネーションの見えかたや色味が異なる場合があります。

⓲プライベートウィンドウ
(P.31参照)

⓳FOMAアンテナ/ワンセグアンテナ
●アンテナは本体に内蔵されています。より良い条件で通話/受信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⓴スピーカー
・着信音が鳴る
・ハンズフリー設定中に相手の声をここから聞く
(P.61参照)

㉑マーク
・ICカードを搭載
●このマークを読み取り機にかざしてICカード機能をご利用ください。なお、ICカードは取り外しできません。(P.295参照)

㉒カメラ
・人や風景を撮影(P.214参照)
・テレビ電話時に人や風景を映す

㉓microSDカード差し込み口
・microSDカードをここに差し込む
(P.344参照)

㉔リアカバー
・電池パック、FOMAカードの付け外しをするときに取り外す(P.37、P.39参照)

㉕充電端子

㉖ストラップ取り付け穴

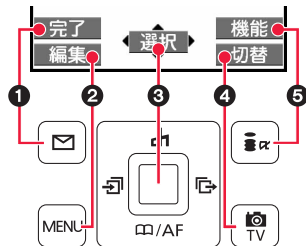
㉗サイド▲ボタン
・ページ単位で上にスクロールする

㉘サイド▼ボタン
・ページ単位で下にスクロールする
・不在着信や新着メールを確認(P.108参照)
<閉じた状態で1秒以上押すと>
・マナーモードの設定/解除(P.96参照)

㉙ワンプッシュオープンボタン
(P.42参照)

ナビゲーション表示とボタン操作

ディスプレイに表示されている内容を実行したいときは、以下のように表示に対応するボタンを押します。

■主な表示例とボタン割り当て

❶	ボタンで行う操作を表示	完了
❷	ボタンで行う操作を表示	編集　登録
❸	ボタンで行う操作を表示	選択　確定
	ボタンで行うスクロールや項目の選択が可能な方向を表示	
❹	ボタンで行う操作を表示	切替　詳細
❺	ボタンで行う操作を表示	機能　設定

■コマンドナビゲーションボタンの操作

待受画面での主なボタン操作

待受画面で各ボタンを操作すると以下のような動作になります。

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
	待受画面のアイコンなどの選択画面を表示（P.30、P.68、P.99参照）	ボタンロックの設定／解除（P.119参照）
	チャネル一覧画面を表示（P.209参照）	－
	電話帳検索画面を表示（P.83参照）	電話帳の登録画面を表示（P.78参照）
	着信履歴一覧画面を表示（P.52参照）	受信アドレス一覧画面を表示（P.158参照）
	リダイヤル一覧画面を表示（P.52参照）	送信アドレス一覧画面を表示（P.158参照）
	メールメニューを表示（P.149参照）	ｉモード問い合わせを実行（P.144参照）
iα	ｉMenuを表示（P.178参照） ｉモードメニューを表示（P.178参照）	ソフト一覧画面を表示（P.271参照）
MENU	メインメニューを表示（P.32参照）	ICカードロックの設定／解除（P.296参照）
TV	フォトモードでカメラを起動（P.217参照）	ワンセグを起動（P.233参照）
	電話をかける（P.48参照）	ボイスダイヤルの呼び出し（P.89参照）
	待受画面のアイコンなどを表示／非表示（P.100参照）	電源を切る（2秒以上押す）（P.43参照）
CLR	ｉウィジェットを起動（P.291参照）	メインメニューをリセット（P.105参照）

ボタン操作	短く押す	1秒以上押す
0	「0」を入力	「+」を入力
1	「1」を入力	現在地を測位してGPS機能を実行（P.306参照）
2	「2」を入力	
3	「3」を入力	
4	「4」を入力	シークレットモードの設定／解除（P.120参照）
5	「5」を入力	バックライトのON／OFF（P.103参照）
6	「6」を入力	パーソナルデータロックの設定／解除（P.117参照）
7	「7」を入力	
8	「8」を入力	ビューブラインドのON／OFF（P.104参照）
9	「9」を入力	
*	「*」を入力	公共モード（ドライブモード）の設定／解除（P.67参照）
#	「#」を入力	マナーモードの設定／解除（P.96参照）
	マルチタスクメニューを表示（P.374参照）	マルチボタン長押し登録で登録した機能を起動（P.386参照） メニュー機能の切り替え（P.374参照）
▲	ｉアプリ待受画面と通常のｉアプリを切り替え（P.289参照）	2in1をONに設定（P.424参照）
▼	伝言メモ、音声メモを再生（P.70参照）	テレビ電話伝言メモ、動画メモを再生（P.70参照）

ディスプレイの見かた

<プライベートウィンドウ>

No.	アイコン	説明
❶		電池残量(目安)(P.42参照)
❷		電波の受信レベル(目安) 強 ←→ 弱
		FOMAサービスエリア外や電波の届いていないところにいるとき
	self	セルフモード中(P.116参照)
❸		ｉモード中(P.178参照)
		ｉモード通信中(P.178参照)
		パケット通信中(通信状態によって表示は異なります。)
		ネットワークサーチ設定を「マニュアル」に設定中に圏外になったとき(P.437参照)
❹	SSL	SSL/TLS通信中(P.179参照)
❺	(ピンク)	未読ｉモードメール･SMSあり(P.142、P.175参照)
	(紺色)	FOMA端末内のｉモードメール･SMSが一杯(P.142、P.175参照)
		FOMAカード内のSMSが一杯
	(ピンク)	未読メールがあり、FOMAカード内のSMSが一杯
	(紺色)	FOMA端末内･FOMAカード内の両方が一杯
		エリアメールあり(P.168参照)

No.	アイコン	説明
❻	R F(黄色)	未読メッセージR/Fあり(P.165参照)
	R F(紺色)	FOMA端末内のメッセージR/Fが一杯(P.165参照)
❼	(ピンク)	ｉモードセンターにｉモードメールあり(P.144参照)
	(紺色)	ｉモードセンターのｉモードメールが一杯(P.142参照)
	R F(黄色)	ｉモードセンターにメッセージR/Fあり(P.165参照)
	R F(紺色)	ｉモードセンターのメッセージR/Fが一杯(P.165参照)
		メール選択受信設定を「ON」に設定中にｉモードセンターにｉモードメールあり(P.143参照)
❽		ｉコンシェルの新着インフォメーションあり(P.211参照)
❾		未返信のｉアプリコールあり(P.287参照)
❿		音声電話中
		テレビ電話中
		64Kデータ通信中

No.	アイコン	説明
⓫		現在地測位中(P.306参照)
	GPS	位置提供設定を「ON」または「電話帳登録外拒否」に設定中で許可期間内(P.312参照)
	GPS	位置提供設定を「ON」または「電話帳登録外拒否」に設定中で許可期間外(P.312参照)
⓬	SD	microSDカードを装着中(P.345参照)
		microSDカードのデータを読み込み／書き込み中
	SD	ライトプロテクトがかかったmicroSDカードを装着中(P.345参照)
	SD	装着しているmicroSDカードが使用不可(P.345参照)
		microSDカードを装着し、microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中(P.353参照)
	MTP	microSDカードを装着し、MTPモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中(P.353参照)
⓭	(青色)	Bluetooth機器との接続中など(P.397、P.399参照)
	(黒色)	Bluetooth機器との接続が低消費電力状態(P.397参照)

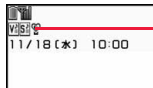
番号	アイコン	内容
⓮		オールロック中(P.114参照)
		パーソナルデータロック中(P.117参照)
		ダイヤル発信制限中(P.119参照)
		シークレットモード、シークレット専用モード中(P.120参照)
		ICカードロック中(P.296参照)
		ダイヤル発信制限中・パーソナルデータロック中
		ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
		ICカードロック中・オールロック中
		ICカードロック中・パーソナルデータロック中
		ICカードロック中・ダイヤル発信制限中
		ICカードロック中・シークレットモード、シークレット専用モード中
		ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・パーソナルデータロック中
		ICカードロック中・ダイヤル発信制限中・シークレットモード、シークレット専用モード中
⓯	3G 3G GSM GPRS	利用中のネットワークの種類(P.433参照)
	OFFICEED	OFFICEEDエリア内にいるとき(P.429参照)
⓰		閉じタイマーロック設定中(P.118参照)
		ボタンロック中(P.119参照)
⓱		マルチタスク中(P.373参照)
		複数の機能が起動中(P.373参照)
		ワンセグ視聴中(P.233参照)
		ワンセグ録画中(P.240参照)
		ワンセグ予約録画中(P.244参照)
		ワンセグ録画一時停止中(P.240参照)
		ミュージック再生中(P.259参照)
		ミュージック一時停止中(P.259参照)
⓲		赤外線通信中(P.358、P.362参照)
⓳		通信モードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中
		microSDモードでFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)接続中(P.353参照)
		USBハンズフリー対応機器で通話・通信中(P.61参照)
		USBハンズフリー対応機器接続中(P.61参照)
		microSDモードでUSBハンズフリー対応機器接続中(P.61参照)
⓴		バイブレータを「OFF」以外に設定中(P.94参照)
㉑		着信音量を「消去」に設定中またはメール/メッセージ鳴動を「OFF」に設定中(P.65、P.95参照)
㉒		マナーモード中(P.96参照)
㉓		公共モード(ドライブモード)中(P.67参照)
㉔		通話料金が設定した上限値を超過(P.390参照)
㉕		アラーム設定中(P.244、P.377参照)
㉖		Music&Videoチャネル番組予約中(P.250参照)
㉗		バックライトを「OFF」に設定中(P.102参照)
		ビューブラインドを「ON」に設定中(P.104参照)
		バックライトを「OFF」に設定中・ビューブラインドを「ON」に設定中
㉘		サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中(P.119参照)
㉙		USBモード設定を「microSDモード」に設定中(P.353参照)
	MTP	USBモード設定を「MTPモード」に設定中(P.353参照)
㉚	B1～B5・B+	2in1のモードがデュアルモードの場合で、Bナンバーへ留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.428参照)
㉛	1～5・+	留守番電話サービスの伝言メッセージあり(P.414参照)
㉜	0～5	伝言メモの録音件数(P.68参照)
㉝	0～2	テレビ電話伝言メモの録画件数(P.68参照)

- ⓲⓳のアイコンが表示されているときは、画面右上の時計は表示されません。

お知らせ

- ディスプレイやプライベートウィンドウに表示する文字や記号は、一部変形もしくは省略しているものがあります。また、プライベートウィンドウはモノクロで表示されます。
- カラー液晶ディスプレイの製造には精度の高い技術が要求されます。ちょっとした環境の変化などで点灯しなかったり、常時点灯したりする画素ができますが、これはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。

<デスクトップ>

デスクトップのアイコンを利用する

■状態表示アイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
	バイブレータの画面を表示(P.94参照)
	着信音量の画面を表示(P.65参照)
	マナーモード選択の画面を表示(P.98参照)
	公共モード(ドライブモード)の解除画面を表示(P.67参照)
	通話料金通知の画面を表示(P.390参照)
	アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約、録画予約の一覧画面を表示(P.241、P.242、P.376、P.380、P.384参照)
	Music&Videoチャネル画面を表示(P.250参照)
	照明設定の画面を表示(P.102参照)
	ビューブラインドの画面を表示(P.104参照)
	「設定／サービス」→「ディスプレイ」の画面を表示
SIDE On	サイドボタン操作の画面を表示(P.119参照)
MTP	USBモード設定の画面を表示(P.353参照)
1～5・+	留守番メッセージ再生の画面を表示(P.415参照)
1～5・+	留守番メッセージ再生の画面を表示(P.415参照)
0～5	伝言メモ／音声メモの画面を表示(P.68、P.70、P.94、P.388参照)
0～2	伝言メモ／音声メモの画面を表示(P.68、P.70、P.94、P.388参照)

■お知らせアイコンを選択したときの動作

アイコン	動作
不在 1	**不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示(P.52参照)
不在 1	**2in1のBナンバーの不在着信あり** 不在着信の着信履歴一覧画面を表示(P.52参照)
伝言	**伝言メモあり** メモ一覧画面を表示(P.70参照)
伝言	**テレビ電話伝言メモあり** テレビ電話メモ一覧画面を表示(P.70参照)
メール 1	**新着ｉモードメール･SMSあり** 受信メール一覧画面を表示(P.147参照)
チャット 1	**新着チャットメールあり** チャットメールを起動(P.172参照)
R メッセージR 1 F メッセージF 1	**新着メッセージR/Fあり** メッセージR/F一覧画面を表示(P.166参照)
ソフト	**ｉアプリの自動起動ができなかったとき** ｉアプリの自動起動情報を表示(P.287参照)
iアプリコール	**未返信のｉアプリコールあり** ｉアプリコール履歴を表示(P.288参照)
トルカ	**読み取り機からトルカを取得** トルカ一覧画面を表示(P.300参照)
エラー	**ｉアプリ待受画面でセキュリティエラーが発生** セキュリティエラー履歴を表示(P.273参照)
更新	**Music&Videoチャネルのダウンロードが成功** Music&Videoチャネルを起動(P.250参照)
失敗	**Music&Videoチャネルのダウンロードが失敗** Music&Videoチャネルを起動(P.251参照)
アラーム	**未通知アラームあり** 通知できなかったアラームの内容を表示(P.378参照)
アラーム	**未視聴予約あり** 通知できなかった視聴予約の内容を表示(P.245参照)

録画	**予約録画が完了したとき** 録画予約の内容と結果を表示(P.245参照)
留守	**留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり** 留守番メッセージ再生の画面を表示(P.415参照)
更新	**電話帳お預かりサービスの更新ができなかったとき** 電話帳お預かりサービスの更新画面を表示(P.124参照)
応答	**自動で位置提供したとき** 位置履歴を表示(P.310参照)
失敗	**自動で位置提供できなかったとき** 位置履歴を表示(P.310参照)
不応答	**位置提供の要求に応えなかったとき** 位置履歴を表示(P.310参照)
更新	**ソフトウェア更新が必要になったとき** ソフトウェア更新を起動(P.499参照)
	ソフトウェア更新を行ったとき 更新完了画面または完了しなかった理由を表示(P.500参照)
自動更新	**ソフトウェアの書き換えが可能になったとき** 書き換えの確認画面を表示(P.498参照)
更新	**パターンデータの自動更新を行ったとき** 更新結果を表示(P.503参照)
USB	**FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続** USBモード設定の画面を表示(P.353参照)

■貼り付けアイコンを選択したときの動作

	電話番号が入力された状態でダイヤル発信の画面を表示(P.48参照)
	サイトを表示(P.178参照)
	フルブラウザでサイトを表示(P.180参照)
	宛先が入力された状態でメール作成画面を表示(P.130参照)
	宛先が入力された状態でSMS作成画面を表示(P.174参照)
	ｉアプリを起動※(P.271参照)
	ピクチャビューアで表示※(P.318参照)
	ｉモーションプレーヤーで再生※(P.326参照)
	ビデオプレーヤーで再生※(P.334参照)
	キャラ電プレーヤーで再生※(P.337参照)
	メロディプレーヤーで再生※(P.340参照)
	PDF対応ビューアで表示※(P.364参照)
	トルカビューアで表示※(P.298参照)
	Bookmarkフォルダ一覧画面を表示(P.188参照)
	プライベートメニューを表示(P.385参照)
	カメラの保存先に設定されているフォルダの静止画一覧画面を表示(P.318参照)
	アラームの一覧画面を表示(P.376参照)
	カレンダー画面を表示(P.380参照)
	ToDoの一覧画面を表示(P.384参照)
	テキストメモの一覧画面を表示(P.390参照)
	電卓を表示(P.390参照)
	使いかたナビの画面を表示(P.36参照)
	バーコードリーダーの画面を表示(P.226参照)
	赤外線受信の画面を表示(P.360、P.361参照)
	カメラメニューを表示(P.217、P.219参照)
	Bluetooth機能の選択画面を表示(P.397、P.399、P.401参照)
	ボイスレコーダーを起動(P.363参照)
	ｉコンシェル画面を表示(P.211参照)
	Music&Videoチャネル画面を表示(P.252参照)
	ミュージックプレーヤーを起動(P.258参照)
	視聴画面を表示(P.233参照)
	番組表ｉアプリを起動(P.238参照)

※登録元のデータが削除された場合は、貼り付けアイコンは無効になります。

デスクトップにアイコンを貼り付ける

電話番号やメールアドレスなどを「貼り付けアイコン」として合計15件まで貼り付けることができます。

1 貼り付けたい項目の機能メニューから「デスクトップ貼付」を選択▶YES

- メール詳細画面の機能メニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、貼り付けたいメールアドレスや電話番号を選択します。

お知らせ

- サイトによっては、URLをデスクトップ貼付できないことがあります。
- URLのタイトルが全角16文字/半角32文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが半角22文字まで表示されます。
- ファイルやデータによってはデスクトップ貼付できない場合があります。

デスクトップのアイコンからそれぞれの機能に進む

1 ●を押す

2 ◎でアイコンを選んで●(選択)を押す

伝言メモのアイコンを選択した場合

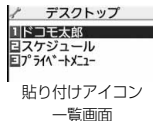
- 「貼り付けアイコン」は5件まで表示されます。6件以上ある場合は「◀」「▶」が表示されます。
- 「お知らせアイコン」はそれぞれの機能を実行すると削除されます。すべての「お知らせアイコン」を削除するには、手順1の画面でCLRを1秒以上押します。

お知らせ

- 海外で「留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり」のお知らせアイコン(留守)が表示された場合、お知らせアイコンからの操作では留守番電話機能を使用できません。P.440「滞在先で留守番電話サービスの操作をする」の手順に従って操作してください。

貼り付けアイコンの詳細を確認する MENU 6 3

1 MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶デスクトップ

デスクトップに貼り付けられている貼り付けアイコンの一覧が表示されます。

貼り付けアイコン一覧画面

2 詳細を表示するアイコンを選択

貼り付けアイコン一覧画面の機能メニュー

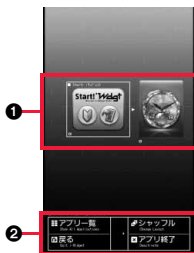
- 待受画面でアイコンを選んでiα(機能)を押しても機能メニューが表示されます。

デスクトップ追加	▶追加したい機能にチェック▶✉(完了)
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。ただし、アイコンを選んだときに表示されるタイトルは、入力したタイトルの先頭から全角11文字/半角22文字までです。
並び替え	▶貼り付けアイコンを選択▶◎で順番を変更▶●(選択) ●続けて変更する場合は、上記の操作を繰り返します。 ▶✉(完了)▶YES
ボタン長押し登録	P.386参照

デスクトップ初期化	貼り付けアイコンをお買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

iウィジェットの表示と操作

iウィジェット画面では、複数のウィジェットアプリを同時に起動して一覧で表示できます。

❶ウィジェットアプリ
ウィジェットアプリを表示します。
ウィジェットアプリを選択するとウィジェットアプリ操作画面が表示されます。
❷ナビゲーション表示
ボタン操作に対応したナビゲーションを表示します。
- iウィジェット画面で(シャッフル)を押すと、ウィジェットアプリの表示順をランダムに入れ替えることができます。
- iウィジェットの詳しい操作についてはP.291参照。

iウィジェット画面

<表示アイコン説明> MENU 3 6

アイコンの説明を表示する

画面に表示されるマーク(など)をアイコンといいます。アイコンの意味は画面上で確認できます。

1 MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶表示アイコン説明▶でアイコンを選ぶ

プライベートウィンドウ

プライベートウィンドウには、さまざまな情報が以下の例のように表示されます。
FOMA端末を閉じた状態で▲▼を押したときなどに情報が約15秒間表示されます。

時計

発信中

着信中

音声通話中

不在着信があったときは

FOMA端末を閉じているときは「着信あり」が表示されます。
▲を押すと不在着信履歴が表示されます。電話帳に登録している相手からの不在着信の場合、名前が表示されます。
複数の不在着信があった場合、▲を押すたびに3件までの不在着信履歴が表示されます。
- 不在着信があったあとに、通常の着信を30件以上受けた場合は、不在着信履歴は表示されません。
- 他の機能が起動中は、不在着信履歴が表示されないことがあります。
- 不在着信履歴を表示すると「着信あり」は消えます。

新着メール、新着メッセージR/Fがあったときは

FOMA端末を閉じているときはFeel＊Mail画像が再生され、「メールあり」が表示されます。
▲を押すと最新のFeel＊Mail画像が再生されます。(メッセージR/FではFeel＊Mail画像は再生されません。)
P.102「メール表示」を「ON」に設定している場合は、メールの受信日時、送信元、題名や、メッセージR/Fの受信日時、題名が表示されます。電話帳に登録している相手からメールを受信した場合、送信元の名前が表示されます。複数のメール、メッセージR/Fを受信していると、「メールあり」が表示された状態で▲を押すごとに3件までのメール、メッセージR/Fが表示されます。

- Feel＊Mail画像再生や受信日時などの表示は、▲を押すと終了します。
- セキュリティが設定されているBOX･フォルダへのメール、メッセージR/Fは、Feel＊Mail画像の再生や受信日時などの表示は行われません。
- 「受信表示設定」を「操作優先」に設定していて、待受画面以外を表示中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」の設定によっては、メッセージR/Fを受信したときに、情報は表示されずに「メールあり」が表示されます。
- 受信したメール、メッセージR/Fの受信日時などを表示すると「メールあり」は消えます。
- 音声電話中やテレビ電話中にメール、メッセージR/Fを受信したときは、「受信表示設定」を「通知優先」に設定していても情報は表示されません。
- 「シークレットメール表示設定」を「表示しない」に設定している場合、通常モードでシークレットメールを受信するとFeel＊Mail画像は再生されません。

ｉチャネルを受信したときは

あすの天気：東京

P.102「ｉチャネルテロップ表示」が「ON」の場合、FOMA端末を閉じているときは、プライベートウィンドウにテロップが再生されます。

- ▲▼を押すと、テロップ再生は終了します。

時計の表示を変更する

時計を表示しているときに▲を押すと、表示内容を変更できます。

時刻のみ

アイコンと日付／時刻

メニューの選択方法

FOMA端末ではMENUを押してメインメニューを表示し、各種機能を実行、設定、確認します。本書では、メインメニューから機能を呼び出す方法を基準に説明しています。

メニューは機能ごとに分類されています。(P.448参照)

- MENUを押す以外の操作でも機能を選択できるものがあります。このような場合は、簡単に選択できる方法で記載しています。
- 本FOMA端末は、きせかえツール(P.105参照)に対応しております。きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(メニュー番号)が適用されないものがあります。

■スクロール選択

メインメニューは、機能をイメージした12個の大項目アイコンで構成されています。

- 大項目アイコンを選択すると中項目の選択画面、さらに選択すると小項目の選択画面が表示されます。
- 選択を繰り返して設定、確認を行います。

■メニュー番号選択

機能によっては、MENU＋メニュー番号(P.448参照)を押すと表示されます。

■マルチタスクに対応

- メインメニューの中には、同時に使用することができる機能もあります。(P.373参照)

スクロール選択

本書では、コマンドナビゲーションボタンの操作(上下左右の選択と機能項目を選択、入力したあとの●)を省略して記載しています。ここでは、以下の記載例に基づき、「通話品質アラーム」の機能を選択する方法を例にしてスクロール選択を説明します。

手順の記載例

大項目のアイコン　中項目　小項目の機能名称

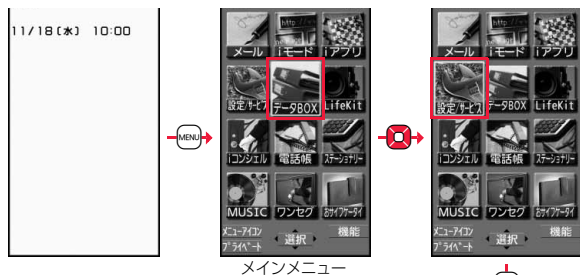
1 MENU▶**設定／サービス**▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし. . . お知らせしません。
アラーム高音. . . 高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音. . . 低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

画面に表示される項目

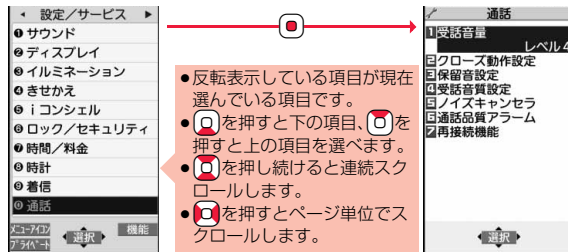
ステップ1 メニュー機能の大項目アイコンを選択します

メインメニューから「設定／サービス」を選択します。お買い上げ時のメインメニューは本体色によって異なります。(P.453参照)

メインメニュー

- を押してアイコンを選択します。を押し続けると連続スクロールします。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

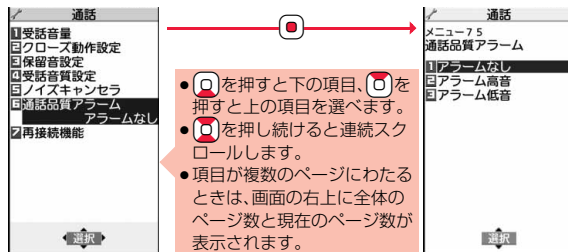
ステップ2 メニュー機能の中項目を選択します

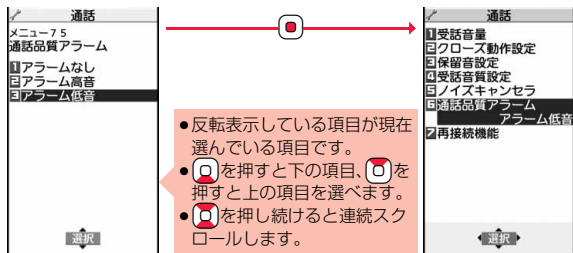
「設定／サービス」から「通話」を選択します。

- 反転表示している項目が現在選んでいる項目です。
- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- を押すとページ単位でスクロールします。

ステップ3 目的の小項目(機能)を選択します

「通話」から「通話品質アラーム」を選択します。

- を押すと下の項目、を押すと上の項目を選べます。
- を押し続けると連続スクロールします。
- 項目が複数のページにわたるときは、画面の右上に全体のページ数と現在のページ数が表示されます。

つづく

ステップ 4 機能の設定や確認をします

機能項目によっては、さらに詳細項目を選択する場合があります。
操作の例では「通話品質アラーム」を「アラーム低音」に設定します。

メニュー番号選択

ここでは以下の記載例に基づいてメニュー番号選択を説明します。

メニュー番号の記載例

メニュー番号

<通話品質アラーム> MENU 7 5

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

ステップ 1 メニュー番号で機能を呼び出します

待受画面でMENU 7 5を押します。

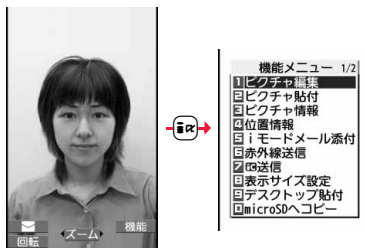
シンプルメニュー

シンプルメニューとは、基本機能に絞って使いやすくしたメニューです。「メニューアイコン設定」を「シンプルメニュー」に設定し、待受画面でMENUを押すと、シンプルメニューが表示されます。

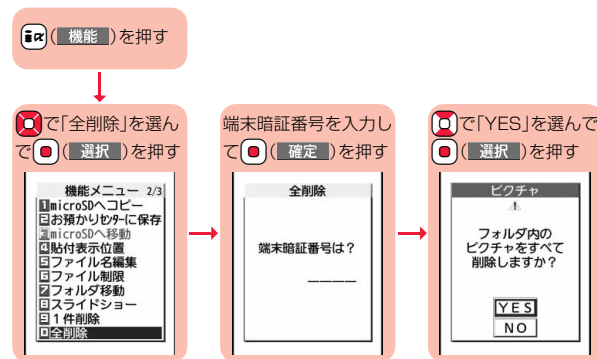
- シンプルメニューでの操作手順や画面に表示される項目は、本書に記載しているものとは一部異なります。
- シンプルメニューの内容については、P.468「シンプルメニュー機能一覧表」を参照してください。

機能メニュー

画面の右下に「機能」が表示されているときに[iα]を押すと、それぞれの操作において、登録や編集、削除など操作可能な項目を含んだ機能メニューが表示されます。機能メニューを表示させたときの画面によって、機能メニューの内容は異なります。

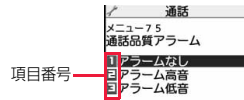
- 項目が複数のページにわたるときは、機能メニュー画面の右上に「現在のページ数／全体のページ数」が表示されます。

機能メニューの記載例

本書では、機能メニューの操作を以下のように記載しています。

実際の操作は以下のように行います。

素早く項目を選択するには<ダイレクト選択>

表示されている項目番号と同じダイヤルボタンを押します。

項目番号

通話
メニュー75
通話品質アラーム
1 アラームなし
2 アラーム高音
3 アラーム低音

項目のスクロールについて

メニュー項目などが複数のページにわたるときは、画面の一番上、下の項目から[○]を押すと前、次のページが表示できます。[○]を押すとページ単位でスクロールします。▲ページ／▼ページが画面に表示されているときは、[MENU]（▲ページ）／[📷]（▼ページ）を押してもページ単位でスクロールできます。

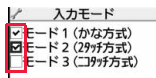
- メニューの小項目など、表示している画面によっては、[○]の代わりに[▲][▼]を押してもページ単位でスクロールできる場合があります。

チェックボックスについて

複数の項目を選択できる機能では、チェックボックスにチェックを付けて項目を選択します。

●(選択)を押すごとに「□」と「☑」が切り替わります。

機能によっては i α(機能)を押して「全選択/全選択解除」を選択したり、MENU(全選択/全解除)を押して、一括でチェックを付けたり外したりできる場合があります。

●機能によっては選択した項目に「☑」が表示されます。

操作を終えたあとは

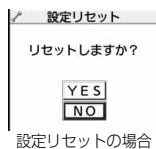
小項目の選択画面が表示されます。終話キーを押すと待受画面に戻ります(マルチタスク中を除く)。機能によっては自動的に待受画面や元の画面に戻るものもあります。

操作を途中でやめるには

終話キーを押します。設定中の内容が破棄されて待受画面や元の画面に戻ります。機能によっては設定中の内容を破棄するかしないかの確認画面が表示される場合があります。CLRを押すと操作を1つ前の状態に戻せます。

「YES/NO」を選択する画面では

設定リセットの場合

上下キーを押して「YES」または「NO」を選び、●(選択)を押します。

<使いかたナビ>

ボタン操作を忘れてしまったとき

知りたい機能、使いたい機能を探して操作方法を確認します。機能によっては「使いかたナビ」から実行できるものもあります。

1 MENU▶ステーショナリー▶使いかたナビ▶項目を選択

おすすめ機能……おすすめの機能を表示します。手順3へ進みます。

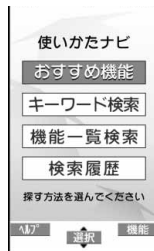
キーワード検索…キーワードを入力して検索します。手順2へ進みます。

機能一覧検索……機能の一覧から検索します。手順3へ進みます。

検索履歴………過去の検索履歴を30件まで表示します。手順3へ進みます。

●各項目を選んで✉(ヘルプ)を押すと詳しい操作方法が表示されます。

●お買い上げ時にデスクトップに貼り付けられている使いかたナビのアイコン「 」を選んで、使いかたナビの画面を表示させることもできます。

●「使いかたナビ」をマルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.386参照)

2 キーワードを入力

検索結果が50件まで表示されます。

●全角24文字/半角48文字まで入力できます。

3 機能を選択▶項目を選択

機能の説明………機能の説明を表示します。

操作のしかた……操作方法を表示します。

この機能を使う…機能を実行します。各機能の操作を行います。

●機能によっては●(選択)を数回押して選択します。

●機能を選んで✉(説明)を押しても機能の説明が表示されます。

●検索履歴を削除するには i α(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

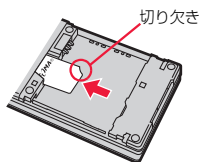
FOMAカードを使う

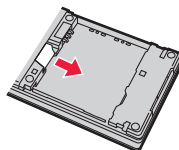
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳やSMSなどのデータも保存できます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。
FOMAカードを差し込まないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、iモード、メールの送受信、パケット通信などの通信を利用できません。
FOMAカードの詳しい取り扱いにつきましては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。
FOMAカードを付け外しする際には、ICに不用意に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

取り付けかた／取り外しかた

FOMAカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.39参照)

■取り付けかた

1 FOMAカードの金色のIC面を下にして、カードの表面を押しながら、ゆっくりと奥まで差し込む

■取り外しかた

1 FOMAカードをスライドさせながら、ゆっくりと引き抜く

お知らせ

- FOMAカードの付け外しは、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。
- FOMAカードを無理に付けようとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 外したFOMAカードはなくさないようご注意ください。
- FOMAカードを差し替えたとき(おまかせロック中は除く)は、電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力する必要があります。端末暗証番号が正しく入力されると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

暗証番号

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。(P.112参照)

FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカードセキュリティ機能(FOMAカード動作制限機能)が搭載されています。
FOMAカードを挿入した状態で、次のような方法でデータやファイルを取得すると、取得したデータやファイルには自動的にFOMAカードセキュリティ機能が設定されます。

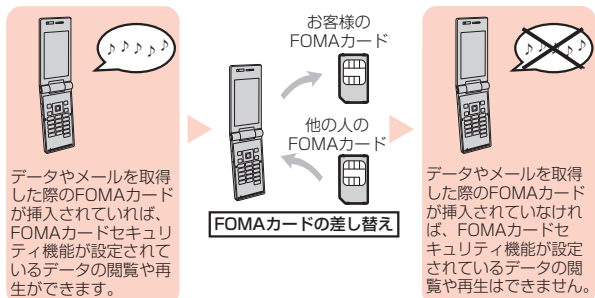
・サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどをダウンロードしたとき
・ファイルが添付されているiモードメールを受信したとき

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、閲覧／再生／起動／編集／メールへの添付／赤外線通信機能によるデータの送信などを実行できます。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入していなかったり、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作ができなくなります。

- このあとの説明では、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

つづく

データやメールを取得した際のFOMAカードが挿入されていれば、FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生ができます。

データやメールを取得した際のFOMAカードが挿入されていなければ、FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータの閲覧や再生はできません。

- FOMAカードを挿入していなかったり、他の人のFOMAカードを挿入すると次のようなデータやファイルでは、制限を示す「」が表示されます。
  - ･テレビ電話伝言メモ　･動画メモ　･画面メモ　･テンプレート
  - ･ｉアプリ　･画像　･ｉモーション　･キャラ電
  - ･マチキャラ　･メロディ　･きせかえツール　･PDFデータ
  - ･着うた®／着うたフル®　･ダウンロード辞書
  - ･受信BOX内のｉモードメールに添付されている、または貼り付けられているファイル
  - ･送信BOX／保存BOX内のｉモードメールに添付されているファイル（ただし、FOMA端末で撮影／編集したデータは除く）
  - ･ファイル（メロディ／画像）が添付されている、または貼り付けられているメッセージR/F
  - ･デコメール®本文中に挿入されている画像
  - ※あらかじめ登録されているｉアプリ／キャラ電／デコメ®絵文字などは、サイトから再びインストール（バージョンアップ）すると本機能の対象になります。
  - ※「着うた」は株式会社ソニー･ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータのプレビュー画像は右のように表示されます。

お知らせ

- FOMAカードセキュリティ機能が設定されると、他の人のFOMAカードに差し替えたときは、本機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定できません。
- FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルを「画面表示設定」や「着信音選択」などに設定した場合、FOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えるとお買い上げ時の設定で動作します。また、マチキャラは非表示になります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、お客様が設定した状態に戻ります。
- 赤外線通信機能やデータの送受信（OBEX™通信）機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影／編集した静止画／動画には、FOMAカードセキュリティ機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの移動／削除は可能です。
- 下記の機能は設定内容がFOMAカードに登録されます。
  - ･SMS有効期間設定　･SMS center設定　･バイリンガル
  - ･優先ネットワーク設定　･PIN1コード、PIN2コード　･PIN1コード入力設定
  - ･ドコモ証明書1、ユーザ証明書の有効／無効の設定

FOMAカードの種類

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、次のような「FOMAカード（緑色／白色）」との機能差分がありますのでご注意ください。

機能	FOMAカード		参照先
	（青色）	（緑色／白色）	
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	79
FirstPassを利用するためのユーザ証明書の操作	利用不可	利用可	201
WORLD WINGの利用	利用不可	利用可	432
サービスダイヤル「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内･受付（ドコモインフォメーションセンター）」の利用	利用不可	利用可	421

■WORLD WINGについて

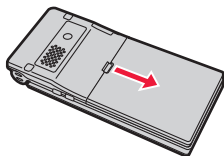
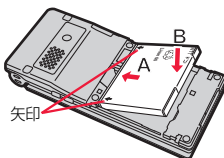
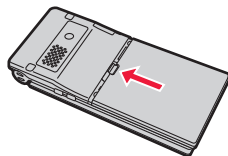
WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色／白色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 万が一、FOMAカード(緑色／白色)を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

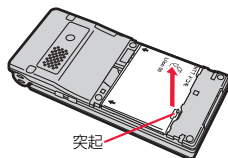
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末専用の電池パック P19を使用してください。

■取り付けかた

1 リアカバーの「▭」部分の周辺を押さえながら、ロックが外れるまで(2mm以上)矢印方向にスライドさせて取り外す

2 矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、Aの方向に押し付けながら、Bの方向に押し込む

3 リアカバーとFOMA端末をイラストのようにあわせて、リアカバーを矢印方向にスライドさせて取り付ける

- リアカバーとFOMA端末に隙間がないことを確認してから、スライドさせて確実に閉じてください。
閉じていない場合、リアカバーは金属製のため手や指を傷つける可能性があります。

■取り外しかた

1 「■取り付けかた」の手順1に従ってリアカバーを取り外し、電池パックの突起を利用して上方向に持ち上げる

お知らせ

- 電池パックの付け外しは、電源を切ってから、FOMA端末を閉じて手で持った状態で行ってください。また、付け外し中にワンプッシュオープンボタンを押さないようご注意ください。
- 電池パックを無理に付けようとするとFOMA端末の端子部やFOMAカードが壊れることがあります。

充電する

FOMA端末専用の電池パック P19を使用してください。

電池パックの寿命は？

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをお勧めします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01/02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01/02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でもFOMA端末の電源を入れておけば、電話を受けることができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電の時間が長くなります。また、開いた状態で充電すると、待受時間や通話時間などが短くなる場合があります。
- 充電中に、テレビ電話などを長時間行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が停止する場合があります。その場合は、しばらくたってから再度充電してください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 充電中に電池パックを外さないでください。

電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたままで長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタから外して再度セットし直してください。

電池パックの使用時間の目安（電池パックの使用時間は、充電時間や電池パックの劣化度で異なります。）

連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替［3G］	移動時：約400時間
		3G/GSM切替［自動］	静止時：約610時間 移動時：約380時間
	GSM	3G/GSM切替［自動］	静止時：約260時間
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時　：約190分 テレビ電話時：約140分
	GSM		音声電話時　：約230分
ワンセグ視聴時間			約290分 （モバイルWスピード OFF時：約320分） （ECOモード時：約410分）

※連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。

※連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。ｉモード通信を行うと通話（通信）･待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ワンセグの視聴、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリやｉアプリ待受画面の起動、データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、ｉモーションやムービーの再生、音楽再生･Bluetooth接続を使用すると通話（通信）･待受時間は短くなります。

※滞在国のネットワーク状況によっては、連続通話時間、連続待受時間が短くなることがあります。

※静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
※移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

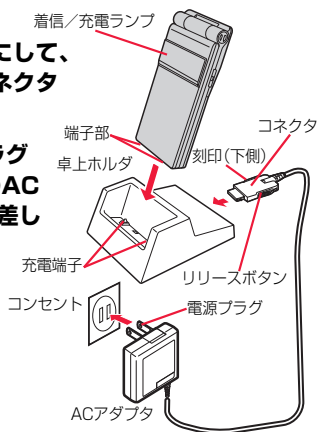
電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ	約120分	DCアダプタ	約120分

※充電時間の目安は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

ACアダプタと卓上ホルダでの充電方法

1 ACアダプタ(別売)のコネクタの刻印面を下にして、卓上ホルダ(別売)のコネクタ端子へ水平に差し込む

2 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントに差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダに確実に差し込む

着信／充電ランプが赤く点灯したことを確認してください。
着信／充電ランプが点滅した場合は、FOMA端末からACアダプタと電池パックを一旦外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。
再び同じ動作をする場合はACアダプタ、卓上ホルダや電池パックの異常や故障が考えられますのでドコモショップなど窓口までご相談ください。

- FOMA端末は、必ず閉じた状態で差し込んでください。
- 充電開始、終了時に「充電確認音」(P.95参照)が鳴ります。ただし、電源を切っているときや、マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中は鳴りません。
- FOMA端末は、卓上ホルダにしっかり取り付けてください。また、コネクタカバーや市販のストラップなどを挟まないようにご注意ください。

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

■充電中・充電完了時の表示について

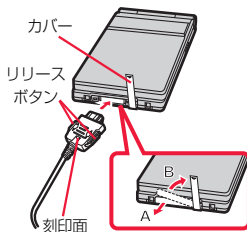
	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	赤く点灯	点滅
充電完了	消灯	点灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。
電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。

ACアダプタのみで充電するときは

刻印面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込んでください。抜く場合は、リリースボタンを押しながら抜きます。

- 充電するときは、外部接続端子のカバーを図の位置にしてください。
  外部接続端子のカバーは、Aの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させます。

※ACアダプタの抜き差しは、向き(表裏)を確かめ水平に行ってください。無理に取り外そうとすると故障の原因となります。

■DCアダプタ(別売)

DCアダプタは、FOMA端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライタソケット(12V／24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはFOMA DCアダプタ 01/02の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

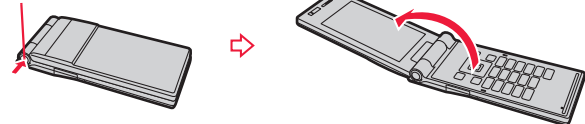
- DCアダプタで充電中、ヒューズが切れたときは、必ず2Aのヒューズをご使用ください。ヒューズ(2A)は消耗品ですので、交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

＜ワンプッシュオープン＞

ボタン操作でFOMA端末を開く

ワンプッシュのボタン操作で簡単にFOMA端末を開けます。(ワンプッシュオープン)

- ボタンを使わず手で開くこともできます。
- FOMA端末を閉じるときは手で閉じます。閉じられない場合は一度完全に開いてから閉じてください。

ワンプッシュオープンボタン

お知らせ

- FOMA端末の向きによっては、ワンプッシュオープンボタンを押したときに完全に開かない場合もあります。
- ワンプッシュオープンボタンを押してFOMA端末を開くときは、反動でFOMA端末を落とさないようにご注意ください。

＜電池残量＞

電池残量の確認のしかた

FOMA端末の電源を入れると、電池残量の目安がアイコンで表示されます。

・十分残っているとき ....
・少なくなっているとき ....
・ほとんど残っていないとき..........................

- 電池の残量がほとんど残っていないときは、充電してください。

電池残量を画面と音で確認する

電池残量の目安が画面と音で確認できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**その他**▶**電池残量**

十分残っているとき ピッピッピッ	少なくなっているとき ピッピッ	ほとんど残っていないとき ピッ
		そろそろ充電です

※電池残量がほとんどありません。
充電してください。

- 絵表示は約3秒後に消えます。
- マナーモード中や「ボタン確認音」を「OFF」に設定しているときは、電池残量確認音は鳴りません。

電池が切れるときは

電池残量がなくなると右のような画面が表示され、電池切れアラームが約10秒間鳴ります。電池切れアラームを止めるには▲、▼以外のいずれかのボタンを押してください。約1分後に電源が切れます。

電池切れ画面

- 通話中は、画面とともに受話口からの「ピピピ」音によりお知らせします。約20秒後に通話が切れ、さらに約1分後に電源が切れます。

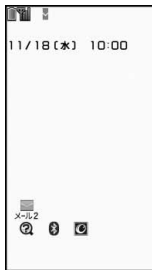
<電源ON／OFF>

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **[電源]を1秒以上押す**

ウェイクアップ画面(P.100参照)が表示されたあと、待受画面が表示されます。

- ウェイクアップ画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 時計設定が設定されていれば現在の日付時刻が表示されます。
- 「圏外」が表示されているときはFOMAサービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。「圏外」が消えるところまで移動してください。

待受画面

FOMAカードを差し替えたときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁の端末暗証番号を入力します。端末暗証番号を正しく入力すると待受画面が表示されます。5回誤った端末暗証番号を入力した場合は、電源が切れます。(ただし、再度電源を入れることは可能です。)

「FOMAカード(UIM)設定」の「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しているときは

電源を入れたあと4～8桁のPIN1コードを入力します。PIN1コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN1コードについてはP.112参照。

「通話料金通知」の「自動リセット設定」を「ON」に設定しているときは(おまかせロック中は除く)

電源を入れたあと4～8桁のPIN2コードを入力します。PIN2コードを正しく入力すると待受画面が表示されます。PIN2コードを正しく入力せずにCLRまたは[電源]を押すと「自動リセット設定」が「OFF」に設定され、待受画面が表示されます。PIN2コードについてはP.112参照。

Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「Welcome」「ドコモ動画」、「緊急速報「エリアメール」のご案内」のメールが保存されています。[メール]を2回押すか、P.147手順1の操作を行うと、受信メール一覧画面が表示されます。

お知らせ

- 各入力画面は、「PIN1コード」→「端末暗証番号」→「PIN2コード」の順に表示されます。

電源を切る

1 **[電源]を2秒以上押す**

終了画面が表示され、電源が切れます。

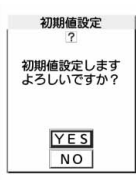
- 電源を切った直後に電源を入れることはできません。数秒お待ちください。

＜初期値設定＞

初期設定を行う

日付時刻、端末暗証番号、ボタン確認音、位置提供設定、文字サイズが設定されていない場合は、電源を入れると初期値設定の画面が表示されます。各機能はメニュー機能からも個別に設定できます。

1 電源を入れる▶YES

●端末暗証番号、PIN1コード、PIN2コードの入力画面が表示された場合はP.43の操作を行います。

2 日付時刻を設定する

「自動時刻時差補正する」または「自動時刻時差補正しない」で時刻を設定するかを選択します。(P.44参照)

3 端末暗証番号を設定する

各種機能の設定に必要な端末暗証番号を設定します。(P.112参照)
1.「0000」を入力▶新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES

4 ボタン確認音を設定する

ボタン確認音を鳴らすかどうかを設定します。(P.95参照)

5 位置提供設定を設定する

GPSの位置提供要求があったとき、現在地を知らせるかどうかを設定します。(P.312参照)

6 文字サイズを設定する

画面に表示される文字の大きさを一括で設定します。(P.109参照)

お知らせ

●未設定の機能がある場合は、電源を入れるたびに未設定の初期値設定の画面が表示されます。
●設定中に電話がかかってきたり、[終話]または[CLR]を押すなどして初期値設定が途中で終了した場合でも、設定が完了した機能については有効になります。
●アラーム通知により自動的に電源がONになった場合、未設定の機能があっても初期値設定の画面は表示されません。
●初期値設定を終了すると、ソフトウェア更新を自動で行う旨の確認画面が表示されます。この画面は初回のみ表示され、以降設定リセットまたは端末初期化を行うまで表示されません。

＜時計設定＞

日付・時刻を合わせる

時刻を自動で補正するか、手動で設定するかを切り替えることができます。時刻は24時間制で設定／表示します。

1 [MENU]▶設定／サービス▶時計▶時計設定▶自動時刻時差補正する・自動時刻時差補正しない

自動時刻時差補正する
. . .日付･時刻を自動で補正します。設定が終了します。
「[圏外]」が表示されているときなど自動で時刻を補正できない状態で、日付･時刻が設定されていない場合は手動時計設定の画面が表示されます。手順2で日付･時刻を設定してください。

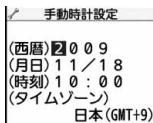
自動時刻時差補正しない
. . .日付･時刻を手動で設定します。

●「通話料金通知」を「ON」に設定している場合、端末暗証番号の入力が必要になります。

2 年、月、日、時刻を入力

でカーソルを移動し、ダイヤルボタンで入力します。

- 日付･時刻に1桁の数字を入力する場合は、「01」～「09」のようにはじめに「0」を付けて2桁で入力します。
- 「タイムゾーン」を選んで(編集)を押すと、タイムゾーンを設定できます。で地域を選び、(選択)を押します。

手動時計設定
(西暦)2009
(月日)11／18
(時刻)10：00
(タイムゾーン)
日本(GMT+9)

日付･時刻の補正機能について

電源を入れたときにネットワークから取得した時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正する機能です。
「自動時刻時差補正する」に設定している状態で待受画面を表示中に時刻が補正されます。
電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。

- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況やｉアプリ待受画面に設定したｉアプリによっては補正できない場合があります。
- 海外で時刻情報を受信した際、時差補正の情報が前回受信した情報と異なる場合、「時差補正を行いました」と表示され、自動的に時差が補正されます。「OK」を押すと時刻が更新されてリダイヤル、発信履歴、着信履歴、メールの送受信などの表示時間も現地時間になります。
- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。

お知らせ

- 時計設定を行わないと、スケジュールなど時計を利用する機能が正しく利用できません。また、リダイヤルや着信履歴などの日時が記録されません。
- 設定した時刻は、電池パックを交換するときでも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その際は、FOMA端末を充電してから、もう一度時計設定を行ってください。
- 「タイムゾーン」を「GMT +9」以外に設定している場合や、海外で時差補正が行われた場合は、待受画面にサブ時計(日本の日付や時刻など)が表示されます。
- 本機能で設定できるのは、2009年1月1日00時00分から2037年12月31日23時59分までです。

＜ワールドウォッチ＞
世界各国の時刻を表示する

指定した地域の時刻を待受画面に表示します。

1 MENU▶設定／サービス▶時計▶ワールドウォッチ▶ON･OFF▶で地域を選んで(選択)

お知らせ

- 「画面表示設定」→「時計」→「待受時計」→「表示位置」を「OFF」に設定している場合や海外での利用時はワールドウォッチは表示されません。

サマータイム

海外での利用時に表示される滞在国の時刻やワールドウォッチで表示される各地の時刻を1時間進めて表示します。

1 MENU▶設定／サービス▶時計▶サマータイム▶ON･OFF

＜発信者番号通知＞
相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、発信時に相手の電話機へお客様の電話番号をお知らせできます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
この機能は、相手の電話機が発信者番号表示可能なときだけ利用できます。

ネットワークに設定する

発信者番号を通知するかどうかをネットワークに設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**発信者番号通知**▶**以下の操作を行う**

発信者番号通知設定	▶通知する・通知しない
発信者番号通知設定確認	「発信者番号通知設定」の設定内容を確認します。

＜自局番号表示＞

自分の電話番号を確認する

●自局番号はFOMAカードに登録されています。

1 MENU▶**電話帳**▶**自局番号表示**

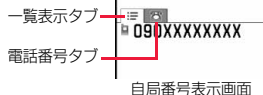
[O]を押してタブを切り替えることができます。

●個人データの登録／表示についてはP.387参照。

自局番号表示

一覧表示タブ

電話番号タブ

090XXXXXXXX

自局番号表示画面

お知らせ

●2in1のモードがデュアルモードの場合は自局番号表示画面で[●](切替)を押すと、AナンバーまたはBナンバーに切り替えることができます。Aナンバーには「[A]」が、Bナンバーには「[B]」が表示されます。

●2in1利用中にFOMAカードを差し替えると、2in1設定がOFFになります。2in1を利用する場合は、再度2in1設定をONにしてください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話を使いこなす

テレビ電話

ドコモのテレビ電話対応端末どうしで、送受信する映像を見ながら通話できます。お買い上げ時には、送信映像の位置に代替画像が表示されます。

本FOMA端末は内側にカメラを搭載しておりませんので、相手に送る画像はキャラ電、静止画または外側のカメラで撮影中の映像となります。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

- 3GPP(3rd Generation Partnership Project)：
  第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
- 3G-324M：
  第3世代携帯テレビ電話の国際規格です。
- P-09Aは通信速度64kbpsのテレビ電話にのみ対応しています。
  32kbpsでの通話はできません。

■テレビ電話中の画面について

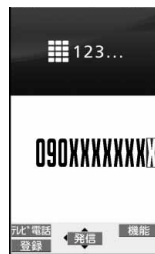
❶…受信映像(相手側のカメラ映像または代替画像)
❷…送信映像(代替画像または自分側のカメラ映像)
❸…通話時間
❹…状態表示

- ：音声送信／受信中
- (グレー)：音声送信／受信失敗※1
- ：映像送信／受信中
- (グレー)：映像送信／受信失敗※2
- ：カメラ映像送信中
- ：静止画送信中
- ：キャラ電通話中
- ：ハンズフリーON
- ：Bluetooth通話中
- ：接写
- ：風景
- ：ナイトモード
- ：キャラ電全体アクションモード
- ：キャラ電パーツアクションモード
- ：DTMF送信モード

※1 音声の送信に失敗すると、自分の音声が相手に流れません。
音声の受信に失敗すると、相手の音声が流れません。
※2 映像の送信に失敗すると、送信映像は相手に表示されません。
映像の受信に失敗すると、受信映像は表示されません。
音声、映像の送受信に失敗した場合、自動的には復旧しません。再度テレビ電話をおかけ直しください。

電話／テレビ電話をかける

1 相手の市外局番から電話番号を入力する

- 27桁以上入力した場合は、下26桁のみが表示されます。
- 入力した電話番号を電話帳に登録する場合は、MENU(登録)を押します。P.82手順2へ進みます。
- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

2 音声電話をかける場合

または(発信)を押す

- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。

テレビ電話をかける場合

(テレビ電話)を押す

- 発信中は「」が点滅し、通話中は点灯します。
- テレビ電話中にを押すと、相手に送信する映像を代替画像とカメラ映像とで切り替えることができます。

この画面からデジタル通信料課金が始まります。

3 お話が終わったらで通話を終了する

お知らせ

- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンス(P.420参照)が聞こえたときは、P.56「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- イヤホンマイク(別売)を接続すると、相手の声をイヤホンから聞けます。(P.392参照)
- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.65参照)
- 通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュ信号が送信できます。キャラ電通話中は、DTMF送信モードに切り替えてください。(P.73参照)
- 2in1のモードがデュアルモードの場合はAナンバーまたはBナンバーを選択してから発信します。(P.426参照)

＜音声電話の場合＞

- を押してから相手の電話番号を入力しても音声電話はかけられます。この場合、電話番号を間違えたときはを押して表示を消してからおかけ直しください。

お知らせ

＜テレビ電話の場合＞

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.74参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 代替画像を送信してテレビ電話をかけたときも音声電話料金ではなくデジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- FOMA端末から110番･119番･118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用できます。(P.57参照)

発信中の表示について

電話帳に相手の名前、電話番号が登録されている場合は、相手の名前とアイコンが表示されます。ただし、電話帳に画像が登録されていても、画像は表示されません。

- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.84参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中や、シークレット登録した相手に発信したときは、名前が表示されずに電話番号が表示されます。

電話番号を押し間違えたときは

CLRを押すたびに、右端から1文字ずつ数字が消えます。CLRを1秒以上押すと数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

- を押してカーソルを移動させ、CLRを押すとカーソルの位置の数字が消えます。CLRを1秒以上押すと、カーソル上にある数字とカーソルから右にある数字がすべて消えます。

テレビ電話がかからなかったときは

接続できなかった理由が表示されます。(通話する相手の電話機種別やネットワークサービスの契約の有無により、実際の相手の状況と理由表示が異なる場合があります。)

表示	理由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中(相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。)
パケット通信中です	相手がパケット通信中
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が圏外にいる、または、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知 (ビジュアルネットなどへの発信時)
転送致しますのでお待ち下さい	転送中
音声電話でおかけ直しください	転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付プラン(タイプリミット、ファミリーワイドリミット)の上限額を超過している
iモードから接続してください	iモード公式サイトのIP(情報サービス提供者)のサイトからテレビ電話発信していない(Vライブへの発信時)
接続できませんでした	発信者番号通知設定を「通知する」に設定のうえ、おかけ直しください。 ●上記以外の場合にも表示されることがあります。

自動再発信について

「音声自動再発信」を「ON」に設定している場合、テレビ電話がつながらなかったときは自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。「音声自動再発信」を「ON」にしているときは、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN同期64Kの接続先、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など(2009年4月現在)、間違い電話をした場合などは、このような動作にならないことがあります。通信料金が発生する場合もありますので、ご注意ください。

電話番号入力中の機能メニュー

発番号設定	P.56参照
プレフィックス	P.59参照
国際ダイヤルアシスト	P.58参照
テレビ電話画像選択	P.75参照
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.423参照)
電話帳登録	P.82参照
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。 P.130手順3へ進みます。
着もじ	P.54参照

電話／テレビ電話を切り替える

発信者が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。音声電話／テレビ電話切り替え対応端末どうしでご利用いただけます。

音声電話からテレビ電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、「ﾃﾚﾋﾞ電話」が表示され、音声電話からテレビ電話への切り替えができます。

1 音声電話中▶TV(ﾃﾚﾋﾞ電話)▶切替

- 相手に送信する画像を選択する場合は、「テレビ電話画像選択」を選択します。P.75手順2へ進みます。
- 「中止」を選択した場合、切り替えを中止し、音声電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

テレビ電話から音声電話へ切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、機能メニューの「音声電話切替」を選択してテレビ電話から音声電話への切り替えができます。

1 テレビ電話中▶iα(機能)▶音声電話切替▶YES

- 確認画面で「NO」を選択すると、切り替えを中止し、テレビ電話に戻ります。
- 切り替え中は音声ガイダンスが流れます。

お知らせ

- 音声電話／テレビ電話の切り替えは、繰り返し行えます。
- ｉモード通信中、パケット通信中の場合は通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は切り替えできない旨のメッセージが表示され、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできず、音声電話を継続します。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合、音声電話からテレビ電話に切り替えることはできません。
- 切り替えには5秒程度の時間がかかります。電波状況によりさらに時間がかかる場合があります。
- 相手側の利用状況や電波状況によっては音声電話とテレビ電話を切り替えることができず、接続が切れてしまう場合があります。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間･通話料金としてカウントされます。「切替中」が表示されている間は料金は課金されません。
- 相手がP.75「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定していない場合は、テレビ電話と音声電話の切り替えはできません。
- テレビ電話から音声電話に切り替えた場合、ハンズフリーはOFFになります。

<リダイヤル><発信履歴><着信履歴>

履歴を利用する

発着信した相手の電話番号や日時を記憶し、相手にかけ直したりできます。

■リダイヤル

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータは削除されます。ただし、「発番号設定」の設定が異なる場合は、別のリダイヤルとして記憶されます。

■発信履歴

音声電話･テレビ電話の発信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の発信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

■着信履歴

音声電話･テレビ電話の着信が合わせて30件、64Kデータ通信･パケット通信の着信が合わせて30件まで記憶され、同じ番号の古いデータも残ります。

- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合、最初に発着信した種類の電話が履歴に記憶されます。
- 30件を超えると古いデータは自動的に削除されます。なお、電源を切っても削除されません。
- 2in1利用時はモードに関わらず、それぞれの履歴はAナンバーで30件ずつ、Bナンバーで30件ずつまで記憶されます。

■リダイヤル･発信履歴･着信履歴のアイコン

アイコン	説明
電話／不在※	音声電話の発着信／不在着信
電話／不在※	テレビ電話の発着信／不在着信
伝言	伝言メモに用件を録音･録画
電話／不在※	国際電話の発着信／不在着信
電話／不在※	国際テレビ電話の発着信／不在着信
	64Kデータ通信の発信
64K／不在※	64Kデータ通信の着信／不在着信
	パケット通信の発信
パケット／不在※	パケット通信の着信／不在着信
接続ナシ	外部機器が接続されていないときに受けた64Kデータ通信･パケット通信の着信
	着もじの受信
	時刻が時差補正された履歴
B	Bナンバーの履歴(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

※ 未確認の不在着信の場合は反転表示されます。

リダイヤル･発信履歴を利用する

1 リダイヤルの場合

〇を押す

発信履歴の場合

MENU▶電話帳▶発着信履歴▶発信履歴

履歴の一覧画面が表示されます。

- MENU(切替)を押すと送信アドレス一覧画面が表示されます。

リダイヤルの場合

2 履歴を選択

履歴の詳細画面が表示されます。

- 電話をかけた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.84参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。

リダイヤルの場合

着信履歴を利用する

1 〇を押す

- 「MENU▶電話帳▶発着信履歴▶着信履歴▶全着信･不在着信」の操作を行っても着信履歴一覧画面が表示されます。

  全着信 . . . . . 不在着信を含むすべての履歴
  不在着信 . . . 不在着信の履歴
  2in1のモードがデュアルモードの場合、Aナンバー･Bナンバーそれぞれの不在着信の件数も表示されます。
  (未確認の不在着信がある場合は、未確認件数も表示されます。)
- MENU(切替)を押すと受信アドレス一覧画面が表示されます。

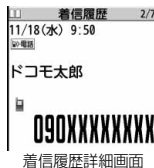
着信履歴 1/2
11/18 10:00
03XXXXXXXX
11/18 9:50
ドコモ太郎
11/18 9:30
ドコモ二郎
11/18 9:20
090XXXXXXXX

着信履歴一覧画面

2 着信履歴を選択

- 相手が発信者番号を通知してきたときは、相手の電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに音声電話の履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。
  また、発信者番号を通知してきた相手が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録していた場合、検索順(P.84参照)で先に表示される名前、アイコンが表示されます。
  パケット通信の着信があったときは、発信元の接続先(APN)が表示されます。
  相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 不在着信の場合は、着信日付・時刻の右に呼出時間が表示されます。
- 着もじを受信した場合は、メッセージが表示されます。

着信履歴 2/7
11/18(水) 9:50
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

着信履歴詳細画面

表示中のリダイヤル・発信履歴・着信履歴に電話をかけるには

[発信キー]を押して音声電話発信します。詳細画面では[●](発信)を押しても音声電話発信できます。また、[✉](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 待受画面で[発信キー]を押して[●]を押すと最新のリダイヤルまたは着信履歴の電話番号に音声電話をかけることができます。
- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。
- マルチナンバーの付加番号で発着信した場合は、履歴の詳細画面で電話番号の下に付加番号の登録名が表示されます。「マルチナンバー」の「電話番号登録」をしている場合は、番号も表示されます。
- 64Kデータ通信の発信履歴は、Bluetooth機器を使用した場合は記憶されません。
- 着もじが表示されている着信履歴の電話番号に音声電話(テレビ電話)をかけても、届いたメッセージは送信されません。
- ダイヤルインを利用の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。

リダイヤル・発信履歴・着信履歴表示中の機能メニュー

機能	説明
発番号設定	P.56参照
プレフィックス	P.59参照
国際ダイヤルアシスト	P.58参照
テレビ電話画像選択	P.75参照
2in1発信	2in1のモードがデュアルモードの場合に相手に通知する番号を選択します。(P.426参照)
マルチナンバー	相手に通知する番号を選択します。(P.423参照)
着もじ	P.54参照
居場所を確認	「イマドコかんたんサーチ」のサイトへ接続します。▶YES
電話帳登録	P.82参照 ● 詳細画面で[MENU](登録)を押しても電話帳に登録できます。P.82手順2へ進みます。
メール作成	
iモードメール作成	電話番号を宛先としたメールを作成します。P.130手順3へ進みます。
SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.174手順3へ進みます。
呼出時間表示［着信履歴一覧画面のみ］	不在着信の呼出時間を表示します。「呼出時間表示設定」で「時間内不在着信表示」を「表示しない」に設定していても、呼出動作開始時間内の不在着信と呼出時間が表示されます。
文字サイズ変更	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。(P.110「発着信履歴」参照)
デスクトップ／[ボタン]登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
[ボタン]ボタン長押し登録	P.386参照
送信アドレス一覧［リダイヤル・発信履歴のみ］	P.158参照

つづく↳

受信アドレス一覧 ［着信履歴のみ］	P.158参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいリダイヤル･発信履歴･着信履歴にチェック▶✉（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜削除＞

リダイヤル･発信履歴の機能メニューから「全削除」を行うと、リダイヤル･発信履歴の両方がすべて削除されます。リダイヤルを「1件削除」、「選択削除」しても発信履歴からは削除されず、履歴が残ります。発信履歴を削除するときは、発信履歴表示中の機能メニューから削除してください。

＜着もじ＞

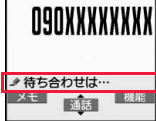
着もじを使う

音声電話やテレビ電話をかける際、相手側へメッセージを送り、呼び出し中に用件を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金はかかりません。

メッセージを受信したときは

発信元の下に着もじが表示されます。また、着信履歴にも着もじが記憶されます。

- 着もじは着信中のみ表示されます。通話中は表示されません。
- 「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信でも、着もじは受信され、着信履歴にも残ります。
- P.102「着信表示」の「着もじ表示」を「ON」に設定すると、プライベートウィンドウに着もじが表示されます。
- オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中に着もじは表示されません。ただし、ロック解除後に着信履歴から確認することはできます。

メッセージを登録する

メッセージ一覧に着もじを10件まで登録できます。

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶着もじ▶メッセージ作成▶＜未登録＞を選んで✉（編集）▶メッセージを入力**

- 変更する場合は、登録済みのメッセージを選んで✉（編集）を押します。
- 絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。

メッセージをつけて発信する

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴の詳細画面を表示

2 **iα（機能）▶着もじ▶以下の操作を行う**

メッセージ作成	送信する着もじを発信時に作成します。 ▶**メッセージを入力** ●絵文字／記号／全角／半角問わず10文字まで入力できます。 ●本機能で作成した着もじは、メッセージ一覧には登録されません。
メッセージ選択	メッセージ一覧から登録済みのメッセージを選択します。 ▶**メッセージを選択**
送信メッセージ履歴	送信する着もじを送信メッセージ履歴から選択します。送信メッセージ履歴には送信した着もじのみが10件まで記憶され、同じ着もじを送信した古いデータも残ります。また、10件を超えると古いデータから順に削除されます。 ▶**送信メッセージ履歴を選択**

3 **📞または●（発信）を押す**

- ✉（ﾃﾚﾋﾞ電話）を押すとテレビ電話発信になります。
- 発信中は送信している着もじが表示されます。

お知らせ

- 着もじが相手側の端末に届いた場合は、「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。
- 相手が対応端末でない場合や相手側の「メッセージ表示設定」で許容していない送信を行った場合など、着もじが相手側の端末に届かなかった場合は、「送信できませんでした」と表示されます。このとき送信料金はかかりません。
- 電波状態によって、相手側の端末に着もじが届いていても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合、送信料金はかかります。
- 相手が圏外にいるとき、電源を切っているとき、公共モード(ドライブモード)中、伝言メモ設定の呼出時間を0秒に設定しているときなどは、着もじを付けて発信しても着もじは表示されず、送信料金がかかりません(相手側の着信履歴にも保存されません)。また、送信側の画面には送信結果が表示されません。
- テレビ電話がつながらなかった場合に、自動的に音声電話に切り替えて再発信した場合は、着もじも再送信されます。
- 海外での利用時には着もじを送受信できません。

送信メッセージ詳細履歴

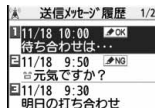
着もじを送信すると、送信メッセージ詳細履歴に10件まで記憶され、相手の電話番号や送信日時が確認できます。同じ番号に送信した古いデータも残ります。

- 2in1のモードがデュアルモードの場合は、AナンバーとBナンバー合わせて最新の履歴を10件まで表示できます。

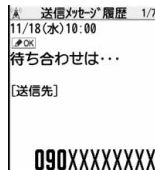
1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶着もじ▶送信メッセージ詳細履歴**

送信メッセージ履歴 1/2
1 11/18 10:00 OK
待ち合わせは･･･
2 11/18 9:50 NG
元気ですか?
3 11/18 9:30
明日の打ち合わせ

OK . . . 送信できた着もじ
NG . . . 送信できなかった着もじ
B . . . . . Bナンバーの着もじ(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

- 送信結果が表示されなかった場合は、「OK」や「NG」は表示されません。
- 電波状態などによって、正しく送信結果が表示されないことがあります。

2 **送信メッセージ詳細履歴を選択**

- 相手の電話番号が電話帳に登録されているときは、電話番号、名前、アイコンが表示されます。

送信メッセージ履歴 1/7
11/18(水)10:00
OK
待ち合わせは･･･
[送信先]
090XXXXXXXX

送信メッセージ詳細履歴表示中の機能メニュー

登録	送信した着もじをメッセージ一覧に登録します。 ▶<未登録> ● ✉(登録)を押しても登録できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

メッセージ表示設定

着もじを受信した場合の表示について設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶着もじ▶メッセージ表示設定▶項目を選択**

すべて表示 . . . . すべての相手からの着もじを表示します。
電話帳登録番号のみ . . . 電話帳に登録されている相手からの着もじのみを表示します。
番号通知ありのみ . . . . . 電話番号を通知してきた相手からの着もじのみを表示します。
表示しない . . . . 着もじを表示しません。

お知らせ

- 「電話帳登録番号のみ」に設定していると、2in1のモードがAモードの場合はB設定の電話帳の相手(Bモードの場合はA設定の電話帳の相手)から着もじを受信できません。

着もじ優先設定

「オープン設定」を「着信応答」に設定しているときに、着もじを受信した場合の動作について設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**着もじ**▶**着もじ優先設定**▶**ON・OFF**

ON . . . 着信中にFOMA端末を開いても応答せず、着もじが確認できます。

OFF . . 着信中にFOMA端末を開くと着信に応答します。

<186／184>

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

発信者番号を通知するかどうかを1回の通話のたびに設定します。

1 **電話番号を入力**

または

電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶**発番号設定**▶**通知しない・通知する**

- 「発番号設定」を解除するには、「発番号設定消去」を選択します。このとき、通知／非通知は「発信者番号通知設定」に従って動作します。

「186」／「184」で「通知する」／「通知しない」を設定する

相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けて電話番号を入力することにより、お客様の電話番号を相手に「通知する」／「通知しない」を選択することもできます。

発信者番号を通知する場合

1 **186→相手先の電話番号の順に入力**▶**または**(発信)

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

発信者番号を通知しない場合

1 **184→相手先の電話番号の順に入力**▶**または**(発信)

- (テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

- 電話をかけたときに、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンス(P.420参照)が聞こえたときは、「発信者番号を通知する場合」の説明に従って、「186」を付けておかけ直しください。
- 「」が表示されているときは「発信者番号通知」を設定できません。

<ポーズダイヤル>

プッシュ信号を送る

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

ポーズダイヤルを登録する

プッシュ信号として送るダイヤルデータをポーズダイヤルにあらかじめ登録します。ポーズ(p)を入力しておくと、ポーズが入力されている箇所でダイヤルデータを区切りながら送出できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**その他**▶**ポーズダイヤル**▶(編集)

- すでにダイヤルデータが登録されているときは、登録されているダイヤルデータが表示されます。
- 登録したポーズダイヤルを削除するにはiα(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 ダイヤルデータを入力

- ポーズ(p)は(＊)を1秒以上押して入力します。
- 入力できる文字は、(0)～(9)、(#)、(＊)およびポーズ(p)のみです。
- 128桁まで入力できます。
- ポーズダイヤルの先頭と最後にポーズ(p)を入力したり、連続して入力したりできません。

ポーズダイヤルを送信する

1 (MENU)▶設定／サービス▶その他▶ポーズダイヤル▶(●)(送信)▶電話番号を入力▶(発信キー)または(●)(発信)

相手に音声電話がかかり、通話中になるとポーズダイヤルに登録されているダイヤルデータの最初のポーズ(p)までが表示されます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、(O)を押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- (O)を押して着信履歴、(O)を押してリダイヤルから検索することもできます。

2 相手が応じたことを確認▶(発信キー)または(●)(送信)

最初のポーズ(p)までのダイヤルデータが送出され、次のポーズ(p)までのダイヤルデータが表示されます。

(発信キー)または(●)(送信)を押すごとに、ポーズ(p)までのダイヤルデータが送出されます。

最後の番号を送り終えると通話画面になります。

- ダイヤルデータをまとめて送出するときは、(O)を1秒以上押して「一括送出」を選択します。

お知らせ

- 通話中にポーズダイヤル画面の機能メニューを表示させても、ダイヤルデータを送信できます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話では、ポーズダイヤルを送信できません。

<WORLD CALL>

国際電話を利用する

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています(ただし、不要のお申し出をされた方を除きます)。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求いたします。
- 申込手数料･月額使用料は無料です。
- 一部の料金プランではご利用いただけません。
- WORLD CALLについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になるときは、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

国際テレビ電話について

海外の特定3G携帯通信事業者のユーザや、FOMAユーザと国際テレビ電話ができます。「電話番号を入力して国際電話をかける」の操作手順で(発信キー)または(●)(発信)の代わりに(✉)(ﾃﾚﾋﾞ電話)を押して発信します。(P.58参照)

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

「＋」を利用して国際電話をかける

発信時や電話帳登録時などで電話番号を入力しているときに[0]を1秒以上押すと「＋」が入力できます。「＋」を利用すれば、国際電話アクセス番号を入力することなく、国際電話をかけることができます。

- 「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」に設定していると、「国際プレフィックス設定」の国際電話アクセス番号が自動的に入力されます。

1 **[0](1秒以上)▶国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]または[●](発信)▶発信**

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [✉](テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 「元の番号で発信」を選択した場合は、端末に入力した番号のままで発信され、国際電話がかかります。

電話番号を入力して国際電話をかける

1 **010→国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]または[●](発信)**

- 「009130→010→国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号」でも国際電話をかけることができます。
- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [✉](テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。

国際ダイヤルアシスト

電話番号に国／地域番号や国際電話アクセス番号を付加して発信します。(一部の国･地域を除き、電話番号が「0」で始まる場合は自動的に先頭の「0」が削除されます。)

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴の詳細画面を表示

2 **[iα](機能)▶国際ダイヤルアシスト▶国／地域名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択▶[発信キー]または[●](発信)**

- [✉](テレビ電話)を押すと国際テレビ電話発信になります。
- 電話番号の先頭が「＋」のときは、国／地域名称を選択する画面は表示されません。
- 国／地域名称に「日本」を選択した場合、国際電話アクセス番号の名称を選択する画面は表示されません。

<国際ダイヤルアシスト設定>

国際電話の設定をする

自動変換機能設定

日本から国際電話をかけるときに、電話番号の先頭の「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信するかどうかを設定します。

1 **[MENU]▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ダイヤルアシスト設定▶自動変換機能設定▶ON･OFF▶国／地域名称を選択▶国際電話アクセス番号の名称を選択**

- 国／地域番号や国際電話アクセス番号が登録されていないときは、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、国／地域番号の場合はP.59「国／地域番号設定」手順2、国際電話アクセス番号の場合はP.59「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。

国／地域番号設定

海外から国際電話をかけるときに付加される国／地域番号を27件まで登録できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ダイヤルアシスト設定**▶**国／地域番号設定**▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

- 登録済みの国／地域名称を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **国／地域名称を入力**▶**国／地域番号を入力**

- 国／地域名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国／地域番号は5桁まで入力できます。ただし、#、✱、+は使用できません。

国際プレフィックス設定

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加される国際電話アクセス番号を3件まで登録できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ダイヤルアシスト設定**▶**国際プレフィックス設定**▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

- 登録済みの項目を選択すると、登録内容を確認できます。

2 **名称を入力**▶**国際電話アクセス番号を入力**

- 名称は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- 国際電話アクセス番号は16桁まで入力できます。

国／地域番号設定表示中・国際プレフィックス設定表示中の機能メニュー

編集	国／地域番号設定の場合はP.59「国／地域番号設定」手順2、国際プレフィックス設定の場合はP.59「国際プレフィックス設定」手順2へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>

- 「自動変換機能設定」で設定されている国／地域番号や国際電話アクセス番号は削除できません。

<プレフィックス設定>

電話番号の先頭に付加する番号を登録する

国際電話アクセス番号や「186」「184」など、電話番号の先頭に付くプレフィックス番号を登録し、電話をかけるときに付加します。7件まで登録できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**プレフィックス設定**▶**<未登録>を選んで**✉(編集)

- 登録済みのプレフィックスを選択すると、登録内容を確認できます。
- 登録済みのプレフィックスを削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

2 **登録名を入力**▶**プレフィックス番号を入力**

- 登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。
- プレフィックス番号は16桁まで入力できます。入力に使用できるボタンは、0～9、#、✱のみです。

プレフィックス

電話番号の先頭にプレフィックス番号を付けて発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

つづく

2 [i-αppli]([機能])▶プレフィックス▶登録名を選択▶[発信キー]または[■]([発信])

- [✉]([ﾃﾚﾋﾞ電話])を押すとテレビ電話発信になります。

＜サブアドレス設定＞

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の「＊」以降をサブアドレスとして認識し、特定の電話機やデータ端末を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 [MENU]▶設定／サービス▶その他▶サブアドレス設定▶ON･OFF

お知らせ

- 「サブアドレス設定」を「ON」にしていても、電話番号の先頭の「＊」、プレフィックス番号や「186／184」の直後の「＊」はサブアドレス区切記号とは認識されません。

＜再接続機能＞ [MENU][7][7]

再接続するときのアラームを設定する

電波の状態が悪くなって音声電話、テレビ電話が途切れた場合に、再接続するまでのアラームを設定します。

1 [MENU]▶設定／サービス▶通話▶再接続機能▶アラームを選択

お知らせ

- 利用状態、電波の状態により再接続が可能な時間は異なります。目安としては約10秒間で、その間も通話料金はかかります。
- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。

＜受話音質設定＞

相手の声を聞き取りやすくする

しっかりトークとナチュラルトークで、相手の声を聞き取りやすくします。しっかりトークは、周囲の騒音に合わせて、相手の声を大きくします。ナチュラルトークは、相手の声を補正して自然な音声にします。

1 [MENU]▶設定／サービス▶通話▶受話音質設定▶項目を選択

しっかり+ナチュラルトーク.....両方の機能を同時に設定します。
しっかりトーク................しっかりトークを設定します。
OFF........................設定をOFFにします。

お知らせ

- 受話口から聞こえる音声のみ有効な機能です。ただし、イヤホンなどの外部機器を抜き差ししたり、Bluetooth機器との通話機切替をすると無効になる場合があります。
- 「しっかり+ナチュラルトーク」に設定すると、Bluetooth機器との通話機切替ができない場合があります。

＜ノイズキャンセラ＞ [MENU][7][6]

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

周囲の騒音に合わせて、電話中の相手に送るノイズを抑えます。

1 [MENU]▶設定／サービス▶通話▶ノイズキャンセラ▶ON･OFF

<ゆったりトーク>
通話中の相手の音声速度をゆっくりにする

1 **音声電話中▶MENU（ゆったり）**

ゆったりトーク設定中は、「ゆったりトーク　ON」が表示されます。

- もう一度MENU（元の速さ）を押すと、通常速度に戻ります。

お知らせ

- ゆったりトークの設定は音声通話の通話中にのみ有効です。通話終了後やマルチ接続中に通話相手を切り替えたり、音声電話からテレビ電話に切り替えた場合は通常速度に戻ります。

<ハンズフリー>
ハンズフリーに切り替える

ハンズフリーに設定すると、通話中の相手の音声などがスピーカーから流れます。

1 **通話中・発信中・接続中▶**

ハンズフリー設定中は、「」が表示されます。

- もう一度を押すと、ハンズフリーはOFFになります。
- ハンズフリー通話時の音量は、「受話音量」の設定に従います。
- マナーモード設定中でもハンズフリーに切り替えることができます。また、ハンズフリー中にマナーモードを設定しても、音声はスピーカーから流れます。

お知らせ

- イヤホンマイク（別売）を接続しているときは、ハンズフリーに切り替えても音声はスピーカーから流れません。
- ハンズフリーに設定して通話するときは、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。聴覚に影響を与えたり、耳に障害を与えたりする可能性があります。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。

<車載ハンズフリー>
ハンズフリー対応機器を利用する

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
FOMA端末は、2つの方法でハンズフリー対応機器と接続できます。

- **ケーブル接続（USB接続）で利用する：**
  車載ハンズフリーキット 01（別売）で利用／充電する場合、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01（別売）が必要です。
- **Bluetooth接続（ワイヤレス）で利用する：**
  Bluetooth通信対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末にて機器の登録や接続が必要です。

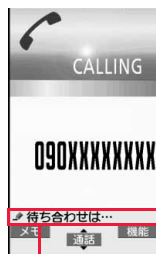
※ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ケーブル接続（USB接続）で使用する場合には、「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
- USBハンズフリー対応機器で通話・通信中は「」が表示されます。
- USBハンズフリー対応機器によっては、接続中に「」、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定して接続中に「」が表示されることがあります。
- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、「公共モード（ドライブモード）」の設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、「伝言メモ設定」の設定に従います。
- FOMA端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中にFOMA端末を閉じたときの動作は、「クローズ動作設定」の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくると着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅する

- 着信時に振動させるには、「バイブレータ」の「電話」または「テレビ電話」を「OFF」以外に設定します。
- テレビ電話着信中は「テレビ電話着信中」と表示されますが、音声電話着信中は特に表示されません。
- 国際電話がかかってきたときは、電話番号の左上に「」が表示されます。

着もじ(P.54参照)

2 音声電話に出る場合

または（通話）で電話に出る

テレビ電話に出る場合

または（通話）でテレビ電話に出る

代替画像が相手に送信されます。

- テレビ電話中にを押すと、相手に送信する映像を代替画像とカメラ映像とで切り替えることができます。

3 お話が終わったらで通話を終了する

お知らせ

- 通話中にFOMA端末を閉じると、「クローズ動作設定」の設定に従って動作します。(P.65参照)
- お話し中に「ププ…ププ…」という音「通話中着信音」が聞こえることがあります。
  留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約し、「通話中の着信動作選択」を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作が可能です。
  留守番電話サービス . . . 留守番電話サービスセンターへ転送できます。(P.416参照)
  キャッチホン . . . . 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(P.416参照)
  転送でんわサービス . . . 登録した転送先へ転送できます。(P.419参照)
- 「登録外着信拒否」で電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないように設定できます。

お知らせ

<音声電話の場合>

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに▲を押して電話に出ると、通話中保留になります。「クローズ動作設定」を「ミュート」または「終話」に設定していた場合は相手には無音となり、「保留」に設定していた場合は保留音が流れます。FOMA端末を開くと、通話を開始できます。

<テレビ電話の場合>

- お買い上げ時は「テレビ電話ハンズフリー設定」により、自動的にハンズフリーに切り替わります。(P.74参照)ただし、マナーモード中は「テレビ電話ハンズフリー設定」に関わらず、ハンズフリーはOFFになります。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機(P.48参照)に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめ確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけた側には転送中のガイダンスは流れません。(相手のFOMA端末によっては、転送する旨のメッセージが画面に表示されます。)
- 「迷惑電話ストップサービス」で拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。

着信中の表示について

相手の電話番号が通知されたとき

電話番号が表示されます。電話帳に登録しておらず、リダイヤルに履歴が残っている電話番号の場合は、「折り返し着信」と表示されます。

電話帳に相手の名前、電話番号および画像を登録している場合は、相手の名前、電話番号、アイコンまたは画像が表示されます。

- テレビ電話着信の場合は「折り返し着信」は表示されません。
- 同じ電話番号を複数の名前で電話帳に登録している場合、検索順(P.84参照)で先に表示される名前が表示されます。
- パーソナルデータロック中は、名前が表示されずに電話番号が表示されます。ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「着信時電話帳利用」を「利用する」に設定している場合、パーソナルデータロック中も名前が表示されます。
- 転送されてきた電話の場合は、発信元の下に転送元の電話番号が表示されます。(転送元によっては表示されないことがあります。)
- マルチナンバーの付加番号に着信した場合は、発信元の下に付加番号の登録名が表示されます。(転送されてきた電話の場合は、📷TV(切替)を押して転送元の表示と切り替えることができます。)

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。(P.122参照)

着信中の機能メニュー

着信拒否	電話に出ないで着信をそのまま切ります。
転送でんわ	P.419参照
留守番電話	P.416参照

電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手が音声電話とテレビ電話を切り替えることができます。
電話をかけてきた相手が音声電話／テレビ電話に切り替えると、切り替え中であるメッセージが表示され音声ガイダンスが流れて切り替わります。

- 着信側から切り替えることはできません。

<着信アンサー設定> 着信時のボタン動作を設定する

MENU 5 8

電話がかかってきたとき、[発信]、[■]以外のボタンで通話を開始したり(エニーキーアンサー)、着信音を止める(クイックサイレント)ように設定できます。

1 **MENU ▶設定／サービス▶着信▶着信アンサー設定▶ボタン動作を選択**

エニーキーアンサー

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話※1※2	[発信]、[■]、0～9、*、#、CLR、MENU、[カメラ/TV]※3、[マルチ]、[▲]

- テレビ電話がかかってきた場合、[発信]、[■]で通話を開始できます。

クイックサイレント

以下のボタン操作で着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。「オープン設定」を「着信継続」に設定している場合は、FOMA端末を開いても着信音、バイブレータ、音声読み上げを止められます。着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めても相手には呼び出し音が鳴っています。

音声電話※1※2	0～9、*、#、CLR、MENU、[カメラ/TV]※3、[マルチ]、[▲]
テレビ電話※1※2	

- 着信音、バイブレータ、音声読み上げを止めたあとに、[発信]、[■]を押すと通話を開始できます。

OFF

以下のボタン操作で通話を開始できます。

音声電話	[発信]、[■]
テレビ電話	

※1 伝言メモがいっぱいのときは、[メール]を押してもエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になります。
※2 ボタンロック中は、[▲]を1秒以上押すとエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になります。
※3「切替」が表示されているときは、[カメラ/TV]を押してもエニーキーアンサーやクイックサイレントの動作になりません。

お知らせ

- イヤホンマイク(別売)を接続しているときは、「着信アンサー設定」に関わらず、イヤホンマイクのスイッチを押しても通話を開始できます。(P.393参照)

<オープン設定> 着信中にFOMA端末を開いたときの動作を設定する

1 **MENU ▶設定／サービス▶着信▶オープン設定▶着信の種類を選択▶着信継続・着信応答**

着信継続 . . . 着信動作を継続します。
着信応答 . . . 着信に応答します。テレビ電話の場合、相手には「画像選択」の「代替画像選択」で設定した画像が送信されます。

<クローズ動作設定> MENU 1 8

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定する

1 **MENU▶設定／サービス▶通話▶クローズ動作設定▶項目を選択**

ミュート……音声をミュート（消音）します。保留音は流れません。設定が終了します。

保留……相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。

終話……通話を終了します。通話中に[終話]を押す操作と同じです。設定が終了します。

2 **スピーカー鳴動する・スピーカー鳴動しない**

スピーカー鳴動する……保留音をスピーカーから流します。

スピーカー鳴動しない……保留音をスピーカーから流しません。

<受話音量>

相手の声の音量を調節する

1 **MENU▶設定／サービス▶通話▶受話音量▶[上下キー]または▲▼で受話音量を調節**

レベル1（最小）～レベル6（最大）の6段階で調節します。

- 音声電話中や呼び出し中は[上下キー]または▲▼、テレビ電話中は[上下キー]または▲▼、電話番号入力中は[上下キー]（1秒以上）を押して受話音量を調節します。2秒以内に[上下キー]または▲▼を押して受話音量を調節してください。

お知らせ

- 通話中に調節した音量は、通話が終わっても設定は保持されます。
- 受話音量を調節すると、ハンズフリー通話時の音量も調節されます。

<着信音量>

着信音の音量を調節する

電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに鳴る着信音の大きさを調節します。

1 **MENU▶設定／サービス▶サウンド▶着信音量▶着信の種類を選択▶[上下キー]で音量を調節**

- 「着信音量」を「消去」に設定中は、待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - [アイコン]：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - [アイコン]：「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
  - [アイコン]：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
- 「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
- 音声電話、テレビ電話の着信中は[上下キー]を押すと着信音量を調節できます。ただし、以下の場合は着信音量を調節できません。
  - ・「着信音量」が「ステップ」に設定されている場合
  - ・「着信アンサー設定」を「クイックサイレント」に設定し、着信音や音声読み上げを止めた場合
  - ・マナーモード中
  - ・「呼出時間表示設定」で設定した呼出動作開始時間内の着信

＜応答保留＞
すぐに電話に出られないときに保留にする

1 着信中▶

「ピッピッピッ」という確認音が鳴り、応答保留の状態になります。
- マナーモード中や「着信音量」を「消去」に設定しているときは確認音は鳴りません。
- 相手には「保留音設定」の「応答保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「応答保留選択」で設定した静止画が表示されます。

2 電話に出られるようになったら またはの（通話）で保留を解除する

- 「着信アンサー設定」を「エニーキーアンサー」に設定している場合は、0～9、＊、#、CLR、MENU、、、またはの、、を押しても音声電話の保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、またはの（通話）を押して保留を解除すると、相手に代替画像が送信されます。

お知らせ
- 応答保留中でも、相手に通話料金はかかります。
- 応答保留中にを押すと、通話が切れます。

＜通話中保留＞
通話中に保留にする

1 通話中▶（保留）

- 相手には「保留音設定」の「通話中保留音」で設定した保留音が流れ、テレビ電話の場合は「画像選択」の「通話保留選択」で設定した静止画が表示されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定している場合は、通話中にFOMA端末を閉じても保留できます。

2 電話に出られるようになったら またはの（通話）で保留を解除する

- 音声電話を保留していた場合、CLRを押しても保留を解除できます。
- テレビ電話を保留していた場合、またはの（通話）を押して保留を解除すると、相手に代替画像が送信されます。
- 「クローズ動作設定」を「保留」に設定し、FOMA端末を閉じて保留にしていた場合、FOMA端末を開くか、イヤホンマイク（別売）を接続すると保留を解除できます。
  イヤホンマイクを接続してテレビ電話の保留を解除した場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ
- 通話を保留している間も、通話料金はかかります。
- 通話を保留している間に新しく着信があると、通話中保留は解除されます。

＜保留音設定＞
保留音を設定する

保留中に相手側に流れるガイダンスを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶通話▶保留音設定▶応答保留音・通話中保留音▶保留音を選択

応答保留音1・2 . . . . FOMA端末にあらかじめ登録されているガイダンスが流れます。
パガニーニの主題による. . . . メロディが流れます。通話中保留音にのみ設定できます。
おしゃべり . . . .「おしゃべり機能」で録音した音が流れます。録音されていないときは表示されません。
- （デモ）を押すと保留音が再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。

公共モードを利用する

公共モード(ドライブモード)を利用する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所(電車、バス、映画館など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

- 留守番電話サービス※1、転送でんわサービス※1、番号通知お願いサービス※2は、公共モードに優先して動作します。
  ※1 呼出時間が0秒以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスのあとにサービスが動作します。
  ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- 迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

1 ＊を1秒以上押す

公共モードが設定され、「🚗」が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モードを解除するには、同様の操作を行います。公共モードが解除され、「🚗」が消えます。

お知らせ

- 公共モードの設定／解除ができるのは、待受中のみです。「圏外」表示が出ているときも、設定／解除はできます。
- 公共モードを設定していても通常どおり電話をかけることができます。
- 緊急通報110番／119番／118番に電話をかけると公共モードは解除されます。
- 公共モードとマナーモードを同時に設定しているときは、公共モードが優先されます。
- 「番号通知お願いサービス」を「開始」に設定中に「非通知設定」の着信があると、番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モードガイダンスは流れません。)
- 本機能は、データ通信中は利用できません。

公共モード(ドライブモード)に設定したときは

- ・電話がかかってきても着信音は鳴りません。画面には「不在着信あり」のアイコンが表示され、「着信履歴」に記憶されます。電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。
  ただし、電源が入っていないときや画面に「圏外」表示が出ているときは、公共モードガイダンスは流れずに「圏外」表示が出ているときと同じガイダンスが流れます。
- ・メールやメッセージを受信しても着信音は鳴らず、着信／充電ランプも点滅しません。また、バイブレータを設定していても振動しません。
- ・64Kデータ通信の着信音、アラーム音、充電確認音、ｉアプリ実行中のメロディ、ｉアプリコールの受信音、ｉウィジェット起動時の効果音も鳴りません。
- ・ｉチャネルのテロップは表示されません。
- ・公共モード(ドライブモード)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.67参照。

公共モード(電源OFF)を利用する

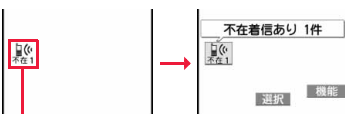
公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。

1 「＊25251」を入力▶発信

公共モード(電源OFF)が設定されます。(待受画面上の変化はありません。)
公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- 公共モード(電源OFF)を解除するには、「＊25250」に発信します。
- 公共モード(電源OFF)の設定状況を確認するには、「＊25259」に発信します。

公共モード(電源OFF)に設定したときは

「＊25250」に発信して公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源をONにするだけでは設定は解除されません。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話が終了します。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。
・公共モード(電源OFF)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作についてはP.67参照。

<不在着信>

かかってきた電話に出られなかったとき

かかってきた電話に出られなかったとき(不在着信)は、待受画面に「お知らせアイコン」が表示されます。アイコンを選択して着信履歴を確認します。

1 **●▶●(選択)**

- ⌒またはCLRを押すと元の状態に戻ります。
- アイコンが複数あるときは◎でアイコンを選んで●(選択)を押します。
- FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。

不在着信あり 1件
不在1
選択 機能
お知らせアイコン

<伝言メモ設定>

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、留守番電話サービスを契約されていなくても、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、相手の用件を録音・録画できます。
1件につき約20秒間で、音声電話は5件、テレビ電話は2件まで録音・録画できます。

伝言メモを設定する

1 **MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶伝言メモ設定▶ON・OFF▶応答メッセージを選択**

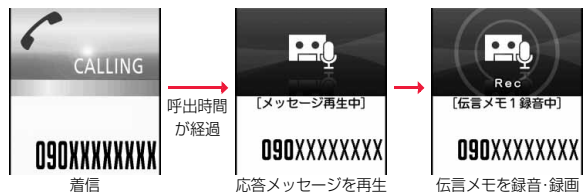
- ✉(デモ)を押すと応答メッセージが再生されます。CLRを押すとデモ再生が終了します。
- 「標準」「プライベート」「英語」に設定した場合、相手に応答メッセージが流れたあと、「ピーッ」という音が鳴ります。「おしゃべり」に設定した場合、音は鳴りません。

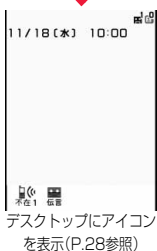
2 **呼出時間(秒)を入力**

- 「000」～「120」の3桁を入力します。
- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。
- 伝言メモ設定中は「0」～「5」(音声電話の録音件数)、「0」～「2」(テレビ電話の録画件数)が表示されます。

伝言メモ設定を「ON」に設定中に電話がかかってきたときは

着信　応答メッセージを再生　伝言メモを録音･録画

デスクトップにアイコンを表示(P.28参照)

テレビ電話の場合、応答メッセージの再生中は相手に「画像選択」の「伝言メモ準備選択」で設定した静止画が表示され、録画中は「画像選択」の「伝言メモ選択」で設定した静止画が表示されます。

- 応答メッセージが流れているときや伝言メモの録音･録画中に電話に出るときは または (通話)を押します。
  テレビ電話の場合、 または (通話)で代替画像が送信されます。
  イヤホンマイク(別売)のスイッチを押しても電話に出ることができます。テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。

お知らせ

- 「 」が表示されているときは動作しません。
- 公共モード(ドライブモード)と伝言メモを同時に設定しているときは公共モード(ドライブモード)が優先され、伝言メモは動作しません。
- 応答メッセージの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「伝言メモ設定」の順になります。
- 応答メッセージを「おしゃべり」に設定しているときに、「おしゃべり」を消去した場合、応答メッセージは「標準」になります。

お知らせ

- 「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモ設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。この場合でも、伝言メモがいっぱいのときは、留守番電話または転送でんわとなります。
- 伝言メモ録音･録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。

<クイック伝言メモ>

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが設定されていないときに電話がかかってきても、その着信に限り用件を録音･録画できます。

1 着信中▶ (メモ)または▼

相手には応答メッセージが再生され、伝言メモの録音･録画が開始されます。

- ボタンロック中は、▼を1秒以上押します。
- すでに音声電話が5件、テレビ電話が2件、録音･録画されている場合は、伝言メモは動作しません。
- 「サイドボタン操作」を「閉じた時無効」に設定している場合は、FOMA端末を閉じているときに▼を押しても動作しません。

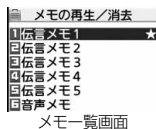
<メモの再生／消去>
<テレビ電話メモの再生／消去>

MENU 5 5

伝言メモ・音声メモ・テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

伝言メモ・音声メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶メモの再生／消去▶伝言メモまたは音声メモを選択

メモの再生／消去
1 伝言メモ1 ★
2 伝言メモ2
3 伝言メモ3
4 伝言メモ4
5 伝言メモ5
6 音声メモ

メモ一覧画面

「ピッ」という音が鳴って再生が始まります。

- メモ一覧画面では録音されている項目に「★」マークが付きます。
- 「受話音量」で設定した音量で再生されます。
- 再生が終わると「ピピッ」という音が鳴り、再生中の表示が消えます。
- 再生中はメモが録音された日付･時刻が表示されます。
- 相手が電話番号を通知してきたときは、伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されます。また、相手が電話帳に登録されていると名前も表示されます。
  ただし、以下の場合は名前の表示は行わず、電話番号だけが表示されます。
  ･シークレット登録された相手からの伝言メモを通常モードで再生したとき
  ･2in1をご利用中にAナンバー宛の伝言メモをBモード中に再生したとき（またはBナンバー宛の伝言メモをAモード中に再生したとき）
- 伝言メモの再生中に相手の電話番号が表示されているときは、☎を押して相手の電話番号に音声電話をかけることができます。また、✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信できます。

▼を使って再生するには

待受画面で▼を押すと、一番新しい伝言メモが再生されます。伝言メモが録音されていない場合は、音声メモが再生されます。

次のメモを再生するには

再生中に▼を押すごとに、次に新しい伝言メモ→一番古い伝言メモ→音声メモの順に再生されます。

再生を途中で止めるには

●(停止)またはCLRを押します。

テレビ電話伝言メモ・動画メモを再生／消去する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶テレビ電話メモの再生／消去▶テレビ電話伝言メモまたは動画メモを選択

ﾃﾚﾋﾞ電話ﾒﾓ再生／消去
1 ﾃﾚﾋﾞ電話伝言ﾒﾓ1 ★
2 ﾃﾚﾋﾞ電話伝言ﾒﾓ2
3 ﾃﾚﾋﾞ電話動画ﾒﾓ1
4 ﾃﾚﾋﾞ電話動画ﾒﾓ2
5 ﾃﾚﾋﾞ電話動画ﾒﾓ3
6 ﾃﾚﾋﾞ電話動画ﾒﾓ4
7 ﾃﾚﾋﾞ電話動画ﾒﾓ5

テレビ電話メモ一覧画面

- テレビ電話メモ一覧画面では録画されている項目に「★」マークが付きます。
- ｉモーションの再生音と同じ音量で再生されます。
- 再生中はメモが録画された日付･時刻が表示されます。

▼を使って再生するには

待受画面で▼を1秒以上押すと、一番新しいテレビ電話伝言メモが再生されます。テレビ電話伝言メモが録画されていない場合は、一番新しい動画メモが再生されます。

再生を途中で止めるには

●(■)またはCLRを押します。

メモ一覧画面･テレビ電話メモ一覧画面の機能メニュー

再生	再生します。
1件消去	▶YES ●再生中にiα(消去)を押しても、1件消去できます。

伝言メモ消去	メモ一覧画面では伝言メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモをすべて消去します。 ▶YES
動画メモ消去 ［テレビ電話メモ一覧のみ］	動画メモをすべて消去します。 ▶YES
全消去	メモ一覧画面では伝言メモ、音声メモ、テレビ電話メモ一覧画面ではテレビ電話伝言メモ、動画メモをすべて消去します。 ▶YES

キャラ電を利用する

キャラ電を相手に送信するための設定を行います。

●キャラ電についてはP.337参照。

通話ごとに設定する

キャラ電を相手に送信する画像に設定してテレビ電話をかけます。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面▶✉(テレビ電話)

相手の電話番号を入力し、✉(テレビ電話)を押してテレビ電話をかけます。

- 相手先の電話番号が電話帳に登録されているときは、Oを押して電話帳検索画面から選択して呼び出せます。
- Oを押して着信履歴、Oを押してリダイヤルから検索することもできます。

お知らせ

- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。

代替画像設定

キャラ電を「画像選択」の「代替画像選択」に設定します。

1 キャラ電表示画面・キャラ電一覧画面・キャラ電撮影画面▶iα(機能)▶代替画像設定

- キャラ電一覧画面ではMENU(代替)を押しても設定できます。

キャラ電設定

キャラ電通話の設定をします。通話中のテレビ電話にのみ有効です。

1 キャラ電通話中▶iα(機能)▶キャラ電設定▶以下の操作を行う

キャラ電切替	▶キャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●✻を押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 テレビ電話起動時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(全)またはパーツアクションモード(部)に切り替えます。 ●✉を押しても切り替えることができます。
内蔵代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「内蔵」の静止画に切り替えます。
自作代替画切替	相手に送信する代替画像を「画像選択」の「自作」の静止画に切り替えます。

テレビ電話に関する便利な機能

送信映像を切り替える

相手に送信する映像を、代替画像からカメラ映像に切り替えます。
キャラ電についてはP.337参照。

1 テレビ電話中▶MENU(画像)

相手にはカメラ映像が送信されます。
カメラ映像送信中は「 」が表示されます。

- もう一度MENU(代替)を押すと、カメラ映像から代替画像に切り替わります。

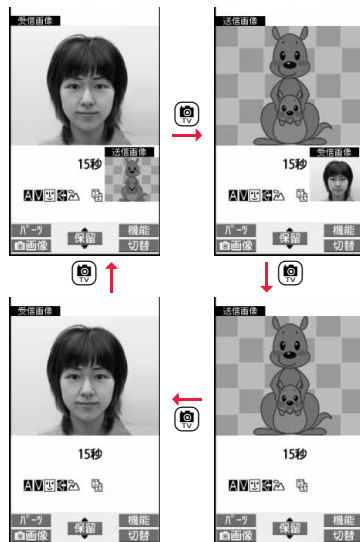
お知らせ

- 相手に送信する代替画像の優先順位は、「通話ごとの設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「画像選択」の順になります。
テレビ電話がかかってきた場合、相手が発信者番号を通知してこないときは「電話帳の設定」、「グループ設定」は無効になりますのでご注意ください。
- 代替画像を送信して通話しているときもデジタル通信料がかかります。

映像の表示位置を切り替える

受信映像と送信映像の表示位置を切り替えます。

1 テレビ電話中に(切替)を押す

- (切替)を押すごとに表示が切り替わります。

ズームする

テレビ電話起動時	広角

相手に送信するカメラ映像のズームを調節します。テレビ電話中のカメラの最大倍率は約4.4倍です。

1 テレビ電話中▶ でズーム倍率を調節

●テレビ電話を終了した場合は、ズームの設定は元に戻ります。

テレビ電話中の機能メニュー

項目	説明
音声電話切替	P.51参照
通話機切替	FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを設定します。(P.399参照)
DTMF送信・DTMF解除	キャラ電通話中にダイヤルデータを入力してDTMF(プッシュ信号)を送ることができるDTMF送信モードに切り替えます。キャラ電通話中のみ操作できます。 ●現在DTMF送信モードでない場合は「DTMF送信」、DTMF送信モードの場合は「DTMF解除」と表示されます。 ●DTMF送信モード中は、キャラ電のアクション操作はできません。 ●受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
テレビ電話設定	
受信画質設定	P.74参照
明るさ調節 テレビ電話起動時: 0	相手に送るカメラ映像の明るさを−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 ▶**明るさを選択**
ホワイトバランス テレビ電話起動時: オート	相手に送るカメラ映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 ▶**項目を選択** **晴天**.....屋外晴天下で通話するとき **曇天**.....曇天や日陰で通話するとき **オート**...ホワイトバランスを自動調整するとき **電球**.....電球照明下で通話するとき
色調切替 テレビ電話起動時: 通常	相手に送るカメラ映像の色調を切り替えます。 ▶**色調を選択**
ナイトモード テレビ電話起動時: OFF	露光を長くして、暗いところでも相手に送る映像が鮮明になるように設定します。 ▶**ON・OFF**
フォーカス設定 テレビ電話起動時: 風景	テレビ電話中のフォーカスを設定します。 ▶**接写・風景**
キャラ電設定	P.71参照
照明設定	画面の照明を常時点灯させるか、操作後約15秒間点灯させるかを設定します。 ▶**常時点灯・15秒点灯**
液晶AI	P.103参照
自局番号表示	自分の電話番号を表示します。
ボタン操作ガイド	テレビ電話中のボタン操作のガイドを表示します。

<テレビ電話ハンズフリー設定>

テレビ電話のハンズフリーについて設定する

テレビ電話開始時に自動的にハンズフリーに切り替えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**テレビ電話**▶**テレビ電話ハンズフリー設定**▶**ON•OFF**

- ハンズフリー設定中の動作、ハンズフリー切替についてはP.61参照。

<受信画質設定>

テレビ電話の画質を設定する

画面に表示される受信映像の画質を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**テレビ電話**▶**受信画質設定**▶**画質を選択**

- 「動き優先」は映像に動きがある場合に有効です。動きが少ない場合は「画質優先」に設定すると画質が向上します。
- テレビ電話中の機能メニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話にのみ有効です。

お知らせ

- テレビ電話中に電波状況が悪くなった場合、映像がモザイク状になるときがあります。

<画像選択>

テレビ電話の表示を変更する

相手に送信する画像を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**テレビ電話**▶**画像選択**▶**項目を選択**

応答保留選択 . . . . . . .応答保留中の画像を設定します。
通話保留選択 . . . . . . .通話保留中の画像を設定します。
代替画像選択 . . . . . . .カメラOFF時の代替画像(静止画またはキャラ電)を設定します。
伝言メモ選択 . . . . . . .伝言メモ録画中の画像を設定します。
伝言メモ準備選択. . . .伝言メモ応答メッセージ再生中の画像を設定します。
動画メモ選択 . . . . . . .動画メモ録画中の画像を設定します。

2 **画像を選択**

内蔵. . . . . .FOMA端末にあらかじめ保存されている静止画を相手に送信します。
自作. . . . . .状態に応じたメッセージと「ピクチャ貼付」で登録した静止画を合成したものを相手に送信します。
キャラ電 . . . .「代替画像設定」で選択したキャラ電を相手に送信します。(P.71参照)
(手順1で「代替画像選択」を選択した場合のみ表示されます。)

- ✉(デモ)を押すとデモ再生され、静止画またはキャラ電を確認できます。
- 「自作」または「キャラ電」の設定を変更するには、iα(機能)を押して「設定内容変更」を選択し、静止画またはキャラ電を選択します。「自作」を選択していた場合はフォルダを選択してから静止画を選択します。

お知らせ

- 「自作」で選択した静止画を削除しても、相手にはその静止画が表示されます。変更する場合は「設定内容変更」や「ピクチャ貼付」で設定してください。

通話ごとに設定する

テレビ電話をかけるときに相手に送信する画像を設定します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 **iα（ 機能 ）▶テレビ電話画像選択▶キャラ電**
- 通話ごとの設定を解除する場合は、「設定解除」を選択します。設定が終了します。

3 **キャラ電を選択**

＜音声自動再発信＞
テレビ電話がつながらなかった場合に音声電話で再発信する

テレビ電話をかけてつながらなかった場合、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

1 **MENU▶設定／サービス▶テレビ電話▶音声自動再発信▶ON・OFF**

お知らせ
- 音声電話の発信動作に切り替わった場合、音声電話料金になります。
- 相手が話し中や公共モード（ドライブモード）中などのためにテレビ電話がつながらなかった場合は、音声自動再発信は行いません。ただし、テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は、音声自動再発信を行います。

＜テレビ電話切替機能通知＞
電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えが可能な端末であることを相手に通知する機能です。
ご契約時は「開始」に設定されています。「テレビ電話切替機能通知」を開始に設定しておくと、電話をかけてきた相手がテレビ電話と音声電話を切り替えることができます。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所、または通話中は「テレビ電話切替機能通知」の操作はできません。

1 **MENU▶設定／サービス▶テレビ電話▶テレビ電話切替機能通知▶以下の操作を行う**

切替機能通知開始	▶YES▶OK
切替機能通知停止	▶YES▶OK
切替機能通知設定確認	テレビ電話切替機能の設定を確認します。 ▶OK

<パケット通信中着信設定>

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を選択する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**着信**▶**パケット通信中着信設定**▶**項目を選択**

テレビ電話優先……テレビ電話の着信画面を表示します。テレビ電話に応答するとパケット通信が切断されます。

パケット通信優先……テレビ電話着信を拒否し、通信を継続します。

留守番電話……かかってきたテレビ電話を留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ……かかってきたテレビ電話を転送先に転送します。

お知らせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスが未契約の場合は、「留守番電話」「転送でんわ」に設定していても「パケット通信優先」の動作になります。

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定･操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
  ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンを契約していると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話中に音声電話･テレビ電話･64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

FOMA端末では、FOMA端末(本体)の電話帳と、FOMAカードの電話帳の2種類の電話帳が利用できます。

			FOMA端末(本体)	FOMAカード
件数			1000件	50件
電話帳の登録項目	基本項目	名前(フリガナ)	○	○
		グループ	19グループ	10グループ
		電話番号	4件	1件
		電話番号アイコン	○	×
		メールアドレス	3件	1件
		メールアドレスアイコン	○	×
		住所	○	×
		位置情報	○	×
		誕生日	○	×
		メモ	○	×
		静止画	100件	×
		メモリ番号	000～999	×
	設定項目	電話／テレビ電話着信音	○	×
		着信バイブレータ	○	
		着信イルミネーション	○	
		着信イメージ	○	
		キャラ電	100件	
		メール着信音	○	
		メールバイブレータ	○	
		メールイルミネーション	○	
		応答メッセージ	○	
	電話帳指定設定	指定発信制限	○	×
		指定着信拒否		
		指定着信許可		
		指定転送でんわ		
		指定留守番電話		
	シークレットコード		○	×
	シークレットモード、シークレット専用モードでの登録		○	×

		FOMA端末(本体)	FOMAカード
グループの登録項目	グループ名	○	○
	電話／テレビ電話着信音	○	×
	着信バイブレータ		
	着信イルミネーション		
	着信イメージ		
	キャラ電		
	メール着信音		
	メールバイブレータ		
	メールイルミネーション		
	応答メッセージ		

○:登録できます。　　×:登録できません。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末にセットしても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

＜電話帳登録＞

電話帳を登録する

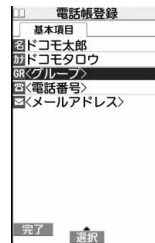
FOMA端末(本体)またはFOMAカードの電話帳に登録します。

1 **(1秒以上)▶本体・FOMAカード(UIM)**

名前の入力画面が表示されます。手順2へ進んで名前を入力します。

2 **以下の操作を行う**

- FOMA端末(本体)の電話帳の場合、で基本項目タブと設定タブを切り替えできます。

FOMA端末(本体)の場合

FOMAカードの場合

項目	説明
名 名前	相手の名前や会社名を、漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字などで入力します。 ▶**名前を入力** ●FOMA端末(本体)の場合、全角16文字/半角32文字まで入力できます。絵文字や記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角10文字/半角英数のみなら21文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角/全角を問わず先頭から10文字まで登録できます。
ｶﾅ フリガナ	フリガナを半角のカタカナ、英字、数字で入力します。 ▶**フリガナを編集** ●FOMA端末(本体)の場合、半角32文字まで入力できます。半角の記号も入力できます。 ●FOMAカードの場合、全角12文字/半角英数のみなら25文字まで入力できます。(半角カタカナは入力できません。)なお、半角と全角が混在している場合は、半角/全角を問わず先頭から12文字まで登録できます。 ●表示されているフリガナでよければ、修正する必要はありませんが、名前に入力した文字や入力方法によっては、フリガナに反映されないことがあります。 ●名前に「ゎ(小文字)」、「ヮ(小文字)」を入力すると、フリガナには「ﾜ(半角大文字)」(FOMA端末(本体)の場合)、「ワ(大文字)」(FOMAカードの場合)として表示されます。
GR グループ	FOMA端末(本体)には19個のグループ、FOMAカードには10個のグループがあります。 ▶**グループを選択** ●グループを選択していない状態で登録を完了した場合、「グループなし」に登録されます。
☎ 電話番号	FOMA端末(本体)には電話帳1件に4番号まで登録できます。それぞれの電話番号に、「携帯電話の番号」「会社の電話番号」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1番号のみ登録できます。 ▶**電話番号を入力** ●電話番号は市外局番から入力します。 ●26桁まで入力できます。ただし、「FOMAカード(青色)」には20桁まで入力できます。 ●(＊)を1秒以上押して、登録する電話番号にポーズ(p)を入力できます。ただし、電話番号の先頭にポーズ(p)を入力したり、連続しての入力はできません。また、電話番号の最後に入力したポーズ(p)は登録されません。 ●「＊」を電話番号の途中に入力した場合は、電話がかかりません。ただし、リダイヤル・発信履歴は残ります。 ●情報ダイヤルなどの「#」を使用した番号も登録できます。 ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)に電話番号を登録すると電話帳新規登録画面に「☎<電話番号>」が1つ増えます。別の電話番号を登録するときは、「☎<電話番号>」を選択します。
✉ メールアドレス	FOMA端末(本体)には電話帳1件に3アドレスまで登録できます。それぞれのメールアドレスに、「携帯電話のアドレス」「自宅のアドレス」などを区別するためのアイコンを設定できます。 FOMAカードには電話帳1件に1アドレスのみ登録できます。 ▶**メールアドレスを入力** ●半角の英字、数字、記号を使って50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。 ●FOMA端末(本体)にはシークレットコードも設定できます。(P.87参照) ▶**アイコンを選択** ●FOMA端末(本体)にメールアドレスを登録すると電話帳新規登録画面に「✉<メールアドレス>」が1つ増えます。別のメールアドレスを登録するときは、「✉<メールアドレス>」を選択します。

つづく

項目	説明
住所	▶郵便番号を入力▶住所を入力 ●郵便番号は7桁まで入力できます。 ●住所は全角50文字/半角100文字まで入力できます。また、絵文字も入力できます。 ●郵便番号に「〒」や「-」(ハイフン)は入力できません。
位置情報	▶項目を選択 **現在地確認から付加** . . . 現在地を測位して(P.306参照)位置情報を登録します。位置情報を確認し、●(確定)を押します。 **位置履歴から付加** . . . 位置履歴(P.310参照)から位置情報を選択して登録します。 **画像から付加** . . . 画像に登録されている位置情報を登録します。フォルダを選択し、画像を選択します。 **自局番号から付加** . . . 「自局番号表示」に登録している位置情報を登録します。端末暗証番号を入力し、●(選択)を押します。 ●登録済みの位置情報を削除する場合は「位置情報削除」を選択します。
誕生日	▶誕生日を入力 ●1800年1月1日から2099年12月31日まで入力できます。 ●誕生日はスケジュールでも確認できます。(P.380参照)
メモ	▶メモを入力 ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。また、絵文字も入力できます。
静止画	登録した静止画は、電話帳を呼び出したときに表示されます。 ▶項目を選択 **静止画選択** . . . データBOX内の静止画を登録します。 **静止画撮影** . . . 撮影した静止画を登録します。P.217手順2～手順3を行います。 ●登録済みの静止画を解除する場合は、「静止画解除」を選択します。 ●登録できる静止画は、画像サイズが待受(480×854)以下で最大300KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。 ●72×54ドットより大きい静止画を登録した場合、電話帳詳細画面には縮小されて表示されます。 ●240×180ドットより大きい静止画を登録した場合、着信画面には縮小されて表示されます。 ●「電話帳画像着信設定」を「ON」にしていると、登録した静止画が着信時に表示されます。ただし「着信イメージ」にも画像を登録している場合、着信時には「着信イメージ」に登録している画像が優先して表示されます。
メモリ番号	▶メモリ番号を入力 ●「000」～「999」の3桁を入力します。 ●あらかじめ「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号が入力されています。
電話/テレビ電話着信音	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。 ▶着信音選択 P.92手順2へ進みます。 ●登録済みの着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。
着信バイブレータ	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。 ▶バイブレータ選択▶バイブレータのパターンを選択 ●登録済みの着信バイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。

着信イルミネーション	電話帳の相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときのイルミネーションを設定します。 **▶イルミネーション選択▶項目を選択** ●登録済みの着信イルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。
着信イメージ	電話帳の相手から電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。 **▶着信イメージ選択▶画像の種類を選択▶フォルダを選択▶画像を選択** ●登録済みの着信イメージを解除する場合は、「着信イメージ解除」を選択します。
キャラ電	登録したキャラ電は、電話帳の相手とのテレビ電話時に代替画像として表示されます。 **▶キャラ電選択▶キャラ電を選択** ●登録済みのキャラ電を解除する場合は、「キャラ電解除」を選択します。
メール着信音	電話帳の相手からメールを受信したときの着信音を設定します。 **▶着信音選択** P.92手順2へ進みます。 ●登録済みのメール着信音を解除する場合は、「着信音解除」を選択します。
メールバイブレータ	電話帳の相手からメールを受信したときのバイブレータを設定します。 **▶バイブレータ選択▶バイブレータのパターンを選択** ●登録済みのメールバイブレータを解除する場合は、「バイブレータ解除」を選択します。
メールイルミネーション	電話帳の相手からメールを受信したときのイルミネーションを設定します。 **▶イルミネーション選択▶項目を選択** ●登録済みのメールイルミネーションを解除する場合は、「イルミネーション解除」を選択します。
応答メッセージ	電話帳ごとに伝言メモの応答メッセージを設定します。 **▶応答メッセージ選択▶応答メッセージを選択** ●登録済みの応答メッセージを解除する場合は、「応答メッセージ解除」を選択します。

3 ✉(完了)を押す

●名前を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

編集中の電話帳について

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中の電話帳が自動的に保存されます。充電して電話帳の編集を続けるか、充電済みの電池パックと交換したあとに、P.78手順1の操作を行って編集を中断した登録先を選択すると、再編集するかどうかの確認画面が表示されます。

再編集 . . . .電話帳編集の続きを行うことができます。

新規. . . . . .新しく他の電話帳を編集できます。この場合、編集中のデータは消去されません。新しい電話帳の登録終了後に電話帳登録を行うと、確認画面が再度表示されます。

●編集中データとして登録されているのは一番新しい1件のみです。

●編集中データを呼び出して電話帳の編集の続きを行っているときに、登録しないで編集を中止すると編集中データは消去されます。一度呼び出したら、最後まで登録を行ってください。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため、編集中の電話帳のデータはそのままで応対できます。

Ⓜを1秒以上押してメニューを切り替え、電話帳の編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、電話帳の編集画面に戻ります。

表示している電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

表示／選択している電話番号やメールアドレス、静止画をFOMA端末(本体)やFOMAカードの電話帳に登録します。

操作	登録可能な項目
電話番号を入力中	電話番号
リダイヤル表示中･発信履歴表示中･着信履歴表示中	電話番号
送信アドレス一覧表示中･受信アドレス一覧表示中	電話番号･メールアドレス
サイト表示中･画面メモ表示中	電話番号･メールアドレス
メッセージR/Fの本文表示中･メールの本文表示中	電話番号･メールアドレス
バーコードリーダーで読み取ったデータを表示中	電話番号･メールアドレス
トルカ表示中	電話番号･メールアドレス
現在地表示中	位置情報
位置履歴表示中	位置情報･電話番号･メールアドレス
現在地通知先表示中	名前･電話番号
静止画一覧表示中･静止画再生中	静止画

1 登録したい項目を表示／選択▶i α(機能)▶電話帳登録

- メール詳細画面から操作した場合は、機能メニューから「登録」を選択し、「電話帳登録」を選択します。
- 受信メールの送信元や同報先、送信メールの宛先を電話帳に登録する場合は、機能メニューから「登録」を選択し、「アドレス登録」を選択します。送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
- 静止画を電話帳に登録する場合は、機能メニューから「ピクチャ貼付」を選択し、「電話帳」を選択します。
- バーコードリーダーのコード読取結果画面で「電話帳登録」と表示されている場合、「電話帳登録」を選択すると読み取ったコードに付加されている電話番号やメールアドレス以外の情報も電話帳に入力されます。

2 本体･FOMAカード(UIM)▶登録方法を選択

新規登録 . . . P.78手順2へ進みます。

追加登録 . . . すでにある電話帳に追加登録します。FOMAカードの電話帳に登録するときは「上書き登録」と表示されます。

3 検索方法を選択▶電話帳を検索▶登録する電話帳を選択▶●(選択)

電話番号やメールアドレスなどが自動的に入力されます。

- 電話帳の他の項目を修正する場合は、P.78手順2参照。
- FOMA端末(本体)の電話帳に登録する場合、メモリ番号を変更すると、登録前の電話帳を元の内容のまま残し、登録後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

4 ✉(完了)▶YES

- FOMAカードの電話帳に登録する場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

お知らせ

- リダイヤル、発信履歴の「発番号設定」の情報は、電話帳に登録されません。発信者番号通知を設定するときは、電話番号に「186／184」を付けて登録してください。
- 登録できない文字はスペースに変換されたり削除されたりして登録されることがあります。
- サイトによっては電話帳登録できない場合があります。

<グループ設定>

グループを設定する

「会社」や「友達」などのグループや、「野球」や「陶芸」などの趣味ごとに、電話帳を分類して活用できます。グループごとに着信音やバイブレータ、イルミネーションなどを設定できます。

1 MENU▶電話帳▶グループ設定

- FOMAカードのグループには「 」が表示されます。
- 登録済みのグループ名、グループごとの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、i α(機能)を押して「グループ初期化」を選択し、「YES」を選択します。

2 グループを選んで[メール](編集)▶設定したい項目を選択▶内容を設定

- 「GRグループ名」を選択した場合はグループ名を入力します。全角10文字/半角21文字まで登録できます。ただし、FOMAカードのグループ名に全角／半角が混在しているグループ名を入力した場合は、全角／半角問わず最大10文字まで登録されます。
- その他の項目の操作についてはP.78手順2参照。ただし、FOMAカードのグループでは設定できません。
- 登録済みのグループを選択したり、[iα](機能)を押して「グループ設定確認」を選択すると設定を確認できます。ただし、FOMAカードのグループでは操作できません。

3 [メール](完了)を押す

＜電話帳検索＞

電話帳を利用して電話をかける

登録した電話帳を8つの検索方法で呼び出します。

1 [下]▶以下の操作を行う

- 一度検索したあとは、前回と同じ検索方法の画面が表示されます。[CLR]を押すと電話帳検索画面が表示されます。
- 「[MENU]▶電話帳▶電話帳検索」の操作を行っても電話帳検索画面が表示されます。

電話帳検索
1全検索
2フリガナ検索
3グループ検索
4メモリ番号検索
5名前検索
6電話番号検索
7アドレス検索
8ツータッチダイヤル検索

電話帳検索画面

全検索	すべての電話帳を表示します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.84参照)
フリガナ検索	相手のフリガナを先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶フリガナの一部を入力▶[決定] ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.84参照)
グループ検索	指定したグループに登録されている電話帳を表示します。 ▶グループを選択 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.84参照) ●グループの一覧画面で[iα](機能)を押すと、「グループ設定」の機能メニューが表示されます。
メモリ番号検索 [FOMA端末(本体)のみ]	電話帳に登録したときのメモリ番号で検索します。 ▶メモリ番号を入力 ●「000」～「999」の3桁を入力します。 ●一覧画面の上部にはタブが表示されます。(P.84参照) ●待受画面で[発信]を押して[下]を押すとメモリ番号発信画面が表示されます。メモリ番号を入力すると、そのメモリ番号に登録されている電話番号に音声電話をかけることができます。
名前検索	相手の名前を先頭の文字から入力して検索します。すべてを入力しなくても構いません。 ▶名前の一部を入力▶[決定]
電話番号検索	相手の電話番号の一部を入力して検索します。電話番号の途中だけでも検索できます。 ▶電話番号の一部を入力▶[決定] ●待受画面または通話中画面で電話番号の一部を入力し、[下]を押しても電話帳一覧画面が表示されます。
アドレス検索	相手のメールアドレスの一部を入力して検索します。メールアドレスの途中だけでも検索できます。 ▶メールアドレスの一部を入力▶[決定]
ツータッチダイヤル検索 [FOMA端末(本体)のみ]	メモリ番号000～009の電話帳一覧を表示します。 ●未登録やシークレット設定中の電話帳は<－－－>で表示されます。

2 電話帳を選択▶[発信]または[決定](発信)

- 同じ電話帳に複数の電話番号が登録されている場合や、「アドレス検索」を行った場合は、詳細画面で[左右]を押して電話番号を選択します。
- [メール](テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

電話帳

つづく

お知らせ

- 「グループ検索」「ツータッチダイヤル検索」以外の検索方法で何も入力せずにOを押すと、電話帳全検索となります。
- 「フリガナ検索」「メモリ番号検索」で入力した条件に該当する電話帳がない場合は、条件に最も近い電話帳が表示されます。

検索順について

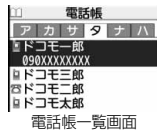
電話帳を登録するときに入力したフリガナによって次のような順で検索されます。
「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「数字(0〜9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
ただし、「全検索」「フリガナ検索」の場合は、次のような順で検索されます。
「50音(ア、イ、ウ、エ、オ、･･･ン)」→「英字(A、a、B、b、･･･Z、z)」→「フリガナの頭文字がスペースのもの」→「数字(0〜9)」→「記号」→「フリガナが登録されていないもの」
※メモリ番号で検索した場合はメモリ番号順で検索されます。

一覧画面について

「全検索」「フリガナ検索」「グループ検索」「メモリ番号検索」を行ったときは、一覧画面の上部にタブが表示されます。
「全検索」「フリガナ検索」の場合はフリガナの行ごとに、「メモリ番号検索」の場合はメモリ番号の100番ごとに、「グループ検索」の場合はグループごとに分類されます。

電話帳一覧画面

Oを押すと左右のタブ内の電話帳が表示されます。1つのタブ内に12件以上の電話帳がある場合は、MENU(▲ページ)、TV(▼ページ)または▲▼を押すと前後のページが表示されます。

- フリガナ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「ア」〜「ワ」、「英」、「他」タブに移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
  <例> 5を押すと「ナ」タブを表示します。続けて5を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
- グループ検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すとタブ内の各行の先頭に移動できます。また、続けて同じダイヤルボタンを押すと同じ行内で移動できます。
  <例> 5を押すと「ナ」行の先頭にカーソルが移動します。続けて5を押すごとに「ニ」「ヌ」…の先頭にカーソルが移動します。
- メモリ番号検索を行ったときは、一覧画面でダイヤルボタンを押すと「000〜」〜「900〜」タブに移動できます。
  <例> 5を押すと「500〜」タブに移動します。
- 一覧画面でを押すと、反転している名前に登録されている電話番号へ音声電話をかけることができます。また、(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。複数の電話番号が登録されているときは、電話番号の中で1番目に登録されている電話番号に発信します。
- FOMAカードに登録した電話帳には「」が表示されます。
- iコンシェルの情報が登録されている電話帳には「」が表示されます。
- 電話帳2in1設定がAの電話帳には「」、Bの電話帳には「」、共通設定の電話帳には「」が表示されます。(デュアルモード時のみ)
- GPS対応iアプリから電話帳を参照する場合、位置情報が登録されている電話帳には「」が表示されます。

詳細画面について

Oでタブを選ぶと登録内容の詳細が表示されます。

- FOMAカードに登録した電話帳の場合、メモリ番号欄には「」が表示されます。
- 発番号設定を「通知する」に設定している場合は「」が表示され、「通知しない」に設定している場合は「」が表示されます。
- 電話帳2in1設定がAの電話帳には「」、Bの電話帳には「」、共通設定の電話帳には「」が静止画の下に表示されます。(デュアルモード時のみ)
- マルチナンバーや着もじの設定がある電話帳の場合、項目一覧・電話番号の画面に設定内容が表示されます。

電話帳詳細画面
(項目一覧)

項目一覧

1番目に登録した電話番号とメールアドレス、住所、誕生日、メモが表示されます。iコンシェルの情報が登録されている場合は、住所、誕生日、メモの代わりにiコンシェルで取得した住所、URL、メモが表示されます。

電話番号

- 項目を選択すると電話をかけることができます。(P.83「電話帳を利用して電話をかける」手順2参照)

メールアドレス

●項目を選択すると宛先欄にメールアドレスが入力されたｉモードメールが作成されます。

個人情報

●住所を選択すると、「GPS設定」の「地図選択」で設定されているGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。住所を選んで(詳細)を押すと全画面表示になります。
●位置情報を選択すると位置情報の機能メニューが表示されます。(P.307参照)
●メモ、静止画を選択すると全画面表示になります。

ｉコンシェル情報

●住所を選択すると、「GPS設定」の「地図選択」で設定されているGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。住所を選んで(詳細)を押すと全画面表示になります。
●URLを選択して「ｉモードブラウザ」または「フルブラウザ」を選択し、「YES」を選択するとサイト、インターネットホームページを表示します。URLを選んで(詳細)を押すと全画面表示になります。
●メモを選択すると全画面表示になります。
●ｉコンシェルをご契約されていない場合は表示されません。

設定

●各項目を選択するとデモ再生されます。
(停止)またはCLRを押すとデモ再生が終了します。

電話帳一覧画面の機能メニュー

項目		説明
新規登録		電話帳を新規登録します。 P.78手順1へ進みます。
ｉモードメール添付		電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 P.130手順2へ進みます。
居場所を確認		「イマドコかんたんサーチ」のサイトへ接続します。 ▶YES
移動／コピー		
	microSDへコピー	P.346参照
	お預かりセンターに接続	P.124参照
ソート		表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●「昇順」または「降順」を選択すると逆順に並べ替えます。 ●一覧画面にタブが表示されているときは、ソートできません。
文字サイズ変更		電話帳や「電話帳設定」内などの文字サイズを切り替えます。(P.109「電話帳」参照)
赤外線／iC／BT送信		
赤外線送信		
	電話帳送信	P.360参照
	電話帳全件送信	P.361参照
iC送信		
	電話帳送信	P.362参照
	電話帳全件送信	P.363参照
Bluetooth送信		
	電話帳送信	Bluetooth通信で1件送信します。 ▶送信したいBluetooth機器を選択▶YES ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.397参照。
	電話帳全件送信	Bluetooth通信で全件送信します。 ▶送信したいBluetooth機器を選択 ▶端末暗証番号を入力▶YES ●「Bluetooth設定」の「全件転送パスワード設定」を「パスワード有り」に設定しているときは、端末暗証番号を入力したあとに認証パスワードを入力します。 ●Bluetooth機器が1台も登録されていない場合は、サーチするかどうかの確認画面が表示されます。 ●Bluetooth機器の登録や接続についてはP.397参照。

つづく

電話帳削除	P.88参照
シークレット設定・シークレット解除	電話帳をシークレットに設定／解除します。 ●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

<Bluetooth送信>

●FOMAカードの電話帳は送信できません。

●Bluetooth機能についてはP.395参照。

電話帳詳細画面の機能メニュー

発番号設定		P.56参照
プレフィックス		P.59参照
国際ダイヤルアシスト		P.58参照
テレビ電話画像選択		P.75参照
2in1発信		2in1のモードがデュアルモードの場合に相手に通知する番号を選択します。(P.426参照)
マルチナンバー		相手に通知する番号を選択します。(P.423参照)
着もじ		P.54参照
居場所を確認		P.85参照
電話帳編集		
	編集	P.87手順1へ進みます。
	電話番号並び替え・メールアドレス並び替え	▶電話番号またはメールアドレスを選択▶[方向キー]で順番を変更▶[決定キー](選択) ●詳細画面で[方向キー]を押して並び替える項目を選びます。選んだ項目によって選択できる機能メニュー項目は異なります。 ●続けて変更する場合は、上記の操作を繰り返します。 ▶[メールキー](完了)
移動／コピー		
	FOMAカードへコピー	P.392参照
	microSDへコピー	P.346参照
	本体へコピー	P.392参照
	お預かりセンターに接続	P.124参照
項目コピー		
	名前コピー	名前をコピーします。
	電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー・URLコピー	各項目をコピーします。 ●詳細画面で[方向キー]を押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって選択できる機能メニュー項目は異なります。
メール作成		
	ｉモードメール作成	メールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。 P.130手順3へ進みます。
	ｉモードメール添付	電話帳をｉモードメールに添付して送信します。 P.130手順2へ進みます。
	SMS作成	電話番号を宛先としたSMSを作成します。 P.174手順3へ進みます。
文字サイズ変更		電話帳や「電話帳設定」内などの文字サイズを切り替えます。(P.109「電話帳」参照)
電話帳指定設定		P.121参照

シークレットコード	シークレットコード登録をしている相手にｉモードメールを送るときには、相手のシークレットコードをメールアドレスに追加する必要があります。電話帳のメールアドレスにシークレットコードを設定しておくと、メールを送るときにそのシークレットコードが自動的に追加されます。 **▶端末暗証番号を入力▶コード設定** ●詳細画面でを押してシークレットコードを設定する電話番号またはメールアドレスを選びます。 ●シークレットコードを確認する場合は、「コード参照」を選択します。 ●シークレットコードを解除する場合は、「設定解除」を選択します。 **▶4桁のシークレットコードを入力▶YES** ●シークレットコードを設定すると機能メニューの「シークレットコード」に「★」マークが付きます。 ●シークレットコードは数字4桁で入力してください。「0000」は設定できません。
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
ボタン長押し登録	P.386参照
赤外線／iC／BT送信	
赤外線送信	
電話帳送信	P.360参照
電話帳全件送信	P.361参照
iC送信	
電話帳送信	P.362参照
電話帳全件送信	P.363参照
Bluetooth送信	
電話帳送信	P.85参照
電話帳全件送信	P.85参照
電話帳削除	P.88参照
シークレット設定・シークレット解除	P.86参照

お知らせ

<シークレットコード>

- FOMAカードの電話帳には、シークレットコードを設定できません。
- 送信先のメールアドレスが「電話番号」または「電話番号@docomo.ne.jp」のときのみシークレットコードが追加されます。他のメールアドレスにはシークレットコードは追加されません。
- メールアドレスを「電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールに返信ができなくなります。「電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

＜電話帳修正＞

電話帳を修正する

1 電話帳詳細画面▶MENU（編集）▶修正したい項目を選択▶内容を修正

- 電話帳の修正方法についてはP.78手順2参照。
- FOMA端末（本体）の電話帳を修正した場合、メモリ番号を変更すると、修正前の電話帳を元の内容のまま残し、修正後の内容を別のメモリ番号で登録できます。

2 （完了）▶YES

- FOMAカードの電話帳を修正した場合、上書きするときは「上書き登録」、上書きしないで新しい電話帳として登録するときは「追加登録」を選択します。

＜電話帳削除＞

電話帳を削除する

電話帳詳細画面から削除する

1 電話帳詳細画面▶ i α(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

電話番号削除・項目削除	▶YES ●詳細画面で ◯ を押して削除する項目を選びます。 ● i コンシェルで取得した情報は削除できません。
1件削除	▶YES

電話帳一覧画面から削除する

1 電話帳一覧画面▶ i α(機能)▶電話帳削除▶以下の操作を行う

1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい電話帳にチェック▶ ✉ (完了)▶YES ● i α(機能)を押して「タブ内全選択／全選択／タブ内全選択解除／全選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。 ●シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を選択した場合は、「全削除」と同様の操作を行います。
タブ内全削除	表示しているタブ内のすべての電話帳を削除します。 ▶YES
全削除	シークレット登録された電話帳を含むすべての電話帳を削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

＜電話帳登録件数＞

電話帳の登録状況を確認する

1 MENU ▶電話帳▶電話帳登録件数

本体
電話帳 . . . . FOMA端末(本体)に登録されている電話帳の件数
シークレット . . . . . シークレット登録されている電話帳の件数(シークレットモード／シークレット専用モード中に表示)
静止画 . . . . 静止画が登録されている電話帳の件数
キャラ電 . . . . キャラ電が登録されている電話帳の件数
ボイスダイヤル . . . ボイスダイヤルに設定されている電話帳の件数
追加残 . . . . ☎ :電話番号があと何件登録できるかを表示
✉ :メールアドレスがあと何件登録できるかを表示
FOMAカード(UIM)
電話帳 . . . . FOMAカードに登録されている電話帳の件数

お知らせ

●2in1をご利用中は、設定中のモードで利用できる電話帳の件数が表示されます。(P.427参照)

＜ツータッチダイヤル＞

少ないダイヤル操作で電話をかける

FOMA端末(本体)の電話帳のメモリ番号「000」～「009」に登録した相手には、メモリ番号の下1桁と ✆ を押すだけで電話をかけることができます。

1 ダイヤルボタン(0 ～ 9)▶ ✆ または ◉ (発信)

● ✉ (ﾃﾚﾋﾞ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ

●電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号に発信されます。
●メモリ番号000～009の電話帳に「指定発信制限」を設定するときは、1番目の電話番号を設定してください。

お知らせ
- メモリ番号000～009の電話帳をシークレット登録したときは、シークレットモードまたはシークレット専用モードで発信してください。

<ボイスダイヤル>
音声で電話帳を呼び出す

相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけます。

ボイスダイヤル設定

すでに登録してあるFOMA端末(本体)の電話帳から100件まで登録できます。

1 **MENU▶電話帳▶電話帳設定▶ボイスダイヤル設定▶<新規登録>**
- ✉(編集)を押すと登録済みのボイスダイヤル名を編集できます。手順3へ進みます。
- 登録済みのボイスダイヤルを削除するには、iα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **電話帳を検索▶電話帳を選択**

前回利用した検索方法の画面が表示されます。
- ボイスダイヤル一覧に登録されている電話帳には「★」マークが付きます。

3 **ボイスダイヤル名を入力**
- 半角のカタカナを使って22文字まで入力できます。
- 電話帳のフリガナ(カタカナのみ)がボイスダイヤル名として表示されます。認識しやすい言葉に修正してください。

お知らせ
- 本機能で設定したボイスダイヤル名はボイスダイヤル呼出にのみ有効です。音声読み上げ時は電話帳に登録されているフリガナ(名前)が読み上げられます。
- 似ているボイスダイヤル名が多く登録されているときやボイスダイヤル名が短いと、認識率が低下し間違ったボイスダイヤル(電話帳)を呼び出すことがあります。この場合、別のボイスダイヤル名で登録をやり直してください。

お知らせ
- ボイスダイヤル名として「ボイスセッテイ」は登録できません。

ボイスダイヤル呼出で電話をかける

ボイスダイヤル一覧に設定した電話帳を音声で呼び出します。「音声読み上げ設定」を「ON」に設定して「ボイスダイヤル」にチェックを付けておくと、操作を音声ガイダンスで案内します。

1 **(1秒以上)▶音声認識開始音が鳴ったらボイスダイヤル名を話す**

音声認識開始音が鳴ってから4秒以内に話し始めてください。
ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。
- 音声認識開始音の音量は変更できません。また、マナーモード中は音声認識開始音は鳴りません。
- 「ボイス設定」と話すと、ボイス設定の画面が表示されます。(P.90参照)
- 「ボイスダイヤル自動発信」が「ON」に設定されている場合、ボイスダイヤルが音声認識されるとボイスダイヤル自動発信の画面が表示されます。約2秒後に自動的に発信します。

2 **認識結果を選んでまたは●(発信)を押す**

選択されている電話帳の1番目の電話番号に発信します。
- ✉(詳細)を押すと電話帳詳細画面が表示されます。電話番号を選んでまたは●(発信)を押すと音声電話をかけることができます。また、✉(テレビ電話)を押すとテレビ電話発信になります。

お知らせ
- 発声するときの送話口と口の距離は、10cm程度にしてください。送話口から離れた状態ではうまく音声が認識できない場合があります。
- なるべくはっきりと発声してください。
- 発声の前後に、咳払い、「エー」、舌打ち音、息の音、その他雑音など、ボイスダイヤル名の発声とは無関係の音を出さないでください。
- 周囲の雑音の少ない、なるべく静かな場所で発声してください。
- 発声するときに送話口の穴を指でふさがないでください。また、ボタンを押したり、こすったりしないでください。

電話帳

イヤホンマイクを使ってボイスダイヤルを呼び出す

あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定し、FOMA端末を開いた状態にしておきます。

1 イヤホンマイク(別売)のスイッチを1秒以上押す

2 P.89「ボイスダイヤル呼出で電話をかける」の操作を行う

- [発信]または[電源]の代わりにイヤホンマイクのスイッチを押しても発信できます。

Bluetooth機器を使ってボイスダイヤルを呼び出す

FOMA端末を閉じたままでもボイスダイヤルを呼び出すことができます。あらかじめ「ボイスイヤホン発信」を「ON」に設定し、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービスでBluetooth機器と接続しておきます。

- ハンズフリーサービスの場合は、Bluetooth機器が音声認識機能に対応している必要があります。

1 Bluetooth機器のスイッチを押す

- FOMA端末を閉じているときは、[▲]を1秒以上押してもボイスダイヤルを呼び出せます。

2 音声ガイダンスに従ってボイスダイヤルを呼び出す

ボイスダイヤルが音声認識されると、認識結果が表示されます。

- 発信を通知する音声ガイダンス終了後、約2秒後に自動的に発信します。

ボイス設定

1 [MENU]▶設定/サービス▶その他▶ボイス設定▶以下の操作を行う

項目	内容
ボイスダイヤル自動発信	ボイスダイヤルで呼び出した電話番号に自動的に電話をかけます。 ▶ON・OFF
ボイスイヤホン発信	イヤホンマイク(別売)やワイヤレスイヤホンセット 02(別売)を使ってボイスダイヤル呼出を行います。 ▶ON・OFF
音声読み上げ設定	P.374参照
音声読み上げ音量	P.375参照
音声読み上げ速度	P.375参照
音声読み上げ出力先	P.375参照
音声読み上げ有効設定	P.375参照

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

＜着信音選択＞

着信音を変える

着信音を着信の種類ごとに設定します。
ｉモーションを選択すると、着信時にｉモーションが再生され、音声が流れます。(着モーション)

- 着信音は、PCM音源　128和音　ADPCM対応です。
- 着信音を電話帳ごとに設定するにはP.78「電話帳登録」、グループごとに設定するにはP.82「グループ設定」参照。

■着信音一覧(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名・作曲者名
着信音1	―	―
着信音2	―	―
着信音3	―	―
着信音4	―	―
着信音5	―	―
Rush & Chase	Rush & Chase	―
Seaside Resort	Seaside Resort	―
おもちゃの兵隊の行進※	おもちゃの兵隊の行進	作曲：JESSEL LEON
サマータイム	サマータイム	作曲：GERSHWIN GEORGE
トリッチ・トラッチ・ポルカ※	トリッチ・トラッチ・ポルカ	作曲：STRAUSS JUN JOHANN
SOMEDAY MY PRINCE WI	SOMEDAY MY PRINCE WILL COME	作曲：CHURCHILL FRANK E
ソナチネ第1番／第4楽章※	ソナチネ第1番／第4楽章	作曲：WOLFGANG AMADEUS MOZART
ペール・ギュント 第1組曲 朝	ペール・ギュント 第1組曲 朝	作曲：GRIEG EDVARD HAGERUP
黒電話	―	―
Steelpan	―	―
Minimal※	―	―
Documentary※	―	―
Magical Stick※	―	―
Smart Beep	―	―
ウクレレ	―	―
ウォータードロップ	―	―

※ 3Dサウンド対応。3DサウンドについてはP.93参照。
(注) 作詞者名・作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。曲名が長い場合、画面サイズの関係で曲名をすべて表示できないことがあります。

■ ｉモーション(プリインストール)

表示	曲名	作詞者名・作曲者名
美ら海 クマノミと仲間	美ら海 クマノミと仲間たち	―

1 **MENU▶設定／サービス▶サウンド▶着信音選択▶着信の種類を選択**

- 項目を選択して✉(デモ)を押すと、実際に再生／表示される内容を確認できます。

2 **着信音▶着信音の種類を選択**

メロディ ……メロディを着信音に設定します。
ミュージック …着うたフル®を着信音に設定します。
ｉモーション …ｉモーションを着信音に設定します。(着モーション／着うた®)
おしゃべり ……「おしゃべり機能」で録音した音を着信音に設定します。設定が終了します。
OFF ……………着信音をOFFにします。設定が終了します。

3 **フォルダを選択▶着信音を選択**

- 手順2で「ミュージック」を選択した場合は、「まるごと着信音設定」または「オススメ着信音設定」を選択します。(P.264参照)
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

お知らせ

- ●「電話」「テレビ電話」を選択し、「着信画面」を選択すると、着信画面を設定できます。P.100手順2へ進みます。
- ●「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」を選択し、「メール着信画面」を選択すると、メール着信画面を設定できます。P.99「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- ●着信音の優先順位は、「音声読み上げ設定」→「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信音選択」(付加番号へ着信した場合は「マルチナンバー」の「着信音設定」、2in1を利用中にBナンバーへ着信した場合は「2in1設定」の「Bナンバー着信設定」)の順になります。
- ●本機能の設定と「画面表示設定」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の着信音や画像が再生/表示されることがあります。
- ●着信音に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。
- ●映像と音を含んだｉモーションをメール着信音に設定した場合、CLRなどを押すと着信音を停止できます。
- ●映像と音を含んだｉモーションを着信音(着モーション)に設定した場合、着信時には「画面表示設定」よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、「画面表示設定」で設定した画像が表示されます。
- ●映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には本機能よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した着信音が鳴ります。
- ●映像のあるｉモーションは「ｉコンシェル」には設定できません。
- ●異なる種類のｉモードメール･SMS、チャットメール、メッセージR/Fを同時に受信した場合の着信音の優先順位は、「チャットメール」→「ｉモードメール･SMS」→「メッセージR」→「メッセージF」の順になります。同じ種類のメールを同時に受信した場合は、最後に受信したメールに対応した着信音が鳴ります。
- ●ダウンロードしたメロディやメールに添付されているメロディ、メールへの添付･FOMA端末外への出力が禁止されているメロディには、あらかじめ再生部分が指定されていることがあります。再生部分が指定されたメロディを着信音などに設定したときは指定された箇所のみが再生されます。

<メロディ効果> MENU 6 4

着信音やメロディなどの音響効果を設定する

メロディ再生音、着信音、効果音、ｉモーション再生音に音響効果を加えるかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定/サービス**▶**サウンド**▶**メロディ効果**▶**以下の操作を行う**

ステレオ･3Dサウンド設定	3次元の立体音響をステレオイヤホンマイク(別売)から再生します。ｉアプリの効果音や着信音などに有効です。 ▶**ON･OFF**
再生位置選択	着信音やアラーム音などに設定したメロディの再生開始位置を設定します。 ▶**項目を選択** **フルコーラス再生**．．．メロディの最初から再生します。 **ポイント再生**．．．．．．メロディに設定された開始位置から再生を開始します。

3Dサウンドとは

ステレオイヤホンマイクを使用して、立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。3Dサウンド対応のｉアプリによるゲームや着信音、ｉモーションを臨場感あふれるサウンドでお楽しみいただけます。

お知らせ

- ●個人差により、立体感が異なる場合があります。違和感を感じる場合は、「ステレオ･3Dサウンド設定」を「OFF」に設定してください。

<バイブレータ>

着信を振動で知らせる

電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**着信**▶**バイブレータ**▶**着信の種類を選択**▶**バイブレータのパターンを選択**

- 「メロディ連動」に設定すると、メロディに登録されている振動パターンに合わせて振動します。
- 選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」を選択した場合は、振動しません。
- 「バイブレータ」を「OFF」以外に設定中は待受画面に以下のアイコンが表示されます。
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかを設定
  - ：「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定
  - ：「電話」「テレビ電話」のいずれかと、「メール」「チャットメール」「メッセージR」「メッセージF」「ｉコンシェル」のいずれかを設定

お知らせ

- バイブレータの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「バイブレータ」の順になります。
- 「メロディ連動」に設定しても、振動パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は「パターン2」で振動します。
- バイブレータに設定して机などの上に置くと、電話がかかってきたとき振動で落下する恐れがありますのでご注意ください。

<おしゃべり機能>

録音した音を着信音などに使用する

FOMA端末で録音した音を各種着信音（2in1のBナンバー着信音を含む）、応答／通話中保留音、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音、伝言メモの応答メッセージに設定できます。
約15秒間、1件のみ録音できます。

1 MENU▶**LifeKit**▶**伝言メモ／音声メモ**▶**おしゃべり機能**▶**録音**

- 録音を途中でやめるときは●（停止）、または CLR を押します。それまでの録音内容は保存されます。
- 録音時間（約15秒間）が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。
- 録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音を停止します。（それまでの録音内容は保存されます。）
- 録音した音を再生するには「再生」を選択します。再生を途中でやめるときは●（停止）、または CLR を押します。
- 録音した音を消去するには「消去」を選択し、「YES」を選択します。

<メロディコール設定>

呼び出し音を変える

メロディコールとは、音声電話をかけてきた相手に流れる「プルルル」という呼び出し音をお好みの楽曲などに変更できるサービスです。
詳しくは「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。

- メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**着信**▶**メロディコール設定**▶**YES**▶**画面の表示に従って操作**

お知らせ

- テレビ電話からの発信にはメロディコールは流れません。
- サイトへ接続するかどうかの確認画面で「YES」を選択するとｉモードサイトに接続されます。設定サイトはパケット通信料無料ですが、IPサイト、ｉモードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

<ボタン確認音> MENU 3 0

ボタンを押したときの音を設定する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**サウンド**▶**ボタン確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- ボタン確認音の音量は変更できません。
- 本機能を「OFF」に設定したときは、電池残量確認音（P.42参照）や各種警告音も鳴りません。
- ▲を押したときや、着信中、ｉモーション再生中、ムービー再生中などは、ボタン確認音は鳴りません。
- FOMA端末を閉じた状態で▼を押した場合は、P.108「確認機能設定」に従って動作します。

<充電確認音>

充電開始／終了時の音を設定する

充電開始、終了時に「ピピッ」と確認音を鳴らします。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**サウンド**▶**充電確認音**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 充電確認音の音量は変更できません。
- 電源を切っているときや、待受画面以外を表示中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は、充電確認音は鳴りません。

<通話品質アラーム> MENU 7 5

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

電波の状態が悪く、途中で通話が切れそうなとき、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**通話**▶**通話品質アラーム**▶**アラームを選択**

アラームなし ‥‥お知らせしません。
アラーム高音 ‥‥高音のアラームを鳴らしてお知らせします。
アラーム低音 ‥‥低音のアラームを鳴らしてお知らせします。

お知らせ

- 急に電波の状態が悪くなったときは、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

<メール／メッセージ鳴動>

メールやメッセージR/Fの着信音が鳴る時間を設定する

ｉモードメール、SMS、チャットメール、メッセージR/F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音が鳴る時間を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**サウンド**▶**メール／メッセージ鳴動**▶**メールやメッセージの種類を選択**▶**ON・OFF**▶**鳴動時間（秒）を入力**

- 「01」～「30」の2桁を入力します。

＜イヤホン切替設定＞ MENU 5 1

イヤホンからのみ着信音を鳴らす

イヤホンマイク(別売)を接続したとき、着信音やアラームの鳴る場所を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス▶サウンド▶イヤホン切替設定▶イヤホンとスピーカー・イヤホンのみ**

お知らせ

- 「イヤホンのみ」に設定していても、着信中は着信音が鳴って約20秒後にイヤホンとスピーカーの両方から鳴ります。ただし、電話やメールなどの着信時やアラーム通知時以外の操作で着信音を鳴らしている場合は、約20秒たってもスピーカーから音は鳴らずにイヤホンのみから音が鳴ります。
- 「イヤホンのみ」に設定していても、イヤホンマイクを接続していないときや、カメラでの撮影開始時は、スピーカーから音が鳴ります。
- 以下の場合は本機能の設定に関わらず、イヤホンマイクを接続しているときはイヤホンから、接続していないときはスピーカーから音が鳴ります。
  ・ワンセグ視聴中　・ビデオ再生中　・ｉモーション再生中
  ・ムービー再生中　・メロディ再生中　・ｉアプリ起動中
  ・ミュージックプレーヤーで音楽を再生中
  ・Music&Videoチャネルで番組を再生中
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。
- 通話中にイヤホンマイクのコードをFOMA端末に近づけると、雑音が入ることがあります。

＜マナーモード＞

電話から鳴る音を消す

着信音やボタン確認音などの音がFOMA端末から鳴らないようにボタン1つで設定できます。
マナーモード設定中の動作は「マナーモード選択」で「マナーモード」、「スーパーサイレント」、「オリジナルマナー」の3種類から選べます。
「マナーモード」、「スーパーサイレント」設定中、または「オリジナルマナー」で「通話中マイク感度」を「アップ」に設定中は、通話中に小さな声で話しても相手に聞こえる声が大きくなります。

1 **#を1秒以上押す**

「マナーモード選択」で選択したマナーモードに設定されます。

- 通話中、呼び出し中に#を1秒以上押してもマナーモードに設定されます。
- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードに設定されます。
- マナーモードに設定中は「 」が表示されます。また、「マナーモード選択」で設定した内容が表示されます。
  V：「バイブレータ」でお知らせ
  S・S・S：「着信音量」を「消去」に設定

お知らせ

- マナーモード設定中でも、カメラのシャッター音・フォーカスロック音は鳴ります。
- マナーモード設定中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「着信音量」の「電話」で設定した音量でメロディが鳴ります。「消去」、「ステップ」に設定したときはレベル2で鳴ります。

お知らせ

- マナーモード設定中に以下の操作を行うと、音声や音楽を再生するかどうかの確認画面が表示されます。
  ・ワンセグの視聴　・ビデオの再生　・ｉモーションの再生
  ・ムービーの再生　・ミュージックプレーヤーでの音楽再生
  ・Music&Videoチャネルでの番組再生
  「YES」を選択すると各プレーヤーで設定した音量で再生されます。音量を変更した場合、次回も設定した音量で再生されます。
- イヤホンマイク（別売）を接続しているときはイヤホンから音が鳴ります。マナーモード設定中に音声や音楽を再生する際の確認画面は表示されません。また、各プレーヤーで音声や音楽などを再生中にイヤホンマイクを外しても、スピーカーから音は鳴りません。
- マナーモード設定中に受信メールの添付メロディを再生する場合は、「着信音量」の「電話」を「消去」に設定していると、イヤホンマイク（別売）を接続していてもイヤホンからメロディは鳴りません。

マナーモードを解除するには

#を1秒以上押します。通話中、呼び出し中は「ピピッ」という音が鳴り、解除した旨のメッセージが表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、▼を1秒以上押してもマナーモードが解除されます。

<マナーモード選択>

マナーモードを選択する

マナーモード設定中の動作を3種類から選択します。

■マナーモード設定中の動作

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
伝言メモ	伝言メモ設定値		ONまたはOFF
バイブレータ※1	ON		ONまたはOFF
電話着信音量	消去		消去〜レベル6・ステップ①
メール着信音量	消去		消去〜レベル6・ステップ②
アラーム音量※2	消去		消去〜レベル6・ステップ
メモ確認音	ON	OFF	ONまたはOFF③
ボタン確認音	OFF		ONまたはOFF④
通話中マイク感度	アップ		標準またはアップ
低電圧アラーム（電池切れアラーム）	OFF		ONまたはOFF ONのときは①と同じ設定値で動作※3
着信音選択中の確認音	消去		①・②と同じ設定値で動作
応答保留音	消去		①と同じ設定値で動作※4
通話中保留音	消去		①と同じ設定値で動作※5
トルカ取得音・取得失敗音	消去		①と同じ設定値で動作
おしゃべり録音時の確認音	ON	OFF	③と同じ設定値で動作
電池残量確認音	消去		消去
音声認識開始音	消去		消去
不在着信・新着メールの確認音（電子音）	消去		①と同じ設定値で動作※6
不在着信・新着メールの確認音（ボイス）	消去		①と同じ設定値で動作※4
添付メロディの鳴動音	消去		消去
デコメアニメ®の効果音	消去		消去
各種警告音	消去		④と同じ設定値で動作
スケジュールアラーム	消去		①と同じ設定値で動作

つづく

	マナーモード	スーパーサイレント	オリジナルマナー
ToDoアラーム	消去	消去	①と同じ設定値で動作
視聴予約アラーム	消去	消去	①と同じ設定値で動作※7
録画予約アラーム	消去	消去	①と同じ設定値で動作※8
カメラのシャッター音・フォーカスロック音	レベル4	レベル4	レベル4
シャッター音選択中の確認音	OFF	OFF	①と同じ設定値で動作※4
「テレビ電話ハンズフリー設定」	OFF	OFF	OFF
音声読み上げ音量	消去	消去	消去
Flash画像の効果音	消去	消去	消去
ｉウィジェット起動時の効果音	消去	消去	①と同じ設定値で動作※4

※1 以下の音を振動でお知らせします。
着信音・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラーム音
バイブレータのパターンはP.94での設定と同じになります。ただし、P.94の設定を「OFF」にした場合は、「パターン2」で振動します。
不在着信、新着メール確認音
不在着信または新着メールがあるときは約1秒間振動します。不在着信も新着メールもないときは約0.2秒間振動します。
※2 P.377「マナーモード優先」を「優先しない」に設定しているときは、アラームで設定した音量で音が鳴ります。
※3 ①が「消去」のときはレベル1で鳴ります。
※4 ①が「ステップ」のときはレベル2で鳴ります。
※5 ①が「消去」以外のときはレベル1で鳴ります。
※6 ①が「消去」以外のときはレベル6で鳴ります。
※7 P.242「マナーモード優先」を「優先しない」に設定しているときは、視聴予約で設定した音量で音が鳴ります。
※8 ①が「ステップ」のときは鳴りません。

電話やメールの着信をバイブレータでお知らせする標準的な「マナーモード」、受話口から鳴る確認音なども消去する「スーパーサイレント」、動作をお好みで設定できる「オリジナルマナー」から選択できます。

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶マナーモード選択▶マナーモード・スーパーサイレント・オリジナルマナー▶以下の操作を行う

伝言メモ	▶ON・OFF ●「ON」を選択しても、P.68の「伝言メモ設定」を「OFF」に設定していると、呼出時間は約13秒になり変更できません。 ●伝言メモ設定についてはP.68参照。
バイブレータ	電話がかかってきたときやメールを受信したときに振動でお知らせします。 ▶ON・OFF ●バイブレータについてはP.94参照。
電話着信音量	音声電話、テレビ電話の着信音量を調節します。 ▶ で音量を調節 ●着信音量についてはP.65参照。
メール着信音量	ｉモードメール、SMS、メッセージR/F、ｉコンシェルのインフォメーションを受信したときの着信音量を調節します。 ▶ で音量を調節 ●着信音量についてはP.65参照。
アラーム音量	▶ で音量を調節 ●アラームについてはP.376参照。
メモ確認音	伝言メモの再生時、音声メモの録音・再生時、動画メモの録画時の確認音を鳴らします。 ▶ON・OFF
ボタン確認音	▶ON・OFF ●ボタン確認音についてはP.95参照。
通話中マイク感度	▶標準・アップ

低電圧アラーム	▶ON・OFF ●低電圧アラーム(電池切れアラーム)についてはP.43参照。

2 ✉()を押す

<画面表示設定> MENU 5 6

画面の表示を変更する

待受画面を設定する

ディスプレイに表示される待受画面を設定します。指定したフォルダの画像をランダムに待受画面に表示したり、FOMA端末で撮影した動画やサイトから取得したｉモーションなどを待受画面に設定したりできます。

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶画像の種類を選択**

- 「カレンダー／スケジュール」を選択した場合は、表示形式を選択し、「背景画像あり」または「背景画像なし」を選択します。「背景画像なし」を選択すると設定が終了します。
- 「ランダム待受」を選択した場合は、フォルダを選択し、待受画面切替の間隔を「1時間ごとに変更」または「日替わり」から選択します。設定が終了します。
- 「ｉアプリ待受画面」を選択した場合は、ｉアプリを選択します。設定が終了します。

2 **フォルダを選択▶画像を選択**

- 待受画面に表示されるとき、画面より小さいサイズの画像はサイズによって等倍表示または画面サイズに合わせて拡大表示されます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

カレンダー／スケジュールを設定したときは

「カレンダー＋スケジュール」の場合

待受画面に当日のスケジュール(10件まで)や、設定した表示形式のカレンダーを表示できます。簡単な操作でスケジュールやカレンダーを確認したり、スケジュールの設定(P.379参照)ができます。

待受画面で●を押すと、スケジュールやカレンダーの操作が可能になります。操作したい項目を選んで●(選択)を押します。

- スケジュールを選択すると、◎で前後のスケジュールを確認できます。
  ●(選択)を押すとスケジュール詳細画面を表示できます。
- カレンダーを選択すると、◎で前後のカレンダーを表示できます。
  ●(選択)を押すとスケジュールを設定できます。

自作アニメ、アニメーションGIFを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときにアニメーションで表示され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

Flash画像を設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、Flash画像再生中に⌒を押したときなど、画像が静止したときの画面が待受画面として表示されます。

- 時計などを表示するFlash画像を設定している場合、停止中は日付･時刻も更新されません。⌒を押すなどしてFlash画像を再生すると、正しい日付･時刻になります。
- プログレッシブ型のFLVを含んだFlash画像を設定した場合、FLVは再生されません。

ｉモーションを設定したときは

待受画面を表示したとき、待受画面表示中に⌒を押したとき、FOMA端末を開いたときに再生され、最初の1コマ目が待受画面として表示されます。

- 再生中に◎または▲▼を押すと、音量を調節できます。
  ●、✉、iα、MENU、📷、◎、CLR、✆、⌒を押すと、再生が終了します。
- マナーモード中に再生すると音声は再生されません。

待受画面のアイコンなどを非表示にするには

待受画面で[クリア]を押します。
カレンダー、スケジュール、状態表示アイコン、お知らせアイコン、貼り付けアイコンが非表示になります。もう一度[クリア]を押すと、アイコンなどが表示されます。
ただし、Flash画像を待受画面に設定中は、以下の動作になります。
・Flash画像の再生中に[クリア]を押すと、一時停止になります。
もう一度[クリア]を押すと、アイコンなどが非表示になります。

お知らせ

- スケジュールの一覧には、開始時刻前の当日のスケジュール、終日設定された当日のスケジュールが表示されます。祝日は表示されません。
- ｉモーションによっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受（480×854）を超える静止画や500Kバイトを超える静止画は待受画面に設定できません。
- 「ランダム待受」で選択したフォルダに待受画面に設定できない画像がある場合、プリインストール画像が表示されることがあります。
- 画像やｉモーションによっては、待受画面に設定できない場合やランダム待受で表示できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。
- 待受画面を表示すると、時計などのFlash画像やアニメーションGIFは一定時間再生したあとに停止します。

ウェイクアップ画面を設定する

電源を入れたときに表示する画像やメッセージを設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶ウェイクアップ表示▶画像の種類を選択**

- 「メッセージ」を選択した場合は、メッセージを入力します。全角50文字/半角100文字まで入力できます。
- 「マイピクチャ」、「ｉモーション」を選択した場合は、P.99「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

お知らせ

- 画像やｉモーションによってはウェイクアップ画面に設定できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電話発着信時などの画面を設定する

発着信、メール送受信、問い合わせ中に表示する画像を設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶画面の種類を選択**

- 「電話着信」「テレビ電話着信」を選択した場合は、「着信画面」を選択します。
- 「メール受信」を選択した場合は、「メール着信画面」を選択し、P.99「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話発信」「テレビ電話発信」「メール送信」「問い合わせ」「メール／メッセージ着信結果」を選択した場合は、P.99「待受画面を設定する」手順2へ進みます。
- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択して[メール]（デモ）を押すと、実際に表示／再生される内容を確認できます。

2 **画像の種類を選択**

P.99「待受画面を設定する」手順2へ進みます。

お知らせ

- 「電話着信」「テレビ電話着信」「メール受信」を選択し、「着信音」を選択すると、着信音を設定できます。P.92手順2へ進みます。
- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「電話帳画像着信設定」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。
  2in1を利用中にBナンバーへ着信した場合も同様の順になります。ただし、「Bナンバー着信設定」で映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合は、本機能よりも優先して着モーションが再生されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音（着モーション）に設定した場合、着信時には本機能よりも優先して着モーションが再生されます。ただし、音声のみのｉモーションを設定した場合は、本機能で設定した画像が表示されます。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信画面に設定した場合、着信時には「着信音選択」よりも優先してｉモーションが再生されます。ただし、映像のみのｉモーションを設定した場合は、「着信音選択」で設定した着信音が鳴ります。
- 本機能の設定と「着信音選択」の組み合わせによっては、着信時にお買い上げ時の画像や着信音が表示／再生されることがあります。
- 画像によっては画面表示に設定できない場合があります。また、画像によっては正しい表示方向で表示されない場合があります。
- Flash画像の音声は再生されません。

電池アイコンやアンテナアイコンを設定する

電池アイコンやアンテナアイコンの画像を設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶電池アイコン･アンテナアイコン▶フォルダを選択▶画像を選択**

- 「圏外」や「self」のアイコンは変更できません。

お知らせ

- 電池アイコンに設定できる画像は42×25ドットのGIF画像です。（14×25ドットで1つの電池アイコンになります。）
- アンテナアイコンに設定できる画像は44×50ドットのGIF画像です。（22×25ドットで1つのアンテナアイコンになります。）

アイコンをカラー／モノクロにする

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶アイコンカラー設定▶カラー･モノクロ**

- 電池アイコン、アンテナアイコンは変更できません。

＜電話帳画像着信設定＞

電話帳に登録した画像を着信中に表示する

相手が通知してきた発信者番号と電話帳に登録した電話番号が同じである場合、電話帳に登録してある静止画を表示します。

1 **MENU▶設定／サービス▶着信▶電話帳画像着信設定▶ON･OFF**

お知らせ

- 電話着信時の画面表示の優先順位は、「電話帳の着信イメージ」→「グループの着信イメージ」→「電話帳の静止画」→「画面表示設定」の順になります。ただし、「音声読み上げ設定」で電話着信、テレビ電話着信を「ON」に設定している場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。

＜プライベートウィンドウ＞ MENU 9 3

プライベートウィンドウの表示を設定する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**プライベートウィンドウ**▶**ON・OFF**▶**以下の操作を行う**

時計	時計の表示パターンを設定します。 ▶**パターン1・パターン2・パターン3・パターン4**
表示方向	表示される時計などの向きを設定します。 ▶**パターン1・パターン2**
明るさ	レベル1（暗い）～レベル3（明るい）で調節します。 ▶**明るさを選択**
着信表示	着信中に電話をかけてきた相手の電話番号（電話帳に登録されている場合は名前）などを表示します。 ▶**ON・OFF** 着もじを表示するかどうかも設定します。 ▶**ON・OFF**
メール表示	メールやメッセージR/Fの受信日時などを表示します。（P.31参照） ▶**ON・OFF** ●セキュリティが設定されているBOX・フォルダ内のメール、メッセージR/Fの受信日時などは表示されません。
ｉチャネルテロップ表示	▶**ON・OFF** ●2in1の各モードごとに設定ができます。2in1がOFFのときはAモード中の設定と共通になります。
通信中表示	通信中にアニメーションや文字を表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**

＜オープン新着表示＞

FOMA端末を開いたときに新着情報を表示する

不在着信・新着メール・新着チャットメール・新着メッセージR/Fがあった場合、FOMA端末を開くと不在着信履歴詳細画面・受信メール一覧画面・チャットメール画面・メッセージR/F一覧画面が表示されます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**オープン新着表示**▶**ON・OFF**

お知らせ

- 新着受信と不在着信がある場合、不在着信履歴詳細画面が表示されます。
- 新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fを同時に受信した場合は、チャットメール→メール→メッセージR→メッセージFの順で優先して表示されます。

＜照明設定＞ MENU 7 0

ディスプレイとボタンの照明を設定する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**照明設定**▶**以下の操作を行う**

通常時	通常時にバックライトを点灯させるかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF** ●「OFF」に設定したときは待受画面に「💡」が表示されます。 ディスプレイを省電力モードにするかどうかも設定します。 ▶**ON（省電力モード移行）・OFF（常時点灯）** ▶**待ち時間（秒）を入力** ●「060」～「999」の3桁を入力します。

充電時	▶標準・常時点灯 標準 . . . . 通常時と同じ設定で充電中も点灯します。 常時点灯 . . . . 充電中に何も操作しないで約15秒経過すると、バックライトがレベル1になります。省電力モードには切り替わりません。 ●ACアダプタ(別売)などを接続しているときは、充電完了後も本機能の設定に従って点灯します。
範囲	バックライトが点灯する範囲を設定します。 ▶液晶＋ボタン・液晶
明るさ	ディスプレイのバックライトの明るさをレベル1(暗い)〜レベル5(明るい)で調節します。 ▶明るさを選択 ●「自動設定」に設定すると、「範囲」で設定した箇所のバックライトが、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。
ふんわり点灯	ディスプレイのバックライトをなめらかに点灯させるかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定していても、機能によってはバックライトがなめらかに点灯する場合があります。

バックライトのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

5を1秒以上押します。

● ｉアプリ起動中、文字入力中は5を1秒以上押してもバックライトのON／OFFを切り替えられません。また、デコメアニメ®やFlash画像によっては、表示中にバックライトのON／OFFを切り替えられない場合があります。

お知らせ

- 「通常時」を「ON」に設定したときは、着信中は点灯したままとなり、電源を入れたときやボタン操作を行ったとき、FOMA端末を開いたときなどに「範囲」で設定した箇所が約15秒間点灯します。カメラ起動中、ｉモーション再生中、ムービー再生中は常時点灯します。「OFF」に設定すると点灯しません。ただし、動画撮影中は「通常時」の設定に関わらず、常時点灯します。
- テレビ電話中の照明設定についてはP.73参照。
- ワンセグ視聴中の照明設定についてはP.246参照。

お知らせ

- ｉモードメールやメッセージR/Fの本文を表示させたときは、本文の長さにより点灯時間が異なります。
- 「省電力モード」を「ON(省電力モード移行)」に設定したときは、何も操作しないで設定した時間が経過すると省電力モードに切り替わり、ディスプレイの表示が消えます。ただし、起動中の機能によっては省電力モードに切り替わらない場合があります。
- 待受画面にｉモーションを設定している場合は、再生終了後に待ち時間が経過すると省電力モードに切り替わります。
- FOMA端末を操作したときや電話がかかってきたとき、ｉチャネルのテロップを受信したときなどにはディスプレイが表示されます。ただし、公共モード(ドライブモード)中に電話がかかってきたときはディスプレイは表示されません。
- 省電力モード中にイヤホンマイク(別売)のスイッチを押すと、省電力モードは解除されますが、電話発信などの動作は行いません。ただし、通話中(マルチ接続中を除く)にイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押した場合は、省電力モードが解除されると同時に通話を終了します。

<液晶AI>
ディスプレイの画質を自動的に調整する

ｉモーション・ムービー・Music&Videoチャネル・ビデオの再生中や、テレビ電話中、ワンセグ視聴中にディスプレイのバックライトの明るさを自動的に調整し、その明るさにあわせて画質補正をするかどうかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶液晶AI▶ON・OFF

- テレビ電話中やワンセグ視聴中の機能メニューから操作した場合、設定は通話中のテレビ電話や視聴中のワンセグにのみ有効です。

お知らせ

- 「ON」に設定した場合、「照明設定」の「明るさ」で設定したレベル内でバックライトの明るさを調整します。メニューを選択中も調整されます。
- バックグラウンド再生中は、本機能は無効になります。

<ビューブラインド>
周りの人からディスプレイを見えにくくする

コントラスト(濃淡)を調整して、斜めの角度からディスプレイを見えにくくします。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**ビューブラインド**▶**ON･OFF**▶**コントラストを選択**

- 「ON」に設定したときは待受画面に「 」が表示されます。
- 選択中は、確認のため選択しているコントラストで画面が表示されます。

ビューブラインドのON／OFFをワンタッチで切り替えるには

8を1秒以上押します。

- iアプリ起動中、PDF表示中、文字入力中は8を1秒以上押してもビューブラインドのON／OFFを切り替えられません。また、デコメアニメ®やFlash画像によっては、表示中にビューブラインドのON／OFFを切り替えられない場合があります。

<画質モード設定>
ディスプレイの画質を設定する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**画質モード設定**▶**項目を選択**

ノーマル. . . . . . . 標準的な画質
ヴィヴィッド. . . . 鮮明な画質
ダイナミック. . . . 動きを強調したダイナミックな画質

<カラーテーマ設定> MENU 8 6
画面の色の組み合わせを設定する

文字や背景など、画面の配色を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ディスプレイ**▶**カラーテーマ設定**▶**カラーテーマを選択**

- 選択中は、確認のため選択しているカラーテーマで画面が表示されます。

お知らせ

- 複数の色で表示されているアイコンや画像、ドコモの絵文字、iモード対応のインターネットホームページ(サイト)の色は変わりません。

<メニューアイコン設定>
メインメニューの表示を設定する

メインメニューに表示されるアイコンや背景の画像を変更します。

1 MENU▶✉(メニューアイコン)▶**パターンを選択**

- シンプルメニューについてはP.34参照。

2 **手順1で「カスタマイズ」を選択した場合は、変更したいメニューアイコンまたは背景を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

手順2を繰り返してメニューアイコンまたは背景の画像を設定します。

- メニューアイコンまたは背景選択中に✉(デモ)を押すと、現在設定されている画像を確認できます。
- 「カスタマイズ」に設定したメニューアイコンと背景を「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻すには、iα(機能)を押して「1件リセット」または「全件リセット」を選択し、「YES」を選択します。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

お知らせ

- 「カスタマイズ」で設定できる画像は、画像サイズが待受(480×854)以下で最大500KバイトまでのJPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像サイズの場合は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、「背景イメージ」にアニメーションGIFは設定できません。
- 「カスタマイズ」で設定した画像を削除した場合は、「プリインストール」フォルダ内の「スタンダード」に戻ります。
- 本機能を「カスタマイズ」に設定中にパーソナルデータロックを設定した場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「画面表示設定」を「設定を有効にする」に設定している場合、本機能で設定した画像が表示されます。
- 「カスタマイズ」に設定すると、「バイリンガル」の設定を切り替えても、メインメニューのアイコンは切り替わりません。

<きせかえツール>
きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、着信音や待受画面、メニューアイコンなどをまとめて変更できます。

- きせかえツールのダウンロードについてはP.192参照。
- データBOXからの操作についてはP.343参照。

■きせかえツールで設定できる機能

・着信音選択	・テロップ文字サイズ設定
・画面表示設定	・テロップ色設定
・カラーテーマ設定	・テロップ速度設定
・メニューアイコン設定	・ｉアプリコール音
・プライベートウィンドウの「時計」	・測位鳴動音
・フォント設定	・アラーム音
・発着信番号表示設定	

- 設定できる機能はきせかえツールによって異なります。
- 2in1のモードにより個別の設定ができる機能の変更は、変更時のモードに関わらずAモードにのみ反映されます。その他の機能の変更はすべてのモードに反映されます。

1 MENU▶設定／サービス▶きせかえ▶きせかえツールを選んで✉(一括設定)▶YES

- 現在一括設定されているきせかえツールには、「★」マークが付いています。
- 選んだきせかえツールによっては、文字のサイズを変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「NO」を選択すると、きせかえツールが正しく設定できない場合があります。

お知らせ

- きせかえツールで設定した機能では、それぞれの設定画面は「きせかえツールに従う」が選択された状態で表示されます。各設定を個別に変更することもできますが、きせかえツールでの設定に戻すには再度一括設定してください。「きせかえツールに従う」は選択できません。
- きせかえツールを利用してメニュー画面のデザインを変更した場合、メニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号(メニュー番号)が適用されないものがあります。

メインメニューの機能メニュー

入替え機能	メインメニューの項目を手動で入れ替えます。 ▶入れ替え先を選択▶YES
基本構造メニュー呼出	一時的に「ノーマル」のメインメニューを表示します。 ●一度「ノーマル」の表示を終了すると、現在設定されているメインメニューに戻ります。
リセット機能	P.105参照

変更したデザインを元に戻す

きせかえツールで変更された機能をお買い上げ時の状態にリセットできます。

1 MENU▶iα(機能)▶リセット機能▶端末暗証番号を入力▶項目を選択▶YES

画面／音設定初期化 . . . . 「■きせかえツールで設定できる機能」をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

メニュー画面リセット . . . . . . メインメニューをお買い上げ時の状態に戻します。待受画面でCLRを1秒以上押して「YES」を選択してもリセットできます。

メニュー操作履歴リセット . . . メインメニューの操作履歴をリセットします。

お知らせ

- 「画面／音設定初期化」「メニュー画面リセット」を行っても、「文字サイズ設定」はリセットされません。
- 「メニュー画面リセット」を行っても、「入替え機能」で手動で入れ替えたメインメニューの項目はリセットされません。

<マチキャラ設定>

マチキャラを設定する

マチキャラを設定すると、待受画面で不在着信や新着メール、iコンシェルの新着インフォメーションなどの情報をマチキャラがお知らせします。

- マチキャラのダウンロードについてはP.192参照。
- データBOXからの操作についてはP.339参照。

1 **MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶マチキャラ▶マチキャラ設定**

- マチキャラを解除するには「マチキャラ解除」を選択します。

2 **マチキャラを選んで✉(設定)**

- 現在設定されているマチキャラには、「★」マークが付いています。

お知らせ

- 以下の場合はマチキャラは表示されません。
  - ･オールロック中　･パーソナルデータロック中
  - ･おまかせロック中　･待受画面のアイコンなどを選択中

  ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「画面表示設定」を「設定を有効にする」に設定している場合、パーソナルデータロック中もマチキャラが表示されます。
- マチキャラによっては、設定後の経過時間、積算通話時間、メール送受信数により、表示が変化するものがあります。これらのマチキャラをmicroSDカードに移動したり、「一括情報リセット」を行うと、最初の表示に戻ります。

<イルミネーション>

着信／充電ランプの色などを設定する

1 **MENU▶設定／サービス▶イルミネーション▶以下の操作を行う**

イルミネーション一括設定	すべてのイルミネーションを一括で設定します。 ▶**パターンを選択**
着信イルミネーション	P.107参照
通話中イルミネーション	通話中のイルミネーションを設定します。 ▶**項目を選択** ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。 ●伝言メモの動作中、応答保留中、通話中保留中なども通話中と同じ色で点滅します。
不在未読イルミネーション	不在着信、新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/F、未返信のiアプリコール、iコンシェルの新着インフォメーションがある場合に約5秒間隔で点滅します。 ▶**項目を選択** **確認後に消灯**……不在着信などを確認するまでイルミネーションが点滅します。 **24時間後に消灯**…不在着信などを確認していなくても、点滅開始から約24時間後に自動的に消灯します。 **OFF**…………着信／充電ランプは点滅しません。 ●公共モード(ドライブモード)、オールロック、おまかせロック中は点滅しません。iコンシェルの新着インフォメーションがある場合を除き、公共モード(ドライブモード)や各ロックの解除後も点滅は再開しません。
Music&Video Chイルミネーション	Music&Videoチャネルの番組取得が完了すると約5秒間隔で約30分間点滅します。 ▶**ON・OFF**

クローズイルミネーション	FOMA端末を閉じたときに点灯します。 ▶ON･OFF
時報イルミネーション	音と着信／充電ランプの点灯で定時刻(毎時0分)をお知らせします。 ▶**パターンを選択** OFF. . . . . .着信／充電ランプは点灯しません。 **パターン1** . . .固定の音が鳴り、着信／充電ランプが固定の色で点灯します。 **パターン2** . . .時刻ごとに、音や着信／充電ランプの点灯が変化します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯し、時報音が鳴ります。 ●待受画面以外を表示中やオールロック、おまかせロック中は動作しません。 ●時報は「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。
ミュージックイルミネーション	ミュージックプレーヤー再生開始時に点滅します。 ▶ON･OFF
Bluetoothイルミネーション	Bluetooth機器と接続中に点滅します。 ▶ON･OFF ●接続が完了すると、約5秒間隔で約5分間点滅します。
ICカードイルミネーション	FOMA端末をICカードの読み取り機にかざしたときやiC通信時に点灯／点滅します。 ▶ON･OFF ●ICカードロック中は点灯／点滅しません。
サイドボタンイルミネーション	FOMA端末を閉じて▲を押したときのイルミネーションを設定します。 ▶**項目を選択** ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点滅します。 ●点灯時間はイルミネーションによって異なります。
設定確認	「着信イルミネーション」、「通話中イルミネーション」、「時報イルミネーション」、「サイドボタンイルミネーション」の設定内容を確認します。

着信イルミネーション

着信の種類ごとにイルミネーションを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**イルミネーション**▶**着信イルミネーション**▶**以下の操作を行う**

着信イルミネーション選択		▶**着信の種類を選択**▶**項目を選択** ●色1～12を順番に点灯させる場合は「グラデーション」を選択します。 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯／点滅します。
パターン設定		着信イルミネーションの点灯パターンを設定します。 ▶**パターンを選択** **固定パターン** . . . .同じパターンを繰り返して点灯します。 **メロディ連動** . . . .着信音に合わせて点灯します。
カラー設定		
	カラー名編集	▶**色を選択**▶**名前を入力** ●「色1～12」のみ編集できます。 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	カラー調節	▶**色を選択**▶**カラーを調節** ●「色1～12」のみ調節できます。 ●[上下キー]で色を選び[左右キー]で色調を変更します。

お知らせ

<着信イルミネーション選択>

●着信イルミネーションの優先順位は、「電話帳の設定」→「グループ設定」→「着信イルミネーション選択」の順になります。

<パターン設定>

●「着信イルミネーション選択」を「色1～12」、「グラデーション」以外に設定した場合は、各イルミネーション固有のパターンで点灯します。

●点滅パターンが登録されていないメロディやｉモーションを着信音に設定した場合は、「固定パターン」で点灯します。

<確認機能設定> MENU 6 5

不在着信や新着メールを音と着信／充電ランプで確認する

不在着信・新着メール・新着チャットメール・新着メッセージR/F・伝言メモ・留守番電話があるかないかを、FOMA端末を閉じたまま▼を押して確認します。本機能を利用するには、「サイドボタン操作」を「閉じた時有効」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶確認機能設定▶項目を選択

電子音．．．．不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがあるかないかを電子音と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

ボイス．．．．「新着チャットメールあり」、「新着メールあり」、「不在着信あり」、「伝言メモあり」、「留守番電話あり」の順に声と着信／充電ランプの点滅でお知らせします。

OFF ．．．．．確認の機能をOFFにします。

FOMA端末を閉じた状態で▼を押すと

不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがあるとき

（待受画面に「不在着信あり」、「新着メールあり」、「新着チャットメールあり」、「新着メッセージR/Fあり」のアイコンのいずれかが表示されているとき）

「確認機能設定」を「電子音」に設定していると、「ピピ、ピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

「確認機能設定」を「ボイス」に設定していると、「ピピ」という音が鳴り「新着メールあり」、「不在着信あり」などと声でお知らせし、着信／充電ランプが約5秒間点灯します。

- 「ボイス」に設定している場合、新着メッセージR/Fがあるときは「新着メールあり」とお知らせします。
- 声でのお知らせが終了するまでに▼を再度押すと、お知らせを停止できます。

不在着信や新着メール、新着チャットメール、新着メッセージR/Fがないとき

「確認機能設定」を「電子音」または「ボイス」に設定していると、「ピピピ」という音が鳴り、着信／充電ランプが約5秒間点滅します。

「ボイス」に設定していても、声でお知らせはしません。

お知らせ

- ｉモードセンターに保管されているメールは本機能で確認できません。
- 起動中の機能によっては、確認機能が動作しない場合があります。
- 電子音の音量は変更できません。
- ボイスは「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。
- 「バイブレータ」の「電話」を「OFF」以外に設定しているときは、不在着信・新着メール、新着チャットメールともに着信／充電ランプと振動でお知らせします。
- 振動でのお知らせは次のようになります。
  - ・不在着信または新着メール、新着チャットメールがあるときは約1秒間振動します。
  - ・不在着信も新着メール、新着チャットメールもないときは約0.2秒間振動します。
- お知らせ中にFOMA端末を開くとお知らせを停止します。

<フォント設定> MENU 6 6

文字のフォント（書体）を変更する

1 MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶フォント設定▶フォント1・フォント2・フォント3

お知らせ

- 文字によっては、本機能の設定に関わらず「フォント1」で表示されます。
- 電話番号入力や時計表示などの文字は変更できません。

電話番号のフォントと色を設定する

以下の画面に表示される電話番号や電話帳に登録した名前のフォントと色を設定します。

■ダイヤルフォント
・発信中／着信中画面　・発信履歴／着信履歴／リダイヤル詳細画面
・着もじの送信メッセージ詳細履歴

■文字色
・発信中／着信中／通話中画面　・発信履歴／着信履歴／リダイヤル
・着もじの送信メッセージ詳細履歴　・送受信アドレス一覧

●2in1を利用する場合、ここでの設定はAナンバーが対象となります。Bナンバーに設定するには「2in1設定」の「発着信番号表示設定」を操作してください。

1 MENU▶設定／サービス▶着信▶発着信番号表示設定▶以下の操作を行う

ダイヤルフォント	▶パターンを選択
文字色	▶色を選択 ●TV(切替)を押して16色・256色を切り替えることができます。 ●iα(リセット)を押すと設定した色をリセットできます。

お知らせ
●「カラーテーマ設定」「きせかえツール」で背景色を変更すると、文字色も自動的に変更されます。
●絵文字の色は変更できません。

<文字サイズ設定>
文字のサイズを変える

1 MENU▶設定／サービス▶ディスプレイ▶文字サイズ設定▶以下の操作を行う

一括設定	文字サイズなど変更可能な項目を一括で設定します。 ▶特大表示・拡大表示・標準表示・縮小表示 ●メニューの文字サイズも変更するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「YES」を選択すると、「特大表示」「拡大表示」に設定した場合はメニューアイコンが「拡大メニュー」に変更され、「標準表示」「縮小表示」に設定した場合は「ノーマル」に変更されます。 ●「特大表示」に設定すると、「電話帳」「発着信履歴」は「拡大表示」に設定されます。 ●「縮小表示」に設定すると、「電話帳」「発着信履歴」は「標準表示」に設定されます。
メール	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面や「メール設定」内などの文字サイズを設定します。 ▶特大表示・拡大表示・標準表示・縮小表示 ●メール詳細画面表示中はiα(機能)を押して「表示設定」を選択し、「文字サイズ設定」を選択します。3を押すか、Oを1秒以上押しても、文字サイズを変更できます。ただし、「特大表示」に設定しているときにOを1秒以上押した場合や、「縮小表示」に設定しているときにOを1秒以上押した場合は、他のメールが表示されます。 ●デコメアニメ®の本文やデコメ®絵文字の文字サイズは変わりません。
iモード	サイトや「iモード設定」内などの文字サイズを設定します。 ▶特大表示・拡大表示・標準表示・縮小表示
電話帳	電話帳や「電話帳設定」内などの文字サイズを設定します。 ▶拡大表示・標準表示 ●「MENU▶電話帳▶電話帳設定▶文字サイズ設定▶電話帳」の操作を行っても設定できます。

つづく

発着信履歴	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを設定します。 ▶**拡大表示・標準表示** ●「MENU▶電話帳▶電話帳設定▶文字サイズ設定▶発着信履歴」の操作を行っても設定できます。
文字入力	文字入力中やメール作成画面、SMS作成画面の文字サイズを設定します。 ▶**特大表示・拡大表示・標準表示・縮小表示**

お知らせ

- 機能によっては、設定した文字サイズで表示されない場合があります。
- 「特大表示」「拡大表示」に設定した場合、各操作手順で画面に表示される項目名が「標準表示」「縮小表示」に設定した場合とは一部異なります。

時計の表示を設定する

待受時計の表示を設定する

ディスプレイの待受画面に表示される時計の表示方法などを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶時計▶待受時計▶以下の操作を行う**

- 操作中や、「待受時計」を選んで✉(デモ)を押したときは、実際に表示される画面を確認できます。ただし、各機能の設定によっては、実際の画面とは異なる場合があります。

✉(位置) 表示位置	時計の表示位置を設定します。 ▶**パターンを選択**
ｉα(パターン) パターン	時計の表示パターンを設定します。 ▶**パターンを選択**
MENU(サイズ) 表示サイズ	▶**もっと大きく表示・大きく表示・小さく表示** ●プライベートウィンドウの時計、ワールドウォッチ、サブ時計の表示サイズは変更されません。
TV(曜日) 曜日表示	▶**日本語・英語** ●ここでの設定はプライベートウィンドウの時計表示にも反映されます。 ●「英語」に設定すると、ワールドウォッチの地域名も英語で表示されます。

2 ●(確定)**を押す**

- 各機能の設定やFOMA端末の状態によっては、本機能の設定が反映されないことがあります。

アイコン時計の表示を設定する

画面右上に表示されるアイコン時計の表示パターンを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶時計▶アイコン時計▶パターンを選択**

<バイリンガル>

画面を英語表示に切り替える

1 MENU▶**設定／サービス▶ディスプレイ▶バイリンガル▶Japanese・English**

- Japanese（日本語表示）とEnglish（英語表示）では、以下の機能の項目が異なります。

機能	Japanese	English
確認機能設定	電子音 ボイス OFF	ON 選択不可 OFF
画面表示設定の「時計」→「待受時計」→「曜日表示」	選択可能	選択不可
使いかたナビ	選択可能	選択不可
音声読み上げ	動作可能	動作不可

お知らせ

- FOMAカードを挿入している場合、「バイリンガル」の設定はFOMAカードに記憶されます。

あんしん設定

暗証番号

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■各種暗証番号に関するご注意
- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

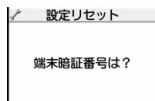
端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.113参照）

端末暗証番号入力の画面が表示された場合は、4～8桁の端末暗証番号を入力し、●（確定）を押します。

設定リセット

端末暗証番号は？

- 端末暗証番号入力時はディスプレイに「_」で表示され、数字は表示されません。
- 間違った端末暗証番号を入力した場合や、約15秒間何も入力しなかった場合は、警告音が鳴り、警告メッセージが表示されたあと、端末暗証番号入力の前の画面に戻ります。正しい端末暗証番号を確認してからもう一度操作してください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なお、ｉモードからはお客様サポート内の「各種設定（確認・変更・利用）」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には4桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）

ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.180参照）

ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1コード・PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.114参照）

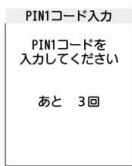
PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の暗証番号です。

●新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。

PIN1コード／PIN2コード入力の画面が表示された場合は、4～8桁のPIN1コード／PIN2コードを入力し、●(確定)を押します。

●入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。
●3回誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。(入力可能な残りの回数は画面に表示されます)
正しいPIN1コード／PIN2コードを入力すると、入力可能な残りの回数が3回に戻ります。

PIN1コード入力
PIN1コードを
入力してください
あと　3回

PIN1コードの場合

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

●PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。

電源を入れたときのセキュリティ → PIN1コードの入力
ユーザ証明書の操作 FirstPass対応サイトへの接続 → PIN2コードの入力
3回連続入力ミス → PINロック解除コードの入力
入力OK → 新しいPINコードの設定
10回連続入力ミス → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

＜端末暗証番号変更＞

端末暗証番号を変更する

FOMA端末をより便利に使いこなしていただくために、お客様ご自身の各種機能用の端末暗証番号(4～8桁)に変更しておきましょう。変更した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気をつけください。

1 **MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶端末暗証番号変更▶現在設定されている端末暗証番号を入力**

●お買い上げ時などで、初めて入力する場合は「0000」を入力します。

2 **新しい端末暗証番号(4～8桁)を入力▶YES**

＜FOMAカード(UIM)設定＞

PINコードを設定する

PIN1コード入力設定

FOMA端末の電源を入れたときに、PIN1コードを入力しなければ使用できないように設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード入力設定▶ON･OFF▶PIN1コードを入力**

●PIN1コードについてはP.112参照。

PIN1コード変更・PIN2コード変更

PIN1コードを変更するには、「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶FOMAカード(UIM)設定▶端末暗証番号を入力▶PIN1コード変更・PIN2コード変更▶現在設定されているPIN1コード／PIN2コードを入力

- PIN1コード／PIN2コードについてはP.112参照。

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

PINロックを解除する

PIN1コード／PIN2コードの入力が必要な画面で、3回連続して誤ったPIN1コード／PIN2コードを入力した場合は、PIN1コード／PIN2コードがロックされて使えなくなります。その場合は、いったんPIN1コード／PIN2コードのロックを解除して、新しいPIN1コード／PIN2コードを設定する必要があります。

1 PINロック解除コード(8桁)を入力

- 入力した解除コードは「_」で表示されます。

PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞ入力
PIN1がﾛｯｸされました
PINﾛｯｸ解除ｺｰﾄﾞを
入力してください

あと10回

2 新しいPIN1コード／PIN2コード(4～8桁)を入力

- 入力したPIN1コード／PIN2コードは「_」で表示されます。

3 新しいPIN1コード／PIN2コードを再入力

<オールロック>

他の人が使用できないようにする

オールロックをかけると電話の応答、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶オールロック▶端末暗証番号を入力

「🔑」と「オールロック」が表示され、オールロックが設定されます。

- オールロックを解除するには、待受画面で端末暗証番号を入力します。電源を切ってもオールロックは解除されません。

お知らせ

- オールロック中は電話をかけることができません。ただし、緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。確認画面で「YES」を選択すると発信できます。
- 電話の着信は可能ですが、この場合、電話帳に登録されている名前、画像などは表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信音はお買い上げ時の設定で鳴ります。
- オールロック中でもGPSの位置提供は可能です。
- オールロックの解除に5回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れます。ただし、再度の電源ONは可能です。
- オールロック中は、メールやメッセージR/Fの受信は可能ですが、メール受信中またはメッセージR/F受信中、受信結果の画面は表示されません。オールロック解除後に「✉」「R」「F」などのアイコンが表示されます。
- オールロック中は、「応答」「失敗」「不応答」を除きデスクトップのお知らせアイコン、貼り付けアイコン、スケジュールは表示されません。オールロック解除後に再表示されます。
- オールロック中は、ｉチャネルのテロップは表示されません。
- オールロック中は、ウェイクアップ画面にｉモーションを設定していても、お買い上げ時のウェイクアップ画面が表示されます。
- オールロックを設定しても、ICカードロックはかかりません。

<おまかせロック>

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時におまかせロックがかからない場合で、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、回線解約・休止・改番・紛失時などで新しいFOMAカードの発行(番号を指定してロックした場合のみ)を行った場合は1年以内であっても自動的にロックはかかりません。
お客様からのお電話などによりロックを解除することができます。

※ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。(ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。)また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。
※おまかせロック中も「位置提供設定」を許可する設定にしていれば、GPS機能の位置提供要求に対応します。

■おまかせロックの設定/解除
0120-524-360　受付時間 24時間
※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定/解除ができます。

●おまかせロックの詳細については「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

おまかせロックを設定すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

●おまかせロック中は、音声電話/テレビ電話の着信に対する応答・応答保留、電源ON/OFF、受話音量調節、着信音量調節の操作を除いて、すべてのボタン操作がロックされ、各機能(ICカード機能を含む)を使用することができなくなります。
●音声電話、テレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録されている相手の名前や画像などは画面に表示されず、電話番号だけが表示されます。また、着信時の画像、着信音はお買い上げ時の状態になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
●おまかせロック中に受信したメールは、iモードセンターに保存されます。
●電源ON/OFFは可能ですが、電源OFFを行ってもロックは解除されません。
●おまかせロック中でもGPSの位置提供は可能です。
●FOMAカードやmicroSDカードにはロックがかかりませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

●他の機能が起動中の場合でも、起動中の機能を終了してロックをかけます。
●他のロック機能の設定中でも、おまかせロックを使用できます。ただし、おまかせロックをかける前に公共モード(ドライブモード)を設定していた場合は、音声電話、テレビ電話の着信もできなくなります。
●FOMA端末の圏外・電源OFF時・海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様の利用方法などにより、ロックがかからない場合があります。
●デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合は、ロックはかかりません。
●ご契約者の方とFOMA端末を使用している方が異なる場合でも、ご契約者の方からのお申し出があればロックがかかります。
●おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<セルフモード>

セルフモードを利用する

すべての通話、通信機能が使用できないように設定します。
セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスを利用できます。

1 MENU▶**設定**／**サービス**▶**ロック**／**セキュリティ**▶**セルフモード**▶**YES**▶**OK**

「self」が表示され、セルフモードが設定されます。
- セルフモードを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- セルフモード中でも緊急通報110番／119番／118番には電話をかけることができます。この場合、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中は、メール、エリアメール、メッセージR/Fは受信できません。
- セルフモード中に電話がかかってきても、セルフモード解除後「不在着信あり」や留守番電話のメッセージがあることをお知らせするアイコンなどは表示されません。

<パーソナルデータロック>

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を利用する機能など、以下の機能を使用できないように設定します。

・デスクトップ
・伝言メモ
・メモの再生／消去
・画像選択
・電話帳登録
・グループ設定
・電話帳検索
・電話帳登録件数
・電話帳設定
・ボイスダイヤル
・おしゃべり機能
・きせかえツール
・マチキャラ
・Feel＊Mail画像の再生
・電話帳指定設定
・登録外着信拒否
・設定リセット
・端末初期化
・メール
・メールグループ
・チャットグループ
・ｉモード
・フルブラウザ
・ブックマーク
・ｉチャネル
・ｉコンシェル
・カメラ
・バーコードリーダー
・ワンセグ
・Music&Videoチャネル
・ミュージック
・ミュージックプレーヤー
・ｉアプリ
・ｉウィジェット
・ICカード一覧
・トルカ
・GPS機能
・静止画
・ｉモーション
・ムービー
・ビデオ
・キャラ電
・メロディ
・microSDカード
・赤外線通信
・iC通信
・ボイスレコーダー
・PDF対応ビューア
・ドキュメントビューア
・アラーム
・スケジュール
・ToDo
・アラーム通知設定
・自局番号表示
・音声メモ
・動画メモ
・テキストメモ
・FOMAカード（UIM）操作
・マルチナンバーの「電話番号登録」「着信音設定」
・データ転送

パーソナルデータロックを設定/解除する

1 MENU▶**設定/サービス**▶**ロック/セキュリティ**▶**パーソナルデータロック**▶**端末暗証番号を入力**▶**設定/解除**

「P」が表示され、パーソナルデータロックが設定されます。

- 待受画面で6を1秒以上押してもパーソナルデータロックを設定できます。
- パーソナルデータロックを解除するには、同様の操作を行います。閉じタイマーロックを設定していて「開きロック解除設定」を有効にしている場合は、FOMA端末を開いてもパーソナルデータロック解除の画面が表示されます。

パーソナルデータロックを一時解除するには

パーソナルデータロック中に使用できない機能を選択すると、機能によっては、端末暗証番号入力の画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると「P」が消え、機能を一時的に使用できます。

- 他のメニュー機能が起動していない状態で待受画面を表示したときは、再度、パーソナルデータロックが設定されます。

お知らせ

- パーソナルデータロック中は、「伝言メモあり」「電話番号」「URL」「メールアドレス」など表示されないお知らせアイコン、貼り付けアイコンがありますが、パーソナルデータロック解除後に再表示されます。
- パーソナルデータロック中にテレビ電話で代替画像を送信すると、「内蔵」の代替画像が送信されます。
- パーソナルデータロック中に「オールロック」を設定すると「P」が消え、「」が表示されます。
- 「登録外着信拒否」を設定中はパーソナルデータロックを設定できません。

パーソナルデータロック中の動作を設定する

パーソナルデータロック中でも、アラーム通知、メール受信時の通知など、一部の機能を動作させることができます。

1 MENU▶**設定/サービス**▶**ロック/セキュリティ**▶**パーソナルデータロック**▶**端末暗証番号を入力**▶**カスタマイズ**▶**以下の操作を行う**

項目		設定
アラーム鳴動		
	アラーム	▶通知する・通知しない
	スケジュールアラーム	▶通知する・通知しない
	ToDoアラーム	▶通知する・通知しない
	視聴予約	▶通知する・通知しない
	録画予約	▶録画する・録画しない
着信動作		
	メール受信	▶通知する・通知しない
	インフォメーション受信	▶通知する・通知しない
	着信時電話帳利用	着信時に電話帳を参照するかどうかを設定します。 ▶利用する・利用しない
画面/音		
	画面表示設定	「画面表示設定」の設定内容を有効にするかどうかを設定します。 ▶設定を有効にする・プリインストールを表示
	着信音選択	「着信音選択」の設定内容を有効にするかどうかを設定します。 ▶設定を有効にする・プリインストールで鳴動
	iチャネルテロップ表示	▶表示する・表示しない

つづく

お知らせ

<メール受信>

- 「通知しない」に設定した場合、パーソナルデータロック中は、メッセージR/F、iモードメール、チャットメール、SMSの自動受信はできますが、受信中の画面および受信結果の画面は表示されません。また、着信音の鳴動など受信動作を行わず、受信をお知らせしません。パーソナルデータロック解除後に「 」「 」「 」などのアイコンが表示されます。
- 「通知しない」に設定した場合、パーソナルデータロック中は、FOMA端末を閉じた状態で▼を押して不在着信、新着メールを確認できません。

<画面表示設定>

- 「2in1設定」の「モード別待受画面設定」の設定内容の有効／無効も設定されます。

あんしん設定

<閉じタイマーロック設定>

FOMA端末を閉じたときのロックの設定をする

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ロック／セキュリティ**▶**ロック設定**▶**閉じタイマーロック設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**パーソナルデータロック・ICカードロック**▶**経過時間を選択**

「OFF」以外に設定すると、「 」が表示され、閉じタイマーロックが設定されます。また、「開きロック解除設定」を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 待受画面が表示されていない場合や、待受画面が表示されていても、他の機能が起動している場合は、設定した時間が経過してもロックはかかりません。ただし、FOMA端末を閉じたあとに他の機能が終了した場合は、設定した時間が経過するとロックがかかります。
- 「登録外着信拒否」を設定中は、設定した時間が経過してもパーソナルデータロックはかかりません。
- FOMA端末を閉じてから電話の着信やメールの受信などがあったり、FOMA端末を開いたりすると、経過時間は0秒に戻ります。

お知らせ

- 本機能を設定しているときに各ロックの解除操作をすると、一時的にロックは解除されますが、FOMA端末を閉じてから設定した時間が経過すると、再びロックがかかります。
- 閉じタイマーロック設定中に「ボタンロック」を設定すると「 」が消え、「 」が表示されます。

開きロック解除設定

「閉じタイマーロック」でパーソナルデータロックやICカードロックがかかったあと、FOMA端末を開いたときに各ロックの解除画面を表示するように設定できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ロック／セキュリティ**▶**ロック設定**▶**開きロック解除設定**▶**端末暗証番号を入力**▶**パーソナルデータロック・ICカードロック**▶**ON・OFF**

<ダイヤル発信制限>

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにする

ダイヤルボタンでの発信を禁止します。FOMA端末を会社の業務用としてお使いになるときなど、私用電話を防止するために操作を制限します。

■実行できない操作

- ・ダイヤルボタンでの発信
- ・初期値設定
- ・電話帳（登録、修正、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ／復元、赤外線での送受信、iC通信での送受信、Bluetooth通信での送受信）
- ・Phone To／AV Phone To 機能
- ・Mail To 機能

■実行できる操作
・電話帳、ボイスダイヤルの呼出発信
・リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧による発信(電話帳に登録されている電話番号のみ)

1 **MENU▶設定/サービス▶ロック/セキュリティ▶ダイヤル発信制限▶端末暗証番号を入力**

「D」が表示され、ダイヤル発信制限が設定されます。
●ダイヤル発信制限を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
●ダイヤル発信制限中でも緊急通報110番/119番/118番にダイヤルボタンで電話をかけることはできます。
●ダイヤル発信制限を設定しているときは、宛先を電話帳から呼び出したときと、送信アドレス一覧や受信アドレス一覧から電話帳に登録されている宛先を呼び出したときのみメールを送れます。

<ボタンロック>
ボタンを操作できないようにする

以外のボタンが効かなくなるよう設定します。

1 **を1秒以上押す**

「」が表示され、ボタンロックが設定されます。
●ボタンロックを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ
●ボタンロック中にFOMA端末の電源を切ることはできません。また、待受画面でを押しても、アイコンなどの表示/非表示は切り替わりません。
●ボタンロック中でも、着信中はを押して応答できます。
●ボタンロック中でも、音声電話、テレビ電話の着信中にを1秒以上押すと「クイック伝言メモ」の動作になります。
●本機能の設定に関わらず、イヤホンマイク(別売)やBluetooth機器は操作できます。
●ボタンロック中でもGPSの位置提供は可能です。

<サイドボタン操作>
サイドボタンを操作できないようにする

FOMA端末を閉じたときに▲、▼が効かなくなるよう設定します。かばんの中での誤動作が防止できます。

1 **MENU▶(1秒以上)**

「SIDE」が表示され、「閉じた時無効」に設定されます。
●「閉じた時有効」に設定するには、同様の操作を行います。

<履歴表示設定>
リダイヤル/着信履歴を表示できないようにする

1 **MENU▶設定/サービス▶着信▶履歴表示設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

着信履歴 . . . 着信履歴と受信アドレス一覧の表示を設定します。
リダイヤル/発信履歴
. . . . リダイヤル・発信履歴と送信アドレス一覧の表示を設定します。

2 **ON・OFF**

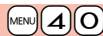
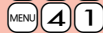
●「着信履歴」を「OFF」に設定した場合は、音声電話の伝言メモも再生できなくなります。

<シークレットモード><シークレット専用モード>

知られたくない電話帳やスケジュールを守る

シークレットデータとして登録した電話帳やスケジュールは、通常のモードでは呼び出し/参照できません。シークレットモードでは、登録/編集した電話帳やスケジュールをシークレットデータとして登録するか通常のデータとして登録するかを選択でき、シークレット専用モードで登録/編集した電話帳やスケジュールはシークレットデータとして登録されます。

シークレットモードではすべてのデータ、シークレット専用モードではシークレットデータだけを呼び出し/参照できます。

シークレットモードにする MENU 4 0
シークレット専用モードにする MENU 4 1

1 **MENU▶設定/サービス▶ロック/セキュリティ▶シークレットモード・シークレット専用モード▶端末暗証番号を入力**

「シークレットモード」を選択したときは、「S」が表示され、シークレットモードになります。

「シークレット専用モード」を選択したときは、「S」が点滅し、シークレットデータ登録件数が表示されたあと、シークレット専用モードになります。

- 待受画面で4を1秒以上押して端末暗証番号を入力してもシークレットモードになります。
- シークレットモードで電話帳またはスケジュールを呼び出したとき、通常データの場合は「S」が点灯したままとなり、シークレットデータの場合は「S」が点滅します。
- シークレットモード、シークレット専用モードを解除するには、同様の操作を行うか待受画面で4(1秒以上)またはを押します。

シークレットデータを通常の電話帳・スケジュールに変更するには

シークレットモードまたはシークレット専用モードで、解除する電話帳・スケジュールの機能メニューから「シークレット解除」を選択します。

お知らせ

- シークレット登録できる電話帳はFOMA端末(本体)の電話帳のみです。
- シークレット登録した相手に電話をかけたときは、発信中や通話中の画面には名前は表示されずに電話番号が表示されます。
- シークレットデータを呼び出して電話をかけたり、メールを送信したときは、「リダイヤル」「発信履歴」「送信アドレス一覧」には記憶されません。
- 「オールロック」と「シークレットモード」または「シークレット専用モード」を同時に設定している場合、「オールロック」を解除すると「シークレットモード」または「シークレット専用モード」も解除されます。

<シークレットメール表示設定>

メールBOX内のメールにシークレットを設定する

シークレット登録した電話帳と一致する送信元/宛先のメール(シークレットメール)を表示するかどうかを設定します。

1 **▶メール設定▶シークレットメール表示設定▶端末暗証番号を入力▶表示する・表示しない**

お知らせ

- 「表示しない」に設定していても、シークレットモード、シークレット専用モードではシークレットメールを確認できます。
- 「表示しない」に設定している場合、同報メールの宛先にシークレット登録された宛先が含まれていると、そのメールは表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、チャットメンバーにシークレット登録されたメンバーが含まれていると、チャットメンバー全員のチャットメールが表示されません。
- 「表示しない」に設定している場合、シークレット専用モードではエリアメールは表示されません。

<メールセキュリティ設定>

メールBOX内のメールを無断で表示できないようにする

メールメニューの受信・送信・保存BOXにセキュリティを設定します。セキュリティを設定したBOX内を表示するときは、端末暗証番号の入力が必要になります。

1 **[メール]▶メール設定▶メールセキュリティ設定▶端末暗証番号を入力▶設定したいBOXにチェック▶[メール](完了)**

- セキュリティを設定すると、メールメニューの設定したBOXに「[鍵]」が付きます。

お知らせ

- 送信BOX、受信BOXにセキュリティを設定すると、メールアドレスは送信アドレス一覧、受信アドレス一覧に記憶されません。

<電話帳指定設定>

電話帳に指定機能を設定する

指定発信制限

指定した電話番号以外への音声電話、テレビ電話をかけられないようにします。FOMA端末を業務用としてお使いになるときは、私用電話の防止に有効です。音声電話をかけるときは、指定した電話帳を呼び出して[発信]または[●](発信)を押します。(テレビ電話をかけるときは[メール](テレビ電話)を押します。)電話番号は20件まで指定できます。

指定着信拒否

指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話がつながらないようにします。「電話を受けたくない相手」からの電話だけがつながらないように設定できます。発信者側には話中音が流れます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

指定着信許可

指定した電話番号からの音声電話、テレビ電話だけがつながるようにします。「電話を受けたい相手」からの電話だけがつながるように設定できます。電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

指定発信制限・指定着信拒否・指定着信許可

1 **電話帳詳細画面▶[iα](機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択**

指定発信制限 . . . . . 指定した番号にだけ発信できます。
指定着信拒否 . . . . . 指定した番号からの電話は受けません。
指定着信許可 . . . . . 指定した番号からの電話だけを受けます。
指定転送でんわ . . . P.419参照
指定留守番電話 . . . P.416参照

設定された項目に「★」マークが付きます。

- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、詳細画面で[○]を押して電話帳指定設定を設定する電話番号を選びます。
- 複数の電話番号に指定発信制限を設定したいときは、指定発信制限を設定したあとに[CLR]を押して電話帳の詳細画面に戻り、[○]で設定したい電話番号を選んで操作を行ってください。
  [終話]を押して待受画面に戻ると追加設定ができなくなります。追加設定をするときは、すでに設定されている電話番号の指定発信制限を解除し、解除した電話番号も含め、指定発信制限を設定し直してください。
- 電話帳指定設定を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- シークレット登録した電話帳やFOMAカードの電話帳には設定できません。
- 「指定着信拒否」、「指定着信許可」を設定中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての着信を許可します。
- 「指定発信制限」を設定すると、以下の操作はできません。
  ・指定した電話番号以外の呼び出し、参照
  ・ダイヤル発信(指定した電話番号への発信を除く)
  ・着信履歴からの発信(指定した電話番号からの着信を除く)
  ・電話帳の登録、修正、削除、microSDカードからのコピー、microSDカードによるバックアップ/復元、FOMAカードへのコピー

つづく

お知らせ

- 「指定発信制限」を設定していても、緊急通報110番／119番／118番に電話をかけることはできます。
- 「指定着信拒否」に設定した電話番号から電話がかかってきたときや、「指定着信許可」に設定した電話番号以外から電話がかかってきたときは、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、「指定着信拒否」、「指定着信許可」に関係なく受信されます。

電話帳指定設定を確認／解除する

1 MENU▶電話帳▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

- 設定されている項目には「★」マークが付きます。
- それぞれの電話帳指定設定に設定されている電話帳をすべて解除するには、iα(機能)を押して「設定解除」を選択し、「YES」を選択します。

2 電話帳を選択

電話帳指定設定が設定されている電話番号が表示されます。

- 電話番号ごとに電話帳指定設定を解除するには、解除したい電話番号を選択し、「YES」を選択します。

＜非通知着信設定＞

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

発信者番号非通知理由によって音声電話、テレビ電話を受ける（許可）か受けない（拒否）かを設定できます。発信者番号非通知理由には「通知不可能」、「公衆電話」、「非通知設定」の3つがあります。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶非通知着信設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

通知不可能. . . 海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合
（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）

公衆電話 . . . . 公衆電話などから発信した場合

非通知設定. . . 発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

2 許可・拒否

- 「許可」を選択した場合は、P.92手順2へ進み着信音を選択します。
  「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」で設定した着信音になります。

お知らせ

- 「拒否」に設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らず、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても相手には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。

＜呼出時間表示設定＞ MENU 9 0

呼出動作をすぐに開始しないようにする

1 MENU▶**設定／サービス**▶**着信**▶**呼出時間表示設定**▶**以下の操作を行う**

呼出動作開始時間	電話帳に電話番号が登録されていない相手から音声電話、テレビ電話がかかってきたときに呼出動作をすぐに開始しないように設定します。ワン切りなどの迷惑電話対策に利用できます。 ▶**ON･OFF**▶**開始時間(秒)を入力** ●「01」～「99」の2桁を入力します。
時間内不在着信表示	「呼出動作開始時間」で設定した時間内に切れた着信を着信履歴に表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する･表示しない**

お知らせ

- 電話帳に電話番号が登録されている相手から着信があった場合は、「186／184」を付加して登録されていても、着信と同時に呼出動作を開始します。ただし、パーソナルデータロック中(「カスタマイズ」で「着信時電話帳利用」を「利用する」に設定している場合を除く)や、シークレットで登録されている相手からの着信については、本機能の設定に従って動作します。
- 呼出動作開始時間が伝言メモ設定の呼出時間より長いと、呼出動作を行わず伝言メモに移行します。呼出動作を行ってから伝言メモに移行させるには、伝言メモ設定の呼出時間を呼出動作開始時間よりも長く設定してください。留守番電話サービス、転送でんわサービス、オート着信設定の呼出時間でも同様です。

＜登録外着信拒否＞

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する

電話帳に電話番号が登録されていない相手からの音声電話、テレビ電話を拒否できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。「番号通知お願いサービス」と「非通知着信設定」も合わせて設定することをおすすめします。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ロック／セキュリティ**▶**登録外着信拒否**▶**端末暗証番号を入力**▶**許可･拒否**

お知らせ

- シークレットで登録されている電話帳の相手から着信があった場合は、この設定に関わらず、着信は拒否されません。
- 「電話帳指定設定」の「指定着信許可」と同時に設定している場合は、「指定着信許可」が優先されます。
- 本機能を「拒否」に設定しているときに、電話帳に登録されていない電話番号から電話がかかってきた場合、「着信履歴」に「不在着信履歴」として記憶され、「不在着信あり」のアイコンが待受画面に表示されます。また、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を「開始」に設定していても発信者側には話中音が流れます。ただし、「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」の呼出時間を0秒に設定したときやサービスエリア外、電源を切っているときは、話中音は流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。
- 本機能を「拒否」に設定していても、「非通知着信設定」の各設定を「許可」に設定しているときは、「非通知着信設定」に従います。
- SMSやｉモードメールは、本機能に関係なく受信されます。
- パーソナルデータロック中は「登録外着信拒否」を設定できません。
- 「呼出時間表示設定」の「呼出動作開始時間」を「ON」に設定中は、「登録外着信拒否」を「拒否」に設定できません。

<テレビ電話着信拒否>

テレビ電話の着信を拒否する

1 [MENU]▶**設定／サービス**▶**テレビ電話**▶**テレビ電話着信拒否**▶**端末暗証番号を入力**▶**ON•OFF**

<電話帳お預かりサービス>

電話帳お預かりサービスを利用する

FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メール・トルカ・スケジュール(以下「保存データ」といいます)を、ドコモのお預かりセンターに預けることができ、万が一の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知できます。一斉通知メール送信時パケット通信料はかかりません。パソコン(My docomo)があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。
- 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。

お預かりセンターに保存する

1 **保存したいデータの画面**▶[iα](機能)▶**移動／コピー**▶**お預かりセンターに接続・お預かりセンターに保存**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

- 機能によっては「移動／コピー」を選択する操作は不要です。
- 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面、保存メール一覧画面、静止画一覧画面から操作した場合は、保存したいデータにチェックを付けて[✉](完了)を押します。10件まで選択できます。

お知らせ

- FOMAカードやmicroSDカード内のデータは保存できません。
- メールに添付されたデータは保存されません。
- 以下の画像は保存できません。
  - ･1件あたりのサイズが100Kバイトを超える画像
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されている画像
  - ･JPEG形式、GIF形式以外の画像

FOMA端末に復元する

FOMA端末の電話帳を削除した場合、電話帳お預かりセンターに保存を行うとお預かりセンターの電話帳も削除されますのでご注意ください。お預かりセンターの電話帳をFOMA端末に復元する場合、以下の操作を行ってください。

1 [iα]▶**マイメニュー**▶**電話帳お預かり**▶**お預かりデータ確認**▶**ｉモードパスワードを入力**

- ｉコンシェルをご契約の場合は、「[iα]▶マイメニュー▶お預かり／ｉコンシェル▶お預かりデータ確認▶ｉモードパスワードを入力」の操作を行います。

2 **お預かりセンターの電話帳から「ケータイへダウンロード」を選択**▶**OK**

- 約15秒後にダウンロードが開始されます。待受画面を表示させてお待ちください。

お知らせ

- お預かりセンターに登録されている電話帳が、FOMA端末の電話帳に登録できる件数を超えた場合、超えている部分の電話帳データは更新されません。

電話帳を自動更新する

お預かりセンターのサイトで、FOMA端末の電話帳を定期的にお預かりセンターへ更新、保存するように設定できます。

お知らせ

- 自動更新時に他の機能を起動していた場合、自動更新はされません。
- 更新ができなかった場合、デスクトップに「更新」(お預かりサービス更新通知)の「お知らせアイコン」が表示されます。「更新」を選択すると更新画面が表示されます。

電話帳お預かりサービスの設定を行う

1 MENU▶LifeKit▶電話帳お預かりサービス▶以下の操作を行う

お預かりセンターに接続	P.124参照
通信履歴表示	お預かりセンターとの通信記録を表示します。 ▶履歴を選択 ●一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。
電話帳内画像送信設定	電話帳に設定している画像をお預かりセンターに保存するかどうかを設定します。 ▶する・しない

お知らせ

＜通信履歴表示＞
- 最大30件まで保存されます。30件を超えた場合は、古い履歴から順に上書きされます。

＜電話帳内画像送信設定＞
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像は保存できません。

iコンシェルでお預かりサービスを利用する

自動お預かり／更新設定

お預かりサービスについての設定を行います。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶自動お預かり／更新設定▶画面に従って操作する

お預かりデータ確認

お預かりセンターに保存されているデータの確認などを行います。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ確認▶画面に従って操作する

お預かりデータ更新

お預かりセンターとFOMA端末のデータを最新の状態にします。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かりデータ更新▶更新したいデータにチェック▶✉(完了)▶端末暗証番号を入力▶YES

お預かり通信履歴

お預かりセンターとの通信記録を表示します。

1 MENU▶iコンシェル▶✉(MENU)▶設定▶お預かり通信履歴▶履歴を選択

- 一覧画面で通信完了時刻を選択すると詳細画面に変わります。

＜設定リセット＞ MENU 2 3

各種機能の設定をリセットする

「機能一覧表」の　　　の項目をお買い上げ時の状態に戻します。(P.448参照)

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶設定リセット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- Bluetooth機器との接続中または接続待機中はリセットできません。

つづく

お知らせ

- 設定リセットを行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[ｉ]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

<端末初期化>

登録データを一括して削除する

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時の状態についてはP.448「機能一覧表」を参照してください。

- お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- 「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリは削除されます。ただし、使用状況によっては削除されないことがあります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリに保存されたデータは削除されます。ただし、削除されなかったおサイフケータイ対応ｉアプリに保存されたデータは削除されません。
- 保護しているデータも削除されます。
- 2in1のモードに関わらず、すべての登録データが削除されます。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除していても、端末初期化を行うと元に戻ります。ただし、お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は元に戻りません。
- 端末初期化を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、初期化できないことがあります。
- 端末初期化を行っているときは、電源を切らないでください。
- 端末初期化を行っているときは、他の機能を使用できません。また、電話の着信やメールの受信などもできません。

1 **MENU▶設定／サービス▶その他▶端末初期化▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES**

初期化が完了すると、自動的に電源が切れたあと、再度電源が入り、「初期値設定」の画面が表示されます。

お知らせ

- Bluetooth機器との接続中または接続待機中は初期化できません。
- FOMAカードやmicroSDカードに保存・登録・設定されているデータは削除されません。

お知らせ

- パソコンから設定したデータ通信の設定は削除されません。
- ｉアプリを元に戻したいときは、「P-SQUARE」のサイトからダウンロードしてください。ダウンロードには別途通信料がかかります。
- 端末初期化を行った場合、ｉチャネルのテロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[ｉ]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
- 端末初期化を行った場合、Music&Videoチャネルの番組は自動取得されなくなりますので、Music&Videoチャネルメニューから設定確認画面へ接続し、番組設定を反映させてください。
- 削除するデータが多いときなどは端末初期化に時間がかかる場合があります。

<遠隔初期化>

遠隔操作でデータを初期化する

本機能の利用契約(ビジネスmoperaあんしんマネージャー)をすることで、管理者からのお申し出により、対象となるFOMA端末の各種データ(本体／microSDカード／FOMAカード(UIM)内のメモリ)を初期化することができます。

■お問い合わせ先
docomo Business Online　パソコンから　http://www.docomo.biz
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

遠隔初期化が起動すると

操作ができなくなる旨の画面が表示され、初期化が開始されます。

- 遠隔初期化が起動すると、音声電話の着信に対する応答･応答保留を除いてすべてのボタン操作がロックされ、各機能を使用することができなくなります。初期化が開始されると、すべての機能を使用することができなくなります。
- 着信中、通話中に遠隔初期化が起動した場合、[通話]と[終話]を除いてすべてのボタン操作がロックされます。初期化が開始されると、自動で着信や通話を終了します。

お知らせ

- 「時計設定」は初期化されません。
- パソコンとFOMA端末を接続しているときはmicroSDカードを初期化できない場合があります。

その他の「あんしん設定」

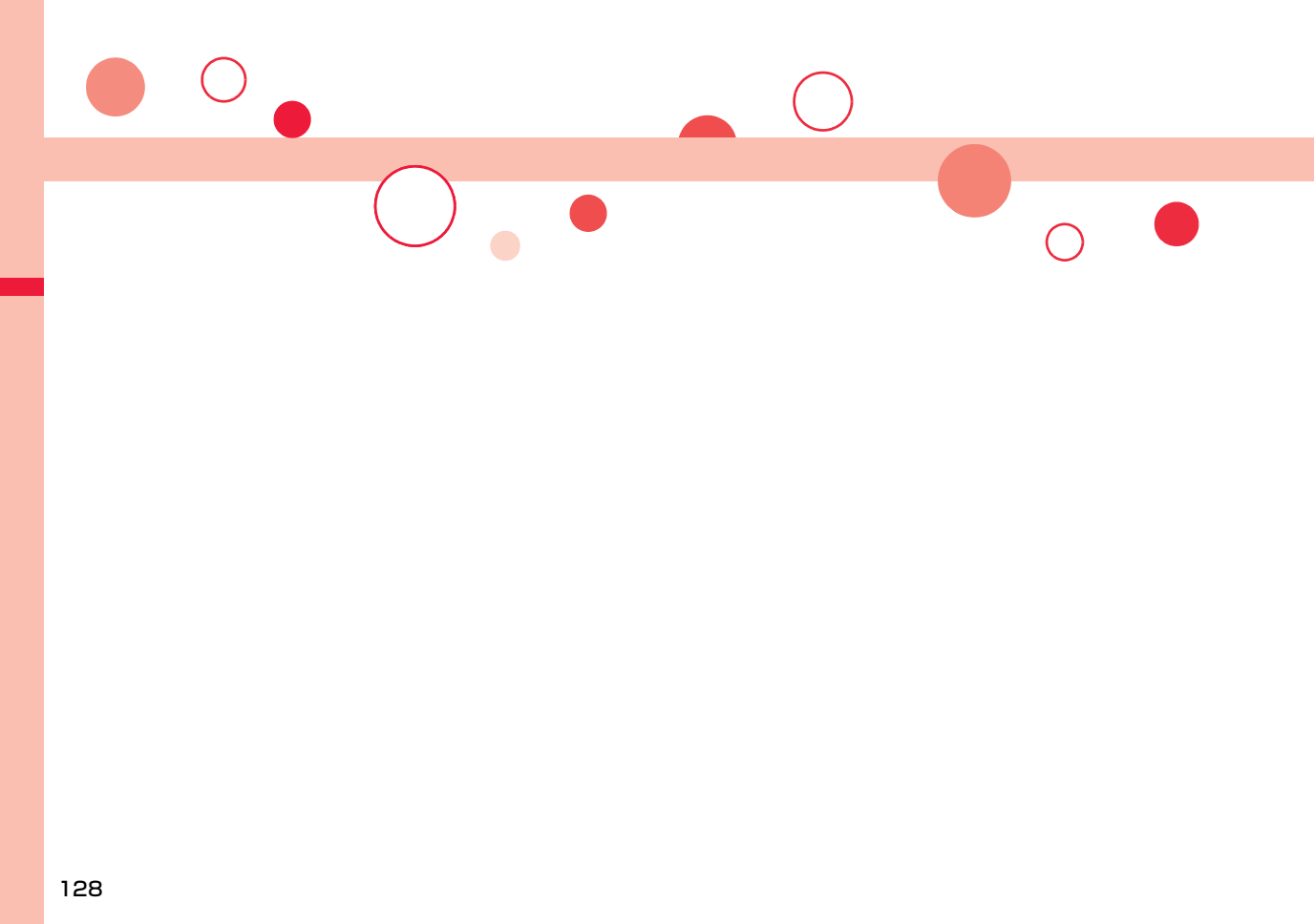
本章でご紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがございますのでご活用ください。

機能／サービス名称	目的	参照先
ICカードロック	ICカード機能の不正使用を防止したい	296
迷惑電話ストップサービス	いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	419
番号通知お願いサービス	発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	420
FirstPass	電子認証サービスを利用することにより、安全で信頼性のあるデータ通信を行いたい ※ FirstPass対応サイトに限ります	201
ソフトウェア更新	必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	497
スキャン機能	障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	502
メール選択受信	大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信したい	143

機能／サービス名称	目的	参照先
「ｉモード災害用伝言板」サービス	「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。	
メールアドレス変更		
迷惑メール対策 （URL付きメール拒否設定） （受信／拒否設定） （かんたんメール設定） （ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限） （SMS拒否設定） （未承諾広告※メール拒否） （メール設定確認）		
メール機能停止／再開		
メールサイズ制限		
ケータイお探しサービス		
イマドコかんたんサーチ		

お知らせ

- 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は、「迷惑電話ストップサービス」→「指定着信拒否」→「登録外着信拒否／非通知着信設定」→「呼出時間表示設定」の順になります。

メール

ｉモードメール／デコメール®を作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの履歴を利用する

メールの設定を行う

メッセージサービスを利用する

緊急速報「エリアメール」を利用する

チャットメールを使う

SMSを使う

ｉモードメール

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル(写真や動画ファイルなど)を10個まで添付できます。また、デコメール®にも対応しており、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えられるほか、デコメ®絵文字も使えて、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ®にも対応しております。

● ｉモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

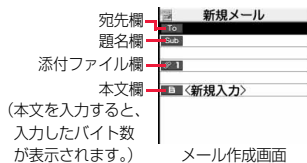
メール

＜ｉモードメール作成＞
ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメールを作成して送信します。
送信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。
デコメール®を作成するにはP.133を参照してください。

1 ✉▶✉(New)

●2in1のモードがデュアルモードの場合、「送信者アドレス切替A/B」で送信者アドレスを選択できます。(P.426参照)送信者アドレスが設定されていない場合は「📝」の代わりに「📝」が、送信者アドレスがBアドレスに設定されている場合は「📝」の代わりに「📝」が表示されます。

メール作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳 . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。
送信アドレス一覧 . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
受信アドレス一覧 . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
メールグループ . . . . メールグループを選択します。
直接入力 . . . . メールアドレスや電話番号を入力します。

●半角50文字まで入力できます。
●送信する相手がｉモード端末の場合は、メールアドレスの@より前の部分だけを入力しても送信できます。
●複数の宛先に送信する場合はP.131参照。
●追加した宛先を削除する場合はP.132参照。

3 題名欄を選択▶題名を入力

●全角100文字/半角200文字まで入力できます。

4 添付ファイル欄を選択▶項目を選択

●添付ファイルの選択方法についてはP.140参照。

5 本文欄を選択▶本文を入力

●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。
●冒頭文／署名を貼り付けるときはP.132参照。
●文字入力(編集)中の機能メニューについてはP.406参照。

メール本文入力画面

6 ✉(送信)を押す

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。
●送信を途中で中止する場合は、●(中止)またはCLR(1秒以上)を押します。ただし、タイミングにより送信されることがあります。

7 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または＝に変換されることがあります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 送信BOXに送信メールを最大保存件数／最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、ｉモードメールを作成できません。
  送信メールの保護を解除するか、保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 電話番号入力中などの機能メニューから「ｉモードメール作成」を選択した場合、電話番号とメールアドレスが電話帳に登録されているとメールアドレスが宛先に入力されます。電話帳に複数のメールアドレスが登録されている場合は、1番目のメールアドレスが入力されます。
- 宛先が電話番号で、先頭に「184」または「186」が入力されている場合、送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 宛先の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録されているときは、電話帳に登録されている名前が宛先欄に表示されます。
- 宛先に「,（カンマ）」が入力されている場合は送信できません。
- 宛先をTo、Cc、Bccに分けて送信できます。
- シークレットコードを設定して登録した電話帳を宛先に入力した場合、送信するときにシークレットコードが自動的に追加されます。ただし、宛先が電話番号または「電話番号@docomo.ne.jp」以外の場合は、電話帳にシークレットコードを設定していても、シークレットコードは追加されず、通常のｉモードメールとして送信されます。
- シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 受信側の端末によっては、題名がすべて受信できない場合があります。
- movaサービスのｉモード端末へは、本文は全角2000文字まで送信できます。
- 改行は全角1文字、スペースは全角または半角1文字分としてカウントされます。

お知らせ

- デコメ®絵文字を入力するとデコメール®になります。

メール作成画面の機能メニュー

送信	メールを送信します。 P.131手順7へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、題名、本文、添付ファイルを確認します。 ● ✉（送信）を押すとメールを送信できます。
保存	作成中や編集中のメールを保存BOXに保存します。
宛先操作	
宛先追加	宛先を追加すると、同じ内容のｉモードメールを一度に複数の相手に送信できます。同時に送信できる宛先は5件までです。 ▶**項目を選択** **電話帳**．．．．電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** ．．．．．．．．．電話番号またはメールアドレスを選択して●（選択）を押します。 **受信アドレス一覧** ．．．．．．．．．電話番号またはメールアドレスを選択して●（選択）を押します。 **直接入力**．．．メールアドレスや電話番号を入力します。 ● 続けて追加する場合は<未入力>を選択し、上記の操作を繰り返します。 ● iα（機能）を押して「宛先削除」を選択すると、選択している宛先を削除できます。「YES」を選択します。 ● iα（機能）を押して「宛先タイプ変更」を選択すると、メールのタイプを変更できます。（P.132参照） ● メール作成画面で入力済みの宛先を選択すると、宛先の一覧が表示されます。 ▶✉（完了）

メール

つづく

	宛先削除	宛先が複数あるときに、選択している宛先を削除します。 ▶YES
	宛先タイプ変更	▶**宛先のタイプを選択** To. . . . .直接の宛先です。宛先は受信側に表示されます。※ Cc . . . .直接の送信相手以外にメール内容を知らせたいときに指定します。宛先は受信側に表示されます。※ Bcc . . .他の送信相手に知られたくないときに指定します。宛先は受信側に表示されません。 ※受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
添付ファイル操作		
	カメラ起動	静止画や動画を撮影して添付します。 ▶**撮影モードを選択** ●撮影方法についてはP.217、P.219参照。
	添付ファイル追加	P.140参照
	添付ファイル削除	P.142参照
テンプレート		
	テンプレート読込み	デコメール®テンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。 ●すでに本文が入力されている場合は、本文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。 ▶**テンプレートを選択** テンプレートの内容が本文に入力されます。 ●テンプレート選択中に✉(デモ)を押すとテンプレートの内容を確認できます。 ●デコメール®の作成についてはP.133参照。
	テンプレート保存	作成中のデコメール®をテンプレートとして保存します。 ▶YES ●保存されているテンプレートがいっぱいのときはP.194参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.138参照。
冒頭文／署名貼付		冒頭文／署名をｉモードメールの本文の先頭／最後に貼り付けます。 ▶**冒頭文貼付・署名貼付** ●あらかじめ冒頭文／署名を登録しておく必要があります。(P.164参照) ●2in1のモードがデュアルモードの場合、貼り付ける署名を「Aアドレス」「Bアドレス」から選択します。
送信者アドレス切替A/B		2in1のモードがデュアルモードの場合に送信者アドレスを選択します。(P.426参照)

お知らせ

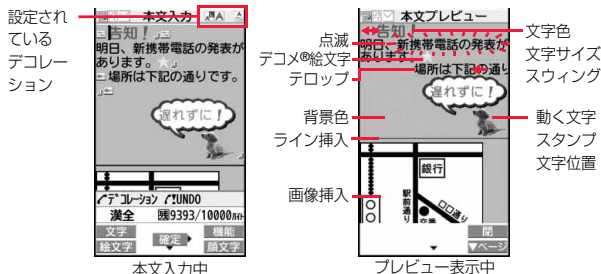
<宛先操作>
- 「To」、「Cc」、「Bcc」合わせてすでに宛先が5件入力されているときや、宛先が1件も入力されていない場合は、宛先を追加できません。
- 宛先に「To」設定がないｉモードメールは送信できません。

<テンプレート保存>
- 作成中のメールの題名がテンプレートのタイトル名となります。題名が入力されていない場合は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<冒頭文／署名貼付>
- 冒頭文と本文または署名と本文の合計が全角5000文字、半角10000文字を超える場合は貼り付けできません。
- 本文の先頭や文末に文字色や文字サイズのデコレーションが設定されている場合は、冒頭文や署名も合わせてデコレーションされます。

デコメール®を作成して送信する

ｉモードメール本文編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を挿入することによって自分のオリジナルメールを作成して送信できます。
また、テンプレート(ひな形)を使用して作成できます。(P.138参照)

本文入力中　　プレビュー表示中

1 P.130の手順1～手順4の操作を行う

2 本文欄を選択
▶パレットを使って本文をデコレーションする

●パレットの使いかたについてはP.134参照。

デコレーションを選択してから本文を入力する場合

▶デコレーションを選択▶本文を入力

本文を入力してからデコレーションを設定する場合

本文を入力▶▶(範囲選択)

P.135「範囲選択」へ進みます。

●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。(デコレーションにより、入力できる文字数は少なくなります。)
●メール本文をデコレーションすると、「」が表示されます。

3 (確定)を押す

メール作成画面が表示されます。
P.130手順6へ進みます。

お知らせ

●デコレーションした文字を削除しても、デコレーションデータのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。デコレーションの解除を行ってから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押して文字を削除した場合は、デコレーションデータも含めて文字が削除されます。
●受信したデコメール®を引用返信、転送した場合、デコレーションや挿入した画像はそのままの状態で本文に入力されます。
●メール送信できない画像が含まれたテンプレートを利用すると、画像が削除されます。
●送信先のｉモード端末によっては、10000バイトを超えるデコメール®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、本文のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
●パソコンなどとデコメール®送受信すると、デコレーションが正しく表示されない場合があります。
●テロップ･スウィングの動作や点滅、アニメーションは、一定の時間が経過すると停止します。

デコレーション

パレットを使って、ｉモードメールの本文をデコレーションします。
1箇所に複数のデコレーションを設定できます。

●文字位置･テロップ･スウィングを1箇所に組み合わせることはできません。
●ライン挿入は文字色で指定している色で挿入されます。
●画像挿入と動く文字スタンプ作成は文字位置･テロップ･スウィングで指定している状態で挿入されます。
●デコメ®絵文字は「画像挿入」で入力できますが、機能メニューの「絵文字入力」からも入力できます。

つづく

■パレットの使いかた

メール本文入力画面で(ペン)を押すとパレットが表示されます。

●デコレーションしている文字にカーソルがある場合、設定しているデコレーションのアイコンが押された状態で表示されます。
押された状態のアイコンを選んで(●)(選択)を押すとデコレーションを変更または終了、解除できます。
範囲選択中はCLRを押しても範囲選択を解除できます。

●(iα)(閉)を押すと、パレットが閉じます。パレット操作中にCLRを押しても、パレットが閉じます。

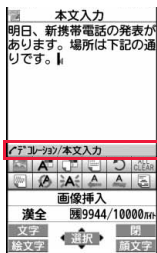
パレット操作

操作を切り替える

(ペン)を押すごとに、パレットの操作と本文入力の操作を切り替えることができます。パレットを表示したままカーソルを移動させたり、本文を入力したりできます。

●文字を入力後は「本文入力操作」になります。
続けてパレットを操作する場合は、(ペン)を押してから操作します。

■デコレーションの操作方法

項目		説明
画像挿入		
	文字スタンプ作成	入力する文字をスタンプにして本文に挿入します。スタンプはアニメーションになり様々な動きをして相手に気持ちを伝えてくれます。 ▶**動く文字スタンプを選択**▶**文字を入力** ●動く文字スタンプを削除するには、動く文字スタンプにカーソルをあて、CLRを押します。
	マイピクチャ	「マイピクチャ」に保存されている画像をメール本文に挿入します。 ▶**フォルダを選択**▶**画像を選択** ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、CLRを押します。
	カメラ	その場でカメラを起動して撮影した画像をメール本文に挿入します。 ▶**静止画を撮影** ●カメラの画像サイズはSub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)、QVGA(240×320)です。 ●画像を削除するには、画像にカーソルをあて、CLRを押します。 ●撮影方法についてはP.217手順2～手順3参照。
文字色		入力する文字の色、ラインの色を変更します。 ▶**色を選択**▶**文字を入力** ●(✉)(切替)を押して20色･256色を切り替えることができます。 ●文字色を変更中は画面の右上に「A」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
背景色		メール本文の背景色を変更します。 ▶**色を選択** ●(✉)(切替)を押して19色･256色を切り替えることができます。
ライン挿入		メール本文にライン(水平線)を挿入します。 自動的に改行が挿入され、ラインが挿入されます。 ●ラインを削除するには、ラインにカーソルをあて、CLRを押します。
元に戻す(UNDO)		設定したデコレーションなどを元の状態に戻します。2回まで戻せます。 ●(ペン)を1秒以上押しても戻せます。
デコレーション全解除		すべてのデコレーションを解除します。 ▶**YES** ●挿入した画像がある場合は、「インライン画像を削除しました」と表示されます。

範囲選択	入力済みの文字を選択して文字色、点滅、文字サイズ、文字位置、テロップ、スウィングを設定します。また、設定済みのデコレーションを変更、追加したり、点滅、テロップ、スウィングを解除できます。 **▶始点を選択** ●(全選択)を押して「YES」を選択すると全文を選択できます。 **▶終点を選択** 各デコレーションを設定、変更、追加、解除します。 ●範囲選択中は画面の右上に「選択/SELECT」が表示されます。 **<デコレーションを設定、変更、追加する>** **▶アイコンを選択し、デコレーションを設定、変更、追加** ●複数のデコレーションを変更する場合やデコレーションを追加する場合は、続けて他のアイコンを選択します。 **▶ (範囲選択解除)** ●点滅、テロップ、スウィングを設定した場合は、再度それぞれのアイコンを選択して各デコレーションを終了します。 **<点滅、テロップ、スウィングを解除する>** **▶点滅、テロップ、スウィングのアイコンを選択** **▶再度同じアイコンを選択**
文字サイズ	入力する文字のサイズを変更します。 **▶サイズを選択▶文字を入力** ●文字サイズを変更中は画面の右上に「L」「S」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。
点滅設定	入力する文字を点滅表示させせます。 **▶文字を入力** 文字が点滅表示されます。 ●点滅を設定中は画面の右上に「A」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 **▶▶ (点滅解除)**
テロップ設定	入力する文字、挿入する画像をテロップ表示(右から左へ流れる表示)させます。 **▶文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」が表示されます。 ●テロップを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 **▶▶ (テロップ解除)** 自動的に改行が挿入されます。
スウィング設定	入力する文字、挿入する画像をスウィング表示(左右を往復する表示)させます。 **▶文字を入力** 自動的に改行が挿入され、カーソルの前後に「 」が表示されます。 ●スウィングを設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 **▶▶ (スウィング解除)** 自動的に改行が挿入されます。
文字位置	入力する文字、挿入する画像の位置を変更します。 **▶文字位置を選択▶文字を入力** 自動的に改行が入力され、文字位置が設定されます。 ●文字位置を設定中は画面の右上に「 」が表示されます。 ●続けて他のデコレーションも設定できます。 ●範囲選択している場合は、文字を入力する必要はありません。

つづく

お知らせ

＜画像挿入＞

- 画像は20種類まで、合計90Kバイトまで挿入できます。ただし、Flash画像は2種類までです。操作によっては20種類以下でも画像の数がオーバーするため再編集する旨の確認画面が表示されます。
- 同一の画像を複数挿入した場合、挿入数は1種類として扱われます。既に挿入されている画像をコピー／ペーストした場合も同一画像の挿入と見なされ合わせて1種類として扱われます。ただし、Flash画像の場合は、同一の画像を挿入すると2種類目として扱われます。
- 挿入した画像にも点滅、テロップ、スウィング、文字位置を設定できますが、Flash画像の場合は設定できません。

＜文字色＞

- 別の色が設定されている文字にカーソルを移動させると、その文字色に設定が変わります。
- 絵文字の色も指定した文字色で表示されます。通常の色に戻したいときは「指定なし」に設定してください。
- デコメ®絵文字の色は変更できません。

＜背景色＞

- 冒頭文や署名の編集時は背景色を変更できません。

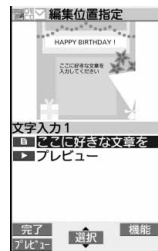
＜文字サイズ＞

- 別の文字サイズが設定されている文字にカーソルを移動させると、移動先の文字サイズに設定が変わります。
- デコメ®絵文字のサイズは変更できません。

＜点滅設定＞

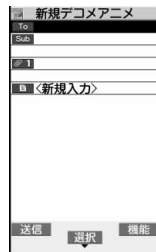
- デコメ®絵文字は点滅させることはできません。

デコメアニメ®を作成して送信する

デコメアニメ®は、デコメアニメ®テンプレートを利用し、メッセージや画像を挿入したFlash画像を使った表現力豊かなメールサービスです。お買い上げ時に登録されているテンプレートやIP(情報サービス提供者)のサイトから購入したテンプレートを利用して作成できます。

デコメアニメ®編集画面

プレビュー表示中

1 ✉▶**新規デコメアニメ作成**

- 2in1のモードがデュアルモードの場合、「送信者アドレス切替A/B」で送信者アドレスを選択できます。(P.426参照)送信者アドレスが設定されていない場合は「」の代わりに「」が、送信者アドレスがBアドレスに設定されている場合は「」の代わりに「」が表示されます。

デコメアニメ®作成画面

2 **P.130手順2～手順4の操作を行う**

メール

3 本文欄を選択▶本体・microSD ▶デコメアニメ®テンプレートを選んで[✉](メール作成)

- すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、デコメアニメ®編集画面が表示されます。手順4へ進みます。
- デコメアニメ®テンプレートを選択すると、プレビューが表示されます。
- デコメアニメ®テンプレートによっては、内容を編集できないものもあります。
- デコメアニメ®テンプレートの内容のまま送信する場合は、手順5へ進みます。
- 保存BOX、送信BOXから再編集する場合や、受信BOXから転送する場合は、デコメアニメ®の本文は編集できません。

4 編集したい内容欄を選択

文字を編集する場合

文字入力欄を選択▶文字を編集

画像を変更する場合

画像挿入欄を選択
▶フォルダを選択し、変更したい画像を選択

- デコメアニメ®編集画面で[MENU](プレビュー)を押すか、文字入力欄の「 ▶ プレビュー」を選択するとプレビューが表示されます。
- 文字を入力する際にデコレーションすることやデコメ®絵文字を入力することはできません。また、冒頭文や署名は貼り付けられません。
- 文字入力行の途中で改行した場合、入力できる文字数が少なくなります。
- デコメアニメ®テンプレート、文字、画像の合計が90Kバイトを超える場合は、デコメアニメ®を作成できません。
- デコメアニメ®テンプレートによっては合計が90Kバイト以下でも画像を挿入できない場合があります。
- 画像や文字の表示位置やフォントは固定されていて編集できません。
- 文字入力欄によっては、文字入力(編集)画面に改行位置を示す」(赤色)や文字入力不可能範囲を示す▸(橙色)が表示される場合があります。

5 [✉](完了)

デコメアニメ®の編集を終了します。
P.130手順6へ進みます。

お知らせ

- 送信BOXに送信メールを最大保存件数／最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、デコメアニメ®作成できません。
- デコメアニメ®に挿入できる画像は、GIFファイル(アニメーションGIFを含む)、JPEGファイル、SWFファイルです。
- アニメーションGIFファイルやSWFファイルを挿入すると、送信時にサイズオーバーになることがあります。
- 送信に失敗した場合でも、再編集はできません。
- デコメアニメ®によっては、文字入力欄に「使い方」などが入力されていることがあります。それらを削除してから送信してください。
- 送信先のｉモード端末によっては、デコメアニメ®を送信した場合、送信先では閲覧用のURLが記載されたメールを受信します。ただし、機種によっては、デコメアニメ®の文字部分のみ受信し、閲覧用のURLがないメールを受信する場合があります。
- 受信したデコメアニメ®をテンプレートとして利用することはできません。

デコメアニメ®作成画面の機能メニュー

送信	デコメアニメ®を送信します。 P.131手順7へ進みます。
プレビュー	送信する前にデコメアニメ®を再生して確認します。 ●デコメアニメ®再生時の動作についてはP.139参照。 ●[iα](閉)を押すと、デコメアニメ®作成画面に戻ります。
保存	作成中のデコメアニメ®を保存BOXに保存します。保存すると、デコメアニメ®本文は再編集できません。 ▶YES ●デコメアニメ®テンプレートを選択せずに保存した場合、ｉモードメールとして保存されます。
宛先操作	P.131参照
添付ファイル操作	P.132参照

つづく

テンプレート	デコメアニメ®テンプレートを読み込んでデコメアニメ®を作成します。 ▶本体･microSD ▶デコメアニメ®テンプレートを選んで✉(メール作成) P.137手順4へ進みます。 ●すでにデコメアニメ®テンプレートを選択している場合は、内容を破棄して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。
送信者アドレス切替A/B	2in1のモードがデュアルモードの場合に送信者アドレスを選択します。(P.426参照)

デコメアニメ®編集画面の機能メニュー

テンプレート	P.138参照
プレビュー	P.137参照
削除	入力画像を削除します。画像入力欄は空白になります。
編集終了	デコメアニメ®の編集を終了します。 P.130手順6へ進みます。

<テンプレート>

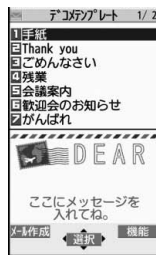
テンプレートを利用してデコメール®／デコメアニメ®を作成する

テンプレートは文字や画像で作られたひな形データです。デコメール®テンプレートとデコメアニメ®テンプレートの2種類があります。
お買い上げ時に保存されている以外に、サイトからダウンロードもできます。(P.192参照)また、デコメール®テンプレートでは送受信したデコメール®や作成中のデコメール®をデコメール®テンプレートとして保存できます。(P.132、P.157参照)保存したデコメール®テンプレートはパレットで編集できます。デコメアニメ®テンプレートは編集できません。

●お買い上げ時に保存されているテンプレートは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.193参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。

デコメール®テンプレート

1 ✉▶テンプレート▶デコメール▶テンプレートを選択

●✉(メール作成)を押すと、テンプレートの内容でデコメール®の作成になります。P.130手順2へ進みます。
●「冒頭文／署名設定」で冒頭文や署名を自動で貼り付けるように設定していても、冒頭文や署名は貼り付けられません。
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

デコメール®
テンプレート一覧画面

→

デコメール®
テンプレート詳細画面

デコメール®テンプレート一覧画面の機能メニュー

ｉモードメール作成		テンプレートの内容でデコメール®を作成します。 P.130手順2へ進みます。
ソート		表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角30文字まで入力できます。
情報表示		テンプレートのファイルサイズ、保存日時、画像の有無を表示します。
保存件数確認		テンプレートの保存件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいテンプレートにチェック▶✉(完了) ▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

デコメール®テンプレート詳細画面の機能メニュー

iモードメール作成	テンプレートの内容でデコメール®を作成します。 P.130手順2へ進みます。
編集	テンプレートの内容を編集して保存します。 ▶本文を編集▶●(保存)▶YES･NO YES . . . 上書きして保存します。 NO . . . . 別データとして保存します。 ●本文の編集方法についてはP.133手順2～手順3参照。 ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.194参照。
挿入画像保存	テンプレートやデコメール®の本文に挿入された画像を保存して、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。 ▶画像を選択▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.192手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

<編集>

●別データとして保存したときのタイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)

<挿入画像保存>

●デコメ®絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに保存されます。

デコメアニメ®テンプレート

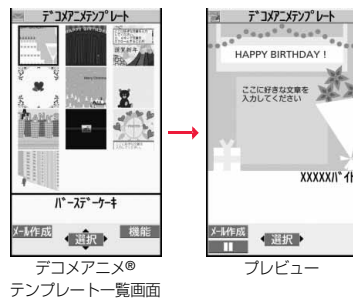
1 ✉▶テンプレート▶デコメアニメ▶本体･microSD

●「iモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

2 テンプレートを選択

テンプレートのプレビューが表示されます。

●✉(メール作成)を押すと、テンプレートの内容でデコメアニメ®の作成になります。P.136手順2へ進みます。

デコメアニメ®
テンプレート一覧画面

プレビュー

デコメアニメ®の再生画面やプレビューを表示したときは

自動的にアニメーションが再生されます。デコメアニメ®には効果音が鳴るものやFOMA端末を振動させるものがあります。また、デコメアニメ®によっては、再生画面やプレビュー表示中に○、●、0～9、#、*で操作できるものもあります。

●アニメーションや効果音の再生中にMENU(II)を押すと、一時停止します。再度、MENU(▶)を押すと再開されます。

●効果音は「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。デコメアニメ®テンプレート一覧画面からプレビューを表示したときの効果音は、設定に関係なく表示するたびに鳴ります。

●バックグラウンド再生中は、効果音は鳴りません。

●FOMA端末が振動する場合は、「バイブレータ」や「マナーモード選択」の設定に関わらず振動します。

●デコメアニメ®によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「iモード設定」の「iモードブラウザ設定」内の「端末情報利用設定」を「有効」に設定してください。(お買い上げ時は「有効」に設定されています。)

●Flash画像に含まれているFLVは再生されません。

デコメアニメ®テンプレート一覧画面の機能メニュー

デコメアニメ作成		テンプレートの内容でデコメアニメ®を作成します。 P.136手順2へ進みます。
プレビュー		デコメアニメ®テンプレートのプレビューを表示します。
タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角10文字／半角20文字まで入力できます。
microSDへコピー		P.346参照
本体へコピー		P.347参照
情報表示		テンプレートのタイトル名、ファイル名、ファイル種別、ファイル制限の有無を表示します。
赤外線／iC送信		
	赤外線送信	P.360参照
	赤外線全件送信	P.361参照
	iC送信	P.362参照
削除		
	1件削除	P.138参照
	選択削除	P.138参照
	全削除	P.138参照

<添付ファイル>

ファイルを添付する

ｉモードメールにファイルやデータを添付して送信します。
以下のファイルを添付できます。

・静止画　・メロディ　・ｉモーション　・トルカ　・PDF
・電話帳　・スケジュール　・ToDo　・Bookmark
・Word　・Excel　・PowerPoint　・SDその他ファイル

最大10件まで、合計2Mバイトまで添付できます。

- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは添付できません。
- 自端末で撮影した静止画や動画、赤外線で受信したファイルは、「ファイル制限」の設定に関わらず添付できます。
- ファイルを添付するとメール作成画面に添付ファイル欄が1つ増えます。
- 送信先のｉモード端末によっては、その端末のメール受信容量内で、対応しているファイルのみ受信します。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信に時間がかかる場合があります。

1 メール作成画面▶添付ファイル欄を選択▶以下の操作を行う

ピクチャ	▶フォルダを選択▶画像を選択 ●添付した画像を選択すると、画像を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
メロディ	▶フォルダを選択▶メロディを選択 ●添付したメロディを選択すると、メロディを再生できます。いずれかのボタンを押すと再生は停止します。
ｉモーション	▶フォルダを選択▶ｉモーションを選択 ●添付したｉモーションを選択すると、ｉモーションを再生できます。元の画面に戻るには再生中にCLRを押すか、再生を停止します。
トルカ	トルカがトルカ（詳細）の場合はトルカ（詳細）として添付されます。 ▶フォルダを選択▶トルカを選択 ●添付したトルカを選択すると、プレビューが表示されます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
PDF	▶フォルダを選択▶PDFを選択 ●添付したPDFを選択すると、PDFを表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。

電話帳	▶検索方法を選択▶電話帳を選択▶●(選択) ●前回、検索方法を指定している場合は、その検索方法で検索されます。 ●添付した電話帳を選択すると、電話帳の詳細を表示できます。元の画面に戻るにはiα(戻る)またはCLRを押します。
スケジュール	▶日付を選択▶スケジュールを選択▶●(選択) ●添付したスケジュールを選択すると、スケジュールの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
ToDo	▶ToDoを選択▶●(選択) ●添付したToDoを選択すると、ToDoの詳細を表示できます。元の画面に戻るにはCLRを押します。
Bookmark	▶ブックマークを選択 ●添付したブックマークを選択すると、ブックマークのタイトルやアドレスを表示できます。元の画面に戻るにはiα(戻る)またはCLRを押します。
ドキュメントファイル	Word、Excel、PowerPointのファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択
その他	「SDその他ファイル」に保存しているファイルを添付します。 ▶フォルダを選択▶ファイルを選択

2 P.130手順2へ進む

●ファイルを添付するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。「NO」を選択すると100Kバイト以上の添付ファイルが削除されます。

お知らせ

<ピクチャ>

●movaサービスのｉモード端末へは添付ファイル形式ではなく、画像閲覧用URLおよび画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを選ぶことで画像を取得できます。movaサービスのｉモード端末へ送れるメール本文は最大全角184文字(369バイト)です。(受信するmova端末の受信文字数が「全角250文字」の場合)
複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

●GIF画像はmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

●Flash画像も添付できます。

●ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。

●受信側の機種によっては、静止画が正しく受信できなかったり、受信した画像が表示できない場合や粗く表示される場合があります。

<メロディ>

●microSDカードに保存しているメロディは添付できません。メロディをFOMA端末にコピーしてください。(P.349参照)

●受信側がP-09A以外の場合は、送信したメロディが正しく再生されないことや添付削除されることがあります。

●添付されたメロディはmovaサービスのｉモード端末では受信できません。

<ｉモーション>

●ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減したり、メールに添付できない場合があります。

●microSDカードに保存しているｉモーションは添付できません。ｉモーションをFOMA端末にコピーしてください。(P.349参照)

●受信側の端末によっては、正しく受信、表示ができない場合や、画質が粗くなったり連続静止画に変換される場合があります。
2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合には、以下の設定で撮影した動画がおすすめです。
動画容量設定:メール制限(小)
画質設定:ノーマル

<トルカ>

●microSDカードに保存しているトルカは添付できません。トルカをFOMA端末にコピーしてください。(P.299参照)

添付ファイル削除

選択している添付ファイルを削除／全削除します。

1 **メール作成画面▶ⓘα(機能)▶添付ファイル操作▶添付ファイル削除▶1件削除・全削除▶YES**

- 1件削除の場合は削除したい添付ファイルを選んでおきます。

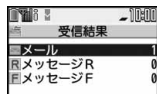
<メール自動受信>
iモードメールを自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にiモードメール・SMS・SMS送達通知が送られてきます。（iモードメールを選択して受信するにはP.143参照。）
メールが届くと画面の上部に「(ピンク)」が表示されます。
受信したiモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。

1 **iモードメールを受信すると「(ピンク)」が点滅し、受信中のメッセージが表示される**

受信結果画面

受信が終わると、受信したiモードメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。
- 受信を途中で中止する場合は、「メール受信中･･･」と表示されている間に「中止」を選択するかCLRを1秒以上押します。ただし、タイミングによっては受信されます。
- 何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「メール1」(P.28参照)が表示され、元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
  ●を押し、「メール1」を選んで●(選択)を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。

お知らせ

- iモードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、iモードセンターから手動で取得できます。(P.145参照)
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「(紺色)」が表示されます。iモードメールを受信するには、「(紺色)」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「iモード問い合わせ」を行ってください。
- iモードメールではメロディや静止画などを添付ファイルとして受信できます。対応していない添付ファイルは受信は可能ですが表示はできません。
- To、Cc、Bccを設定できる端末からメールが送信された場合、自分がTo、Cc、BccのどれにあてはまるかFOMA端末で確認できます。
- 以下のような場合にメールを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
  ･電源OFFのとき　･テレビ電話中　･セルフモード設定中
  ･圏外のとき　･赤外線通信中　･FirstPassセンター接続中
  ･おまかせロック中　･iC通信中　･microSDへコピー中
  ･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読メールにより、受信BOXの容量が満杯のとき
- iモードセンターにiモードメールが保存されているときは「(ピンク)」が、iモードセンターのiモードメールが一杯のときは「(紺色)」が表示されます。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面▶メール▶表示したいｉモードメールを選択

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。(詳細)を押すと、詳細画面が表示されます。
- ｉモードメールの詳細画面でを1秒以上押すと文字の大きさが変わります。(P.109「メール」参照)

お知らせ

- 正しく表示できない文字はスペースなどで表示されます。
- ｉモードメールの本文が受信可能な文字数を超えた場合は、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。
- メール表示時に自動的に表示される静止画は正しく表示できない場合があります。また、画像サイズがディスプレイより大きい場合は、縦横比を保ったまま縮小して表示されます。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメール(HTMLメール)を受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

<メール選択受信>

ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのタイトルなどを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除できます。
メール選択受信を利用するには、あらかじめ「メール選択受信設定」を「ON」に設定します。
なお、「ON」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。メールがｉモードセンターに届くと「」が表示されます。

メール選択受信設定

ｉモードメールを選択受信するかどうかを設定します。

1 ▶メール設定▶メール選択受信設定▶ON・OFF

メールを選択受信する

1 ▶メール選択受信▶「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」の手順に従って操作

- 「メール選択受信設定」が「OFF」の場合は、「ON」に設定する旨の画面が表示されます。
  (選択)を押すと「メール選択受信設定」を設定できます。
- 「▶メニューリスト▶メール選択受信」の操作を行ってもメール選択受信画面が表示されます。

お知らせ

- メール選択受信設定を「ON」に設定していても「ｉモード問い合わせ」を行うとすべてのメールを受信しますので、受信したくない場合には、問い合わせたい項目から「メール」を外してください。(P.163参照)
- メール選択受信画面を表示した場合、「」のアイコンは消灯します。また、電源を切ったり、メール画面を表示した場合なども「」のアイコンは消灯します。
- SMSは選択して受信できません。

<ｉモード問い合わせ>

ｉモードメールがあるかを問い合わせる

ｉモードセンターに届いたｉモードメールやメッセージR/Fは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定が「ON」のときは、ｉモードセンターに保管されます。
「 (ピンク)」が表示された場合は、ｉモードセンターへ問い合わせを行い、それらを受信します。
「 」が表示された場合は、「メール選択受信」参照。

1 **(✉)を1秒以上押す**

「 (ピンク)」と「R(黄色)・F(黄色)」が点滅して「問い合わせ中」と表示され、ｉモードメールやメッセージR/Fを受信します。
問い合わせ結果には、新しく受信したｉモードメールとメッセージR/Fの件数を表示します。

- 音声電話中に(iα)(機能)を押して「ｉモード問い合わせ」を行うこともできます。
- 受信を途中で中止する場合は、(CLR)を1秒以上押します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

お知らせ

- 「 (紺色)」「R(紺色)・F(紺色)」「 (紺色)」などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はこれ以上ｉモードメールやメッセージR/Fを受信できません。不要なメールやメッセージを削除するか、未読のメールやメッセージを読むか、保護を解除してください。(読んだり、保護を解除したりしたメールやメッセージは、古いものから順に自動的に削除されます。)
- ｉモードセンターにｉモードメールが保管されている場合でも、そのことを示すアイコン「 (ピンク)」や、ｉモードセンターのｉモードメールが一杯になっていることを示すアイコン「 (紺色)」が表示されないことがあります。(FOMA端末の電源が入っていないときにセンターに届いた場合など)
- 問い合わせをする項目を「ｉモード問い合わせ設定」で選択できます。
- 本機能でSMSは受信できません。SMSは「SMS問い合わせ」で受信してください。

<返信><引用返信>

受信したｉモードメールに返信する

「ｉモードメールで返信」では通常のｉモードメールとして、「デコメアニメで返信」ではデコメアニメ®を作成して返信できます。また、「引用返信」では受信したｉモードメールの本文を引用して返信できます。デコメアニメ®、SMSは引用返信できません。

1 **受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶(iα)(機能)▶返信／転送▶ｉモードメールで返信・デコメアニメで返信・返信・引用返信**

- (✉)(返信)を押すと、ｉモードメール・SMSとして返信できます。
- 自分以外に同報先があるときは、送信元のみに返信するか、すべての宛先に返信するかを選択できます。
「送信元へ」または「すべてへ」を選択します。
- 引用符(P.164参照)は、引用返信するｉモードメールの本文の先頭に1つだけ付きます。

2 **題名、本文を入力して送信する**

ｉモードメールを選択していた場合はP.130手順3へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.174手順3へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- 返信できない送信元(メールアドレスが半角文字で50文字を超えているときなど)には「 」が表示されます。
- 返信または引用返信する際は題名に「Re:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Re:」が付いているときは「Re2:」となり、「Re99:」まで付きます。)
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、返信をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.150参照。
- メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像がデコメール®の本文に挿入されている場合、画像が削除されて返信されます。

＜転送＞
受信したｉモードメールを転送する

ｉモードメールやSMSを他の人に転送できます。

1 **受信メール一覧画面･受信メール詳細画面 ▶ (機能) ▶ 返信／転送 ▶ 転送**

● 受信メール一覧画面表示中は、MENU(転送)を押しても転送できます。

2 **題名、宛先を入力して送信する**

ｉモードメール、デコメアニメ®を選択していた場合はP.130手順2へ進みます。
SMSを選択していた場合はP.174手順2へ進みます。
送信すると「 」が「 」に変わります。

お知らせ

- 転送する際は題名に「Fw:」が追加されます。題名の文字数が全角文字で100文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。(すでに「Fw:」が付いているときは「Fw2:」となり、「Fw99:」まで付きます。)
- 取得されていないファイルがあるｉモードメールを転送すると、ファイルの情報は削除されます。
- ｉモードメール本文に、貼り付けデータがある場合、転送をしても貼り付けデータは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時も貼り付けデータは引用できません。貼り付けデータについては、P.150参照。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)が添付されているメールを転送する場合、添付ファイルは詳細を取得する前のトルカになります。
- microSDカード内に保存されているメールを転送する場合は、添付ファイルは削除されます。
- 2in1のモードがデュアルモード中にBナンバー宛のSMSを「転送」した場合は、Aモードに切り替えても送信BOXまたは保存BOXに送信SMSが残ります。

ファイルが添付または貼り付けられたｉモードメールを受信したときは

FOMA端末では、2Mバイトまでの添付ファイルを受信できます。ただし、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は、一部またはすべての添付ファイルは情報だけが受信されますので、改めてｉモードセンターから取得する必要があります。
FOMA端末が対応しているのは以下のファイルです。

･静止画　･メロディ　･ｉモーション　･ムービー　･トルカ
･PDF　･電話帳　･スケジュール　･ToDo　･Bookmark
･Word　･Excel　･PowerPoint

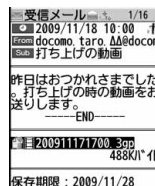
上記以外のファイルはFOMA端末で再生･表示できません。「SDその他ファイル」内の任意のフォルダに保存するか、またはｉモードメールで転送できます。
「添付ファイル優先受信」で受信するファイルを選択できます。

● 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。

選択受信添付ファイルを取得する

ｉモードセンターに保管されている選択受信添付ファイルを取得します。

1 **受信メール詳細画面 ▶ 取得前の添付ファイルを選択**

取得完了後、ファイルが再生／表示されます。

お知らせ

● 受信BOX内の空き容量が添付ファイルより少ないときは取得できません。

添付または貼り付けられたファイルを再生／表示する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを再生または表示できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面▶添付ファイルを選択

ファイルが再生または表示されます。

- ムービー、ドキュメントファイルの場合は、再生または表示できない旨の確認画面が表示されます。microSDカードに保存してから再生／表示してください。
- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 1ファイルが複数のデータを含んでいる電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマークが添付されている場合、1件目のみが表示できます。

お知らせ

- 送信元がP-09A以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 添付ファイルの1件目が取得済みの静止画の場合は、メール表示時にその静止画のみ自動的に表示されます。自動的に表示される静止画のサイズは8M（2448×3264）までです。
- 画像のサイズがディスプレイより大きいときは、縮小して表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディの場合は再生できません。
- 100Kバイトを超えるFlash画像の場合は再生できません。
- Flash画像に含まれているFLVは再生されません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ（詳細）の場合100Kバイトを超えていると表示できません。

添付または貼り付けられたファイルを保存する

取得済みの添付または貼り付けられたファイルを保存できます。ファイルによっては着信音に設定できたり、待受画面やウェイクアップ画面などに設定できます。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面▶添付ファイルを選んで[iα]（機能）▶ファイル操作▶添付ファイル保存▶YES

- ムービーの場合は、「ムービー」内の「SDムービー」フォルダ内の保存先フォルダに保存されます。
- ドキュメントファイルの場合は、「ドキュメントビューア」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末では対応していないファイルの場合は、「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- FOMA端末に対応しているファイルでも、サイズが大きすぎたり無効なデータのファイルなど、ファイルによってはFOMA端末に保存できないものがあります。この場合microSDカードに保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は「SDその他ファイル」内の保存先フォルダに保存されます。
- 添付ファイルによっては、一部登録できない旨の確認画面が表示される場合があります。

2 保存したい保存先またはフォルダを選択

メロディの場合はP.193手順3へ進みます。
静止画の場合はP.192手順3へ進みます。

- ブックマークはｉモード、フルブラウザのそれぞれの情報に従って保存されます。
- SDその他ファイル、ムービー、ドキュメントファイルを保存する際に、microSDカードにすでに最大保存件数まで保存されている場合や、保存容量がいっぱいの場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、表示されたデータBOX内の一覧から不要なファイルを選択して削除します。SDその他ファイル、ムービー、ドキュメントファイル以外のファイルがいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

- 100Kバイトを超えるメロディの場合、FOMA端末には保存できません。
- 500Kバイトを超えるFlash画像の場合、FOMA端末には保存できません。
- トルカの場合1Kバイト、トルカ(詳細)の場合100Kバイトを超えていると、FOMA端末には保存できません。

<受信BOX><送信BOX><保存BOX>
受信／送信／保存BOXのメールを表示する

受信BOXのメールを表示する

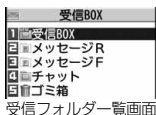
受信したｉモードメールは、SMSと合わせて最大2500件まで保存できます。
エリアメールはｉモードメール、SMSとは別に30件まで保存できます。
受信したｉモードメールやSMS、エリアメールを確認できます。

- お買い上げ時は、Welcomeメールが保存されています。

1 **[✉]▶受信BOX▶フォルダを選択**

- メッセージR、メッセージFを表示する場合はP.166参照。

受信BOX
1 受信BOX
2 メッセージR
3 メッセージF
4 チャット
5 ゴミ箱

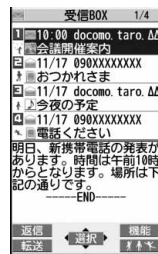
受信フォルダ一覧画面

2 **メールを選択**

- 未読のメールを選択した場合は「✉(ピンク)」が「✉」に変わります。
- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。また、デコメアニメ®によっては繰り返し再生されるものもあります。[iα](詳細)を押すと、受信メール詳細画面が表示されます。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.139参照。

受信メール一覧画面

→

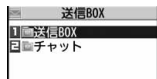
受信メール詳細画面

- [◀▶]で他のメールを確認できます。受信メール詳細画面で[◀▶]でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。
- メールの本文が長い場合は[▲▼]で画面をスクロールして確認できます。また、[MENU](▲ページ)[📷](▼ページ)や[▲][▼]を押すと画面単位でスクロールします。デコメアニメ®の場合はスクロールできません。

お知らせ

- Welcomeメールには通信料はかかっていません。
- Welcomeメールには返信できません。
- 添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。
- バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。
- Flash画像に含まれているFLVは再生されません。

送信BOXのメールを表示する

送信したｉモードメールやSMSは合わせて最大1000件まで保存できます。
送信したｉモードメールやSMSを確認できます。

1 [メール]▶**送信BOX**▶**フォルダを選択**

送信フォルダ一覧画面

2 **メールを選択**

- デコメアニメ®の場合は、デコメアニメ®の再生画面が表示されます。[iα](詳細)を押すと、送信メール詳細画面が表示されます。デコメアニメ®再生時の動作についてはP.139参照。
- [左右キー]で他のメールを確認できます。送信メール詳細画面で[左右キー]でデコメアニメ®を表示した場合は、デコメアニメ®の再生画面は表示されません。

送信メール一覧画面　送信メール詳細画面

- メールの本文が長い場合は[上下キー]で画面をスクロールして確認できます。また、[MENU](▲ページ)[カメラ/TV](▼ページ)や[▲][▼]を押すと画面単位でスクロールします。デコメアニメ®の場合はスクロールできません。

お知らせ

- 添付メロディ、メール本文中のFlash画像の効果音、デコメアニメ®本文の効果音は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に従って鳴ります。ただし、メロディが添付されているメールで、メール本文中のFlash画像の効果音やデコメアニメ®本文の効果音がある場合は、メロディが優先され、効果音は鳴りません。
- バックグラウンド再生中は、メロディや効果音は鳴りません。

保存BOXのメールを表示する

送信せずに保存してあるｉモードメールやSMSを編集して送信できます。ｉモードメールとSMSを合わせて最大20件まで保存できます。

1 [メール]▶**保存BOX**

保存メール一覧画面

2 **メールを選択**

ｉモードメールを選択していた場合はP.130手順2へ進みます。デコメアニメ®を選択していた場合は[メール](編集)を押してP.136手順2へ進みます。SMSを選択していた場合はP.174手順2へ進みます。

お知らせ

- ｉアプリメール用フォルダを選択すると、それに対応するメール連動型ｉアプリが起動します。

受信／送信／保存メール一覧画面・詳細画面の見かた

■メールメニュー

受信BOX、送信BOX、保存BOXには以下のマークが付くことがあります。

マーク	説明
NEW	受信BOXに未読メール、メッセージあり
(!)	送信BOXに送信に失敗したメールあり 保存BOXに保存メールあり
(鍵)	「メールセキュリティ設定」設定中 （チャットメールにも表示されます。）

■受信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

未読のメールがあるときは「NEW」、メールセキュリティを設定すると「(鍵)」が表示されます。

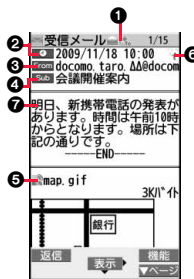
マーク	説明
(通常フォルダ)	通常のフォルダ
(iアプリ)	ｉアプリメール用フォルダ
(R)	メッセージR用フォルダ
(F)	メッセージF用フォルダ
(ゴミ箱)	ゴミ箱フォルダ

❷フォルダ名

■受信メール一覧画面と受信メール詳細画面

受信メール一覧画面
日時＋差出人／宛先　題名の場合

受信メール一覧画面
日時＋題名の場合

受信メール詳細画面

❶メールの状態やタイプ

保護設定すると「(鍵)」が表示されます。

マーク	説明
(ピンク)	未読メール
(既読)	既読メール
(転送)	転送済みメール
(返信)	返信済みメール
To　Cc　Bcc	受信したメールのタイプ（詳細画面のみ）

❷受信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日受信したメールは時刻が表示され、前日までに受信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。日付・時刻はセンターから受信した日本時間が表示されます。

❸送信元・同報先の電話番号またはメールアドレス

マーク	説明
From	送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
Fm	返信できない送信元メールアドレス（詳細画面のみ）
To　Cc	同報メールアドレス（詳細画面のみ）
To　Cc	返信できない同報メールアドレス（詳細画面のみ）

メール

つづく

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」、「文字サイズ設定」の「メール」の設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMS、エリアメールの場合は、本文の最初の部分が表示されます。（詳細画面では「SMS」、「エリアメール」と表示されます。）

（青色）	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS

	エリアメール

❺添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<受信メール一覧画面（日時＋差出人／宛先　題名）と受信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「」が付きます。（詳細画面のみ）

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ（一覧画面のみ）
	ｉモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳データ
	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ

	取得前の添付データ（詳細画面のみ）
	取得途中で中断された添付データ（詳細画面のみ）
	取得に失敗した添付データ（詳細画面のみ）
	ｉアプリ起動情報（一覧画面のみ）
	ｉアプリメール（一覧画面のみ）
	複数のデータ（一覧画面のみ）
	複数の貼付データ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

<受信メール一覧画面（日時＋題名）（日時＋差出人／宛先）>

	添付データ
	ｉアプリメール

	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻Feel＊Mailアイコン

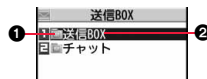
一覧画面で（）を押すとFeel＊Mail画像を再生します。Feel＊MailについてはP.164参照。

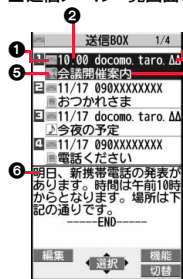
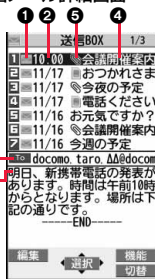
❼本文

■送信フォルダ一覧画面

❶フォルダの状態

メールセキュリティを設定すると「」が表示されます。

	通常のフォルダ
	ｉアプリメール用フォルダ

❷フォルダ名

■送信メール一覧画面と送信メール詳細画面

送信メール一覧画面
日時＋差出人／宛先　題名の場合

送信メール一覧画面
日時＋題名の場合

送信メール詳細画面

❶メールの状態

保護設定すると「 」が表示されます。

(ピンク)	送信に成功したメール
	送信に失敗したメール
	すべての宛先に送信できた同報メール
(グレー)	一部の宛先に送信できた同報メール
(ピンク)	すべての宛先に送信できなかった同報メール

❷送信した時刻や日付

メール一覧画面では、当日送信したメールは時刻が表示され、前日までに送信したメールは日付が表示されます。詳細画面では、送信した日時が表示されます。

日付·時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

To OK	Cc OK	Bcc OK	送信に成功したメールアドレス(詳細画面のみ)
To ✕	Cc ✕	Bcc ✕	送信に失敗したメールアドレス(詳細画面のみ)

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」、「文字サイズ設定」の「メール」の設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。

SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。(詳細画面では「SMS」と表示されます。)

(青色)	FOMA端末内のSMS
	FOMAカード内のSMS
	SMS送達通知受信済み[一覧画面(日時＋差出人／宛先　題名)と詳細画面のみ]

❺添付されているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

<送信メール一覧画面(日時＋差出人／宛先　題名)と送信メール詳細画面>

「添付ファイル削除」するとアイコンに「 」が付きます。(詳細画面のみ)

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ(一覧画面のみ)
	ｉモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ
	電話帳データ
	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	ｉアプリメール(一覧画面のみ)
	複数のデータ(一覧画面のみ)
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

<送信メール一覧画面(日時＋題名)(日時＋差出人／宛先)>

	添付データ
	ｉアプリメール
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻本文

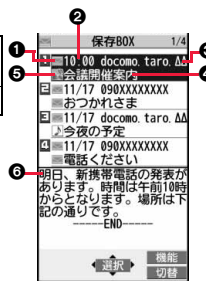
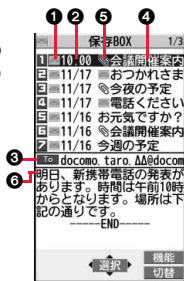
つづく

■保存メール一覧画面

❶メールの状態

(ピンク)	通常のメール
	同報メール

❷保存した時刻や日付

メール一覧画面では、当日保存したメールは時刻が表示され、前日までに保存したメールは日付が表示されます。日付･時刻が補正されている場合は「 」が表示されます。

日時＋差出人／宛先　題名の場合

日時＋題名の場合

❸送信先の電話番号またはメールアドレス

❹題名

一覧画面で表示可能な文字数は「メール一覧表示設定」､「文字サイズ設定」の「メール」の設定により異なります。また、添付ファイルがある場合は先頭にアイコンが表示されますので全角1文字/半角2文字分少なくなります。
SMSの場合は、本文の最初の部分が表示されます。

(青色)	SMSを示す

❺添付されているデータ

＜日時＋差出人／宛先　題名の場合＞

	メロディデータ
	画像データ
	挿入画像データ
	ｉモーションデータ
	ムービーデータ
	トルカデータ
	PDFデータ
	ドキュメントデータ

	電話帳データ
	スケジュールまたはToDoデータ
	ブックマークデータ
	その他ファイルデータ
	複数のデータ(一覧画面のみ)
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

＜(日時＋題名)(日時＋差出人／宛先)の場合＞

	添付データ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❻本文

お知らせ

- 受信メール／送信メール／保存メール一覧画面の表示を変更するには、P.162「メール一覧表示設定」をご覧ください。
- 「メール一覧表示設定」で「電話帳登録名で表示」にチェックをしていると、送信元や送信先は電話帳に登録されている名前が表示されます。ただし、送信元が「電話番号@docomo.ne.jp」の場合、電話帳のメールアドレス欄に「電話番号@docomo.ne.jp」を登録していても名前表示されません。電話番号のみを登録すると名前表示されます。また、送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録された電話帳と一致した場合は、名前で表示されません。シークレットモードもしくはシークレット専用モードに設定すると名前で表示されます。
  送信元や送信先の電話番号またはメールアドレスが、シークレット登録されていない電話帳と一致しても、シークレット専用モードに設定していると、名前で表示されません。シークレットモードに設定するかシークレット専用モードを解除すると名前で表示されます。
- 「メール一覧表示設定」で「本文表示」にチェックをしていないと、受信メール／送信メール／保存メール一覧画面に本文は表示されません。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、Bアドレス／Bナンバー宛の受信メール、送信者アドレスがBアドレスの送信メール･保存メールには、一覧画面の題名または送信元／送信先アドレスの後ろに「 」が表示されます。
- 2in1のモードがデュアルモードの場合、2in1のBアドレス宛の受信メール、Bアドレスからの送信メールには、詳細画面では画面左上の「 」の代わりに「 」が表示されます。

メールを管理する

受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面の機能メニュー

項目		説明
フォルダ操作		
	フォルダ追加	新規フォルダを追加します。受信、送信それぞれ22件までフォルダを追加できます。 ▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	フォルダ名編集	追加したフォルダのみ編集できます。 ▶**フォルダ名を編集** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	フォルダ並び替え	フォルダを並べ替えます。追加したフォルダ、メッセージR/Fフォルダ、i アプリメール用フォルダを並べ替えできます。 ▶[○]**で順番を変更**▶[●](選択)
	フォルダ削除	フォルダ内のメールもシークレットメールを含めてすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
フォルダ内表示		メール連動型 i アプリを起動することなく i アプリ用メールフォルダ内のメールを表示できます。
全件既読 ［受信フォルダのみ］		フォルダ内の未読メールを既読メールに変更します。 ▶YES
振分け		
	フォルダ内再振分け	「自動振分け設定」で設定した振り分け条件に従ってフォルダ内のメールを再振り分けします。 ▶YES ●メールセキュリティ(P.153参照)が設定されているフォルダの場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
	全フォルダ再振分け	「自動振分け設定」で設定した振り分け条件に従って全受信フォルダ／全送信フォルダのメールを再振り分けします。 ▶YES ●メールセキュリティ(P.153参照)が設定されているフォルダがある場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
	自動振分け設定	P.159参照
メールセキュリティ		端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線／iC送信		
	赤外線全件送信	P.361参照
	iC全件送信	P.363参照
保存件数確認		受信メール、メッセージR/F、送信メールの保存件数を表示します。
削除		
	既読メール全削除 ［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内の既読メールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の既読SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
	受信メール全削除 ［受信フォルダのみ］	全受信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の受信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
送信メール全削除 ［送信フォルダのみ］		全送信フォルダ内のメールをシークレットメールを含めてすべて削除します。FOMAカード内の送信SMSもすべて削除されます。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

つづく↳

お知らせ

<フォルダ削除>

- 対応するメール連動型ｉアプリがある場合、ｉアプリメール用フォルダは削除できません。
  ソフトがない場合はｉアプリメール用フォルダを削除できますが、送信フォルダ一覧画面、受信フォルダ一覧画面に作成されたフォルダがともに削除されます。

<フォルダ内再振分け><全フォルダ再振分け>

- 「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダのメールは再振り分けされません。
- 振り分け条件にあてはまらないメールは「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに振り分けられます。

<メールセキュリティ>

- メールセキュリティが設定されたフォルダは、削除またはフォルダ名編集できません。

受信メール一覧画面・送信メール一覧画面・保存メール一覧画面の機能メニュー

機能	説明
返信／転送	
ｉモードメールで返信 ［受信メールのみ］	P.144参照
デコメアニメで返信 ［受信メールのみ］	P.144参照
返信 ［受信メールのみ］	P.144参照
引用返信 ［受信メールのみ］	P.144参照
転送 ［受信メールのみ］	P.145参照
再編集 ［送信メールのみ］	送信したメールを再編集して送信します。 ｉモードメールを選択していた場合はP.130手順2へ進みます。 デコメアニメ®を選択していた場合はP.136手順2へ進みます。 SMSを選択していた場合はP.174手順2へ進みます。 ●[✉](編集)を押しても再編集できます。
保護	
保護／保護解除 ［受信メール・送信メール］	メールを上書き・削除されないように保護します。受信メール、送信メールともに全件保護できます。（受信メール2500件、送信メール1000件） 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で[1]を押しても、保護／保護解除が切り替わります。
選択保護／保護解除 ［受信メール・送信メール］	**▶保護したいメールにチェック／保護解除したいメールのチェックを外す▶[✉](完了)** ●すでに保護されているメールにはチェックが付いています。
移動／コピー	
フォルダ移動 ［受信メール・送信メール］	**▶移動先のフォルダを選択** **▶移動したいメールにチェック▶[✉](完了)** **▶YES**
ゴミ箱へ捨てる ［受信メールのみ］	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き（消去）されます。 **▶ゴミ箱に捨てたいメールにチェック** **▶[✉](完了)▶YES**
FOMAカード操作 ［受信メール・送信メール］	FOMAカードまたはFOMA端末（本体）へコピー、移動します。（P.392参照）
microSDへコピー	P.346参照
お預かりセンターに保存	P.124参照

検索／並び替え		
メール検索		
送信元検索／宛先検索 [受信メール･送信メール]	送信元／宛先のメールアドレスや電話番号からメールを検索します。 受信メールの場合は「送信元検索」、送信メールの場合は「宛先検索」と表示されます。 ▶**項目を選択** **電話帳** . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **送信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **直接入力** . . . メールアドレスや電話番号を入力します。 ●半角50文字まで入力できます。	
題名検索 [受信メール･送信メール]	題名からメールを検索します。 ▶**題名を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。	
題名＋本文検索 [受信メール･送信メール]	題名･本文からメールを検索します。 ▶**題名･本文の一部を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。	
ソート [受信メール･送信メール]	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**	
フィルタ [受信メール･送信メール]	条件に合うメールのみを表示します。 ▶**種類を選択**	
全表示 [受信メール･送信メール]	メール検索･ソート機能･フィルタ機能を行ったあと、すべてのメールを「新しい順」で表示します。	

項目	説明
送信＋受信メール [受信メール･送信メール]	選択または表示中の送信元や宛先との送受信履歴を表示します。日付･時刻の新しい順に1000件まで表示します。 ▶**送信元または宛先を選択** 対象の送受信メールが表示されます。 ⬅ . . . 送信メール ➡ . . . 受信メール ●履歴を選択すると受信メール詳細画面または送信メール詳細画面を表示できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。 ●受信メール詳細画面や送信メール詳細画面で7を押しても、送信+受信メールを表示します。
カラーラベル [受信メール･送信メール]	受信メール一覧画面や送信メール一覧画面の文字に色を付け分別できます。「指定なし」を選択すると通常の文字色になります。 ▶**カラーを選択**
一覧表示切替	一覧画面で表示する内容を選択します。送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを選択できます。 「メール一覧表示設定」の設定によっては題名で表示するように設定できます。 ▶**表示する内容を選択** ●送信メール一覧画面、保存メール一覧画面の場合は、📷(切替)を押すごとに切り替えることができます。
赤外線／iC送信	
赤外線送信	P.360参照
赤外線全件送信 [保存メールのみ]	P.361参照
iC送信	P.362参照
iC全件送信 [保存メールのみ]	P.363参照

つづく

保存件数確認	受信メール、送信メール、保存メールの保存件数を表示します。
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいメールにチェック▶[✉](完了)▶YES
既読削除[受信メールのみ]	フォルダ内の既に読んだメールをすべて削除します。▶YES
SMS送達通知全削除[受信メールのみ]	SMS送達通知をすべて削除します。メール検索機能やフィルタ機能でSMS送達通知を表示しているときは、表示しているSMS送達通知のみを削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES
フォルダ内全削除[受信メール・送信メール]	フォルダ内のメールをすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES
全削除[保存メールのみ]	保存メールをすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<再編集>
- 宛先に「メールグループ」を利用する場合は入力済みの宛先をすべて削除し、[✉](完了)で宛先削除を完了してから、再び宛先欄を選択してください。

<保護>
- 「ゴミ箱」フォルダにあるメールは保護できません。
- 送信メールが最大保存件数／最大保存容量まである状態で、送信メールを全件保護するとｉモードメールの作成ができません。

<ゴミ箱へ捨てる>
- 未読メールをゴミ箱に捨てると、既読メールになります。

<題名検索><題名＋本文検索>
- 「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは検索できません。

お知らせ

<カラーラベル>
- microSDカードへコピーした場合や、FOMAカードへコピー･移動、FOMAカードからコピー･移動した場合、または赤外線送信、iC送信した場合は、カラーラベルは解除されます。
- FOMAカード内のSMSにカラーラベルを設定した場合、FOMAカードを抜き差しすると、カラーラベルは解除されます。

受信メール詳細画面･送信メール詳細画面の機能メニュー

返信／転送	
ｉモードメールで返信[受信メールのみ]	P.144参照
デコメアニメで返信[受信メールのみ]	P.144参照
返信[受信メールのみ]	P.144参照
引用返信[受信メールのみ]	P.144参照
転送[受信メールのみ]	P.145参照
再編集[送信メールのみ]	P.154参照
再送信[送信メールのみ]	送信したメールを再送信します。▶YES
保護／保護解除	P.154参照
移動／コピー	
コピー	▶コピーしたい項目を選択 ●コピーの方法についてはP.410参照。 ●送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、コピーしたいメールアドレスや電話番号を選択します。

メール

項目	説明
地図を見る	メール本文の住所などを選択して地図を表示します。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択** 選択した文字を利用して、GPS対応ｉアプリが起動します。(P.196参照)
フォルダ移動	▶**移動先のフォルダを選択**
ゴミ箱へ捨てる [受信メールのみ]	メールを「ゴミ箱」フォルダに移動します。「ゴミ箱」フォルダに移動したメールは、優先的に上書き(消去)されます。 ▶**YES**
FOMAカード操作	FOMAカードまたはFOMA端末(本体)へコピー、移動します。(P.392参照)
microSDへコピー	P.346参照
お預かりセンターに保存	P.124参照
ファイル操作	
添付ファイル保存	P.146参照
挿入画像保存	P.139参照
デコメ絵文字一括保存 [受信メールのみ]	メール本文中にあるデコメ®絵文字を一括して保存します。20個まで保存できます。 ▶**YES** ●保存しているデコメ®絵文字がいっぱいのときはP.194参照。 ●保存したデコメ®絵文字の確認方法についてはP.318参照。
テンプレート保存	送受信したデコメール®をテンプレートとして保存します。 ▶**YES** ●保存しているテンプレートがいっぱいのときはP.194参照。 ●保存したテンプレートの確認方法についてはP.138参照。
プロパティ	本文に挿入されている画像のファイル名とファイルサイズを表示します。 ▶**画像を選択**
添付ファイル削除	▶**YES**
登録	
アドレス登録	P.82参照
電話帳登録	P.82参照
自動振分け登録	送信元や題名を振り分け条件に登録します。(P.159参照)
デスクトップ／登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
ボタン長押し登録	P.386参照
送信＋受信メール	P.155参照
カラーラベル	P.155参照
表示設定	
アドレス表示切替	送信元や宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ●5を押しても切り替わります。
スクロール設定	P.162参照
文字サイズ設定	P.109「メール」参照
SMS送達通知表示 [送信メールのみ]	SMSの送信結果や相手に届いた日時などを確認します。SMS送達通知を受信するには、「SMS送達通知設定」を「要求する」に設定してください。
赤外線／iC送信	
赤外線送信	P.360参照
iC送信	P.362参照
削除	▶**YES** ●0を押しても削除できます。

つづく

お知らせ

<再送信>

- 送信に失敗したメールは、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。すべての宛先に送信失敗している同報メールも、再送信すると送信済みのメールとして保存されます。

<テンプレート保存>

- マルチウィンドウで表示中は操作できません。

<送信アドレス一覧><受信アドレス一覧>

送受信したメールの履歴を表示する

ｉモードメールやSMSを送受信すると、送信アドレス一覧と受信アドレス一覧にそれぞれ30件まで記憶され、相手のメールアドレスや電話番号を確認できます。同じメールアドレスまたは電話番号との送受信があった場合、古いデータは削除されます。

- 2in1利用時はモードに関わらず、それぞれの履歴はAアドレス(Aナンバー)で30件ずつ、Bアドレス(Bナンバー)で30件ずつまで記憶されます。

1 送信アドレス一覧の場合

◯を1秒以上押す

送信アドレス一覧 1/2
1 11/18 10:00 MAIL docomo.taro.ΔΔ@docomo.
2 11/17 23:00 SMS 090XXXXXXXX
3 11/17 19:00 MAIL ドコモ太郎

送信アドレス一覧画面

MAIL：送信に成功したｉモードメール
SMS：送信に成功したSMS
MAIL：送信に失敗したｉモードメール
SMS：送信に失敗したSMS
：時差補正による時刻

- 送信アドレス一覧画面でMENU(切替)を押すとリダイヤルが表示されます。発信履歴から送信アドレス一覧画面を表示していた場合は、MENU(切替)を押すと発信履歴が表示されます。

受信アドレス一覧の場合

◯を1秒以上押す

受信アドレス一覧 1/2
1 11/18 10:00 MAIL docomo.taro.ΔΔ@docomo.
2 11/17 23:00 SMS 090XXXXXXXX
3 11/17 19:00 MAIL ドコモ太郎

受信アドレス一覧画面

MAIL：ｉモードメール
SMS：SMS
：時差補正による時刻
B：Bアドレス／Bナンバー宛のｉモードメール／SMS(2in1のモードがデュアルモードの場合のみ)

- 受信アドレス一覧画面でMENU(切替)を押すと着信履歴が表示されます。

2 表示したい履歴を選択

アドレス一覧の詳細画面が表示されます。

- 相手の電話番号が通知されなかったSMSの場合は、非通知理由が表示されます。
- 表示されたアドレスにｉモードメールを送るには●(✉)を押してP.130手順3へ進みます。電話番号にSMSを送るには●(✉)を押してP.174手順3へ進みます。
- 電話帳に登録する場合は、MENU(登録)を押します。P.82手順2へ進みます。

送信アドレス一覧・受信アドレス一覧表示中の機能メニュー

電話帳登録	P.82参照
ｉモードメール作成	ｉモードメールを作成します。宛先欄にメールアドレスが入力されます。 P.130手順3へ進みます。
SMS作成	SMSを作成します。宛先欄に電話番号が入力されます。 P.174手順3へ進みます。

電話発信	メールアドレスが電話帳に登録されているとき、電話帳の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。設定を解除する場合は「設定解除」を選択します。 ●電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、1番目の電話番号に電話をかけます。 ▶発信 ●設定されている項目には「★」マークが付きます。 ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択し、国際電話アクセス番号を選択したあと、再度機能メニューから「電話発信」を選択し、上記の操作を行います。(P.58参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.56手順2参照)
Feel＊Mail表示 [受信アドレス一覧のみ]	Feel＊Mail画像を再生します。Feel＊MailについてはP.164参照。 ●(📷)( )を押してもFeel＊Mail画像を再生できます。
文字サイズ変更	リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧の文字サイズを切り替えます。(P.110「発着信履歴」参照)
リダイヤル表示・発信履歴表示 [送信アドレス一覧のみ]	リダイヤル一覧画面または発信履歴一覧画面を表示します。
着信履歴表示 [受信アドレス一覧のみ]	着信履歴一覧画面を表示します。すべての着信履歴(全着信)を表示します。
デスクトップ／✎登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
✎ボタン長押し登録	P.386参照
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したい履歴にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<自動振分け設定>
送受信メールを自動的にフォルダに振り分ける

設定した条件に合うメールを、自動的に指定のフォルダに保存します。追加したフォルダ、iアプリメール用フォルダにのみ設定できます。

1 受信フォルダ一覧画面・送信フォルダ一覧画面 ▶iα(機能)▶振分け▶自動振分け設定

P.160の機能メニュー表の操作を行って自動振り分けを設定します。
すでに振り分け条件を設定しているフォルダを選択した場合は、自動振分け設定画面が表示されます。

自動振分け登録

送受信したメールの詳細画面から振り分ける条件とフォルダを設定します。

1 送信メール詳細画面・受信メール詳細画面 ▶iα(機能)▶登録▶自動振分け登録 ▶以下の操作を行う

アドレス振分け	表示している送信元や宛先を振り分け条件として設定します。 ▶フォルダを選択 ●複数の宛先があるときは、アドレスを選択します。
題名振分け	表示している題名を編集して振り分け条件として設定します。 ▶題名を編集▶フォルダを選択

条件を変更するときは

再設定または上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると以前に設定されていた条件が解除され、新たに再設定されます。

同じ条件が他のフォルダに設定されているときは

変更するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると他のフォルダに設定されていた条件は解除され、選択しているフォルダに設定を変更します。
- メールセキュリティがかかっているフォルダに設定されている場合は、設定を変更できません。

「アドレス振分け」が設定されているフォルダに別のアドレスを登録するときは

追加するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- 各フォルダに登録したアドレスの合計が700件まで登録できます。
- 複数の条件にあてはまる場合、以下の優先順位で自動振り分けをします。
  ①ｉアプリメール振分け
  ②題名振分け
  ③返信不可振分け･送信失敗振分け
  ④アドレス振分け(アドレス参照入力･直接入力)
  ⑤アドレス振分け(メールグループ参照)
  ⑥アドレス振分け(グループ参照)
  ⑦全件振分け
- 同報送信した送信メールは、「アドレス振分け」や「送信失敗振分け」では振り分けされません。
- エリアメールは「アドレス振分け」では振り分けされません。

自動振分け設定画面の機能メニュー

項目		説明
アドレス振分け		
	アドレス参照入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を電話帳や受信･送信アドレス一覧から設定します。 ▶**項目を選択** **電話帳** . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **受信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **送信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
	グループ参照	フォルダに振り分けるグループを設定します。 ▶**グループを選択**
	メールグループ参照	フォルダに振り分けるメールグループを設定します。 ▶**メールグループを選択**
	直接入力	フォルダに振り分けるメールアドレスや電話番号を、直接入力します。 ▶**メールアドレスや電話番号を入力** ●半角50文字まで入力できます。 ●メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを入力してください。電話番号のみを入力するとSMSも振り分けることができます。
題名振分け		フォルダに振り分けるｉモードメールの題名を入力します。1つのフォルダに設定できる題名は1件です。 ▶**題名を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
返信不可振分け		返信不可のメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
送信失敗振分け		送信に失敗したメールを振り分けるよう設定します。1つのフォルダにのみ設定できます。
全件振分け		すべてのメールを振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのフォルダにのみ設定できます。

ｉアプリメール振分け		すべてのメールをｉアプリメール用フォルダに振り分けるよう設定します。受信と送信それぞれ1つのｉアプリメール用フォルダにのみ設定できます。「ｉアプリメール振分け」を設定すると、他の振り分け設定は無効となります。 ▶YES
アドレス／題名編集		フォルダに設定したメールアドレス、電話番号、題名を編集･登録します。 ▶**メールアドレス、電話番号、題名を編集**
一覧表示切替		メールの宛先を電話帳に登録されている名前で表示するか、メールアドレスや電話番号で表示するかを切り替えます。 ▶**名前表示･アドレス表示** ●(切替)を押しても切り替えることができます。
解除		
	1件解除	振り分け条件を解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶YES
	選択解除	メールアドレスや電話番号などを選択して解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶**解除したいメールアドレスや電話番号などにチェック** ▶(完了)▶YES
	全解除	振り分け条件をすべて解除します。(自動振分け設定画面から削除されます。) ▶YES

お知らせ

＜グループ参照＞

●自動振分け設定画面では、グループ名の前に「GR」が表示されます。

●FOMAカード内のグループは設定できません。

●通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)でシークレットメールを受信した場合は、フォルダに振り分けられません。

＜メールグループ参照＞

●自動振分け設定画面では、メールグループ名の前に「 」が表示されます。

お知らせ

＜題名振分け＞

●題名が複数のフォルダの振り分け条件にあてはまる場合、「受信BOX」や「送信BOX」に最も近いフォルダに振り分けられます。

●「無題」と設定しても、題名が未入力で「無題」と表示されているｉモードメールは振り分けできません。

●SMSは題名振り分けできません。

＜全件振分け＞

●SMS送達通知やFOMAカードに直接受信したSMSは振り分けされません。

2in1をご利用中は

通常の振り分け条件と、2in1のAアドレス／Bアドレスによる振り分け条件(2in1振り分け設定)を組み合わせた設定ができます。2in1振り分けはデュアルモード中に設定･確認できます。設定した振り分け条件は2in1のすべてのモードで有効です。

新規登録時にP.160の機能メニュー表から振り分け条件を選択すると、Aアドレス／Bアドレスを指定する画面が表示されます。自動振分け設定画面からも2in1振り分けの設定が可能です。

指定なし . . . . .Aアドレス／Bアドレスによる振り分けを指定しません。

Aアドレス . . . .Aアドレスで受信／送信したメールを対象に振り分けを設定します。

Bアドレス . . . .Bアドレスで受信／送信したメールを対象に振り分けを設定します。

●1つのフォルダに設定できる2in1振り分け設定は1種類のみです。

●同じ振り分け条件を「Aアドレス」と「Bアドレス」に設定することはできます。ただし、2in1設定をOFFにした場合、Bアドレスに設定していた振り分け条件は自動的に削除されます。

●2in1のAモード中／Bモード中に振り分け条件を新規登録すると、2in1振り分け設定は「指定なし」になります。

●2in1のAモードでは、2in1振り分け条件が「Aアドレス」「指定なし」の振り分け条件を、Bモードでは「Bアドレス」「指定なし」の振り分け条件を表示できます。条件の編集を行っても2in1振り分け設定は変更されません。

●メール詳細画面から「自動振分け登録」を行う場合、表示中のメールと異なる2in1のメールアドレスを設定済みのフォルダを振り分け先に選択することはできません。

●メール詳細画面から「自動振分け登録」で振り分け条件を新規登録すると、2in1振り分け設定は「指定なし」になります。

<メールグループ> MENU 2 6

メールグループを作成する

メールアドレスをグループごとに登録します。決まった複数の相手にメールを送信できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは20件まで作成できます。

1 MENU ▶電話帳▶電話帳設定▶メールグループ▶登録したいメールグループを選択

メールグループ 1/2
1 メールグループ1
2 メールグループ2
3 メールグループ3
4 メールグループ4

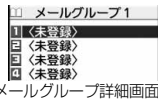
メールグループ一覧画面

- メールグループにメールアドレスを登録している場合、画面左下に「✉」が表示されます。✉(✉)を押すと、選択しているメールグループを宛先としたｉモードメールを作成します。P.130手順3へ進みます。

2 <未登録>を選んで✉(編集)を押す

メールグループ1
1 〈未登録〉
2 〈未登録〉
3 〈未登録〉
4 〈未登録〉

メールグループ詳細画面

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、メールグループアドレス確認画面が表示されます。

3 メールアドレスを入力

- 半角50文字まで入力できます。
- 複数のメールアドレスを登録する場合は、手順2～手順3を繰り返します。

メールグループ一覧画面の機能メニュー

ｉモードメール作成	メールグループ宛のｉモードメールを作成します。 P.130手順3へ進みます。
グループ名編集	▶メールグループ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	メールグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

メールグループ詳細画面・メールグループアドレス確認画面の機能メニュー

アドレス編集	P.162手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押してもアドレス編集できます。
アドレス参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 電話帳…………電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 送信アドレス一覧…電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 受信アドレス一覧…電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<メール設定>

メールやメッセージR/Fの設定を行う

1 ✉▶メール設定▶以下の操作を行う

スクロール設定	メール詳細画面・メッセージR/F詳細画面・メール作成画面・プレビュー表示の画面で○を押したときにスクロールする行数を設定します。 ▶行数を選択
文字サイズ設定	P.109「メール」参照
メール一覧表示設定	メール一覧画面で表示したい項目をラジオボタンやチェックボックスを使って設定します。 ▶表示方法を選択▶✉(完了)
本文表示設定	受信メールを通常表示(先頭から表示)するか、本文から表示するか設定します。 ▶通常表示・本文から表示

メールセキュリティ設定	P.121参照
シークレットメール表示設定	P.120参照
カラーラベル自動設定	受信メール一覧画面での送信元や受信した日付･時刻などの表示色をメールアドレスごとに指定します。10件まで登録できます。 **▶<未登録>▶項目を選択** **電話帳** . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **直接入力** . . . . メールアドレスや電話番号を入力します。 ●設定済みのカラーを変更するには、iα(機能)を押して「カラー選択」を選択します。 ●設定済みの項目を削除するにはiα(機能)を押して「削除」→「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。 **▶カラーを選択**
返信時自動学習設定	受信メールへの返信･引用返信･転送時に、メールの題名･本文にある単語を変換候補に優先して表示するかどうかを設定します。 **▶学習する･学習しない**
冒頭文／署名設定	P.164参照
iモード問い合わせ設定	「iモード問い合わせ」をするときに問い合わせる項目をiモードメール、メッセージR、メッセージFの中から設定します。 **▶問い合わせたい項目にチェック▶✉(完了)**
メッセージ自動表示設定	P.165参照
受信表示設定	他の機能を操作中でもメール受信中やメール受信結果の画面を表示するかどうかを設定します。 **▶通知優先･操作優先** **通知優先** . . . メール受信時に受信中や受信結果画面を優先します。 **操作優先** . . . メール受信時に操作中の画面を優先します。
メール選択受信設定	P.143参照
添付ファイル優先受信	iモードメール受信時に添付ファイルも受信するかどうかを設定します。チェックを外している添付ファイルはiモードセンターに保管されます。(チェックを付けていても、添付ファイルの合計が100Kバイトを超える場合は一部またはすべての添付ファイルがiモードセンターに保管されます。) **▶受信したい項目にチェック▶✉(完了)** ●「ツールデータ」にチェックを付けると電話帳、スケジュール、ToDo、ブックマークを受信します。 ●「その他」にチェックを付けるとムービー、ドキュメントファイル、FOMA端末では対応していないファイルを受信します。
添付ファイル自動再生設定	メールの本文を表示時またはメッセージR/F表示時に、添付または貼り付けられているメロディや効果音を自動再生するかどうかを設定します。 **▶自動再生する･自動再生しない**
Feel＊Mail設定	P.164参照
チャット設定	P.172参照
メール設定確認	「メール設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<本文表示設定>
- 「本文から表示」に設定していても、メール本文の文字数により本文から表示されない場合があります。

<カラーラベル自動設定>
- 本機能を設定しても、すでに受信したメールの表示色は変更されません。

お知らせ

＜ｉモード問い合わせ設定＞

●メッセージRやメッセージFをｉモード問い合わせで受信したくない場合は、「□」にしてください。

＜添付ファイル自動再生設定＞

●バックグラウンド再生中は、「添付ファイル自動再生設定」の設定に関わらず添付または貼り付けられているメロディや効果音は再生されません。

冒頭文／署名設定

冒頭文･署名･引用符を登録します。また、冒頭文や署名を自動的に貼り付けるかどうかも設定します。

1 [メール]▶メール設定▶冒頭文／署名設定▶以下の操作を行う

冒頭文	冒頭文とは、本文の最初に書く挨拶文のことです。 ▶冒頭文の欄を選択▶冒頭文を入力▶[メール](完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●冒頭文を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。1通ごとの冒頭文貼付についてはP.132参照。
署名	署名とは、本文の最後に書く自分の名前などのことです。 ▶署名の欄を選択▶署名を入力▶[メール](完了) ●全角5000文字/半角10000文字まで入力できます。 ●署名を自動で貼り付けない場合は、「自動貼付」を選択して「☑」を「□」にします。1通ごとの署名貼付についてはP.132参照。 ●2in1のAアドレス、Bアドレスそれぞれに署名を設定できます。デュアルモード中は、「Aアドレス」「Bアドレス」から設定する署名を選択します。 ●「自動貼付」にチェックを付けている場合は、2in1のモードによりAアドレスまたはBアドレスの署名が自動的に貼り付けられます。デュアルモード中は、送信者アドレスが設定されると対応した署名が自動的に貼り付けられます。一度貼り付けられた署名は、送信者アドレスを切り替えても自動的には切り替わりません。
引用符	引用符とは、引用返信するときなどに受信メールから引用したことを表す記号です。 ▶引用符を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

お知らせ

●冒頭文や署名にもデコレーションを設定できます。

●「自動貼付」にチェックを付けていても、テンプレート･ｉアプリからｉモードメールを作成するときは、貼り付けられません。

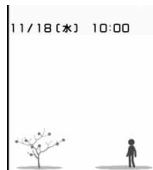
●デコメアニメ®、SMSには冒頭文、署名、引用符を貼り付けることはできません。

Feel＊Mail設定

Feel＊Mail(フィール･メール)とは、45種類のキャラクタの動きによってメールの雰囲気を再現する機能です。Feel＊Mailを設定するとｉモードメール、SMSを受信したあとにFeel＊Mail画像が再生されます。

●[終話]または[CLR]を押すと、再生が終了します。

●FOMA端末を閉じているときは、[▲][▼]を押すとプライベートウィンドウ上のFeel＊Mail画像の再生が終了します。

11/18(水) 10:00

1 [メール]▶メール設定▶Feel＊Mail設定▶以下の操作を行う

新着表示	ｉモードメール、SMSを受信したあとにFeel＊Mail画像を再生します。 ▶ON･OFF ●「OFF」のときのメールは、「履歴表示」を「ON」に設定していても、受信アドレス一覧／詳細画面、受信メール一覧／詳細画面にFeel＊Mailアイコンは表示されません。

履歴表示	受信アドレス一覧／詳細画面、受信メール一覧／詳細画面に、Feel＊Mailアイコンを表示します。 ▶ON・OFF

<メッセージR/F受信>

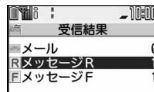
メッセージR/Fを自動的に受信する

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
FOMA端末が圏内にあるときには、iモードセンターから自動的にメッセージR/Fが送られてきます。
メッセージR/Fが届くと画面の上部に「R（黄色）」や「F（黄色）」が表示されます。
受信したメッセージR/Fは、それぞれ最大100件まで保存できます。

1 メッセージR/Fを受信すると「R（黄色）」または「F（黄色）」が点滅し、受信中のメッセージが表示される

受信結果画面

受信が終わると、受信したメールとメッセージR/Fの件数が表示されます。

- 「メッセージR」または「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- 「メッセージ自動表示設定」が「自動表示なし」以外に設定されていると、受信したメッセージR/Fの内容が自動で表示されます。自動表示は約15秒間行われます。
- 何も操作しないで設定時間が経過するとデスクトップに「R メッセージR1」「F メッセージF1」(P.28参照)が表示され、元の画面に戻ります。(「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。)
  ●を押し、「R メッセージR1」「F メッセージF1」を選んで●(選択)を押すと、メッセージR/F一覧画面が表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。

お知らせ

- 待受画面以外を表示中、iアプリ起動中、公共モード(ドライブモード)中、オールロック中、パーソナルデータロック中は、メッセージR/Fを受信しても自動表示しません。

お知らせ

- 最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古いメッセージR/Fから順に削除されます。ただし、未読または保護しているメッセージR/Fは削除されません。
- FOMA端末がこれ以上メッセージR/Fを受信できない場合は、「R（紺色）」または「F（紺色）」が表示されます。不要なメッセージR/Fを削除するか、未読のメッセージR/Fを読むか、保護を解除してください。
- 「R（黄色）」または「F（黄色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fが保管されています。「R（紺色）」または「F（紺色）」のアイコンが表示されたときは、iモードセンターにメッセージR/Fがいっぱいです。「iモード問い合わせ」を行ってメッセージR/Fを受信してください。
- 自動表示後も、メッセージR/F一覧画面の表示では未読になります。ただし、自動表示中にスクロールなどの操作を行ったときは既読となります。
- 以下のような場合にメッセージR/Fを受信したときは、iモードセンターに保管されます。
  ･電源OFFのとき ･テレビ電話中 ･セルフモード設定中
  ･圏外のとき ･赤外線通信中 ･FirstPassセンター接続中
  ･おまかせロック中 ･iC通信中 ･microSDへコピー中
  ･お預かりセンターに接続中
  ･保護または未読のメッセージにより、メッセージR/Fの容量が満杯のとき

メッセージ自動表示設定

待受中、音声電話中にメッセージR/Fを受信したときの自動表示のしかたを設定します。

1 ✉▶メール設定▶メッセージ自動表示設定▶自動表示の方法を選択

お知らせ

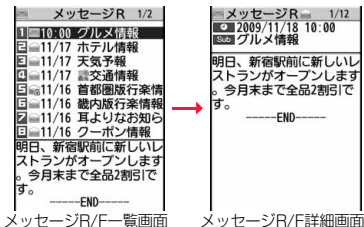
- 音声電話中にメッセージR/Fを受信した場合、自動表示は通話終了後に行われます。
- 「受信BOX」に「メールセキュリティ設定」が設定されている場合や、「メッセージR」フォルダ、「メッセージF」フォルダにメールセキュリティが設定されている場合は、自動表示されません。

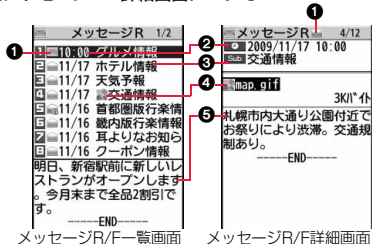
<メッセージR/F表示>

受信したメッセージR/Fを見る

1 ✉▶**受信BOX**▶**メッセージR・メッセージF**▶**表示したいメッセージR/Fを選択**

- 未読のメッセージR/Fを選択した場合は「✉(ピンク)」が「✉」に変わります。
- ◯で他のメッセージR/Fを確認できます。
- メッセージR/Fの本文が長い場合は◯で画面をスクロールして確認できます。また、MENU(▲ページ)📷(▼ページ)や▲▼を押すと画面単位でスクロールします。

メッセージR/F一覧画面　メッセージR/F詳細画面

■メッセージR/F一覧画面とメッセージR/F詳細画面について

メッセージR/F一覧画面　メッセージR/F詳細画面

❶メッセージR/Fの状態

保護設定すると「🔒」が表示されます。

✉(ピンク)	未読のメッセージR/F
✉	既読のメッセージR/F

❷受信した時刻や日付

一覧画面では、当日受信したメッセージR/Fは時刻が表示され、前日までに受信したメッセージR/Fは日付が表示されます。詳細画面では、受信した日時が表示されます。

❸題名

❹添付または貼り付けられているデータ

詳細画面ではデータの容量も表示されます。

♪	正常なメロディデータ
	正常な画像データ
	正常なトルカデータ
	複数の添付データ
	複数の貼付データ
	FOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータ

❺本文

電話帳に登録されている電話番号は、電話帳に登録されている名前で表示されます。

メッセージR/F一覧画面の機能メニュー

保護	
保護／保護解除	メッセージR/Fを上書き・削除されないように保護します。 最大50件(メッセージRとメッセージFそれぞれ)まで保護できます。 保護すると「🔒」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保護全解除	▶YES
検索／並び替え	
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択**
フィルタ	条件に合うメッセージR/Fのみを表示します。 ▶**種類を選択**

	全表示	ソート機能やフィルタ機能を行ったあとに、それらを解除してすべてのメッセージR/Fを「新しい順」で表示します。
保存件数確認		FOMA端末に保存しているメッセージR/Fの総件数、未読件数、保護件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいメッセージR/Fにチェック▶[✉](完了)▶YES
	既読削除	既に読んだメッセージR/Fをすべて削除します。▶YES
	フォルダ内全削除	メッセージR/Fをすべて削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜検索／並び替え＞
- 元に戻すには「全表示」を実行します。
- 一覧画面を終了し、再度それぞれの一覧画面を表示したときは全表示に戻ります。

メッセージR/F詳細画面の機能メニュー

保護／保護解除		P.166参照
ファイル操作		
	添付ファイル保存	添付または貼り付けられているファイルを保存します。(P.146参照)
	挿入画像保存	添付された画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。(P.139参照)
	背景画像保存	▶YES▶保存したいフォルダを選択 P.192手順3へ進みます。
	デコメ絵文字一括保存	本文に挿入されているデコメ®絵文字をすべて保存します。(P.157参照)

電話帳登録	P.82参照
削除	▶YES

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- iモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 下記のような場合は受信できません。※1
  ･おまかせロック中
  ･セルフモード設定中
  ･国際ローミング中
  ･音声電話中
  ･テレビ電話中
  ･FOMA端末とmicroSDカード間のデータコピー中
  ･赤外線通信中
  ･iC通信中
  ･圏外のとき
  ･電源OFFのとき
- 下記のような場合は受信できないことがあります。※1※2
  ･iモード通信中
  ･データ通信中
  ･お預かりセンターに接続中
  ･ソフトウェア更新中
  ･パターンデータ更新中

※1 受信できなかったメッセージを再度受信することはできません。
※2 受信できた場合でも、内容は自動表示されません。

- 下記のような場合などは受信しても内容は自動表示されません。
  ･公共モード(ドライブモード)中
  (「マナー／公共モード時設定」を「各モードに従う」に設定している場合)
  ･microSDカード操作中
  ･iモーション、ムービーのストリーミング再生中

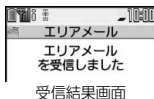
緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、エリアメール専用の着信音が鳴ります。「着信音量」や「鳴動時間」「バイブレータ」は「メール」の設定に従います。
緊急地震速報を受信した場合は、専用のブザー(警報音)が鳴り、バイブレータでお知らせします。また、内容が自動的に表示されます。「着信音量」は「レベル4」、「バイブレータ」は「メロディ連動」に固定されており、変更できません。「鳴動時間」については、「緊急速報「エリアメール」設定」で設定できます。
受信したエリアメールは受信BOXに保存され、iモードメール、SMSとは別に30件まで保存されます。

- お買い上げ時は「マナー／公共モード時設定」が「鳴動する」に設定されているため、マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレーターが鳴動します。

1 エリアメールを受信すると「 」が点灯し、受信した旨のメッセージが表示され、着信／充電ランプが点滅する

受信結果画面

- いずれかのボタンを押すと元の画面に戻ります。
- エリアメールによっては、受信時に内容が画面に自動表示されるものがあります。表示を消すには[●]を押すか[CLR]または[⌒]を押します。
- エリアメールを表示するにはP.147参照。

お知らせ

- 保存しているエリアメールが30件のときに、新しいエリアメールを受信した場合は、既読のエリアメールで古いものから順に削除されます。30件すべて未読のエリアメールの場合は、古いものから順に削除されます。
- 受信時に内容が表示されるかどうかについては、エリアメールの提供者側の設定によります。
- 電波状況により、エリアメールを受信できない場合があります。

<緊急速報「エリアメール」設定>

緊急速報「エリアメール」の設定を行う

1 [✉]▶緊急速報「エリアメール」設定▶以下の操作を行う

受信設定	エリアメールを利用するかどうかを設定します。 ▶**利用する・利用しない**
ブザー鳴動時間	ブザーが鳴る時間を設定します。 ▶**鳴動時間(秒)を入力** ●「01」～「30」の2桁を入力します。
マナー／公共モード時設定	マナーモード中、公共モード(ドライブモード)中にエリアメールを受信したときの動作を設定します。 ▶**項目を選択** **鳴動する**. . . . . マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に関わらず、ブザーや着信音、バイブレータが鳴動します。 **各モードに従う** . . . マナーモード、公共モード(ドライブモード)の設定に従います。
着信音確認	「緊急地震速報」「災害・避難情報」を受信したときのブザー、着信音、バイブレータ、着信／充電ランプの動作を確認できます。 ▶**緊急地震速報・災害・避難情報**
その他	

受信登録	緊急地震速報、災害・避難情報の他に受信したい情報のMessage IDを登録します。20件まで登録できます。 ●緊急地震速報、災害・避難情報のみを受信する場合には受信登録の必要はありません。 ▶<新規登録>▶端末暗証番号を入力▶登録名を入力▶Message IDを入力 ●登録済みのMessage IDを選んで[メール](編集)を押して端末暗証番号を入力すると編集できます。 ●登録名は任意の名称を全角15文字/半角30文字まで入力できます。Message IDはサービス提供者から連絡を受けた半角4文字で入力します。 ●機能メニューから「編集」を選択しても編集できます。「1件削除」または「全削除」を選択して端末暗証番号を入力すると、1件またはすべてのMessage IDを削除します。 ●「緊急地震速報」「災害・避難情報」は編集／削除できません。

お知らせ

<受信登録>
- 「各モードに従う」に設定し、「マナーモード」、「スーパーサイレント」で設定したマナー設定の場合に緊急地震速報を受信したときは、ブザーは鳴りません。ただし、「オリジナルマナー」で以下のいずれかの音が鳴るマナー設定の場合は、ブザーが鳴ります。すべて鳴らない設定の場合には、ブザー音は鳴りません。
  ・電話着信音量　・メール着信音量　・アラーム音量
  ・メモ確認音　・ボタン確認音
- 「各モードに従う」に設定し、「オリジナルマナー」で「バイブレータ」を「OFF」に設定していても、緊急地震速報を受信した場合は、バイブレータは振動します。

<チャットメール>
チャットメールを利用する

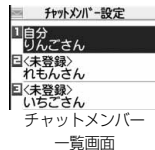
チャットメールでは、1つの画面で複数の相手とメールのやりとりができます。チャットメールを行うには、チャットメンバーを登録しておく必要がありますが、チャットグループを作成しておくと簡単に登録できます。

チャットメンバーを登録する

チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

1 **[メール]▶チャットメール▶[iα](機能)▶チャットメンバー▶<未登録>▶メールアドレスを入力**

チャットメンバー一覧画面

- 編集する場合は、登録済みのメンバーを選択します。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 半角50文字まで入力できます。

お知らせ

- 登録済みのメンバーのメールアドレスを編集した場合は、メンバー名と画像も変更されます。

チャットメンバー一覧画面の機能メニュー

編集	メールアドレスを編集します。 P.169手順1へ進みます。
メンバー参照入力	電話帳、受信アドレス一覧、送信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳**. . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
メンバー入れ替え	
チャットグループ	チャットグループに登録しているメンバーをチャットメンバーに登録します。 ▶グループ一覧・メンバー一覧 **グループ一覧**. . . . チャットグループ単位で選択します。 **メンバー一覧**. . . . チャットグループに登録されている全メンバーから選択します。 ●「グループ一覧」を選択した場合は、チャットグループを選択します。 選択したチャットグループのメンバーが登録されます。 ●「メンバー一覧」を選択した場合は、登録したいメンバーをチェックし、✉(完了)を押します。 ●すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
メールグループ	メールグループに登録しているメールアドレスをチャットメンバーに登録します。 ▶メールグループを選択 ●すでにチャットメンバーが登録されている場合は、すべてのチャットメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます。
詳細設定確認	チャットメンバーのメンバー名、画像、背景色、メールアドレスを確認します。 ●◐でメンバーを切り替えることができます。 ●ユーザ(自分)のメールアドレスは表示されません。
削除	
1件削除	▶YES
全削除	▶YES

チャットメールをやりとりする

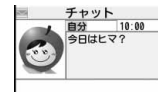
1 ✉▶**チャットメール**

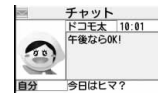
チャットメール画面

2 ●(選択)▶**文字を入力**

●全角250文字/半角500文字まで入力できます。

3 ✉(送信)**を押す**

チャットメールが送信されます。
送信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。

4 **受信中の画面が表示され、チャットメールを受信する**

受信したチャットメールは、チャットメール画面の一番上に表示されます。
手順2～手順4を繰り返してチャットメールをやりとりします。

5 CLR▶YES•NO

YES . . . 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除します。

NO . . . . 既読のチャットメールと送信したチャットメールを「チャット」フォルダから削除しません。

チャットメールが終了します。

- ●(終話)を押してもチャットメールを終了できます。
- ●送受信したチャットメールが1件もない場合、確認画面は表示されません。

■チャットメール画面について

❶画像

チャットグループで登録した画像が表示されます。

❷メンバー名

チャットグループに登録しているメンバー名が表示されます。また、設定している背景色で表示されます。

- ●チャットグループに登録していない場合は、メールアドレスの先頭から半角8文字までが表示されます。メールアドレスを電話帳に登録しているときは、電話帳に登録している名前の先頭から全角4文字/半角8文字までが表示されます。

❸同報マーク

複数の宛先を設定しているチャットメールを受信した場合に表示されます。

(青色)：すべての宛先をチャットメンバーに登録している場合

(紺色)：チャットメンバーに登録していない宛先がある場合

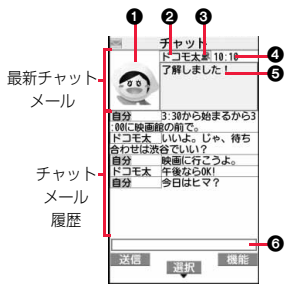
❹送受信日時

送受信した日時を表示します。当日送受信したチャットメールは時刻が表示され、前日までに送受信したチャットメールは日付が表示されます。

❺本文

チャットメールの本文を表示します。表示される本文は全角250文字/半角500文字までです。

本文が4行を超える場合は が表示され、(上下)を押してページを切り替えることができます。

- ●チャットメール履歴の本文はページを切り替えることができません。
- ●正常に送信されたチャットメールの本文は黒色で表示されます。送信に失敗したチャットメールの本文はグレーで表示されます。

❻入力ボックス

入力した文字(送信する文字)の先頭から1行分を表示します。

お知らせ

- ●複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、1通のみ送信した場合と同じです。(ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。)
- ●「メール選択受信設定」が「ON」に設定されていると、チャットメールのやりとりはできません。
- ●受信メールが未読や保護でいっぱいの場合は、チャットメールのやりとりはできません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから再度操作してください。
- ●添付ファイルや貼付データは表示されません。
- ●送受信したチャットメールは「チャット」フォルダに保存されます。
- ●送信したチャットメールの題名は「チャットメール」(半角)となります。
- ●チャットメール画面表示中は、チャットメール本文に電話番号・メールアドレス・URLが含まれていても、Phone To／AV Phone To 機能・Mail To 機能・Web To 機能は利用できません。ただし、チャットメールを終了し、「受信BOX」や「送信BOX」からチャットメールを表示した場合は利用できます。
- ●ミュージックプレーヤーで音楽を再生中は、チャットメールのお知らせ音は鳴りません。
- ●2in1のモードがBモードの場合は、チャットメールを利用できません。

待受中にチャットメールを受信すると

待受中にチャットメールを受信すると、デスクトップに「チャット1」が表示されます。

(決定)を押し、「チャット1」を選んで(決定)(選択)を押すとチャットメールが起動します。

お知らせ

- ●以下の場合に、チャットメールと認識します。
  - ・送信元や宛先のアドレスが、チャットメンバーやチャットグループに登録されている場合
  - ・題名に「チャットメール」(すべて全角、またはすべて半角)が含まれている場合
- ●チャットメール起動中に、チャットメンバー以外のチャットグループのメンバーからチャットメールを受信した場合も「チャット1」が表示されます。

デスクトップ・チャットグループからチャットメールを起動すると

チャットメンバーに登録していないメールアドレスやチャットグループから起動した場合は、登録しているメンバーを削除して起動するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると現在のチャットメンバーを削除して、送信元のメールアドレスやチャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。

デスクトップから起動した場合
送信元のメールアドレスがチャットメンバーに登録されます。送信元のメールアドレスをチャットグループに登録している場合は、そのグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。ただし、送信先に選択されているのは、送信元のメールアドレスのみです。

チャットグループから起動した場合
チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録されます。送信先にはグループのメンバーすべてが選択されています。

チャットメール画面の機能メニュー

送信	チャットメールを送信します。
送信先選択	チャットメンバーの中から、チャットメールを送信する宛先を選択します。 ▶**送信したい宛先にチェック**▶[メール](完了)
チャットメンバー	チャットメンバーを登録します。(P.169参照)
同報宛先確認	同報送信されたチャットメールの宛先を確認します。 ●チャットメンバーに登録していない宛先がある場合は、チャットメンバーに登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は、「YES」を選択し、登録したい宛先をチェックして[メール](完了)を押します。
更新	自動的に受信できなかったチャットメールを受信します。新しいチャットメールを受信すると、チャットメール画面が更新されます。
先頭表示	最も新しいチャットメールを表示します。
最終表示	最も古いチャットメールを表示します。
既読削除	受信した既読のチャットメールと送信したチャットメールをシークレットメールや送信に失敗したチャットメールも含めてすべて削除します。 ▶YES

お知らせ
<同報宛先確認>
●チャットメンバーはユーザ(自分)を含めて6人まで登録できます。

チャット設定

1 [メール]▶**メール設定**▶**チャット設定**▶**以下の操作を行う**

お知らせ音設定	チャットメール画面でチャットメールを送受信したときに鳴るお知らせ音を設定します。 ▶**フォルダを選択**▶**お知らせ音を選択** ●チャットメンバーに登録していないメンバーから受信したときは鳴りません。
チャットメール画像設定	チャットメール画面で画像を表示するかしないかを設定します。 ▶**有効・無効**
ユーザ詳細設定	ユーザ(自分)の名前、画像を設定します。 ▶**ユーザ名欄を選択**▶**ユーザ名を入力** ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●ユーザ名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶**画像欄を選択**▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

<チャットグループ>

MENU 2 6

チャットグループを作成する

チャットメールを行いたいメールアドレスをグループごとに登録します。複数のメンバーをグループに登録しておけば、一度にチャットメンバーとして設定できます。
1グループには5件までのメールアドレスが登録できます。グループは5件まで作成できます。

1 **MENU▶電話帳▶電話帳設定▶チャットグループ▶登録したいチャットグループを選択**

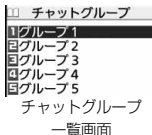
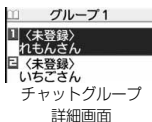
チャットグループ
1グループ1
2グループ2
3グループ3
4グループ4
5グループ5

チャットグループ一覧画面

- チャットグループにメンバーを登録している場合、画面左下に「CHAT」が表示されます。
  ✉(CHAT)を押すと、チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。P.170手順2へ進みます。

2 **<未登録>を選んで✉(編集)を押す**

グループ1
1〈未登録〉
れもんさん
2〈未登録〉
いちごさん

チャットグループ詳細画面

- 登録済みのメールアドレスを選択すると、チャットグループアドレス確認画面が表示されます。

3 **メールアドレスを入力**

- 半角50文字まで入力できます。
- 入力したメールアドレスが電話帳に登録されており、電話帳に画像が登録されているときは、画像も設定されます。
- メールアドレスが「電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、電話番号のみを登録してください。
- 複数のメールアドレスを登録する場合は、手順2〜手順3を繰り返します。

チャットグループ一覧画面の機能メニュー

チャット起動	チャットグループのメンバーがチャットメンバーに登録され、チャットメールが起動します。 P.170手順2へ進みます。
グループ名編集	▶チャットグループ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
グループ名初期化	チャットグループ名をお買い上げ時の名前に戻します。 ▶YES

チャットグループ詳細画面・チャットグループアドレス確認画面の機能メニュー

編集	メールアドレスを編集します。 P.173手順3へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
メンバー参照入力	電話帳、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から電話番号やメールアドレスを呼び出して入力します。 ▶項目を選択 **電話帳**. . . . . 電話帳を呼び出して電話番号またはメールアドレスを選択します。 **送信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。 **受信アドレス一覧** . . . 電話番号またはメールアドレスを選択して●(選択)を押します。
メンバー入れ替え	メールグループに登録しているメンバーをチャットグループに登録します。 ▶メールグループ▶メールグループを選択 ●すでにチャットグループにメンバーが登録されている場合は、すべてのメンバーを入れ替えるかどうかの確認画面が表示されます
メンバー詳細設定	メンバーのメンバー名、画像を設定します。◎を押してメンバーを切り替えることができます。 ▶メンバー名欄を選択▶メンバー名を入力 ●全角4文字/半角8文字まで入力できます。 ●メンバー名を変更しない場合は次の操作へ進みます。 ▶画像欄を選択▶フォルダを選択▶画像を選択
削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

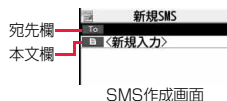
<SMS作成>

SMSを作成して送信する

SMSを作成して送信します。送信したSMSは、iモードメールと合わせて最大1000件まで送信BOXに保存できます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 送信したSMSはFOMAカードへ移動・コピーできます。(P.391参照)

1 ✉▶**SMS作成**

SMS作成画面

2 宛先欄を選択▶項目を選択

電話帳............ 電話帳を呼び出して電話番号を選択します。
送信アドレス一覧... 電話番号を選択して●(選択)を押します。
受信アドレス一覧... 電話番号を選択して●(選択)を押します。
直接入力.......... 電話番号を入力します。

宛先は1件のみ指定できます。

- 21桁まで入力できます。(「＋」を含む)
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」(0を1秒以上押す)、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国／地域番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。)

3 本文欄を選択▶本文を入力

- 入力できる文字数は「SMS本文入力設定」により異なります。

4 ✉(送信)**を押す**

送信中のアニメーション画面が表示され、メールが送信されます。

5 OK

お知らせ

- 電波状況により、相手に文字が正しく送信されない場合があります。
- FOMA端末に保存した送信メールが最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 送信BOXに送信メールを最大保存件数／最大保存容量まで保存していて、そのすべてを保護している場合、または保存メールが20件ある場合や保存BOXの容量がいっぱいの場合は、SMSを作成できません。
  送信メールの保護を解除するか保存メールを送信または削除してから操作をやり直してください。
- 「発信者番号通知設定」を「通知しない」に設定していても、送信相手には発信者番号が通知されます。また、宛先の先頭に「184」または「186」が入力されているSMSを送信しようとすると発番号設定を削除して送信するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「SMS送達通知設定」を「要求する」にしている場合は、movaサービスのiモード端末へ送ることができません。
- 「＋」は宛先の先頭でのみ有効です。
- 宛先に数字、「＊」、「＃」、「＋」以外の文字が含まれている場合は送信できません。
- 本文編集中に改行できません。
- 本文に特殊記号(P.475参照)を入力した場合、半角スペースに置き換えられます。
- スペースも文字と同じように文字数にカウントされます。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可能のSMSには返信できません。
- 2in1のモードがBモードの場合は、SMS作成はできません。

SMS作成画面の機能メニュー

送信	SMSを送信します。 P.174手順5へ進みます。
送信プレビュー	送信する前に宛先、本文の内容を確認します。 ●✉(送信)を押すとSMSを送信できます。
保存	作成中や編集中のSMSを保存BOXに保存します。 ●宛先と本文が未入力の場合は保存できません。
SMS送達通知設定	P.176参照
SMS有効期間設定	P.176参照
SMS本文入力設定	P.176参照

メール

＜SMS受信＞

SMSを自動的に受信する

受信したSMSは、i モードメールと合わせて最大2500件まで保存できます。

●受信したSMSはFOMAカードへ移動･コピーできます。（P.391参照）

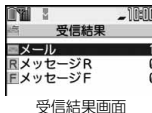
1 SMSを受信すると「（ピンク）」が点灯し、受信中のメッセージが表示される

受信結果画面

受信が終わると、受信したSMSの件数が表示されます。

●「メール」を選択すると受信メール一覧画面が表示されます。

●何も操作しないで約15秒経過するとデスクトップに「」（P.28参照）が表示され、元の画面に戻ります。（「メール／メッセージ鳴動」の設定により、秒数は異なります。）
を押し、「」を選んで（選択）を押すと、受信メール一覧画面が表示されます。

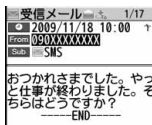
●FOMA端末を閉じているときは、P.31参照。

お知らせ

●FOMA端末に保存している、未読または保護している受信メールの合計が最大保存件数／最大保存容量になった場合は、新しいメールを受信できず、「（紺色）」が表示されます。SMSを受信するには、「（紺色）」が消えるまで受信メールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してから「SMS問い合わせ」を行ってください。

●連結SMSを受信した場合、受信メール一覧画面ではFOMA端末が受信した順に表示されます。

新着SMSを表示する

1 受信結果画面▶メール ▶表示したいSMSを選択

●SMSの詳細画面でを1秒以上押すと文字の大きさが変わります。（P.109「メール」参照）

お知らせ

●受信したSMSに入力されている文字によっては、スペースで表示されることがあります。

●表示したSMSの送信元（電話番号）を反転表示した状態で（選択）を押すと、表示されている電話番号に音声電話･テレビ電話発信できます。（Phone To／AV Phone To 機能）
また、送信元の電話番号を電話帳に登録しているときは、登録している「名前」が反転表示されます。この場合も同様の操作で電話をかけることができます。

●FOMA端末では、ショートメールをSMSとして受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、その理由が送信元欄に表示されます。

＜SMS問い合わせ＞

SMSがあるかを問い合わせる

SMSセンターに届いたSMSは自動的にFOMA端末へ送信されますが、FOMA端末の電源が入っていないときや、圏外などで受信できないときはSMSセンターに保管されます。
SMSセンターへ問い合わせを行い、それらを受信してください。

1 ▶SMS問い合わせ

2 戻る

センターにSMSが保管されていれば、自動的に受信されます。

お知らせ

●問い合わせを行っても、すぐにSMSが届かない場合があります。

●「（紺色）」「（紺色）」などが表示されたときは、これ以上SMSを受信できません。不要なメールを削除するか、未読のメールを読むか、保護を解除してください。（読んだり、保護を解除したりしたメールは、古いものから順に自動的に削除されます。）

●本機能で i モードメールやメッセージR/Fは受信できません。i モードメールやメッセージR/Fは「i モード問い合わせ」で受信してください。

<SMS設定>

SMSの設定を行う

SMS送達通知設定

SMSの送信時に、SMS送達通知を要求するかどうかを設定します。
SMS送達通知とは、SMSが相手に届いたことをお知らせするメールです。
受信したSMS送達通知は「受信BOX」フォルダで確認できます。

1 **[メール]▶SMS設定▶SMS送達通知設定▶要求する・要求しない**

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS有効期間設定

送信したSMSが圏外などで届かなかった場合にSMSセンターに保存される期間を設定します。

1 **[メール]▶SMS設定▶SMS有効期間設定▶保存期間を選択**

- 「0日」に設定すると、一定時間経過後に再送され、SMSセンターから削除されます。
- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS本文入力設定

SMSの本文に入力できる文字を設定します。半角英数字、半角記号のみ入力できるように設定できます。

1 **[メール]▶SMS設定▶SMS本文入力設定▶項目を選択**

日本語入力(70文字)
. . . . . 全角文字、半角文字が入力できます。「[絵文字]」「[絵文字]」(P.471参照)を除く絵文字は入力できません。本文は70文字まで入力できます。

半角英数入力(160文字)
. . . . . 半角英数字、半角記号のみ入力できます。本文は160文字まで入力できます。

- SMS作成画面の機能メニューから操作した場合、設定は作成中のSMSにのみ有効です。

SMS center設定

※通常は、設定を変更する必要はありません。

SMSセンターのアドレスと「Type of number」の設定をします。現在利用しているSMSサービスとは別のサービスを受けるときに設定します。

1 **[メール]▶SMS設定▶SMS center設定▶ユーザ設定▶アドレスを入力▶International・Unknown**

- アドレスは半角20文字まで入力できます。ただし、「＊」や「＃」が含まれている場合は「International」に設定できません。
- ユーザ設定をリセットして「ドコモ」に戻すには、「リセット▶端末暗証番号を入力▶YES」の操作を行います。

メール

ｉモード／フルブラウザ

ｉモード

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末(以下ｉモード端末)のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ ｉモードのご利用にあたって

- サイトやインターネット上のホームページ(インターネットホームページ)の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画･動画･メロディやメールで送受信した添付ファイル(静止画･動画･メロディなど)、「画面メモ」および「メッセージR/F」などを表示･再生できません。
- FOMAカードにより表示･再生が制限されているファイルを待受画面･指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

＜ｉMenu＞

サイトに接続する

IP(情報サービス提供者)が提供する各種サービスを利用します。FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。(IPによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。)

1 [iα]を押す

通信中は「⇅」が点滅します。

- ｉモードのサービスを受けているとき(ｉモード待機中)は「ｉ」が点滅します。
- ｉMenu以外のサイトに接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は[✉]([中止])を押します。
- ｉモードを終了するにはサイト表示中に[終話]を押して「YES」を選択します。「ｉ」が消灯し、ｉモードが終了します。ｉモード終了までに時間がかかる場合があります。
- 「ｉモード設定」の「共通設定」内の「ｉモードボタン設定」を「ｉモードメニュー表示」に設定すると、待受画面で[iα]を押したあとｉモードメニューが表示されます。

2 項目(リンク先)を選択

項目(リンク先)の選択を繰り返して目的のサイトを表示します。

- 表示したサイトの画面などで下線が表示されているときは、その項目を選択できます。項目を選ぶと反転表示されます。
- リンク先を示す項目の前に番号が表示されているときは、その番号と同じダイヤルボタンを押して直接リンク先に接続できます。(サイトによっては接続できない場合があります。)

SSL/TLSに対応したサイト(SSL/TLSページ)を取得するときは

認証中の画面が表示されます。取得が完了するとSSL/TLSページが表示され、「🔒」が点灯します。

- 認証中に中止する場合は「Cancel」を選択します。認証後のページを取得中に中止する場合は✉(中止)を押します。
- ｉモード、フルブラウザでSSL/TLS※対応のページを表示できます。
  ※SSL/TLSは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL/TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、書き換えを防止できます。また、サーバ認証によりなりすましを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL/TLSに対応していないサイトに戻るときは

SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると通常のサイトが表示され、「🔒」が消灯します。

お知らせ

- サイトによっては、利用する前に別途書面などで申し込みが必要なものや、利用するために情報料が必要なものがあります。
- サイトで表示される画像の最大表示サイズは480×1324ドットです。480×1324ドットを超える場合、縦横比を固定して縮小して表示されます。
- サイトによっては、画像を正しく表示できず、「」が表示される場合があります。
- サイトやデータによっては、メロディやPDFデータ、ソフトなどのダウンロードや保存ができない場合があります。
- ｉモード対応のインターネットホームページ(サイト)によっては、設定されている配色で文字が見えにくい場合や、見えない場合があります。
- 受信したページのデータが1ページの取得可能な最大サイズを超えたときは、受信を中断します。「OK」を選択すると、取得したところまでのデータが表示される場合もあります。ｉモードで接続した場合、「フルブラウザ切替」を選択するとフルブラウザでページを表示できる場合があります。
- サイトから、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報が要求されたときは、楽曲情報の送信に関する確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報(タイトル名、アーティスト名、再生日時)が送信されます。送信される楽曲情報は、IP(情報サービス提供者)がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

お知らせ

- 自動でSSL/TLS通信が行われようとした際は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると通信を行います。また、「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

<マイメニュー>

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続できます。
最大45件まで登録できます。

マイメニューに登録する

1 登録したいサイトのページを表示▶マイメニュー登録

- 各サイトによりページ構成が異なります。

2 ｉモードパスワードのテキストボックスを選択▶ｉモードパスワードを入力▶決定

- 入力したｉモードパスワードは「＊」で表示されます。
- ｉモードパスワードについてはP.112参照。

お知らせ

- マイメニューに登録できないサイトもあります。
- メニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューからサイトを表示する

1 iα▶マイメニュー▶接続したいサイトを選択

お知らせ

- デュアルネットワークサービスを利用の方は、mova端末で登録したマイメニューをFOMA端末で、FOMA端末で登録したマイメニューをmova端末で利用できない場合があります。

＜iモードパスワード変更＞

iモードパスワードを変更する

メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定をするときは「iモードパスワード」(4桁)が必要になります。
なお、iモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。

1 **[iα]▶お客様サポート▶各種設定(確認・変更・利用)▶iモードパスワード変更▶「現在のパスワード」のテキストボックスを選択▶iモードパスワード(4桁)を入力**

- 初回は契約時にiモードパスワードとして設定されている「0000」(数字のゼロ4つ)を入力します。
- 入力した数字は「＊」で表示されます。

2 **「新パスワード」のテキストボックスを選択▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力**

- お客様独自のiモードパスワードを入力してください。

3 **「新パスワード確認」のテキストボックスを選択▶新しいiモードパスワード(4桁)を入力▶決定**

- 手順2で入力した数字と同じものを入力します。

お知らせ

- iモードパスワードを万が一お忘れになったときは、契約された本人であるかどうかが確認できるもの(運転免許証など)をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

＜フルブラウザ＞

パソコン向けのホームページを表示する

パソコン向けに作成されたインターネットホームページを、フルブラウザの機能を利用して閲覧できます。iモードでは正しく表示できないインターネットホームページでも、表示が可能です。ただし、インターネットホームページによっては表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

- フルブラウザで登録したホームURL、Bookmarkなどのデータはiモードで利用することはできません。また、フルブラウザで設定した内容はiモードには反映されません。
- 画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料の詳細については、「ご利用ガイドブック(iモード<FOMA>編)」をご覧ください。

1 **[MENU]▶iモード▶フルブラウザホーム**

ホームURLに設定したインターネットホームページを表示します。

- 「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「利用する」を選んで「OK」を選択すると「フルブラウザ利用設定」の設定が切り替わり、フルブラウザが起動します。
  また、「定額サービスのお申し込みはこちら」を選択すると、サービス申し込みのサイトへiモードで接続できます。
- フルブラウザを終了するにはインターネットホームページを表示中に[終話]を押して「YES」を選択します。

お知らせ

- 1ページあたり1Mバイトまで表示できます。
- インターネットホームページによっては表示に時間がかかる場合があります。
- フルブラウザでは以下の機能は利用できません。
  ･Phone To 機能　･iアプリ To 機能　･Media To 機能

表示モードを切り替える

フルブラウザの画面には「PCレイアウトモード」と「ケータイモード」の2つのモードがあります。

1 **MENU▶iモード▶iモード設定▶フルブラウザ設定▶表示モード設定▶PCレイアウトモード・ケータイモード**

PCレイアウトモード
. . . .パソコン上で横800×縦1400ドットの表示をしたときと同じようにインターネットホームページを表示します。上下左右にスクロールしてインターネットホームページを閲覧できます。

ケータイモード
. . . .FOMA端末の画面幅でインターネットホームページを表示します。横スクロールは不要で、上下のスクロール操作だけでインターネットホームページを閲覧できます。

●インターネットホームページ表示中は機能メニューから「各種設定」の「表示モード切替」を選択するごとに表示モードが切り替わります。

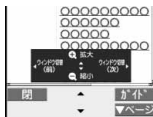
操作モードを利用する

フルブラウザの画面で✉(操作)を押すと「操作モード」に切り替わります。操作モードでは操作パレットが表示され、画面の拡大／縮小ができたり、ウィンドウを切り替えたりできます。

:画面の拡大／縮小

:ウィンドウの切り替え

●操作モードでiα(ｶﾞｲﾄﾞ)を押すと、ボタン操作のガイドを表示します。

●画面をスクロールする場合はMENU(▲ページ)または📷TV(▼ページ)を押します。

iモードからフルブラウザに切り替える

iモードで正しく表示できなかったインターネットホームページをフルブラウザに切り替えて表示します。

1 **フルブラウザで表示したいページを表示中▶iα(機能)▶フルブラウザ▶フルブラウザ切替▶YES**

お知らせ

●フルブラウザを利用する場合、iモードとは別の料金体系となりますのでご注意ください。

●複数のウィンドウを開いた状態で切り替えた場合、別ウィンドウのページは閉じられ、MENU(戻る)で戻ることもできません。

●インターネットホームページによっては、正しく表示できない場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

サイト表示中の画面について

❶…:iモードで接続中
:フルブラウザで接続中

❷…:画面メモ表示中
:キャプチャ画像表示中

❸…:マルチウィンドウで表示中

❹…ウィンドウ番号／ウィンドウ数

❺…:別ウィンドウ通信中
:別フレーム通信中

❻…:PCレイアウトモード
:ケータイモード

❼…:フレーム拡大表示中

❽…:通常のポインタ
:データ取得中、処理中
:ドラッグ中
:Flash画像を選択中
:文字入力可能なFlash画像を選択中
:リンクを選択中
:ドラッグモード中
:文字入力欄選択中
:操作可能なFlash画像を選択中

つづく

■サイト表示中の操作

操作	ボタン操作		
	iモード	フルブラウザ	
		ケータイモード	PCレイアウトモード
前のページへ戻る	MENU(戻る)※		
次のページへ進む	TV(進む)※		
画面をスクロール	(ポインタ表示中は)	(ポインタ表示中は)または▲▼	
反転表示を移動			−
ドラッグモードに切替(ポインタ表示中のみ)	−		(1秒以上)
ページ単位に画面をスクロール	▲▼または MENU(▲ページ) TV(▼ページ)※ ●ページの先頭／末尾に移動するには、1秒以上押します。	＊ ＃ ●ページの先頭／末尾に移動するには、1秒以上押します。	
再読み込み	−	0	
ブックマークフォルダ一覧を表示	−	1	

※ iモードでは✉(切替)を押すごとに、ページ移動の操作と画面スクロールの操作を切り替え

お知らせ

●✉(切替)を押して、ボタン操作の機能を切り替えようとした際は、切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると切り替わります。また、「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

取得済みのページに戻る・進む

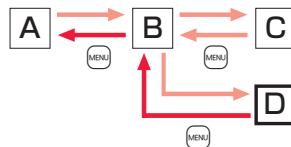
FOMA端末は、表示したインターネットホームページなどのデータをキャッシュと呼ばれる一時的な記憶領域に保存します。MENU(戻る)またはTV(進む)を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記憶されたページを表示できます。
iモード、フルブラウザ間でも移動できます。

●FOMA端末のキャッシュサイズをオーバーしているページや、必ず最新情報を読み込むように設定(作成)されたページを表示する場合は、通信を行います。
●iモード、フルブラウザを終了するとキャッシュはクリアされます。

1 前のページを表示させるときはMENU(戻る)を押す
次のページを表示させるときはTV(進む)を押す

ページを移動するには

MENU(戻る)を続けて押すことにより、これまで表示してきたページをさかのぼって表示できます。ただし、前のページ(「B」)から他のページ(「D」)を表示させたときは、「D」からMENU(戻る)を2回押しても「C」は表示されません。「D」→「B」→「A」の順で前のページが表示されます。

<画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき>

お知らせ

●移動の途中で画面メモを表示した場合は、画面メモのページより以前のページへは移動できません。

お知らせ

- キャッシュに記憶されたページを表示する際、以前接続したときに入力した文字や設定は表示されません。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

複数のサイトを表示する

新しいウィンドウを開いて最大5つのサイトを同時に開くことができます。(マルチウィンドウ)

- 同時に開いたサイトは1つずつ切り替えて表示します。

1 サイト表示中▶i𝛼(機能)▶ウィンドウ▶新ウィンドウで開く▶項目を選択

リンク……反転表示したリンクを新しいウィンドウで開きます。

Bookmark……Bookmarkに登録したサイトを新しいウィンドウで開きます。(P.188参照)

ラストURL……ラストURLから選択して新しいウィンドウで開きます。(P.187参照)

i Menu 検索……i Menuをｉモードで開きます。

フルブラウザホーム……ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。

URL入力履歴……URL入力履歴から選択したり、URLを入力して新しいウィンドウで開きます。(P.187参照)

- ウィンドウの切り替えかた、閉じかたについてはP.185参照。

お知らせ

- サイトによっては、新しいウィンドウで開くように設定されたリンクがある場合があります。そのリンクを開いたときは、上記の操作を行わなくても新しいウィンドウが開きます。

ポインタで操作する

「ポインタ／スクロール設定」の「ポインタ表示」を「表示する」に設定していると、画面にポインタが表示され、ポインタによって画面のスクロールやコンテンツの選択などの操作ができます。「ポインタ／スクロール設定」は、ｉモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

- サイトによっては、ポインタによる操作ができない場合があります。ポインタによる操作ができない場合は、P.197「ポインタ表示」を「表示しない」に設定することで、▢や●による操作ができるようになることがあります。

ドラッグモードに切り替えて操作する

ポインタ表示中に●を1秒以上押すと、ドラッグモードに切り替わります。ドラッグモードに切り替えると、ドラッグモードに対応したコンテンツを操作できます。ドラッグモード中はポインタが「✋」になります。

1 ポインタ表示中に●(1秒以上)▶操作したいコンテンツを選んで●

ポインタが「✊」に切り替わります。

2 ▢でコンテンツを移動▶●

ポインタが「✋」に戻りコンテンツが離れます。

- ドラッグモードを解除するには●を1秒以上押します。

お知らせ

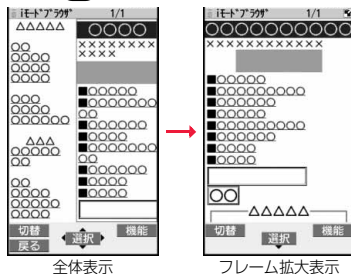
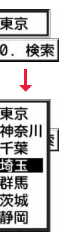
- コンテンツによって、可能な操作は異なります。
- ドラッグモード中は、コンテンツの操作以外の操作はできません。ただし、入力ボックスを選択した場合や、ファイルをアップロードする場合はドラッグモードが解除されて操作できます。
- ｉモードで接続中やフルブラウザのケータイモードで接続中はドラッグ操作ができません。

フレーム対応のサイトを表示する

フレームで構成されたサイトを表示します。フレームを選択し、フレームごとに拡大して表示できます。

1 フレームのあるサイト表示中
▶ でフレームを選んで（選択）

●全体表示に戻るには、CLRを押すか機能メニューから「その他」を選択し、「フレーム表示へ戻る」を選択します。

全体表示　　フレーム拡大表示

お知らせ

●フレームでの分割数が多いサイトでは、すべてのフレームを表示できない場合があります。表示できなかったフレームには「」が表示されます。

サイトで選択・入力する

サイトでは、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス、プルダウンメニューが表示されることがあります。

名称	表示例	操作・補足
ラジオボタン	○：非選択状態 ◉：選択状態	選択肢の中から1つだけ選択できます。
チェックボックス	□：非選択状態 ☑：選択状態	選択肢の中から複数の項目を選択できます。
テキストボックス	乗換駅から 下車駅へ 0. 検索	文字を入力できます。テキストボックスを選んで（選択）を押すと文字入力（編集）画面が表示されます。
プルダウンメニュー	東京 0. 検索 ↓ 東京 神奈川 千葉 埼玉 群馬 茨城 静岡	選択肢の一覧から項目を選択できます。プルダウンメニューを選んで（選択）を押すと選択肢一覧が表示されます。 ●プルダウンメニューによっては、複数の項目を選択できる場合があります。で項目を選んで（選択）を押すごとに項目の選択／選択解除を繰り返します。項目を選択し終わったら（完了）を押します。

お知らせ

●サイトによってはUser IDやPasswordなどの認証画面が表示される場合があります。
User IDとPasswordを入力して「OK」を選択します。

携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号

項目を選択すると、携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

●送信される「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、IP(情報サービス提供者)がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP(情報サービス提供者)の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために用いられます。

●送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」は、インターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。

サイト表示中の機能メニュー

Bookmark		
	Bookmark一覧	P.188「ブックマークからホームページやサイトを表示する」手順1へ進みます。
	Bookmark登録	P.188参照
画面メモ		
	画面メモ一覧	P.190手順2へ進みます。
	画面メモ保存	P.189参照
ラストURL		P.187参照
i Menu 検索		i Menuに戻ります。
フルブラウザホーム		ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
フルブラウザ		
	フルブラウザホーム	ホームURLに設定したインターネットホームページをフルブラウザで開きます。
	フルブラウザ切替	P.181参照
i モードブラウザ		
	i Menu 検索	i Menuをｉモードで開きます。
	i モードブラウザ切替	フルブラウザで表示中のサイトをｉモードに切り替えて表示します。
再読み込み		サイトの内容が最新の情報に更新されます。
URL入力・情報		
	URL入力	URLを入力してインターネットホームページを表示します。 ▶**テキストボックスを選択** P.187手順2へ進みます。 ●あらかじめ表示中のサイトのURLが入力されています。
	URL入力履歴	P.187参照
	URL表示	表示中のサイトのURLを表示します。
ウィンドウ		
	新ウィンドウで開く	P.183参照
	ウィンドウ切替	マルチウィンドウでサイトを表示しているときに、表示するウィンドウを切り替えます。 ▶**ウィンドウを選択**
	ウィンドウを閉じる	マルチウィンドウでサイトを表示しているときに、表示しているウィンドウを閉じます。 ▶**YES**
画像保存		P.192参照
テキスト範囲選択		
	コピー	サイトに表示されている文字を選択してコピーします。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択** ●コピーした文字を貼り付けるにはP.410参照。
	地図を見る	サイトに表示されている文字を選択して地図を表示します。 ▶**始点を選択**▶**終点を選択** 選択した文字を利用して、GPS対応ｉアプリが起動します。（P.196参照）
各種設定		
	表示モード切替	P.181参照
	横画面モード切替／横画面モード解除	画面表示を縦画面と横画面で切り替えます。
	全画面表示設定	P.198参照
	拡大縮小設定	P.198参照
	画像表示設定	P.197参照
	サウンド設定	P.197参照
	Script動作設定	P.197参照

つづく

項目	説明
ポインタ／スクロール設定	
ポインタ表示	P.197参照
速度設定	P.197参照
スクロール中のフォーカス表示	P.198参照
Cookie	
Cookie設定	Cookieを有効にするかどうかを設定します。 P.200「Cookie設定」手順1へ進みます。
Cookie削除	Cookieを削除します。 P.200「Cookieを削除する」手順1へ進みます。
Referer設定	Refererを送信するかしないかを設定します。 P.200「Referer設定」手順1へ進みます。
フルブラウザホーム設定	表示中のインターネットホームページをホームURLに登録します。 ▶YES
その他	
フレーム表示へ戻る	フレーム拡大表示画面から、すべてのフレームの表示画面へ戻ります。
iモードメール作成	表示中のサイトや画面メモのURL、画像をiモードメールの本文に貼り付けまたは添付して作成します。 ▶**項目を選択** **URL貼付**....URLをiモードメールの本文に貼り付けます。 **画像添付**.....画像を選択してiモードメールに添付します。 **デコメ挿入**...画像を選択してデコメール®に貼り付けます。 P.130手順2へ進みます。 ●デコメール®についてはP.133参照。
電話帳登録	P.82参照
デスクトップ／登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
ボタン長押し登録	P.386参照
文字コード変換	文字が正しく表示されないときに、正しい文字に変換します。 ●表示中のサイト、インターネットホームページにのみ有効です。
タイトル表示	表示中のサイトのタイトルを表示します。
証明書表示	SSL/TLS通信で使用している証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を確認します。最大5枚まで表示されます。
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
ボタン操作ガイド	フルブラウザの画面でのボタン操作のガイドを表示します。

お知らせ

<テキスト範囲選択>
- 選択できる文字数は全角5000文字／半角10000文字までです。ただし、「地図を見る」の場合は全角5000文字／半角10000文字以内でも選択できない場合があります。
- サイトによってはコピーできない場合があります。

<iモードメール作成>
- URLが半角256文字（フルブラウザの場合は半角512文字）を超える場合は貼り付けできません。
- 画像によってはiモードメールに添付または貼り付けできない場合があります。

<文字コード変換>
- 正しく表示されないときは、操作を繰り返してください。ただし、4回操作を行うと元の文字コードで表示されます。
- 変換操作を繰り返しても正しく表示されないことがあります。
- 正しく表示されているときに文字コード変換をすると、正しく表示されなくなる場合があります。

<タイトル表示>
- タイトルは半角128文字/全角64文字まで表示されます。

<ラストURL>
過去に見たサイトのページを表示する

ラストURLを表示する

iモードやフルブラウザでサイトを表示するたびに、表示していたページのURLが「ラストURL」に記憶されます。iモード、フルブラウザ合わせて50件まで記憶されます。
「ラストURL」を選択すると、過去に見たページの一覧を表示します。

1 **MENU▶iモード▶ラストURL▶表示したいページを選択**

- iモードで接続したURLには「 」、フルブラウザで接続したURLには「 」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
- (機能)を押して「URL表示」を選択すると、URLを表示できます。
- ラストURLを削除する場合は、(機能)を押して「削除」を選択し、「1件削除」、「選択削除」、「全削除」を選択します。

お知らせ

- ページによっては「ラストURL」に記憶されない場合があります。
- 50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 同じURLのサイトを表示した場合は、最後に表示したサイトのURLが記憶されます。ただし、異なるブラウザでの接続の場合は、別のURLとして記憶されます。

<URL入力>
インターネットホームページを表示する

1 **MENU▶iモード▶URL入力▶<新規入力>**

2 **URLを入力▶iモードブラウザ・フルブラウザ**

- 半角の英数字や記号で512文字まで入力できます。
- フルブラウザの場合、表示できない場合がある旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

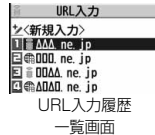
- iモードの場合、iモードに対応していないインターネットホームページや接続するインターネットホームページによっては、正しく表示されないことがあります。

URL入力履歴を使って表示する

入力したURLはURL入力履歴として50件まで記憶されます。

1 **MENU▶iモード▶URL入力▶表示したいURLを選択▶iモードブラウザ・フルブラウザ**

URL入力履歴一覧画面

- iモードで接続したURLには「 」、フルブラウザで接続したURLには「 」のブラウザ種別アイコンが表示されます。
- 「http://」または「https://」以下の半角20文字までが表示されます。
- URLのテキストボックスを選択するとURLを編集できます。

お知らせ

- 履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- URLを新規入力して接続した場合は、同じURLでも別の履歴として記憶されます。ただし、URLを編集せずにブラウザのみを変更して接続した場合は、ブラウザ種別アイコンのみ変更して記憶されます。

URL入力履歴一覧画面の機能メニュー

機能		説明
iモードメール作成		選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.130手順2へ進みます。 ● ( )を押してもiモードメールを作成できます。
デスクトップ／ 登録		
	デスクトップ貼付	P.30参照
	ボタン長押し登録	P.386参照

つづく

フルブラウザホーム設定	フルブラウザのホームURLとして登録します。 ▶YES
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいURL入力履歴にチェック▶✉(完了) ▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<ブックマーク>

ホームページやサイトを登録して素早く表示する

ブックマークに登録する

よく見るサイトのURLをブックマークに登録しておくと、直接目的のページを表示できます。iモード、フルブラウザ合わせて600件まで登録できます。

1 登録したいページを表示中▶iα(機能)▶Bookmark▶Bookmark登録▶YES▶登録したいフォルダを選択

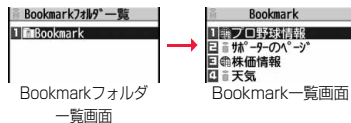
お知らせ

- 1件あたりのURLが半角256文字(フルブラウザの場合は半角512文字)を超える場合は登録できません。
- タイトルが全角12文字/半角24文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。タイトルがないときは、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。
- 同じURLでも、ブラウザ種別が異なる場合は、別のブックマークとして登録できます。
- ページによっては、ブックマークに登録できないことがあります。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 MENU▶iモード▶Bookmark▶フォルダを選択▶表示したいブックマークを選択

- iモードのブックマークには「i」、フルブラウザのブックマークには「🌐」が表示され、選択するとそれぞれに対応したブラウザで接続されます。

Bookmarkフォルダ一覧画面　Bookmark一覧画面

Bookmarkフォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ操作	
フォルダ追加	新規フォルダを追加します。「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダ以外にそれぞれ39件まで追加できます。 ▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	▶フォルダ名を編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	フォルダとフォルダ内のすべてのブックマークや画面メモを削除します。「Bookmark」フォルダ・「画面メモ」フォルダは削除できません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
赤外線／iC送信	
赤外線全件送信	P.361参照
iC全件送信	P.363参照
登録件数確認	全フォルダに登録されているブックマークの件数とiモードブラウザ、フルブラウザそれぞれのブックマークの件数を表示します。
Bookmark全削除	フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

Bookmark一覧画面の機能メニュー

iモードメール作成	選択中のURLをiモードメールの本文に貼り付けて作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●[メールキー]([メール])を押してもiモードメールを作成できます。
iモードメール添付	ブックマークをiモードメールに添付して送信します。 P.130手順2へ進みます。
フォルダ移動	ブックマークや画面メモを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいブックマークや画面メモにチェック** ▶[メールキー](完了)▶YES
タイトル編集	▶**タイトルを編集** ●一覧画面で[MENU](編集)を押してもタイトル編集できます。 ●ブックマークの場合、全角12文字/半角24文字まで入力できます。空白で[決定キー](確定)を押した場合は、「http://」または「https://」を除いたURLが登録されます。 ●画面メモの場合、全角11文字/半角22文字まで入力できます。空白で[決定キー](確定)を押した場合は、「無題」と登録されます。
コピー	
URLコピー	ブックマークのURLをコピーします。 ▶**コピーする始点を選択**▶**コピーする終点を選択** ●コピーした文字を貼り付けるにはP.410参照。
microSDへコピー	P.346参照
デスクトップ/[キー]登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
[キー]ボタン長押し登録	P.386参照
赤外線/iC送信	
赤外線送信	P.360参照
iC送信	P.362参照
登録件数確認	表示しているフォルダ内に登録されているブックマークの件数を表示します。
削除	
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいブックマークや画面メモにチェック** ▶[メールキー](完了)▶YES
全削除	フォルダ内に登録されているすべてのブックマークや画面メモを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
フルブラウザホーム設定	フルブラウザのホームURLとして登録します。 ▶YES

<画面メモ>
サイトの内容を保存する

画面メモを保存する

一度表示したページを画面メモとして保存できます。
iモード、フルブラウザそれぞれ最大300件まで保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。

1 保存したいページを表示中▶[iαキー](機能)▶画面メモ▶画面メモ保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

画面メモを保存すると、同時にプレビュー表示用の画像(キャプチャ画像)も保存されます。
●「YES(キャプチャ画像のみ)」を選択すると、キャプチャ画像のみ保存します。
●保存している画面メモがいっぱいのときで、キャプチャ画像のみ保存できる場合は、キャプチャ画像のみ保存するかどうかの確認画面が表示されます。キャプチャ画像もいっぱいで保存できないときは、P.194参照。

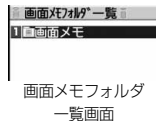
つづく

お知らせ

- タイトルが全角11文字/半角22文字を超えたときは、超えた部分が削除されます。
- データ取得完了の画面などを保存すると、画面とともにそのデータも保存されます。(着うたフル®、再生期限付きのｉモーション、FOMA端末外への出力が禁止されているトルカ取得完了の画面は保存できません。)データ取得完了の画面は、画面メモとして保存できない場合があります。データ取得完了の画面以外は、そのページのURLが半角2048文字まで保存されます。
- SSL/TLS対応のページの画面を保存すると、画面とともにそのページのSSL/TLS証明書も保存されます。
- テキストボックスに入力した内容や、プルダウンメニュー、チェックボックス、ラジオボタンで選択した内容は保存されません。
- 1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは1024Kバイトまでのページを保存できます。
  ただし、スケジュール取得完了の画面は最大1024Kバイトまで、デコメール®テンプレート取得完了の画面は最大200Kバイトまで、メロディ･キャラ電･デコメアニメテンプレート･トルカ(詳細)の取得完了の画面は最大100Kバイトまで、ダウンロード辞書取得完了の画面は最大20Kバイトまで、トルカ取得完了の画面は最大1Kバイトまで保存できます。
- サイトによっては画面メモ保存できない場合があります。

画面メモを表示する

1 **MENU▶ｉモード▶画面メモ▶ｉモードブラウザ･フルブラウザ**

- 画面メモフォルダ一覧画面で✉を押すごとに、ｉモードとフルブラウザの画面メモフォルダが切り替わります。

画面メモフォルダ一覧
1 画面メモ

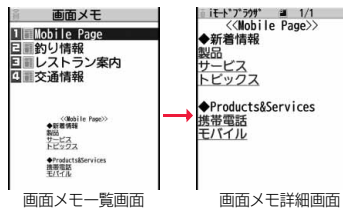
画面メモフォルダ一覧画面

2 **フォルダを選択▶画面メモを選択**

- 「ｉモード設定」の「フルブラウザ設定」内の「フルブラウザ利用設定」を「利用しない」に設定している場合、フルブラウザの画面メモを選択すると、キャプチャ画像が表示されます。
- 画面メモ詳細画面でMENUまたは📷を押すと、他の画面メモを確認できます。
- 画面メモ内のリンクを選択すると、ｉモード、フルブラウザそれぞれに自動で接続します。

画面メモ
1 Mobile Page
2 釣り情報
3 レストラン案内
4 交通情報

画面メモ一覧画面

ｉﾓｰﾄﾞﾌﾞﾗｳｻﾞ 1/1
<<Mobile Page>>
◆新着情報
製品
サービス
トピックス
◆Products&Services
携帯電話
モバイル

画面メモ詳細画面

お知らせ

- 画面メモに保存したページは保存したときの情報です。最新のページの情報と異なる場合があります。

画面メモフォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ操作		
	フォルダ追加	P.188参照
	フォルダ名編集	P.188参照
	フォルダ削除	P.188参照
セキュリティ設定／解除		端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES フォルダが「🔒」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認		全フォルダに保存している画面メモの件数と保護している画面メモの件数を表示します。
画面メモ全削除		すべての画面メモを削除します。フォルダは削除されません。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

画面メモ一覧画面の機能メニュー

フォルダ移動	P.189参照
タイトル編集	P.189参照
保護／保護解除	画面メモを削除されないように保護します。最大150件まで保護できますが、データ量により保護件数は少なくなります。 保護すると「 」や「 」が表示されます。 ●保護を解除する場合も同様の操作を行います。
保存件数確認	表示しているフォルダ内に保存している画面メモの件数と保護している画面メモの件数を表示します。
削除	
1件削除	P.189参照
選択削除	P.189参照
全削除	P.189参照

画面メモ詳細画面･キャプチャ画像表示中の機能メニュー

タイトル編集	P.189参照
保護／保護解除	P.191参照
キャプチャ画像表示	キャプチャ画像を表示します。
再読み込み	キャプチャ画像から画面メモ保存したサイトへ接続します。
URL表示	画面メモのURLを表示します。
画像保存	P.192参照
テキスト範囲選択	
コピー	P.185参照
地図を見る	P.185参照
各種設定	
表示モード切替	P.181参照
横画面モード切替／横画面モード解除	画面表示を縦画面と横画面で切り替えます。
全画面表示設定	P.198参照
拡大縮小設定	P.198参照
サウンド設定	P.197参照
ポインタ／スクロール設定	
ポインタ表示	P.197参照
速度設定	P.197参照
スクロール中のフォーカス表示	P.198参照
その他	
フレーム表示へ戻る	P.186参照
iモードメール作成	P.186参照
電話帳登録	P.82参照
証明書表示	P.186参照
リトライ	アニメーションやFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
iモードメール作成	P.186参照
削除	▶YES

＜画像保存＞
サイトから画像を保存する

サイト、画面メモに表示されている画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定できます。
JPEG形式、GIF形式の他に、SWF形式、BMP形式、PNG形式などの画像を保存できます。また、デコメール®用の画像やフレーム、スタンプ画像なども保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.508参照)

1 サイト表示中･画面メモ詳細画面▶iα(機能)▶画像保存▶項目を選択

画像1件保存. . . 画像を1件保存します。保存したい画像を選択します。
画像複数保存. . . 画像を複数件保存します。保存したい画像を複数選択し、✉(保存)を押します。
画像一括保存. . . サイトに表示されている画像のうち、保存できる画像を一括ですべて保存します。
背景画像保存. . . 背景として表示されている画像を保存します。
●フルブラウザの場合は複数保存できません。保存したい画像を選択します。

2 YES▶保存したいフォルダを選択

●「画像複数保存」「画像一括保存」の場合、「本体」か「microSD」を選択します。「本体」を選択した場合は、デコメ®絵文字は「デコメ絵文字」フォルダに、フレーム、スタンプは「フレーム／スタンプ」フォルダに、その他の画像は「ｉモード」フォルダに振り分けて保存されます。
「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.357参照。
●保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。

3 ピクチャ貼付するかどうかの確認画面が表示された場合、ピクチャ貼付するには「YES」を選択

P.319「ピクチャ貼付」へ進みます。

お知らせ
●ファイル名は半角36文字まで保存されます。ファイル名が指定されていない場合には、ダウンロードしたURLの一部または「imageXXX」(XXXは数字)で保存されます。

お知らせ
●サイト上では表示されていても、FOMA端末に保存してピクチャビューアで表示すると、表示されない場合があります。
●以下の条件を満たす画像は、デコメ®絵文字として保存されます。
･GIFまたはJPEGの画像　･20ドット×20ドットの画像
･ファイル制限なしの画像　･6Kバイト以下の画像
●拡張子が「ifm」で透過GIF(アニメーションGIFを除く)の画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。
●1件あたりｉモードでは最大500Kバイトまで、フルブラウザでは最大1Mバイトまでの画像を保存できます。
●画像を複数保存する場合や一括保存する場合、背景画像は保存できません。
●画像によっては保存できない場合があります。また、BMP形式、PNG形式の画像はmicroSDカードにのみ保存できます。

＜ダウンロード＞
サイトからデータをダウンロードする

サイトからファイルやデータをダウンロードしてFOMA端末に保存できます。ファイルによってはmicroSDカードに直接保存できるものもあります。
メロディ、PDFデータ、キャラ電、マチキャラ、きせかえツール、トルカ、テンプレート、辞書、スケジュールなどを保存できます。

■ダウンロード可能な最大サイズ

種類	最大サイズ	最大保存件数
メロディ	100Kバイト	最大3500※1
PDFデータ	2Mバイト	最大3500※1
キャラ電	100Kバイト	3
マチキャラ	2Mバイト	最大3500※1
きせかえツール	2Mバイト	最大3500※1
トルカ	100Kバイト	最大495※1
テンプレート(デコメール®)	200Kバイト	最大100※2
テンプレート(デコメアニメ®)	100Kバイト	最大100※2
辞書	20Kバイト	10
スケジュール	1Mバイト	2500

※1 他のデータと共通で、データ量により保存件数は少なくなります。(P.508参照)
※2 データ量により保存件数は少なくなります。

1 データダウンロード可能なサイトを表示 ▶データを選択

データをダウンロードします。ダウンロードが完了すると、データ取得完了の画面が表示されます。

- PDFデータの場合は、ダウンロードが完了すると、PDFデータが表示されます。
- すべてのページをダウンロードしないと表示されないPDFデータの場合、すべてダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択して保存したいフォルダを選択します。
- すべてのページをダウンロードしていないPDFデータの場合は、「残り全てを取得」で残りページを追加でダウンロードできます。
- 表示しているPDFデータをFOMA端末に保存するにはP.367をご覧ください。ダウンロードできていないページがあるPDFデータやダウンロードが途中で中断されたPDFデータなども保存できます。
- PDFデータによっては表示する際にパスワードの入力画面が表示される場合があります。パスワードを入力して「OK」を選択します。
- PDFデータ表示中の操作についてはP.365参照。

2 保存▶YES▶保存したいフォルダを選択

キャラ電、テンプレート(デコメール®)、スケジュールはFOMA端末に保存されます。
マチキャラ、きせかえツール、テンプレート(デコメアニメ®)は「本体」か「microSD」を選択します。
辞書は「<未登録>」を選択します。

- 「情報表示」を選択するとデータの情報が表示されます。
- 「microSD」を選択した場合の保存先についてはP.357参照。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.194参照。
- 画面メモを保存したいときはP.189参照。

3 ダウンロードしたデータをそれぞれの機能に設定する場合は「YES」を選択

- メロディを着信音に設定する場合は着信の種類を選択します。
- テンプレートでデコメール®作成やデコメアニメ®作成する場合はP.133、P.136参照。

お知らせ

- ダウンロードしたメロディは正しく再生されない場合があります。

きせかえツールやマチキャラのダウンロードが中断したときは

✉(中止)を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。データ取得完了の画面で「部分保存」を選択すると保存できます。「部分保存」の場合は「本体」にのみ保存できます。
部分保存した残りのデータは「データBOX」の「きせかえツール」や「マチキャラ」から再ダウンロードできます。

iモードで探す

サイトから好みのデータを探してダウンロードします。保存できる件数はそれぞれダウンロードするデータによって異なります。サイトの変更はできません。

1 各種選択画面▶iモードで探す▶YES▶データを選択

- ダウンロードの方法はデータによって異なります。
- iスケジュール一覧画面では「iスケジュールリストへ」を選択します。

お知らせ

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

「P-SQUARE」について

お買い上げ時に登録されているキャラ電、マチキャラ、きせかえツール、テンプレート、辞書、デコメ®絵文字は「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
iMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

保存しているデータがいっぱいのときは

データを保存するときに、すでに最大保存件数まで保存している場合や、メモリの空きが不足している場合は、不要なデータを削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

●本操作は以下のデータを保存するときに行います。

·画像	·ｉモーション	·ムービー	·メロディ	·キャラ電
·番組	·着うたフル®	·マチキャラ	·PDFデータ	·ｉアプリ
·トルカ	·テンプレート	·画面メモ	·きせかえツール	·スケジュール

1. YES▶削除したいデータにチェック▶✉(完了)▶YES

キャラ電、テンプレート、画面メモ、スケジュール以外のデータは同じ保存領域に保存されているため、データを削除する際に、別のデータを選択できます。フォルダを選択して削除したいデータにチェックを付けます。チェックの付いたデータがあるフォルダには「＊」が表示されます。
不足している容量分にチェックを付けると「完了」が表示されます。

●iα(機能)を押して「ページ内全選択／ページ内選択解除」を選択すると、一括でチェックを付けたり外したりできます。
●📞またはiα(保存容量)を押すか、iα(機能)を押して「表示モード切替」を選択するごとに、フォルダ容量やデータ容量の表示／非表示が切り替わります。
●「ミュージック」内のファイルを選択する場合、✉(📁)を押して下の階層のフォルダを表示できます。
●CLRを押すごとに上の階層に戻ります。
●着うたフル®、ムービーを選択する場合、iα(機能)を押して「再生」を選択すると内容を確認できます。
●番組の場合、1番組分のデータ量が多いため、他のデータを削除する場合は多くのデータを削除する必要があります。
●番組で「番組移動」を行ったときや、ｉアプリ·トルカを保存したときに、最大保存件数まで保存されていた場合は、同じ種類のデータを1件以上削除する必要があります。
●画面メモの場合、セキュリティ設定しているフォルダがあると、セキュリティ設定中のフォルダ内の画面メモも選択できるようにするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、端末暗証番号の入力が必要です。
●他の機能で設定しているデータには「★」マークが付いています。
●メール連動型ｉアプリの削除についてはP.275参照。
●microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動する際に、本操作を行う場合、ICカード内にデータがあるｉアプリは削除できません。

Flash機能について

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。Flash画像によりサイトの表現力がより豊かになります。Flash画像を利用した画像をFOMA端末にダウンロードして再生したり、待受画面に設定したりできます。

■Flash® Videoとは

Flash® Video(FLV)とは、Adobe Flash Player で再生できる映像です。Flash® Videoはｉモード、フルブラウザ、画面メモ、データBOXで再生できます。また、待受画面などに設定しても再生されます。ただし、画面メモやデータBOXに保存したり、待受画面などに設定して利用できるのは埋め込み型のFLVのみです。

●再生可能なFLVは以下の2種類です。

種類	説明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを、配信サーバからダウンロードしながら再生するタイプの方法です。
埋め込み型再生	Flash画像の中に、要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプの方法です。

●サイトによっては再生できないことがあります。
●プログレッシブ型のFLVは最大約10Mバイトまでのファイル再生に対応しており、大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
●プログレッシブ型のFLVはデータBOXに保存したり、画面メモに保存したりできません。

■FLV再生の仕様について

コーデック	ビデオ	Sorenson Spark／On2VP6
	オーディオ	MP3
ビットレート	ビデオ	400kbps
	オーディオ	96kbps
ビデオサイズ	QVGA(320×240)以下のファイル	
フレームレート	15fps	

●対応しているファイル形式でも、ファイルによってはデータ取得や再生ができない場合があります。

お知らせ

- サイトで表示されるFlash画像の表示サイズは最大480×662ドットです。480×662ドットを超える場合は縦横比を固定して縮小して表示されます。
- Flash画像によってはお客様のFOMA端末の端末情報を利用するものがあります。端末情報を利用するには、「端末情報利用設定」を「有効」に設定してください。（お買い上げ時は「有効」に設定されています。）
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合には、「サウンド設定」を「レベル0」に設定してください。
- 待受画面に設定されたFlash画像の効果音やバイブレータは動作しません。
- バックグラウンド再生中は、Flash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像によっては再生中にFOMA端末を振動させるものがあります。「バイブレータ」の設定に関わらず振動します。
- Flash画像をデータBOXやmicroSDカード、画面メモなどに保存して再生すると、保存した場所によって見えかたが異なる場合があります。
- フルブラウザで表示している場合は、Flash画像は保存できません。
- Flash画像によっては、正しく動作しない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては や で操作できることがあります。「 」が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができることがあります。フルブラウザで表示している場合は、ポインタ表示中のみ操作できます。
- Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。

サイトにファイルをアップロードする

FOMA端末に保存しているJPEGまたはGIF形式の画像やｉモーションをサイトにアップロードします。

1 ファイルのアップロードが可能なサイトを表示▶参照▶ピクチャ・ｉモーション▶アップロードしたいファイルを選択

- サイトによってはアップロード方法が異なる場合があります。

お知らせ

- 合計2Mバイトまでのファイルをアップロードできます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルはアップロードできません。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

サイトのページやメールなどで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URL、メロディ、画像など）を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示したり、ワンセグの起動や視聴予約・録画予約を登録したりできます。

- パソコンなどから送信されたメールや、サイトによっては、Web To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To、Media To、住所リンク機能が使用できない場合があります。
- 電話番号、メールアドレス、URL以外の反転表示された情報を使ってWeb To、Phone To／AV Phone To、Mail To、ｉアプリ To 機能を利用できる場合もあります。
- デコメアニメ®では反転表示されません。

Phone To／AV Phone To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている電話番号などの情報を使って、音声電話発信、テレビ電話発信します。

- テレビ電話でのPhone To 機能のことをAV Phone To 機能と呼びます。

1 電話番号などの情報を選択▶発信方法を選択

- 「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。
- 「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.174手順3へ進みます。
- 電話番号の前に「tel:」または「tel-av:」があった場合などは、発信方法の選択肢が表示されないことがあります。手順2へ進みます。

2 発信

- 国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。（P.58参照）
- 発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。（P.56手順2参照）

Mail To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、メールを送ります。

1 **メールアドレスなどの情報を選択**

宛先にはメールアドレスなどがすでに入力されています。
P.130手順3へ進みます。

Web To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURLなどの情報から、iモードまたはフルブラウザを使って、インターネットホームページに接続します。

1 **URLなどの情報を選択**
▶iモードブラウザ・フルブラウザ▶YES

- URLなどの情報が、それぞれiモード、フルブラウザの情報を含んでいる場合は、情報に対応した機能で接続します。
- 接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。ページを取得中に中止する場合は[✉](中止)を押します。

iアプリ To 機能

サイトやメールなどの中に表示されているURL(リンク)からiアプリを起動します。

1 **iアプリの情報を選択▶YES**

iアプリが起動します。

お知らせ

- iモードメール本文にiアプリを起動させるリンクがある場合、返信や転送をするとiアプリを起動させるリンクは引用できません。また、ドコモケータイdatalink使用時や赤外線通信時もiアプリを起動させるリンクは引用できません。

Media To 機能

サイトやメールなどの中に表示されている情報(リンク)からワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行います。

1 **ワンセグの情報を選択▶YES**

ワンセグや視聴予約・録画予約が起動します。

- 予約機能が起動したときは[✉](完了)を押して視聴予約・録画予約を登録します。
予約したい内容を変更する場合はP.241「視聴予約リスト」手順1、P.242手順1へ進みます。

お知らせ

- 反転表示されていてもMedia To 機能が利用できない場合があります。

住所リンク機能

サイトなどの中に表示されている住所などから地図を表示したり、GPS対応iアプリで位置情報を利用したりできます。また、位置情報をiモードメールで送信することもできます。

1 **住所などの位置情報を選択▶項目を選択**

地図を見る……「GPS設定」の「地図選択」で設定されているGPS対応iアプリを起動して位置情報を送信します。
地図・GPSアプリ……GPS対応iアプリを選択して起動します。
メール貼り付け……位置情報をURL化し、本文に貼り付けてiモードメールを作成します。
位置情報確認……選択した位置情報の内容を表示します。

＜ｉモード設定＞

ｉモードの設定を行う

ｉモード、フルブラウザ利用時の設定や共通の設定を行います。ｉモードの設定、フルブラウザの設定はそれぞれ個別に設定でき、設定は共有されません。ただし、「サウンド設定」のみ設定を共有します。

- サイト表示中の機能メニューから設定を変更できる項目は、ｉモードで接続中は「ｉモードブラウザ設定」の設定が、フルブラウザで接続中は「フルブラウザ設定」の設定が変更されます。
- 各項目を選んで✉(ﾍﾙﾌﾟ)を押すと、機能の説明画面が表示されます。

ｉモードブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶ｉモードブラウザ設定▶以下の操作を行う

項目	内容
文字サイズ設定	P.109「ｉモード」参照
画像表示設定	サイトや画面メモなどに含まれる画像やFlash画像を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
サウンド設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶**音量レベルを選択**
動画自動再生設定	P.208参照
ページ内動画取得設定	サイト表示中にFlash® Videoを表示する際、動画を取得するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **取得する**．．．．．確認画面は表示されず、自動で取得します。 **毎回確認**．．．．．表示するごとに確認画面が表示されます。 **取得しない**．．．データを取得しません。
Script動作設定	Javascriptを有効にするかどうかを設定します。 Javascriptは、インターネットホームページ上で動作する簡易プログラム言語で、動きのあるインターネットホームページを作成するときなどに幅広く利用されています。 「有効」に設定すると、インターネットホームページ閲覧時にJavascriptの機能を利用できます。 ▶**有効・無効**
ポインタ／スクロール設定	
ポインタ表示	ポインタ表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
速度設定	スクロールの速度を設定します。 ▶**高速・中速・低速**
端末情報利用設定	サイトや画面メモ表示中にFlash画像を表示する際、FOMA端末の情報を利用する場合があります。その場合に、情報の利用を有効にするかどうかを設定します。 ▶**有効・無効**
Cookie設定	P.200参照
Cookie削除	P.200参照
Referer設定	P.200参照
ウィンドウ自動起動設定	Javascriptで新規ウィンドウを自動で開かないようにするかどうかを設定します。 ▶**自動起動する・自動起動しない**

お知らせ

＜画像表示設定＞
- 「表示する」に設定していても、正しく表示されない場合があります。その場合、「×」が表示されます。
- 「表示しない」に設定すると、「 」で表示され、データの受信を行いません。
- 「ｉモードブラウザ設定」の「画像表示設定」の設定を変更した場合は、ワンセグの「ユーザ設定」の「画像表示設定」も変更されます。

＜サウンド設定＞
- 効果音を鳴らす設定にしていても、Flash画像によっては効果音が鳴らない場合があります。

つづく

お知らせ

＜Script動作設定＞
- インターネットホームページによっては、「有効」に設定しないと正常に表示できない場合があります。
- 「有効」に設定してもJavascriptによっては動作しない場合があります。

＜ポインタ表示＞
- フルブラウザの場合、「表示しない」に設定するとFlash画像の操作ができません。

＜端末情報利用設定＞
- 利用できる情報は以下のとおりです。
  ･「時計設定」で設定した日付時刻
  ･電池残量
  ･「バイリンガル」で設定した言語
  ･電波の受信レベル
  ･「着信音量」の「電話」で設定した音量
  ･FOMA端末の機種や製造番号

フルブラウザ設定

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶フルブラウザ設定▶以下の操作を行う

項目	内容
表示モード設定	P.181参照
全画面表示設定	フルブラウザの画面表示を全画面で表示するかどうかを設定します。 ▶**全画面表示する･全画面表示しない**
拡大縮小設定	インターネットホームページの画面の表示サイズを設定します。サイト表示中の機能メニューでは、ウィンドウごとに拡大／縮小できます。 ▶**表示サイズを選択** ●PCレイアウトモードの場合、サイト表示中の機能メニューでは「表示領域選択」で表示領域を選択できます。
画像表示設定	P.197参照
サウンド設定	P.197参照
動画自動再生設定	P.208参照
ページ内動画取得設定	P.197参照
Script動作設定	P.197参照
ポインタ／スクロール設定	
ポインタ表示	P.197参照
速度設定	P.197参照
スクロール中のフォーカス表示	連続スクロール中にリンク先を反転表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する･表示しない**
端末情報利用設定	P.197参照
Cookie設定	P.200参照
Cookie削除	P.200参照
Referer設定	P.200参照
ウィンドウ自動起動設定	P.197参照
フルブラウザホーム設定	ホームURLを設定します。 ▶**URL欄を選択**▶**URLを入力**▶**OK**
フルブラウザ確認表示	フルブラウザを起動する際に、接続するかどうかの確認画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**項目を選択** **毎回表示**．．．．．フルブラウザを起動するたびに接続するかどうかの確認画面が表示されます。 **表示しない**．．．確認画面を表示しません。 ●「毎回表示」に設定していても、確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択すると「表示しない」に設定されます。
フルブラウザ利用設定	フルブラウザを利用するかどうかを設定します。 **利用する**．．．．．フルブラウザを利用します。 **利用しない**．．．フルブラウザの起動時に注意事項を表示します。注意事項を確認し、「利用する」を選んで「OK」を選択すると「利用する」に設定が変更され、フルブラウザを利用できます。

お知らせ

<フルブラウザ利用設定>
- 「利用する」に設定しているときに別のFOMAカードに差し替えると、「利用しない」に設定が変更されます。

共通設定

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶共通設定▶以下の操作を行う

証明書設定		P.201参照
セキュア通信サービス設定		
	ユーザ証明書操作	P.202参照
	センター接続先設定	P.203参照
接続先設定		P.199参照
ｉモードボタン設定		iαを押した際の動作を設定します。 ▶項目を選択 ｉMenu･検索接続 . . . . . . ｉMenuに接続します。 ｉモードメニュー表示 . . . ｉモードメニューを表示します。

お知らせ

<ｉモードボタン設定>
- 海外では設定に関わらず、ｉモードメニューが表示されます。

ｉモード設定確認

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶ｉモード設定確認▶項目を選択

ｉモードブラウザ設定 . . . ｉモードブラウザ設定の設定内容を確認します。
フルブラウザ設定. . . . . . .フルブラウザ設定の設定内容を確認します。
共通設定. . . . . .共通設定の設定内容を確認します。

ｉモードから接続先を変更する(ISP接続通信) MENU 8 1

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ｉモード(ドコモ)以外のサービスを受けるときに使う接続先(APN)の設定をします。
登録した接続先に変更したときはｉモードを利用できなくなります。

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶共通設定▶接続先設定▶<未登録>を選んで✉(編集)▶端末暗証番号を入力

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するにはiα(機能)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 以下の操作を行う

接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先番号を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。
接続先アドレス2	▶接続先アドレス2を入力 ●半角英数字で30文字まで入力できます。

3 ✉(完了)を押す

Cookieについて設定する

Cookieを利用すると、一度接続したインターネットホームページに効率よく接続できます。
Cookieとは、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数など、お客様に関する情報を一時的に保存しておく仕組みです。サーバからFOMA端末に書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。

- Cookieを送信した場合、インターネットホームページに訪れた日時、訪問回数などの情報がサイト側に送信されます。Cookieを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。ただし、インターネットホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieの設定を有効にしていないと正常に表示／利用できない場合があります。

Cookie設定

Cookieを有効にするかどうかを設定します。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie設定▶項目を選択

有効 . . . . .Cookieを常に有効にします。Cookieの送受信時に確認画面は表示されません。
毎回確認(送信時のみ) . . .Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの送信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(受信時のみ) . . .Cookieの送受信ともに有効にしますが、Cookieの受信のたびに確認画面が表示されます。
毎回確認(送受信時) . . . . .Cookieの送受信のたびに許可するかどうかの確認画面が表示されます。
無効 . . . . .Cookieを常に無効にします。

- 別のFOMAカードに差し替えると、「無効」に設定されます。別のFOMAカードのまま設定を変更すると、端末暗証番号の入力画面が表示される場合があります。

お知らせ

- 「送信時のみ」「受信時のみ」「送受信時」に設定すると、インターネットホームページによってはCookieを送受信(更新)するかどうかの確認画面が連続して表示される場合があります。

Cookieを削除する

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Cookie削除▶端末暗証番号を入力▶YES

Refererについて設定する

Refererとは、リンク元情報のことです。Refererを送信すると、自分がどのページから接続しているかの情報がサイトに送信されます。
Refererを送信したことで第三者にお客様の情報が知られても当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Referer設定

インターネットホームページ表示中にRefererを送信するかしないかの設定をします。i モード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶ｉモードブラウザ設定・フルブラウザ設定▶Referer設定▶有効・無効

有効 . . . Refererを送信します。
無効 . . . Refererを送信しません。

<SSL/TLS証明書設定>

SSL/TLS証明書を操作する

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定▶共通設定▶証明書設定▶証明書を選んで iα(機能)▶以下の操作を行う

証明書表示	証明書の所有者、発行元、有効期限、シリアル番号を表示します。 ●iα(機能)を押す代わりに●(選択)を押しても証明書を確認できます。
有効／無効設定	無効に設定され、「 」が「 」になります。 ●すでに無効に設定されている証明書を選択した場合は、有効に設定されます。 ●無効に設定すると、そのSSL/TLS証明書を持っているサイトは表示できなくなります。 ●「ドコモ証明書2」は無効に設定できません。

SSL/TLS通信で使用する証明書について

証明書 . . .認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時のFOMA端末内に保存されています。

ドコモ証明書

. . . . .FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード(緑色／白色)内に保存されています。

ユーザ証明書

. . . .「ｉモード設定」の「共通設定」内の「セキュア通信サービス設定」から「ユーザ証明書操作」を選択することにより、FirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード(緑色／白色)内に保存されます。

<ユーザ証明書操作>

FirstPassの設定を行う

ユーザ証明書は、お客様がFOMAサービスと契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトでご利用になれます。
FOMAカードに保存されているユーザ証明書が有効期限切れであったり、または必要なユーザ証明書がFOMAカードに保存されていないために、FirstPass対応サイトが表示できない場合、FirstPassセンターに更新申請を行い、そのユーザ証明書をダウンロードできます。

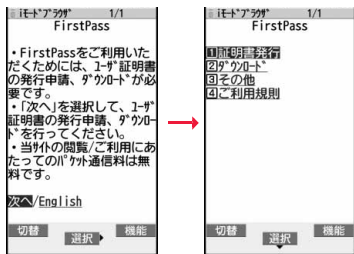
- FirstPassセンターへユーザ証明書の発行を要求し、ダウンロードができます。
- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPass対応サイトはフルブラウザでもご利用になれます。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- FirstPassセンターに接続する際は、あらかじめ「時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
- 海外ではご利用になれません。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証を受けることで、より安全に通信サービスを受けられます。
- クライアント認証は、FOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには付属のCD-ROMのFirstPass PCソフトが必要です。
  詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF形式)をご覧になるには、Adobe® Reader®(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
  ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」を参照してください。

FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターのサイトから行います。

1 MENU▶iモード▶iモード設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶ユーザ証明書操作▶次へ

FirstPassセンターのサイト画面

お知らせ

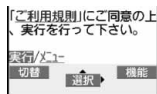
- FirstPassセンターを利用する前には、「ご利用規則」を選択し、ご利用規則をよくお読みください。
- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。

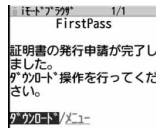
ユーザ証明書の発行を申請し、ダウンロードする

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードが完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトが表示できるようになります。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶証明書発行▶実行

- 更新の場合、「証明書の更新発行申請を行います。」と表示されます。

- ユーザ証明書の発行を申請済みの場合は、FirstPassセンターのサイト画面で「ダウンロード」を選択し、手順3へ進みます。

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.112参照。

3 ダウンロード▶実行

- すぐにユーザ証明書をダウンロードしない場合は、「メニュー」を選択します。SSL/TLSページを終了するかどうかの確認画面で「YES」を選択し、FirstPassセンターのサイト画面に戻ります。

お知らせ

- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードできません。

ユーザ証明書でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応サイトに接続します。

1 FirstPass対応サイトを表示▶項目を選択▶YES

2 PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.112参照。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態や、ユーザ証明書の有効期限が切れている状態でFirstPass対応サイトに接続しようとした場合、継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択すると元のページに戻りますので、FirstPassセンターのサイトでユーザ証明書をダウンロード／更新してから再度接続してください。
- FirstPass対応サイトへの接続に発生するパケット通信料はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルに含まれます。

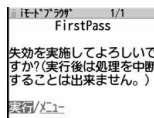
ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

1 FirstPassセンターのサイト画面▶その他▶証明書失効▶YES▶PIN2コードを入力

- PIN2コードは60秒以内に入力してください。60秒を超えるとエラーとなり接続が切断されます。
- PIN2コードについてはP.112参照。

2 実行▶次へ▶実行

iモードブラウザ 1/1
FirstPass
失効を実施してよろしいですか?(実行後は処理を中断することは出来ません。)
実行/メニュー

お知らせ

- 失効が完了したあとにFirstPassを利用する場合は、再度ユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る場合はP.201参照。

<センター接続先設定>

証明書発行接続先を変更する

※通常は、設定を変更する必要はありません。

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。

1 MENU▶iモード▶iモード設定▶共通設定▶セキュア通信サービス設定▶センター接続先設定▶<未登録>を選んで✉(編集)

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するにはiα(機能)を押して「削除」を選択し、端末暗証番号を入力して「YES」を選択します。

2 端末暗証番号を入力▶以下の操作を行う

初期画面URL	▶初期画面URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶接続先アドレスを入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。

3 ✉(完了)を押す

■FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものと見なされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSL/TLSのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

iモーション･ムービー／iチャネル／iコンシェル

iモーション・ムービー

iモーションは、映像や音声、音楽のデータで、iモーション対応サイトからFOMA端末に取り込み再生できます。また、iモーションを着信音に設定することもできます。
また、高速通信を利用して、インターネット上のポータル系サイトや動画専門サイトなどで提供されている様々なムービーを、滑らかに高画質で再生できます。
iモーション、ムービーには、それぞれ大きく分けて2つのタイプがあります。取得したiモーション、ムービーがどのタイプであるかは、サイトやデータにより異なります。
1件あたり10Mバイトまで取得できます。ただし、フルブラウザでストリーミングタイプのムービーを再生する場合は、容量の制限がありませんのでご注意ください。

- ムービープレーヤーはWindows Media® VideoやWindows Media® Audioの再生に対応しています。
- iモーション・ムービーのダウンロード、ストリーミング時には大容量データを受信する可能性があります。フルブラウザでの容量制限のないストリーミングタイプのムービーなど、送受信データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、「ご利用ガイドブック（iモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ iモーションのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったiモーションデータは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存したりできません。
標準タイプ（保存可）	iモーションのデータをすべて取得してから再生します。
	iモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、「データ取得後の再生」と同様に再生できます。

■ムービーのタイプ

種類	説明
ストリーミングタイプ（保存不可）	受信しながら同時に再生を行います。再生が終わったムービーデータは消去され、繰り返し再生したり、保存したりできません。
ダウンロードタイプ（保存可）	ムービーのデータをすべて取得してから再生します。
	受信しながら同時に再生を行います。ダウンロードが完了したあとに、microSDカードに保存することで通信せずに再生できます。1件あたり10Mバイトまでダウンロードできます。
	FOMA端末で取得したデータだけでなく、パソコンで取得したり、作成したムービーをmicroSDカードに保存して、映像を再生できます。1件あたりの容量は、microSDカードの容量内なら無制限に保存できます。

- ストリーミングタイプの配信サーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9に対応しています。Windows Media Services 4.1、Windows Media Services 9以外から配信されるストリーミングタイプのムービーの再生はできません。
  配信方式には、リアルタイムに配信されるライブ配信やあらかじめ用意されたムービーが配信されるオンデマンド配信があります。
- サイトによっては動作環境（ブラウザ種別、OS種別など）を確認する場合があり、ムービーの再生ができないことがあります。
- 対応するムービーのファイル形式についてはP.327参照。

<ｉモーション・ムービー取得>

サイトからｉモーション・ムービーを取得する

サイトからｉモーション・ムービーを取得して再生する

1 ｉモーション・ムービー取得可能なサイトでｉモーション・ムービーを選択

データの取得を開始します。

- ムービーの場合は再生するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- ストリーミングタイプのｉモーション・ムービーの場合は取得中にｉモーション・ムービーが再生されます。
  「動画自動再生設定」が「有効」に設定されていると、取得しながら再生できるｉモーションやダウンロードタイプのムービーの場合も、取得中にｉモーション・ムービーが再生されます。
- データをすべて取得してから再生できるｉモーションの場合は、「動画自動再生設定」が「有効」に設定されていると、取得したあとに自動的にｉモーションが再生されます。

2 データ取得完了の画面で「再生」を選択

再生中の操作についてはP.326参照。

- 「情報表示」を選択するとｉモーション・ムービーの情報が表示されます。（P.328「ｉモーション情報」P.329「コンテンツ情報」参照）
- 画面メモを保存したいときはP.189参照。

ライセンス（Windows Media DRM）について

- ライセンスにより保護されたムービーで再生できるのはストリーミングタイプのみです。ライセンスに保護されたダウンロードタイプのムービーは再生できません。
- ムービーのライセンス設定によってはムービーの再生ができない場合があります。
- ライセンスを取得してFOMA端末に保存する際、データがいっぱいのときはすでに保存されているライセンスを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとすでに保存されているライセンスをすべて削除して保存します。ライセンスを削除してしまったムービーを再生する場合は、再度ライセンスを取得する必要があります。

ｉモーションのダウンロードが中断したときは

[メール]（中止）を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。
「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると、部分保存可能なｉモーションの場合はデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ｉモーション」内の任意のフォルダを選択して保存します。
部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

- 部分保存したｉモーションのファイル名は「movie」となります。
- 部分保存したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、取得操作を行う際、部分保存されていたデータを削除できます。

ムービーの取得が中断したときは

取得中のムービーのタイプや中断理由によって、それぞれ動作が異なります。

ストリーミングタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後は一時停止状態となります。[●]（▶）を押すと、続きから再生を再開します。
[CLR]や[終話]を押して中断した場合は、再生前の画面に戻ります。

ダウンロードタイプの場合

着信やアラーム通知、通信の切断によって中断した場合、中断後にダウンロードが継続できないときはデータ取得完了の画面が表示されます。「再生」を選択すると取得したところまでの再生を行います。「保存」を選択すると取得したところまでのデータを保存します。（P.208「ｉモーション・ムービーを保存する」参照）「再DL」を選択すると続きから取得を再開します。
[CLR]や[終話]を押して中断した場合は、データを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。

- ダウンロードタイプの場合、音声電話着信、メールやメッセージR/Fの受信、アラーム通知があったときもダウンロードは継続されます。
- 接続するサイトおよびムービーによっては、[●]（▶）を押したり、「再DL」を選択したりしても、続きから再開できない場合があります。その場合、ファイルの先頭から取得を再開します。

つづく

お知らせ

- フルブラウザで取得する際のストリーミングタイプのムービーはサイズに上限がないため、容量に制限のないデータのやりとりが発生する場合がありますのでご注意ください。取得の際には再生するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続するサイトやｉモーション･ムービーによっては、データの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。また、ASF形式のｉモーションは取得できません。
- 再生できるｉモーションのファイル形式についてはP.327参照。
- 標準タイプのｉモーションの場合、データ取得中の再生を途中で停止しても、データの取得自体は継続されます。ダウンロードタイプのムービーの場合、データ取得中の再生を途中で停止するとデータ取得完了の画面が表示されます。
- 「動画自動再生設定」が「有効」に設定されていても、データ取得中に再生した場合は、取得したあとに自動再生はされません。
- 部分保存可能なｉモーションや部分保存ファイルから再取得したｉモーションの場合、取得中や取得しながら再生中、取得完了の画面を表示中は、他の機能を使用できません。
- 再生回数･再生期間･再生期限に制限があるｉモーションは、タイトルの先頭に「🕘」が表示されます。再生できる期間が制限されているｉモーション･ムービーは、期間前や期間後（ダウンロード中に期間後になった場合も含む）には再生できません。また、長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められているｉモーション･ムービーは再生できません。再生制限を確認するには「ｉモーション情報」、「コンテンツ情報」参照。
- 回線速度･回線状況･電波環境により、データ取得中の再生が途中で止まったり、画像が乱れたりする可能性があります。標準タイプのｉモーションやダウンロードタイプのムービーはデータ取得完了後に繰り返し再生できますが、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは再生できません。
- 電池残量が少ない状態でムービーを再生しようとした場合は、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉモーション･ムービーを保存する

取得したｉモーション･ムービーをFOMA端末、microSDカードに保存します。容量は他のデータと共通で、合わせて最大約250Mバイト保存できます。（P.504参照）

1 データ取得完了の画面▶保存▶YES ▶保存したいフォルダを選択

- ムービーを保存する場合やｉモーションをmicroSDカードに保存する場合の保存先についてはP.357参照。
- 保存しているｉモーション･ムービーがいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

- ｉモーション･ムービーによっては取得したデータを保存できない場合があります。
- 部分保存したｉモーション･ムービーをデータBOXから再生することはできません。

＜動画自動再生設定＞

ｉモーション･ムービーの自動再生を設定する

サイトから標準タイプのｉモーション、ダウンロードタイプのムービーを取得した場合や、標準タイプのｉモーション、ダウンロードタイプのムービーが登録されている画面メモを選択した場合に、ｉモーション･ムービーの自動再生を有効にするかどうかを設定します。ｉモード、フルブラウザそれぞれ設定できます。

1 MENU▶ｉモード▶ｉモード設定 ▶ｉモードブラウザ設定･フルブラウザ設定 ▶動画自動再生設定▶有効･無効

お知らせ

- 「無効」に設定していても、ストリーミングタイプのｉモーション･ムービーは自動再生されますので、ご注意ください。

ｉチャネル

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れます。また、ｉチャネル対応ボタンを押すことで最新情報がチャネル一覧画面に表示されます。(P.209参照)
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP(情報サービス提供者)が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。
お好きなチャネルを登録し利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」共に詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。
国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです(お申し込みにはｉモード契約が必要です)。
- ｉチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

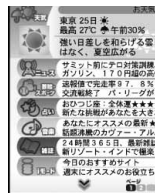
- ｉチャネル契約後、FOMA端末の電源が「OFF」または「圏外」など電波状況が良くないときは、情報を受信できない場合があります。その場合は、[〇]を押して表示される未契約者用のチャネルを選択することで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。また、お買い上げ時の状態のままでは情報を受信できない場合があります。その場合は、[〇]を押すことで情報を受信し、待受画面にテロップが流れます。
- ｉチャネルは海外では、ｉチャネル受信ごとに通信料がかかります。
- ｉチャネルサービス解約後などは、自動的にテロップが「OFF」に設定されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合は、テロップは「ON」に設定されたままになります。

ｉチャネルを使う

「テロップ表示設定」を「ON」に設定すると、最新のものから最大10件のテロップが待受画面に繰り返し流れます。詳しい情報を知りたいときはチャネル一覧画面から取得できます。

1 [〇]を押す

「テロップ表示設定」の設定に関わらず、チャネル一覧画面が表示されます。

- 情報を受信中は「⇕」が点滅します。
- チャネル一覧画面で iα(機能)を押すと、「サウンド設定」(P.197参照)と「リトライ」(P.186参照)の操作が行えます。

チャネル一覧画面

2 項目(リンク先)を選択

お知らせ

- 情報を受信しても、着信音・バイブレータは鳴動しません。また、着信／充電ランプも点灯／点滅しません。
- 以下の場合は、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、[〇]を押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。
  - ･FOMAカードを差し替えた場合
  - ･「接続先設定」を変更した場合
  - ･「ｉチャネル初期化」を行った場合
  - ･「設定リセット」を行った場合
  - ･「端末初期化」を行った場合

  ただし、「接続先設定」を変更すると、情報が自動更新されない場合があります。最新の情報を受信したい場合は、[〇]を押してチャネル一覧画面を表示してください。
- 「接続先設定」を変更した場合は、ｉチャネルの接続先も変更されます。(通常は、設定を変更する必要はありません。)
- 利用している状況により、チャネル一覧画面を表示したタイミングで情報を受信することがあります。
- 「文字サイズ設定」の「ｉモード」を変更しても、チャネル一覧画面の文字サイズは、すぐに変更されない場合があります。

テロップの表示を設定する

1 MENU▶ｉモード▶ｉチャネル▶以下の操作を行う

チャネル一覧	チャネル一覧画面を表示します。 P.209手順2へ進みます。
テロップ表示設定	待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
テロップ文字サイズ設定	テロップの文字サイズを設定します。 ▶特大表示・拡大表示・標準表示 ●✉(デモ)を押すと、テロップを確認できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。
テロップ色設定	テロップの背景色と文字色を設定します。 ▶パターンを選択 ●✉(デモ)を押すと、テロップを確認できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。
テロップ速度設定	テロップが流れる速度を設定します。 ▶速度を選択 ●✉(デモ)を押すと、テロップを確認できます。CLRを押すと元の画面に戻ります。
ｉチャネル初期化	テロップ情報を初期化し、「テロップ表示設定」を「ON」、プライベートウィンドウの「ｉチャネルテロップ表示」を「OFF」に設定します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

●「テロップ表示設定」「テロップ文字サイズ設定」「テロップ色設定」「テロップ速度設定」「ｉチャネル初期化」は2in1の各モードごとに設定や初期化ができます。ただし、ｉチャネルの情報は全モード共通で初期化されます。また、2in1がOFFのときはAモード中の設定と共通になります。

＜テロップ表示設定＞

●公共モード(ドライブモード)中、オールロック中は、テロップは表示されません。

お知らせ

＜ｉチャネル初期化＞

●初期化を行った場合、テロップは表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、Ⓞを押して最新の情報を受信すると、テロップも自動的に流れるようになります。

ｉコンシェル

「ｉコンシェル」とは、執事やコンシェルジュのように、お客さまの生活をサポートするサービスです。お客さまのさまざまなデータ(お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など)をお預かりし、生活エリアや趣味にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末に保存されているスケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加します。ｉコンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ(待受画面上のキャラクター)がお知らせします。

■ ｉコンシェルのご利用にあたって

● ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモードの契約が必要です)
●電話帳お預かりサービス(P.124参照)のご契約をされていないお客様が、ｉコンシェルを新たにご契約になる場合、同時に電話帳お預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
●インフォメーションにはドコモが提供する情報とIP(情報サービス提供者)が提供する情報の2種類があります。ドコモが提供するインフォメーションは、情報の受信時にパケット通信料はかかりません。IP(情報サービス提供者)が提供するインフォメーションは、情報の受信時に別途パケット通信料がかかります。
●詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
●国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧共にパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
●コンテンツ(インフォメーション、ｉスケジュールなど)によっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
● ｉスケジュール・トルカ・電話帳の自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
● ｉコンシェルの詳細については「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

インフォメーションを受信する

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。
インフォメーションが届くと画面の上部に「 」が表示されます。
受信したインフォメーションは、最大50件まで保存でき、古いインフォメーションから上書きされます。

1 インフォメーションを受信すると「 」が点滅し、待受画面に内容が表示される

- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合、待受画面には最新の1件が表示されます。
- 待受画面以外を表示中は、受信した旨のメッセージが表示されます。「確認」を選択するとインフォメーションの詳細を確認できます。

2 メッセージを選択する

インフォメーションの詳細が表示されます。

- 待受画面でを押すか、メッセージを選んでCLRまたはを押すとメッセージを消去できます。
- メッセージを選んで(切替)を押すとデスクトップアイコンの選択画面に切り替わります。(P.30参照)

iコンシェルを表示する

1 MENU▶iコンシェル▶インフォメーションを選択

- 未読のインフォメーションには未読マークが表示されます。
- インフォメーションには、スケジュールデータやトルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンクが記載されていることがあります。内容を確認するには未読マークの付いたインフォメーションを選択します。

iコンシェル画面

スケジュール／トルカを表示する

1 iコンシェル画面▶(MENU)▶項目を選択

スケジューラへ……カレンダー画面が表示されます。(P.380参照)
トルカへ……トルカフォルダ一覧画面が表示されます。(P.298参照)
コンテンツ一覧へ……iコンシェルに対応した各種コンテンツが表示されます。

ｉコンシェルの設定を行う

1 **ｉコンシェル画面▶✉(MENU)▶設定▶以下の操作を行う**

ｉコンシェルとは	ｉコンシェルについての説明を表示します。
インフォメーション受信設定	インフォメーションの受信内容などを設定します。
自動お預かり／更新設定	P.125参照
その他共通設定	プロフィールの変更や海外で利用するときの設定などを行います。
お預かりデータ確認	P.125参照
お預かりデータ更新	P.125参照
お預かり通信履歴	P.125参照
各種手続き(ｉコンシェル解約)	ｉコンシェルの解約などを行います。
ｉコンシェルご利用にあたって	ｉコンシェルの利用規約などを表示します。

インフォメーション表示設定

受信したインフォメーションを待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 **MENU▶設定／サービス▶ｉコンシェル▶インフォメーション表示設定▶する・しない**

カメラ

■著作権・肖像権
お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

撮影時の留意事項

・撮影前にレンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、柔らかい布できれいに拭いてください。レンズに指紋や油脂などの汚れが付いていると、フォーカスが合わなくなったり、撮影した静止画や動画に汚れが映ったりします。
・撮影時は、レンズに指、髪、ストラップなどがかからないように注意してください。
・撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかりと持ってください。動くと画像がぶれる原因となります。薄暗いところでは特にぶれやすいのでご注意ください。
・レンズを直射日光に向けて放置しないでください。素子の褪色・焼付きを起こすことがあります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、帯状の縞模様が上下または左右に流れて見える「フリッカー現象」が起こる場合があり、撮影のタイミングによっては、画像の色合いが変わることがあります。
・日光の反射光などの部分的に極端に輝度の高い部分が含まれる被写体を撮影すると、明るい部分の一部分が黒い斑点になることがありますが、故障ではありません。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
・●(撮影)などを押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差があります。そのため、速く動いている被写体を撮影すると、●(撮影)などを押したときに画面に表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
・microSDカードへ保存中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
・ファイル保存中に電源を切った場合など、不完全なファイルが保存されることがあります。
・本体またはmicroSDカードへ保存中に電池パックが抜かれた場合、不確定なデータとなります。
・microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。(P.344参照)

カメラの使用について

カメラを使って静止画や動画を撮影します。
撮影時にはフォーカス機能を使用できます。(P.221参照)また、手ブレ補正機能により、ぶれを少なくできます。(P.222参照)
撮影時の主な設定は、機能メニューからだけでなくボタンを操作することで簡単に変更できます。

カメラ

■撮影時の操作

アイコンメニュー操作	✉
撮影モード選択	✉（1秒以上）
機能メニュー呼出	ｉα
フォルダジャンプ	MENU
シャッター･保存	●、O
望遠	▶
広角	◀
フォーカス設定	▲
フォーカス機能	▼、＊
カメラモード切替※1	TV
アイコン表示※2	▲

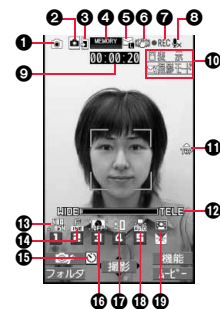
画像サイズ設定	1
画質設定	2
高感度撮影	3
明るさ調節	4
ホワイトバランス設定	5
撮影モード選択（「シーン」設定時）	6
セルフタイマー設定※2	7
保存先設定※3	9
カメラ終了（通常時） フォーカスロック解除（フォーカスロック時）	CLR
カメラ終了	⌒

※1 押すごとに「フォトモード」→「ムービーモード」→「連写モード」の順に切り替え
※2 押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
※3 押すごとに「本体」「microSD」を切り替え

お知らせ

- カメラ起動中は着信／充電ランプが点滅します。点滅は消せません。
- シャッター音の音量を変更したり消去することはできません。また、ダウンロードしたメロディをシャッター音に設定することもできません。
- 撮影画面で何もボタン操作を行わないと、約3分後にカメラが自動的に終了します。
- 暗い場所で撮影する場合は、「撮影モード選択」を「シーン」の「ナイトモード」に設定したり、「高感度撮影」を「ON」に設定してください。
- アイコンメニューで操作できるのは、「画像サイズ設定」「画質設定」「高感度撮影」「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「撮影モード選択」「フォーカス設定」です。

カメラの設定と撮影画面の見かた

撮影画面には、さまざまな設定がアイコンやバーで表示されています。

アイコン･バー名	アイコン	説明	参照先
❶撮影モード選択	📷	通常撮影	222
	SCN	シーン	
		ポートレート	
		スポーツ	
		料理	
		風景	
		ナイトモード	
		逆光	
		文字	
		雪	
		夕焼け	
		ペット	

つづく↳

カメラ

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
❷カメラモード		フォトモード	217
		ムービーモード	219
	・・	連写モード(オート・マニュアル・オートブラケット)	217
❸保存先設定		本体	223
		microSD	
❹記録可能枚数	–	静止画の残り撮影可能枚数 ●999枚まで表示されます。	–
使用メモリ量バー	MEMORY	ムービーモード時のメモリ使用状況(目安) ●メモリがいっぱいのときは赤色で表示されます。	–
❺動画容量設定		メール制限(小)	222
		メール制限(大)	
	LONG	長時間	
❻手ブレ補正		オート	222
❼撮影状態	●REC	動画撮影中	219
❽撮影種別設定		映像のみ録画	223
❾記録可能時間	–	動画の記録可能時間(目安)	–
❿ボタンガイダンス	–	ボタン操作を表示します。	–
⓫天地アイコン	TOP	撮影時の上下方向を示します。	–
⓬ズームバー	WIDE TELE	望遠・広角の状態	221

アイコン・バー名	アイコン	説明		参照先
⓭画像サイズ(フォト・連写モード)		フォト	3M(1536×2048)	222
			2Mワイド(1920×1080)	
			2M(1200×1600)	
			1M(960×1280)	
			待受(480×854)	
	・	連写	VGA(640×480)	
			QVGA(240×320)	
	・		QCIF(176×144)	
	・		Sub-QCIF(128×96)	
画像サイズ(ムービーモード)		VGA(640×480)		222
		HVGAワイド(640×352)		
		QVGA(320×240)		
		QCIF(176×144)		
		Sub-QCIF(128×96)		
⓮画質設定	NORMAL	ノーマル		222
	FINE	ファイン		
	S FINE	スーパーファイン		
⓯連続撮影枚数	1/4	連写モードのマニュアル時の撮影枚数		223
セルフタイマー設定		ON		225
⓰高感度撮影		ON		223
	OFF	OFF		
⓱明るさ調節	～	撮影画像の明るさ		222

カメラ

アイコン・バー名	アイコン	説明	参照先
⑱ホワイトバランス設定		オート	222
		晴天	
		曇天	
		電球	
		蛍光灯	
⑲フォーカス設定		顔認識	222
		オート	
		接写	
		風景	

＜静止画撮影＞

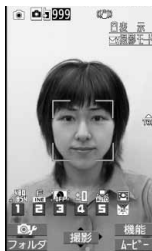
静止画を撮影する

●保存した静止画を再生するには、P.318参照。

静止画を撮影する

1 **[カメラ/TV]を押す**

●「[MENU]▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「フォトモード」を選択しても起動できます。

●カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。（P.30参照）

撮影画面

2 **[●]（撮影）または[○]を押す**

静止画を撮影します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

●「フォーカス設定」を「顔認識」または「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。

●「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 **[●]（保存）または[○]を押す**

撮影した静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

●保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。

●[CLR]を押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

連続撮影する

静止画を連続撮影します。撮影枚数やオート撮影時の撮影間隔を設定できます。（P.223参照）

1 **[カメラ/TV]▶[カメラ/TV]（ムービー）▶[カメラ/TV]（連写）**

●「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動したモードで起動します。連写モードを変更するには「連写設定」の「連写モード設定」参照。

撮影画面

つづく↳

2 ●(撮影)または○を押す

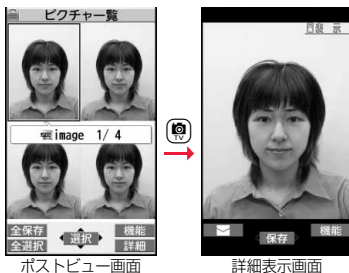
連続撮影を開始します。
「連写モード設定」を「マニュアル」に設定している場合は、撮影枚数分●(撮影)または○を押します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。

- 「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影されます。
- 撮影を途中で中止する場合はCLRを押します。「連写モード設定」を「オート」または「オートブラケット」モードで撮影している場合は、✉(中止)を押しても撮影を中止できます。また、FOMA端末を閉じても撮影を中止します。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合は、自動的に保存されます。

3 1枚だけ選択して保存する場合

静止画を選んで📷(詳細)▶●(保存)または○

- 詳細表示画面で○を押すと、前または次の静止画を表示します。

ポストビュー画面　詳細表示画面

複数の静止画を選択して保存する場合

保存したい静止画を選んで●(選択)または○▶✉(保存)▶保存

- 選択した静止画には「☑」が付きます。

すべての静止画を保存する場合

✉(全保存)▶保存

撮影した静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
- ポストビュー画面でCLRを押すと撮影した静止画を取り消して撮影画面に戻ります。

お知らせ

- 「画像サイズ設定」や「表示サイズ設定」により画質が粗くなることがあります。
- 撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 撮影中にメールを受信しても撮影動作は継続されます。未読メールアイコンは表示されますが、メール受信画面は表示されません。
- 撮影中にマルチタスクによりカメラ機能が終了した場合などは、未保存の静止画は削除されます。
- 撮影時に動くと画像がぶれる原因となりますので撮影の際はFOMA端末をしっかり固定してください。

フォトモードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面の機能メニュー

保存	P.217、P.218参照
iモードメール添付	撮影した静止画を保存し、iモードメールに添付します。P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
位置情報付加	▶項目を選択 **現在地確認から付加** . . . 現在地を測位して(P.306参照)位置情報を登録します。位置情報を確認し、●(確定)を押します。 **位置履歴から付加** . . . 位置履歴(P.310参照)から位置情報を選択して登録します。

カメラ

ピクチャ貼付	撮影した静止画を保存し、待受画面などに貼り付けて表示します。 P.319「ピクチャ貼付」へ進みます。 ●「保存先設定」を「microSD」に設定していても、本体に保存されます。
フレーム取替え	フレームを合成して撮影した静止画のフレームを取り替えます。 ▶**フレームを選択** ●Oを押すと、前または次のフレームを表示します。 ●フレームを選択し直す場合は✉(取消)を押します。 ▶●(確定) ●フレームの解除はできません。
保存先設定	P.223参照
表示サイズ設定	P.223参照
ファイル制限	P.225参照
アイコン表示	P.223参照
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<ｉモードメール添付>
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいときは、2Mバイト以下に変換します。この場合、変換前の静止画と変換後の静止画が本体の「マイピクチャ」内の「カメラ」フォルダに保存されます。

連写モードのポストビュー画面の機能メニュー

保存	P.218参照
全保存＆自作アニメ	撮影した全静止画を保存し、自作アニメとして登録します。 ▶**保存**▶**<未登録>**
保存先設定	P.223参照
ファイル制限	P.225参照
取り消し	撮影した静止画を保存しません。

お知らせ

<全保存＆自作アニメ>
- 「保存先設定」を「microSD」に設定しているときは、この機能は使用できません。
- 1枚だけ撮影した場合は、この機能は使用できません。

<動画撮影>
動画を撮影する

- 保存した動画を再生するには、P.326参照。

1 **📷▶📷(ムービー)**

- 「MENU▶LifeKit▶カメラ」の操作を行うとカメラメニューが表示されます。カメラメニューから「ムービーモード」を選択しても起動できます。
- カメラメニューをデスクトップに貼り付けておくこともできます。(P.30参照)

撮影画面

2 **●(撮影)またはOを押す**

録画を開始します。
- 「フォーカス設定」を「オート」にしていると、フォーカス動作後に撮影が始まります。撮影中は「フォーカス設定」に関わらず、自動的に被写体にフォーカスを合わせます。

3 **●(終了)またはOを押す**

録画を終了します。確認のためのポストビュー画面が表示されます。
- 録画中に電話がかかってきた場合、電池切れアラームが鳴った場合、FOMA端末を閉じた場合は、自動的に録画が終了します。
- 「自動保存設定」を「ON」に設定している場合や「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は、自動的に保存されます。

つづく

4 ●(保存)または○を押す

撮影した動画が本体の「ｉモーション」内の「カメラ」フォルダまたはmicroSDカードに保存されます。

- 保存先を選択するには「保存先設定」、「保存先フォルダ選択」参照。
- CLRを押すと撮影した動画を取り消して撮影画面に戻ります。

ポストビュー画面

撮影中に録画が終了したり画質が悪くなったときは

データの保存や削除を繰り返しているmicroSDカードを使用していると、データの書き込み速度が遅くなり、途中で録画が終了したり画質が悪くなったりすることがあります。
以下の操作を行うと改善される場合があります。

1.microSDカード内のすべてのデータを、そのままパソコンにコピーする。

- パソコンの設定で、隠しフォルダや隠しファイルが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- パソコン上にコピーしたデータのフォルダ名やファイル名は変更しないでください。

2.パソコンでmicroSDカード内のすべてのデータを削除する。

- フォーマットしないでください。データが再生できなくなる場合があります。

3.手順1でコピーしておいたデータを、microSDカードにコピーして戻す。

- 必ず同じmicroSDカードにコピーして戻してください。他のmicroSDカードに保存しても、著作権のあるデータは再生できません。

お知らせ

- 撮影開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず「シャッター音選択」で選択した音が鳴ります。シャッター音の音量は変更できません。
- 録画中・録音中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合があります。
- 録画中は着信／充電ランプが点滅します。
- 撮影中、遠近の差のあるものに被写体を変えると、ピントが合うまでに時間がかかります。

お知らせ

- 被写体によりピントが合いにくい場合は、被写体を変えるとピントが合う場合があります。
- 暗いところではフォーカスを合わせる動作は遅くなります。

ムービーモードのポストビュー画面の機能メニュー

機能	説明
再生	P.326参照
保存	P.220参照
ｉモードメール添付	撮影した動画を保存し、ｉモードメールに添付します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもｉモードメールを作成できます。
待受画面設定	撮影した動画を保存し、待受画面に設定します。
保存先設定	P.223参照
表示サイズ設定	P.223参照
ファイル制限	P.225参照
アイコン表示	P.223参照
取り消し	撮影した動画を保存しません。

お知らせ

<待受画面設定>

- 動画によっては、正しく表示されない場合があります。
- 待受画面に設定した動画の再生についてはP.99参照。

撮影時の設定を変える

撮影時にカメラの設定をします。

ズームを使う

カメラで写している映像を広角(WIDE)・望遠(TELE)で表示します。
各サイズにおける最大倍率は、以下のとおりです。

カメラモード	サイズ	ズーム段階	最大倍率
フォト	3M(1536×2048)	1段階	約1.0倍
	2Mワイド(1920×1080)	1段階	約1.0倍
	2M(1200×1600)	6段階	約1.2倍
	1M(960×1280)	11段階	約1.6倍
	待受(480×854)	6段階	約1.2倍
	VGA(640×480)	11段階	約1.6倍
	QVGA(240×320)	21段階	約3.2倍
	QCIF(176×144)	31段階	約5.3倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約8.0倍
連写	VGA(480×640)	11段階	約1.6倍
	QVGA(240×320)	21段階	約3.2倍
	QCIF(144×176)	31段階	約5.3倍
	Sub-QCIF(96×128)	31段階	約8.0倍
ムービー	VGA(640×480)	11段階	約1.6倍
	HVGAワイド(640×352)	11段階	約1.6倍
	QVGA(320×240)	21段階	約2.4倍
	QCIF(176×144)	31段階	約4.4倍
	Sub-QCIF(128×96)	31段階	約6.0倍

1 撮影画面▶ でズーム倍率を調節

お知らせ

- 広角･望遠にすると画質は多少変化することがあります。

お知らせ

- 以下の場合、望遠は解除されます。
  ･ を押してカメラを終了したとき
  ･サイズを変更したとき
  ･カメラモードを切り替えたとき

フォーカス機能を使う

撮影時にフォーカスを合わせます。

- 「フォーカス設定」を「顔認識」に設定している場合は、はじめに人物の顔を検出します。顔を検出すると黄色の枠が表示されます。最大3人までの顔を検出し、顔の大きさや位置に合わせて自動的にその中の1人にフォーカスを合わせて撮影します。複数の人物の顔がある場合は、フォーカスを合わせる顔の枠が黄色になります。検出に失敗した場合は、「オート」でフォーカスを合わせます。
- フォーカス機能は約10cm以上の距離でフォーカスが合います。

**1 撮影画面▶ または **

フォーカスが合うとロック音が鳴って枠が緑色になり、フォーカスがロックされます。
フォーカスが合わなかった場合は枠が赤色になります。

- や を押してロックしたフォーカスを解除する場合は を押します。

お知らせ

- ムービーモード時に「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定している場合は、フォーカス機能は使用できません。
- 「顔認識」はフォトモード時のみ設定できます。
- 「顔認識」に設定していても、以下の場合は顔を検出できないことがあります。
  ･顔が横や斜めを向いている場合
  ･顔が傾いている場合
  ･眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている場合
  ･顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い場合
  ･顔が画面の端にある場合
- 「顔認識」で顔を検出できる距離は約2.5m以内です。

画像サイズや画質などを設定する

撮影画面の機能メニュー

項目	説明
カメラモード切替	**▶モードを選択** ●「連写モード」に設定した場合は、「オート」「マニュアル」「オートブラケット」のうち、前回起動していたモードで起動します。
フォルダジャンプ ［フォト･連写モード］	カメラの保存先のフォルダ内を表示します。
撮影モード選択	撮影する際に、場面に適した撮影モードを設定します。設定を変更すると、「撮影設定」の「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」が選択したモードに合わせて変更されます。 **▶撮影モードを選択** **通常撮影**‥‥通常のモードで撮影します。 **シーン**‥‥‥選択する場面に合わせて撮影モードを選択します。
画像サイズ設定	**▶画像サイズを選択**
動画容量設定 ［ムービーモードのみ］	**▶項目を選択** **メール制限(小)**‥‥500Kバイトまで撮影できます。 **メール制限(大)**‥‥2Mバイトまで撮影できます。 **長時間**‥‥‥‥‥‥長時間撮影できます。microSDカードに保存します。
画質設定	保存する際の画質を設定します。 **▶画質を選択** **ノーマル**‥‥‥‥‥標準の画質で撮影します。 **ファイン**‥‥‥‥‥やや高画質で撮影します。 **スーパーファイン**‥‥高画質で撮影します。
撮影設定	
明るさ調節 カメラ起動時 ±0	−3(暗い)〜+3(明るい)で調節します。 **▶明るさを選択**
ホワイトバランス設定 カメラ起動時 オート	カメラで写している映像の発色を調整して、自然な色合いに設定します。 **▶項目を選択** **オート**‥‥ホワイトバランスを自動調整するとき **晴天**‥‥‥屋外晴天下で撮影するとき **曇天**‥‥‥曇天や日陰で撮影するとき **電球**‥‥‥電球照明下で撮影するとき **蛍光灯**‥‥蛍光灯照明下で撮影するとき
色調切替 カメラ起動時 通常	**▶色調を選択** **通常**‥‥‥‥‥‥標準の色調で撮影します。 **セピア**‥‥‥‥‥セピア調で撮影します。 **白黒**‥‥‥‥‥‥白黒調で撮影します。 **ヴィヴィッド**‥‥輪郭をくっきりさせて彩度を上げて撮影します。 **ナチュラル**‥‥‥輪郭をなめらかにさせて彩度を下げて撮影します。 **美白**‥‥‥‥‥‥顔を明るめに撮影します。 **日焼け**‥‥‥‥‥顔の色合いを濃くして撮影します。
フォーカス設定 カメラ起動時 フォトモード:顔認識 連写･ムービーモード:オート	フォーカスを設定します。 **▶項目を選択** **顔認識**‥‥人物の顔にフォーカスを合わせます。 **オート**‥‥撮影前に自動的にフォーカスを合わせます。(P.221参照) **接写**‥‥‥近くの物にフォーカスを合わせます。 **風景**‥‥‥遠い風景にフォーカスを合わせます。 ●「顔認識」はフォトモード時のみ設定できます。
手ブレ補正 ［フォトモードのみ］	撮影するときの手ブレを補正します。 **▶オート･OFF**
フレーム撮影 カメラ起動時 OFF ［フォトモードのみ］	フレームを合成して撮影します。 **▶ON･OFF▶フレームを選択**

	シャッター音選択	シャッター音を設定します。フォトモード時(連写モード時)とムービーモード時それぞれ個別のシャッター音が設定できます。 ▶**シャッター音を選択** ●選択中は、確認のためシャッター音が鳴ります。
	ちらつき補正設定	撮影時の撮影画面のちらつきを抑制します。 ▶**自動・モード1(50Hz地域)・モード2(60Hz地域)**
保存設定		
	保存先設定	撮影した静止画や動画の保存先を設定します。 ▶**本体・microSD**
	自動保存設定	撮影後、自動的に保存するかどうかを設定します。「保存先設定」が「本体」のときは「カメラ」フォルダ内、「保存先設定」が「microSD」のときは「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶**ON・OFF**
	ファイル制限	P.225参照
高感度撮影 カメラ起動時 OFF [フォトモードのみ]		高感度で撮影します。 ▶**ON・OFF**
セルフタイマー設定		P.225参照
連写設定		
	連写モード設定 [連写モードのみ]	▶**モードを選択** **オート** . . .「撮影間隔」、「撮影枚数」で設定した間隔、枚数を自動で撮影します。 **マニュアル** . . .「撮影枚数」で設定した枚数を1枚ずつ手動で撮影します。 **オートブラケット** . . .約0.3秒間隔で9枚の静止画を1枚ずつ明るさや色調を変えて自動で撮影します。 ●「マニュアル」に設定すると連続撮影枚数が表示されます。
	撮影間隔 [連写モードのみ]	▶**撮影間隔を選択** ●連写モードのオート時のみ設定できます。
	撮影枚数 [連写モードのみ]	▶**撮影枚数(枚)を入力** ●「画像サイズ設定」が「VGA(480×640)」に設定されている場合、「撮影枚数」は変更できません。 ●連写モードのオート・マニュアル時のみ設定できます。
撮影種別設定 カメラ起動時 通常 [ムービーモードのみ]		動画撮影時に映像と音声の両方、またはどちらか一方のみを記録するように設定します。 ▶**通常・映像のみ・音声のみ**
表示サイズ設定		撮影画面で静止画・動画を本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示・画面サイズで表示**
共通再生モード [ムービーモードのみ]		iモードメールの添付に適した撮影サイズに設定します。 ▶**YES** ●画像サイズ設定が「QCIF」、動画容量設定が「メール制限(小)」、画質設定(ムービーモード)が「ノーマル」に設定されます。
アイコン表示		アイコンを表示するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF**
保存容量確認		保存容量(目安)/件数を表示します。

つづく↪

お知らせ

＜撮影モード選択＞

- 「明るさ調節」「ホワイトバランス設定」「色調切替」「フォーカス設定」の設定を変更しても、「撮影モード選択」を変更すると、それぞれの設定は、各撮影モードに適した設定になります。
- ナイトモード時は露光が長くなり画像がぶれやすくなるので、ご注意ください。

＜動画容量設定＞

- 「長時間」に設定した場合、「保存先設定」が「microSD」に設定されます。その後、カメラを終了せずに「動画容量設定」を「長時間」以外に切り替えると、「保存先設定」は「本体」に戻ります。

＜手ブレ補正＞

- 手ブレ補正機能はあくまでも手ブレを軽減するものであり、効果は被写体や条件によって異なります。
- 以下のような場合は、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  ･手ブレが大きいとき　　･ズームを使っているとき
  ･動きのある被写体を撮影しているとき
- 「撮影モード選択」を「シーン」の「スポーツ」･「ナイトモード」･「ペット」に設定した場合は、「手ブレ補正」は無効になります。
- 被写体が動いていて、被写体の動いている箇所に残像が残る場合や、全体にノイズ感が出る場合があります。このような場合は、「OFF」に設定してください。

＜フレーム撮影＞

- 「画像サイズ設定」を「1M(960×1280)」以上に設定している場合はフレームを合成できません。

＜ちらつき補正設定＞

- 「自動」に設定した場合、自動調整に時間がかかることがあります。その場合、撮影場所の電源周波数に合わせてモード1･モード2に切り替えてください。

お知らせ

＜保存設定＞

- microSDカード内の保存先を設定するには「保存先フォルダ選択」参照。
- 「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「保存先設定」は「microSD」に設定され、「保存設定」は操作できません。
- 「自動保存設定」が「ON」の場合、「保存先フォルダ選択」が設定されていない場合や設定されたフォルダが削除された場合は、最新のフォルダに保存されます。

＜高感度撮影＞

- 「ON」に設定している場合、「画像サイズ設定」を「待受(480×854)」以上には設定できません。
- 「画像サイズ設定」を「待受(480×854)」以上に設定している場合に「高感度撮影」を「ON」に設定すると、「画像サイズ設定」は「VGA(640×480)」に変更されます。その後、カメラを終了せずに「画像サイズ設定」を変更することなく「高感度撮影」を「OFF」に切り替えると、「高感度撮影」を「ON」に設定する前の画像サイズに戻ります。

＜撮影枚数＞

- 画像サイズによって設定できる枚数は異なります。設定できる枚数については以下のとおりです。
  VGA(480×640)　　:4枚
  QVGA(240×320)　:5枚～10枚
  QCIF(144×176)　 :5枚～20枚
  Sub-QCIF(96×128) :5枚～20枚

＜表示サイズ設定＞

- 「画像サイズ設定」を「HVGAワイド(640×352)」以上に設定している場合は、常に「画面サイズで表示」になります。
- 「画像サイズ設定」を「QCIF(176×144)」、「Sub-QCIF(128×96)」に設定している場合、「等倍表示」では縦横2倍のサイズで表示されます。
- 撮影画面での設定はポストビュー画面にも反映されますが、ポストビュー画面での設定は撮影画面には反映されません。

＜共通再生モード＞

- 「動画容量設定」を「長時間」に設定している場合は操作できません。

ファイル制限

撮影中の静止画や動画を保存したときのファイル制限を設定します。一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。

1 **撮影画面▶[iα](機能)▶保存設定▶ファイル制限**
または
フォトモード、ムービーモード、連写モードのポストビュー画面・連写モードの詳細表示画面▶[iα](機能)▶ファイル制限

2 **なし・あり**

●連写モードのポストビュー画面の場合、チェックを入れた画像に対してファイル制限の設定を変更できます。

お知らせ

●「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。
●保存後もP.320「ファイル制限」で設定を変更できます。
●ムービーモード時に「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合は、「ファイル制限」は「なし」になります。

セルフタイマー設定

カメラ起動時	OFF

1 **撮影画面▶[iα](機能)▶セルフタイマー設定▶ON・OFF▶作動時間(秒)を入力**

●「01」〜「15」の2桁を入力します。

セルフタイマー設定を「ON」に設定したときは

撮影画面に「[⏲]」が表示されます。
[●](撮影)または[O]を押すと確認音が鳴り、「[⏲]」が点滅します。撮影の約5秒前までは約1秒ごとに着信／充電ランプが点滅します。撮影の約5秒前からは約0.5秒ごとに着信／充電ランプが点滅し、約1秒ごとに確認音が鳴ります。設定している作動時間の経過後に撮影されます。
●撮影を中止する場合は、着信／充電ランプが点滅中に[✉](中止)または[CLR]を押します。撮影を中止しても「セルフタイマー設定」は「ON」のままです。
●セルフタイマー作動中に[●](撮影)または[O]を押すとすぐに撮影できます。
●撮影時にはマナーモードなどの設定に関わらず確認音が鳴ります。確認音の音量は変更できません。

お知らせ

●連写モードのマニュアル時はセルフタイマーで撮影できません。
●撮影が終了するとセルフタイマーは「OFF」になります。

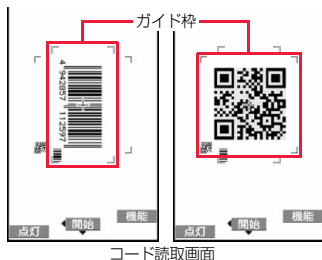
<バーコードリーダー>

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコードやQRコードを読み取り、データとして登録できます。また、CODE128は、対応しているｉアプリをダウンロードして、コードを読み取ると、データが登録できます。(P.273参照)
データを使って電話をかけたり、ｉモードメールの作成、インターネット接続などができます。

■バーコードリーダーで読み取りを行うときは

- できるだけコードがガイド枠内に大きく写るようにします。
- オートフォーカスは約10cm以上の距離でフォーカスが合います。フォーカスが外れた状態で読み取りを行った場合は、認識率が低下します。
- コードに対してカメラが平行になるようにして読み取ってください。

コード読取画面

■JANコードとは

幅の異なる縦の線(バー)で数字を表現しているバーコードです。
読み取れるのは8桁(JAN8)または13桁(JAN13)のJANコードです。

- FOMA端末で読み取ると「4942857112597」と表示されます。

■QRコードとは

縦・横方向でデータを表現している二次元コードの1つです。
読み取ると、漢字・カナ・英数字・絵文字が表示されます。画像やメロディ情報を持つQRコードもあります。

- FOMA端末で読み取ると「株式会社NTTドコモ」と表示されます。

■CODE128とは

幅の異なる縦の線(バー)で、アスキーコード128文字(数字、アルファベット、記号など)を表現しているバーコードです。

- 対応しているｉアプリをダウンロードして読み取ると「NTT DOCOMO」と表示されます。

コード読み取り

バーコードリーダー起動時	明るさ：±0 ズーム：拡大

読み取ったデータは5件まで登録できます。
最大で16個まで分割されたQRコードを読み取れます。

1 MENU▶LifeKit▶バーコードリーダー▶コード読み取り

- バーコードリーダー機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.30、P.386参照)

2 読み取りたいコードをガイド枠に合わせて□を押す

フォーカスが合うとロック音が鳴り、十字マークが緑色になります。

- (機能)を押して「明るさ調節」を選択すると、明るさを－3(暗い)～＋3(明るい)で調節できます。
- ○を押すと縮小表示され、○を押すと元の表示に戻ります。

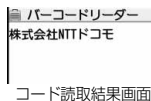
3 ●(開始)を押す

コードが読み取られます。(シャッター音は鳴りません。)

- 読み取りを中止する場合はCLRまたは●(中止)を押します。
- 読み取りが完了すると読み取り完了音が鳴り、着信/充電ランプが点灯します。音量は固定されており変更できません。ただし、マナーモードや「着信音量」の「電話」が「消去」に設定中は音が鳴りません。
- メロディのデータは「♪」、対応していないデータや破損しているデータは「☒」や「◪」で表示されます。
- 文字入力(編集)中の場合はコード読取結果画面は表示されず、読み取ったコードの文字データ確認画面が表示されます。読み取った文字を入力する場合は●(確定)を押します。破棄する場合は✉(取消)またはCLRを押します。表示できない文字は半角スペースに置き換えて表示されます。また、文字データのないコードを読み取った場合、正しく表示されません。
- 読み取り中に一定の時間が経過しても読み取れない場合は、読み取りが中断され、コード読取画面に戻ります。
- 読み取ったコードが分割されたQRコードの一部の場合、「OK」を選択して手順2～手順3を繰り返して残りのデータを読み取ります。

4 iα(機能)▶認識結果保存▶OK

読み取ったデータが登録されます。

バーコードリーダー
株式会社NTTドコモ

コード読取結果画面

お知らせ

- JANコード、QRコード、CODE128以外のバーコード･二次元コードは読み取れません。
- 読み取りに時間がかかる場合があります。読み取り中は、FOMA端末が揺れたりしないようにしっかり持って操作してください。
- 傷、汚れ、破損、印刷物の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては、正しく読み取りできない場合があります。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。

コード読取結果画面の機能メニュー

機能	説明
認識結果保存	P.227参照
一覧表示	登録データが1件以上ある場合に、バーコードリーダー一覧画面を表示します。
Internet	選択中のURLにｉモードまたはフルブラウザで接続します。 ▶ｉモードブラウザ･フルブラウザ▶YES ●URLを選んで●(選択)を押しても接続できます。
ｉモードメール作成	選択中のメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成します。P.130手順3へ進みます。 ●メールアドレスを選んで●(選択)を押してもｉモードメールを作成できます。 ●コード読取結果画面で「メール作成」を選択すると、新規メールの宛先、題名、本文にコード読取結果画面のデータが入力されます。
電話発信	選択中の電話番号に音声電話発信、テレビ電話発信します。 ▶発信方法を選択 ●「テレビ電話画像選択」を選択した場合はテレビ電話中に相手に送信する画像を選択します。 ●「SMS作成」を選択すると電話番号を宛先としたSMSを作成します。P.174手順3へ進みます。 ●電話番号を選んで●(選択)を押しても発信できます。 ▶発信 ●国際電話をかける場合は「国際ダイヤルアシスト」を選択します。(P.58参照) ●発信者番号通知を設定する場合は「発番号設定」を選択します。(P.56手順2参照)
電話帳登録	P.82参照
Bookmark登録	サイト名とURLをブックマークに登録します。 ▶YES ●「ページタイトル」を選択するとタイトルを編集できます。 ▶OK▶登録したいフォルダを選択

つづく

画像保存	読み取った画像データを保存して、待受画面などに設定します。 ▶**保存したいフォルダを選択** P.192手順3へ進みます。 ●保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。
メロディ保存	読み取ったメロディデータを保存して、着信音などに設定します。 ▶**YES**▶**保存したいフォルダを選択** P.193手順3へ進みます。 ●「♪」を選択するとメロディが再生されます。 ●保存しているメロディがいっぱいのときはP.194参照。
トルカ保存	読み取ったトルカデータを保存します。 ▶**保存したいフォルダを選択** ●「 」を選択するとトルカが表示されます。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.194参照。
ｉアプリ起動	読み取ったデータからｉアプリを起動します。 ▶YES
コピー	▶**コピーする始点を選択**▶**コピーする終点を選択** ●全角5000文字/半角10000文字までコピーできます。 ●コピーした文字を貼り付けるにはP.410参照。

お知らせ

＜Internet＞

●URLは半角512文字まで表示されます。

＜ｉモードメール作成＞

●入力できない文字が含まれていた場合、宛先は入力されません。また、本文は文字がスペースになることがあります。

＜電話発信＞

●「110」「119」「118」を読み取っても緊急通報することはできません。

＜Bookmark登録＞

●URLは半角512文字まで表示され、先頭から256文字のみ登録できます。

＜画像保存＞

●保存された画像のファイル名、タイトル名は「imageXXX」(XXXは数字)となります。

お知らせ

＜メロディ保存＞

●保存されたメロディのファイル名は「melodyXXX」(XXXは数字)となります。

●タイトルが付けられていないメロディはファイル名がタイトルになります。

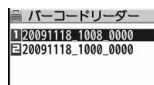
●メロディを再生する際、「着信音量」の「電話」で設定した音量で再生されます。

保存データ一覧を表示する

1 **MENU▶LifeKit▶バーコードリーダー▶保存データ一覧**

登録済みのデータのタイトルが登録時の新しいものから順に表示されます。

●タイトルを選択すると、コード読取結果画面が表示されます。

バーコードリーダー
1 20091118_1008_0000
2 20091118_1000_0000

バーコードリーダー一覧画面

お知らせ

●読み取ったデータのタイトルは以下のようになります。
(例)2009年11月18日10時00分に保存した場合
タイトル名:20091118_1000_0000
･同じ日時で複数保存した場合は下4桁の数字が「9999」まで順に増えます。

バーコードリーダー一覧画面の機能メニュー

タイトル編集		▶**タイトルを入力** 全角9文字/半角18文字まで入力できます。
結果表示		登録されているデータのコード読取結果画面が表示されます。
削除		
	1件削除	▶YES
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

カメラ

ワンセグ

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像･音声と共にデータ放送を受信することができます。また、iモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
パソコン:http://www.dpa.or.jp/
iモード:http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像･音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。また、「iモードサイト」などへ接続する場合もあります。
  なお、サイトへ接続する場合は、別途iモードのご契約が必要です。
- 「データ放送サイト」「iモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの(iモード有料サイト)があります。
- ワンセグの視聴中に自動的にトルカを保存する場合があります。保存したトルカから詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

■電波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
･放送波が送信される電波塔から離れている場所
･山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
･トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

■初めてワンセグを利用する場合の画面表示について

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。
[●](OK)を押したあとに表示される確認画面で「NO」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

- 別のFOMAカードに差し替えたときやFOMAカードを取り外したときも免責事項の確認画面が表示されます。

■放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者(放送局)の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。
保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者(放送局)へ送信される場合があります。

- 放送用保存領域の情報を消去するにはP.248参照。
  別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り外した場合は、放送用保存領域を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「NO」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示について

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？　同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。
「YES」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

ワンセグをご利用になる前に

ワンセグの視聴手順

<例>はじめてワンセグを視聴するとき

ステップ

1 チャンネル設定

ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを登録します。(P.231参照)

ステップ

2 ワンセグの起動

ワンセグを起動します。(P.233参照)

■電池残量について

電池残量が少ないときにワンセグを利用しようとしたり、視聴予約でワンセグが自動的に起動しようとすると、電池残量警告音が鳴り、起動するかどうかの確認画面が表示されます。また、視聴中や録画中に電池残量が少なくなると、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。

- 確認画面で約1分間何も操作をしないと、自動的にワンセグが終了します。
- 「電池少量時録画設定」を「録画を継続する」に設定しておくと、録画中は確認画面が表示されません。(P.247参照)
- 録画中に電池残量が少なくなり録画が終了した場合、それまで録画したビデオは自動的に保存されます。
- マルチタスク中は、電池残量警告音は鳴りますが、確認画面は表示されません。視聴画面に切り替えて操作してください。

■視聴中や録画中に着信などがあったときは

視聴中や録画中に以下の動作が発生した場合は、映像と音声は中断し、各機能が動作します。録画は中断されません。
各機能終了後は視聴を再開できます。iモードメール、SMS、メッセージR/F受信についてはP.237参照。

- 音声電話、テレビ電話着信
  (着信時に録画を開始するには「視聴中着信録画設定」参照。)
- アラーム、スケジュール、ToDo、視聴予約の通知
  (「アラーム通知設定」が「通知優先」のとき)
- 録画予約の通知
  (開始日時になったときは「録画動作設定」の設定に従って動作します。)

お知らせ

- 「USBモード設定」を「microSDモード」または「MTPモード」に設定してパソコンと接続しているときは、ワンセグを利用できません。
- 通話中にFOMA端末を閉じて通話を終了すると、自動的にワンセグ視聴を開始する場合があります。その際、ワンセグ用の音量でワンセグの音声が鳴りますので耳元でご使用の際はご注意ください。
- 充電しながらワンセグの視聴を長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 海外では、ワンセグは利用できません。

■お願い

FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報(静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など)は移し替えできません。

<チャンネル設定>

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、あらかじめチャンネル設定を行い、チャンネルリストを選択しておく必要があります。チャンネルリストは10件まで登録できます。

- 受信できる放送局は地域によって異なります。旅行先や出張先などの地域別にチャンネルリストを登録しておくと、チャンネルリストを選択するだけでその地域の放送局を視聴できます。
- 各放送局には、選局のときに利用するリモコン番号があらかじめ設定されています。
- ワンセグの録画中はチャンネル設定できません。

自動チャンネル設定

現在その地域で受信できる放送局を自動で検索し、チャンネルリストに登録します。

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で設定してください。

1 MENU▶ワンセグ▶チャンネル設定▶自動チャンネル設定▶YES

検索を開始します。

- チャンネルリスト一覧画面ではiα(機能)を押して「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。
  視聴画面ではiα(機能)を押して「チャンネル表示/操作」→「チャンネル設定」→「自動チャンネル設定」を選択します。

つづく

2 **YES▶タイトルを入力**

●全角11文字/半角22文字まで入力できます。
●タイトルを入力せずに●(確定)を押した場合、タイトル名は「YYYY/MM/DD hh:mm」となります。(Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
●検索を途中で中止する場合は✉(中止)またはCLRを押して「YES」を選択します。検索された放送局は、チャンネルリストに登録できます。

お知らせ

●リモコン番号が同じ放送局が複数見つかったときは、リモコン番号が重複した旨のメッセージが表示されます。「OK」を選択し、地域の選択画面でお使いの地域を選択してください。選択した地域の放送局がリモコン番号1～12に優先的に割り当てられ、選択しなかった地域の放送局はリモコン番号13以降に割り当てられます。
●チャンネルの検索には約30～50秒かかります。ただし、放送局の数や放送電波の状態によってかかる時間は異なり、100秒を超える場合もあります。

地域選択

都道府県ごとに設定されている放送局をチャンネルリストに登録します。

1 **MENU▶ワンセグ▶チャンネル設定▶地域選択▶地域を選択▶都道府県を選択▶YES**

●チャンネルリスト一覧画面ではiα(機能)を押して「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。
視聴画面ではiα(機能)を押して「チャンネル表示／操作」→「チャンネル設定」→「地域選択」を選択します。

お知らせ

●地域によっては「地域選択」では放送局が正しく登録できないことがあります。その場合は、「自動チャンネル設定」で放送局を検索してください。

チャンネルリスト選択

チャンネルリストを選択して、受信する放送局を設定します。また、登録済みのチャンネルリストを編集できます。

1 **MENU▶ワンセグ▶チャンネルリスト選択▶チャンネルリストを選択**

受信するチャンネルリストが設定され、詳細画面が表示されます。

リモコン番号

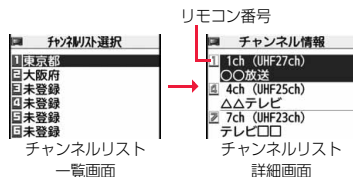
チャンネルリスト選択
1 東京都
2 大阪府
3 未登録
4 未登録
5 未登録
6 未登録

チャンネルリスト一覧画面

→

チャンネル情報
1 1ch (UHF27ch) ○○放送
4 4ch (UHF25ch) △△テレビ
7 7ch (UHF23ch) テレビ□□

チャンネルリスト詳細画面

●放送局を選択するとワンセグを視聴できます。
●視聴画面の機能メニューから「チャンネル表示／操作」を選択し、「チャンネルリスト選択」を選択した場合、チャンネルリストを選択すると視聴画面に戻ります。
●チャンネルリスト一覧画面で✉(詳細)を押し、放送局を選択してもワンセグを視聴できます。

チャンネルリスト一覧画面の機能メニュー

チャンネル設定	P.231参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角11文字/半角22文字まで入力できます。
削除	▶YES ●現在設定しているチャンネルリストは削除できません。

チャンネルリスト詳細画面の機能メニュー

リモコン番号設定	リモコン番号に設定されている放送局を変更します。 ▶変更したい放送局を選択▶設定先のリモコン番号を選択 ●設定先のリモコン番号に放送局が登録されていた場合は放送局が入れ替わります。操作を繰り返してリモコン番号に放送局を設定します。 ▶✉(完了)▶YES

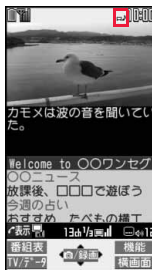
削除	▶YES ●チャンネルリスト内の放送局をすべて削除した場合は、チャンネルリストも削除されます。 ●現在設定しているチャンネルリスト内の放送局は削除できません。

＜ワンセグ視聴＞

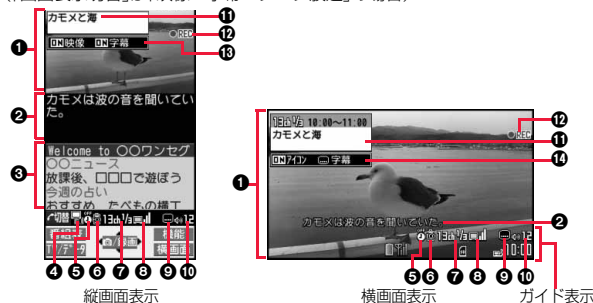
ワンセグを見る

●初めてワンセグを利用する場合は免責事項の確認画面が表示されます。（P.230参照）
●番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報（リンク）を使ってワンセグを起動することもできます。（P.196「Media To 機能」参照）
●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでワンセグの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。（P.400参照）

1 TVを1秒以上押す

前回視聴していたチャンネルでワンセグが起動します。
視聴中は「♪」が表示されます。
●チャンネルリストを登録していない場合は確認画面が表示されます。「OK」を選択し、チャンネル設定を行います。（P.231参照）
●視聴を終了するときはを押して「ワンセグ終了」を選択します。「BGMへ遷移」を選択するとバックグラウンド再生になります。

視聴画面

■視聴画面について
（「画面表示切替」が「映像＋字幕＋データ放送」の場合）

縦画面表示　横画面表示　ガイド表示

❶映像
横画面またはマルチウィンドウで視聴中に番組と連動したデータ放送がある場合、右上に「」が表示されます。
❷字幕
横画面での表示位置は「横画面字幕位置設定」で設定できます。
❸データ放送
❹操作モード
映像モード：映像や音声を操作します。（P.233参照）
データ放送モード：データ放送を操作します。（P.238参照）
❺オフタイマー
オフタイマー設定中は「」が表示されます。
❻ECOモード
ECOモード中は「」が表示されます。
❼チャンネル（リモコン番号）
●同じ放送局で複数のサービス（番組）が放送されている場合、「視聴サービス番号／全サービス数」も表示されます。
●チャンネルサーチなどで選局したときは、チャンネル（リモコン番号）が表示されない場合があります。
❽放送電波の受信レベル（目安）
強 ⟷ 弱
放送圏外の場合は「」が表示されます。

ワンセグ

つづく

❾字幕受信
字幕情報を受信しているときは「[字幕アイコン]」が表示されます。
❿音量
⓫番組情報(概要)
縦画面表示では番組名、横画面表示ではチャンネル･開始時間･終了時間･番組名が表示されます。
⓬ビデオ録画
ビデオ録画中は「●REC」が、録画予約による録画中は「◷REC」が表示されます。録画一時停止中は「❚❚PAUSE」が表示されます。
⓭画面表示切替／字幕設定値
映像表示状態:映像表示のON／OFF／拡大
字幕:字幕のON／OFF
⓮アイコン／字幕設定値
アイコン:「アイコン常時表示設定」のON／OFF
字幕:字幕の表示位置([アイコン]:下部に表示、[アイコン]:上部に表示)、OFF
●⓫、⓭、⓮はボタン操作を行ったときに表示されます。
●「アイコン常時表示設定」を「OFF」に設定している場合、横画面のガイド表示はボタン操作を行ったときに表示されます。

■チャンネルの切り替え操作(映像モードのみ)

操作	ボタン操作
ダイレクト選局	リモコン番号1～9 . . . . [1]～[9] リモコン番号10 . . . . . . [＊] リモコン番号11 . . . . . . [0] リモコン番号12 . . . . . . [#]
選局	[左右キー]
チャンネルサーチ	[左右キー](1秒以上) ●押すごとに受信可能な放送局を周波数順に検索して切り替え ●中止するには[メール](中止)または[CLR]

■視聴時の操作

操作	ボタン操作
音量調節	[上下キー]※1または[▲][▼]
消音／消音解除	[CLR]※1
番組表ｉアプリ起動	[メール](番組表)※2
番組情報表示	[メール](1秒以上)
番組情報(概要)表示	[発信]
画面表示切替	番組情報(概要)表示中に[発信] ●横画面表示では、押すごとに「アイコン常時表示設定」と「横画面字幕位置設定」の設定を切り替え
表示方向切替／全画面切替	[カメラ/TV] ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに通常表示／全画面表示を切り替え
ビデオ録画	[●](📷/録画)(1秒以上)※1 ●終了するには[●](停止)※1
静止画録画	[●](📷/録画)※1
映像／データ放送切替	[MENU](TV/データ)※3 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。
※2 横画面表示中は操作できません。
※3 横画面表示中は番組情報(概要)表示の操作になります。

お知らせ

- 視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合でも、ワンセグの音声は流れます。(バックグラウンド再生)ただし、機能や番組によっては音声が流れない場合もあります。(P.479参照)
- 「クローズ音声継続設定」が「ON」の場合、視聴中にFOMA端末を閉じても音声が流れます。閉じた状態では音量調節以外の操作はできません。
- 放送電波の状態などにより、以下のようになることがあります。
  ・音声がとぎれる　・データ放送が操作できない
  ・映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
  ・映像やデータ放送が表示されない(黒い画面が表示される)
- 番組によっては字幕が表示されない場合があります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- 場所を移動すると、山やビルの影響で受信できる放送電波や放送局が異なる場合があります。移動して映りが悪くなった場合、自動チャンネル設定を行うと違った放送電波により映りがよくなったり、異なった放送局にて視聴できる場合があります。
- 場所を移動したときなどにチャンネルサーチで選局を行うと、自動チャンネル設定で登録できなかった放送局が見つかる場合があります。見つかった放送局を「チャンネル追加登録」で登録すると、次回から視聴できます。
- ワンセグ起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。

視聴画面の機能メニュー

項目		説明
番組情報表示		視聴している番組の情報を表示します。
番組表表示		P.238参照
チャンネル表示／操作		
	チャンネル情報	選択しているチャンネルリストの詳細画面を表示します。放送局を選択すると選択した放送局に切り替わります。
	チャンネルリスト選択	P.232「チャンネルリスト選択」手順1へ進みます。
	チャンネル設定	P.231参照
	チャンネル追加登録	現在視聴中の放送局をチャンネルリストに追加登録します。 ▶**YES** ●リモコン番号13以降で空いているリモコン番号の中で、最も小さいリモコン番号に登録されます。
	サービス選局	同じ放送局で複数のサービス(番組)が放送されているときに、どのサービスを視聴するかを選択します。 ▶**チャンネルを選択**
データ放送操作		
	データ放送へ戻る	データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。
	コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
	証明書表示	P.186参照
	画像表示設定	P.197参照
	サウンド設定	P.247参照
	データ放送トルカ設定	P.303参照
	確認表示初期化	P.247参照

つづく

項目	内容
テレビリンクリスト	テレビリンク一覧画面を表示します。 （P.239参照）
メール作成	P.237参照
各種設定	
各種設定／表示／操作設定	
画面表示切替 ワンセグ起動時 字幕表示設定ON時：映像＋字幕＋データ放送 字幕表示設定OFF時：映像＋データ放送	視聴画面の表示内容を切り替えます。 ▶項目を選択 ●「映像拡大＋データ放送」に設定すると、縦画面表示の映像を拡大します。ただし、番組によっては映像の左右が切り取られて表示される場合があります。 ●「データ放送」に設定してもワンセグの音声は流れます。 ●データ放送を全画面表示すると、操作モードが自動的にデータ放送モードに切り替わります。データ放送の全画面表示を解除すると、直前に設定していた操作モードに戻ります。
映像／データ放送切替 ワンセグ起動時 映像モード	縦画面で視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.246参照
各種設定／映像設定	
明るさ設定	ディスプレイのバックライトの明るさをレベル1（暗い）～レベル5（明るい）で設定します。 ▶明るさを選択 ●「自動設定」に設定すると、光センサーで感知した周囲の明るさに合わせて自動調整されます。 ●ここでの設定は視聴を終了するまで有効です。ワンセグ起動時の設定はP.102「照明設定」の「明るさ」の設定に従います。
モバイルWスピード	P.246参照
画質モード設定	P.246参照
液晶AI	P.103参照
各種設定／音声設定	
音声設定／サウンド効果	
自動音量設定	P.246参照
リ．マスター設定	P.246参照
リスニング設定	P.247参照
イコライザー設定	P.247参照
主／副音声設定 ワンセグ起動時 主音声	▶主音声・副音声・主／副同時
音声切替	▶音声1・音声2 ●切り替えできる音声があるときのみ操作できます。
クローズ音声継続設定	P.247参照
ECOモード	P.247参照
オフタイマー ワンセグ起動時 OFF	設定した時間が経過すると、視聴や録画（予約録画を除く）を終了するかどうかの確認画面を表示します。 ▶時間を選択
ボタン操作ガイド	ワンセグ視聴中のボタン操作のガイドを表示します。

お知らせ

<オフタイマー>
- 以下の場合、各動作の終了後にオフタイマーの確認画面が表示されます。
  - ・予約録画準備中　・予約録画中　・静止画保存中
  - ・未保存の静止画があるとき　・自動チャンネル設定でチャンネルを検索中

視聴中にｉモードメールを送信する

ワンセグを視聴しながらｉモードメールを作成して送信できます。（マルチウィンドウ）

「お勧めメール作成」で、「Media To 機能」に対応したFOMA端末へｉモードメールを送信した場合、受信側では「Media To 機能」を利用してワンセグを起動できます。

- メール作成画面表示中はワンセグの操作はできません。また、字幕やデータ放送は表示されません。
- SMSを作成する場合もワンセグを視聴しながら操作できます。

1 視聴画面▶(機能)▶メール作成▶新規メール作成・お勧めメール作成

新規メール作成
. . . .新しくｉモードメールを作成します。
P.130手順2へ進みます。

お勧めメール作成
. . . .視聴中のチャンネル情報が本文に入力されたｉモードメールを作成します。
P.130手順2へ進みます。

- メール作成画面表示中、(TV)を1秒以上押すごとに、視聴画面（横画面）とメール作成画面が切り替わります。

メール作成画面
視聴画面

お知らせ

- 視聴中にマルチタスクでメール作成画面・送信メール詳細画面を表示した場合でもマルチウィンドウになります。
- 視聴中にマルチタスクでメール一覧画面・メール詳細画面の機能メニューから「送信＋受信メール」を選択して、電話帳にメールアドレスが登録されていない相手への送信メール詳細画面を表示した場合は、視聴画面は表示されず、ワンセグの音声のみが流れます。
- 「」が表示された場合は、(TV)を1秒以上押して視聴画面に切り替えて操作してください。

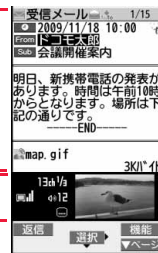
視聴中にｉモードメールを受信する

ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信を視聴画面にテロップ表示でお知らせします。ワンセグを視聴しながら受信メール詳細画面を表示できます。（マルチウィンドウ）

- 「メールテロップ表示設定」が「OFF」の場合や、公共モード（ドライブモード）中はテロップ表示できません。
- 電話帳にメールアドレスが登録されていない相手からのメールを表示した場合は、視聴画面は表示されず、ワンセグの音声のみが流れます。
- 受信メール詳細画面表示中はワンセグの操作はできません。また、字幕やデータ放送は表示されません。
- SMSを表示する場合もワンセグを視聴しながら操作できます。

1 視聴画面表示中にｉモードメールを受信▶テロップ表示中に(✉)

- メール着信音は鳴りません。
- 受信メール詳細画面表示中、(TV)を1秒以上押すごとに、視聴画面（横画面）とメール詳細画面が切り替わります。

受信メール詳細画面
視聴画面

お知らせ

- メッセージR/Fおよび電話帳に登録されていない相手からのｉモードメール、SMSの場合、「メールテロップ表示設定」を「差出人+題名」に設定していてもテロップに題名は表示されません。
- 視聴中にマルチタスクで受信メール詳細画面を表示した場合でもマルチウィンドウになります。

お知らせ

- 「メールテロップ表示設定」を「OFF」、「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合、視聴中にメールを受信すると受信結果画面が表示され、メール着信音が鳴ります。受信結果画面からメールを表示した場合でもマルチウィンドウになります。ただし、電話帳にメールアドレスが登録されていない相手からのメールを表示した場合は、視聴画面は表示されず、ワンセグの音声も流れません。
- 「 」が表示された場合は、(TV)を1秒以上押して視聴画面に切り替えて操作してください。

<番組表ｉアプリ>

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、番組表から番組を選択してワンセグを起動したり、視聴予約・録画予約を行ったりできます。(P.279参照)

1 **MENU▶ワンセグ▶番組表**

- Gガイド番組表リモコンの画面で(TV起動)を押すと、選択しているチャンネルで現在放送している番組を視聴できます。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 番組表ｉアプリは「ソフト設定」の「番組表ボタン設定」で設定できます。
- 初めてGガイド番組表リモコンを利用するときは、初期設定をする必要があります。

<データ放送>

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

- データ放送、データ放送サイトについてはP.230参照。

1 **視聴画面(映像モード)▶MENU(TV/データ)**

データ放送モードに切り替わり、「 」が表示されます。

- データ放送モード中もワンセグの音声は流れます。
- データ放送モードで(TV)(全画面)を押すと、データ放送のみを表示できます。(TV)(半画面)を押すと元の表示に戻ります。

2 **項目(リンク先)を選択**

- データ放送、データ放送サイトによっては、ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- データ放送、データ放送サイト表示中にを押すと、画面のスクロール、反転表示の移動ができます。
- データ放送サイト表示中にを押すと、前後のページに戻る／進むことができます。

お知らせ

- MENU(TV/データ)を押すたびに映像モードとデータ放送モードが切り替わります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- データ放送、データ放送サイトでの文字入力時は、絵文字は入力できません。
- 番組によってはｉモードサイトの表示中にワンセグの音声が再生されることがあります。ただし、ワンセグの映像は表示されません。
- 番組によってはデータ放送、データ放送サイト表示時に音が鳴ることがあります。その場合、ワンセグの映像の音声が一時的に停止し、データ放送の音が優先して再生されます。

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトを表示中に、サイトで入力した内容を送信したり、携帯電話情報の取得を許可するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- データ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、ワンセグ視聴中やビデオ再生中にパケット通信料がかかることがあります。(P.247参照)
- 視聴中に放送電波が不安定な場所で移動すると、映像およびデータ放送·データ放送サイトが自動的に更新される場合があります。その場合、データ放送のトップページが表示され、データ放送·データ放送サイトへ接続して入力した情報はクリアされます。データ放送·データ放送サイトを利用するときは、放送電波が安定した場所で視聴してください。

反転した情報を使っていろいろな操作をする

データ放送サイトで反転表示された情報を利用して簡単な操作で電話発信、メール送信などの機能が利用できます。
項目(リンク先)を選択することで、Phone To/AV Phone To、Mail To 機能などを利用できます。(P.195参照)

お知らせ

- データ放送、データ放送サイトによっては、自動的にｉモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用する場合があります。それぞれの機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

<テレビリンク>

テレビリンクを利用する

データ放送には、番組の詳細や関連情報サイトに導くテレビリンクが用意されている場合があります。
テレビリンクを利用するとサイトのアドレス情報などがテレビリンクリストに登録でき、あとで簡単に呼び出して閲覧できます。

テレビリンクに登録する

テレビリンク登録可能な項目(リンク先)を選択すると、テレビリンクに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
テレビリンクは50件まで登録できます。

1 データ放送モードで、テレビリンク登録可能な項目(リンク先)を選択▶YES

- 同じURLやメモ情報を登録しようとした場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
- すでにテレビリンクが最大保存件数まで登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- リンク先によっては有効期限が設定されているものもあります。
- 1件あたりのURLが半角60文字を超える場合は登録できません。

登録したテレビリンクを表示する

1 MENU▶ワンセグ▶テレビリンク▶表示したいテレビリンクを選択

- ｉモード接続するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 有効期限が切れたテレビリンクの場合は、削除するかどうかの確認画面が表示されます。

テレビリンク
1 ○○○○
2 △△△△
3 □□□□
4 △△□□

テレビリンク一覧画面

■テレビリンク一覧画面のアイコンについて

アイコン	種別	説明
(アイコン)	メモ情報	メモ情報を表示
(アイコン)	リンク通信コンテンツ	データ放送サイトに接続 (映像·字幕は表示されません。)
(アイコン)	ｉモードコンテンツ	ｉモードサイトに接続
(アイコン)	フルブラウザコンテンツ	フルブラウザで接続

テレビリンク一覧画面の機能メニュー

詳細表示		テレビリンクのタイトル、URL、概要、コンテンツ種別、有効期限を表示します。
登録件数確認		登録されているテレビリンクの件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいテレビリンクにチェック▶✉(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

視聴中にワンセグを録画する

視聴中の番組をビデオまたは静止画として保存します。

- ワンセグには、コピー制御信号(「録画不可(コピーネバー)」、「1回だけ録画可能(コピーワンス)」、「録画制限なし(コピーフリー)」を制御する信号)が加えられています。コピー制御信号は、個々の放送局が設定します。
- コピー制御信号が「録画不可(コピーネバー)」の番組は録画できません。また、録画中にコピー制御信号が「録画不可(コピーネバー)」に変化した場合、録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

ビデオ録画

録画したビデオはmicroSDカード(「データBOX」→「ワンセグ」→「ビデオ」)に保存されます。

- 録画したビデオを再生するにはP.334参照。
- FOMA端末には保存できません。

1 **視聴画面▶●(📷/録画)(1秒以上)**

確認音が鳴り、「●REC」が表示され、録画が開始されます。

- 放送電波の受信レベルが「 」のときは録画できません。また、「 」のときでも放送電波の状況によっては録画できないことがあります。
- 録画中はチャンネルを変えられません。

2 **●(停止)を押す**

確認音が鳴り、ビデオが保存されます。

- ファイルサイズが2Gバイトを超えたときや、保存領域がいっぱいになったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

■録画時間と保存件数の目安

カードの容量	最大録画時間(合計)	最大保存件数
2Gバイト	約640分	99件
4Gバイト	約1280分	
8Gバイト	約2560分	
16Gバイト	約5120分	

- 最大録画時間は、映像:224kbps、音声:48kbps、データ(字幕含む):52kbpsの場合の目安であり、放送局、番組によって録画時間は異なります。
- SD-VIDEO規格では、連続録画最大ファイルサイズは2Gバイトまでです。
- データ量により保存件数は少なくなります。

お知らせ

- データ放送モード中はワンセグの録画を行うことができません。映像モードに切り替えてご利用ください。
- 放送電波の状況によっては、保存したデータの再生時間が録画した時間より短くなる場合があります。
- 録画中にマルチタスクで画面を切り替えた場合や着信があった場合でも、録画は中断されません。
- 録画中に放送電波の状況が「 」になったときは、録画は一時停止状態になり、「 」「❚❚PAUSE」が表示されます。その間の映像・音声は保存されません。
- 録画中に電池パックやmicroSDカードを外した場合は、それまでに録画したデータが再生できないファイルとしてmicroSDカード内に保存されます。
- 放送局、番組によっては、録画開始操作から数秒程度の誤差が生じて、映像・音声が保存される場合があります。
- ビデオの保存領域がいっぱいの場合は録画できません。また、保存領域の残りが少ない場合、録画できない場合があります。不要なビデオを削除してから再度操作してください。
- 番組によっては保存領域をすべて使用できない場合があります。

お知らせ

- 保存されたビデオのファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
  ファイル名:PRGXXX
  タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
  (X:数字、Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分)
- 録画したビデオは待受画面や着信音、着信画面などには設定できません。

静止画録画

録画した静止画はFOMA端末(「データBOX」→「ワンセグ」→「イメージ」)に保存されます。容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.508参照)

- 録画した静止画を再生するにはP.319参照。
- microSDカードには保存できません。

1 視聴画面▶●(📷/録画)

確認音が鳴り、静止画が保存されます。

- 放送電波の受信レベルが「 」のときは録画できません。

お知らせ

- データ放送モード中はワンセグの録画を行うことができません。映像モードに切り替えてご利用ください。
- 保存された静止画のファイル名、タイトル名は以下のとおりです。
  ファイル名:YYYYMMDDhhmmXXX
  タイトル名:YYYY/MM/DD hh:mm
  (Y:西暦、M:月、D:日、h:時、m:分、X:数字)
- 録画した静止画は待受画面や着信画面などには設定できません。
- 保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。
- 字幕やデータ放送は静止画録画できません。

<視聴予約><録画予約>

ワンセグの視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴予約・録画予約を行います。設定した日時にアラームで番組の開始をお知らせします。

- 番組表iアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報(リンク)を使って視聴予約・録画予約を登録することもできます。(P.196「Media To 機能」参照)

視聴予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して視聴予約を登録します。「連携起動設定」を利用して、設定した時刻に自動的にワンセグ視聴を開始できます。視聴予約は100件まで登録できます。

1 MENU▶ワンセグ▶視聴予約リスト▶✉(新規)▶以下の操作を行う

- 登録済みの視聴予約を選択すると登録内容を確認でき、✉(編集)を押すと編集できます。

ch チャンネル	▶**チャンネルを選択**
名 番組名	▶**番組名を入力** ●全角60文字/半角120文字まで入力できます。
開始日時	視聴を開始する日付、時刻を入力します。 ▶**項目を選択** **直接入力**……日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力**……カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。
繰り返し	▶**繰り返しの種類を選択** ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。

ワンセグ

つづく↪

アラーム通知	▶通知方法を選択 **通知する** . . . . . . 開始日時に設定した時刻に通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する** . . . 設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**. . . . . 通知しません。通知の設定が終了します。(ワンセグを視聴できません。) ▶何秒(分)前に通知するかを選択 ●「自動電源ON」を「ON」に設定した場合、事前通知時間に「15秒前」「30秒前」「45秒前」は設定できません。
♪アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
アラーム音量	▶▯で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
連携起動設定	▶項目を選択 **自動連携する** . . . 予約アラーム通知の画面を表示後、自動的にワンセグが起動します。 **手動連携する** . . . 予約アラーム通知の画面から手動でワンセグを起動します。 **連携しない**. . . . . 予約アラーム通知のみ行います。予約アラーム通知の画面からはワンセグを起動できません。
自動電源ON	電源を切っているときに予約アラーム通知時刻になった場合、自動的に電源をONにして予約アラーム通知するかどうかを設定します。 ▶ON･OFF
ワンセグ音量	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したときの音量を設定します。 ▶▯で音量を調節
オフタイマー	「連携起動設定」によりワンセグが自動的に起動したあと、設定した時間が経過するとワンセグ視聴を終了するように設定できます。 ▶時間を選択
マナーモード優先	マナーモード中の予約アラーム音量について設定します。 ▶優先する･優先しない **優先する** . . . . . P.98「視聴予約アラーム」に従って音が鳴ります。 **優先しない** . . . 本機能で設定した音量で音が鳴ります。

2 ✉(完了)を押す

録画予約リスト

日時、チャンネル、番組名などを設定して録画予約を登録します。録画予約は100件まで登録できます。

1 MENU▶ワンセグ▶録画予約リスト▶✉(新規)▶以下の操作を行う

●登録済みの録画予約を選択すると登録内容を確認でき、✉(編集)を押すと編集できます。
●i α(保存容量)を押すと、保存容量(目安)を表示します。

ch チャンネル	▶チャンネルを選択
名 番組名	▶番組名を入力 ●全角60文字/半角120文字まで入力できます。
開始日時 終了日時	録画を開始･終了する日付、時刻を入力します。開始日時の約1分前になると、予約アラーム通知します。 ▶項目を選択 **直接入力**. . . . . .日付、時刻を直接入力します。 **カレンダーから入力** . . . .カレンダーから日付を選択し、時刻を入力します。
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。

ワンセグ

♪ **アラーム音設定**	予約アラーム通知時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
アラーム音量	▶**で音量を調節** ●「ステップ」には設定できません。
録画動作設定	同時に起動できない機能を操作中に開始日時になったときの動作を設定します。 ▶**録画優先・操作優先** **録画優先** . . . . 操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 **操作優先** . . . . 録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、操作中の機能を中断、終了して録画を開始します。 ●同時起動が可能な場合は、マルチタスク機能により録画を開始します。 ●通話中(発着信中を含む)に開始日時になったときは、通話を終了すると録画が開始されます。通話中に他の機能を使用していた場合は、通話と他の機能を終了すると録画が開始されます。
上書き録画設定	録画予約を繰り返す設定にし、「上書き録画する」に設定すると、前回録画したビデオを自動的に削除して上書き録画します。 ▶**上書き録画しない・上書き録画する**

2 (完了)を押す

●録画予約を登録するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

お知らせ

●番組表 i アプリや、サイトやメールなどの中に表示されている番組などの情報を使って視聴予約･録画予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で登録画面が表示される場合があります。

お知らせ

●同じ日時に予約アラーム通知を行う視聴予約を複数登録した場合は、開始日時の早い視聴予約の通知が優先されます。開始日時も同じ場合は、あとから登録した視聴予約の通知が優先されます。
●録画時間が重複する複数の録画予約は登録できません。なお、録画終了時間と録画開始時間が同時刻となる2つの録画予約を登録した場合は、前の番組の録画が約1分間早く終了します。
●繰り返す設定にした予約を除き、開始日時や予約アラーム通知日時(録画予約の場合は開始日時の約1分前)を過ぎた視聴予約･録画予約は登録できません。
●予約アラーム通知日時を過ぎた視聴予約･録画予約は自動的に削除されます。ただし、繰り返す設定にした予約や、「アラーム通知」を「通知しない」に設定した視聴予約は削除されません。また、通知日時に視聴予約･録画予約機能を操作していた場合も削除されません。
●チャンネルリストが設定されていない場合、視聴予約･録画予約はできません。
●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。
●「録画動作設定」を「操作優先」に設定した場合、確認画面表示中は録画開始時間を過ぎても録画されず、「YES」を選択した時点から録画されます。ただし、録画終了時間を過ぎていたときは録画されません。
●「上書き録画する」に設定した録画予約の場合、前回録画したビデオを削除してから録画を開始します。前回分のビデオの視聴済み／未視聴や予約録画の成功／失敗に関わらず、前回録画したビデオは削除されます。また、録画開始時刻までに前回分の削除ができなかった場合など、録画開始が遅れる場合があります。
●「上書き録画する」に設定した録画の場合、録画(視聴)環境や番組によってファイルサイズが変動するため、録画したビデオのファイルサイズが前回録画したビデオのファイルサイズを上回る場合があります。保存先の空き容量が少ない場合、正しく録画できないことがありますのでご注意ください。
●録画したビデオのタイトルは、録画予約で登録した番組名になります。
●録画予約による録画中は、視聴画面に「REC」が表示されます。
●録画予約による録画中はワンセグの音声は流れません。ただし、CLRを押すか音量調節を行うと音声が流れます。

視聴予約リスト・録画予約リスト表示中の機能メニュー

新規登録	視聴予約はP.241「視聴予約リスト」手順1へ進みます。 録画予約はP.242手順1へ進みます。
編集	視聴予約はP.241「視聴予約リスト」手順1へ進みます。 録画予約はP.242手順1へ進みます。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
1件削除	▶YES
過去削除	開始日時・終了日時が現在の日付、時刻より前に設定されている視聴予約・録画予約を削除します。 ▶YES
選択削除	▶削除したい視聴予約・録画予約にチェック ▶[メール](完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
保存容量確認 [録画予約リストのみ]	保存容量(目安)を表示します。

視聴予約・録画予約のアラームを設定したときは

デスクトップにアイコンが表示されます。

「[アイコン]」. . .当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「[アイコン]」. . .明日以降の設定のみの場合に表示されます。

- 視聴予約の「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

視聴予約・録画予約で設定した時刻になったときは

<視聴予約>

「連携起動設定」を「自動連携する」以外に設定している場合、アラーム音が約5分間鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、設定した開始日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されます。

「アラーム通知」を「通知する」、「連携起動設定」を「自動連携する」に設定している場合は、設定した時刻になると自動的にワンセグが起動します。アラーム音は鳴りません。

視聴を終了するには[終話]を押して「ワンセグ終了」を選択します。

「オフタイマー」を設定している場合、設定した時間が経過すると、視聴を継続するかどうかの確認画面が表示されます。「NO」を選択するか、約15秒間何も操作しないとワンセグが終了します。

<録画予約>

開始日時の約1分前にアラーム音が約2秒間鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。

画面には、設定した開始日時、終了日時、チャンネル、番組名とアニメーションが表示されたあと、視聴画面が表示されます。録画開始から約1分間何も操作しないと、待受画面が表示されます。[ワンセグ]を押し、「ワンセグ視聴」を選択すると視聴画面を表示できます。

録画予約による録画を中止してビデオを保存するには、視聴画面で[録画](停止)を押して「YES」を選択します。

- 通話中は
  受話口からアラームが鳴ります。
- 操作中は
  <視聴予約>
  「アラーム通知設定」を「操作優先」に設定している場合は、待受画面表示中にのみ予約アラーム通知します。「通知優先」に設定している場合は、操作中や通話中も予約アラーム通知します。(P.385参照)
  <録画予約>
  「録画動作設定」の設定に従って動作します。(P.243参照)ただし、microSDカードの読み書きを行っているときや、お預かりセンターに接続中は、録画されないことがあります。
- 予約アラーム通知の設定を「アラーム」、「ToDo」、「スケジュール」と同じ時刻にしたときは
  「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。

●電源OFFのときは
「自動電源ON」を設定した視聴予約を除き、予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に電源がONになっていないと録画されません。
電源をONにしたあともデスクトップにアイコンは表示されません。
●マナーモード中は
バイブレータとメッセージ表示、イルミネーションの点灯でお知らせします。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.97参照)
●オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各ロックが解除されていないと録画されません。
ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「視聴予約」を「通知する」、「録画予約」を「録画する」に設定している場合、パーソナルデータロック中もアラーム通知、録画が行われます。視聴予約の場合、「連携起動設定」を「自動連携する」に設定していても手動でワンセグを起動する必要があります。
●microSDカード操作中、赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中は
予約アラーム通知はしません。録画予約の場合は、開始日時の約1分前に各機能が終了していないと録画されません。

お知らせ

●「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合の視聴予約や録画予約では、発信中に予約アラーム時刻になったときは、相手を呼び出したあとにお知らせします。着信中に予約アラーム時刻になったときは、通話を開始したあとにお知らせします。
●「PIN1コード入力設定」を「ON」に設定し、「自動電源ON」で自動的に電源をONにして視聴予約の予約アラーム通知を行う場合、自動的に電源がONになったあと、PIN1コードの入力画面が表示されます。予約アラーム通知はPIN1コードを入力するまで行われません。
●「自動電源ON」で自動的に電源をONにして視聴予約の予約アラーム通知を行う場合、アラーム通知はウェイクアップ画像の停止後に行われます。
●ｉモーション／着うたフル®によっては視聴予約のアラーム音に設定できない場合があります。
●視聴予約のアラーム音に設定したｉモーションによっては予約アラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
●着うたフル®を視聴予約のアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションは異なります。

お知らせ

●パーソナルデータロック中に録画予約を行っている場合、放送用保存領域の読み出しはできません。また、データ放送、データ放送サイトから自動的にｉモードメール作成や電話帳登録などの機能を利用することはできません。ワンセグがこのような機能を利用しようとした場合、パーソナルデータロック中のため実行できない旨のメッセージが表示されます。

視聴予約でアラーム音／予約アラームメッセージ・アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、予約アラームメッセージは表示されたまま残ります。「連携起動設定」が「連携しない」の場合、もう一度いずれかのボタンを押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンで予約アラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

視聴予約で「連携起動設定」を「手動連携する」に設定しているときは

予約アラーム通知画面で[●]([起動])を押して「YES」を選択するとワンセグが起動し、視聴予約した番組を視聴できます。録画中の場合はそれまでに録画したビデオが保存されます。

「予約アラーム通知」がされなかったときや録画が完了したときは

デスクトップにアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかった予約アラームの内容(予約情報)や録画結果を確認できます。
予約情報や録画結果は通知できなかった最新のものを表示します。
●「連携起動設定」が「連携しない」以外に設定されていた場合は、予約情報の画面で[●]([起動])を押して「YES」を選択するとワンセグを起動できます。
●録画したビデオが保存されている場合は、録画結果の画面で[●]([再生])を押してもビデオを再生できます。

予約録画結果

録画結果を最新のものから最大20件まで表示します。

1 MENU▶ワンセグ▶予約録画結果▶録画結果を選択

●録画結果をすべて削除するには i α (全削除)を押して端末暗証番号を入力し、「YES」を選択します。

予約録画結果
1 2009/11/18 10:00 ドラマ
2 2009/11/18 08:00 バラエティー
3 2009/11/18 07:00 ニュース

<ユーザ設定>

ワンセグの設定を行う

1 MENU▶ワンセグ▶ユーザ設定▶以下の操作を行う

項目		説明
表示設定		
	字幕表示設定	視聴開始時に字幕を表示するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	横画面字幕位置設定	横画面視聴時の字幕の表示位置を設定します。 ▶上部に表示・下部に表示
	アイコン常時表示設定	横画面表示でのガイド表示(P.233参照)を常時行うかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「アイコン常時表示設定」を「OFF」に設定していても、通信中やメール、メッセージR/Fを受信した場合は、「 」「 」「 R 」「 F 」などのアイコンが表示されます。
	メールテロップ表示設定	視聴中にｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、受信を視聴画面のテロップ表示で知らせるかどうかを設定します。 ▶項目を選択 **差出人+題名** . . . 差出人と題名をテロップ表示します。 **受信通知のみ** . . . 受信のお知らせのみテロップ表示します。 **OFF** . . . . 視聴画面でテロップ表示を行いません。 ●メールテロップ表示についてはP.237参照。
映像設定		
	モバイルWスピード	映像の描画を自動的に補って、ワンセグ視聴中の映像をスムーズに表示します。 ▶ON・OFF
	画質モード設定	画質を変更します。 ▶項目を選択 **スタンダード** . . . 標準的な画質 **スポーツ** . . . . . . スポーツ番組などに適した画質 **シネマ** . . . . 映画などに適した画質 **ダイナミック** . . . 動きを強調したダイナミックな画質
照明設定		視聴中にディスプレイのバックライトが点灯する時間を設定します。 ▶常時点灯・時間設定▶点灯時間(分)を入力 ●「01」〜「30」の2桁を入力します。
音声設定		
	サウンド効果	
	自動音量設定	小さな音を大きくして聞き取りやすくするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶ON・OFF

		リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶項目を選択 サラウンド . . . . . 自然で立体感のある音にします。 ナチュア1・2 . . . イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 OFF . . . . リスニング設定をOFFにします。
		イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶項目を選択 ノーマル. . . . . . . 通常の音質です。 H.BASS1 . . . . . 低音を強調します。 H.BASS2 . . . . . H.BASS1よりさらに低音を強調します。 ボイス . . . . 会話を聞き取りやすくします。 トレイン. . . . . . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
	クローズ音声継続設定		視聴中にFOMA端末を閉じたときに、音声の出力を継続するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF ●「OFF」に設定した場合、FOMA端末を閉じると音声は消音されます。FOMA端末を開き、「OK」を選択すると再び音声が鳴ります。
録画設定			
	電池少量時録画設定		録画中に電池残量が少なくなったときに、録画を継続するかどうかを設定します。 ▶録画を継続する・録画を終了する 録画を継続する . . . 確認画面は表示されず、録画を継続します。 録画を終了する . . . 録画を終了するかどうかの確認画面が表示されます。
	視聴中着信録画設定		ワンセグ視聴中に電話がかかってきたときに、自動的に録画を開始するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF

データ放送設定		
	画像表示設定	データ放送サイトの画像を表示するかどうかを設定します。(P.197参照)
	サウンド設定	データ放送、データ放送サイトの効果音を鳴らすかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	確認表示初期化	ワンセグ視聴中、ビデオ再生中のデータ放送の確認画面では「YES(以後確認しない)」を選択すると、以後同様の確認画面はワンセグ視聴中、ビデオ再生中ともに表示されなくなります。確認表示初期化を行うと、それらの確認画面が再度表示されるようになります。 ▶YES
ECOモード		一部の設定を固定して電池の消費を減らすECOモードを設定します。 ▶YES ●ECOモードを解除するには、同様の操作を行います。 ●ECOモードを設定すると、以下の設定内容は固定され、変更できません。ただし、ECOモードを解除すると、設定内容は元に戻ります。 モバイルWスピード:OFF 画質モード設定:スタンダード リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF イコライザー設定:ノーマル
チャンネル設定初期化		チャンネルリストをすべて削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

つづく

放送用保存領域消去	▶ i α（ 機能 ）▶削除▶1件削除・全削除 1件削除 . . . . .放送用保存領域のうち、選んでいる系列放送局の情報のみを削除します。 全削除 . . . . . .放送用保存領域に作成されたすべての系列放送局の情報を削除します。 ▶YES ●「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。
TV設定リセット	「ユーザ設定」の各設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。 リセットされる項目についてはP.448「機能一覧表」を参照してください。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
TV設定確認	「ユーザ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<アイコン常時表示設定>

●「OFF」に設定していても、放送電波の状態が悪くなった場合は、ガイド表示が表示される場合があります。

<モバイルWスピード>

●「ON」に設定すると、「画質モード設定」の効果が十分に得られない場合があります。
●ECOモード中、マルチウィンドウで表示中はモバイルWスピードは無効になります。
●放送状況によってはモバイルWスピードの効果が得られない場合があります。
●録画中、予約録画中に「ON」に設定していても、録画したビデオの再生時にはモバイルWスピードは無効です。

<照明設定>

●マルチウィンドウで表示中は本機能の設定は無効になり、P.102「照明設定」の設定に従います。

お知らせ

<クローズ音声継続設定>

●「ON」に設定した場合はFOMA端末を閉じた状態でも、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。
●本機能の設定に関わらず、視聴中にマルチタスクで画面を切り替えた場合やマルチウィンドウで表示されている場合は、FOMA端末を閉じても音声は流れます。

<視聴中着信録画設定>

●以下の場合は着信があっても録画を開始できません。
・バックグラウンド再生中　・マルチウィンドウで表示中　・録画中
・予約録画中　・予約録画準備中

<画像表示設定>

●本機能の設定を変更した場合は、「ｉモード設定」の「ｉモードブラウザ設定」内の「画像表示設定」も変更されます。

<確認表示初期化>

●ワンセグ起動時の確認画面（P.230参照）や録画予約時の確認画面（P.243参照）は初期化されません。

Music

■音楽データの取り扱いについて
microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご使用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分にご配慮ください。

Music&Videoチャネル

Music&Videoチャネルとは、事前にお好みの音楽番組などを設定するだけで、夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスです。また、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。番組は定期的に更新され、配信された番組は通勤や通学中など好きな時間に楽しむことができます。

■Music&Videoチャネルのご利用にあたって

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。(お申し込みにはｉモード契約およびパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフル／パケ･ホーダイ ダブル契約が必要です。)
- Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに、番組によって別途情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいたあと、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にFOMAカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますのでご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得は行えません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。
  ※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。
- Music&Videoチャネルで番組を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。
  同時に使用可能な機能の組み合わせについてはP.479参照。
- Music&Videoチャネルの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

番組を設定する

利用したい番組を事前に設定すると、夜間に番組データが自動的に取得されます。

1 MENU▶MUSIC▶Music&Videoチャネル

2 番組設定▶画面に従って番組の設定操作を行う

詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.194参照。

番組を設定したときは

番組取得を開始する12時間前に、待受画面に「 」が表示されます。ただし、設定したときと異なるFOMAカードを挿入している場合は表示されません。

番組取得は夜間に自動的に行われます。このとき番組取得中の画面は表示されません。成功するとデスクトップに「更新」が表示されます。●を押し、「更新」を選んで●(選択)を押すと、Music&Videoチャネル画面が表示されます。
取得に失敗した場合は「失敗」が表示されます。

お知らせ

- 番組取得中に通信が途切れた場合は、約3分間隔で5回まで自動的に再取得を行います。ただし、取得中の画面を表示している場合は、再取得するかどうかの確認画面が表示されます。
- 番組取得の開始や完了をお知らせするための着信音･バイブレータの鳴動機能はありません。「イルミネーション」の「Music&Video Chイルミネーション」を「ON」に設定した場合、番組の取得が完了すると着信／充電ランプが点滅します。(P.106参照)
- 一度に設定できる番組の数は2つまでです。
- 新しく番組を取得すると、保存されている番組は上書きされるため、再生できなくなりますのでご注意ください。上書きされないようにするためには、「番組移動」を行って「保存番組」フォルダに番組を移動してください。
- 取得した番組はコピーしたり、microSDカードに保存することはできません。

お知らせ

- 番組を設定するときは、Music&Videoチャネル番組提供サイトのマイメニュー登録が必要です。(P.179参照)
- Music&Videoチャネルをご契約されていない場合は、「サービスのご案内」を選択するとMusic&Videoチャネルの紹介ページが表示されます。
- 番組取得開始時に「電源が入っていない」、「電池残量が少ない」などにより番組の取得ができなかった場合は、翌日の夜間に再度番組の取得を行います。
- 番組の取得には時間がかかる場合がありますので、十分に充電をして電波状況の良い環境で使用してください。
- Music&Videoチャネル画面で選んでいる番組や利用中の番組は、番組の設定操作および自動取得ができません。
- Music&Videoチャネルの解約を行った場合、「番組移動」で移動した番組以外は削除されます。
- 番組を設定したときと異なるFOMAカードを挿入した場合は、番組を自動で取得できなくなります。Music&Videoチャネル画面から、再度番組を設定してください。
- Music&Videoチャネルのサービスメニューを選択したときに「番組設定情報を確認しますか？」と表示された場合、「YES」を選択すると配信済みの番組は削除される場合があります。ただし、配信停止設定中は削除されません。
- すでに番組を設定しているFOMA端末のFOMAカードを別のMusic&Videoチャネル対応のFOMA端末に差し替えた場合、番組は自動で取得できません。Music&Videoチャネル画面から再度「番組設定」を選択すると、FOMA端末の番組設定が自動的に更新され、番組を自動で取得することができます。

番組の設定内容を確認・解除する

1 Music&Videoチャネル画面▶番組設定▶画面に従って操作する

設定中の番組の確認や、設定の解除を行うことができます。詳しくは「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

お知らせ

- 番組の設定を解除してもマイメニューは削除されません。

番組を手動で取得する

番組の自動取得に失敗した場合や番組配信日を過ぎても更新されなかった場合(未更新)は、デスクトップに「失敗」が表示されます。自動取得に失敗した番組は、手動で取得できます。

1 Music&Videoチャネル画面▶番組を選択▶はい

- 部分取得した番組の場合、「途中まで再生」を選択すると再生できます。
- 未更新の番組の場合、「そのまま再生」を選択すると更新前の番組を再生できます。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

- 番組の取得が中断された場合は、中断されるまでの部分的に取得した番組は保存されます。続きを取得するときは、一部の時間帯を除いて手動で取得できます。番組が更新されていたり、別の番組に変更されていたりしたときは、続きからではなく最初から取得を開始します。
- 再生制限が切れた番組は、再取得できません。次回配信日まで更新ができません。
- ご利用になる時間帯によっては、手動で番組取得ができない場合があります。

番組の再生／操作

- ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドで番組を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで番組を楽しめます。（P.400参照）

1 MENU▶MUSIC▶Music&Videoチャネル▶番組を選択

Music&Videoチャネル画面

Music&Videoチャネル起動中は「♪」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「♪」が表示されます。

- 番組を選んでいると、番組名の下に次回の番組配信日が表示されます。番組が配信停止になったときは表示されません。また、自動取得に失敗したときも表示されない場合があります。
- 前回再生した番組の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。
- 番組を選んで✉（チャプター）を押すとチャプター一覧が表示されます。
- 番組を選んでMENU（サイト接続）を押すと番組のURL情報のURLに接続します。
- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

番組取得中

再生不可

プレビュー画像なし

- 再生中･一時停止中に⌒を押すと、番組の再生が終了します。

データBOXからMusic&Videoチャネルを操作する

データBOXからも番組を再生できます。データBOXでは、現在配信されている番組の他に、過去に配信されていた番組で「保存番組」フォルダに移動した番組も再生できます。

1 MENU▶データBOX▶Music&Videoチャネル▶配信番組･保存番組▶番組を選択

- 番組一覧画面で📷（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

番組フォルダ一覧画面　番組一覧画面

■Music&Videoチャネル再生時の画面について

❶…番組画像または番組の映像
（画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。）
❷…チャプター番号／チャプター数
（プライベートウィンドウではチャプター番号のみ）
❸…チャプター名／アーティスト名
❹…番組名
❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード
（「ノーマル」の場合は、何も表示されません。）
🔁：リピート
❽…イコライザー設定
NORMAL：ノーマル　H.BASS1：H.BASS1
H.BASS2：H.BASS2　TRAIN：トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
STEREO：ステレオ　MONO：モノラル

FOMA端末を閉じている場合

Music

❿…リスニング設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
SURROUND :サラウンド　NATUR1 :ナチュア1　NATUR2 :ナチュア2
⓫…リ. マスター設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
REMASTER :ON
⓬…Bluetooth接続アイコン(未接続の場合は、何も表示されません。)
:接続中
⓭…音量

■Music&Videoチャネル再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	✉(■)
一時停止	●(Ⅱ) ●再生するには●(▶)
音量調節	○または▲▼
次のチャプターに切り替え	○または▼(1秒以上)
前のチャプターに切り替え	○または▲(1秒以上) ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し
サーチ(早送り)※	○を押し続ける
サーチ(早戻し)※	○を押し続ける
サイトに接続	MENU(サイト接続)
縦画面／横画面切替	📷TV(横画面) ●押すごとに縦画面で再生→画面サイズに合わせて横画面で再生→拡大して全画面での再生を切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ. マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 一時停止中は操作できません。

Music&Videoチャネル再生時の画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す。
次のチャプターに切り替え	連続2回押す
前のチャプターに切り替え	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前のチャプターがない場合は頭出し

■Music&Videoチャネル画面・番組一覧画面のアイコンについて

Music&Videoチャネル画面に表示されているアイコンで、番組の取得状況などを確認できます。

アイコン	説明
	取得に成功した番組
	壊れている番組
	部分的に取得した番組や、取得に失敗した番組

●新しく取得した番組には「NEW」が付きます。
●番組によっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあります。再生制限のある番組のアイコンには、「◷」、再生制限切れの番組のアイコンには「◕」が付きます。「番組情報」で番組の再生制限を確認できます。
●番組によっては操作が制限されているものがあります。操作制限のある番組のアイコンには「⦸」が付きます。
●番組によっては、再生できる時間帯が決まっているものがあります。時間帯制限のある番組のアイコンには「 」が付きます。時間は、ネットワークから取得した時刻情報に従います。
●定期的に更新された番組を取得開始できなかった場合は、未更新の番組として「 」が表示されます。「 」は番組を取得開始できた時点で消えます。
●Music&Videoチャネルの番組はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.225参照。

つづく

お知らせ

- 以下の操作を行うと、前回再生した番組の情報は消去されます。
  - ･FOMA端末の電源をOFF／ONした場合
  - ･番組を更新した場合
  - ･前回再生した番組を削除したり、移動した場合
- 電池残量が少ない状態で番組を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示され、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴ります。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
  - ･音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
  - ･「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  - ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合

  また、発生した機能によってはMusic&Videoチャネルを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 時間帯制限のある番組で、再生終了後に黒画面を表示した場合は、次回の再生時間帯に再生が開始されます。
- 日本以外の国で使用した場合、表示される期限より前または後に再生期限が切れることがあります。
- 音声のみの音楽番組やQCIF(176×144)以下の動画番組の場合は全画面で再生できません。

Music&Videoチャネル画面･番組フォルダ一覧画面･番組一覧画面の機能メニュー

チャプター一覧		番組に設定されているチャプターの一覧を表示します。チャプターを選択することによって、選択したチャプター以降から再生します。 ●i α(機能)を押して「チャプター情報」を選択すると、チャプターのタイトルや再生時間などの情報が表示されます。
再生モード変更		▶**ノーマル･リピート** **ノーマル**. . . .番組をチャプター順に1回再生します。 **リピート**. . . .番組をチャプター順に繰り返し再生します。
番組情報		番組のタイトルや配信元、再生制限などを表示します。
番組移動		現在配信中の番組は、次の配信日に新しい番組に更新されます。配信番組が更新される前に、番組を「保存番組」フォルダに移動することで保存できます。保存できる空き容量は「保存容量確認」で確認できます。容量は他のデータと共通で、最大10件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。(P.508参照) ▶**YES** ●保存している番組がいっぱいのときはP.194参照。
デスクトップ／✐登録		
	デスクトップ貼付	P.30参照
	✐ボタン長押し登録	P.386参照
タイトル編集		▶**タイトルを入力** ●全角31文字/半角63文字まで入力できます。
タイトル初期化		タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶**YES**
複数選択		「保存番組」フォルダに保存されている番組を複数選択して削除します。 ▶**削除したい番組にチェック**▶i α(機能)▶**削除** ▶**YES**
サイト接続		番組にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶**YES**
画像表示		番組に登録されている番組画像を表示します。 ●CLRを押すと一覧画面に戻ります。
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。 ●📷(保存容量)を押しても表示できます。

Music

番組削除・1件削除	番組を1件削除します。 ▶**YES**
全削除	「保存番組」フォルダに保存されているすべての番組を削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**

お知らせ

＜再生モード変更＞
- 時間帯制限がある番組の場合、再生モードの設定は無効になります。
- 時間帯制限がない番組で再生回数制限がある場合、「リピート」に設定しても繰り返し再生はされません。

＜番組移動＞
- 取得が完了していない番組や移動制限、時間帯制限が設定されている番組は移動できません。

＜タイトル編集＞
- 編集したタイトルは、次回の番組が配信されると新しいタイトルに上書きされます。

＜複数選択＞＜番組削除・1件削除＞＜全削除＞
- 番組を削除しても、番組設定は解除されません。

再生中・一時停止中の機能メニュー

チャプター一覧	P.254参照
再生モード変更	P.254参照
サウンド効果	
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON・OFF**
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド**……自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2**……イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**……リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル**……通常の音質です。 **H.BASS1**……低音を強調します。 **H.BASS2**……H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン**……音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
番組情報	P.254参照
チャプター情報	現在、再生中のチャプターのタイトルや再生時間などを表示します。
サイト接続	P.254参照
前画像表示	前の画像を表示します。
次画像表示	次の画像を表示します。

お知らせ

＜サウンド効果＞
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

＜前画像表示＞＜次画像表示＞
- 最大3枚まで表示できますが、番組によっては表示できない場合があります。

音楽の再生方法について

ミュージックプレーヤー、iモーションプレーヤーを使ってFOMA端末で音楽を再生できます。

■ミュージックプレーヤー(P.258参照)

音楽CDなどからパソコンを利用してmicroSDカードに保存した音楽データや着うたフル®を「MUSIC」の「ミュージックプレーヤー」で再生します。

- ミュージックプレーヤーで音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などをすることができます(バックグラウンド再生)。
  同時に使用可能な機能の組み合わせについてはP.479参照。

■ｉモーションプレーヤー(P.326参照)

「データBOX」の「ｉモーション」フォルダから、音声のみのｉモーション(AAC型式の音楽データを含む)やmicroSDカードに保存したAAC形式のファイルを再生します。

音楽データを保存する

着うたフル®をダウンロードする

サイトから着うたフル®をダウンロードします。容量は他のデータと共通で、合わせて最大約250Mバイト保存できます。(P.504参照)

1 着うたフル®ダウンロードが可能なサイトを表示▶着うたフル®を選択▶保存▶YES

- 「再生」を選択すると着うたフル®が再生されます。着うたフル®再生中の操作についてはP.261参照。
- 「情報表示」を選択すると着うたフル®の情報が表示されます。(P.264「ミュージック情報」参照)
- 保存されている着うたフル®がいっぱいのときはP.194参照。

2 保存したいフォルダを選択

- 第2階層目以降にフォルダがある場合は、[メール]( )を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。

着うたフル®ダウンロードが中断したときは

[メール](中止)を押してダウンロードを中断したり、着信などでダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択するとデータ取得完了の画面が表示されます。「部分保存」を選択した場合は、「データBOX」の「ミュージック」内の「ｉモード」フォルダ内のフォルダを選択して保存します。部分保存した残りのデータは「データBOX」から再ダウンロードできます。

- 部分保存した着うたフル®のタイトルは、ダウンロードした日時となります。
- 部分保存した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合、残りのデータの取得ができません。また、再取得したデータを保存する際、部分保存されていたデータは削除されます。

うた・ホーダイについて

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル®です。再生期限は、音楽データと共にダウンロードされるライセンス情報により指定されます。

再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

- ミュージックプレーヤー起動時に再生期限切れの音楽データ(会員制サービスでダウンロードした着うたフル®)が存在すると、再生期限を更新するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、データを更新します。(パケット通信料有料)「NO」を選択すると、音楽データファイルを利用することができません。ミュージックプレーヤーの起動についてはP.259参照。
- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎたあとでも数日間の再生猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても再生ができます。再生猶予期間を過ぎると、ファイルの再生ができません。また、再生期限の更新を行っていない状態で楽曲ダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。
- 登録できるミュージック(会員制)サービスの上限を超えていると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードしたミュージックは再生できなくなります。
- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルの適用対象外です。

お知らせ

- 1件あたり5Mバイトまでの着うたフル®を保存できます。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生期限切れのため更新が必要になった場合は、着信時やアラーム鳴動時にお買い上げ時の音が鳴ります。
- 再生回数・再生期間・再生期限に制限がある着うたフル®は、タイトルの先頭に「🕘」が表示されます。長い期間電池パックを外していると、FOMA端末で保持している日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期間や再生期限が決められている着うたフル®は再生できません。再生制限を確認するには「ミュージック情報」参照。
- 部分保存した着うたフル®はデータBOXから再生できません。

WMAファイルを保存する

パソコン内のWindows Media® Audio(WMA)ファイルをmicroSDカードへ保存するには、Windows Media Player 10/11を使用します。

WMAファイルは最大1000曲保存できます。

- 楽曲データのほか、プレイリスト・ジャケット画像・ライセンスキーが保存されます。

ステップ

1 WMAファイルを保存するために必要なものを準備する

はじめにWMAファイルを保存するために必要なものを準備します。

- P-09A本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- Windows Media Player 10(10.00.00.3802以降)/11がインストール済みのパソコン
  - ・Windows XPでWindows Media Player 10/11をご利用になる場合は、Windows XP Service Pack 2以降をお使いください。Windows VistaではWindows Media Player 11をご利用ください。
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。

ステップ

2 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード設定」を「MTPモード」に設定します。(P.353参照)

ステップ

3 microSDカードに音楽を保存する

Windows Media Player 10/11を起動してWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- WMAファイルはFOMA端末には保存できません。
- Windows Media Player 10/11の操作方法についてはWindows Media Player 10/11のヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外します。
  FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外すときは、ご使用のソフトウェアを終了させてから取り外してください。

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

- ナップスター®アプリは下記のホームページよりダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/
- ナップスター®アプリについてのご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/

お知らせ

- データを保存中にmicroSDカードを抜かないでください。データが失われることがあります。
- 楽曲データおよびジャケット画像は、microSDカードの/PRIVATE/DOCOMO/MMFILE/WM/へ保存されます。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存したWMAデータは、P-09Aで認識されない場合があります。また、「USBモード設定」を「MTPモード」に設定してパソコンと接続しても認識されない場合があります。
  この場合は、パソコンなどでmicroSDカード内の「WM」フォルダと「WM_SYSTEM」フォルダを削除するか、microSDカードをフォーマット(P.352参照)してください。なお、microSDカードをフォーマットすると、音楽データ以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。
- microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、パソコンで認識しなくなる場合があります。microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除したあと、再度「USBモード設定」を「MTPモード」に設定し、パソコンと接続してください。

SDオーディオを利用して音楽を保存する

SD-Jukebox(市販品)を利用すると、音楽CDの曲をAAC形式のデータとしてmicroSDカードに保存できます。

- microSDカードアダプタ(別売)を使って、パソコンから直接microSDカードに保存することもできます。

※以下のステップは、FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使用し、音楽を保存する場合の一例です。

SD-Jukeboxについて

SD-Jukeboxは次のホームページより購入できます。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

- 動作環境詳細は次のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/software/sdjb/

ステップ1 音楽を保存するために必要なものを準備する

はじめに音楽を保存するために必要なものを準備します。

- P-09A本体
- microSDカード
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- パソコン(Windows XP、Windows 2000、Windows Vista)
- SD-Jukebox(市販品)
- 保存したい音楽CD

ステップ2 SD-Jukeboxをインストールする

パソコンにSD-Jukeboxをインストールします。

ステップ3 FOMA端末をリーダーライターとして使う

「USBモード設定」を「microSDモード」に設定します。(P.353参照)

ステップ4 microSDカードに音楽を保存する

SD-Jukeboxを起動してパソコンに音楽CDを入れます。
SD-Jukeboxを使用してmicroSDカードに音楽を保存します。

- SD-Jukeboxの操作方法についてはSD-Jukeboxのヘルプをご覧ください。
- 保存が完了したら、FOMA端末からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02を取り外します。

<ミュージックプレーヤー>

ミュージックプレーヤーを利用する

サイトから取得した着うたフル®やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。
音楽を再生するには、メインメニューの「MUSIC」から「ミュージックプレーヤー」を選択します。音楽を聴きながらメールやサイトの閲覧などを利用できるバックグラウンド再生もできます。
フォルダや、データなどの管理を行うには、メインメニューの「データBOX」から「ミュージック」を選択します。

- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで音楽を楽しめます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音楽を楽しめます。(P.400参照)
- 保存している曲数が多くなると、起動に時間がかかる場合があります。
- ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

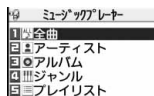
音楽データを再生する

1 MENU▶**MUSIC**
▶ミュージックプレーヤー

プレーヤーメニュー画面が表示されます。

- 前回再生した曲の情報がある場合は、情報に従った再生位置やモードで再生されます。

ミュージックプレーヤー
1 全曲
2 アーティスト
3 アルバム
4 ジャンル
5 プレイリスト

プレーヤーメニュー画面

2 項目を選択

全曲 ………… FOMA端末、microSDカードに保存している音楽データのすべてを表示します。

アーティスト… 全アーティスト名を表示します。
聴きたいアーティストを選んで●(選択)を押すと、選択したアーティストの全アルバム名を表示します。
(アルバムへ進みます)

アルバム …… 全アルバム名を表示します。
聴きたいアルバム名を選んで●(選択)を押します。

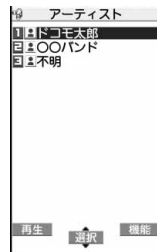
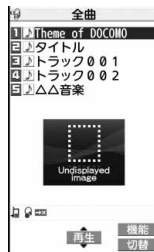
ジャンル …… 全ジャンルを表示します。
聴きたいジャンルを選んで●(選択)を押します。

プレイリスト… FOMA端末、パソコンで作成されたすべてのプレイリストを表示します。
プレイリストの再生についてはP.267参照。

- 現在再生中のプレイリストや前回再生したプレイリストには「★」マークが付いています。
- 「アーティスト」「アルバム」「ジャンル」を選択したときは、種別一覧画面で✉(再生)を押すと、選択している項目に登録している音楽がすべて再生されます。
- 曲一覧画面で📷(切替)を押すごとに表示方法を変更します。

種別一覧画面
(アーティストの場合)

曲一覧画面

- 種別一覧画面や曲一覧画面で「ﾌﾟﾚｰﾔｰ」が表示されているときは、MENU(ﾌﾟﾚｰﾔｰ)を押すと、前回再生した曲または再生中の曲の再生画面が表示されます。
- 保存している曲のサイズによってはすべての曲を表示できない場合があります。
- プレビュー画像が表示できないときなどは、右の画像が表示されます。

ダウンロード未完了

表示不可

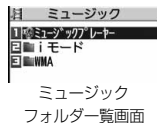
画像がない場合など

3 曲を選択

種別一覧やプレイリスト内の曲が、選択した曲から順に再生されます。
ミュージックプレーヤー起動中は「▶♪」、バックグラウンド再生中に一時停止状態になった場合は「⏸♪」が表示されます。

- 現在再生中の曲や前回再生した曲には「★」マークが付いています
- 再生中・一時停止中・停止中に終話キーを押すと、ミュージックプレーヤーが終了します。
- 再生中にMENU(曲ﾘｽﾄ)またはCLRを押すと、1つ前の曲一覧画面が表示されます。

フォルダや音楽データを管理する

1 MENU▶**データBOX▶ミュージック**

ミュージック
フォルダ一覧画面

2 **項目を選択**

ミュージックプレーヤー . . . ミュージックプレーヤーが起動します。(P.259参照)

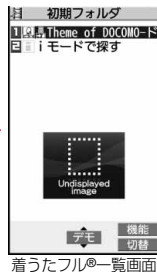
iモード . . . . iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面が表示されます。フォルダを選択します。

WMA . . . . WMA一覧画面が表示されます。

- iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- 着うたフル®一覧画面、WMA一覧画面で📷(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- プレビュー画像が表示できないときなどはP.259参照。

iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面　　着うたフル®一覧画面

- 「iモードで探す」を選択した場合はP.193参照。
- WMAファイルには再生できるライセンス(回数・期間・期限)の付いているものがあります。

WMA一覧画面

3 **着うたフル®またはWMAファイルを選択**

選択した曲のみをデモ再生します。

- 再生中にFOMA端末を閉じると再生は中止されます。
- 再生中・一時停止中に⌒を押すと再生が終了します。
- 他の機能で着うたフル®を選択中に✉(デモ)を押したり、機能メニューから「再生」を選択して着うたフル®を再生できる場合があります。
- 着うたフル®の場合、「iモード」フォルダから表示した場合は管理用のタイトル(初期タイトルは「曲名−アーティスト名」)が表示されます。「ミュージックプレーヤー」から操作した場合はタイトルが表示されます。

■**ミュージックプレーヤー使用中の再生画面について**

FOMA端末を閉じている場合

❶…音楽に登録されているジャケット画像(画像が登録されていない場合は、アニメーションが表示されます。)
❷…曲番号／総曲数(プライベートウィンドウでは曲番号のみ)
❸…曲名
❹…アーティスト名
❺…再生状態
❻…再生時間／総演奏時間
❼…再生モード(「ノーマル」の場合は、何も表示されません。)
　→:1曲終了　　↻:1曲リピート
　↻:全曲リピート　　⤨:ランダム
　⤨:ランダムリピート
　DEMO:デモ(デモ再生時のみ表示されます。)
❽…イコライザー設定
　NORMAL:ノーマル　　H.BASS1:H.BASS1
　H.BASS2:H.BASS2　　TRAIN:トレイン
❾…ステレオ／モノラル種別
　STEREO:ステレオ　　MONO:モノラル
❿…リスニング設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
　SURROUND:サラウンド　　NATUR1:ナチュア1　　NATUR2:ナチュア2
⓫…リ.マスター設定(「OFF」の場合は、何も表示されません。)
　REMASTER:ON
⓬…Bluetooth接続アイコン(未接続の場合は、何も表示されません。)
　Bluetooth:接続中
⓭…音量

Music

■ミュージックプレーヤー使用中の操作

操作	ボタン操作
停止	✉(■) ●再生するには●(▶)
一時停止	●(❚❚) ●再生するには●(▶)
音量調節	○または▲▼
次の曲を再生	○または▼(1秒以上)
前の曲を再生	○または▲(1秒以上) ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合、「ランダム」「ランダムリピート」時は頭出し
サーチ(早送り)※	○を押し続ける
サーチ(早戻し)※	○を押し続ける
一覧画面を表示	MENU(曲リスト)
バックグラウンド再生	📷TV(BGM)
画像表示・歌詞表示・プレーヤー	2 ●押すごとに「再生画面(ジャケット画像)」→「全画面歌詞画像」→「全画面ジャケット画像」の順に切り替え
次の画像を表示	3
前の画像を表示	1
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※ 停止中・一時停止中は操作できません。
●デモ再生時は操作できないものもあります。

ミュージックプレーヤー使用中の再生画面でイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次の曲を再生	連続2回押す
前の曲を再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合、前の曲がない場合、「ランダム」「ランダムリピート」時は頭出し

■着うたフル®再生の仕様について

ファイル形式	MP4
コーデック	MPEG-4 AAC
	MPEG-4 AAC+(HE-AAC)
	Enhanced aacPlus
ビットレート	8～128kbps
拡張子	3gp

■SDオーディオファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	MPEG-2 AAC、MPEG-2 AAC+SBR
ビットレート	32～256kbps
最大保存可能曲数	999曲
最大プレイリスト数	99件(1件のプレイリストには最大99曲まで登録可能)※

※「全曲リスト」を除く。

■WMAファイル再生の仕様と保存曲数について

ファイル形式	WMA(Windows Media Audio 9 Standard)
ビットレート	32～192kbps
最大保存可能曲数	最大1000曲
最大プレイリスト数	100件(1件のプレイリストには最大250曲まで登録可能)

つづく

■曲一覧表示中のアイコンについて

「MUSIC→ミュージックプレーヤー」から曲を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	FOMA端末に保存
	microSDカードに保存
	SDオーディオファイル形式
	着うたフル®ファイル形式
	WMAファイル形式
	FOMAカードセキュリティ機能
	再生制限あり着うたフル®
	再生制限切れ着うたフル®
	再生可能なうた・ホーダイ
	再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ
×	再生不可のうた・ホーダイ
	ファイル制限あり

■着うたフル®一覧表示中のアイコンについて

「データBOX→ミュージック」から着うたフル®を選択する場合は、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	音声の形式	種別
	AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus	MP4ファイル
	−	部分保存されている着うたフル®

●着うたフル®、うた・ホーダイによっては、再生できる回数・期限・期間が制限されているものがあり、以下のアイコンが付きます。
・再生制限のあるファイル.......................「 」
・再生制限切れファイル........................「 」
・再生可能なうた・ホーダイ......................「 」
・再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイ....「 」
・NGの着うたフル®、うた・ホーダイ...............「×」
「ミュージック情報」で着うたフル®の再生制限を確認できます。

●着うたフル®はすべてファイル制限ありのファイルになります。ファイル制限についてはP.225参照。

アイコン	取得元
※	サイト

※ 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

お知らせ

●保存している曲数に関わらず、ミュージックプレーヤーで認識できる曲数は、全曲リストの表示順で最大1500曲です。ただし、曲の情報量によっては認識できる曲数は少なくなります。
●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。
●以下の操作を行うと、前回再生した音楽の情報は消去されます。
・microSDカードを取り外し/取り付けした場合
・FOMA端末の電源をOFF/ONした場合
・「設定リセット」や「端末初期化」を行った場合
・前回再生した曲を削除した場合
・前回再生したプレイリストを削除した場合
・前回再生した曲がmicroSDカード内の曲で、microSDカードが挿入されていない場合
・「USBモード設定」を「microSDモード」「MTPモード」に設定してパソコンを接続した場合
・前回再生した曲がプレイリスト以外から再生していた場合で、「ミュージック情報編集」「ミュージック情報初期化」を行った場合、着うたフル®を新たにダウンロード・保存または削除した場合
・前回再生した曲が再生期限切れのため更新が必要なうた・ホーダイの場合
・前回再生した曲がWMAファイルで、WMAライセンスが無効になった場合
●部分保存した着うたフル®はミュージックプレーヤーから操作した場合、表示されません。
●電池残量が少ない状態で音楽を再生しようとした場合は、再生するかどうかの確認画面が表示され、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴ります。また、再生中(バックグラウンド再生中も含む)に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、終了するかどうかの確認画面が表示されます。
●早送りなどを頻繁に行うと電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。

お知らせ

- 以下の場合は、再生が一時停止され、操作終了後に再生を再開します。
  - ・音声電話、テレビ電話の発着信があった場合
  - ・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているとき、または待受画面を表示しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信した場合
  - ・「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合

  また、発生した機能によってはミュージックプレーヤーを終了するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- 前後の曲に切り替わる際、再生期限、再生期間の切れた曲やWMAライセンスが無効になったWMAファイルはスキップされます。また、再生回数が制限されている着うたフル®の場合は、残りの再生回数に関わらず再生するかどうかの確認画面が表示されます。再生回数が終了した曲はスキップされます。
- microSDカード内の空き容量が300Kバイトより少なくなると、WMAファイルが再生できなくなります。WMAファイルを再生するには、microSDカード内の空き容量を確認し、300Kバイト以下であれば不要なファイルを削除してください。

ミュージックフォルダ一覧画面・iモード(着うたフル®)フォルダ一覧画面・プレーヤーメニュー画面の機能メニュー

再生モード変更	▶**再生モードを選択** **ノーマル**．．．．．．．種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に再生します。 最後の曲まで再生すると終了します。 **1曲終了**．．．．．．．選択した曲を1回再生します。 **1曲リピート**．．．．選択した曲を繰り返し再生します。 **全曲リピート**．．．種別で分けられた曲またはプレイリストの曲を一覧画面の並び順に繰り返し再生します。 **ランダム**．．．．．．．種別で分けられた曲またはプレイリストの曲をランダムに再生します。すべての曲を再生すると終了します。 **ランダムリピート** ．．．．．．．．．．．．．種別で分けられた曲またはプレイリスト内の曲をランダムに繰り返し再生します。
フォルダ追加	▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●FOMA端末内では第2階層まで、合わせて25件まで作成できます。microSDカード内では第7階層までフォルダを作成できます。
フォルダ名編集	▶**フォルダ名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	
1件削除	選択しているユーザフォルダを1件削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
選択削除	▶**削除したいユーザフォルダにチェック** ▶[メール](完了)▶**端末暗証番号を入力**▶YES
全削除	同じ階層にあるユーザフォルダをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES

Music

つづく

保存先フォルダ選択	着うたフル®をmicroSDカードに移動する際の保存先フォルダを設定します。7階層までのフォルダに対して設定できます。 ▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。 ●[カメラ/TV]([保存容量])を押しても表示できます。

お知らせ

<フォルダ追加>
- WMAフォルダにはユーザフォルダを作成できません。

<フォルダ削除>
- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
- microSDカード内では、「1件削除」の動作になります。
- 他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには「[アイコン]」が表示されます。
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

着うたフル®一覧画面・種別一覧画面・曲一覧画面・WMA一覧画面の機能メニュー

プレーヤーメニュー		種別一覧画面または曲一覧画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更		P.263参照
着信音設定		
	まるごと着信音設定	着うたフル®を1曲そのまま着信音に設定します。 ▶項目を選択 ●microSDカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。(P.350参照)
	オススメ着信音設定	着うたフル®の一部分を指定して着信音に設定します。 ▶設定したい部分を選択▶項目を選択 ●[メール]([デモ])を押すと設定したい部分を確認できます。 ●microSDカード内の着うたフル®の場合、FOMA端末に移動するかどうかの確認画面が表示されます。(P.350参照)
ミュージック情報		曲名やアーティスト名、再生時間などを表示します。 ●着うたフル®のミュージック情報を表示中に[iα]([機能])を押して「ミュージック情報編集」を選択すると情報内容を編集できます。編集したい情報を選択して編集します。「ミュージック情報初期化」を選択すると、編集した情報を編集前の情報に戻せます。戻したい情報を選択し、「YES」を選択します。
プレイリストへ登録		▶登録方法を選択 **1件登録**.....曲を1件登録します。 **選択登録**.....登録したい曲を選択し、[メール]([完了])を押します。 ●曲は表示されている順に登録されます。 ▶登録したいプレイリストを選択 ●新しくプレイリストを作成して登録する場合は、「新規プレイリスト」を選択し、プレイリスト名を入力します。すでにプレイリストが30件登録されている場合は、削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。
フォルダ移動		FOMA端末内の着うたフル®をFOMA端末内の別のフォルダに、microSDカード内の着うたフル®をmicroSDカード内の別のフォルダに移動します。 ▶移動先を選択 ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[メール]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。
microSDへ移動		着うたフル®をmicroSDカードに1件移動します。(P.350参照)

本体へ移動	microSDカード内の着うたフル®をFOMA端末に1件移動します。(P.350参照)
タイトル編集	着うたフル®のタイトルを編集します。 ▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内の着うたフル®の場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDカード内の着うたフル®の場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
タイトル初期化	着うたフル®のタイトルを「曲名ーアーティスト名」にします。 ▶YES
フォルダ追加	P.263参照
フォルダ名編集	P.263参照
フォルダ削除	
1件削除	P.263参照
選択削除	P.263参照
全削除	P.263参照
複数選択	複数の着うたフル®を選択して操作します。 ▶**操作したい着うたフル®にチェック**▶(機能) ▶**項目を選択** **削除** . . . . .P.265「1件削除」参照 **フォルダ移動**. P.264参照
サイト接続	着うたフル®にURL情報がある場合に、そのURLに接続します。 ▶YES
画像表示	曲に登録されているジャケット画像を表示します。 ●複数のジャケット画像が登録されている場合は、を押すと前または次のジャケット画像を表示できます。 ●画像が保存可能な場合は(保存)を押して「YES」を選択し、任意のフォルダを選択して保存できます。
歌詞表示	着うたフル®に登録されている歌詞画像を表示します。 ●複数の歌詞画像が登録されている場合は、を押すと前または次の歌詞画像を表示できます。最大7枚まで表示できます。 ●画像が保存可能な場合は(保存)を押して「YES」を選択し、任意のフォルダを選択して保存できます。
保存先フォルダ選択	P.264参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
1件削除	▶YES
全削除	フォルダ内に保存されているすべての着うたフル®またはWMAファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES ●フォルダ内にユーザフォルダがある場合は、ユーザフォルダ内の着うたフル®やユーザフォルダは削除されません。

お知らせ

<着信音設定>
- 着信音に設定したうた･ホーダイが再生不可の場合や再生期限切れのため更新が必要になったり、FOMAカードセキュリティ機能が設定された場合は、お買い上げ時の着信音に戻ります。
- 着信音に設定できるかどうかを確認するには「ミュージック情報」参照。

<プレイリストへ登録>
- パソコンで作成したプレイリストには曲を追加できません。

<タイトル初期化>
- 曲名やアーティスト名が無い場合は、それぞれ「不明」と表示します。

<画像表示>
- 画像によっては正しく表示されない場合があります。

<1件削除><全削除>
- 他の機能に設定していた着うたフル®を削除すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- WMAプレイリストに登録したWMAファイルを削除すると、WMAプレイリストから解除されます。
- 最後のWMAファイルを削除するときや、すべてのWMAファイルを削除するときは、ライセンスファイルも合わせて削除されます。

再生中・一時停止中・停止中の機能メニュー

プレーヤーメニュー	ミュージックプレーヤー使用中の再生画面からプレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.263参照
サウンド効果	
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON・OFF**
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド** . . . . 自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2**. . . イヤホン特有の閉塞感を補正し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF** . . . . リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル** . . . . . 通常の音質です。 **H.BASS1** . . . 低音を強調します。 **H.BASS2** . . . H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン** . . . . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
ミュージック情報	P.264参照
サイト接続	P.265参照
画像表示・歌詞表示・プレーヤー	再生画面の表示を変更します。 **画像表示** . . . . . ジャケット画像を全画面で表示します。 **歌詞表示** . . . . . 歌詞画像を全画面で表示します。 **プレーヤー** . . . 再生画面を表示します。
前画像表示・前歌詞表示	前のジャケット画像・歌詞画像を表示します。
次画像表示・次歌詞表示	次のジャケット画像・歌詞画像を表示します。

お知らせ

<サウンド効果>

●イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。

<画像表示・歌詞表示・プレーヤー><前画像表示・前歌詞表示><次画像表示・次歌詞表示>

●着うたフル®はジャケット画像を最大3枚まで、歌詞画像を最大7枚まで表示できます。
SD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルは、ジャケット画像を最大20枚まで、WMAファイルはファイルに埋め込まれた画像を最大2枚まで表示できます。ナップスター®アプリを使用した場合は、ジャケット画像として保存された画像を1枚表示できます。歌詞画像はありません。

プレイリストを利用する

聴きたい曲のリストを作成し､好きな順に音楽を再生します。
FOMA端末やWindows Media Playerで作成したプレイリスト､SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリストを利用して再生できます。

- 作成可能な最大プレイリスト数とプレイリスト1件あたりに登録可能な曲数は以下のとおりです。

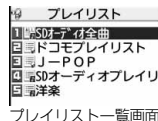
作成元	プレイリスト件数	1件あたりの登録可能曲数
FOMA端末で作成したプレイリスト	最大30（全曲リストを除く）	100
Windows Media Playerで作成したプレイリスト	最大100	250
SD-Jukeboxで作成したSDオーディオプレイリスト	最大99（全曲リストを除く）	99

- FOMA端末でプレイリストを作成する場合､FOMA端末､microSDカードに保存した着うたフル®とWindows Media Playerで保存したWMAファイルやSD-Jukeboxで保存したSDオーディオファイルを同じプレイリストに登録できます。

■プレイリスト一覧表示中のアイコンについて

アイコン	種類
[全曲リストアイコン]	全曲リスト
[SDオーディオ全曲リストアイコン]	SDオーディオ全曲リスト
[FOMAプレイリストアイコン]	FOMAプレイリスト
[SDオーディオプレイリストアイコン]	SDオーディオプレイリスト
[WMAプレイリストアイコン]	WMAプレイリスト

プレイリスト作成

1 プレーヤーメニュー画面▶プレイリスト

プレイリスト一覧画面

2 [iα]（機能）▶プレイリスト新規作成▶種別を選択して曲一覧画面を表示▶登録したい曲にチェック▶[✉]（完了）

- 曲は表示されている順に登録されます。

3 プレイリスト名を入力

- 全角18文字/半角36文字まで入力できます。

お知らせ

- 部分保存した着うたフル®や再生制限切れのファイルはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 プレイリスト一覧画面▶プレイリストを選択▶曲を選択

- プレイリスト一覧画面で[✉]（再生）を押すと､選択しているプレイリストの先頭の曲から再生されます。
- データBOXの｢ミュージック｣からフォルダを選択した場合は､プレイリストを再生できません。

プレイリスト曲一覧画面

Music

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。
再生モード変更	P.263参照
プレイリスト新規作成	P.267参照
プレイリストコピー	▶**プレイリスト名を入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。 ●SDオーディオプレイリストまたはWMAプレイリストをコピーした場合、FOMA端末内にFOMAプレイリストとしてコピーされます。
プレイリスト名編集	FOMAプレイリストの名前を編集します。 ▶**プレイリスト名を編集** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
追加登録	FOMAプレイリストに曲を追加します。 ▶**種別を選択して曲一覧画面を表示** ▶**追加したい曲にチェック**▶[メール]([完了]) ●曲は表示されている順で一覧の末尾に登録されます。
プレイリスト削除	FOMAプレイリストを削除します。 ▶**削除方法を選択** **1件削除**. . . . . プレイリストを1件削除します。 **選択削除** . . . . 削除したいプレイリストを選択し、[メール]([完了])を押します。 **全削除** . . . . . . 端末暗証番号を入力します。 ▶YES

お知らせ

<プレイリストコピー>
●曲が登録されていないWMAプレイリストはコピーできません。

プレイリスト曲一覧画面の機能メニュー

プレーヤーメニュー	プレーヤーメニュー画面を表示します。 ●プレーヤーメニュー画面を表示しても、再生状態は継続されます。
再生モード変更	P.263参照
ミュージック情報	P.264参照
追加登録	P.268参照
プレイリストから解除	FOMAプレイリストから曲を解除します。 ▶**解除方法を選択** **1件解除** . . . . .曲を1件解除します。 **選択解除**. . . . .解除したい曲を選択し、[メール]([完了])を押します。 **全解除**. . . . . . .プレイリストごと削除します。 ▶YES
曲順変更	FOMAプレイリストの曲順を変更します。 ▶**曲を選択**▶[上下]**で曲順を変更**▶[決定]([選択]) ●続けて変更する場合は、上記の操作を繰り返します。 ▶[メール]([確定])
プレイリストへ登録	P.264参照
画像表示	P.265参照
歌詞表示	P.265参照

お知らせ

<プレイリストから解除>
●パソコンで作成したプレイリストからは曲を解除できません。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリ

「ｉアプリ」とは、ｉモード対応携帯電話用のソフトです。ｉモードサイトからさまざまなソフトをダウンロード※すれば、自動的に株価や天気情報などを更新させたり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだり、FOMA端末をより便利にご利用いただけます。
さらに、リアルタイム通信やｉアプリコール(P.287参照)を用いた、多人数でのオンライン通信が可能なｉアプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。
また、ｉアプリにはｉウィジェット(P.290参照)対応のものがあります。
※別途パケット通信料がかかります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。(P.432参照)
- ｉアプリの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

<ｉアプリダウンロード>
サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからソフトをFOMA端末にダウンロードします。最大100件(1件あたり最大約2Mバイトまで)登録できますが、容量は他のデータと共通のため、データ量により登録件数は少なくなります。(P.508参照)

1 **ｉアプリダウンロードが可能なサイトを表示▶ソフトを選択**

2 **ダウンロードが完了したら「OK」を選択**
- 保存しているｉアプリがいっぱいのときはP.194参照
- ダウンロード完了後にソフト設定(通信設定、待受画面設定、位置情報利用、番組表ボタン設定、ｉアプリコール)の画面が表示されることがあります。各設定は、ソフト一覧からも設定できます。

3 **YES•NO**
YES . . . ｉアプリが起動します。
NO . . . . サイト画面に戻ります。

ダウンロードが中断したときは

100Kバイト以上のｉアプリをダウンロード中にCLRや(終話)を押してダウンロードを中断したり、電波状況などによりダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると続きからダウンロードが再開されます。「NO」を選択すると途中までダウンロードしたデータを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択した場合は部分保存できます。
部分保存した残りのデータはソフト一覧画面から再ダウンロードできます。

メール連動型ｉアプリをダウンロードしたときは

送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが自動的に作成され、メール連動型ｉアプリのタイトルがフォルダ名になります。
- メール連動型ｉアプリは5件まで保存できます。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリがすでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メールセキュリティ設定中はメール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- 送信／受信フォルダ一覧にｉアプリメール用フォルダが5つある場合、メール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
- ｉアプリメール用フォルダのみが残っているメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、既存のｉアプリメール用フォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、既存のフォルダを利用します。利用しない場合は「NO」を選択すると、既存のフォルダを削除し、フォルダを新規作成するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを新規作成せずにメール連動型ｉアプリをダウンロードすることはできません。

お知らせ
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは「P-SQUARE」のサイトからダウンロードできます。
ｉMenu→メニューリスト→ケータイ電話メーカー→P-SQUARE

サイト接続用QRコード

- 接続するサイトによっては、ダウンロードできないことがあります。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するには、あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」での設定が必要です。

お知らせ

- SSL/TLS対応のページからソフトの情報やソフトをダウンロード中のときは、画面の上に「SSL」が表示されます。
- ダウンロード時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
- 異なるFOMAカードでダウンロード済みのソフトを再ダウンロードする場合、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。おサイフケータイ対応ｉアプリの場合、ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。「YES」を選択するとダウンロードが開始されます。ダウンロード終了後、異なるFOMAカードでダウンロードしたソフトとICカード内のデータは削除されます。
- ソフトによっては、ICカード機能動作中やICカードロック中はダウンロードできない場合があります。
- ダウンロード完了後すぐに起動するソフトによっては、保存できないソフトもあります。
- ICカード内のデータ容量によっては、ソフト保存領域に空きがあってもおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。確認画面に従い、表示されるソフトを削除してから再度ダウンロードを行ってください。(ダウンロードするソフトの種類によって、一部のソフトが削除対象とならない場合があります。)
  ソフトによってはお客様がソフトを起動して、ICカード内のデータを削除してから、ソフト自体の削除を行うものがあります。
- 「ｉアプリメール」とは、メール連動型ｉアプリで送信･保存、メール連動型ｉアプリ用として受信したメールのことです。ｉアプリメールは、ｉアプリメール用フォルダに自動的に保存されます。

ソフト情報表示設定

ソフトダウンロード時にソフト情報を表示できます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ソフト情報表示設定▶表示する･表示しない

＜ｉアプリ実行＞

ｉアプリを起動する

1 ｉα(1秒以上)▶起動したいソフトを選択

ソフト一覧画面

- ソフト一覧画面では、ｉアプリの種類や対応している機能がアイコンで表示されます。
  - :GPS対応ｉアプリ
  - :おサイフケータイ対応ｉアプリ
  - :管理情報ｉアプリ
  - :microSDカード対応ｉアプリ
  - :縦全画面表示対応ｉアプリ
  - :横表示対応ｉアプリ(全画面非対応)
  - :横全画面表示対応ｉアプリ
  - :ｉアプリDX
  - :メール連動型ｉアプリ
  - :部分保存しているｉアプリ
  - :自動起動に設定中
  - :ｉアプリ待受画面に設定中
  - :自動起動とｉアプリ待受画面の両方に設定中
  - :ｉアプリ待受画面に設定可能
  - :SSL/TLSページからダウンロードしたことを表します。
  - :ICアプリが未設定であることを表します。
  - :異なるFOMAカードでダウンロード／バージョンアップされていることを表します。
- microSDカード内のソフト一覧画面を表示するには、「MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ソフト一覧」の操作を行います。
- FOMA端末内のソフト一覧画面で📷(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- ｉアプリDXの起動時や実行中に、FOMA端末内の情報や機能を利用する旨の確認画面が表示される場合があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動した際は、FOMAカードとICカードの対応付けを行うかどうかの確認画面が表示されます。対応付けを行ったFOMAカード情報は、ICオーナー情報としてICカードに登録されます。

つづく

●部分保存しているｉアプリを選択した場合は、残りのデータを取得できます。
●ｉアプリ実行中は「」や「」が表示されます。
●ｉアプリを終了するにはCLRを1秒以上またはを押して「YES」を選択します。
●最後に起動したソフトが最上段に表示されます。ソフトの並び順は手動で変更できません。
●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

お知らせ

●ソフトから他のソフトを起動できるときは確認画面が表示されます。起動するソフトが指定されていない場合はソフトを選択します。
●ｉアプリDXを起動するには、あらかじめ「時計設定」で日付･時刻を設定しておいてください。
●ソフトの実行中に再生されるメロディは、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、通話中は再生されません。
●ソフトを実行中に、通信設定が必要な場合があります。
●ｉアプリ実行中に一定時間内の通信回数が極端に多い場合は、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
●ソフトによっては、ｉアプリからWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能なども利用できます。ただし、ｉアプリ待受画面として実行している場合は利用できません。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は通常の画像と一緒には保存されず、ｉアプリの一部として保存、利用されます。
●ｉアプリからカメラを起動した場合、ｉアプリによっては、画像サイズや画質などを設定できることがあります。
●ｉアプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※ｉアプリで利用する画像とは
･カメラ連携（連動）アプリからカメラを起動して撮影した画像
･ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像
･サイトやインターネットホームページからダウンロードした画像
･ｉアプリがデータBOXから取得した画像
●メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは正しく表示できない場合があります。

お知らせ

●ｉアプリによっては、ｉアプリ上で使用している各種情報をｉアプリ終了時に保存することがありますが、ｉアプリ実行中に電池切れアラームが鳴ったり、電池パックを外した場合は、各種情報が保存されないことがあります。電池残量が「」のときは、を押すか各ソフトの操作に従ってｉアプリを終了してください。
●ソフトによっては、microSDカードにデータを保存できるものもありますが、他の機種では利用できないことがあります。microSDカードを利用するソフトは「ｉアプリデータ」で確認できます。
●ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなります。削除やソフト情報の表示などは可能です。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
●ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
●IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止･再開要求を行ったり、データを送信した場合、携帯電話は通信を行い、「」が表示されます。この際、通信料はかかりません。
●ソフトによっては、ｉアプリ上でマイメニューの登録や削除ができるものがあります。
●ソフトによっては、ｉアプリから着うたフル®をダウンロードすることができるものがあります。取得した着うたフル®は、通常の着うたフル®と同じ場所に保存できます。
●ｉアプリ作成者の方へ
ソフトを作成中、正常に動作しないときはトレース情報表示が参考になる場合があります。
トレース情報の確認方法は、P.273「トレース情報」をご覧ください。
●「MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリについて」の操作を行うと、ｉアプリについての情報が表示されます。

ｉアプリ／ｉウィジェット

バーコードリーダーを利用する

ソフトによってはカメラを利用してJANコード、QRコード、CODE128を読み取れます。
iアプリ起動中にバーコードリーダーを起動させる操作を行うと、カメラ(バーコードリーダー)が起動します。読み取りたいバーコードをガイド枠に合わせて撮影します。

- CODE128を読み取るには、対応しているiアプリをダウンロードする必要があります。
- 読み取ったデータはiアプリで利用・保存されます。

iアプリタッチを利用する

Bluetooth通信を利用して対戦などができるソフトの場合、iアプリタッチが搭載された他のFOMA端末とマークをかざすことで、簡単にBluetooth接続を行うことができます。

- iアプリ待受画面から起動している場合やICカードが使用中の場合は利用できません。
- ヘッドセットなどのBluetooth機器と接続しているときは、iアプリタッチが利用できないことがあります。その場合は、Bluetooth機器との接続を解除してから利用してください。

トレース情報

ソフトに異常があった場合に、その内容を確認できます。

1 **MENU▶iアプリ▶iアプリ実行情報▶トレース情報**

- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- トレース情報の画面で「機能」が表示されているときは、iα(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。
「microSDへ保存」を選択し、「YES」を選択すると情報をmicroSDカードへ保存します。

セキュリティエラー履歴

セキュリティエラーによりiアプリが終了した場合に、その内容を確認できます。

1 **MENU▶iアプリ▶iアプリ実行情報▶セキュリティエラー履歴**

- セキュリティエラー履歴の画面で「機能」が表示されているときは、iα(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。
「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。
- デスクトップに表示された「エラー」を選択してもセキュリティエラー履歴が表示されます。

ソフト一覧画面の機能メニュー

機能	説明
iアプリ To 設定	サイトやメールの中のリンクからiアプリの起動を許可するかどうかを設定します。また、ICカード機能対応読み取り機にFOMA端末をかざしたときなどについても設定できます。ソフトごとに設定できます。 **▶設定したい項目にチェック▶✉(完了)** ●ソフトによっては設定できない項目があります。
自動起動時刻設定	P.286参照
ソフト設定	
待受画面設定	P.289参照
通信設定	iアプリ実行中に通信するかどうかを設定します。 **▶通信する・通信しない▶✉(完了)**
待受画面通信	P.289参照
アイコン情報	iモードメール、SMS、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内/圏外アイコンの情報をiアプリに利用させるかどうかを設定します。 **▶利用する・利用しない▶✉(完了)**

つづく

	着信音／画像変更	ｉアプリが着信音･待受画面などの設定を変更するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する･許可しない･変更ごとに確認** ▶✉(完了) ●「変更ごとに確認」を選択した場合は、ｉアプリから着信音･待受画面などの設定を変更しようとするたびに確認画面が表示されます。
	電話帳／履歴参照	ｉアプリが電話帳･リダイヤル･着信履歴の参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する･許可しない**▶✉(完了)
	トルカ参照	ｉアプリがトルカの参照をするかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**許可する･許可しない**▶✉(完了)
	位置情報利用	ｉアプリが位置情報を利用するかどうかを設定します。ｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**利用する･利用しない**▶✉(完了)
	番組表ボタン設定	ワンセグから起動する番組表ｉアプリに設定します。ワンセグと連携機能があるｉアプリDXにのみ設定できます。 ▶**設定する･設定しない**▶✉(完了)
	地図設定	GPS機能で使用するｉアプリに設定します。 ▶**設定する･設定しない**▶✉(完了)
	ｉアプリコール	P.288参照
ソフト情報		ｉアプリのソフト名、バージョンなどを表示します。
バージョンアップ		▶YES
デスクトップ／ 登録		
	デスクトップ貼付	P.30参照
	ボタン長押し登録	P.386参照
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶**削除したいソフトにチェック**▶✉(完了)▶YES
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
microSDへ移動		P.350参照
本体へ移動		P.350参照
省電力設定		「α省電力設定」を「設定する」にしているときに、ｉアプリごとに省電力モードを有効にするかどうかを設定します。 ▶**有効にする･無効にする**

お知らせ

<アイコン情報>

● ｉアプリ待受画面の「アイコン情報」を「利用する」に設定すると、未読のメール･メッセージ、電池残量、マナーモード、電波受信レベル、圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号と同様にインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
●アイコン情報が必要なソフトの場合、「利用しない」に設定すると動作しない場合があります。

<バージョンアップ>

●ソフトによっては、起動時にバージョンアップできるものもあります。
●バージョンアップ時に、「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」を送信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。「YES」を選択するとバージョンアップが開始されます。この場合、送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号」はインターネットを経由してIP(情報サービス提供者)に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP(情報サービス提供者)などに通知されることはありません。
●以下の場合は、メール連動型ｉアプリをバージョンアップできません。
・対応するｉアプリメール用フォルダの詳細を表示中
・メールセキュリティ設定中
・対応するｉアプリメール用フォルダにセキュリティが設定されているとき

メール連動型ｉアプリを削除するときは

ｉアプリメール用フォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダを残した場合、送信／受信メール一覧からメール本文を確認できます。

YES. . . . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除します。
NO. . . . . . . ソフトのみ削除して、ｉアプリメール用フォルダは残します。
Cancel . . . ソフト･ｉアプリメール用フォルダとも削除せず元の画面に戻ります。

- 以下の場合は、「YES」を選択してもソフト、ｉアプリメール用フォルダともに削除できません。
  ･メールセキュリティ設定中　･フォルダにセキュリティが設定されているとき
  ･フォルダの詳細を表示中　･フォルダに保護メールが含まれているとき

microSDカード内にデータがあるｉアプリを削除するときは

microSDカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

YES. . . . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除します。確認画面で再度「YES」を選択します。「削除」または「選択削除」を実行した場合は端末暗証番号の入力が必要になります。
NO. . . . . . . ソフトのみ削除して、microSDカード内のデータは残します。
Cancel . . . ソフト･microSDカード内のデータとも削除せず元の画面に戻ります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを削除するときは

ICカード内のデータも削除する旨の確認画面が表示されます。

- 「iD 設定アプリ」は削除できません。
- ICカード機能動作中やICカードロック中は削除できない場合があります。

お買い上げ時に登録されているｉアプリ

お買い上げ時には以下のｉアプリが登録されています。

- お買い上げ時に登録されているｉアプリは削除できます。削除したｉアプリは「P-SQUARE」のサイト（P.193参照）から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能（P.37参照）が設定されます。
- 再ダウンロードサービス期限
  ･「ニコリの数独」：2013年5月末日
  ･「ケータイTOOL<GLOBAL>」：2013年5月末日
  ･「日英版／日中版　しゃべって翻訳 for P」：2013年4月末日
  ･「ファミリー伝言板」：2010年５月末日
  ･「NIKKEI NET」：2012年5月末日
  ･「時刻表ウィジェット」：2012年5月末日
  ･「P-SQUARE INFO」：2010年5月末日
  ･「付箋」：2013年5月末日
- ｉアプリ用追加データダウンロードなどの期限
  ･「日英版／日中版　しゃべって翻訳 for P」：2013年5月末日
  ･「ファミリー伝言板」：2010年５月末日
  ･「NIKKEI NET」：2012年5月末日
  ･「時刻表ウィジェット」：2012年6月末日
  ･「P-SQUARE INFO」：2010年5月末日
- 再ダウンロードやｉアプリ用追加データダウンロードなどのサービスは、期限内であっても予告なく休止または終了する場合があります。

ニコリの数独

数独は、空いているマスに1～9までの数字を入れるパズルゲームです。ウィジェットアプリでは達成率の確認や、ゲームの起動を行うことができます。

1 **ソフト一覧画面▶ニコリの数独**

2 **メニューを選択**

あなたの問題集. . . .解答する問題を選択します。
遊び方. . . . . .アプリの遊び方を表示します。

ケータイTOOL<GLOBAL>

海外で便利に使える実用ツールです。
「円」「ドル」「ユーロ」などの通貨、長さや重さなどの単位を自由な組み合わせで設定し、簡単に相互換算できます。
また、海外での通話、iモードの利用方法を確認できます。

1 **ソフト一覧画面▶ケータイTOOL<GLOBAL>▶「免責」をよく読む▶✉(OK)**

●「次回からこの画面を表示しない」にチェックを付けると、次に起動するときには「免責」は表示されません。

2 **メニューを選択**

通貨換算 . . . . 「円」「ドル」「ユーロ」などの通貨を自由な組み合わせで簡単に換算できます。
単位換算 . . . . 長さや重さなどの単位を自由な組み合わせで簡単に換算できます。
WORLD WING . . . 海外での通話、iモードの利用方法を確認できます。

iアプリ／iウィジェット

ファミリー伝言板

ファミリー伝言板はメモやスケジュールを家族や友達と手軽に共有できるアプリです。ユーザ登録してグループに参加すると入力したメモやスケジュールが同じグループにいるユーザどうしで共有できます。また、対応するテレビを使ってグループのメモやスケジュールを確認することができます。

- ●ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ●詳しくは、各画面でMENU（説明）を押して詳細をご覧ください。
- ●対応テレビとテレビでのアクセス方法は機能メニューのインフォメーションでご確認ください。

1 ソフト一覧画面▶ファミリー伝言板▶「利用規約」をよく読む▶同意のうえ利用する

- ●「次回から表示しない」にチェックを付けると、次に起動するときには「利用規約」は表示されません。

2 ユーザ登録する

初回起動時には、ユーザ登録が必要です。「ユーザーの登録」を選択し、画面の指示に従ってユーザ登録してください。

3 グループを設定する

初回起動時には、参加するグループの設定が必要です。

新しいグループを作る. . . グループの管理者としてグループを作成します。画面の指示に従って、作成してください。

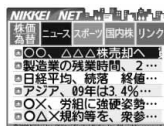
グループに参加. . . . . すでに作成されているグループに参加します。画面の指示に従って、グループに参加してください。

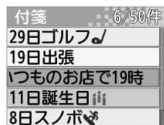
1人のユーザが参加できるのは、1グループのみです。

NIKKEI NET

日経の最新ニュースや日経平均株価情報を素早くチェックできるウィジェットアプリです。

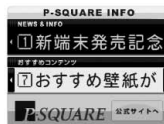
ご利用期間によって閲覧できるニュースに制限があります。詳しくはウィジェット起動時にご確認ください。

- ●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

付箋

付箋アプリは付箋を簡単に作成、編集、閲覧できるウィジェットアプリです。付箋は最大300文字、50件まで登録することができます。また、付箋の色、表示位置を変更することが可能です。

P-SQUARE INFO

「P-SQUARE INFO」は、メーカーサイトP-SQUAREの更新情報やお勧めコンテンツを定期的に配信するウィジェットアプリです。

表示情報を選択するとｉモードブラウザを起動し、P-SQUAREに移動します。

- ●ご利用には別途パケット通信料がかかります。

時刻表ウィジェット

時刻表をダウンロードし、列車の発車時刻まで分／秒単位でカウントダウン表示するウィジェットアプリです。発車時刻のアラーム通知可能なスケジュール登録機能もあります。時刻表はメニューから更新でき、さらに、GPS機能を利用して最寄り駅を探せます。

- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。

Powered by JRトラベルナビゲータ

1 **ソフト一覧画面▶時刻表ウィジェット**

2 **「免責事項」をよく読む▶ⓘα(承諾)**

3 **項目を選択**

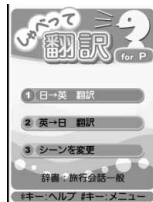
駅名入力／時刻表登録 . . . 利用したい駅の時刻表を登録します。
全体設定／ヘルプ／免責事項
. . . . フォントサイズの設定や、ヘルプ、免責事項を表示します。
アプリ終了 . . . . アプリを終了します。

日英版／日中版　しゃべって翻訳 for P

画面は日英版のものです。

© ATR-Trek

FOMA端末に翻訳したい文章を声で話すだけで日本語を英語や中国語に、英語や中国語を日本語に翻訳してくれるアプリです。

- 使用開始から60日間はすべての機能が無料でご利用いただけます。61日以降は一部翻訳できる文章が制限されます。すべてのサービスを利用するには、株式会社ATR-Trekの「しゃべって翻訳」サイトからマイメニュー登録（有料）が必要です。
（接続方法：i Menu→メニューリスト→辞書／学習／便利ツール→辞書／翻訳→しゃべって翻訳）
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

1 **ソフト一覧画面▶日英しゃべって翻訳_P・日中しゃべって翻訳_P▶SKIP**

- 日英版を利用したいときは「日英しゃべって翻訳_P」を選択します。日中版を利用したいときは「日中しゃべって翻訳_P」を選択します。

2 **「しゃべって翻訳とは」と「ご利用規約」をよく読む▶同意する**

- はじめてご利用される際には、「ご利用規約」に同意いただく必要があります。

3 **「ご利用注意事項」をよく読む▶OK▶はい**

- 「いいえ」を選択すると、次に起動するときには「しゃべって翻訳とは」、「ご利用規約」、「ご利用注意事項」は表示されません。

4 **はい▶OK**

- 初回起動時には「アプリの使い方」が表示されます。

5 メニューを選択

日→英　翻訳. . . . 日本語から英語へ翻訳を開始します。
英→日　翻訳. . . . 英語から日本語へ翻訳を開始します。
日→中　翻訳. . . . 日本語から中国語へ翻訳を開始します。
中→日　翻訳. . . . 中国語から日本語へ翻訳を開始します。
シーンを変更. . . . 翻訳したい言葉に合った場面を選択します。

- [iα]を押すと、画面表示が日本語と英語や中国語で切り替わります。

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。
お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利なｉアプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル･番組内容･開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグを起動したり、ワンセグから番組表を起動することもできます。
気になった番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーなどに録画予約できます。（リモート録画予約機能に対応しているDVDレコーダーなどが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です。）さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワード、または画面上部のピックアップキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDプレーヤーのリモコン操作ができます。
（一部対応していない機種もあります。）

- 赤外線リモコンの詳細については、P.362参照。
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の時刻を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

視聴予約機能について

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約ができます。

視聴予約の方法

1. ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶視聴予約したい番組を選んで[iα]（[メニュー]）▶視聴予約▶予約実行▶画面に従って操作

録画予約機能について

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約ができます。

録画予約の方法

1. ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶録画予約したい番組を選んで[iα]（[メニュー]）▶＃ワンセグ録画予約▶予約実行▶画面に従って操作
（録画予約したい番組を選んで[#]を押しても録画予約ができます。）

リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーなどをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約ができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法

1. DVDレコーダーなどにインターネット接続の設定をする
（ご利用のDVDレコーダーなどの取扱説明書をご確認ください）
2. ソフト一覧▶Gガイド番組表リモコン▶[iα]（[メニュー]）▶リモート録画予約▶ガイダンスに従って操作

番組予約の方法

初期設定完了後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーなどを接続し、録画予約ができます。

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。

iD 設定アプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイや「iD」対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じてお店によって使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、「iD」に対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、「iD 設定アプリ」またはカード発行会社が提供するカードアプリで設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによっては「iD 設定アプリ」で設定の上、カードアプリの設定を行う必要があります。
- 「iD」対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- 「iD 設定アプリ」は削除できません。ICオーナーを初期化する場合は、事前に「iD 設定アプリ」の「設定メニュー」から「iDアプリ初期化」を行ってください。
- 「iD」に関する情報については、「iD」のｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→「iD」

サイト接続用QRコード

DCMXクレジットアプリ

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD」に対応した、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。DCMXには、月々1万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMX/DCMX GOLDの各サービスがございます。
DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

入会申し込み・審査※1
↓
カード情報設定
↓

使う	確認する / 変更する
面倒なチャージは不要！カード情報設定済みのケータイを下のiDのマークがあるお店でかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。	**確認する** DCMXのサービス内容や今月の利用可能額※3、ご利用明細などもアプリから確認！ **変更する** 機種変更の設定や有効期限の更新もアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 DCMX miniのみ可能です。

●サービス内容やお申し込み方法の詳細については、DCMXのｉモードサイトをご覧ください。
ｉモードサイト：ｉMenu→DCMX iD

サイト接続用QRコード

お知らせ

●カード情報設定が完了するまでは、ソフト一覧画面に「未設定」または CHECK! と表示されます。
●本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
●各種設定、操作時には、パケット通信料がかかります。

■おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意
ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

いっしょにデコ

お互いのFOMA端末の マークをかざすだけで、一緒に撮影した静止画に2人でスタンプを貼ったり、線や文字を描いたりしてデコレーションできるｉアプリタッチ（P.273参照）対応アプリです。
●デコレーションした画像は「マイピクチャ」内のフォルダに保存することができます。
●詳細は、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルGoogleマップ

地図を表示して、地域情報やお店情報、ユーザ作成コンテンツを簡単に探し出すことができます。また、航空写真モードに切り替えることや、ストリートビューを見ることができます。また、路線検索で目的地までの移動方法を調べ、目的地までのナビゲーションをすることもできます。

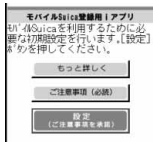
© 2009 Google - 地図データ © 2009 ZENRIN

■地図画面について
[メール]：メニューの表示
[iα]：検索（地域のお店やサービスの情報、場所を検索して地図上に表示）
[上下左右]：カーソルの移動
[決定]：コンテキストメニュー（現在地の住所、ここまでの経路、ここからの経路、ストリートビュー、お気に入りに保存、付近を検索）
[1]：ズームアウト
[2]：地図／航空写真の切り替え
[3]：ズームイン
[0]：現在地の表示
[＊]：お気に入りに保存／表示
●初めて利用するときは、利用規約に同意する必要があります。
●ご利用には別途パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフル／パケ･ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
●詳細はメニューの「ヘルプ」をご覧ください。

モバイルSuica登録用ｉアプリ

「モバイルSuica登録用ｉアプリ」は、JR東日本が提供するおサイフケータイ対応サービス「モバイルSuica」をご利用いただく前に必要な初期設定を行う、NTTドコモが提供するｉアプリです。本アプリにて初期設定を行った後、画面に従ってJR東日本サイトからモバイルSuicaアプリをダウンロードし、会員登録を行ってください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「ご注意事項（必読）」に承諾いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 本アプリは、初期設定が完了した後に削除できますが、設定したICカード内エリアは占有された状態となります。当該エリアを他のサービスにご利用いただくためには、ICカード内のデータを全て初期化（以下、フルフォーマット）していただく必要があります。
- フルフォーマットを実施するには、ドコモショップへのご来店が必要です。
- フルフォーマットを実施すると、ICカード内の全てのデータが削除されます。
- フルフォーマットを行った後にモバイルSuicaサービスを再度ご利用になる場合は、本ｉアプリにて再度初期設定をしていただく必要があります。
- モバイルSuicaに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト→おサイフケータイ
  →対応サービス→モバイルSuica
- 「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

ｉアバターメーカー

ｉアバターメーカーでできること

■アバターをつくる

ｉアバターメーカーに用意された様々なパーツを利用して、アバターを作成することができます。カメラで撮影した写真やデータBOXに保存してある画像を見ながら作成することや、あらかじめ用意されたアバターの見本を元に作成できます。

■アバターをつかう

作成したアバターは、デコメール®、デコメ®絵文字、デコメアニメ®の素材や、ｉコンシェルに対応したマチキャラに変換して利用できます。

また、作成したアバターをｉアバターサイトに登録することで、いろいろな洋服アイテムに着せ替えたり、コンテストや対応サイトで公開することができます。

© 2009 Acrodea, Inc./
© eitarosoft

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- アバターをデコメアニメ®やマチキャラに変換する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトにアバターを登録する際には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアバターサイトで着せ替えを行うには、アイテム購入が必要な場合があります。
- ｉアバターは、株式会社ディーツーコミュニケーションズの商標です。
- アバターメーカーは、株式会社アクロディアの商標です。

楽オク☆アプリ

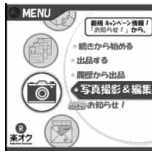
「楽オク☆アプリ」は、楽オクにいつでもどこでも簡単に出品できる便利なアプリです。出品操作はガイド表示付きで、「体験出品」もできるのでオークションがはじめてという方でも安心して使えます。説明文が簡単に作れる「かんたん入力」機能や写真撮影・編集、履歴の保存など便利な機能もたくさんあるので、サイトからの出品よりも時間がかからずに出品することができます。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録とマイメニュー登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→オークション

サイト接続用QRコード

■ウィジェットアプリ対応（P.290参照）

楽オクのおすすめ商品や自分で出品・入札した商品の情報が表示されるので、気になるオークションの状況が簡単に確認できます。

地図アプリ

位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができる便利なｉアプリです。災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、地図トーク機能を利用すれば、仲間と地図上でメッセージのやり取りができます。

- 詳しくは、P.307をご覧ください。

ｉアプリバンキング

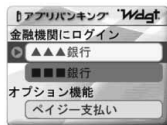
ｉアプリバンキングとは、FOMA端末からモバイルバンキング（ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替など）を、便利にご利用いただくためのｉアプリです。ｉアプリを起動する際に、ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。ペイジーによる請求書・納付書のお支払いも可能です。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- ｉアプリバンキングでモバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのインターネットバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニューリスト
  →モバイルバンキング
  →ｉアプリバンキング

サイト接続用QRコード

■ウィジェットアプリ対応（P.290参照）

ｉアプリバンキングウィジェットでは、ウィジェット上でパスワードを入力するだけで簡単にｉアプリバンキングを起動することができ、ご自身の登録している金融機関やオプション機能の利用がより便利に行えます。

Start! iウィジェット

「Start! iウィジェット」は、iウィジェットの使いかたを動画で見ることのできるアプリです。
また、iモード接続を行い、FOMA端末に保存されているもの以外のアプリをダウンロードできるサイトを表示することもできます。

- 「ダウンロード」を選択し、iモード接続を行う際は、別途パケット通信料がかかります。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

マクドナルド トクするアプリ

マクドナルドの新商品など、おすすめ情報をいち早くチェックできます。マクドナルドで使える割引クーポン「かざすクーポン」をダウンロードして使うことができます。
「かざすクーポン」のご利用は「トクするケータイサイト」への会員登録後、アプリからお好みのクーポンを選択・設定し、マクドナルドの店頭に設置されている読み取り機にかざしてご利用ください。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- 「マクドナルド トクするアプリ」に関する情報はマクドナルド公式サイト「トクするケータイサイト」をご覧ください。
  iモードサイト：iMenu→メニューリスト
  →グルメ／レシピ→マクドナルド トクする
- 「かざすクーポン」はご利用いただけない店舗があります。「かざすクーポン」が使えない地域では、「見せるクーポン」をご利用いただけます。
- 「おすすめ情報」は「トクするケータイサイト」の非会員でもご覧いただけます。
- 「マクドナルド トクするアプリ」の機能やサービス内容は、変更になる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

<かざすクーポンの利用方法>

本アプリを起動
▼
クーポンと使用枚数を選ぶ
▼
「決定」を押してクーポン情報を設定完了
▼
店頭の読み取り機にかざして注文

■ウィジェットアプリ対応（P.290参照）

（P.290参照）

マクドナルドの「おすすめ情報」が更新されると、ウィジェットアプリのマクドナルドの看板が回転してお知らせします。
看板を選択するとおすすめ情報が表示されます。
おすすめ情報の「もっと詳しく」を押すと、より詳しい情報を見ることができます。

iWウォッチ

「iWウォッチ」は、iウィジェットにてグラフィカルに時計を確認することができるアプリです。
デザインや色は、お好みに応じて変更することが可能です。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

株価アプリ

「株価アプリ」は、iウィジェットにて株価情報を簡単に見ることのできるアプリです。
表示できる株価情報は、「日経225／TOPIX／ヘラクレス指数」の3指数になります。
それぞれの指数の現在値および前日比を表示することが可能です。
また、チャート情報についても、「日中足／日足／週足／月足」と切り替えることができます。

指数の種別（日経225／TOPIX／ヘラクレス指数）
チャート
指数の現在値
指数の前日比

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

- はじめてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 指数の現在値については、約20分遅れの情報となります。
- 本アプリの情報は株式など売買及び売買の支援をするものではありません。
- 本アプリの情報の内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねます。

Googleモバイル

「Googleモバイル」は、モバイルWeb検索機能が利用できるアプリです。過去に入力した検索ワードや、トレンド急上昇中のワードの入力も簡単にできるので便利です。
また、メールサービス（Gmail）、乗り換え案内などの便利な Google サービスを簡単に呼び出すことができます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

FOMA通信環境確認アプリ

FOMA通信環境確認アプリとは、FOMA端末がFOMAハイスピードエリアを利用できるかどうかを確認するアプリです。
- FOMA通信環境確認アプリを利用する際は、「ご利用の注意」に同意したうえでご利用ください。
- 通信環境確認時の通信環境（天候や電波状況、ネットワークの混雑状況など）によっては、同一の場所・時間帯であっても、異なる結果や圏外である旨の結果が表示される場合があります。
- 本アプリのご利用中に他の機能を利用すると正しく確認できない場合があります。

※画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

<iアプリ設定>

iアプリの設定を行う

1 MENU ▶ **iアプリ ▶ iアプリ設定 ▶ 以下の操作を行う**

項目	参照
自動起動設定	P.286参照
ソフト情報表示設定	P.271参照
iウィジェットローミング設定	P.292参照
iウィジェット効果音設定	P.292参照
iアプリコール機能設定	
iアプリコールダウンロード設定	P.288参照
iアプリコール音設定	P.288参照

つづく

ｉアプリ音優先設定	ミュージック再生中やワンセグ起動中にｉアプリを起動した際に、音声の出力をミュージック／ワンセグ優先にするかｉアプリ優先にするかを設定します。 ▶**ミュージック／ワンセグ優先・ｉアプリ優先**
α照明設定	ｉアプリ起動中のバックライトの点灯のしかたを設定します。 ▶**項目を選択** **システム依存**．．．「照明設定」に従います。 **ソフト依存**．．．．ソフトの設定に従います。 **常時点灯**．．．．．．常時点灯します。
α省電力設定	ｉアプリ起動中にFOMA端末を閉じた際に、ｉアプリを一時停止状態にして電池の消費を減らす省電力モードに設定します。 ▶**設定する・設定しない** ●ｉアプリを起動したときから終了するまでが有効です。 ●本機能を「設定する」にしていても、ｉアプリごとに設定できる「省電力設定」を「無効にする」にした場合は、省電力モードは無効になります。
αバイブレータ	ｉアプリ起動中のバイブレータの振動のしかたを設定します。 ▶**システム依存・ソフト依存** **システム依存**．．．「バイブレータ」の設定に関わらず動作しません。ソフトによっては動作する場合があります。 **ソフト依存**．．．．ソフトの設定に従います。
ｉアプリ設定確認	「ｉアプリ設定」の各設定内容を確認します。

お知らせ

<α照明設定><αバイブレータ>

●ソフトによってはバックライト、バイブレータの設定が「OFF」になっているものがあります。「ソフト依存」で実行するとそれらは動作しないので、動作させたいときは、「システム依存」に設定してください。

ｉアプリを自動起動する

設定した日時に自動的にｉアプリが起動します。自動起動時刻設定で起動する日時を設定します。

自動起動設定

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかを設定します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶自動起動設定▶許可する・許可しない

自動起動時刻設定

自動起動する日時を設定します。3件まで設定できます。

1 ソフト一覧画面▶iα(機能)▶自動起動時刻設定

2 設定したい項目にチェック▶✉(完了)

時間間隔設定．．．ソフトに設定された間隔で起動します。設定が終了します。

起動時刻設定．．．設定した時刻に自動的に起動します。

3 起動時刻を選択▶設定する日付・時刻を入力

4 繰り返しなし▶繰り返しの種類を選択

●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。

5 ✉(完了)を押す

自動起動情報

ソフトが正しく自動起動したかどうかを確認します。また、ICカードからの起動に失敗した場合の情報も確認できます。自動起動情報は3件まで、ｉアプリから設定された自動起動は1件、ICカードからの起動に失敗した場合の情報は1件記憶されます。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶自動起動情報

起動○. . . .正常に自動起動しました。
起動×. . . .自動起動しませんでした。
「起動」が表示されている場合は、●(起動)を押してソフトを起動できます。
未起動. . . .まだ自動起動していません。

お知らせ

- 次の場合、ソフトは自動起動しません。
  - ・FOMA端末の電源がOFFの場合
  - ・日付･時刻が設定されていない場合
  - ・他の機能が起動中の場合
  - ・オールロック中
  - ・パーソナルデータロック中
  - ・アニメーション、Flash画像再生中
  - ・「ソフトウェア更新」の予約時刻、「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームの設定時刻と同じ時刻の場合
  - ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から10分以内の起動時刻が設定されていた場合
- 自動起動ができなかった場合、デスクトップに「ソフト」が表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報が表示されます。

ｉアプリコールを利用する

ｉアプリコールとは離れた場所にいる友達をｉアプリ上で呼び出し、ネットワーク対戦や情報を共有したりできる機能です。

- ｉアプリコールは友達から直接呼び出される場合と、IP(情報サービス提供者)から呼び出される場合の2通りあります。
- ｉアプリコールの受信を一括拒否することもできます。
  詳細は「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA編>)」をご覧ください。

ｉアプリコールを送信して招集する

1 ｉアプリコール対応ｉアプリを起動中▶ｉアプリコールの操作を行う▶YES

- ｉアプリによって操作は異なります。

ｉアプリコールを受信する

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール受信音が鳴り、ｉアプリコールに応答するかどうかの確認画面が表示されます。

1 ｉアプリコールの確認画面が表示される▶項目を選択

応答. . . ｉアプリコールに応答します。対象のｉアプリが起動します。
拒否. . . ｉアプリコールに応答しません。
保留. . . ｉアプリコールを一旦保留します。画面上部に「 」が表示され、デスクトップに「ｉアプリコール」が表示されます。●を押し、「ｉアプリコール」を選んで●を押すと、ｉアプリコール履歴が表示されます。

- ｉアプリコールによっては確認画面を表示せずに直接ｉアプリを起動させるものもあります。
- ｉアプリコールに応答するとパケット通信料がかかる場合があります。
- 待受画面以外を表示中は、「 」でのみお知らせします。
- すでに呼び出し対象のｉアプリを起動中の場合の操作は、ｉアプリによって異なります。

「応答」を選択した際に対象となるｉアプリがFOMA端末になかったときは

対象となるｉアプリをダウンロードするかどうかの確認画面やサイトに接続するかどうかの確認画面が表示される場合があります。ダウンロードしたり、サイトに接続したりするときは「YES」を選択します。「NO」を選択すると待受画面に戻りますが、この場合、ｉアプリコール履歴は「応答」になります。

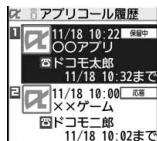
ｉアプリコール履歴を確認する

ｉアプリコールを受信すると、ｉアプリコール履歴に30件まで記憶され、相手への返信状況を確認できます。

- 30件を超えると古い履歴から自動的に削除されますが、保留中のｉアプリコールの履歴は削除されません。(30件すべてが保留中の場合は削除されます。)

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリコール履歴**

保留中：保留中のｉアプリコール(未返信)
応答：応答済みのｉアプリコール
拒否：拒否したｉアプリコール
期限切れ：期限切れのｉアプリコール

- 保留中のｉアプリコールの履歴を選んで●(起動)を押すと、再度ｉアプリコールの確認画面を表示できます。(P.287「ｉアプリコールを受信する」参照)
- ｉアプリコール履歴を削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

ｉアプリコールの設定を行う

ソフト設定(ｉアプリコール)

ｉアプリごとに、ｉアプリコールからの起動を許可するかどうかを設定します。「設定しない」に設定すると、設定したｉアプリに対するｉアプリコールは受信できません。

1 **ソフト一覧画面▶iα(機能)▶ソフト設定▶ｉアプリコール▶項目を選択▶✉(完了)**

設定する . . . . . ｉアプリコールからの起動を許可します。
設定しない . . . ｉアプリコールからの起動ができません。

- 「設定しない」に設定しても、ｉアプリによっては有効にならない場合があります。

ｉアプリコールダウンロード設定

ｉアプリコールの対象となるｉアプリがない場合のｉアプリのダウンロード通知を拒否するかどうかを設定します。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉアプリコール機能設定▶ｉアプリコールダウンロード設定▶拒否する・拒否しない**

ｉアプリコール音設定

ｉアプリコールを受信したときの動作について設定します。

1 **MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉアプリコール機能設定▶ｉアプリコール音設定▶以下の操作を行う**

着信鳴動音選択	▶フォルダを選択▶受信音を選択 ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
鳴動時間設定	ｉアプリコール受信音の鳴動時間を設定します。 ▶鳴動時間(秒)を入力 ●「00」〜「15」の2桁を入力します。
バイブレータ選択	▶バイブレータのパターンを選択 ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
イルミネーション選択	▶項目を選択 ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯／点滅します。

＜ｉアプリ待受画面＞

ｉアプリ待受画面を操作する

ソフト設定(待受画面設定)

ｉアプリを待受画面に設定します。一度設定すると、待受画面を表示するたびに自動的にｉアプリ待受画面が表示されます。

1 **ソフト一覧画面▶[iα](機能)▶ソフト設定▶待受画面設定▶設定する・設定しない▶[✉](完了)**

待受画面に設定すると「[icon]」が表示されます。
ｉアプリ待受画面実行中は「[icon]」や「[icon]」が表示されます。

ｉアプリ待受画面実行中に通常のｉアプリとして操作するには

ｉアプリ待受画面で[▲]を押します。
「[icon]」や「[icon]」が「[icon]」や「[icon]」の点滅に変わり、通常のｉアプリとして操作できます。

- ｉアプリ待受画面に戻る場合は、[CLR]を1秒以上押すか、[⏎]を押して「終了する」を選択します。「解除する」を選択し、「YES」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を実行した状態でFOMA端末の電源を切った場合、次回電源を入れたときにｉアプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1つのみです。
- ｉアプリによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- ソフトによっては、ｉアプリ待受画面設定中にボタン操作により通常のｉアプリの状態からｉアプリ待受画面の状態に戻せるものもあります。ただし、他のメニュー機能が起動中はｉアプリ待受画面の状態に戻せません。
- 「ソフト設定」の「待受画面通信」を「通信しない」に設定した場合、タイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
- ｉアプリ待受画面からはWeb To 機能やPhone To／AV Phone To 機能などは利用できません。
- ネットワークに接続するソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- メニュー機能の起動中に待受画面を表示したときには、ｉアプリ待受画面を設定していても「画面表示設定」の「待受画面」で設定している画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面を実行中にｉアプリの通信回数が一定時間内で極端に多い場合は、確認を行う旨の画面が表示されます。[▲]を押すと、通信を継続するかどうかの確認画面が表示されます。
- ｉアプリ待受画面表示中にオールロックまたはパーソナルデータロックを設定すると、ｉアプリ待受画面は終了になります。オールロックを設定すると「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が表示され、パーソナルデータロックを設定するとお買い上げ時に登録されている画像が表示されます。各ロックを解除すると、ｉアプリ待受画面が再表示されます。ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「画面表示設定」を「設定を有効にする」に設定している場合、パーソナルデータロック中はｉアプリ待受画面を設定する前に設定していた待受画面が表示されます。

ソフト設定(待受画面通信)

ｉアプリ待受画面実行中の通信を許可するかどうかを設定します。

1 **ソフト一覧画面▶[iα](機能)▶ソフト設定▶待受画面通信▶通信する・通信しない▶[✉](完了)**

待受画面終了

実行中のｉアプリ待受画面を一時的に終了します。また、ｉアプリ待受画面を解除します。

1 **[MENU]▶設定／サービス▶ディスプレイ▶画面表示設定▶待受画面▶ｉアプリ待受画面終了▶終了・設定解除**

- 「設定解除」を選択した場合は「YES」を選択します。

待受画面終了情報

ｉアプリ待受画面が正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶待受画面終了情報

●待受画面終了情報の画面で「機能」が表示されているときは、ｉα(機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

＜ｉアプリデータ＞

microSDカード内のｉアプリデータを表示する

ｉアプリによってはmicroSDカード内にデータを保存できるものがあります。
microSDカード内に保存されているｉアプリデータを表示します。

1 MENU▶ｉアプリ▶ｉアプリ(microSD)▶ｉアプリデータ

ｉアプリデータ表示中の機能メニュー

フォルダ情報	選択したフォルダを利用するソフトやフォルダの利用可／不可、利用不可の場合の原因を表示します。
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のデータを削除します。▶端末暗証番号を入力▶YES

ｉウィジェット

ｉウィジェットとは電卓や時計、株価情報など頻繁に利用するコンテンツ(ウィジェットアプリ)にｉウィジェットボタン(CLR)1つでアクセスできる便利な機能です。
ウィジェットアプリはIP(情報サービス提供者)などが提供するサイトからダウンロードすることにより追加できます。(P.270参照)
また、ｉウィジェット画面には最大8つのウィジェットアプリを貼り付けることができ、より自分仕様の画面にすることができます。

●ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信を行うことがあります。
●ウィジェットアプリをダウンロードする場合、ｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかります。
●海外では、ウィジェットアプリの通信が行われるごとにパケット通信料がかかります。
●ｉウィジェットの詳細については、「ご利用ガイドブック(ｉモード<FOMA>編)」をご覧ください。

■ウィジェットアプリ一覧

ニコリの数独	P.276参照
NIKKEI NET	P.277参照
ファミリー伝言板	P.277参照
時刻表ウィジェット	P.278参照
楽オク☆アプリ	P.283参照
地図アプリ	P.283参照
ｉアプリバンキング	P.283参照
Start! ｉウィジェット	P.284参照
マクドナルド トクするアプリ	P.284参照
iWウォッチ	P.284参照
P-SQUARE INFO	P.277参照
付箋	P.277参照
株価アプリ	P.285参照
Googleモバイル	P.285参照

ｉウィジェットを利用する

ｉウィジェットを起動する

ｉウィジェットを起動すると、複数のウィジェットアプリを同時に起動できます。複数起動したウィジェットアプリは、ｉウィジェット画面上で同時に表示できます。

1 CLRを押す

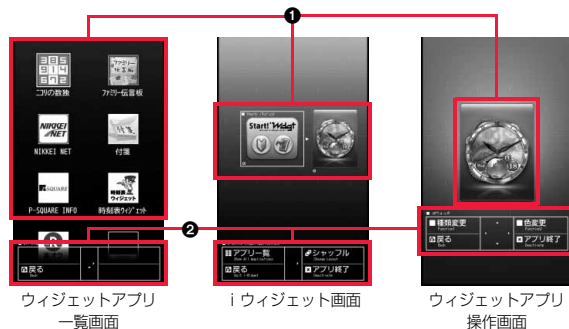
ｉウィジェットが起動します。
すでにウィジェットアプリを起動している場合は、ｉウィジェット画面が表示されます。ウィジェットアプリを1件も起動していない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。
● ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても、ｉウィジェットが起動します。

ｉウィジェット画面

お知らせ

● ｉウィジェットで同時に起動、表示できるウィジェットアプリは最大8件までです。ウィジェットアプリを8件起動した状態で、表示するウィジェットアプリを変更したい場合は、使用しないウィジェットアプリを終了してから、ウィジェットアプリ一覧画面から起動してください。ウィジェットアプリの終了についてはP.292参照。
● ウィジェットアプリ一覧画面・ｉウィジェット画面で約3分間何も操作しなかった場合は、自動的に待受画面に戻ります。ウィジェットアプリ操作画面では、自動的に待受画面に戻りません。
● お買い上げ時に登録されているウィジェットアプリを起動中にｉウィジェットを終了して、FOMAカードを差し替えたり、端末初期化を行ったりしても、ウィジェットアプリは終了せずに、ｉウィジェット上で起動した状態のままとなります。

■ ｉウィジェットの画面について

ウィジェットアプリ一覧画面　ｉウィジェット画面　ウィジェットアプリ操作画面

❶ウィジェットアプリ表示部
ウィジェットアプリ一覧画面ではすべてのウィジェットアプリが表示され、起動中のウィジェットアプリには「ACTIVE」と表示されます。
ｉウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面では、それぞれのアプリが起動した状態で表示されます。
- ：ウィジェットアプリ
- ：ｉアプリDXに対応したウィジェットアプリ
- ：通信を行うウィジェットアプリ
- ：GPS対応のウィジェットアプリ
- ：おサイフケータイ対応ウィジェットアプリ
- ：SSL/TLSページからダウンロードしたことを表します。

❷ナビゲーション表示部
ボタン操作に対応したナビゲーションが表示されます。

ｉウィジェットをシャッフルする

ｉウィジェット画面でのウィジェットアプリの表示位置を変更します。自動で変更されるため、任意で位置を決めることはできません。

1 ｉウィジェット画面▶ｉα（シャッフル）

ｉウィジェットを終了する

ｉウィジェットを終了し、待受画面に戻ります。

1 ウィジェットアプリ一覧画面・ｉウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面▶[終話]

- ｉウィジェット画面で[CLR]または[MENU](戻る)を押しても待受画面に戻ります。
- ウィジェットアプリ操作画面の場合、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉウィジェットの設定を行う

ｉウィジェットローミング設定

海外での利用時に、ｉウィジェットによる通信を行うかどうかを設定します。

1 [MENU]▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェットローミング設定▶通信する・通信しない

お知らせ

- 海外に到着すると、設定は「通信しない」に設定され、ｉウィジェットを起動する際に確認画面が表示されます。

ｉウィジェット効果音設定

ｉウィジェット起動時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。

1 [MENU]▶ｉアプリ▶ｉアプリ設定▶ｉウィジェット効果音設定▶ON・OFF

お知らせ

- ｉウィジェット起動時の効果音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。ただし、「ステップ」に設定しているときはレベル2で鳴ります。

<ウィジェットアプリ起動>

ウィジェットアプリを起動する

1 ウィジェットアプリ一覧画面▶起動したいウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

- ソフト一覧画面でウィジェットアプリを選択しても起動できます。
- すでに起動中のウィジェットアプリを選択しても、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。
- ウィジェットアプリ操作画面で[CLR]または[MENU](戻る)を押すと、ｉウィジェット画面が表示されます。

ウィジェットアプリを終了する

1 ｉウィジェット画面・ウィジェットアプリ操作画面▶終了したいウィジェットアプリを選んで[カメラ/TV](アプリ終了)▶YES

ウィジェットアプリ終了情報

ウィジェットアプリが正しく終了しなかった場合に、その日時と理由を確認できます。

1 [MENU]▶ｉアプリ▶ｉアプリ実行情報▶ウィジェットアプリ終了情報

- ウィジェットアプリ終了情報の画面で「機能」が表示されているときは、[iα](機能)を押して「情報コピー」を選択すると情報をコピーします。「情報削除」を選択し、「YES」を選択すると情報を削除します。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されておりお店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで支払いなどができます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できます。また、安心してご利用いただけるよう、セキュリティ※1も充実しています。
おサイフケータイの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイト※2よりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。
  ※1 おまかせロック、ICカードロックを利用できます。（P.115、P.296参照）
  ※2 ｉMenu→メニューリスト→おサイフケータイ
- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失･変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失･変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難･紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えたあとは、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、引き続きおサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については、「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

※1 お取り替え元、お取り替え先ともに、iCお引っこしサービス対応のFOMA端末である必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップなど窓口にご来店ください。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります。
※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、お取り替え元のFOMA端末に残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスなどをご利用ください。
※4 ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

<ICカード一覧>

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

ICカード内のデータの読み書きを行う

ソフト一覧画面からおサイフケータイ対応ｉアプリを起動します。おサイフケータイ対応ｉアプリを用いて、ICカード内のデータの読み書きを行い、電子マネーをチャージ(入金)したり、その残高や利用履歴を携帯電話上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- 端末暗証番号および各サービスのパスワードは、他人に知られないよう十分ご注意ください。
- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動する際やダウンロードする際は、「FOMAカード(UIM)情報とICカードの対応付けを行いますか？」と表示されます。「YES」を選択すると、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用することはできません。
  なお、別のFOMAカードに差し替えてご利用になる場合は、「ICオーナー変更」でICカード内の情報をすべて削除し、「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用することはできません。
- 以下の場合は、ソフトからICカード内へのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータは破棄されます。通話終了後の操作は、ご利用サービスによって異なります。
  ・ｉアプリ起動中に電話がかかってきた場合
  ・電池が切れた場合

1 MENU▶**おサイフケータイ**▶**ICカード一覧**

おサイフケータイ対応ｉアプリの一覧が表示されます。ｉアプリを選択すると起動します。

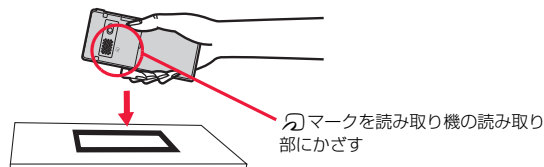
- ソフト一覧画面についてはP.271参照。

おサイフケータイを利用する

FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりなどとしてご利用できます。この機能は、ソフトを起動せずにご利用いただけます。

- 通話中やｉモード接続中でも、 マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけます。

1 **FOMA端末の マークを読み取り機にかざして、目的のサービスを利用する**

- FOMA端末を読み取り機に近づけて通信が可能な状態になると着信／充電ランプが点灯します。

お知らせ

- おサイフケータイご利用時は、電池パックを装着してください。また、電源が入っていないときや電池が消耗してからも マークを読み取り機にかざしておサイフケータイをご利用いただけますが、おサイフケータイ対応ｉアプリは起動できません。ただし、電池パックを長期間利用しなかったり、電池切れアラームが鳴った後で充電せずに放置した場合は、ご利用いただけなくなる場合がありますので、充電をしてください。
- FOMA端末の マークを読み取り機にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 読み取り機にかざすと、おサイフケータイ対応ｉアプリが起動する場合があります。

<ICカードロック>

ICカード機能をロックする

他人に無断でICカード機能を使用されるのを防ぐために、おサイフケータイやトルカ取得、iC通信などを使用できないようにします。

- ICカードロックを設定しているときに電池が切れた場合、ICカードロックは保持されます。

1 MENUを1秒以上押す

「」が表示され、ICカードロックが設定されます。

- ICカードロックを解除するには、同様の操作を行い、端末暗証番号を入力します。閉じタイマーロックを設定していて「開きロック解除設定」を有効にしている場合は、FOMA端末を開いてもICカードロック解除の画面が表示されます。

電源OFF時ICロック設定

電源を切っているときにICカード機能をロックするかどうかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶ロック設定

または

MENU▶おサイフケータイ▶ICカードロック設定

2 電源OFF時ICロック設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

電源OFF直前の設定 . . .電源を切る直前のICカードロックの設定に従います。

ロックする . . . . .ICカードロックを設定します。

<ICオーナー確認>

ICカードのオーナー情報を確認する

ICカードを利用する際に求められるICオーナー情報が、現在挿入されているFOMAカードの情報と一致しているかどうかを確認します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー確認

- 登録されているFOMAカードとは異なるFOMAカードの場合は、「変更」を選択してICカード内のデータを初期化すると、新たにFOMAカード情報を登録できます。

ICオーナー変更

ICカード内のデータを削除してICオーナー情報を初期化します。初期化すると、現在挿入しているFOMAカードで新たに登録し直せます。

- ICオーナー情報を初期化する際は、「iD 設定アプリ」以外のおサイフケータイ対応ｉアプリを削除します。ただし、使用状況によっては削除されないことがあるため、個別に削除する必要があります。

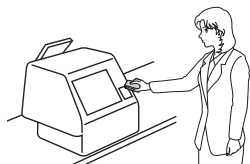
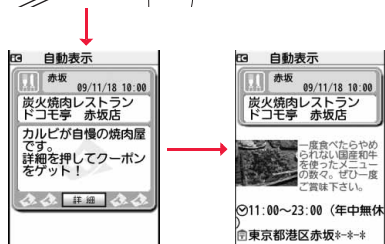
1 MENU▶おサイフケータイ▶ICオーナー変更▶初期化▶YES▶端末暗証番号を入力▶YES

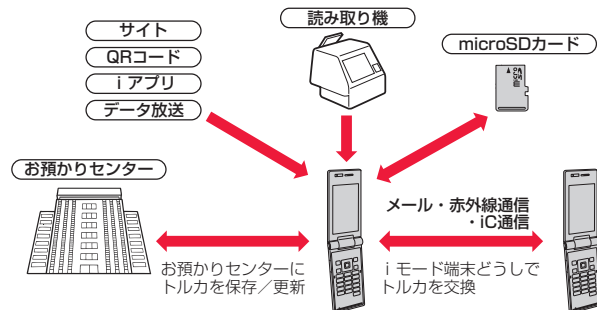
<トルカ>

トルカ

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メールや赤外線、microSDカードを使って簡単に交換できます。
取得したトルカは「おサイフケータイ」の「トルカ」内に保存されます。

- トルカの詳細については「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。

■ トルカ利用の流れ

「詳細」ボタンでより詳しい情報を見ることができます。

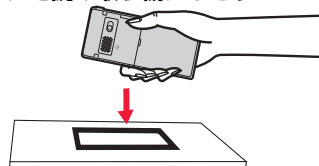
■ トルカの取得手段

＜トルカ取得＞

トルカを取得する

読み取り機から取得する

ICカード機能を利用して、読み取り機からトルカを取得します。詳細を取得する前のトルカの場合は詳細情報を取得することにより、より詳しい情報を持ったトルカ(詳細)になります。

- トルカが詳細を取得する前のトルカの場合は1件あたり1Kバイトまで、トルカ(詳細)の場合は1件あたり100Kバイトまでダウンロードできます。

1 FOMA端末の マークを読み取り機にかざす

トルカを取得したときは

トルカ取得音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。

- 「トルカ受信表示設定」が「表示する」に設定されていると、取得したトルカの詳細画面が表示されます。
- 詳細を取得する前のトルカの場合は、詳細をダウンロードするためサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると詳細を取得したトルカ(詳細)を表示します。「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカを表示します。
- 何も操作しないで約15秒経過した場合や、「トルカ受信表示設定」が「表示しない」に設定されていた場合は、デスクトップに「 トルカ 」が表示されます。●を押し、「 トルカ 」を選んで●(選択)を押すと、トルカ一覧画面が表示されます。

おサイフケータイ／トルカ

トルカの自動読み取り機能について

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際に、「トルカ自動読取設定」を「許容する」に設定していると、利用可能なトルカが自動的に認識されます。利用したトルカは「利用済み」に変更され「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。利用済みトルカは20件まで保存され、20件を超えると取得日時の古いものから順に削除されます。

- 「トルカ自動読取設定」を「許容しない」に設定していても、読み取り機にかざすと、「トルカ自動読取設定」を利用するかどうかの確認画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「YES」を選択して、「トルカ自動読取設定」を「許容する」にしてください。

お知らせ

- トルカの取得に失敗した場合は、トルカ取得失敗音が鳴り、着信／充電ランプが点灯します。
- トルカ取得音や取得失敗音は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で鳴ります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては更新できなかったり、メールや赤外線などで送付できないことがあります。

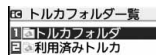
＜トルカビューア＞

トルカを表示する

ICカード機能を利用して取得したり、サイトやメールなどから取得したトルカを表示します。

1 MENU▶おサイフケータイ▶トルカ▶フォルダを選択

- トルカフォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ内に未読のトルカがある場合は「NEW」が表示されます。

トルカフォルダ一覧
1 トルカフォルダ
2 利用済みトルカ

トルカフォルダ一覧画面

2 トルカを選択

トルカから詳細情報を取得するときは

詳細を取得する前のトルカはそのままでは詳細な情報は表示されません。トルカに表示されている「詳細」を選択し、「YES」を選択すると、サイトに接続して詳しい情報を取得できます。
トルカは詳細を取得すると上書き保存されます。

お知らせ

- 取得の際は通常のパケット料金がかかります。

トルカフォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ操作

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。20件まで作成できます。 ▶フォルダ名を入力 ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダのフォルダ名を編集します。 ▶フォルダ名を入力 ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。
フォルダ削除	フォルダ内のトルカもすべて削除されます。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

項目	説明
全フォルダ検索	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカ(「利用済みトルカ」フォルダ内は除く)から検索条件を指定して検索します。 ▶**検索条件を選択** **ジャンル検索**. . . . . . . ジャンルを選択します。✉(詳細)を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索**. . . . . . . タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索** . . . 場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字/半角40文字まで、インデックス検索では全角10文字/半角20文字まで入力できます。
自動振分け設定	読み取り機からトルカを取得した際、あるいはワンセグ視聴中にデータ放送から自動的に取得した際に、フォルダに設定した条件に合うトルカを自動で振り分けて保存するように設定します。 ▶**振り分け条件を選択** **ジャンル振分け** . . . 振り分けたいジャンルにチェックして✉(完了)を押します。 **タイトル振分け** . . . 振り分け条件とする、タイトル内の文字を入力します。 **インデックス振分け** . . . . 振り分け条件とする、場所データ内の文字を入力します。 **解除** . . . .「YES」を選択すると設定済みの振り分け条件を解除します。 ●タイトル振分けでは全角20文字/半角40文字まで、インデックス振分けでは全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●すでに振り分け条件が設定されているフォルダの場合は振り分け条件が表示されます。iα(機能)を押すと、再度振り分け条件を設定できます。
コピー	
microSDへコピー	FOMA端末内のトルカをmicroSDカードへフォルダごとコピーします。
microSDへ全件コピー	FOMA端末内のトルカをフォルダごとmicroSDカードへ全件コピーします。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
本体へコピー	microSDカード内のトルカをFOMA端末へフォルダごとコピーします。
本体へ全件コピー	microSDカード内のトルカをフォルダごとFOMA端末へ全件コピーします。 ▶**追加コピー・上書きコピー**▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** ●「上書きコピー」を選択した場合、FOMA端末内のトルカが削除される旨の確認画面が表示されます。
お預かりセンターに接続	P.124参照
全トルカ表示	FOMA端末内に保存しているトルカをすべて表示します。 ●📷(全トルカ)を押しても表示できます。
赤外線/iC送信	
赤外線全件送信	P.361参照
iC全件送信	P.363参照
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。
トルカ全削除	FOMA端末内に保存しているすべてのトルカを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
保存先フォルダ選択	FOMA端末からmicroSDカードへコピーする際の保存先フォルダを設定します。 ▶**YES**

つづく

お知らせ

＜自動振分け設定＞

- ジャンル振分けを設定している場合は「 」、タイトル振分けを設定している場合は「 」、インデックス振分けを設定している場合は「 」が表示されます。
- 複数の条件にあてはまる場合、トルカフォルダ一覧画面で並び順が上のフォルダに振り分けられます。

＜microSDへコピー＞

- FOMA端末外へ出力が禁止されているデータまたはFOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーされます。

＜microSDへ全件コピー＞

- FOMA端末の「トルカフォルダ」内のトルカはmicroSDカードの「SDトルカ」に保存されます。

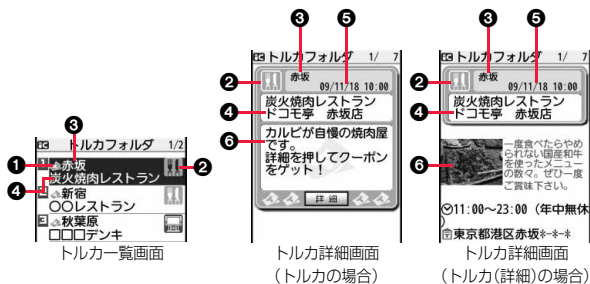
＜本体へ全件コピー＞

- microSDカードの「SDトルカ」内のトルカはFOMA端末の「トルカフォルダ」に追加保存または上書き保存されます。

＜保存先フォルダ選択＞

- 保存先に設定されたフォルダには「 」のアイコンが表示されます。
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成・編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

トルカ一覧画面・詳細画面の見かた

トルカ一覧画面　　トルカ詳細画面（トルカの場合）　　トルカ詳細画面（トルカ(詳細)の場合）

❶トルカの状態を表示します。

アイコン	内容
※1	未読のトルカ
	既読のトルカ
	利用済みトルカ
※2	FOMA端末に対応していないトルカ

※1　サイトからダウンロードしたトルカは、未読にはなりません。

※2　microSDカード内のトルカにのみ表示されます。

- 有効期限切れのトルカには「 」が付きます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているトルカには「 」が付きます。

❷カテゴリを表示します。

トルカの内容に応じたカテゴリアイコンが表示されます。

❸インデックスデータを表示します。

トルカの情報を発行している発行元の場所データが表示されます。

❹タイトルを表示します。

❺取得した時刻や日付を表示します。

❻トルカの情報を表示します。

トルカの場合は簡単な説明文と詳細ボタンが、トルカ(詳細)の場合は発行元の情報が表示されます。

トルカ一覧画面・詳細画面の機能メニュー

iモードメール添付		トルカを添付し、iモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●[メール]( )を押してもiモードメールを作成できます。
フォルダ移動		▶移動先を選択 ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
検索／並び替え		
	検索 [一覧画面のみ]	フォルダ内のトルカから検索条件を指定して検索します。 ▶検索条件を選択 **ジャンル検索**……ジャンルを選択します。[メール](詳細)を押すとジャンルに属するカテゴリアイコンの一覧が表示されます。 **タイトル検索**……タイトル内の文字で検索したい文字を入力します。 **インデックス検索**…場所データ内の文字で検索したい文字を入力します。 ●タイトル検索では全角20文字/半角40文字まで、インデックス検索では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
	ソート [一覧画面のみ]	表示される順番を変更します。 ▶順番を選択
コピー		
	コピー	表示または選択中のトルカを別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択 ●「利用済みトルカ」フォルダは選択できません。
	microSDへコピー	P.299「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダにコピーします。
	本体へコピー	microSDカード内のトルカをFOMA端末内のトルカフォルダにコピーします。
お預かりセンターに接続 [一覧画面のみ]		P.124参照
フォルダ一覧表示 [一覧画面のみ]		トルカフォルダ一覧画面を表示します。 ●[カメラ](フォルダ)を押しても表示できます。
複数選択 [一覧画面のみ]		複数のトルカを選択して操作します。 ▶選択したいトルカにチェック▶[iα](機能) ▶項目を選択 **フォルダ移動**……P.301参照 **コピー**……P.301参照 **microSDへコピー**…P.301参照 **本体へコピー**……P.301参照 **赤外線送信**……P.360参照 **全選択**……全選択します。 **全選択解除**……選択をすべて解除します。
トルカ更新 [詳細画面のみ]		トルカの情報を再取得します。再取得したトルカ(詳細)は自動で上書き保存されます。 ▶YES ●トルカによってはトルカ更新できない場合があります。 ●保存しているトルカがいっぱいのときはP.194参照。
画像操作		
	画像1件保存 [詳細画面のみ]	トルカに表示されている画像を1件保存します。 ▶画像を選択 P.192手順2へ進みます。
	画像複数保存 [詳細画面のみ]	トルカに表示されている画像を複数件保存します。 ▶保存したい画像にチェック▶[メール](保存) P.192手順2へ進みます。
	画像一括保存 [詳細画面のみ]	トルカに表示されている画像で、保存できる画像を一括ですべて保存します。 P.192手順2へ進みます。
	背景画像保存 [詳細画面のみ]	トルカの背景画像を保存して、待受画面、ウェイクアップ画面などに設定します。 P.192手順2へ進みます。

	リトライ [詳細画面のみ]	トルカ内のアニメーション画像やFlash画像を最初から再生します。 ●Flash画像の一部が画面外にある場合は、再生しないことがあります。
電話帳登録 [詳細画面のみ]		P.82参照
デスクトップ貼付		P.30参照
赤外線／iC送信		
	赤外線送信	P.360参照
	iC送信	P.362参照
保存容量確認 [一覧画面のみ]		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		
	1件削除 [一覧画面のみ]	▶YES
	選択削除 [一覧画面のみ]	▶**削除したいトルカにチェック**▶[メール](完了)▶YES
	全削除 [一覧画面のみ]	フォルダ内のすべてのトルカを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
削除 [詳細画面のみ]		▶YES

お知らせ

<ｉモードメール添付>
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして添付されます。
- トルカのサイズによっては、ｉモードメール添付できない場合があります。

<コピー>
- FOMA端末外への出力が禁止されているトルカの場合は、コピーできません。

お知らせ

<microSDへコピー>
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータまたはFOMAカードセキュリティ機能が設定されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとしてコピーされます。
- microSDカードの保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成され、その中にトルカが保存されます。
  コピーが完了すると、「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
- コピーしたトルカのファイル名はTORUCXXX(XXXは数字)になります。
- microSDカードの保存先フォルダを設定していない場合は、自動的に新しいフォルダが作成され、その中にトルカが保存されます。保存後は新しく作成されたフォルダが保存先フォルダに設定されます。
- トルカのサイズによっては、「microSDへコピー」できない場合があります。

<本体へコピー>
- トルカのサイズによっては、「本体へコピー」できない場合があります。

<画像操作>
- 拡張子が「ifm」で透過GIF(アニメーションGIFを除く)の画像は、フレームまたはスタンプ画像として保存されます。

<トルカ設定>

トルカについて設定する

1 MENU▶**おサイフケータイ**▶**設定**▶**以下の操作を行う**

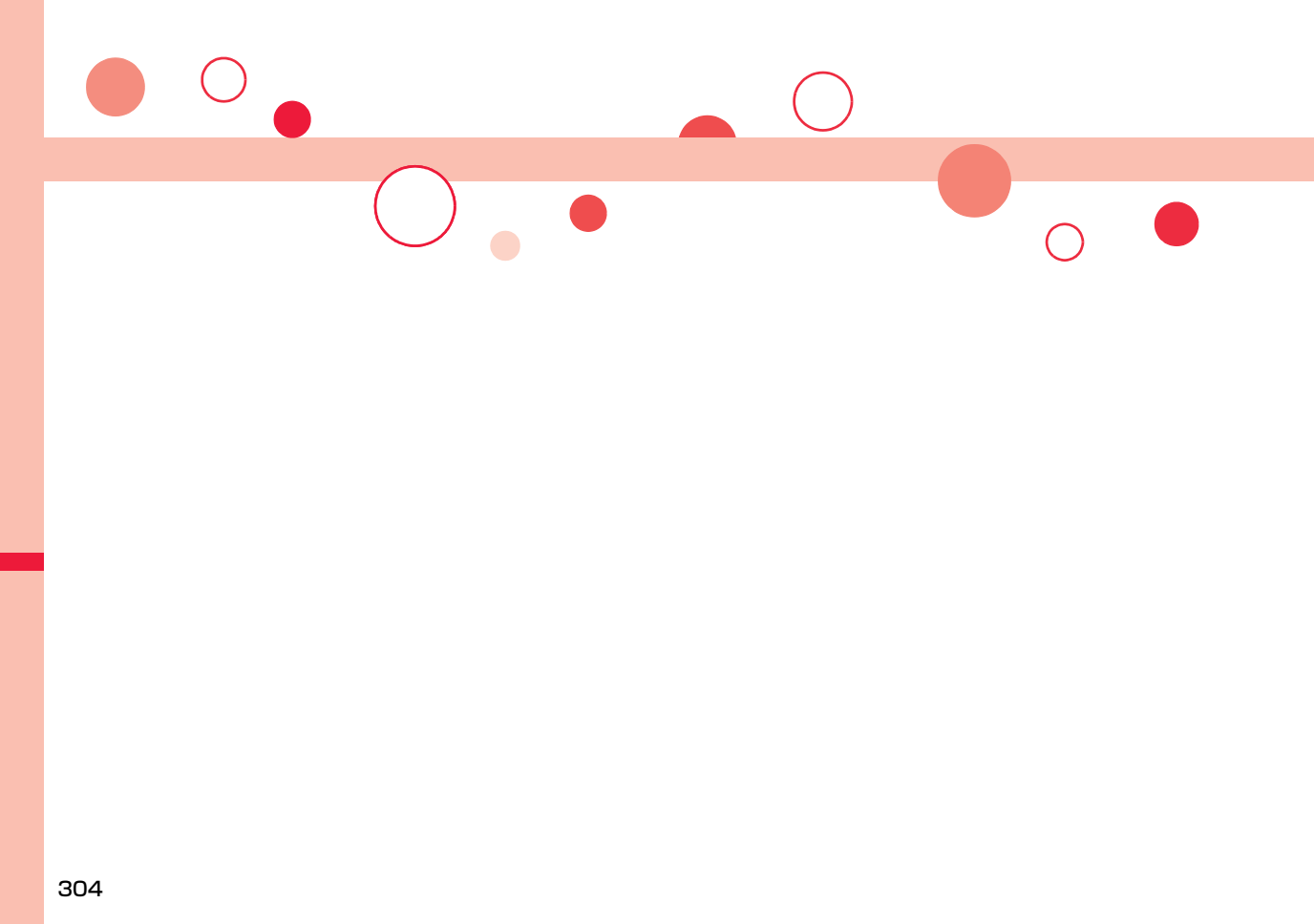
トルカ取得設定	ICカード機能を利用して読み取り機からトルカを取得したり、他のFOMA端末からIC送信でトルカを取得するかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない**
トルカ自動読取設定	読み取り機にFOMA端末をかざした際に、利用可能なトルカを自動的に認識させるかどうかを設定します。 ▶**許容する・許容しない**
トルカ受信表示設定	待受画面表示中にトルカを取得したときに、トルカ詳細画面を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
データ放送トルカ設定	ワンセグ視聴中にデータ放送からトルカを自動的に取得するかどうかを設定します。 ▶**自動取得する・自動取得しない**
トルカ重複チェック設定	トルカを読み取り機から取得する際、あるいはワンセグ視聴中にデータ放送からトルカを自動的に取得する際に、すでに同じトルカが取得済みかを確認するかどうかを設定します。 ▶**行う・行わない** **行う**. . . 確認を行い、取得済みの場合は再取得しません。 **行わない** . . . . . . 確認を行わず、同じトルカでも再度取得します。

お知らせ

<トルカ自動読取設定>

- 「トルカ自動読取設定」を「許容しない」に設定していると、トルカを利用できない場合があります。

<トルカ重複チェック設定>

- 「利用済みトルカ」フォルダに保存されているトルカや有効期限切れのトルカはチェック対象に含まれません。

地図・GPS機能

GPS機能のご利用について

- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化、電波の停止など)されることがあります。
- FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末が圏外のとき(または海外では)、GPS機能をご利用いただけません。

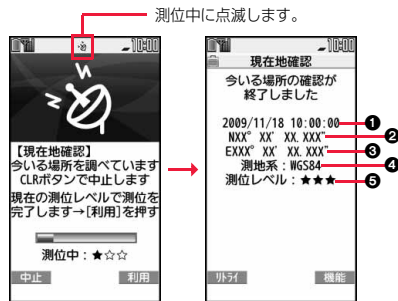
お知らせ

- 以下の場合はGPS機能を利用できません。
  ・オールロック中※　・セルフモード設定中　・おまかせロック中※
  ・FOMAカードを挿入していないとき
  ※位置提供は可能です。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  ・建物の中や直下　・地下やトンネル、地中、水中
  ・かばんや箱の中　・ビル街や住宅密集地
  ・密集した樹木の中や下　・高圧線の近く
  ・自動車、電車などの室内　・大雨、雪などの悪天候
  ・FOMA端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
  ・FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者や、ドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

＜現在地確認＞

自分のいる場所を確認する

現在地を測位して表示します。
地図を表示したり、現在地情報をメールで送信したりすることもできます。

1 **▶LifeKit▶地図・GPS▶現在地確認**

現在地が緯度・経度などで表示されます。
❶…測位日時　❷…緯度　❸…経度　❹…測地系
❺…測位レベル
★★★：ほぼ正確な位置情報です。(誤差がおおむね50m未満)
★★☆：比較的正確な位置情報です。(誤差がおおむね300m未満)
★☆☆：おおよその位置情報です。(誤差がおおむね300m以上)
測位レベルは目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- [✉]([リトライ])を押すと、「品質重視モード」(P.311「測位モード設定」参照)で再度測位されます。
- 測位中に画面右下に「[利用]」が表示された場合は、[iα]を押して「OK」を選択すると、測位途中の情報で現在地を表示できます。
- 待受画面で[1]を1秒以上押しても現在地を測位できます。測位後はP.311「GPSボタン設定」の設定に従って、P.307「現在地表示中の機能メニュー」が実行されます。

現在地表示中の機能メニュー

地図を見る	「地図選択」で設定したGPS対応ｉアプリを起動して地図を表示します。
地図・GPSアプリ	位置情報をGPS対応ｉアプリで利用します。 ▶ｉアプリを選択
メール貼り付け	位置情報をURL化し、本文に貼り付けてｉモードメールを作成します。 ▶YES P.130手順2へ進みます。 ●送付する位置情報のURLは、ｉモード対応端末でのみ表示されます。
電話帳登録	位置情報を電話帳に登録します。 ▶YES P.82手順2へ進みます。
画像に付加	位置情報を画像に登録します。 ▶フォルダを選択▶画像を選択▶✉(完了) ▶YES・NO YES . . . 上書きして保存します。 NO . . . . 別データとして保存します。

地図・GPS対応ｉアプリを利用する

地図を表示する

「地図選択」で設定したGPS対応ｉアプリを起動します。
お買い上げ時は「地図アプリ」が設定されており、現在地や指定した場所の地図を見たりできます。

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶地図

●「地図選択」が設定されていない場合、地図を表示する際に利用するGPS対応ｉアプリを選択します。

GPS対応ｉアプリを起動する

GPS対応ｉアプリの一覧からｉアプリを選択して起動します。

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶地図・GPSアプリ▶ｉアプリを選択

●ソフト一覧画面についてはP.271参照。

お知らせ

●GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するソフトの情報提供者に位置情報が送信されます。
●GPS対応ｉアプリでGPS機能を利用する場合、「ソフト設定」の「位置情報利用」を「利用する」に設定してください。

地図アプリを利用する

「地図アプリ」は、位置情報を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地までのナビゲーションなどができる便利なｉアプリです。災害時に役立つ施設情報なども検索できます。また、地図トーク機能を利用すれば、仲間と地図上でメッセージのやり取りができます。

つづく

■サービス利用料金について

本アプリの提供サービスは、以下に分類されます。

無料機能

- 地図表示、周辺情報の検索ができます。グルメクーポンの検索もできます。
- 過去にGPS測位した場所を、市区町村や都道府県単位で地図上に色を塗って表示します。訪れた街が一目でわかる機能です。
- 通常の地図だけでなく、3D表示の地図、鉄道路線を強調した地図、昼夜モード地図など、様々な地図にモード変更できます。

有料機能

はじめて地図アプリを起動した日から60日間は無料期間となり、交通渋滞情報以外のすべてのサービスを無料でご利用いただけます。

無料期間終了後、株式会社ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン いつもNAVI」のマイメニュー登録（有料）が必要です。

- 車・電車・徒歩を含めた総合的なナビゲーションができます。渋滞情報を考慮したルート検索も可能です。
- 電車の乗換案内や、時刻表の表示が可能です。
- 仲間の居場所を地図に表示しながら、メッセージのやり取りができます。
- 災害時に役立つ施設の検索が可能です。また、災害用地図アプリという、通信不要のｉアプリを利用できます。自宅周辺などのエリアの災害用地図をあらかじめダウンロードしておけば、いざという場合に役立ちます。

お知らせ

- ご利用には、別途パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフル／パケ・ホーダイ ダブルのご利用をおすすめいたします。
- 本ソフトを削除した場合は、「ｉエリア－周辺情報－」からダウンロードしてください。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は、必ずドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 画像はイメージのため、実際の画面と異なる場合があります。

＜位置提供＞

要求に応えて現在の位置情報を提供する

現在地を知らせるように要求があった場合に、現在地を相手に通知できます。利用するサービスによっては、あらかじめ、GPSサービス利用設定を設定する必要があります。(P.311参照)また、「位置提供設定」で位置提供を許可する設定にしておく必要もあります。

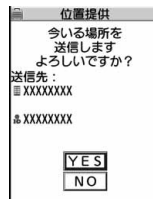
＜サービスごとの利用設定が「毎回確認」の場合＞

1 位置提供要求を受信▶YES・NO

YES. . . 現在地を測位して位置情報を送信します。

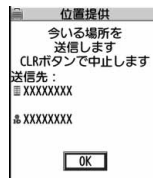
NO. . . . 位置情報の提供を拒否します。

- 約20秒間何も操作しないと、現在地を提供せず元の画面に戻ります。

位置提供
今いる場所を
送信します
よろしいですか？
送信先：
XXXXXXXX
XXXXXXXX
YES
NO

＜サービスごとの利用設定が「許可」の場合＞

1 位置提供要求を受信▶OK

- 「OK」を選択するか、約3秒経過すると、現在地の提供を開始します。
- 送信先の情報が表示されないこともあります。
- CLRを押すと提供を中止できます。ただし、タイミングによっては位置情報が送信されることがあります。

位置提供
今いる場所を
送信します
CLRボタンで中止します
送信先：
XXXXXXXX
XXXXXXXX
OK

お知らせ

- 測位結果画面や失敗画面において約15秒間何も操作しないと、元の画面に戻ります。
- 「イマドコサーチ」を利用する場合は、ｉMenu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「その他サービス設定・確認」→「位置情報利用設定」（イマドコサーチ設定）の設定が必要です。
- 「位置提供設定」を「位置提供OFF」以外に設定している場合は、FOMA端末を操作しなくても位置情報が送信され、検索者に通知されることがあります。

お知らせ

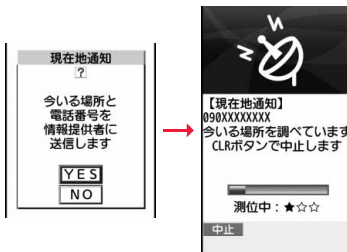
- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 以下の場合は、画面表示されずに要求を拒否します。
  ・「位置提供設定」を「位置提供OFF」に設定している場合
  ・「位置提供設定」を「電話帳登録外拒否」に設定しているときに電話帳に登録されていない相手から位置提供の要求を受けた場合
  ・「位置提供設定」で設定した許可期間外に位置提供の要求を受けた場合
- GPSサービス利用設定で、位置提供を毎回確認に設定した場合、公共モード（ドライブモード）中は位置提供の要求に対して、位置情報は提供されません。
- GPSサービス利用設定で、位置提供を許可に設定した場合、公共モード（ドライブモード）中は測位鳴動音・バイブレータ・イルミネーションは動作せず、画面表示のみされ、位置情報が提供されます。
- 「イマドコかんたんサーチ」を利用した相手から位置情報の提供を要求されたとき、要求があるたびに今いる場所を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。「YES」を選択したあと、GPS測位画面が表示され、GPS測位後に精度の高い測位結果が通知されます。GPS測位中に位置提供を中止しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーでのみ利用できます。
  相手からBナンバーで検索された場合は、位置提供は行われず、検索者には検索失敗が通知されます。
- 位置提供機能の機能利用料は無料です。
- 利用にあたっては、サービス提供者やドコモのホームページなどのお知らせをご確認ください。

＜現在地通知＞

現在の位置情報を通知する

現在地をサービス提供者に通知します。

1 **MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶現在地通知▶直接入力▶通知先を入力▶YES**

- 数字、#、＊で12文字まで入力できます。
- あらかじめ「現在地通知先登録」で通知先を登録しておくと、「通知先一覧参照」から通知先を選択できます。
- ✉（中止）を押すと測位を中止できますが、タイミングによっては通知される場合があります。

2 **OK**

お知らせ

- 位置情報を送信しても、電波の状況によりサービス提供者には届いていないことがあります。
- 現在地通知機能の機能利用料は有料です。
- 現在地通知を利用するには、現在地通知に対応したサービス提供者への申し込みが必要となる場合があります。また、現在地通知に対応したサービスの利用は有料となる場合があります。
- ダイヤル発信制限中は直接入力できません。
- 2in1のモードに関わらず、Aナンバーにて位置情報を通知します。

<位置履歴>

確認した位置情報の履歴を表示する

現在地確認・現在地通知・位置提供の履歴が50件まで記憶されます。

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶位置履歴▶位置履歴を選択

位置履歴一覧
1 確認 11/18 10:00
2 通知 11/18 9:30
3 確認 11/18 8:00
4 提供 11/18 7:30

確認：現在地確認
提供：位置提供
通知：現在地通知
- 測位に成功した履歴には「 」が表示されます。

お知らせ

- 履歴が50件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。
- 位置履歴に記録されている位置情報、測位レベルは、電波状況などにより位置提供先、現在地通知先に送信された位置情報、測位レベルとは異なる場合があります。
- 現在地確認を途中で中止したときや測位に失敗したとき、「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否したときは履歴に記憶されません。
- 位置提供、現在地通知の履歴が記憶されていても、サービス提供者には届いていないことがあります。
- 位置提供や現在地通知の際に測位に失敗した履歴は「電話帳登録(「位置情報登録」は除く)」、「iモードメール作成」、「電話発信」、「削除」以外操作できません。
- 位置提供利用時には、2in1の各モードで表示される電話帳と照合して位置提供要求者名が表示されます。
- 位置提供要求者の電話番号を「自局番号表示」に登録していた場合、位置履歴に位置提供要求者名は表示されません。

位置履歴表示中の機能メニュー

地図を見る		P.307参照
地図・GPSアプリ		P.307参照
メール貼り付け		P.307参照
電話帳登録		位置情報、電話番号、メールアドレスを電話帳に登録します。 ▶位置情報登録・電話番号登録・メールアドレス登録▶YES P.82手順2へ進みます。
画像に付加		P.307参照
iモードメール作成		位置提供要求者へiモードメールを作成します。 P.130手順3へ進みます。
電話発信		P.227参照
削除		
	1件削除	▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

<GPS設定>

GPSの設定を行う

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶GPS設定▶以下の操作を行う

地図設定		
	地図選択	「地図」や位置情報から地図を表示するときに利用するGPS対応iアプリを選択します。 ▶iアプリを選択 ●「iモードで探す」を選択した場合はP.193参照。
	地図起動時動作設定	地図を表示するときに現在地を測位してからGPS対応iアプリを起動するかどうかを設定します。 ▶測位を行ってから起動・測位を行わず起動

GPSボタン設定	待受画面で1を1秒以上押して現在地を測位したあとに実行される機能を設定します。P.307「現在地表示中の機能メニュー」から選択します。 ▶**機能を選択** ●「都度選択」に設定すると、測位するごとに機能を選択できます。
測位鳴動音・イルミネーション	P.311参照
測位モード設定	現在地を測位する際のモードを「標準モード」または「品質重視モード」から選択します。 「品質重視モード」にすると時間をかけて測位を行います。その結果、測位の精度がよくなることがあります。 現在地確認･現在地通知･位置提供のそれぞれに測位モードを設定できます。 ▶**設定したい動作を選択**▶**標準モード･品質重視モード**
現在地通知先登録	P.312参照
位置提供設定	P.312参照
サービス利用設定	GPSサービス利用設定(「サービス利用接続先選択」で設定している接続先)に接続して、位置情報の検索許可やパスワードなど、位置提供に対応したサービスの設定を行います。 ●サイト表示中の操作についてはP.181参照。ただし、ブックマークや画面メモの機能は利用できません。 ●海外から接続した場合はエラー画面が表示され、利用できません。ただし、パケット通信料はかかります。
サービス利用接続先選択	P.314参照

測位鳴動音･イルミネーション

現在地確認を行うときや位置情報の提供要求があったときなどに鳴る音を選択します。また、着信／充電ランプの色やバイブレータのパターンなども設定できます。

1 MENU▶**LifeKit**▶**地図･GPS**▶**GPS設定**
▶**測位鳴動音･イルミネーション**
▶**設定したい動作を選択**▶**以下の操作を行う**

測位鳴動音選択	▶**フォルダを選択**▶**着信音を選択** ●選択中は、確認のため選択している音が鳴ります。
鳴動時間設定	測位鳴動音の鳴動時間を設定します。 ▶**鳴動時間(秒)を入力** ●「00」～「30」の2桁を入力します。ただし、「位置提供/毎回確認」の場合のみ「00」～「20」の2桁を入力します。0秒に設定した場合は、音は鳴りません。
バイブレータ選択	▶**バイブレータのパターンを選択** ●「メロディ連動」を選択するとメロディに合わせて振動します。 ●選択中は、確認のため選択しているパターンで振動します。
イルミネーション選択	▶**項目を選択** ●選択中は、確認のため着信／充電ランプが点灯／点滅します。

現在地通知先登録

あらかじめ通知先を登録しておくと、現在地を通知する際に通知先を選択できます。また、登録した電話番号に電話をかけるときに、自動的に現在地を通知することもできます。5件まで登録できます。

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶GPS設定▶現在地通知先登録▶<未登録>を選んで✉(編集)または●(選択)▶以下の操作を行う

●登録済みの通知先を選択すると、登録内容を確認できます。

項目	操作
現在地通知先名称	▶通知先名称を入力 ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
通知先ID	▶通知先IDを入力 ●数字、#、※で12文字まで入力できます。 ●サービス提供者から指定された通知先IDを入力します。
電話番号	▶電話番号を入力 ●26桁まで入力できます。 ●電話番号欄を選んで iα(機能)を押し、「電話帳参照入力」を選択すると、電話番号を電話帳から呼び出して入力できます。 ●「現在地通知先名称」を入力していないときに、「電話帳参照入力」から電話番号を入力すると、電話帳の名前が入力されます。
発信時通知設定	登録している電話番号に音声電話やテレビ電話をかけるときに現在地を通知するかどうか設定します。 ▶ON・OFF・随時確認 ●電話をかけるたびに確認する場合は、「随時確認」を選択します。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

●発信時通知設定を「ON」や「随時確認」に設定していても、発信者番号を通知しないで電話をかけた場合は、現在地を通知しません。

通知先表示中の機能メニュー

機能		操作・説明
削除	1件削除	▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES
電話帳登録		現在地通知先に登録されている現在地通知先名称と電話番号を電話帳に登録します。(P.307参照)
編集		P.312「現在地通知先登録」手順1へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
赤外線送信		P.360参照
赤外線全件送信		P.361参照
iC送信		P.362参照
iC全件送信		P.363参照

位置提供設定

現在地を知らせるように要求があったときの動作を設定します。位置提供を許可する設定にした場合、許可する期間を設定できます。

1 MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶GPS設定▶位置提供設定▶端末暗証番号を入力▶項目を選択

位置提供ON. . . . . . . すべての検索者からの位置提供の要求を許可し、現在地を知らせます。

位置提供OFF . . . . . . 位置提供の要求を拒否します。

電話帳登録外拒否. . . 電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求のみ許可し、現在地を知らせます。電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求は自動的に拒否されます。

2 許可する期間を設定する場合は「YES」を選択▶以下の操作を行う

開始時刻	▶許可する開始時刻を入力
終了時刻	▶許可する終了時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて[メール](完了)を押します。
有効期間	繰り返す設定にしている場合は、有効にする期間を設定できます。 ▶設定する・設定しない▶開始日を入力 ▶設定する・設定しない▶終了日を入力

3 [メール](完了)を押す

お知らせ

- 「初期値設定」(P.44参照)でも「位置提供設定」を設定できます。
- 「位置提供設定」の設定により位置提供の要求を拒否した場合、位置履歴には履歴が記憶されません。
- 有効期間として設定できるのは、2009年1月1日から2037年12月31日までです。
- 「電話帳登録外拒否」に設定した場合、2in1のモードに関わらず、すべての電話帳に登録されている相手からの位置提供の要求を許可します。
- 起動中の機能によっては、「電話帳登録外拒否」に設定していても電話帳に登録されていない相手からの位置提供の要求を受信する場合があります。

■位置提供を許可する期間を設定したときの動作

<例>現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 14:00～11/18 21:00
毎日	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の毎日 14:00～21:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18～11/30の毎日 14:00～21:00
	設定なし	11/18以降毎日 14:00～21:00
曜日指定	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の指定した曜日の14:00～21:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18～11/30の指定した曜日の14:00～21:00
	設定なし	11/18以降の指定した曜日の14:00～21:00

<例>現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を21:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 12:00～11/18 21:00
毎日	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の毎日 10:00～21:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19～11/30の毎日 10:00～21:00
	設定なし	11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19以降毎日 10:00～21:00
曜日指定	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の指定した曜日の10:00～21:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19～11/30の指定した曜日の10:00～21:00
	設定なし	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/18 21:00と 11/19以降の指定した曜日の10:00～21:00

つづく

<例>現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を14:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 14:00～11/19 10:00
毎日	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の間 14:00～翌日10:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18～11/30の間 14:00～翌日10:00
	設定なし	11/18以降 14:00～翌日10:00
曜日指定	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の間、指定した曜日の14:00～翌日10:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18～11/30の指定した曜日の14:00～翌日10:00
	設定なし	11/18以降の指定した曜日の14:00～翌日10:00

<例>現在の日時が「11/18 12:00」のときに開始時刻を10:00、終了時刻を10:00に設定した場合

繰り返し	有効期間	位置提供が行われる期間
設定なし	―	11/18 12:00～11/19 10:00
毎日	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20 10:00～12/1 10:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18 12:00～12/1 10:00
	設定なし	11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19以降毎日 10:00～翌日10:00
曜日指定	開始日:11/20 終了日:11/30	11/20～11/30の指定した曜日の10:00～翌日10:00
	開始日:11/10 終了日:11/30	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19～11/30の指定した曜日の 10:00～翌日10:00
	設定なし	11/18が指定した曜日なら、 11/18 12:00～11/19 10:00と 11/19以降の指定した曜日の 10:00～翌日10:00

サービス利用接続先選択

※通常は、設定を変更する必要はありません。

サービス利用設定の接続先を変更するときに設定します。

1 **MENU▶LifeKit▶地図・GPS▶GPS設定▶サービス利用接続先選択▶<未登録>を選んで✉(編集)**

- 登録済みの接続先を選択すると、接続先が変更されます。
- 登録済みの接続先を削除するには、iα(機能)を押して「削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **以下の操作を行う**

接続先名称	▶接続先名称を入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
接続先番号	▶接続先を入力 ●半角英数字で99文字まで入力できます。
接続先アドレス	▶URLを入力 ●半角英数字で100文字まで入力できます。

3 **✉(完了)を押す**

データ管理

データBOX

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
ｉモード		ダウンロードした静止画など
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメピクチャ		デコメール®作成で使用できる静止画
	ｉモードで探す	データサイトに接続
デコメ絵文字	お気に入り※1	デコメール®作成で使用できる絵文字 ●お買い上げ時に保存されているデコメ®絵文字は削除できます。「P-SQUARE」(P.193参照)のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。
	ｉ絵文字※1	
	装飾※1	
	ハート･キラキラ※1	
	天気･季節※1	
	移動･生活※1	
	電話･メール※1	
	食べ物※1	
	キャラクター※1	
	文字※1	
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
フレーム／スタンプ		フレーム、マーカースタンプに使用できる静止画
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール®用の絵文字

ミュージック		
ｉモード	初期フォルダ	サイトから取得した着うたフル®
	ｉモードで探す	データサイトに接続
	ユーザフォルダ※2	ユーザフォルダ内の着うたフル®
	ｉモードで探す	データサイトに接続
	microSD	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®
WMA		パソコンから取り込んだWMAファイル
Music&Videoチャネル		
配信番組		Music&Videoチャネルでダウンロードした番組
保存番組		FOMA端末に保存した番組
ｉモーション／ムービー		
ｉモード		サイトから取得したｉモーションなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで録画したｉモーションや撮影したキャラ電の動画など
プリインストール		お買い上げ時に登録されているｉモーション
Voice recorder		ボイスレコーダーで録音した音声
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内のｉモーション
プレイリスト		プレイリスト再生
しおり		しおり再生
ムービー	microSD	ダウンロードしたり、パソコンなどで保存したムービー
	しおり	しおり再生
	再生履歴	ムービーの再生履歴
ｉモードで探す		データサイトに接続
microSD	SDビデオ	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーしたｉモーション
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるｉモーション
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのｉモーション※3、FOMA端末からコピーした音声のみのｉモーション※3、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なｉモーション※3
メロディ		
ｉモード		ダウンロードしたメロディなど
	ｉモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されているメロディ
ユーザフォルダ※2		ユーザフォルダ内のメロディ

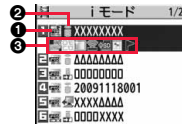
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		プログラム再生
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
マイドキュメント		
iモード		お買い上げ時に登録されているPDFデータやダウンロードしたPDFデータ
microSD	マイドキュメント	ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるPDFデータ
きせかえツール		
お買い上げ時に登録されているきせかえツールやダウンロードしたきせかえツール		
iモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたきせかえツールやFOMA端末から移動したきせかえツール
マチキャラ		
お買い上げ時に登録されているマチキャラやダウンロードしたマチキャラ		
iモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたマチキャラやFOMA端末から移動したマチキャラ
キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		
ワンセグ		
イメージ		ワンセグで録画した静止画
ビデオ		ワンセグで録画したビデオや、他のAV機器で作成したワンセグ対応の著作権保護対応動画
しおり		しおり再生
ドキュメントビューア		
メール(添付ファイル)から保存したドキュメントファイル		
SDその他ファイル		
SDその他		メール(添付ファイル)から保存した非対応のファイルやダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイル

※1 「フォルダ名編集」を行うと、フォルダ名が変更されます。また、デコメ®絵文字はフォルダに直接保存され、フォルダにはデコメ®絵文字以外は保存できません。

※2 「フォルダ追加」で入力したフォルダ名が表示されます。

※3 AAC形式の音楽データを含みます。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャー一覧

タイトル名一覧

❶ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
	静止画	JPEG
	位置情報付き静止画	JPEG
	静止画/アニメーション画像	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	Flash	SWF
	iモーション	MP4(AMR)
	iモーション	MP4(AAC)
	iモーション	MP4(AAC+[HE-AAC])
	iモーション	MP4(Enhanced aacPlus)
	iモーション	ASF
	ムービー	WMV、ASF
	インターネット上のムービー	WVX、ASX
	ムービー	WMA
	インターネット上のムービー	WAX
	ビデオ	MPEG2-TS
	視聴済みビデオ	MPEG2-TS
※	未視聴ビデオ	MPEG2-TS
	部分保存されているiモーション	―
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	完全なPDFデータ	PDF
	部分的なPDFデータ	PDF

データ管理

つづく

アイコン	種別	ファイル形式
	不完全なPDFデータ	PDF
	壊れているPDFデータ	PDF
	きせかえツール	―
	部分保存されているきせかえツール	―
	マチキャラ	―
	部分保存されているマチキャラ	―
	キャラ電	―
doc	Wordファイル	WORD
xls	Excelファイル	EXCEL
ppt	PowerPointファイル	POWERPOINT
etc	非対応ファイル	―

※本FOMA端末以外で録画した場合は表示されず、視聴済みビデオアイコンが表示されます。

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「 」が付きます。
- ファイルによっては、再生できる回数･期限･期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。

❷取得元

アイコン	説明
※1	サイトやｉモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影、ボイスレコーダーで録音
	赤外線通信やiC通信、microSDカードなどから取得
	キャラ電撮影
	ワンセグで録画
※2	ｉモードで再生したインターネット上のムービー
※2	フルブラウザで再生したインターネット上のムービー
※2	microSDカードに保存したムービー

※1 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

※2 「ムービー」フォルダの「しおり」内と「再生履歴」内でのみ表示されます。

❸可能な操作

アイコン	説明
	ｉモードメール添付
	デコメール®に画像挿入、デコメアニメ®作成
	ピクチャ貼付
	赤外線送信･iC送信
SD	microSDカードへコピー
	アップロード
	位置情報を利用

<ピクチャビューア> MENU 4 6

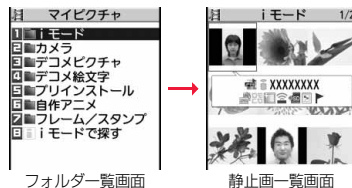
画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存した静止画を表示します。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

- フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.356参照。

フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に✉（デモ）を押して静止画を確認できる場合があります。
- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

データ管理

ワンセグで録画した静止画を表示する場合

1 MENU▶データBOX▶ワンセグ▶イメージ▶ファイルを選択

■静止画再生時の操作
●機能メニューから操作する場合はP.322参照。

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	右
前のファイルを表示※1	左
ズーム(拡大／縮小)※2	●(ズーム)※3 ●ズーム中にi(＋)／✉(－)で拡大／縮小 ●元に戻すには●(戻る)
表示方向切替※2※4	MENU(回転) ●押すごとに静止画を時計回りに90度ずつ回転

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。
※3 Flash画像再生中は、一時停止／再生の操作になります。
※4 ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ、microSDカードのフォルダ、ワンセグのイメージフォルダ内の静止画のみ操作できます。

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	8M(2448×3264)以下のファイル※2
ファイルサイズ	3Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合はVGA(480×640)以下、GIFファイルの場合は5M(1944×2592)以下のファイルまで表示できます。
●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

静止画一覧画面の機能メニュー

ピクチャ編集	P.323参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ピクチャ表示	画像を表示します。
ピクチャ貼付	画像を待受画面などに貼り付けて表示します。貼り付ける画像の位置については「貼付表示位置」参照。 ▶貼付先を選択 ●貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。 ●「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、状態に応じたメッセージが静止画の中央に表示されます。
ピクチャ情報	静止画のファイル名などを表示します。 ●自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
位置情報	

	位置情報付加	▶項目を選択 **現在地確認から付加**...現在地を測位して(P.306参照)位置情報を登録します。位置情報を確認し、●(確定)を押します。 **位置履歴から付加**....位置履歴(P.310参照)から位置情報を選択して登録します。 **電話帳から付加**......位置情報を登録した電話帳を選択して登録します。 **自局番号から付加**....「自局番号表示」に登録している位置情報を登録します。端末暗証番号を入力し、●(選択)を押します。 ▶YES ●登録済みの位置情報を削除する場合は「位置情報削除」を選択します。
	位置情報削除	画像に登録済みの位置情報を削除します。 ▶YES
	位置情報詳細	位置情報の詳細を確認できます。 ●詳細を表示中に(機能)を押すと、位置情報の機能メニューが表示されます。(P.307参照)
iモードメール添付		P.130手順2へ進みます。 ●(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
デコメ作成		「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメール®を作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●デコメール®についてはP.133参照。
赤外線送信		P.360参照
iC送信		P.362参照
デスクトップ貼付		P.30参照
microSDへコピー		P.348参照

お預かりセンターに保存	P.124参照
本体へコピー	P.349参照
microSDへ移動	P.350参照
本体へ移動	P.350参照
貼付表示位置	静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。 ピクチャ貼付についてはP.319参照。 ▶表示位置を選択
ファイル名編集	▶ファイル名を入力 ●半角英数字、記号(「.」、「-」、「_」のみ)で36文字まで入力できます。
ファイル制限	ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がiモードメールに添付できなくなります。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.225参照。
DPOF設定	P.369参照
スライドショー	フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶標準・スロー ●(停止)を押すとスライドショーが停止します。再度●(再開)を押すとスライドショーが再開します。
コピー	microSDカード内の静止画・iモーション・ムービー・PDFデータ・ドキュメントファイル・SDその他ファイルをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択

フォルダ移動	静止画･iモーション･ムービー･PDFデータ･ドキュメントファイル･きせかえツール･マチキャラ･SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[✉]([フォルダ])を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。
1件削除	▶**YES**
全削除	フォルダ内に保存しているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶**操作したいファイルにチェック**▶[iα](機能) ▶**項目を選択** **ピクチャ一覧･タイトル名一覧･一覧表示切替** . . . . .P.321、P.340、P.343、P.365参照 **削除** . . . . .P.321「1件削除」参照 **DPOF設定** . . . . .P.369参照 **コピー**. . . . . .P.320参照 **フォルダ移動**. . . . . .P.321参照 **microSDへコピー** . . .P.348参照 **本体へコピー**. . . . . .P.349参照 **赤外線送信** . . . . .P.360参照 **全選択**. . . . . .全選択します。 **全選択解除** . . . . .選択をすべて解除します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択** ●microSDカード内のファイルはソートできません。
ピクチャ一覧･タイトル名一覧	静止画の一覧表示を切り替えます。 ●[📷TV](切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<タイトル編集>

●ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。

お知らせ

<ピクチャ表示>

●ファイルによってはピクチャ表示できない場合があります。

●Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

<ピクチャ貼付>

●Flash画像は待受画面、ウェイクアップ表示、音声電話／テレビ電話の発着信画面、メールの送受信画面、問い合わせ、メール／メッセージ着信結果以外には貼り付けできません。

●アニメーションGIF形式の画像はテレビ電話の発着信画面以外のテレビ電話関連項目には貼り付けできません。

●画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。

●ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

<iモードメール添付>

●ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。

●画像によってはiモードメール作成できない場合があります。

●ファイル制限ありのファイルのメール添付についてはP.225参照。

<デコメ作成>

●画像サイズがSub-QCIF(128×96)より大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)以下に縮小します。
「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(128×96)以下に縮小･切り出しします。
ファイルサイズがデコメール®作成可能サイズを超える場合は、デコメール®作成可能サイズ以下に変換します。

●Sub-QCIF(128×96)に縮小または切り出しした場合、[✉](取消)を押すか[iα](機能)を押して「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、[iα](機能)を押して「確定」を選択するとiモードメール作成画面が表示されます。

●画像によってはデコメール®作成できない場合があります。

つづく

お知らせ

<ファイル名編集>
- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。

<ファイル制限>
- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。

<スライドショー>
- Flash画像は表示されません。
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

<コピー><フォルダ移動>
- 複数のファイルをコピー･移動中に着信があった場合、コピー･移動は途中でも中止されます。

<1件削除><全削除>
- 複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。

<複数選択>
- 静止画、iモーション、ムービー、メロディ、PDFデータ、きせかえツール、マチキャラは3500件、ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルは100件まで選択できます。

<ピクチャ一覧･タイトル名一覧>
- 「ピクチャ一覧」で表示すると、画像によっては見えかたが異なる場合があります。

静止画再生中の機能メニュー

ピクチャ編集		P.323参照
ピクチャ貼付		P.319参照
ピクチャ情報		P.319参照
位置情報		
	位置情報付加	P.320参照
	位置情報削除	P.320参照
	位置情報詳細	P.320参照
iモードメール添付		P.320参照
デコメ作成		P.320参照
赤外線送信		P.360参照
iC送信		P.362参照
表示サイズ設定		静止画を本来のサイズ(等倍)で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**標準･画面サイズで表示** ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF(176×144)以下の静止画は、縦横2倍のサイズで表示されます。
デスクトップ貼付		P.30参照
microSDへコピー		P.348参照
お預かりセンターに保存		P.124参照
本体へコピー		P.349参照
貼付表示位置		P.320参照
DPOF設定		P.369参照
削除		P.321「1件削除」参照
リトライ		アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

お知らせ

<表示サイズ設定>
- 「画面サイズで表示」に設定中にアニメーションGIFを表示した場合、「標準」での表示時よりアニメーションの動作が遅くなる場合があります。

データ管理

＜ピクチャ編集＞
静止画を編集する

1 静止画一覧画面・静止画再生中 ▶ i α(機能)▶ ピクチャ編集

●待受(480×854)より大きい静止画の場合、待受(480×854)以下に縮小されます。

ピクチャ編集画面

2 i α(機能)▶ 静止画を編集

操作方法についてはP.323～P.325をご覧ください。

3 ●(保存)▶ YES・NO

YES . . . . .上書きして保存します。
NO . . . . .新しい静止画として保存します。

●microSDカード内の静止画を編集した場合は上書き保存できません。●(保存)を押すと変更元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。microSDカード内のデータがいっぱいの場合など、microSDカードに保存できないときは「ｉモード」フォルダに保存されます。
●編集した静止画を保存しない場合は、CLRまたは⌒を押して「YES」を選択します。
●保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

●カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのJPEGファイルのみピクチャ編集できます。

お知らせ

●表示方向を切り替えた静止画を再生中に「ピクチャ編集」を選択すると、元の表示方向に戻ります。
●静止画によってはピクチャ編集できなかったり、編集の効果が現れにくいものがあります。
●画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。
●静止画によってはサイズ変更をするとピクチャ編集ができなくなる場合があります。
●新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。
・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnnn
　タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
　(Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号)
・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ
・取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面の機能メニュー

マーカースタンプ	フレーム／スタンプフォルダのマーカースタンプを合成します。 ▶**マーカースタンプを選択** ●編集中の静止画より小さいサイズのマーカースタンプのみ合成できます。 ●i α(機能)を押して「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大・縮小できます。 ●✉(取消)を押すとマーカースタンプを選択し直せます。 ▶**○で位置を決めて●(配置)** ●✉(追加)を押すとマーカースタンプを追加できます。 ▶**●(確定)**

データ管理

つづく↳

フレーム合成	▶フレームを選択▶●(確定) ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●◎を押すと、前または次のフレームを表示します。◎を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●iα(機能)を押して「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●✉(取消)を押すとフレームを選択し直せます。
文字スタンプ	文字を合成します。 ▶文字を入力 全角15文字/半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●iα(機能)を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。📷(切替)を押して16色・256色を切り替えることができます。 「フォント」を選択すると、文字のフォント(書体)を変更できます。 「文字サイズ」を選択すると、文字を拡大・縮小できます。 「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶◎で位置を決めて●(配置)▶●(確定) ●✉(取消)を押すと配置する位置を選択し直せます。
待受サイズ変換	画像サイズを待受(480×854)に変換します。 ▶YES▶●(確定)
サイズ変更	▶変更したい画像サイズを選択 ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 ▶●(確定) ●✉(取消)を押すとサイズを選択し直せます。

トリミング	一定の大きさに切り出します。 ▶切り出したい画像サイズを選択 ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●トリミングする静止画が、待受(480×854)より大きい場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縮小して表示されます。 ▶◎でトリミングする部分を決めて●(確定) ●✉(取消)を押すとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶●(確定) ●✉(取消)を押すとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 ▶項目を選択 **シャープ**. . . . . .輪郭を強調します。 **ソフト**. . . . . . . .輪郭をぼかします。 **セピア**. . . . . . . .色調をセピアにします。 **浮き彫り** . . . . . .でこぼこの質感にします。 **ネガ** . . . . .色調を反転します。 **ミラー**. . . . . . . .左右を反転します。 **スーパークリアシャドウ** . . . . .暗い静止画を見やすくします。 **記憶色補正** . . . .色やコントラストを補正します。 ▶●(確定) ●✉(取消)を押すと効果を選択し直せます。
回転	▶右90度・左90度・180度▶●(確定) ●✉(取消)を押すと角度を選択し直せます。
明るさ	－3(暗い)から＋3(明るい)で調節します。 ▶明るさを選択
iモードメール添付	P.320参照
保存	P.323参照

データ管理

お知らせ

<マーカースタンプ>
- 編集する静止画より大きく拡大できません。

<文字スタンプ>
- 24×24ドットより小さい静止画は編集できません。
- 編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

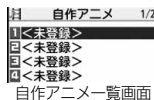
<トリミング>
- チャット画像サイズ(80×80)以下の静止画は編集できません。

<自作アニメ>

アニメを作成する

ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、ユーザフォルダ内の待受(480×854)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 **MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶自作アニメ▶<未登録>**
- 変更する場合は、設定済みの自作アニメを選択します。

自作アニメ 1/2
1<未登録>
2<未登録>
3<未登録>
4<未登録>

自作アニメ一覧画面

2 **コマ順<1コマ目>～<20コマ目>を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択**
- 登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

3 **手順2を繰り返す▶✉(完了)**

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.325手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	P.319参照
ピクチャ情報	P.319参照
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

ピクチャ貼付	P.319参照
表示サイズ設定	P.322参照
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ
- 自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

ｉモーション･ムービーを再生する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したｉモーションや、インターネット上で公開されているパソコン向けの動画(ムービー)を再生します。

●ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドでｉモーション、ムービーの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。(P.400参照)

1 **[MENU]▶データBOX▶ｉモーション／ムービー▶フォルダを選択▶ファイルを選択**

●フォルダ一覧画面で[MENU]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●フォルダ一覧画面の機能メニューはP.356参照。

●他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に[メール](デモ)を押してｉモーションを確認できる場合があります。

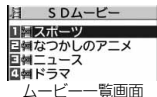
フォルダ一覧画面

ｉモーション一覧画面

●ｉモーションによっては、設定されているチャプターを選択して再生できる場合があります。(P.330参照)

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

●ムービー再生中･一時停止中･停止中に[終話]を押すとムービープレーヤーが終了します。取得しながらの再生中でも終了します。

SDムービー
スポーツ
なつかしのアニメ
ニュース
ドラマ

ムービー一覧画面

●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

再生制限期限切れなど※1

ダウンロード未完了※2

※1 ムービー一覧画面の場合、再生不可の画像が表示されます。
※2 ムービー一覧画面の場合、プレビュー画像が表示されます。

■ ｉモーション･ムービー再生時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.330参照。

操作	ボタン操作
早見再生 [ｉモーションのみ]	[メール]([▷▷])(P.330参照)
早送り [ムービーのみ]	[メール]([▷▷]) ●再生するには[メール]([▶])
消音／消音解除	[iα]
一時停止	[●]([II]) ●再生するには[●]([▶])
コマ送り再生 [ｉモーションのみ]	一時停止中に[メール](コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節	[上下]または[▲][▼]
次のファイルまたはチャプターを表示※1	[右]
前のファイルまたはチャプターを表示※1	[左] ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し(チャプターがある場合はチャプターの頭出し)
サーチ(早送り) [ｉモーションのみ]	[右]を押し続ける
サーチ(早戻し) [ｉモーションのみ]	[左]を押し続ける
再生位置選択※2 [ムービーのみ]	[左右]を押し続ける

操作	ボタン操作
縦画面／横画面／全画面切替※3※4	(横画面) ●押すごとに表示方法を切り替え
リ.マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	8 ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	7 ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 チャプターがないｉモーションや、ムービーをｉモーション一覧画面･ムービー一覧画面の並び順で切り替えます。一覧画面から再生した場合のみ操作できます。ただし、ファイル形式がWVX、ASX、WAXのムービーはスキップされます。また、チャプターがあるｉモーションはチャプターの登録されている順でチャプターを切り替えます。
※2 早戻し中は操作できません。
※3 ムービーの場合、横画面再生は再生中のみ有効です。再生画面を終了すると縦画面に戻ります。また、映像データが非対応のムービーや音声データのみのムービーの場合は操作できません。
※4 ムービーの場合、全画面再生はできません。
●状況によっては実行できない操作もあります。
●ムービーの一時停止中に横画面再生を行うと、画面表示が暗くなる場合がありますが、再生を再開してしばらくすると映像が表示されます。

ムービー再生時、一時停止時にイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次のファイルを再生	連続2回押す
前のファイルを再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

■ｉモーション再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：VGA(640×480)以下のファイル	
	H.263：Sub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)のファイルのみ	
	H.264：QVGA(320×240)以下のファイル	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■ムービー再生の仕様について

ファイル形式	WMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX		
拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx		
コーデック	ビデオ	Windows® Media Video 8～9※	
	オーディオ	Windows® Media Audio 2～9	
ビットレート	映像	WMV8	768kbps
		WMV9	2Mbps
	音声		384kbps
ビデオサイズ	WMV8	CIF(352×288)以下のファイル	
	WMV9	ワイドVGA(800×480)以下のファイル	
フレームレート	30fps		

※ Windows Media Video 9の複合プロファイル(complex profile)には対応していません。
●上記を超えるビットレートでも再生できる場合があります。
●対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。
●映像と音声どちらか一方が対応していないファイル形式であった場合、対応しているもう一方のみで再生を行う場合があります。

フォルダ一覧画面で「ｉモーション」または「ムービー」の「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。ｉモーションの場合は「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択できます。ムービーの場合は「復旧しおり」または「しおり1～9」を選択できます。しおりを選択すると、登録していた箇所からｉモーション･ムービーが再生されます。

復旧しおり	ｉモーション･ムービー再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるとき、再生中にムービープレーヤーを終了したときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり･しおり	あらかじめｉモーション･ムービーの任意の場面に登録しておくもので、ｉモーションの場合は2つまで、ムービーの場合は9つまで作成できます。(P.329、P.330参照)

- 「しおり」の情報を表示するには(機能)を押して「しおり情報」を選択します。
- 「指定しおり」を削除するには(機能)を押して「削除」を選択します。「しおり」を削除するには(機能)を押して「複数選択」「1件削除」「全削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
- 「指定しおり」「しおり」を登録したｉモーション･ムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合、ムービーのファイル名を変更していた場合は再生できません。
- しおりから再生した場合でも、ムービーによっては、冒頭からの再生となる場合があります。

フォルダ一覧画面で「再生履歴」を選択したときは

ムービーを再生すると、ファイルのURLまたは保存場所が履歴として記憶されます。30件まで記憶され、これを超えると一番古い履歴に上書きされます。再生履歴を選択すると記憶された履歴情報に基づきムービーが再生されます。

再生履歴一覧画面

- 再生履歴に記憶されたムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。
- 取得したムービーを未保存状態のままデータ取得完了の画面から再生した場合は、再生履歴に記憶されません。

お知らせ

- サーチ(早送り･早戻し)やコマ送り再生中は無音となります。サーチ(早送り･早戻し)は、ｉモーションを一時停止･再生中(スロー再生･早見再生も含む)に実行できます。
- ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
- wvx、wax、asxの拡張子を持つファイルは、インターネット上のムービーのURLが指定されているファイルです。microSDカードに保存されているこれらのファイルを選択した場合、指定されたURLからストリーミングもしくはダウンロード再生を行います。

ｉモーション一覧画面･ムービー一覧画面･再生履歴一覧画面の機能メニュー

ｉモーション編集		P.332参照
タイトル編集		ｉモーションのタイトルを編集します。(P.319参照)
ｉモーション貼付		
	着信音	ｉモーションを着信音に設定します。 ▶**着信の種類を選択** ●設定された項目には「★」マークが付きます。
	待受画面	ｉモーションを待受画面に設定します。 ▶**YES**
	ウェイクアップ表示	ｉモーションをウェイクアップ表示に設定します。 ▶**YES**
ｉモーション情報		ｉモーションのタイトル、ファイル名などを表示します。
ｉモードメール添付		ファイルを添付してｉモーションメールを作成します。P.130手順2へ進みます。 ●()を押してもｉモードメールを作成できます。
赤外線送信		P.360参照
iC送信		P.362参照

microSDへコピー	P.348参照
本体へコピー	P.349参照
microSDへ移動	P.350参照
本体へ移動	P.350参照
コンテンツ情報	ムービーのタイトル、ファイル名などを表示します。
フォルダ移動	P.321参照
タイトル編集	
タイトル編集	ムービーのタイトルを編集します。(P.319参照)
タイトル初期化	ムービーのタイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
コピー	P.320参照
デスクトップ貼付	P.30参照
ファイル名編集	P.320参照
ファイル制限	P.320参照
タイトル初期化	ｉモーションのタイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
履歴情報	再生履歴の情報が表示されます。
しおり登録	再生履歴に記憶されているムービーのURL情報をしおりに登録します。しおりから再生する際は先頭から再生されます。 ▶**登録したいしおりを選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
説明	ムービーの歌詞や説明を表示します。 ▶**歌詞表示・説明表示** ●それぞれ全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
1件削除	P.321参照
全削除	P.321参照
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.321参照
一覧表示切替	ｉモーション一覧画面・ムービー一覧画面の表示内容を変更します。microSDカードの一覧画面では、タイトルで表示するかファイル名で表示するかを選択できます。 ▶**表示方法を選択** **タイトル** . . . タイトルまたはファイル名が一覧表示されます。 **タイトル＋画像** . . . タイトルまたはファイル名と画像が同時に表示されます。表示される画像はｉモーション・ムービーの1コマ目です。 **タイトル表示／ファイル名表示** . . . タイトルを表示するかファイル名を表示するかを選択します。 ●microSDカードの一覧画面の場合、「タイトル」「タイトル＋画像」は「名前」「名前＋画像」と表示されます。 ●TV(切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<ｉモーション貼付>
- 待受画面に設定した場合、VGA(640×480)以外のｉモーションはVGA(640×480)に拡大、または縮小されます。
- 取得元が「」のｉモーションは着信音や着信画面に設定できません。
- 着信音や着信画面に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。

<ｉモードメール添付>
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいときはメールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとｉモーションの先頭から約2Mバイトまでを切り出します。
- ｉモーションによってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
- ｉモーション編集画面から2Mバイトを超えるｉモーションは添付できません。ｉモードメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
チャプター一覧	iモーションに登録されているチャプターの一覧を表示し、再生したいチャプターを選択します。 ▶**再生したいチャプターを選択**
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生を解除するには、✉(▶)を押すか「通常再生」の操作を行います。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。 ●✉(⏩)を押すと2倍速再生されます。 ✉(▶)を押すと通常再生に戻ります。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。 ●早見再生を解除するには、✉(▶)を押すか「通常再生」の操作を行います。
早送り	早送り再生します。 ●早送り再生を解除するには、✉(▶)を押します。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ●早戻し再生を解除するには、✉(▶)を押します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	iモーション・ムービーの再生を開始する位置を設定します。 ▶**でタイムバーのカーソルを移動**▶●(確定) ●中止する場合はCLRを押します。
サウンド効果	
リ.マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON・OFF**
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド**.....自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1・2**...イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 **OFF**..........リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル**.....通常の音質です。 **H.BASS1**...低音を強調します。 **H.BASS2**...H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **トレイン**.....音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
コンテンツ情報	P.329参照
しおり登録	iモーション・ムービーにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**登録したいしおりを選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
iモーション編集	P.332参照
iモードメール添付	P.328参照 ●再生終了画面で✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
iモーション貼付	P.328参照
iモーション情報	P.328参照
赤外線送信	P.360参照
iC送信	P.362参照
本体へコピー	P.349参照
デスクトップ貼付	P.30参照
説明	P.329参照

URLコピー	インターネット上で公開されているムービーを再生中に、ムービーのURLをコピーします。 ●URLは半角512文字までコピーできます。
表示サイズ設定	ｉモーション・ムービーを本来のサイズで表示（等倍表示）するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示 ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超えるｉモーション・ムービーは画面サイズに縮小されます。また、QCIF（176×144）以下のｉモーション・ムービーは、縦横2倍のサイズで表示されます、
全画面モード切替	ｉモーションの表示方法を切り替えます。項目を選択するごとに、縦画面での再生→画面サイズに合わせて横画面での再生→拡大して全画面での再生に切り替えられます。

お知らせ

＜チャプター一覧＞
- チャプター送り／戻し制限がかかっている場合、現在再生している地点より後／前のチャプターは選択できません。

＜スロー再生＞
- 以下のｉモーションはスロー再生できません。
  - ・ストリーミングタイプのｉモーション
  - ・データを取得しながら再生中のｉモーション
  - ・待受画面から再生したｉモーション

＜早見再生＞
- ｉモーションによっては、早見再生されない場合があります。
- 早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

＜再生位置選択＞
- ｉモーション・ムービーによっては、再生位置を選択できない場合があります。

＜サウンド効果＞
- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。
- 音声形式がAMRやG.726のｉモーションの場合、サウンド効果が無効になる場合があります。

お知らせ

＜しおり登録＞
- ｉモーション・ムービーによっては、しおりを登録できない場合があります。
- ムービーによっては、一時停止した位置に関わらず、先頭が再生開始位置として登録される場合があります。

＜全画面モード切替＞
- QCIF（176×144）以下のｉモーションは全画面では再生されません。

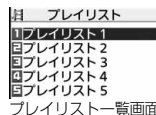
プレイリストを利用する

ｉモーションをプレイリストに登録して、好きな順に連続で再生できます。プレイリストは5件まで作成でき、1件あたり30件のｉモーションを登録できます。

プレイリスト登録

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション／ムービー▶プレイリスト▶プレイリスト1～5を選択**

プレイリスト
1プレイリスト1
2プレイリスト2
3プレイリスト3
4プレイリスト4
5プレイリスト5

プレイリスト一覧画面

2 **＜1番目＞～＜30番目＞を選択▶フォルダを選択▶ｉモーションを選択**

3 **手順2を繰り返す▶✉（完了）**

- 登録したｉモーションを解除するには、iα（機能）を押して「1件解除」を選択します。「全解除」を選択すると、登録済みのすべてのｉモーションを解除できます。
- 登録したｉモーションの順番を変更するには、iα（機能）を押して「曲順変更」を選択し、順番を変更したいｉモーションを選択します。つづいて変更先を選択すると順番を変更できます。

お知らせ
- 部分保存したｉモーションはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 **プレイリスト一覧画面▶プレイリストを選んで[メール](再生)**

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

再生	P.332参照
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。 P.331手順2へ進みます。
プレイリスト解除	プレイリストに登録されているｉモーションをすべて解除します。 ▶YES
プレイリスト名編集	プレイリスト名を編集します。 ▶**プレイリスト名を入力** ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

＜ｉモーション編集＞

ｉモーションを編集する

ｉモーションを編集します。編集したｉモーションは、編集元のｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 **ｉモーション一覧画面・一時停止中・再生終了時▶[iα](機能)▶ｉモーション編集**

●[上下]または[▲][▼]で音量を調節できます。

ｉモーション編集画面

2 **[iα](機能)▶ｉモーションを編集**

操作方法についてはP.333をご覧ください。

3 **[●](保存)を押す**

●編集したｉモーションを保存しない場合は、[CLR]または[終話]を押して「YES」を選択します。

4 **YES**

●保存しているｉモーションがいっぱいのときはP.194参照。

■ ｉモーション編集中・デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
一時停止	[●](Ⅱ) ●再生するには[●](▶)
早送り	[右]を押し続ける
早戻し	[左]を押し続ける
コマ送り	一時停止中に[右]
コマ戻し	一時停止中に[左]
音量調節	[上下]または[▲][▼]

●状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ

●以下のｉモーションは編集できません。
・サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」がありのファイル
・VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）、QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外のファイル
・microSDカードに保存されているファイル
●ｉモーションによっては編集できない場合があります。
●ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。
●編集中に電話がかかってきたり、電池がなくなった場合は、確定した編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されます。編集中にFOMA端末を閉じた場合は、編集内容が破棄されます。

ｉモーション編集画面の機能メニュー

ｉモーション切り出し	ｉモーションから任意の範囲を切り出します。 ▶Oで開始フレームを表示▶✉(始点) 開始フレームが設定され、ｉモーションが再生されます。 ▶切り出したいところまで再生したら●(❚❚) ｉモーションの再生が一時停止します。 ▶Oで終了フレームを表示▶✉(終点) 切り出した範囲が再生されます。 ●ファイルサイズが約10Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。 ▶●(確定) ●✉(デモ)を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶Oでフレームを表示▶✉(確定)▶YES ▶フォルダを選択 ●保存している画像がいっぱいのときはP.194参照。
メールサイズ切り出し	ｉモーションをｉモードメールに添付可能なサイズに切り出します。 ▶メールサイズ(小)・メールサイズ メールサイズ(小)．．．約500Kバイト以下のサイズに切り出します。 メールサイズ．．．．．．．約2048Kバイト以下のサイズに切り出します。 ▶Oで開始フレームを表示▶✉(始点) ｉモーションが再生されます。 約500Kバイトまたは2048Kバイトのサイズ、または再生終了時点になると、自動的に再生が停止します。 ▶●(確定) ●✉(デモ)を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
ｉモードメール添付	P.328参照
ファイル制限	P.320参照

お知らせ

＜ｉモーション切り出し＞

- ｉモーション切り出しを行うと、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

ｉモーション編集中の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	ｉモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	ｉモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。

ビデオを再生する

microSDカード内に保存したビデオを再生します。

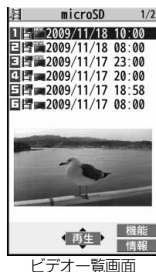
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドでビデオの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。(P.400参照)

1 MENU▶データBOX▶ワンセグ▶ビデオ▶ファイルを選択

- ビデオに再生位置が記録されている場合は、記録されている再生位置から再生します。
  ✉(先頭再生)を押すと先頭から再生されます。
- ビデオ一覧画面で分割ファイルを含むビデオを選択した場合、分割録画ビデオの一覧から再生するビデオを選択します。

フォルダ一覧画面

→

ビデオ一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。
- 再生時は番組名やタイムバー(目安)などが表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

■ビデオ再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.336参照。

操作	ボタン操作
早見再生※1	✉ ●押すごとに「1.25倍速」→「2倍速」→「あらすじ再生」→「通常再生」の順に切り替え
消音／消音解除	消音キー
一時停止※1	●(II) ●再生するには●(▶)
コマ送り再生※1	一時停止中に✉(コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節	上下キー※1または▲▼
早送り※1	右キー ●再生するには●(▶)
早戻し※1	左キー ●再生するには●(▶)
スキップ(送り)※1※2	再生中、一時停止中に右キー(1秒以上)または#
スキップ(戻し)※1※3	再生中、一時停止中に左キー(1秒以上)または*
番組名表示※4	通話キー ●タイムバーなども表示 ●ボタン操作を行ったときにも表示
画面表示切替	番組名表示中に通話キー ●横画面表示では押すごとに「アイコン常時表示設定」と字幕のON／OFFを切り替え ●横画面表示では字幕の有無に関わらず、タイムバーの表示位置も切り替え
表示方向切替／全画面切替	カメラ/TVキー ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに通常表示／全画面表示を切り替え
映像／データ放送切替	MENU(TV/データ)※5 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。
※2 再生時間が30秒未満のファイルでは操作できません。
※3 再生時間が10秒未満のファイルでは操作できません。
※4 スキップ、早送り、早戻し、再生位置選択の直後に操作した場合、「ビデオ情報」に保存されている番組名が表示される場合があります。
※5 横画面表示中は番組名表示の操作になります。

ビデオのフォルダー覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所からビデオが再生されます。

復旧しおり	ビデオ再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめビデオの任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.336参照)

- 「指定しおり」を削除するには[iα](機能)を押して「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
- しおりを登録したビデオを削除していた場合は再生できません。

お知らせ

- コマ送り再生中／スキップ中は無音です。また、字幕は表示されません。
- 一時停止中、コマ送り再生中、スロー再生中、早見再生中は「サウンド設定」を「ON」にしていても効果音は鳴りません。
- ワンセグ視聴中やビデオ再生中にデータ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。(P.247参照)
- 一時停止中、再生終了時はデータ放送のリンクなどを選択しても操作できない場合があります。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。
- 電池残量が少ない状態で、ビデオを再生しようとした場合は、電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。
- 編集機能が搭載された携帯電話やパソコンなどを利用してビデオを編集(分割)した場合、FOMA端末では正しく再生できないことがあります。
- 他の機器でかけられたプロテクトには対応していません。

ビデオ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集		▶**タイトルを入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ビデオ情報		ビデオの番組名、チャンネル名などを表示します。 ●[TV](情報)を押してもビデオの番組名、チャンネル名などを表示できます。
デスクトップ貼付		P.30参照
タイトル初期化		タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	複数のビデオを選択して削除します。 ▶**削除したいビデオにチェック**▶[✉](完了)▶YES
	全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
一覧表示切替		ビデオ一覧画面の表示内容を変更します。 ▶**表示方法を選択** **タイトル**. . . . . タイトルが一覧表示されます。 **タイトル+画像** . . . タイトルと画像が同時に表示されます。表示される画像はビデオの1コマ目です。

お知らせ

<削除>

- 複数のビデオを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。その場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。
- FOMA端末に対応していないデータが含まれているビデオは削除できないことがあります。

<一覧表示切替>

- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生を解除するには、「通常再生」の操作を行います。
早見再生	早い速度で再生します。 ▶**項目を選択** **1.25倍速**……通常の約1.25倍の速度で再生します。 **2倍速**……通常の約2倍の速度で再生します。 **あらすじ再生**…ビデオの音声に合わせて再生速度が自動的に調節されます。 ●早見再生を解除するには[✉]を何度か押すか「通常再生」の操作を行います。
早送り	早送り再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●早送り再生を解除するには、[●]（[▶]）を押します。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●早戻し再生を解除するには、[●]（[▶]）を押します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ▶**[◐]でタイムバーのカーソルを移動**▶[●]（[確定]） ●中止する場合は[CLR]を押します。
しおり登録	ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**しおり1に登録・しおり2に登録**
ビデオ情報	P.335参照
デスクトップ貼付	P.30参照

画面表示切替 プレーヤー起動時 字幕表示設定ON時：映像＋字幕＋データ放送 字幕表示設定OFF時：映像＋データ放送			視聴画面の表示内容を切り替えます。 ▶**項目を選択** ●「映像拡大＋データ放送」に設定すると、縦画面表示の映像を拡大します。 ●「データ放送」に設定しているときに、機能メニューから「早送り」や「早戻し」の操作を行った場合は、プレーヤー起動時の設定になります。 ●「データ放送」に設定してもビデオの音声は流れます。 ●字幕表示設定はワンセグの視聴中または「ユーザ設定」で設定します。
映像／データ放送切替 プレーヤー起動時 映像モード			縦画面で視聴中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定			P.246参照
画質モード設定			P.246参照
音声設定			
	サウンド効果		
		自動音量設定	P.246参照
		リ.マスター設定	P.246参照
		リスニング設定	P.247参照
		イコライザー設定	P.247参照
	主／副音声設定 プレーヤー起動時 主音声		▶**主音声・副音声・主／副同時**
データ放送操作			
	コンテンツ再読み込み		表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
	証明書表示		P.186参照
	画像表示設定		P.197参照

	サウンド設定	P.247参照
	確認表示初期化	P.247参照
データ放送へ戻る		データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。

お知らせ

＜早見再生＞
- ビデオによっては、早見再生されない場合があります。
- 早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

＜再生位置選択＞
- ビデオによっては、再生位置を選択できない場合があります。
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。

キャラ電

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーで再生、撮影することもできます。

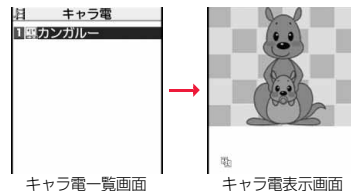
- お買い上げ時に登録されているキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.193参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。
- キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

<キャラ電プレーヤー>

キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

1 **MENU▶データBOX▶キャラ電▶キャラ電を選択**

キャラ電一覧画面　キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当

「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。
- 操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 (全体アクションモード時)	全体アクション:身体全体でアクションを表現します。
11～99※1 (パーツアクションモード時)	パーツアクション:身体の一部でアクションを表現します。
0	実行中のアクションを中断します。
MENU	「アクション一覧」を表示します。
✉	テレビ電話発信になります。
📷TV	キャラ電を撮影します。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

キャラ電発信	P.71参照
代替画像設定	P.71参照
キャラ電撮影	P.338参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
キャラ電情報	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
デスクトップ貼付	P.30参照
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック▶i α(機能)▶削除 ▶YES
表示サイズ設定	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

<キャラ電情報>
- 「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<1件削除><全削除><複数選択>
- 代替画像に設定している「カンガルー」以外のキャラ電を削除した場合、代替画像は「カンガルー」に設定されます。「カンガルー」を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

キャラ電発信	P.71参照
代替画像設定	P.71参照
キャラ電撮影	P.338参照
デスクトップ貼付	P.30参照
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。 ●MENUを押してもアクション一覧を表示できます。
アクション切替 キャラ電表示時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(全)またはパーツアクションモード(パ)に切り替えます。
キャラ電情報	P.338参照
表示サイズ設定	P.338参照

<キャラ電撮影>

キャラ電を撮影する

表示されているキャラ電を、静止画や動画として撮影します。

1 MENU▶データBOX▶キャラ電▶撮影したいキャラ電を選択▶📷TV(撮影)

- キャラ電一覧画面、キャラ電表示画面の機能メニューからも選択できます。

キャラ電撮影画面

静止画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「📷」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。
- 「🎞」が表示されているときは📷(フォト)を押して「📷」を表示します。

2 ●(保存)を押す

撮影した静止画を「カメラ」フォルダに保存します。

動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「🎞」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。
- 「📷」が表示されているときは📷(ﾑｰﾋﾞｰ)を押して「🎞」を表示します。

2 ●(停止)▶●(保存)

撮影した動画を「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

- 画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。
- マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、シャッター音は鳴りません。
- 「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。

キャラ電撮影画面の機能メニュー

キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
代替画像設定	P.71参照
アクション一覧	P.338参照
アクション切替	P.338参照
表示サイズ設定	P.338参照
記録サイズ設定	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF(176×144)･縮小サイズ(117×96)
映像／音声選択	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像･音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声･映像のみ
記録品質設定	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶標準･画質優先･動き優先

<マチキャラ>

マチキャラを表示する

- お買い上げ時に登録されているマチキャラは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.193参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。

1 MENU▶データBOX▶マチキャラ▶マチキャラを選択

- マチキャラ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードの一覧画面が切り替わります。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

プレビュー画像なし

ダウンロード未完了

- 「ｉモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

マチキャラ一覧画面

データ管理

マチキャラ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	P.319参照
プレビュー	マチキャラを表示します。
マチキャラ設定	マチキャラを設定します。(P.106参照) ●✉(設定)を押してもマチキャラ設定できます。 ●microSDカード内のマチキャラはマチキャラ設定できません。
マチキャラ解除	設定中のマチキャラを解除します。
マチキャラ情報	マチキャラのタイトル、ファイル名などを表示します。
一括情報リセット	マチキャラに含まれる情報をリセットします。(P.106参照) ▶YES
microSDへ移動	P.350参照
本体へ移動	P.350参照
フォルダ移動	P.321参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
1件削除	P.321参照
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているマチキャラも削除されます。
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。
ソート	P.321参照
一覧表示切替	マチキャラ一覧画面の表示内容を変更します。 ▶タイトル・画像 ●📷(切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<マチキャラ設定>

●プリインストールマチキャラの「まめはかせ」に設定している場合は、2009年11月20日～12月25日および2010年11月20日～12月25日の間のみ、サンタバージョンで表示されます。

<メロディプレーヤー>

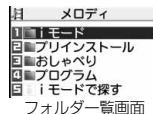
メロディを再生する

MENU 1 6

1 MENU▶データBOX▶メロディ

●フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

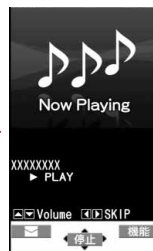
●フォルダ一覧画面の機能メニューはP.356参照。

フォルダ一覧画面

2 フォルダを選択▶メロディを選択

●他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。

●「iモードで探す」を選択した場合はP.193参照。

メロディ一覧画面

→

メロディ再生画面

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 MENU▶データBOX▶メロディ▶プログラム

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	■(停止)、☎、0～9、＊、＃、✉※1、MENU、📷
音量調節	◎または▲▼
次のファイルを再生※2	◎
前のファイルを再生※2	◎

※1 メールに添付できないメロディの場合のみ、停止します。
※2 メロディ一覧画面から再生した場合に有効です。

お知らせ

- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合は鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角31文字/半角63文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●半角英数字、記号(「.」、「-」、「_」のみ)で36文字(拡張子を除く)まで入力できます。
メロディ再生	P.340参照
着信音設定	▶着信の種類を選択 ●設定された項目には「★」マークが付きます。
ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。 ▶なし・あり ●ファイル制限についてはP.225参照。
デスクトップ貼付	P.30参照
ｉモードメール添付	選択しているメロディをｉモードメールに添付して作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもｉモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.360参照
iC送信	P.362参照
microSDへコピー	P.348参照
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。
本体へコピー	P.349参照
本体へ移動	P.350参照
コピー	microSDカード内のメロディをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶コピー先を選択
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除	
1件削除	FOMA端末内のメロディを1件削除します。 ▶YES
選択削除	FOMA端末内のメロディを選択して削除します。 ▶削除したいメロディにチェック▶✉(完了)▶YES

データ管理

つづく↳

全削除	FOMA端末内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
1件削除	microSDカード内のメロディを1件削除します。 ▶**YES**
全削除	microSDカード内の選択したフォルダに保存されているすべてのメロディを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
複数選択	microSDカード内の複数のメロディを選択して操作します。 ▶**操作したいメロディにチェック**▶(機能) ▶**項目を選択** **削除** . . . . P.342「1件削除」参照 **コピー** . . . . P.341参照 **フォルダ移動** . . . . . . P.342参照 **全選択** . . . . 全選択します。 **全選択解除** . . . . 選択をすべて解除します。
ソート	表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択** ●microSDカード内のファイルはソートできません。
フォルダ移動	メロディを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先のフォルダを選択** ▶**移動したいメロディにチェック**▶(完了)▶**YES** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、()を押すと表示できます。上の階層に戻すにはCLRを押します。 ●microSDカード内の場合は、メロディをチェックする操作以降は不要です。
microSDへ移動	P.350参照

お知らせ

<ファイル名編集>

●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。

●一部の文字や記号はファイル名に使用できません。

お知らせ

<ファイル制限>

●取得元アイコンが「」のメロディにのみファイル制限を設定できます。

●ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。

<iモードメール添付>

●取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。

<メロディ情報>

●メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、iモードメールに添付できないことがあります。

<削除>

●他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

●お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

メロディ再生画面の機能メニュー

iモードメール添付	P.341参照
着信音設定	P.341参照
メロディ情報	P.341参照
microSDへコピー	P.348参照
本体へコピー	P.349参照
デスクトップ貼付	P.30参照
フルコーラス再生・ポイント再生	メロディの再生開始位置を一時的に切り替えます。

<きせかえツール>

きせかえツールを確認する

●お買い上げ時に登録されているきせかえツールは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.193参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。

1 MENU▶データBOX▶きせかえツール▶きせかえツールを選択

きせかえツール詳細画面で項目を反転/選択すると、それぞれの設定内容がデモ再生されます。

きせかえツール一覧画面

きせかえツール詳細画面

●きせかえツール一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードの一覧が切り替わります。microSDカード内のフォルダー一覧画面でフォルダを選択すると、きせかえツール一覧画面が表示されます。

●フォルダー一覧画面の機能メニューはP.356参照。

●プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

●「i モードで探す」を選択した場合はP.193参照。

お知らせ

●時計表示はデモ再生できません。

きせかえツール一覧画面・詳細画面の機能メニュー

タイトル編集	P.319参照
プレビュー	きせかえツール詳細画面を表示します。
一括設定	きせかえツールを一括で設定します。(P.105参照) ●✉(一括設定)を押しても一括設定できます。 ●microSDカード内のきせかえツールは一括設定できません。
きせかえツール情報	きせかえツールのタイトル、ファイル名などを表示します。
ファイル情報	ファイル名やファイル種別を表示します。
microSDへ移動	P.350参照
本体へ移動	P.350参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
フォルダ移動	P.321参照
1件削除	P.321参照
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているきせかえツールも削除されます。
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。
ソート	P.321参照
一覧表示切替	きせかえツール一覧画面の表示内容を変更します。 ▶タイトル・画像 ●きせかえツール一覧画面で📷(切替)を押しても切り替えることができます。

microSDカード

microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

- P-09Aでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2009年4月現在)
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  ・i モードから
  P-SQUARE(2009年4月現在)
  i Menu→メニューリスト
  →ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  ・パソコンから
  http://panasonic.jp/mobile/
  サイト接続用QRコード
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

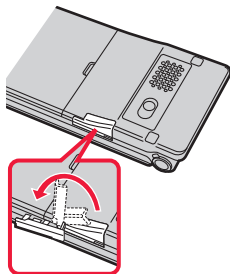
- カード処理を行っているときは「 」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDカードを抜いてください。
- 本体・microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- microSDカードに保存可能な件数・時間についてはP.355参照。
- microSDカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
- FOMA端末では、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、i モーション、ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、着うたフル®、i アプリをmicroSDカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

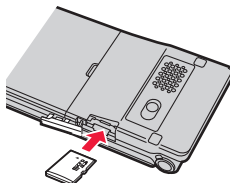
お知らせ

- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは使用できないことがあります。必ずP-09AでフォーマットしたmicroSDカードをご使用ください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDカードをP-09Aで使用すると、P-09Aで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

microSDカードの取り付けかた/取り外しかた

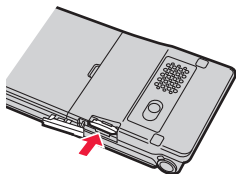
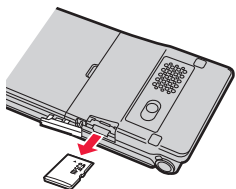
■取り付けかた

1 microSDカード差し込み口のカバーを矢印の方向に回転させて開ける

2 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

3 microSDカード差し込み口のカバーを閉める

■取り外しかた

1 「■取り付けかた」の手順1に従ってカバーを開け、microSDカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDカードが出ます。

2 microSDカードを抜き取る

■画面表示について

microSDカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

:データを保存したり読み出したりできます。

:microSDカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

:microSDカードを使用できません。microSDカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「 」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- FOMA端末の電源を入れた状態で取り付けたり取り外したりしないでください。microSDカードに損傷を与えたり、データが壊れることがあります。
- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますので注意してください。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDカードが破損する恐れがあります。
- microSDカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

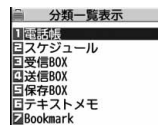
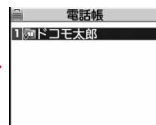
<microSD>

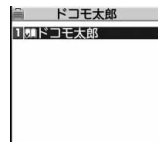
microSDカードのデータを表示する

microSDカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークを表示します。

- 電話帳、メール、ブックマークの詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示した場合と同様の操作ができます。
電話帳の詳しい操作についてはP.86参照。
メールの詳しい操作についてはP.156参照。
ブックマークの詳しい操作についてはP.189参照。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶分類を選択

- 「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

分類一覧表示画面　　microSDファイル画面（電話帳の場合）

2 ファイルを選択▶データを選択

データ一覧画面（電話帳の場合）　　データ詳細画面（電話帳の場合）

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角31文字まで入力できます。
本体へ追加コピー	P.347参照
本体へ上書コピー	P.348参照
本体へ1件追加コピー	P.347参照
本体へ全件追加コピー	P.347参照
本体へ全件上書コピー	P.347、P.348参照
microSDへコピー	P.346参照
本体へコピー	P.347参照
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
microSD情報表示	P.353参照
プロパティ表示	データ詳細画面を表示します。
microSDフォーマット	P.352参照
microSDチェックディスク	P.353参照

FOMA端末内のデータをmicroSDカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークをmicroSDカードにコピーします。

microSDへ1件コピー

FOMA端末内の1件のデータをmicroSDカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの画面▶iα(機能)▶microSDへコピー▶YES

- 電話帳、スケジュール、メールをコピーする場合は、機能メニューから「移動／コピー」を選択し、「microSDへコピー」を選択します。
- ブックマークをコピーする場合は、機能メニューから「コピー」を選択し、「microSDへコピー」を選択します。

microSDへ全件コピー

分類一覧画面で選択している分類やmicroSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からmicroSDカードにコピーします。
コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードやボイスダイヤルはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面▶iα(機能)▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES

- スケジュールをコピーするときは、「スケジュール」･「ToDo」･「すべて」(スケジュールとToDo)のいずれかを選択します。
- ブックマークをコピーするときは、「ｉモードブラウザ」･「フルブラウザ」･「すべて」(ｉモードとフルブラウザ)のいずれかを選択します。

お知らせ

- シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。

お知らせ

- データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
- 電話帳を全件コピーした場合、「自局番号表示」の内容もコピーされます。
- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

microSDカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマークをFOMA端末にコピーします。

- microSDカードに保存できる件数についてはP.355参照。

本体へ1件追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 データ一覧画面・データ詳細画面▶ i α (機能)▶本体へ1件追加コピー・本体へコピー▶YES

- 電話帳のデータ詳細画面からコピーする場合は、機能メニューから「移動／コピー」を選択し、「本体へコピー」を選択します。

本体へ全ファイル追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面▶ i α (機能)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

本体へ1ファイル追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 microSDファイル画面▶ i α (機能)▶本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
データ一覧画面▶ i α (機能)▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

本体へ全ファイル上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面▶ i α (機能)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

本体へ1ファイル上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 microSDファイル画面▶i α(機能)▶本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES
または
データ一覧画面▶i α(機能)▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号·グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号·グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 電話帳を上書きでコピーすると、ボイスダイヤルは削除されます。
- 受信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 他の機種で保存したファイルをコピーすると、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
- 「本体へ全件追加コピー」した場合、同じURLのブックマークはコピーされません。
- microSDカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへコピーする

コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画(DCF規格)	「ピクチャ」内の保存先フォルダ PXXXXXXX(Xは数字)
静止画(DCF規格外)	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX(Xは数字)
静止画(デコメ®絵文字)	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX(Xは数字)
iモーション(映像あり)	「SDビデオ」内の保存先フォルダ MOLXXX(Xは英数字)
iモーション(映像なし)	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX(Xは数字)
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX(Xは数字)
PDF	保存先フォルダ FOMA端末内のファイル名と同じ
デコメアニメ®テンプレート	保存先フォルダ DEATXXXX(Xは数字)

- FOMA端末、microSDカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換される場合があります。

1 静止画一覧画面·静止画再生中·iモーション一覧画面·メロディ一覧画面·メロディ再生中·PDFデータ一覧画面·デコメアニメ®テンプレート一覧画面▶i α(機能)▶microSDへコピー

- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。

データ管理

お知らせ

- ｉモードフォルダ、カメラフォルダ、デコメピクチャフォルダ、デコメ絵文字フォルダ、ユーザフォルダ内のJPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータ、デコメアニメ®テンプレートをコピーできます。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。
- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されて保存されます。静止画、デコメアニメ®テンプレート以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」（XXXXXXXはフォルダ名）と表示されます。
- 以下のファイルはコピーできません。
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･再生制限付きファイル
  - ･部分保存したｉモーションまたは着うたフル®
  - ･ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
- microSDカードへコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDカード内にあるファイルを、本体内のｉモードフォルダにコピーします。（デコメ®絵文字の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに、デコメアニメ®テンプレートの場合は「本体」フォルダにコピーされます。）

1 microSDカードの静止画一覧画面･静止画再生中･ｉモーション一覧画面･ｉモーション一時停止中･ｉモーション再生終了時･メロディ一覧画面･メロディ再生中･PDFデータ一覧画面･デコメアニメ®テンプレート一覧画面▶ｉα（機能）▶本体へコピー

- 「複数選択」でコピーしたいファイルを選択しておくと、複数ファイルを一度にコピーできます。
- 保存している静止画･ｉモーション･メロディ･PDFデータがいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータ、デコメアニメ®テンプレートをコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディ、500Kバイトを超えるSWFファイルはコピーできません。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。ただし、ASF形式のｉモーション、VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）のｉモーション、10Mバイトを超えるｉモーションは、複数コピーできません。
- ｉモーションコピー時はｉモーションを切り出し･変換･縮小を行うため、ファイルサイズが増減することがあります。ただし、映像コーデックがH.264のｉモーションは変換、縮小を行わずコピーします。
- VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）のｉモーションをコピーする場合、QVGA（320×240）に変換します。VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）のｉモーション、ASFファイル、10Mバイトを超えるファイルをコピーすると、時間がかかる場合があります。
- 10Mバイトを超えるｉモーションで以下の場合はコピーできません。
  - ･映像コーデックがH.264のとき
  - ･音声コーデックがAAC、AAC+（HE-AAC）、Enhanced aacPlusのとき
  - ･動画像ビットレートが制限を超えるとき
  - ･サーチ（早送り･早戻し）ができないとき
  - ･VGA（640×480）、HVGAワイド（640×352）、QVGA（320×240）、QCIF（176×144）、Sub-QCIF（128×96）以外のファイルのとき

  上記の条件以外でもｉモーションによってはコピーできない場合があります。
- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

＜コンテンツ移行対応＞

著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダ（着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダ）に保存されます。
microSDカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 静止画一覧画面・ｉモーション一覧画面・マチキャラ一覧画面・メロディ一覧画面・きせかえツール一覧画面・PDFデータ一覧画面・着うたフル®一覧画面 ▶iα（機能）▶microSDへ移動▶OK

お知らせ

- 取得元アイコンが「 」のファイルのみmicroSDカードへ移動できます。
- 部分保存したｉモーション、着うたフル®、きせかえツール、マチキャラ、PDFデータはmicroSDカードへ移動できません。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末の「ｉモード」フォルダに移動します。

1 microSDカードの静止画一覧画面・ｉモーション一覧画面・マチキャラ一覧画面・メロディ一覧画面・きせかえツール一覧画面・PDFデータ一覧画面・着うたフル®一覧画面▶iα（機能）▶本体へ移動

- 保存しているファイルがいっぱいのときはP.194参照。

お知らせ

- 著作権のあるファイル（ファイル制限あり）で本体へ移動「可」または「可（同一機種間）」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可（同一機種間）」のファイルはP-09A以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可（同一機種間）」を確認するには「ピクチャ情報」「ｉモーション情報」「マチキャラ情報」「メロディ情報」「きせかえツール情報」「ドキュメント情報」「ファイル情報」「ミュージック情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「ｉモード」フォルダに保存されます。ただし、マチキャラはデータBOXの「マチキャラ」に、きせかえツールはデータBOXの「きせかえツール」に、着うたフル®は「ｉモード」フォルダの「初期フォルダ」にそれぞれ保存されます。

FOMA端末内のｉアプリをmicroSDカードへ移動する

ｉアプリによってはmicroSDカードに移動して保存しておけるものがあります。
microSDカードに移動したｉアプリは起動することはできません。再度、FOMA端末に移動すると起動できます。ただし、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 ソフト一覧画面▶iα（機能）▶microSDへ移動▶YES

microSDカード内のｉアプリをFOMA端末へ移動する

microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動します。

1 ソフト一覧画面▶iα（機能）▶本体へ移動▶YES▶OK

データを一括してバックアップ／復元する

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータはそれぞれの分類ごとに1ファイルとして保存されます。復元する場合も、それらのデータを一括してFOMA端末に復元します。

- 「microSDへバックアップ」を行うごとにバックアップデータは削除され、新しいバックアップデータが作成されます。
- バックアップは分類のデータを一括して行うため、データが1件も登録されていない分類のデータもバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、データが1件も登録されていない分類のデータも上書きされます。
- バックアップ／復元中は圏外と同じ状態になります。
- 以下の機能の設定内容や情報がバックアップ／復元されます。ただし、復元後に一部の設定内容や情報が、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

･リダイヤル	･送信アドレス一覧	･メッセージ自動表示設定
･着信履歴	･受信アドレス一覧	･緊急速報「エリアメール」設定の「受信設定」「ブザー鳴動時間」「マナー／公共モード時設定」
･伝言メモ設定	･自動振分け設定	･アラーム
･文字サイズ設定の「メール」	･iモード問い合わせ設定	･ユーザ辞書
･電話帳指定設定	･添付ファイル優先受信	
･非通知着信設定	･添付ファイル自動再生設定	
･登録外着信拒否	･署名	

データをmicroSDカードにバックアップする

1 MENU▶Lifekit▶microSD▶バックアップ／復元▶microSDへバックアップ

- FOMA端末内にバックアップ可能なデータが1件も登録されていない場合は、バックアップできません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

- 「Cancel」を選択してバックアップを中止した場合、それまでに作成されたバックアップデータは削除されます。
- バックアップが完了すると、バックアップデータの保存日時が表示されます。

お知らせ

- バックアップ中に電池がなくなった場合などは、バックアップが中断され、それまでに作成されたバックアップデータがバックアップ中断データとして保存されます。ただし、続きからバックアップを再開することはできませんので、バックアップを完了させるには、最初からやり直してください。
- バックアップ中にmicroSDカードの容量がいっぱいになった場合は、それまでに作成されたバックアップデータを削除してから、バックアップを中断します。この場合、microSDカード内の不要なデータを削除するなどしてから、再度バックアップを行ってください。
- すでにバックアップデータやバックアップ中断データがmicroSDカード内にある場合は、バックアップに時間がかかることがあります。

バックアップデータをFOMA端末に復元する

1 MENU▶Lifekit▶microSD▶バックアップ／復元▶本体へ復元

- microSDカード内にバックアップデータがない場合や、バックアップ中断データしかない場合は復元できません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

復元が終了すると、復元された設定内容･情報が表示されます。「OK」を選択するか、CLR、☎を押すと学習履歴を作成するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「学習履歴作成」を行います。

- 「Cancel」を選択して復元を中止した場合、すでに復元済みのデータはFOMA端末内に登録された状態となりますが、続きからは復元できません。すべてのデータを復元するには、再度「本体へ復元」を行ってください。
- 送信メールが1件もないバックアップデータを復元した場合は、学習履歴を作成するかどうかの確認画面は表示されません。

お知らせ

- FOMA端末の容量よりバックアップデータの容量が大きい場合は、バックアップデータの一部は復元されません。
- 本FOMA端末に未対応のデータがバックアップデータに含まれる場合は、未対応のデータは復元されません。
- P-09A以外のFOMA端末に復元した場合、すべてのバックアップデータ、設定内容･情報が復元されないことがあります。

バックアップデータを削除する

microSDカード内のバックアップデータ、またはバックアップ中断データを削除します。

1 MENU▶Lifekit▶microSD▶バックアップ／復元▶バックアップデータ削除▶端末暗証番号を入力▶YES

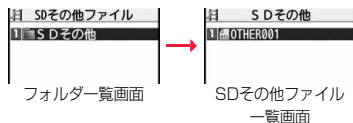
<SDその他ファイル>

非対応ファイルを管理する

FOMA端末では対応していないさまざまなファイルやサイトからダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイルをmicroSDカードに保存できます。(P.146、P.192参照)
保存したファイルはｉモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 MENU▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択

- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.356参照。
- FOMA端末でファイルの内容は表示できません。

フォルダ一覧画面　SDその他ファイル一覧画面

SDその他ファイル一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	P.319参照
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
ｉモードメール添付	ファイルを添付してｉモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(　)を押してもｉモードメールを作成できます。
コピー	P.320参照
フォルダ移動	P.321参照
1件削除	P.321参照
全削除	P.321参照
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

<microSDフォーマット>

microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットは必ずP-09Aで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶iα(機能)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に✉(中止)や⌒を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDカードに保存したデータは不確定となります。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- フォーマット後にmicroSDカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

<microSDチェックディスク>

microSDカードをチェックする

microSDカードのチェックを行い、修復します。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶i(機能)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDカードのチェックディスクを行った場合、microSDカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に✉(中止)や⌒を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

<microSD情報表示>

microSDカードの容量を表示する

microSDカードの空き容量と保存容量(目安)を表示します。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶i(機能)▶microSD情報表示

お知らせ

- microSDカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDカードに表示された容量より少なくなります。

microSDカードをパソコンなどで使う

microSDカードをmicroSDカードアダプタに接続すると、SDカード対応のパソコンなどで利用できます。
microSDカードアダプタは、家電量販店などでお買い求めいただけます。
microSDカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み/書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル:FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)
- パソコン:FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が使用できるUSBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0※準拠)が使用可能なパソコン
  ※本FOMA端末は、「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。
- 対応OS:Windows 2000、Windows XP、Windows Vista (各日本語版)

1 MENU▶設定/サービス▶その他▶USBモード設定▶microSDモード

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「SD MODE」が表示されます。
- パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存する場合は「MTPモード」に設定します。「MTPモード」に設定すると、待受画面に「MTP」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信(OBEX™通信)やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

パソコンがmicroSDカードを認識します。

- デスクトップに「USB」が表示され、待受画面に「SD」が表示されます。また、microSDカードを装着中は「SD」が表示されます。

データ管理

つづく↳

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDカードの故障の原因となります。
- 本機能を「MTPモード」に設定していると、「設定リセット」を行ってもリセットされません。また、電池を取り外したあと電源を入れると「通信モード」に設定されます。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」にしてください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込んで使用する場合は、指定のフォルダ構成、ファイル名で書き込む必要があります。

aaa　　:100～999の3桁の半角数字（フォルダ名に使用した数字とそのフォルダに保存するファイル名に使用する数字は同じにしてください。）
bbb　　:001～999の3桁の半角数字
ccc　　:001～FFFの3文字の半角英数字（16進数※）
ddddd　:00001～65535の5桁の半角数字
eeee、ffff :0001～FFFFの4文字の半角英数字（16進数※）
gggg　:0001～9999の4桁の半角数字
###　　:拡張子

※ 10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数えかたです。0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いて表します。

- PDFファイル、SDその他ファイル、ムービーファイル、Word、Excel、PowerPointファイルの場合、パソコンでファイル名を64バイト（拡張子を含む）までの自由な文字で書き込むこともできます。ただし、以下の文字は使用できません。
「¥」、「/」、「,」、「:」、「;」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」

```
DCIM（DCF規格静止画用フォルダ）
└ aaa_PANA
   └ Paaagggg.###（拡張子はJPG、GIF）

MISC（DPOF用フォルダ〔P.369「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕）

SD_VIDEO（動画用フォルダ）
├ PRLccc（iモーション用フォルダ）
│  └ MOLccc.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
├ MGR_INFO（ビデオ管理情報フォルダ）
└ PRGccc（ビデオ用フォルダ）

PRIVATE
└ DOCOMO
   ├ STILL（DCF規格外静止画フォルダ）
   │  └ SUDbbb
   │     └ STILgggg.###（拡張子はJPG、GIF、SWF）
   ├ DOCUMENT（PDF用フォルダ）
   │  └ PUDbbb
   │     └ PDFDCbbb.PDF
   ├ RINGER（メロディ用フォルダ）
   │  └ RUDbbb
   │     └ RINGgggg.###（拡張子はMLD、SMF）
   ├ TORUCA（トルカ用フォルダ）
   │  └ TRCbbb
   │     └ TORUCbbb.TRC
   ├ MMFILE（SD-VIDEO規格外動画用フォルダ〔AAC形式の音楽データ含む〕）
   │  ├ MUDbbb
   │  │  └ MMFgggg.###（拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4）
   │  ├ WM_SYSTEM
   │  └ WM
   ├ DECOIMG（デコメ®絵文字用フォルダ）
   │  └ DUDbbb
   │     └ DIMGgggg.###（拡張子はJPG、GIF）
   └ OTHER（SDその他ファイル用フォルダ）
      └ OUDbbb
         └ OTHERbbb.###（拡張子はFOMA端末が認識できない3桁までの半角英字）
```

MOVIE(ムービー用フォルダ)
- MVUDbbb
  - MOVIEbbb.###(拡張子はWMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX)

DECO_A_T(デコメアニメ®テンプレート用フォルダ)
- DTUDbbb
  - DEATgggg.VGT

BACKUP(一括バックアップ用フォルダ)
- SD_PIM
  - ADDRESS(電話帳一括バックアップ用フォルダ)
    - ADDRESS.VCF
  - SCHEDULE(スケジュール、ToDo一括バックアップ用フォルダ)
    - SCHEDULE.VCS
  - MAIL
    - INBOX(受信メール一括バックアップ用フォルダ)
      - INBOX.VMG
    - SENTBOX(送信メール一括バックアップ用フォルダ)
      - SENTBOX.VMG
    - OUTBOX(未送信メール一括バックアップ用フォルダ)
      - OUTBOX.VMG
  - NOTE(テキストメモ一括バックアップ用フォルダ)
    - NOTE.VNT
  - BOOKMARK(ブックマーク一括バックアップ用フォルダ)
    - BOOKMARK.VBM
  - SETTING(設定情報一括バックアップ用フォルダ)
    - SETTING.VNT

TABLE(付加情報フォルダ)

MEIGROUP
- PMC
  - DOCUMENT(Word、Excel、PowerPoint用フォルダ)
    - DOCbbb
      - DOCDCbbb.###(拡張子はXLS、DOC、PPT)
  - TABLE
    - DOCUMENT

SD_PIM(電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク用フォルダ)
- PIMddddd.###(拡張子は電話帳:VCF、スケジュール·ToDo:VCS、メール:VMG、テキストメモ:VNT、ブックマーク:VBM)

SD_AUDIO(SDオーディオ用フォルダ)

SD_BIND(ｉアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ)
- SVCddddd
  - eeeeffff

■microSDカードに保存可能な件数·時間

ファイル	フォルダ	保存可能数·時間
静止画(DCF規格)	DCIM	P.505参照
動画(ｉモーション)	SD_VIDEO	P.507参照
動画(ビデオ)	SD_VIDEO	P.240参照
SDオーディオ	SD_AUDIO	P.261参照
静止画(DCF規格外)	STILL	約58390件※
動画(SD-VIDEO規格外)	MMFILE	
ムービー	MOVIE	
メロディ	RINGER	
PDFデータ	DOCUMENT	
Word、Excel、PowerPointファイル	PMC	
トルカ	TORUCA	
デコメ®絵文字	DECOIMG	
デコメアニメ®テンプレート	DECO_A_T	
SDその他ファイル	OTHER	
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、ブックマーク	SD_PIM	
ｉアプリ、移行可能コンテンツ	SD_BIND	

※ 4Gバイト以上のmicroSDHCカードの場合は、約65500件まで保存できます。

- 使用するmicroSDカードの容量によって、保存件数·時間は変わります。フォルダを追加して保存場所を変えると、より多くのファイルを保存できます。
- ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
- microSDカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

つづく

お知らせ

- お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
- パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
- microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。P-09AでmicroSDカードを読めなくなることがあります。
- 「SD_AUDIO」･「SD_BIND」･「PRGccc」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
- パソコンで「PRGccc」フォルダ内にデータを保存すると、FOMA端末でビデオを削除できなくなる場合があります。
- パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
- 「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルは「microSDへバックアップ」を行うたびにすべて削除され、新しいバックアップデータが作成されます。また、「バックアップデータ削除」を行った場合も、「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルはすべて削除されます。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示･再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示･再生できない場合があります。
- microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

フォルダを管理する

データBOXのマイピクチャ、ミュージック、iモーション／ムービー、メロディ、マイドキュメント(SD)、きせかえツール(SD)、マチキャラ(SD)、ドキュメントビューア、SDその他ファイルでは、それぞれフォルダでデータを管理しています。

- ミュージックのフォルダ操作についてはP.263参照。
- 「移行可能コンテンツ」フォルダの場合は、フォルダ内のデーター覧画面でも、フォルダ一覧画面の機能メニュー項目が表示されます。

フォルダ一覧画面の機能メニュー

項目		説明
フォルダ追加		ユーザフォルダを新規作成します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集		ユーザフォルダやFOMA端末の「デコメ絵文字」フォルダ内のフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除		
	1件削除	選択しているユーザフォルダを1件削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
	選択削除	▶**削除したいユーザフォルダにチェック** ▶(完了)▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
	全削除	ユーザフォルダをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES**
フォルダセキュリティ [マイピクチャ･iモーション／ムービー]		端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶**YES** フォルダが「」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全件送信 [マイピクチャ･iモーション／ムービー･メロディ]		P.361参照

フォルダ内全削除 [マイピクチャのみ]	「マイピクチャ」内の「ｉモード」･「カメラ」･「デコメピクチャ」･「デコメ絵文字」･「ユーザフォルダ」で選択しているフォルダに保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
プログラム編集 [メロディのみ]	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶プログラム順<1曲目>～<10曲目>を選択 ▶フォルダを選択▶メロディを選択 ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶操作を繰り返してプログラム編集を完了させる ▶[メール](完了)
プログラム解除 [メロディのみ]	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES
保存先フォルダ選択	microSDカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。 ●[カメラ](保存容量)を押しても表示できます。

お知らせ

<フォルダ追加>
- FOMA端末内では20件まで追加できます。ただし、「ｉモーション／ムービー」内は19件までです。
- microSDカード内で以下の場合はフォルダ追加できません。
  ･「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
  ･「SDビデオ」内フォルダ数が4095件のとき
  ･「イメージボックス」･「デコメ絵文字」･「メロディ」･「その他コンテンツ」･「マイドキュメント」･「ドキュメントビューア」･「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

お知らせ

<フォルダ名編集>
- フォルダセキュリティが設定されたフォルダは、フォルダ名編集できません。

<フォルダ削除>
- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
- microSDカード内では「1件削除」の動作になります。
- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)

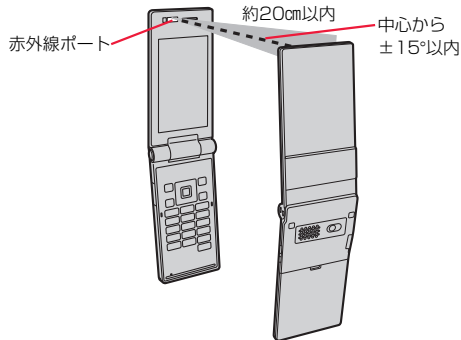
<フォルダセキュリティ>
- 「ｉモード」「カメラ」「ユーザフォルダ」「Voice recorder」にのみ設定できます。
- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択すると、端末暗証番号の入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、一時的にフォルダセキュリティが解除されます。

<プログラム編集>
- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

<保存先フォルダ選択>
- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。
  「[アイコン]」. . . 「ピクチャ」フォルダ･「SDビデオ」フォルダ内のフォルダ
  「[アイコン]」. . . 「ドキュメントビューア」･「SDその他ファイル」内のフォルダ「デコメ絵文字」フォルダ･「イメージボックス」フォルダ･「ムービー」フォルダ･「メロディ」フォルダ･「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダ
  「[アイコン]」. . . 「きせかえツール」･「マチキャラ」内のフォルダ「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
  「[アイコン]」. . . 「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ
- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成･編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

赤外線通信を利用する

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下·赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、iモード·メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

■転送できるデータの一覧

転送可能データ ＼ 転送条件	1件	複数件	全件
電話帳(自局番号表示)	○	×	1000件まで
スケジュール※1	○	×	2500件まで
ToDo	○	×	100件まで
受信メール※2※3	○	×	2500件まで
送信メール※3	○	×	1000件まで
保存メール※3	○	×	20件まで
デコメアニメ®テンプレート	○	×	100件まで
テキストメモ	○	×	20件まで
メロディ※4	○	×	3500件まで
静止画※5※6	○	○	3500件まで
iモーション※7	○	○	3500件まで
PDFデータ※4※8	○	×	3500件まで
トルカ※3※4	○	○	495件まで
ブックマーク※3	○	×	600件まで
現在地通知先情報	○	×	5件まで

○:転送できます。　×:転送できません。

※1　祝日やiコンシェルでダウンロードしたiスケジュールは送受信できません。
※2　エリアメールは別に30件送受信できます。(合計2530件)
※3　フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※4　ファイルによっては送受信できません。
※5　Flash画像も含みます。
※6　自作アニメやワンセグで録画した静止画は送受信できません。
※7　ASFファイルやワンセグで録画したビデオは送受信できません。
※8　iモードしおりが消去される場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳（自局番号表示）	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」（「ツータッチダイヤル」）の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
デコメアニメ®テンプレート	1件受信	「メール」内の「テンプレート」内の「デコメアニメ」内の「本体」フォルダに登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で登録されます。
テキストメモ	1件受信	＜未登録＞の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
静止画	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ｉモーション	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「ｉモーション／ムービー」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
トルカ	1件受信／複数件受信	「トルカフォルダ」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ブックマーク	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
現在地通知先情報	1件受信	＜未登録＞の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  - ・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ・部分保存ファイル
  - ・FOMAカード内の電話帳やSMS
- お買い上げ時に登録されているデータBOX内のデータは全件送信では送信できません。
- microSDカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。

つづく

お知らせ

- 静止画、i モーション、PDFデータのタイトルは、全角9文字/半角18文字、メロディのタイトルは、全角31文字/半角63文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信側の端末によってはメールの題名をすべて受信できない場合があります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、i アプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルを含むデコメアニメ®テンプレートの場合、それらのファイルまたは本文データを削除して送信します。
- 赤外線通信でトルカ(詳細)の送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。その場合、「YES」を選択すると詳細も含めて送信され、「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画は3Mバイト、i モーションは10Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは2Mバイト、デコメアニメ®テンプレートは100Kバイト、トルカは1Kバイト、トルカ(詳細)は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。
- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件または複数件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。
静止画、i モーション、トルカは複数件送受信できます。

■送受信時のご注意

- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- シークレット登録した電話帳を、シークレットモード／シークレット専用モード中に受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードやボイスダイヤルは送信されません。

データを1件または複数件送信する

1 送信したいデータの画面▶i α(機能)▶赤外線送信

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC／BT送信」→「赤外線送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。
- スケジュールを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」→「赤外線送信」を選択し、「送信」を選択します。
- メール、デコメアニメ®テンプレート、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「赤外線送信」を選択します。
- 複数件送信する場合は、「複数選択」で送信したいファイルを選択します。i α(機能)を押して「赤外線送信」を選択します。

2 YES

- 複数件送信の場合は、選択したファイル数分「YES」を選択してファイルを送信します。

データを1件または複数件受信する MENU 7 9

1 MENU▶LifeKit▶赤外線受信

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.30、P.386参照)

2 **受信▶YES**

- 1件受信後に続けて受信するかどうかの確認画面が表示されます。複数件受信の場合は「YES」を選択します。

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、iアプリ To 設定で「赤外線からiアプリ To」にチェックを付けていない場合は起動しません。

データを全件送受信する

赤外線でデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意

- 全件受信を行うと、登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録していたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
  ただし、デコメアニメ®テンプレート、データBOX内のデータ、トルカの場合、元のデータは削除されずに追加登録されます。
- 電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- 電話帳データを全件送信してもボイスダイヤルの情報は送信されません。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。
- 対応していないデータが含まれていた場合、受信が中断することがあります。

データを全件送信する

1 **送信したいデータの画面▶i α(機能)▶赤外線全件送信▶端末暗証番号を入力**

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線/iC/BT送信」→「赤外線送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。
- スケジュールを一覧画面や詳細画面から送信する場合は、機能メニューから「赤外線/iC送信」→「赤外線送信」を選択し、「全件送信」を選択します。
- スケジュールをカレンダー画面から送信する場合や、メール、トルカ、デコメアニメ®テンプレート、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線/iC送信」を選択し、「赤外線全件送信」を選択します。
- データBOX内のデータを送信する場合は、送信できないデータが含まれている旨の確認画面が表示されます。送信する場合は、「YES」を選択してください。

2 **認証パスワードを入力▶YES**

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する　MENU 7 9

1 **MENU▶LifeKit▶赤外線受信**

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.30、P.386参照)

2 **全件受信▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力▶YES▶YES**

お知らせ

- 静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

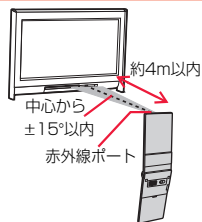
- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。（お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。）また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15°以内です。

<電話帳画像転送>

通信の設定を行う

MENU 2 6

赤外線、iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画も合わせて転送するかどうかを設定します。

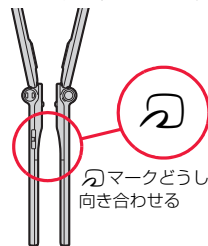
1 MENU▶電話帳▶電話帳設定▶電話帳画像転送▶する・しない

<iC送信>

iC通信機能について

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、マークどうしを向き合わせることでデータを送受信します。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

- 転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。（P.358参照）ただし、複数件送信および、デコメアニメ®テンプレートとデータBOX内のデータの全件送信はできません。
- 「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、ｉモード・メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

データを1件送受信する

iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

- P.360「■送受信時のご注意」もご覧ください。

データを1件送信する

- 充電中はご利用できません。

1 送信したいデータの画面▶i α（機能）▶iC送信

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC／BT送信」→「iC送信」を選択し、「電話帳送信」を選択します。
- スケジュールを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」→「iC送信」を選択し、「送信」を選択します。
- メール、デコメアニメ®テンプレート、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「iC送信」を選択します。

データ管理

2 **YES**

データを1件受信する

- マルチタスク中はご利用できません。

1 **待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる▶YES**

データを全件送受信する

iC通信で電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、ブックマーク、メール、トルカ、現在地通知先情報のデータを全件送受信できます。全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

- P.361「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

データを全件送信する

- 充電中はご利用できません。

1 **送信したいデータの画面▶(機能)▶iC全件送信▶端末暗証番号を入力**

- 電話帳を送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC／BT送信」→「iC送信」を選択し、「電話帳全件送信」を選択します。
- スケジュールを一覧画面や詳細画面から送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」→「iC送信」を選択し、「全件送信」を選択します。
- スケジュールをカレンダー画面から送信する場合や、メール、トルカ、ブックマークを送信する場合は、機能メニューから「赤外線／iC送信」を選択し、「iC全件送信」を選択します。

2 **認証パスワードを入力▶YES**

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

- マルチタスク中はご利用できません。

1 **待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる**

2 **YES▶端末暗証番号を入力▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力**

お知らせ

- 静止画が登録された電話帳を受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

<ボイスレコーダー>

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

- ムービーモードで「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定した場合と同様の機能です。
- 保存した音声は「データBOX」の「ｉモーション／ムービー」から再生します。
- 録音時間の目安についてはP.506参照。

1

MENU▶LifeKit▶ボイスレコーダー

ボイスレコーダー録音画面

データ管理

つづく

2 ●(録音)または○を押す

録音を開始します。

3 ●(終了)または○を押す

録音を終了します。ボイスレコーダー保存確認画面が表示されます。
- MENU(再生)を押すと、録音した音声を再生します。

4 ●(保存)または○を押す

ボイスレコーダー録音画面の機能メニュー

容量設定		▶項目を選択 メール制限(小)....500Kバイトまで録音できます。 メール制限(大)....2Mバイトまで録音できます。 長時間...........長時間録音できます。microSDカードに保存します。
保存設定		
	保存先設定	録音した音声の保存先を設定します。 「本体」のときは「iモーション／ムービー」フォルダ内の「Voice recorder」に、「microSD」のときは「その他コンテンツ」の「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶本体・microSD
	自動保存設定	録音終了後、自動的に保存するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	ファイル制限	P.225参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。

ボイスレコーダー保存確認画面の機能メニュー

再生	P.364参照
保存	P.364参照
iモードメール添付	録音した音声を保存し、iモードメールに添付します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
保存先設定	P.364参照
ファイル制限	P.225参照
取り消し	録音した音声を保存しません。

<PDF対応ビューア>

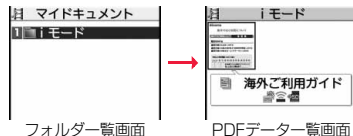
PDFデータを表示する

登録されているPDFデータを表示します。

1 MENU▶データBOX▶マイドキュメント▶フォルダを選択▶PDFデータを選択

- フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- 「移行可能コンテンツ」フォルダ内のPDFデータは表示できません。

フォルダ一覧画面　→　PDFデータ一覧画面

- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.356参照。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

表示不可

プレビュー非対応
(「 」や「 」のPDFデータ)

プレビュー非対応
(「 」のPDFデータ)

- PDFデータにパスワードが設定されているときはP.193参照。

■PDFデータ表示時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.365参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	上
下スクロール	下
左スクロール	左
右スクロール	右
ボタン操作のガイドを表示	✉
ズームイン	3
ズームアウト	1
全体表示	2

操作	ボタン操作
次のページ	📷(TV)、9、▼
前のページ	MENU、7、▲
検索	5
次を検索	6
前を検索	4
しおり一覧の表示	8
しおりの追加	8（1秒以上）

お知らせ

●本体･microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
●データによっては、正しく表示されないことがあります。
●部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。

PDFデータ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	P.319参照
ドキュメント情報	PDFデータのファイル名、保存日時などを表示します。
ｉモードメール添付	PDFを添付してｉモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもｉモードメールを作成できます。
赤外線送信	P.360参照
赤外線全件送信	P.361参照
iC送信	P.362参照
microSDへコピー	P.348参照
本体へコピー	P.349参照
microSDへ移動	P.350参照
本体へ移動	P.350参照
コピー	P.320参照
フォルダ移動	P.321参照
デスクトップ貼付	P.30参照
1件削除	P.321参照
全削除	P.321参照
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量（目安）／件数を表示します。
ソート	P.321参照
一覧表示切替	PDFデータ一覧画面の表示内容を変更します。 ▶**タイトル･画像** ●📷(TV)(切替)を押しても切り替えることができます。

お知らせ

<一覧表示切替>

●「画像」で表示すると、PDFデータによっては実際と見えかたが異なる場合があります。

PDFデータ表示中の機能メニュー

ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
ページ移動	PDFデータ内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力して「OK」を選択すると指定したページへ移動できます。

つづく↓

検索		指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、黄緑色にマーキングされます。 ▶検索▶検索文字列の欄を選択 ▶検索したい文字を入力 ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶指定したい検索条件にチェック▶[メール](検索) ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
しおり／マーク		
	しおり表示	P.367参照
	しおりの追加	現在表示しているページにしおり(ｉモードしおり)を設定します。しおりを選択して目的のページを簡単に表示できます。10件まで設定できます。 ▶YES▶タイトルの欄を選択▶タイトルを入力▶OK ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●しおりがいっぱいのときはP.368参照。
	マーク表示	P.367参照
	マークの追加	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。ポイントとなる箇所の目印などとして利用できます。10件まで設定できます。 ▶YES ●マークがいっぱいのときはP.368参照。
表示		
	表示モード	PDFデータの表示方法を変更します。 ▶表示方法を選択 ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力して「OK」を選択すると指定した倍率で表示できます。 ●倍率指定で指定できる倍率は8～1000%までです。 ●表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率で表示されます。
	表示を回転	▶右90°回転・左90°回転
	ページレイアウト ビューア起動時 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。 ▶単一ページ・連続ページ・見開きページ
	リンク表示	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク(表示中のPDFデータ内に設定されているリンク)、Web To、Mail To、Phone To／AV Phone Toがあります。 ▶リンクを選択 ●画面内に複数のリンクがある場合は、[上下]で選べます。 ●内部リンクを選択するとPDFデータ内のリンクされているページへ移動できます。その他のリンクについてはP.195参照。
	表示情報設定 ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、拡大倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶項目を選択▶表示する・表示しない
	ドキュメント情報	P.365参照
保存		P.367参照
残り全てを取得		ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、通信が途中で切断されダウンロードに失敗したPDFデータなどの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。 ▶YES
画面切り出し		画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ▶[●](選択)▶YES▶フォルダを選択 ●保存されている画像がいっぱいのときはP.194参照。
ｉモードメール添付		PDFを添付してｉモードメールを作成します。P.130手順2へ進みます。

お知らせ

＜検索＞
- 各検索条件の動作は次のとおりです。
  大文字小文字を区別：大文字、小文字を区別して検索します。
  単語にマッチ：単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
  逆向きに検索：「次を検索」をしたとき、開始したページから先頭ページ方向へ検索を進めます。
  '?'をワイルドカードとする：検索文字列の欄に入力した「?」マーク（半角）の部分は任意の文字として検索条件に設定します。
  現在のページ内で検索：現在表示中のページ内でのみ検索します。

＜ページレイアウト＞
- 部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

＜画面切り出し＞
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。

しおり表示

PDFデータに設定されているしおりと追加で設定したｉモードしおりを一覧表示します。
しおりを選択すると設定されているページを表示できます。

1 PDFデータ表示中▶iα(機能)▶しおり／マーク▶しおり表示▶しおり・ｉモードしおり▶しおりを選択

- あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。iα(進む)を押すと、下階層のしおりを表示できます。ただし、3階層目以降はすべて3階層目に表示されます。

ｉモードしおり一覧表示中の機能メニュー

タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。
削除	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいしおりにチェック▶✉(完了)▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

マーク表示

PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。
マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。

1 PDFデータ表示中▶iα(機能)▶しおり／マーク▶マーク表示▶マークを選択

マーク一覧表示中の機能メニュー

1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいマークにチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

保存

PDFデータを保存します。ダウンロードした新たなページや、しおり・マークの追加を保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。（P.508参照）

1 PDFデータ表示中▶iα(機能)▶保存▶YES

一度FOMA端末またはmicroSDカードに保存しているPDFデータの場合は、保存するたびに上書き保存されます。（手順2の操作は不要です。）
FOMA端末またはmicroSDカードに保存されていないPDFデータの場合は、新規保存されます。

- サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると上書き保存されます。「NO」を選択すると新規保存されます。

2 保存したいフォルダを選択

- FOMA端末内に保存されているPDFデータがいっぱいのときはP.194参照。

しおり・マークがいっぱいのときは

すでにしおり・マークが10件設定されているPDFデータにしおり・マークを追加しようとした場合や、しおり・マークが11件以上設定されているPDFデータを保存しようとした場合は、不要なしおり・マークを削除してから追加／保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES
2. 削除するしおり・マークを選択▶YES
   または
   削除するしおり・マークにチェック▶✉(完了)▶YES
   ●「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

＜ドキュメントビューア＞

Word、Excel、PowerPointファイルを表示する

microSDカードに保存した、Microsoft WordファイルやMicrosoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルを表示します。(P.354参照)

■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel	XLS
Word	DOC
PowerPoint	PPT

1 MENU▶データBOX▶ドキュメントビューア▶フォルダを選択▶ファイルを選択

●フォルダー一覧画面の機能メニューはP.356参照。

フォルダー一覧画面　→　ドキュメント一覧画面

■ドキュメントファイル表示時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.369参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	○(上)
下スクロール	○(下)
左スクロール	○(左)
右スクロール	○(右)
ボタン操作のガイドを表示	✉
ズームイン	3

操作	ボタン操作
ズームアウト	1
全体表示	2
次のページ	TV、9、▼
前のページ	MENU、7、▲
検索	5
次を検索	6
前を検索	4

お知らせ

●Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルには対応していません。
●データによっては、正しく表示されないことがあります。

ドキュメント一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	P.319参照
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
ｉモードメール添付	ドキュメントファイルを添付してｉモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもｉモードメールを作成できます。
コピー	P.320参照
フォルダ移動	P.321参照
1件削除	P.321参照
全削除	P.321参照
複数選択	P.321参照
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。

ドキュメントファイル表示中の機能メニュー

ズームイン	ファイルの表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	ファイルの表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
表示	ファイルの表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択** ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力すると指定した倍率で表示できます。 ●「倍率指定」で指定できる倍率は8〜1000%までです。
ページ移動	ファイル内の他のページまたはシートに移動します。 ▶**移動したいページまたはシートを選択** ●Microsoft Wordファイル、Microsoft PowerPointファイルで「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力すると指定したページへ移動できます。
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、反転表示されます。 ▶**検索**▶**検索文字列の欄を選択**▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶**[メール]（検索）** ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
倍率・ページ	ファイルを表示する際に、拡大倍率・ページ番号を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
スクロールバー	ファイルを表示する際に、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
表示を回転	▶**右90°回転・左90°回転**
ドキュメント情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。

お知らせ

<検索>
●各検索条件の動作は次のとおりです。
単語にマッチ：単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
大文字小文字を区別：大文字、小文字を区別して検索します。
現在のページ内で検索（Excelファイルのみ）：
　現在表示中のページ内でのみ検索します。
ファイル内で検索（Excelファイルのみ）：ファイル全体から検索します。

保存した画像を印刷する

microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 静止画一覧画面・静止画再生中▶[iα]（機能）▶DPOF設定▶プリント指定▶プリント枚数（枚）を入力

●「01」〜「99」の2桁を入力します。
●選択した静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定解除」を選択します。すべての静止画のプリント指定を解除する場合は、「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

●DPOF設定した画像は種別アイコンが「[JPEG]」になります。
●999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
●3Mバイトを超える画像や8M（2448×3264）を超える画像には設定できません。
●microSDカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。（アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。）
●P-09Aで撮影した静止画はPRINT Image MatchingⅢにも対応しています。

便利な機能

<マルチアクセス>

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話・パケット通信・SMSの3回線を同時に使用できる機能です。
画面を切り替えるときは(▱)を1秒以上押すか、(▱)を押してタスクメニューから切り替えます。(P.374参照)
マルチアクセスの組み合わせパターンについての詳細は、P.478参照。

音声電話	1回線
ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンをつないだパケット通信	1回線
SMS	1回線

お知らせ

- マルチアクセス中は、それぞれの通信回線について通信料金がかかります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話をかけることができます。

1 ｉモード中・パケット通信中▶(▱)▶待受画面

2 電話をかける

- ｉモード中にテレビ電話をかけると、ｉモード接続を切断し、テレビ電話の発信を行います。
  テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受ける

ｉモードやパケット通信を終了せずに音声電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると電話着信画面が表示される▶(✆)で電話に出る

- 電話に出ないでｉモードやパケット通信の画面に戻るには(▱)を1秒以上押します。もう一度(▱)を1秒以上押すと電話着信画面に戻ります。
  相手にはメッセージは流れず、呼び出し中になります。

音声電話中に他の通信を利用する

音声電話を終了せずにｉモードやメールの送受信などができます。

1 音声電話中▶(▱)▶(MENU)(Menu)

アイコンを選択して各機能の操作を行います。

お知らせ

- 通話中にメールやメッセージR/Fを受信した場合、「受信表示設定」の設定に関わらず、着信音は鳴らず、着信イルミネーションも点滅しません。
- 「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときは、以下の場合を除いて、着信音が鳴り受信結果画面が表示されます。
  ･通話中　　　　　　･カメラ起動中
  ･ワンセグ視聴中(「メールテロップ表示設定」が「OFF」以外の場合)
  ･ｉアプリ待受画面に設定したｉアプリを通常のｉアプリとして実行中
- パソコンをつないだパケット通信を利用する場合は、音声電話中にパソコンから発信操作を行います。

<マルチタスク>

マルチタスク

FOMA端末は、メニュー機能(P.32参照)など最大3つの機能を同時に使用できる「マルチタスク」に対応しています。マルチアクセスとマルチタスクを組み合わせることにより、次の機能を同時に使えます。(マルチタスクの組み合わせパターンについては、P.479参照)

■**メールグループ**
ｉモードメール機能、SMS機能

■**ｉモードグループ**
メインメニューの「ｉモードグループ」内のメニュー機能

■**設定グループ**
メインメニューの「設定グループ」内のメニュー機能

■**ツールグループ**
メインメニューの「ツールグループ」内のメニュー機能

■**その他グループに属さない機能**
音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信など

新しい機能を実行する

1 各種機能を実行中▶(マルチタスクキー)▶MENU(Menu)▶新しい機能を実行

使用中のグループのアイコンには「▽」などが付きます。
使用している機能が1つのときは「▰」のアイコンが表示されます。複数の機能を使用中は「▰」のアイコンが表示されます。

ツールグループの
機能を実行中の場合

すでに同じグループのメニュー機能が呼び出されているときは

機能を切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると元のメニュー機能は終了し、新しいメニュー機能が呼び出されます。

お知らせ

- 通話中に他の機能を同時に使っている間でも、通話料金は加算されます。
- 他の機能が起動中に着信があった場合、正しく着信動作しないことがあります。その場合、「伝言メモ」や「転送でんわサービス」などが設定した呼出時間よりも短い時間で動作することがあります。
- 処理負荷の高い機能を実行中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示などの動作に遅れが発生することがあります。

画面を切り替える

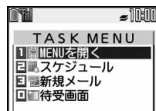
複数のメニュー機能が起動しているときは、[タスク]を1秒以上押すことで画面を切り替えることができます。最近選択したものから新しい順で切り替わります。

使用中のメニュー一覧を表示するには

[タスク]を押します。

一覧からメニューを選択して切り替えることができます。

TASK MENU
1 MENUを開く
2 スケジュール
3 新規メール
0 待受画面

- [カメラ]（待受画面）を押すか「待受画面」を選択すると、待受画面が表示されます。
- [MENU]（Menu）を押すか「MENUを開く」を選択すると、メインメニューが表示されます。

お知らせ

- [タスク]で画面を切り替えても、起動中のメニュー機能が終了したり、電話が切れたりすることはありません。また、文字入力（編集）画面から他のメニューに切り替え、そのメニューで文字編集などを行っても、タスクを切り替えれば、元の文字編集を続けることができます。
- 他のメニュー機能が起動していない場合は、待受画面で[タスク]を1秒以上押すとマルチボタン長押し登録で登録した機能が起動します。

機能を終了する

メニュー機能の画面が表示されている状態で[終話]を押すと、そのメニュー機能が終了します。

- タスクメニューで[iα]（END）を押し、「YES」を選択するとメニュー機能がすべて終了し、待受画面に戻ります。
- バックグラウンド再生中の待受画面で[終話]を押すと、メニュー機能を終了するかどうかの確認画面が表示されます。

＜音声読み上げ＞

着信やメールの内容を音声で知らせる

着信を着信音の代わりに音声で知らせたり、メールの内容を自動で読み上げるように設定できます。また、ボイスダイヤルの操作を音声ガイダンスで案内します。

音声読み上げ設定

1 **[MENU]▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ設定▶ON・OFF▶読み上げたい項目にチェック▶[メール]（完了）**

ボイスダイヤル
. . . ボイスダイヤル呼出の操作を音声ガイダンスで案内します。

電話着信
. . . 音声電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

テレビ電話着信
. . . テレビ電話をかけてきた相手の情報を着信中に音声でお知らせします。

メール／メッセージ受信
. . . メールやメッセージR/Fの受信時に件数を音声でお知らせします。
「メール／メッセージ鳴動」の設定は無効になります。

送受信メール一覧表示
. . . メール一覧画面で送信元／宛先、題名などを読み上げます。

送受信メール詳細表示
. . . メール詳細画面で送信元／宛先、題名、本文などを読み上げます。
「添付ファイル自動再生設定」を「自動再生する」に設定中で、メロディが自動再生された場合は読み上げません。
デコメアニメ®の再生画面では、本文は読み上げません。

メールプレビュー
. . . プレビュー表示の画面で宛先、本文などを読み上げます。

- いずれかのボタンを押すとメールの音声読み上げを途中で止めることができます。ただし、画面をスクロールした場合は、音声読み上げは継続されます。
- 以下の場合はメールの音声読み上げは行いません。
  ･ワンセグの音声が流れているとき
  ･マルチウィンドウでメールを表示しているとき
  ･microSDカードに保存しているメールを表示したとき

音声読み上げ音量

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ音量▶ で音量を調節

音声読み上げ速度

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ速度▶速度を選択

音声読み上げ出力先

音声読み上げ時に鳴る音を、スピーカーから鳴るようにするか受話口に耳をあてて聞くようにするかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ出力先▶スピーカー・受話口

お知らせ

- 「受話口」に設定していても、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」はスピーカーから音が鳴ります。
- イヤホンマイク（別売）を接続すると、「イヤホン切替設定」の設定に従って音が鳴ります。ただし、「音声読み上げ出力先」を「受話口」に設定し、「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定した場合は、「電話着信」「テレビ電話着信」「メール／メッセージ受信」以外はイヤホンからのみ音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器からは「電話着信」「テレビ電話着信」のみ音声読み上げを行う場合があります。
- イヤホンマイク（別売）のスイッチを押しても音声読み上げが止まらない場合があります。

音声読み上げ有効設定

イヤホンマイク（別売）を接続しているときのみ音声読み上げを行うように設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ボイス設定▶音声読み上げ有効設定▶標準・イヤホン接続時のみ

標準 ....常に音声読み上げを行います。
イヤホン接続時のみ .....イヤホンマイクを接続しているときのみ音声読み上げを行います。

お知らせ

- 「イヤホン接続時のみ」に設定しているときは、音声読み上げ中にイヤホンマイクを外しても音声読み上げが継続されます。また、イヤホンマイクを外しているときに着信などがあった場合は、イヤホンマイクを接続しても、音声読み上げは行いません。

音声読み上げのルールについて

メールなどの内容は、おおむね次のルールに基づいて読み上げられます。

- 使用する機能によっては、各ルールとは異なって読み上げる場合があります。

<数字>

- 数字が並んでいる場合は、16桁まで桁読みします。ただし、先頭に「0」がある場合やURL、メールアドレスと判定された場合は、数字を読み上げます。
- 数字を「/」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。
- 「1日」は日付とそれ以外で読みが異なります。
「1日」以外は常に日付と同様に読み上げます。
- 数字を「:」で区切ると、時刻として読み上げます。
- 電話番号や郵便番号は「－」「(」「)」は読み上げず、数字だけを読み上げます。
- 数字の先頭に「￥」「＄」「￠」「￡」がある場合は、金額として読み上げます。「,」が使用されている場合は、3桁ごとに区切られていなければ「,」より前を金額、あとを数字と判定します。
- 「（数字）分の（数字）」は分数として読み上げます。

<英字>

- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って読み上げます。
- 4文字以上でローマ字読みできる場合は、ローマ字読みで読み上げます。
- 数字のあとに英字がある場合は、単位として読み上げるものもあります。
- 日付の前にある「M」「T」「S」「H」は年号に変換して読み上げます。
- 上記の条件以外の場合は、アルファベット読みで読み上げます。

つづく

<記号>
- 「記号一覧表」に従って読み上げます。ただし、同じ記号が3つ以上続く場合は、その記号を読み上げません。
- 以下の文字列は「ヘンシン」と読み上げます。
「Re:」「Re>」「Re2:」「Re2>」「Re2＊」
- 以下の文字列は「テンソー」と読み上げます。
「Fw:」「Fw>」「Fw2:」「Fw2>」「Fw2＊」「Fwd:」「Fwd>」「Fwd2:」「Fwd2>」「Fwd2＊」
- 「ヘンシン」「テンソー」が複数連続する場合は、1回のみ読み上げます。

<絵文字>
- 「絵文字一覧表」に従って読み上げます。

<顔文字>
- FOMA端末に内蔵されている音声読み上げ用の辞書に従って顔文字を読み上げます。ただし、URLやメールアドレスと判定した場合は、記号として読み上げます。

<その他>
- 句読点や「！」「？」などがある場合は、区切って読み上げます。
- 曜日を表す漢字が「(」「)」ではさまれている場合は、曜日として読み上げます。
- 文章の内容や記載の内容(特に地名や固有名詞など)により、正しく読み上げが行われない場合があります。

<自動電源ON／OFF設定>
指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る

1 MENU▶**設定／サービス**▶**時計**▶**自動電源ON／OFF設定**▶**自動電源ON・自動電源OFF**▶**項目を選択**

OFF . . . . .自動電源ON／OFFを設定しません。設定が終了します。
1回. . . . . .設定した時刻に1回のみ電源をON／OFFします。
毎日 . . . . .設定した時刻に毎日電源をON／OFFします。

2 **時刻を入力**

お知らせ
- 「自動電源ON」と「自動電源OFF」を同時刻に設定した場合、設定した時刻になったときにFOMA端末の電源が切れていると電源が入り、FOMA端末の電源が入っていると電源が切れます。

お知らせ
- アラームやスケジュールアラームなどと同時刻に「自動電源OFF」を設定すると、アラームやスケジュールアラームなどが優先されます。
- 「自動電源OFF」を設定しても、待受画面以外を表示中に指定した時刻になった場合は電源は切れません。起動中のそれぞれの機能を終了したあと、電源が切れます。なお、待受画面にFlash画像を設定すると、Flash画像が動いている間は電源が切れないことがあります。
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ「自動電源ON」を「OFF」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

<アラーム>
アラームを利用する

設定した時刻になるとアラーム音とアニメーション、イルミネーションでお知らせします。12件まで登録できます。

1 MENU▶**ステーショナリー**▶**アラーム**▶**アラームを選んで**✉(編集)▶**以下の操作を行う**

アラーム1編集
設定 ON
時刻 −−時−−分
繰り返し OFF
アラーム音 時刻アラーム音
アラーム音量 レベル4
スヌーズ通知 ON
自動電源ON OFF
マナーモード優先 する

項目	操作
設定	アラームの有効／無効を設定します。 ▶ON・OFF
時刻	▶アラームを鳴らす時刻を入力 ●すでに設定されているアラームと同じ時刻は設定できません。
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選択

アラーム音量	▶[キー]で音量を調節 ●「ステップ」に設定すると、約3秒間の無音のあとにレベル1～6の順で約3秒ごとに音量が上がります。
スヌーズ通知	スヌーズ通知するかどうかを設定します。スヌーズ通知しない場合は、アラーム音が鳴り続ける時間を設定します。 ▶ON･OFF▶鳴動時間(分)を入力 ●「01」～「10」の2桁を入力します。 ●スヌーズ通知の動作についてはP.378参照。
自動電源ON	電源を切っているときにアラーム時刻になった場合、自動的に電源をONにしてアラーム通知するかどうかを設定します。 ▶電源ONする･電源ONしない
マナーモード優先	マナーモード中のアラーム音量について設定します。 ▶優先する･優先しない 優先する . . . . P.97「アラーム音量」に従って音が鳴ります。 優先しない. . . 本機能で設定した音量で音が鳴ります。

2 [メール](完了)を押す

●設定により、画面に以下のアイコンが表示されます。
- D :毎日繰り返し
- W :曜日指定繰り返し

アラーム表示中の機能メニュー

編集	P.376「アラームを利用する」手順1へ進みます。
詳細表示	アラームの登録内容を表示します。
1件ON	登録済みのアラームを有効にします。 ▶YES ●[キー](ON)を押しても有効にできます。
全件ON	登録済みのアラームをすべて有効にします。 ▶YES
1件OFF	登録済みのアラームを無効にします。 ▶YES ●[キー](OFF)を押しても無効にできます。
全件OFF	登録済みのアラームをすべて無効にします。 ▶YES

お知らせ

- ●通話中にアラームが鳴ったときはいずれかのボタンを押すとアラーム音を止めることができます。もう一度いずれかのボタンを押すとスヌーズを含めてアラームが終了します。通話中の相手が電話を切った場合は、スヌーズを含めてアラームが終了します。
- ●通話中のアラーム音の音量は、「受話音量」で設定した音量になります。
- ●スヌーズ中に以下の動作が発生した場合、スヌーズは解除されます。
  - ・音声電話、テレビ電話の着信があった場合
  - ・「受信表示設定」を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信した場合
  - ・「位置提供設定」やサービスごとの利用設定で位置提供を許可する設定にしているときに、位置提供の要求を受信した場合
  - ・「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴った場合
- ●高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域に入るときは、あらかじめ自動電源の設定を「電源ONしない」に設定し、FOMA端末の電源をOFFにしてください。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」のアラームを設定したときは

待受画面にアイコンが表示されます。

「[アイコン]」. . . . 当日の設定(過ぎた時刻の設定は除く)がある場合に表示されます。

「[アイコン]」. . . . 明日以降の設定のみの場合に表示されます。

●スケジュール･ToDoの「アラーム通知」を「通知しない」に設定して登録した場合は、アイコンは表示されません。

「アラーム」、「スケジュール」、「ToDo」で設定した時刻になったときは

アラーム音が約5分間(「アラーム」は設定した時間)鳴り、イルミネーションが点灯します。また、「バイブレータ」の「電話」で設定した動作で振動してお知らせします。画面には、アラームメッセージと選択したアイコンに連動したアニメーションまたはｉモーションが表示されます。

- アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定したときは
  ⌒を押してスヌーズを解除するまで約5分おきに約1分間、最大6回アラーム音が鳴ります。
- 通話中は
  受話口からアラームが3回繰り返し鳴ります。
- 操作中は
  「アラーム通知設定」の設定に従って動作します。(P.385参照)
- アラーム通知の設定を同じ時刻にしたときは
  「アラーム」→「録画予約」→「ToDo」→「スケジュール」→「視聴予約」の優先順位で通知します。
- 電源OFFのときは
  <アラーム>
  自動電源の設定を「電源ONする」に設定している場合は、自動的に電源をONにしてアラーム通知します。「電源ONしない」に設定している場合は、電源はOFFのままでアラーム通知しません。電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
  <スケジュール･ToDo>
  アラーム通知はしません。
  電源をONにしたあとも「未通知アラームあり」のアイコンは表示されません。
- マナーモード中は
  バイブレータとイルミネーションの点灯でお知らせし、スケジュール･ToDoの場合はメッセージも表示します。アラーム音量についてはマナーモードの設定に従って動作します。(P.97参照)
- オールロック中、パーソナルデータロック中、おまかせロック中は
  アラーム通知はしません。
  ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「アラーム」「スケジュールアラーム」「ToDoアラーム」を「通知する」に設定している場合、パーソナルデータロック中もアラーム通知が行われます。
- microSDカード操作中、赤外線通信中、iC通信中、ソフトウェア更新中は
  アラーム通知はしません。

お知らせ

- 「アラーム通知設定」を「通知優先」に設定している場合、発信中にアラーム時刻になったときは相手を呼び出したあとに、着信中にアラーム時刻になったときは通話を開始したあとにお知らせします。
- ｉモーション／着うたフル®によってはアラーム音に設定できない場合があります。
- アラーム音に設定したｉモーションによってはアラーム通知時に音声のみが再生される場合があります。
- 着うたフル®をアラーム音に設定した場合は、アラーム通知時に音声のみが再生されます。
  また、アラーム音選択時のデモ再生時とアラーム通知時のイルミネーションが異なる場合があります。

アラーム音／アラームメッセージ･アニメーション／ｉモーションの表示を消すには

いずれかのボタンを押せばアラーム音は停止しますが、アニメーション／ｉモーションは静止画になり、アラームメッセージは表示されたまま残ります。もう一度いずれかのボタン(アラームの「スヌーズ通知」を「ON」に設定した場合は⌒)を押すと消せます。ただし、FOMA端末を閉じているときは、サイドボタンでスケジュールやToDoのアラームメッセージの表示は消せません。また、電話がかかってきたときはアラームは停止します。

- スケジュールのアラームメッセージが複数あるときは、アラーム音を停止したあとにiα(次へ)、✉(戻る)を押して表示を切り替えることができます。

「アラーム通知」がされなかったときは

デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されることがあります。そのアイコンから通知できなかったアラームの内容(未通知アラーム情報)を確認できます。
未通知アラーム情報は通知できなかった最新のものを表示します。

<スケジュール>

カレンダーでスケジュールを管理する

1ヶ月単位でカレンダーを表示し、登録したスケジュールを確認できます。
2000年1月1日から2037年12月31日まで表示・登録できます。

●アラーム通知の動作についてはP.378参照。

スケジュールを登録する

指定した日付・時刻になるとアラーム音やイルミネーション、スケジュールの件名および設定したアイコンに対応したアニメーションでお知らせします。
スケジュールはｉスケジュールを含めて2500件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール
▶i α(機能)▶新規登録▶以下の操作を行う

項目	操作
件名	▶アイコンを選択 ●アラーム通知のとき、選択したアイコンに対応したアニメーションが表示されます。 ▶件名を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。 ●あらかじめアイコンに応じた件名が入力されています。
場所	▶場所を入力 ●全角25文字/半角50文字まで入力できます。
終日	開始日時や終了日時を入力しない、一日中のスケジュールにするかどうかを設定します。 ▶終日なし・終日あり ●「終日あり」に設定すると、自動的に開始日時の時刻が「0:00」、終了日時の時刻が「23:59」に設定されます。
開始日時	▶スケジュールを開始する日付、時刻を入力
終了日時	▶スケジュールを終了する日付、時刻を入力
繰り返し	▶繰り返しの種類を選択 ●「曜日指定」を選択した場合は、繰り返したい曜日にチェックを付けて✉(完了)を押します。 繰り返す回数を設定します。 ▶制限無し・繰り返し回数▶繰り返し回数(回)を入力 ●「02」～「99」の2桁を入力します。 ●繰り返す設定にしても、件数は1件としてカウントされます。
アラーム通知	▶通知方法を選択 **通知する**．．．．．．．スケジュールの開始日時に通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する**．．．設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**．．．．．通知しません。通知の設定が終了します。 ▶通知する日付、時刻を入力
アラーム音	▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択 ▶アラーム音を選択
詳細	▶詳細を入力 ●全角300文字/半角600文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

●「開始日時」に29日以降の日付を入力し、「繰り返し」を「毎月」または「毎年」に設定した場合、該当の日がない月では月末の日にスケジュールが設定されます。
●シークレット登録したスケジュールの場合、通常のモード(「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外)では、アラーム通知時にアラームメッセージは表示されません。シークレットのアニメーションが表示されます。
●待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

祝日を登録する

祝日は100件まで登録できます。ただし、同じ日に複数の祝日を登録することはできません。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール ▶iα(機能)▶各種設定▶祝日設定▶新規登録 ▶以下の操作を行う

日付	▶項目を選択 **毎年固定日**. . . . . .日付を入力します。 **毎年ー月第ー曜日** . . .月、週、曜日を選択します。
祝日名	▶祝日名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

●お買い上げ時に登録されている祝日は「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律(平成17年法律第43号までのもの)」に基づいています。また、春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります。(2009年4月現在)

スケジュールの内容を確認する

スケジュール、祝日の内容を確認します。電話帳に登録した誕生日も確認できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶スケジュール

カレンダー画面が表示されます。

● MENU(前月)、📷(翌月)を押すと前後の月のカレンダーが表示されます。
● iコンシェルで週間天気予報を受信した場合は、それらの情報も表示されます。

カレンダー画面

2 日付を選択

選択した日付のスケジュール、誕生日の一覧が表示されます。

●繰り返す設定にしたスケジュールは、当日からさかのぼって30件まで表示されます。

スケジュール一覧画面

3 スケジュールまたは誕生日を選択

- 電話帳に登録した誕生日の場合、「メールをする」を選択すると、電話帳の1番目に登録されているメールアドレスを宛先としたｉモードメールを作成できます。(P.196「Mail To 機能」参照)
  「電話をする」を選択すると、電話帳の1番目に登録されている電話番号に電話などをかけることができます。(P.195「Phone To／AV Phone To 機能」参照)

スケジュール詳細画面

カレンダー画面の機能メニュー

項目		内容
新規登録		P.379手順1へ進みます。
検索／フィルタ		
	指定日へ移動	▶日付を入力
	フィルタ	選択したアイコンで登録されているスケジュールのみを表示します。 ▶表示したいアイコンを選択▶[メール]([完了])
	フィルタ解除	フィルタ機能を解除して、すべてのスケジュールを表示します。
お預かりセンターに接続		P.124参照
デスクトップ／[ショートカット]登録		
	デスクトップ貼付	P.30参照
	[ショートカット]ボタン長押し登録	P.386参照
赤外線／iC送信		
	赤外線全件送信	P.361参照
	iC全件送信	P.363参照
登録件数確認		スケジュール、ｉスケジュール、電話帳に登録した誕生日、祝日の件数を表示します。シークレットモード／シークレット専用モード中は、シークレット登録されているスケジュールの件数も表示します。
各種設定		
	きせかえ設定	カレンダー画面のデザインを変更します。 ▶パターンを選択
	休日カスタマイズ	曜日の表示色を設定します。 ▶曜日を選択▶指定なし・赤・青 ● 祝日の表示色は、本機能の設定よりも優先されます。
	祝日設定	
	祝日設定：新規登録	P.380「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	祝日設定：編集	P.380「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	祝日設定：1件削除	▶YES
	祝日設定：祝日リセット	祝日をお買い上げ時の初期状態に戻します。 ▶YES
削除		
	前日まで削除	選択した日付の前日までのスケジュールを削除します。 ▶YES
	全削除	すべてのスケジュールを削除します。フィルタ機能でスケジュールを表示しているときは、表示しているスケジュールのみを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<休日カスタマイズ>

- 本機能の設定は待受画面のカレンダーにも反映されます。ただし、オールロック、おまかせロック、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の表示色で表示されます。

<削除>

- ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは削除されません。

スケジュール一覧画面・スケジュール詳細画面の機能メニュー

新規登録		P.379手順1へ進みます。
編集		
	編集	P.379手順1へ進みます。 ●MENU(編集)を押しても編集できます。 ●繰り返す設定にしたスケジュールを編集する場合、当日のスケジュールのみを編集するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると編集画面での「繰り返し」は「設定なし」になり、新規登録されます。「NO」を選択すると上書き登録されます。
	コピー	スケジュールをコピーして別の日付に登録します。 ▶**貼り付け先の日付、時刻を入力** P.379手順1へ進みます。 ●繰り返す設定にしたスケジュールをコピーした場合、編集画面での「繰り返し」は「設定なし」になります。
ｉモードメール作成		
	ｉモードメール作成	スケジュールの開始日時と詳細が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。
	ｉモードメール添付	スケジュールをｉモードメールに添付して送信します。 P.130手順2へ進みます。 ●📷(✉)または✉(✉)を押してもｉモードメールに添付できます。
移動／コピー		
	microSDへコピー	P.346参照
	お預かりセンターに接続	P.124参照
検索／フィルタ		
	指定日へ移動	P.381参照
	フィルタ	P.381参照
	フィルタ解除	P.381参照
祝日設定		
	新規登録	P.380「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	編集	P.380「祝日を登録する」手順1へ進みます。
	1件削除	▶YES
	祝日リセット	P.381参照
デスクトップ／✎登録		
	デスクトップ貼付	P.30参照
	✎ボタン長押し登録	P.386参照
赤外線／iC送信		
	赤外線送信	
	送信	P.360参照
	全件送信	P.361参照
	iC送信	
	送信	P.362参照
	全件送信	P.363参照
削除		
	1件削除	▶YES ●繰り返す設定にしたスケジュールを削除した場合、繰り返しデータがすべて削除されます。
	選択削除	▶**削除したいスケジュールにチェック** ▶✉(完了)▶YES
	前日まで削除	P.381参照
	全削除	P.381参照

シークレット設定・シークレット解除	スケジュールをシークレットに設定／解除します。 ▶YES ●通常のモード（「シークレットモード」「シークレット専用モード」以外）で「シークレット設定」を選択した場合、端末暗証番号を入力します。

お知らせ

＜削除＞

● ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは削除されません。

ｉスケジュールを表示する

ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールの内容を確認します。

1 **カレンダー画面・スケジュール一覧画面▶✉（iｽｹｼﾞｭｰﾙ）**

ｉスケジュールの一覧が表示されます。

●「ｉスケジュールリストへ」を選択した場合はP.193「ｉモードで探す」参照。

ｉスケジュール一覧画面

2 **ｉスケジュールを選択**

ｉスケジュール詳細画面

ｉスケジュール一覧画面・ｉスケジュール詳細画面の機能メニュー

機能		操作
予定一覧表示		ｉスケジュールに登録されているスケジュールの一覧画面を表示します。（P.380参照） ●✉（一覧）を押すか、ｉスケジュール詳細画面で「このｉスケジュールの予定一覧へ」を選択しても、スケジュールの一覧画面を表示できます。
削除		
	1件削除［ｉスケジュール一覧画面のみ］	▶YES
	選択削除［ｉスケジュール一覧画面のみ］	▶削除したいｉスケジュールにチェック▶✉（完了）▶YES
	全削除［ｉスケジュール一覧画面のみ］	▶端末暗証番号を入力▶YES

ToDoでスケジュールを管理する

予定をリストで管理し、設定の時刻にアラームでお知らせします。ToDoを100件まで登録してスケジュールを管理できます。

- アラーム通知の動作についてはP.378参照。

1 **MENU▶ステーショナリー▶ToDo▶✉(新規)▶以下の操作を行う**

- 登録済みのToDoを選択すると登録内容を確認でき、●(編集)を押すと編集できます。

項目	操作
ToDo内容	**▶ToDo内容を入力** ●全角100文字/半角200文字まで入力できます。
期日	**▶項目を選択** **直接入力**…………期日(期限)を直接入力します。 **カレンダーから入力**…カレンダーから期日(期限)を選択します。期日を確認し、●(確定)を押します。 **なし**……………期日(期限)を設定しません。アラーム通知しません。
優先度	**▶優先度を選択** ●期日順でソートしたときに、同一期日の場合優先度の高い順に表示されます。
カテゴリー	**▶カテゴリーを選択**
アラーム通知	**▶通知方法を選択** **通知する**……設定した時刻になるとアラームで通知します。通知の設定が終了します。 **事前通知する**…設定した事前通知時刻にのみ通知します。 **通知しない**……通知しません。通知の設定が終了します。 **▶通知する日付、時刻を入力**
アラーム音	**▶アラーム音の種類を選択▶フォルダを選択▶アラーム音を選択**

2 **✉(完了)を押す**

高：優先度高い
低：優先度低い

- ToDo内容を入力していない場合、「完了」は表示されず登録できません。

ToDo表示中の機能メニュー

機能	説明
新規登録	P.384手順1へ進みます。
編集	P.384手順1へ進みます。 ●ToDoの「状態」が「完了」に設定されていて「完了日」を編集する場合は、「完」を選択し、P.384「期日」と同様の操作を行います。
状態	ToDoの一覧では設定した状態が状態アイコンで表示されます。 **▶状態を選択** ●状態アイコンは、期日を過ぎると青色から赤色に変わります。 ●「完了」を選択した場合は、P.384「期日」と同様の操作を行います。
カテゴリー別表示	**▶カテゴリーを選択** ●ToDoを選択すると詳細が表示されます。
ソート/フィルタ	並べ替えて表示します。また、状態別にも表示できます。 **▶表示したい順番や状態を選択**
デスクトップ/ 登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
ボタン長押し登録	P.386参照
iモードメール添付	ToDoをiモードメールに添付して送信します。 P.130手順2へ進みます。 ●ToDoの登録内容を確認中に✉(✉)を押してもiモードメールに添付できます。

赤外線送信	P.360参照
赤外線全件送信	P.361参照
iC送信	P.362参照
iC全件送信	P.363参照
microSDへコピー	P.346参照
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいToDoにチェック▶[✉](完了)▶YES
完了済み削除	状態が「完了」に設定されているToDoを削除します。▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- 待受中のアラーム音は、「着信音量」の「電話」で設定した音量で鳴ります。また、通話中のアラーム音は、「受話音量」で設定した音量で鳴ります。

<アラーム通知設定>

アラームで通知するときの状況を設定する

他の機能を操作中に「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム通知をするかどうかを設定します。

1 [MENU]▶設定／サービス▶時計▶アラーム通知設定▶操作優先・通知優先

操作優先 . . . . .アラーム通知は待受画面表示中にだけ行われます。
通知優先 . . . . .FOMA端末を操作しているときや通話中もアラーム通知を行います。

お知らせ

- アラーム通知ができなかったときは、デスクトップに「未通知アラームあり」のアイコンが表示されます。

<プライベートメニュー設定>

オリジナルのメニューを使う

よく使う機能を「プライベートメニュー」に登録します。メインメニューの各機能(P.448参照)から12件まで登録できます。

プライベートメニューから機能を選択する

1 [MENU]▶[MENU](ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ)

プライベートメニューが表示されます。
- 15秒以上ボタンを押さなかった場合は待受画面に戻ります。

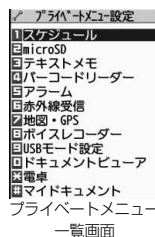
プライベートメニュー

2 アイコンを選択

選択した機能の画面が表示されます。

プライベートメニュー一覧を表示する [MENU][5][2]

1 プライベートメニュー▶[iα](設定)

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄﾒﾆｭｰ設定
1 スケジュール
2 microSD
3 テキストメモ
4 バーコードリーダー
5 アラーム
6 赤外線受信
7 地図・GPS
8 ボイスレコーダー
9 USBモード設定
0 ドキュメントビューア
＊ 電卓
＃ マイドキュメント

プライベートメニュー一覧画面

便利な機能

プライベートメニュー一覧画面の機能メニュー

メニュー登録	プライベートメニューによく使う機能を登録します。 ▶**登録する機能を選択** ●[O]を押すとメニュー機能の大項目もしくは中項目ごとに登録できる機能が表示されます。[O]を押して登録する機能を選びます。
背景イメージ変更	▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**
デスクトップ／[ボタン]登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
[ボタン]ボタン長押し登録	P.386参照
メニュー初期化	プライベートメニューをお買い上げ時の項目に戻します。 ▶YES
1件解除	▶YES
全解除	▶YES

お知らせ

<背景イメージ変更>
- 設定できる画像は、画像サイズが待受(480×854)以下で最大500Kバイトまでの JPEG画像、GIF画像です。それ以外の画像サイズの場合は「サイズ変更」または「トリミング」を行って設定してください。ただし、アニメーションGIFは設定できません。

<マルチボタン長押し登録>

よく使う機能をマルチボタンに登録する

よく使う機能や電話番号などを「マルチボタン長押し登録」に登録しておくことができます。待受画面で[ボタン]を1秒以上押すと、登録した機能を簡単に呼び出すことができます。

1 **[MENU]▶設定／サービス▶その他▶[ボタン]ボタン長押し登録▶項目を選択**

または

登録したい項目の機能メニューから「[ボタン]ボタン長押し登録」を選択▶YES

- 設定を上書きして登録されます。
- メール詳細画面の機能メニューから操作した場合、送信元の他に同報先があるとき、または複数の宛先があるときは、登録したいメールアドレスや電話番号を選択します。
- 「ピクチャフォルダジャンプ」を登録すると、カメラの保存先に設定されているフォルダの静止画一覧画面を表示します。

お知らせ

- 他のメニュー機能が起動している場合、待受画面で[ボタン]を1秒以上押しても本機能で設定した項目の画面は表示されず、起動中のメニュー機能の画面が表示されます。
- 本機能が「OFF」に設定されている場合、待受画面で[ボタン]を1秒以上押すと機能を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 登録元のデータが削除されたり上書き登録された場合は、マルチボタン長押し登録は無効になります。(電話番号、メールアドレス、URLを除く)

＜自局番号表示＞

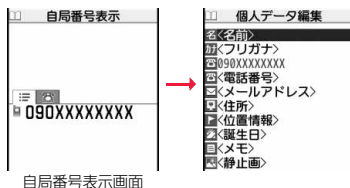
自分の名前やメールアドレスなどを登録する

契約の電話番号(自局番号)の他にお客様の個人データとして名前とフリガナ、電話番号(3件)、メールアドレス(3件)、住所、位置情報、誕生日、メモ、静止画を登録できます。
メールアドレスを変更またはシークレットコードを登録したときは、本機能のメールアドレスも変更してください。

1 MENU▶電話帳▶自局番号表示▶✉(編集)
▶端末暗証番号を入力

P.78手順2の操作を行って個人データを登録します。

自局番号表示画面

- 自局番号は変更、削除できません。
- 1番目のメールアドレスを登録する場合、「自動取得」で自動的に入力するか、「直接入力」で入力するかを選択できます。「自動取得」を選択すると、iモード接続が行われ、ご契約のメールアドレスが自動的に入力されます。
- 位置情報を登録するときに「電話帳から付加」を選択すると、電話帳を選択して位置情報を登録できます。
- 「全データ表示」などの操作で、すでに端末暗証番号を入力している場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

2 ✉(完了)を押す

お知らせ

- 自局番号以外の項目はFOMA端末に登録されるため、他のFOMAカードをセットしても表示されます。
- 本機能で変更するメールアドレスは、自局番号表示で表示するメールアドレスだけです。実際のメールアドレスは変更されません。

お知らせ

- 2in1設定がONの場合に1番目のメールアドレスの自動取得を行うと、Aアドレス、Bアドレスのそれぞれが1番目のメールアドレスとして入力されます。

自局番号表示画面の機能メニュー

個人データ編集	P.387手順1へ進みます。
文字サイズ変更	自局番号や「電話帳設定」内などの文字サイズを切り替えます。(P.109「電話帳」参照)
全データ表示	登録した電話番号やメールアドレスなどをすべて表示します。 ▶端末暗証番号を入力 Ⓞでそれぞれの項目を表示します。
名前コピー	名前をコピーします。
電話番号コピー・メールアドレスコピー・住所コピー・位置情報コピー・誕生日コピー・メモコピー	各項目をコピーします。 ●自局番号表示画面でⓄを押してコピーする項目を選びます。選んだ項目によって表示される機能メニュー項目は異なります。
赤外線送信	P.360参照 ●📷(赤外線)を押しても赤外線送信できます。
iC送信	P.362参照 ●MENU(iC送信)を押してもiC送信できます。
microSDへコピー	P.346参照
電話番号削除・メールアドレス削除・住所削除・位置情報削除・誕生日削除・メモ削除・静止画削除	各項目を削除します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。 ●自局番号表示画面でⓄを押して削除する項目を選びます。選んだ項目によって表示される機能メニュー項目は異なります。

つづく

個人データ初期化	自局番号以外の電話番号やメールアドレスなど、登録したすべての個人データを初期化(削除)して、お買い上げ時の状態に戻します。 ▶YES ●端末暗証番号の入力画面が表示された場合は、端末暗証番号を入力します。
Bナンバー自動取得	2in1契約の問い合わせを行い、契約済みの場合はBナンバーを保存します。

<通話中音声メモ><音声メモ録音>

音声電話中、待受中の声を音声メモとして録音する

音声メモには、音声電話中に相手の声を録音する「通話中音声メモ」と、待受中に自分の声を録音する「音声メモ録音」の2つがあります。
録音できる件数は、「通話中音声メモ」または「音声メモ録音」のどちらか一方で1件、録音時間は約3分間です。

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」の再生／消去についてはP.70参照。

音声電話中に相手の声を録音する

1 音声電話中▶▼(1秒以上)または✉(メモ)

「ピッ」と鳴って録音が始まります。

●録音を途中で止めるときは●(停止)、CLRまたは▼(1秒以上)を押します。
●録音中に⌒を押すと、録音が停止し、通話が終了します。
●録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

●「通話中音声メモ」「音声メモ録音」のどちらかがすでに保存されているときに録音をした場合は、再生･未再生に関わらず上書きされます。
●機能メニューの各項目の操作中などは録音できません。

待受中に自分の声を録音する

1 MENU▶LifeKit▶伝言メモ／音声メモ▶音声メモ録音▶YES

「ピッ」と鳴って録音が始まります。送話口に向かってお話しください。

●録音を途中で止めるときは●(停止)、CLRまたは⌒を押します。
●録音時間(約3分間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録音が終わると「ピピッ」という音が鳴り、元の画面に戻ります。

お知らせ

●録音中に電話がかかってきたときや「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき、マルチタスクで画面を切り替えたときには、録音が中断されます。

<動画メモ>

テレビ電話中の映像を動画メモとして録画する

テレビ電話中の受信映像を音声とともに録画できます。
1件につき約20秒間、5件まで録画できます。

●「動画メモ」の再生／消去についてはP.70参照。

1 テレビ電話中▶▼(1秒以上)

「ピッ」と鳴って録画が始まります。録画が始まると「●REC」が表示されます。

●相手には「画像選択」の「動画メモ選択」で設定した静止画が表示されます。
●録画を途中で止めるときは●(停止)または▼(1秒以上)を押します。
●録画中に⌒を押すと、録画が停止し、通話が終了します。
●録画時間(約20秒間)が終わる約5秒前に「ピッ」と音が鳴ります。
録画が終わると「ピピッ」という音が鳴り、通話中の画面に戻ります。

お知らせ

●「動画メモ」がすでに5件保存されているときに録画をした場合は、再生･未再生に関わらず最も古い「動画メモ」に上書きされます。
●機能メニューの各項目の操作中などは録画できません。

<通話時間／料金>

通話時間と通話料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。
- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「￥0」もしくは「￥＊＊」が表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
- 表示される通話時間および通話料金はリセットできます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**時間／料金**▶**通話時間／料金**

前回通話時間
　音声通話　　　：直前の音声電話の通話時間を表示します。
　デジタルAV呼　：直前のテレビ電話の通話時間を表示します。
　非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話時間を表示します。

前回通話料金
　音声通話　　　：直前の音声電話の通話料金を表示します。
　デジタルAV呼　：直前のテレビ電話の通話料金を表示します。
　非制限デジタル：直前の64Kデータ通信の通話料金を表示します。

積算通話時間
　音声通話：積算時間リセット時から現在までの音声電話の通話時間を表示します。
　デジタル：積算時間リセット時から現在までのテレビ電話、64Kデータ通信の通話時間を表示します。

積算通話料金
　積算通話料金リセット時から現在までの通話料金を表示します。

時間リセット日時
　前回積算時間リセットを行った日付時刻を表示します。

料金リセット日時
　前回積算通話料金リセットを行った日付時刻を表示します。

お知らせ

- 前回通話時間が「19時間59分59秒」、積算通話時間が「199時間59分59秒」を超えると、「0秒」に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話／テレビ電話を切り替えた場合は、それぞれの通話時間・通話料金としてカウントされます。「切替中」（P.51参照）が表示されている間は料金は課金されません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間・通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモード契約時にお渡しする「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 電源を切るかFOMAカードを外すと、前回通話時間の表示は「0秒」、前回通話料金の表示は「￥＊＊」になります。

<積算リセット>

積算時間／積算通話料金をリセットする

1 MENU▶**設定／サービス**▶**時間／料金**▶**積算リセット**▶**端末暗証番号を入力**▶**以下の操作を行う**

積算時間リセット	前回通話時間および積算通話時間を「0秒」に戻します。 ▶YES
積算通話料金リセット	前回通話料金および積算通話料金を「￥0」に戻します。 ▶YES▶PIN2コードを入力 ●PIN2コードについてはP.112参照。

<通話料金通知>

通話料金の上限値を設定する

積算通話料金の上限値を設定し、金額が上限料金を超えたときにお知らせします。「自動リセット設定」を「ON」に設定すると、毎月1日の0時に積算通話料金がリセットされ、「¥」が消去されます。

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶通話料金通知▶端末暗証番号を入力▶ON・OFF▶上限料金を入力

- 10円から100000円まで、10円単位で設定できます。

2 通知方法を選択▶ON・OFF▶PIN2コードを入力

- PIN2コードについてはP.112参照。

積算通話料金が上限料金を超えたときは

「¥」が表示されます。通知方法に「アイコン+アラーム」を設定している場合は、待受画面に戻ったときに通話料金が上限料金を超えた旨のメッセージが表示され、スピーカーから警告音が鳴ります。

上限値アイコン消去

通話料金通知で表示された「¥」を消去します。

1 MENU▶設定／サービス▶時間／料金▶上限値アイコン消去▶端末暗証番号を入力

お知らせ

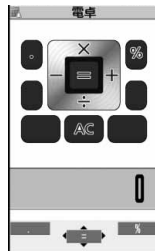
- 積算通話料金リセット、設定リセット、端末初期化を行うと、「¥」は消去されます。
- 上限値を超えた場合、設定した上限値で再度通知させたいときは、積算通話料金をリセットしてください。

<電卓> MENU 8 5

電卓を使う

電卓を表示して四則演算(+、−、×、÷)を行います。10桁まで表示できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶電卓▶以下の操作で計算を行う

キー	操作	キー	操作
◎(右)	+	◎(上)	×
◎(左)	−	◎(下)	÷
●	=	✉	小数点
iα	%		
CLR	C(クリア):直前に入力した数字を取り消します。		
	AC(オールクリア):入力した計算をすべて取り消します。		

お知らせ

- 計算の途中に負数は入力できません。
- 計算結果が10桁を超えた場合や0で割り算をするなど誤った計算を行った場合は、「.E」を表示します。

<テキストメモ> MENU 4 2

テキストメモを作成する

テキストメモを20件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択▶テキストメモを入力

- 全角256文字/半角512文字まで入力できます。
- 登録済みのテキストメモを選択すると登録内容を確認でき、●()を押すと編集できます。

テキストメモ表示中の機能メニュー

編集	P.390「テキストメモを作成する」手順1へ進みます。
ｉモードメール作成	テキストメモの内容が本文に入力されたｉモードメールを作成します。 P.130手順2へ進みます。 ●[メール]( )を押してもｉモードメールを作成できます。
スケジュール作成	テキストメモの内容が入力されたスケジュールを作成します。 P.379手順1へ進みます。
デスクトップ／ 登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
ボタン長押し登録	P.386参照
赤外線送信	P.360参照
赤外線全件送信	P.361参照
iC送信	P.362参照
iC全件送信	P.363参照
microSDへコピー	P.346参照
テキストメモ情報	テキストメモの作成日時、最終更新日時、分類を表示します。
分類	テキストメモをカテゴリー別に設定します。 ▶**分類を選択** ●設定しない場合は「なし」になります。
1件削除	▶YES
選択削除	▶**削除したいテキストメモにチェック**▶[メール](完了) ▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES

<FOMAカード(UIM)操作>

FOMAカードと本体の間でデータをコピー・削除する

FOMA端末(本体)とFOMAカードの間で、電話帳やSMSのデータをやりとりします。また、FOMA端末(本体)やFOMAカードに記憶している電話帳やSMSのデータを削除します。
FOMAカードには、受信したSMSと送信したSMSを合わせて20件まで保存できます。

データをコピー・削除する

1 [MENU]▶**電話帳**▶**FOMAカード(UIM)操作**▶**端末暗証番号を入力**

端末暗証番号を入力すると「[UIM]」が表示され、電話やメールの機能は使えません。

●端末暗証番号入力前に着信があった場合は、FOMAカード(UIM)操作が終了します。

2 **コピー・削除**▶**コピー先や削除元を選択**▶**電話帳・SMS**

電話帳

電話帳を検索し、一覧画面を表示します。

SMS

受信BOX. . . . 受信BOX内のデータをコピー･削除します。
送信BOX. . . . 送信BOX内のデータをコピー･削除します。
フォルダを選択し、一覧画面を表示します。

●FOMAカードへ移動･コピーする場合、2in1がONのときは2in1の管理情報が削除される旨の確認画面が表示されます。

3 **コピー・削除したいデータにチェック**▶[メール](完了)▶**YES**

電話帳またはSMS一覧表示中の機能メニュー

コピー開始・削除開始	コピー・削除を開始します。 ▶YES
1件選択	1件選択します。
タブ内全選択	表示しているタブ内のすべての電話帳を選択します。
全選択	全選択します。
1件解除	選択を解除します。
タブ内全選択解除	表示しているタブ内の電話帳の選択を解除します。
全解除	すべての選択を解除します。
詳細表示	電話帳またはSMSの詳細画面を表示します。

電話帳の機能メニューからコピーする

1 電話帳詳細画面▶i α(機能)▶移動/コピー▶FOMAカードへコピー・本体へコピー▶YES

メールの機能メニューから移動・コピーする

1 送信メール一覧画面・送信メール詳細画面・受信メール一覧画面・受信メール詳細画面▶i α(機能)▶移動/コピー▶FOMAカード操作▶移動またはコピーする方法を選択▶YES

「✉(青色)」はFOMA端末内のSMSを表します。
「▯」はFOMAカード内のSMSを表します。

お知らせ

- FOMA端末(本体)とFOMAカードでは、1つの電話帳に登録できる電話番号/メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末(本体)に登録された2つ目以降の電話番号/メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、住所などFOMAカードに登録できないデータもコピーできません。

お知らせ

- FOMA端末(本体)からFOMAカードへ電話帳をコピーする場合、名前は全角10文字/半角21文字まで、フリガナは半角12文字までのデータが全角カタカナに変換されてコピーされ、残りのデータはコピーされません。
- シークレット登録された電話帳は、シークレットモード/シークレット専用モード中もFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定している場合は、電話帳のグループ設定は保持されます。FOMA端末(本体)とFOMAカードに同じグループ名を設定していない場合は、グループは設定されません。
- SMS送達通知の移動・コピーはできません。
- FOMAカードへ移動・コピーしたSMSは保護できません。保護しているSMSをFOMAカードへ移動・コピーした場合、FOMAカード内のSMSは保護が解除されます。また、返信や転送のマークは既読のマークになります。
- FOMA端末からFOMAカードへSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダで確認できます。
また、2in1を利用中は、現在のモードに関わらず、すべてAナンバーのSMSとして保存されます。
- FOMAカードからFOMA端末へSMSを移動・コピーした場合は、「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダへ移動・コピーされます。

<スイッチ付イヤホンマイク>

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を使って電話をかけたり、受けたりします。

- 別売りのイヤホンマイク 01、スイッチ付イヤホンマイク P001/P002、ステレオイヤホンセット P001、平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02、平型ステレオイヤホンセット P01も同様の操作で使用できます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

外部接続端子のカバーを開け、ステレオイヤホンマイク 01の接続プラグを差し込んでください。(P.22参照)

<イヤホンマイク設定>

イヤホンをつないだときに使うマイクを選ぶ

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに使うマイクを、FOMA端末(本体)側のマイクにするか、イヤホンマイク側のマイクにするかを設定します。

1 **MENU▶設定/サービス▶その他▶イヤホンマイク設定▶本体マイク・イヤホンマイク**

お知らせ

- マイクのないイヤホンを接続する場合は、「本体マイク」に設定してください。
- 「本体マイク」に設定しているときにステレオイヤホンマイクを接続すると、FOMA端末(本体)側のマイクの感度が高くなります。

スイッチを使って電話をかける

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示

2 **ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す▶相手が出たら話す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。

- ステレオイヤホンマイクのスイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
- FOMA端末の操作でも、電話をかけることができます。

3 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

スイッチを使って電話を受ける

1 **着信中▶ステレオイヤホンマイクのスイッチを押す**

「ピッ」という音が鳴り、電話がつながります。
テレビ電話の場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。
(P.72参照)

- FOMA端末を閉じた状態でも利用できます。
- FOMA端末の操作でも、電話を受けることができます。
- 「オート着信設定」を「オート着信あり」に設定していると、呼出時間経過後に自動的に応答します。

2 **お話が終わったら、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話を終了する**

「ピピッ」という音が鳴り、電話が切れます。

お知らせ

- 「ボタン確認音」の設定に関係なく、電話がつながったときの音や電話が切れたときの音は鳴ります。
- 着信音が鳴ってからステレオイヤホンマイクを接続するときに、電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。
- 応答保留中、通話保留中にステレオイヤホンマイクのスイッチを押すと、保留を解除できます。(テレビ電話を保留していた場合、代替画像が送信され、テレビ電話が開始されます)
- ステレオイヤホンマイクのスイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話を受けてしまうことがあります。
- キャッチホンを契約され、通話中に「マルチ接続中」と表示されている場合は、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して通話する相手を切り替えることができます。ただし、スイッチでは終了できません。
- 通話中に▲(音量を上げる)、▼(音量を下げる)を押すと、音量調節ができます。

<イヤホンスイッチ発信設定>

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ

「イヤホンスイッチ発信設定」を「音声発信」に設定しておくと、待受画面でステレオイヤホンマイク 01(別売)のスイッチを押して音声電話の発信ができます。

1 MENU▶**設定/サービス**▶**着信**▶**自動発着信設定**▶**イヤホンスイッチ発信設定**▶**音声発信・OFF**

- ✉(確認)を押すと現在設定している電話帳を確認できます。

2 **電話帳を検索**▶**電話帳を選択**

お知らせ

- FOMA端末(本体)の電話帳のみ設定できます。
- 電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、1番目の電話番号が設定されます。
- 設定した電話帳を削除した場合、メモリ番号999の電話帳が自動的にイヤホンスイッチ発信設定に登録されます。

<オート着信設定>

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

ステレオイヤホンマイク 01(別売)を接続しているときに着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答します。

1 MENU▶**設定/サービス**▶**着信**▶**自動発着信設定**▶**オート着信設定**▶**オート着信あり・オート着信なし**▶**呼出時間(秒)を入力**

- 「001」~「120」の3桁を入力します。
- オート着信設定、伝言メモ設定の呼出時間は同じ時間に設定できません。それぞれ違う時間に設定してください。

お知らせ

- テレビ電話をオート着信した場合、相手には代替画像が送信されます。テレビ電話中にMENUを押して代替画像とカメラ映像を切り替えることができます。(P.72参照)
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスとオート着信設定を同時に設定する場合、オート着信設定を優先させるには、オート着信設定の呼出時間を留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間よりも短く設定してください。
- ステレオイヤホンマイクを着信中に接続しても、オート着信は動作しませんが、着信中に接続を外すとオート着信は動作します。
- 64Kデータ通信中は、オート着信は行われません。

<Bluetooth機能>

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機器どうしをワイヤレスで接続できます。例えばFOMA端末とワイヤレスイヤホンセット 02(別売)をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末を鞄などに入れたまま通話をしたり音楽を聴いたりできます。

- Bluetooth接続を使用すると電池の消耗が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetooth機能でできること

FOMA端末では、ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービス、オブジェクトプッシュサービス、シリアルポートサービスの6つのサービスを利用できます。また、オーディオサービスではオーディオ/ビデオリモートコントロールサービス(Ver.1.3)も利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

対応バージョン
Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
対応プロファイル※2(対応サービス)
HSP:Headset Profile (ヘッドセットプロファイル) HFP:Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) A2DP:Advanced Audio Distribution Profile (アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル) AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile (オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) DUNP:Dial-up Networking Profile (ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) OPP:Object Push Profile (オブジェクトプッシュプロファイル) SPP:Serial Port Profile (シリアルポートプロファイル)

※1 FOMA端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 Bluetooth機能の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ヘッドセットで通話する

ワイヤレスイヤホンセット 02(別売)やBluetoothヘッドセット(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、ワイヤレスで通話できます。

・ご利用にはヘッドセットサービスを使います。

■ハンズフリーで通話する

カーナビなどのBluetooth通信対応機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、カーナビなどのマイクとスピーカーを利用してハンズフリーで通話できます。

・ご利用にはハンズフリーサービスを使います。

■オーディオ機器で再生する

ワイヤレスイヤホンセット P01/02(別売)やBluetooth通信対応オーディオ機器(市販品)とFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、高音質なステレオサウンドをワイヤレスで再生できます。

ただし、ワンセグやビデオの音声に関しては対応する機器が制限されます。(詳しくはP.400「ワンセグの音声を再生する」のお知らせ参照。)

・ご利用にはオーディオサービスを使います。

■ワイヤレスで通信する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をBluetooth通信で接続すると、FOMA端末をモデム代わりにしてパケット通信や64Kデータ通信を行えます。

・ご利用にはダイヤルアップ通信サービスを使います。

・詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

■Bluetooth通信で電話帳を送信する

Bluetooth機器とFOMA端末をBluetooth通信で接続して、電話帳データを送信できます。電話帳の機能メニューから送信します。

・ご利用にはオブジェクトプッシュサービスを使います。

■ｉアプリからBluetooth通信を利用する

Bluetooth通信を利用して他の携帯電話やBluetooth通信対応機器と接続することにより、ｉアプリで対戦ゲームを行ったり、データを管理したりできます。

・ご利用にはシリアルポートサービスを使います。

■Bluetooth機器から出力される音

		接続しているサービス		
		HSP	HFP	A2DP
音声電話発信音		○	○	×
音声電話・テレビ電話着信音		○※1※2	○※2	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音		○	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声		○	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声		○	○	×
ワンセグの音声		×	×	○
iモーション再生音		×	×	○※4
ビデオ再生音		×	×	○
ムービー再生音		×	×	○
ミュージックプレーヤー再生音		×	×	○
Music&Videoチャネル再生音		×	×	○
アラーム通知音	通知優先	○※5	○※5	○※3
	操作優先	×※6	×※6	×※6
メール着信音	通知優先	×	×	○※3
	操作優先	×※6	×※6	×※6

○:Bluetooth機器から出力されます
×:Bluetooth機器からは出力されずFOMA端末から鳴ります
※1 「イヤホン切替設定」を「イヤホンとスピーカー」に設定していると、Bluetooth機器、FOMA端末の両方から着信音が鳴ります。
※2 「着信音送出設定」を「送らない」に設定している場合、FOMA端末から着信音が鳴ります。
※3 ミュージック再生中、Music&Videoチャネル再生中、ワンセグ視聴中、ビデオ再生中の場合は、Bluetooth機器から鳴ります。
※4 サイトから取得中に再生しているiモーションの場合は鳴りません。
※5 通話中のみBluetooth機器から鳴ります。Bluetooth機器から鳴る音はアラーム音に設定した音ではなく「ピッピピッ」という通知音が鳴ります。
※6 待受画面以外を表示中はアラーム通知音/メール着信音は鳴りません。
●お使いのBluetooth機器によっては、上記の動作にならない場合があります。

お知らせ

●Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

●他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
●他の機器(電気製品/AV機器/OA機器など)からなるべく離して接続してください。(電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。)近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります。)
●放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
●Bluetooth機器を鞄やポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器とFOMA端末の間に身体を挟むと通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
●10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切ってください。

■Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。
場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
・電車内　・航空機内　・病院内
・自動ドアや火災報知機から近い場所
・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

機器登録

Bluetooth機器をFOMA端末に登録します。10件まで登録できます。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶新規機器登録**

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。
Bluetooth機器が見つかると、登録機器リスト画面に最大20件まで表示されます。

- 登録機器リスト画面で✉(サーチ)を押しても、Bluetooth機器を検索します。
- サーチ中に中止する場合は✉(中止)を押します。

2 **登録したいBluetooth機器を選択▶YES**

- ワイヤレスイヤホンセット 02を登録する場合は、手順4へ進みます。

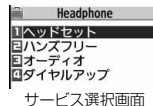
3 **Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定**

- 半角英数字で16文字まで入力できます。
- BluetoothパスキーについてはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーが不要なものがあります。その場合、手順4へ進みます。

4 **接続したいサービスを選択**

サービス選択画面

Bluetooth機器と接続され「(青色)」が点滅します。一定時間、Bluetooth機器との通信がないと、低消費電力状態となり「(黒色)」の点灯に変わります。

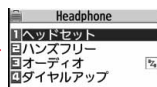
- 複数のサービスで接続できるBluetooth機器の場合は、続けて別のサービスにも接続するかどうかの確認画面が表示されます。
- 接続中は「(青色)」、接続待機中は「(グレー)」がサービス名の横に表示されています。
- 「ダイヤルアップ」を選択した場合は、FOMA端末を接続待機中にします。
- 接続を解除するには、接続中のサービスを選択して「YES」を選択します。
- 接続待機中のサービスを解除するには、P.399「接続待機」参照。

お知らせ

- すでに10件のBluetooth機器が登録されている場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると、保護設定、優先機器設定に設定されておらず、接続中または接続待機中以外で通信日時の最も古いBluetooth機器に上書きされます。ただし、iアプリタッチ(P.273参照)で登録する場合、確認画面は表示されず、自動で上書きされます。
- セルフモード設定中はBluetooth機能は起動できません。

接続

登録したBluetooth機器とFOMA端末を接続します。

1 **MENU ▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト ▶接続したいBluetooth機器を選択 ▶接続したいサービスを選択**

●詳細については、P.397手順4参照。

登録機器リスト画面　　サービス選択画面

■登録機器リスト画面について

❶機器種別

:パソコン　　:電話
:ネットワーク機器　　:オーディオ機器
:周辺機器　　:イメージング機器
:その他

登録機器リスト画面

❷機器名称

Bluetooth機器の名称が表示されます。
サーチ時に名称が検出できなかった場合はBluetoothアドレスが表示されます。

❸接続状態

:接続中　:未接続　:未検出　NEW:未登録

❹保護

登録内容が保護されている場合に表示されます。

❺プロファイル状態

表示例	文字色	背景色	枠色	状態
HSP	青	グレー	なし	未接続(未登録)
HSP	青	グレー	青	未接続(登録済み)
HSP	白	緑	なし	接続中
HSP	緑	白	緑	接続待機中
HSP	白	薄緑	なし	優先機器設定
HSP	グレー	グレー	なし	未対応

お知らせ

●接続処理中や切断処理中にBluetooth機器の電源が切れていたり、Bluetooth機器からの応答がない場合は、処理に最大約110秒かかります。

●ヘッドセットサービス、ハンズフリーサービス、オーディオサービス、ダイヤルアップ通信サービスで接続中にBluetooth機器から切断された場合、接続待機中になります。また、接続中または接続待機中にFOMA端末の電源をOFFにした場合も、次回電源を入れたときに接続待機中になります。

登録機器リスト画面の機能メニュー

機器登録	P.397手順3へ進みます。
優先機器設定	電話がかかってきたときに優先して接続するBluetooth機器に設定します。設定できるのはヘッドセットサービスに対応しているBluetooth機器のみです。 ●すでに他のBluetooth機器を設定していた場合、その設定は解除され、選択したBluetooth機器が優先機器に設定されます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
保護/解除	登録したBluetooth機器を削除・上書きされないように保護します。5件まで保護できます。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
機器名称変更	登録しているBluetooth機器の名称を変更します。 **▶機器名称を入力** ●全角16文字/半角32文字まで入力できます。
登録機器削除	登録しているBluetooth機器を削除します。 ▶YES
登録機器情報	Bluetooth機器の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。
デスクトップ/ 登録	
デスクトップ貼付	P.30参照
** ボタン長押し登録**	P.386参照

お知らせ

＜機器登録＞

- すでに登録済みのBluetooth機器を選択すると登録情報が更新されます。（機器名称を変更していた場合は元に戻ります。）登録済みと異なるプロファイルを選択した場合は、プロファイルが追加登録されます。

＜優先機器設定＞

- 優先機器設定を設定していても、ヘッドセットサービスを接続待機中にしていないと接続されません。また、他のBluetooth機器がヘッドセットサービスで接続中の場合は、接続中のBluetooth機器が優先されます。

＜登録機器削除＞

- Bluetooth機器の状態が接続中または接続待機中の場合は削除できません。

接続待機

登録しているすべてのBluetooth機器の接続状態を各サービスごとに接続待機に設定します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶接続待機▶待機中にしたいサービスにチェック▶✉（完了）

- 解除する場合は解除したいサービスのチェックを外し✉（完了）を押します。
- 接続待機中は「（青色）」が点灯します。

Bluetooth電源オフ

接続中や接続待機中のサービスをすべて停止し、FOMA端末のBluetooth機能を停止します。

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth電源オフ▶YES

- 前回接続していたBluetooth機器の接続待機を有効にするには「MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth起動」の操作を行います。

ダイヤルアップ登録待機

Bluetooth通信対応のパソコンやカーナビなどとFOMA端末をワイヤレス接続して、通話や通信を行います。詳しくは、PDF版「パソコン接続マニュアル」の「Bluetooth通信を準備する」をご覧ください。

通話する

FOMA端末をBluetooth機器とヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続すると、ワイヤレスで通話できます。

1 Bluetooth機器とヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.398参照。

2 Bluetooth機器で電話をかけるまたは受ける

Bluetooth機器で通話中は「Ⓑ」が表示されます。

- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末で通話するかBluetooth機器で通話するかを切り替えるには

通話中に☎を1秒以上押します。

- 通話中にiα（機能）を押して「通話機切替」を選択しても切り替えられます。
- ヘッドセットサービスで接続してFOMA端末で通話している場合は、Bluetooth機器側からのみ切り替えられます。
- Bluetooth機器側からの操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器に切り替えても、USBハンズフリー対応機器やイヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で通話できません。

お知らせ

- オールロック、おまかせロック中はBluetooth機器での着信への応答ができません。
- Bluetooth機器をヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中に着信があった場合は、FOMA端末でマナーモードや「着信音量」を「消去」に設定中でもBluetooth機器から着信音が鳴ります。

つづく↳

お知らせ

- Bluetooth機器で通話中はFOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中は「クローズ動作設定」の設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話状態は変わりません。
- Bluetooth機器で通話中にBluetooth通信が切断されたときは、「切断時通話設定」の設定に従って動作します。ただし、FOMA端末を閉じているときに切断され、「切断時通話設定」が「本体で通話継続」に設定されている場合は、「クローズ動作設定」の設定に従います。「クローズ動作設定」が「終話」に設定されている場合は、「ミュート」の動作になります。

ワンセグの音声を再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、ワンセグの音声をBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.398参照。

2 ワンセグを視聴する

Bluetooth機器から音声が出力されます。

- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ワンセグを視聴する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音声が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音声を出力するかどうかの確認画面が表示されます。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみワンセグの音声を再生できます。
- ワンセグの音声をBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。

お知らせ

- イヤホンマイク(別売)接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中にワンセグの音声が停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  ･Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  ･GPSの位置提供要求を受信したとき
  ･メールやメッセージR/Fを受信したとき
  ･電池切れアラームが鳴ったとき
  ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

iモーション、ムービー、ビデオの音声や音楽などを再生する

FOMA端末をBluetooth機器とオーディオサービスで接続すると、iモーション、ムービー、ビデオの音声やミュージックプレーヤーの音楽などをBluetooth機器から出力できます。

1 Bluetooth機器とオーディオサービスで接続する

- Bluetooth機器との接続方法についてはP.398参照。
- オーディオサービスを接続待機している状態でBluetooth機器からオーディオサービスの接続を行った場合、ミュージックプレーヤーが自動で起動されます。ただし、「ミュージックプレーヤー自動起動」を「立ち上げ／立ち下げ無し」に設定している場合は、自動で起動されません。また、待受画面以外を表示中や、他の機能が起動中は、自動で起動されないことがあります。

2 ｉモーション･ムービー･ビデオ･音楽を再生する

Bluetooth機器から音が出力されます。

- Bluetooth機器への出力を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。
- 一度、Bluetooth機器をオーディオサービスで接続すると接続履歴として記憶されます。接続履歴がある場合は、オーディオサービスで接続しなくても、ファイルを再生する際に自動でBluetooth機器と接続しようとします。接続が成功するとBluetooth機器から音が出力されます。接続に失敗した場合は、FOMA端末から音を出力するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、ｉモーションの場合は自動で接続できません。
  接続履歴はBluetooth機器をオーディオサービスで接続するたびに上書きされます。
- Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみビデオの音声を再生できます。
- ｉモーション、ムービー、ビデオの音声や音楽などをBluetooth機器から再生中は、FOMA端末の音量を調節してもBluetooth機器の音量は変わりません。
- ミュージックプレーヤーやMusic&Videoチャネルをバックグラウンド再生している場合でも、Bluetooth機器のリモコン操作は有効です。
- イヤホンマイク（別売）接続中は、Bluetooth機器で再生できません。
- Bluetooth機器から再生中にｉモーション、ムービー、ビデオの音声や音楽などが停止した場合は、以下のことが考えられますのでFOMA端末を確認してください。
  ･Bluetooth機器との接続が途切れたとき
  ･GPSの位置提供要求を受信したとき
  ･メールやメッセージR/Fを受信したとき
  ･電池切れアラームが鳴ったとき
  ･「アラーム」「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」「録画予約」のアラームが鳴ったとき
  このとき、Bluetooth機器によってはオーディオサービスが切断される場合があります。再度、Bluetooth機器から再生するには、オーディオサービスを接続し直す必要があります。

お知らせ

- Bluetooth機器と接続してミュージックプレーヤーを起動中に、FOMA端末を閉じた状態でBluetooth機器との接続が切れた場合は、ミュージックプレーヤーが終了します。ただし、「ミュージックプレーヤー自動起動」を「立ち上げ／立ち下げ無し」に設定している場合はミュージックプレーヤーは終了しません。

Bluetooth設定

1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶Bluetooth設定▶以下の操作を行う

- 通話中やデータ通信中は操作できません。

セキュリティ設定	Bluetooth機器で電話帳データを送信するときの認証の有無を設定します。認証する場合はデータを暗号化するかどうかを設定します。 ▶**セキュリティ設定有り･セキュリティ設定無し** ▶**暗号化有り･暗号化無し**
全件転送パスワード設定	電話帳を全件送信する際にパスワードを入力するかどうかを設定します。 ▶**パスワード有り･パスワード無し**
サーチ時間	FOMA端末周辺のBluetooth通信対応機器を検索する時間を設定します。 ▶**サーチ時間(秒)を入力** ●「05」～「20」の2桁を入力します。
着信音送出設定	接続しているヘッドセット機器やハンズフリー機器に、音声電話とテレビ電話の着信音を送信するかどうかを設定します。「優先機器設定」で優先機器を設定している場合は、その機器が接続待機中でも接続を行い着信音を送信します。 ▶**送る･送らない**
切断時通話設定	ヘッドセット機器やハンズフリー機器で通話中にBluetooth通信が切断されたとき、通話を終了するかFOMA端末で通話するかを設定します。 ▶**通話終了･本体で通話継続**

つづく↪

ヘッドセット操作による発信	ヘッドセット機器のスイッチで電話をかけることができるかどうか設定します。 ▶有効・無効
ミュージックプレーヤー自動起動	待受画面からBluetooth機器とオーディオサービスで接続、切断する際に、同時に自動でミュージックプレーヤーも起動(立ち上げ)、終了(立ち下げ)するかどうかを設定します。 ▶立ち上げ／立ち下げ有り・立ち上げ／立ち下げ無し
自局情報	FOMA端末に搭載しているBluetooth機能の機器名称、Bluetoothアドレス、機器種別、対応プロファイルを表示します。また、機器名称の変更もできます。 ●機器名称を変更する場合は、✉(編集)を押して機器名称を入力します。全角16文字/半角32文字まで入力できます。

お知らせ

<セキュリティ設定>

- 電話帳データを送信するBluetooth機器とオブジェクトプッシュ以外のサービスで接続中のときは、本機能の設定に関わらず認証有り・暗号化有りで送信します。
- 接続中や接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<着信音送出設定>

- ヘッドセットサービスやハンズフリーサービスで接続中または接続待機中のBluetooth機器がある場合は設定できません。

<自局情報>

- 機器名称に絵文字を設定した場合、相手のBluetooth機器によっては正しく表示されない場合があります。

<設定確認>

各種機能の設定内容を確認する

以下の機能の設定内容を確認します。

・照明設定　・ビューブラインド　・画質モード設定
・自動電源ON　・自動電源OFF　・受話音量
・受話音質設定　・ノイズキャンセラ　・3G/GSM切替

1 MENU▶**設定／サービス**▶**その他**▶**設定確認**

- お買い上げ時の設定から変更されている項目には「★」マークが付きます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合、「3G/GSM切替」の設定内容には「★---」が表示されます。

文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上の「区点コード一覧」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

<文字入力>

文字を入力する

FOMA端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

文字入力(編集)画面

文字入力(編集)画面には、文字入力方式や入力モード、残文字数などの情報が表示されます。

❶文字入力方式

2:モード2(2タッチ方式)

:モード3(ニコタッチ方式)

- モード1(かな方式)のときは表示されません。

❷入力モード

漢:漢字ひらがな入力モード

ｶﾅ:カタカナ入力モード

英:英字入力モード

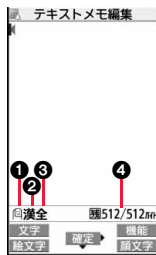
数:数字入力モード

❸全角/半角

全:全角入力モード

半:半角入力モード

❹入力可能な残りバイト数/最大入力バイト数

- 機能によっては「入力済み文字数」が表示される場合があります。
- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「ﾞ」半濁点「ﾟ」は、1文字分としてカウントされます。

文字入力方式を選択する

文字入力方式には、次の3種類の方式があります。

モード1(かな方式) P.404参照

1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すごとに文字が変わります。

モード2(2タッチ方式) P.412参照

2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

モード3(ニコタッチ方式) P.412参照

2つの数字の組み合わせで文字を入力します。

1 MENU▶設定/サービス▶その他▶文字入力方式▶入力モード▶使用したいモードにチェック▶✉(完了)

- 2つ以上のモードを選択してください。

2 優先的に使うモードを選択

- 手順1で選択したモードの中から、優先的に使うモードを選択します。

文字入力(編集)画面でモードを切り替えるには

✉(文字)を1秒以上押すか機能メニューから「文字入力設定」を選択し、「入力モード切替」を選択します。

<モード1(かな方式)>

モード1(かな方式)で文字を入力する

文字を入力する操作手順で✉(文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

少ない文字を入力するだけで予測される文字に変換できる予測変換機能や、文節間の関係から次の文節の変換候補を表示する関係候補を利用して文字を入力できます。

- 文字を学習することにより予測変換候補や関係候補が増えます。

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 MENU▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択

「予測機能」を「ON」に設定している場合は予測変換モードで、「OFF」に設定している場合は通常変換モードで文字入力(編集)画面が表示されます。

2 ひらがなを入力

た→4を1回、Oを1回
だ→4を1回、*を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

- 一度に24文字まで入力できます。「予測機能」を「ON」に設定している場合、6文字以上入力すると、自動的に通常変換モードに切り替わります。
- 同じボタンで入力する文字が続く場合は、Oを押してカーソルを進めてから次の文字を入力します。
「文字確定時間」を設定すると、カーソルを移動する操作が省略できます。
- 文字を入力したあとに*を押すと、大文字・小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。
- を押すと、押すごとに逆順に文字が表示されます。
- 「予測機能」を「ON」に設定している場合、を押すごとに通常変換モードと予測変換モードが切り替わります。
- (英数ｶﾅ)を押すと英数字、カタカナの候補リストが表示されます。入力した文字によっては、日付／時刻の変換候補も表示されます。
- ｉモードメールの本文を編集中に「絵D」が表示されている場合は、MENU(絵D)を押すとデコメ®絵文字の候補リストが表示されます。
- 変換せずにそのまま確定する場合は(確定)を押します。

3 Oで「の」までカーソルを移動

- 自動的に通常変換モードに切り替わります。

4 Oで候補リストにカーソルを移動▶Oで「タダの」を選んで(選択)

- MENU(前ページ)／(次ページ)を押すと、候補リストをページ単位でスクロールできます。
- 変換候補を選択中にCLRを押すと文字入力(編集)画面に戻ります。
- (全確定)を押すと全文節を確定できます。

5 Oで候補リストにカーソルを移動▶Oで「菓子」を選んで(選択)

選択した文字が確定します。

- 文字を確定後、関係候補となる文字列がある場合は、関係候補が表示されます。Oを押して候補リストにカーソルを移動すると関係候補を入力できます。
- 関係候補を選択中にCLRを押すと文字入力(編集)画面に戻ります。

お知らせ

- 学習機能により、最大1000単語分まで記憶され、変換率の高い文字は表示順位が上がります。
- 候補の文字列は、通常の変換を行った文字やダウンロードした辞書から表示されます。
・お買い上げ時は、少数の文字列しか登録されていないため候補を表示しない場合があります。通常の変換を行うことにより、それが候補に加えられます。
・辞書をサイトからダウンロードして候補に加えることもできます。ただし、ダウンロードした辞書を削除すると、候補からも削除されます。(P.192、P.411参照)
- デコメ®絵文字の候補リストには、お買い上げ時に登録されているデコメ®絵文字のみが表示され、ダウンロードしたデコメ®絵文字は表示されません。お買い上げ時に登録されているデコメ®絵文字を削除して、再びダウンロードした場合でも、候補リストには表示されません。
- 2タッチ方式、ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードでも予測変換機能、関係候補を利用できます。
- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。入力できるのは、JIS第一水準漢字、第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部を変形もしくは省略しています。

その他の入力機能

項目	操作・補足
カタカナ入力	✉（文字）を数回押してカタカナ入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力
英字入力	✉（文字）を数回押して英字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力 ●半角英字入力モードで📷（URL）を押すと、URLの入力時などによく使用する用語の一覧が表示されます。
数字入力	✉（文字）を数回押して数字入力モードにする▶ボタンを押して文字を入力 ●数字入力モードで0を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。
改行入力	*を押す ●文末にカーソルがあり、文字が確定されているときは、Oを押しても改行できます。

お知らせ

＜改行入力＞
- 改行は、全角1文字分としてカウントされます。
- ｉモードのテキストボックスの編集など、機能によっては改行できない場合があります。
- 数字入力モードで*を押すと、「＊」が入力されます。

文字を修正する

1 カーソルを修正したい文字の左側へ移動▶CLR

カーソルの右側の文字が削除されます。
CLRを1秒以上押すとカーソル以降の文字がすべて削除されます。
- カーソルの右側に文字がない場合は、カーソルの左側の文字が削除されます。CLRを1秒以上押すとすべての文字が削除されます。

2 正しい文字を入力

カーソルの位置に文字が挿入されます。

編集中のデータについて

電池切れアラームが鳴ったときは

編集中のデータが自動的に確定して保存されます。充電するか、充電済みの電池パックと交換したあとにもう一度編集できます。ただし、変換中の確定していない文字は保存されません。

⌒を押したときは

編集中のデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。

電話がかかってきたり、メールを受信したときは

マルチタスク機能が働くため編集中のデータはそのままで応対できます。
▱を1秒以上押してメニューを切り替え、データの編集画面に戻れます。また、通話やメール機能を終了しても、データの編集画面に戻ります。

予測機能

候補リストに予測変換候補、関係候補を表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶文字入力方式▶予測機能▶ON・OFF

シークレット学習設定

シークレットモード、シークレット専用モード中に行った文字変換を、学習履歴として記憶するかどうかを設定します。

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶文字入力方式▶シークレット学習設定▶端末暗証番号を入力▶学習する・学習しない

文字入力（編集）中の機能メニュー

デコレーション [メール本文入力画面のみ]	P.134参照
テンプレート	

項目	説明
テンプレート読込み [メール本文入力画面のみ]	P.132参照
テンプレート保存 [メール本文入力画面のみ]	P.132参照
全角切替・半角切替	全角、半角を切り替えます。
コピー	P.410参照
切り取り	P.410参照
貼り付け	P.410参照
元に戻す(UNDO)	確定、削除、貼り付けなどをした文字を元に戻します。 ●[📞]を1秒以上押しても戻せます。 ●メール本文入力画面以外では10回まで戻せます。ただし、文字の確定は1回のみ戻せます。 ●メール本文入力画面では2回まで戻せます。また、デコレーションも戻せます。

絵文字／記号入力

項目	説明
絵文字入力	絵文字を画面に表示しながら入力します。 ▶**絵文字を選択** 選んでいる絵文字が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。 ●絵文字を選んで[✉](「連続」)を押すと、連続して絵文字を入力できます。[CLR]を押すと文字入力(編集)画面に戻ります。 ●[MENU](「絵文字」)を押しても、絵文字の一覧が表示されます。 ●[📷TV]を押すと、絵文字1→絵文字2→デコメ®絵文字(お気に入り…文字)の順で絵文字の一覧が切り替わります。ただし、デコメ®絵文字(お気に入り…文字)はｉモードメールの本文を編集中にのみ入力できます。[MENU]を押すと、逆順で切り替わります。 ●[iα](「記号」)を押すと記号の一覧が表示されます。 ●[📞]を押すと、絵文字一覧全画面／通常の入力画面に切り替わります。
記号入力	記号を画面に表示しながら入力します。 ▶**記号を選択** 選んでいる記号が入力され、文字入力(編集)画面に戻ります。 ●記号を選んで[✉](「連続」)を押すと、連続して記号を入力できます。[CLR]を押すと文字入力(編集)画面に戻ります。 ●[#]を1秒以上押しても、記号の一覧が表示されます。 ●[📷TV]を押すと、半角記号→全角記号の順で記号の一覧が切り替わります。[MENU]を押すと、逆順で切り替わります。 ●[iα](「絵文字」)を押すと絵文字の一覧が表示されます。 ●[📞]を押すと、記号一覧全画面／通常の入力画面に切り替わります。
顔文字入力	▶**顔文字を選択** ●[📷TV](「顔文字」)を押すか、「かお」と入力して変換しても顔文字を選択できます。
スペース入力	全角入力モードのときは全角スペース、半角入力モードのときは半角スペースを入力します。 ●文末にカーソルがある場合、[O]を押してもスペースを入力できます。

定型文／引用

項目	説明
定型文入力	▶**フォルダを選択**▶**定型文を選択** ●数字入力モード以外のときは、[＊]を1秒以上押しても定型文のフォルダの一覧が表示されます。
区点入力	区点コード一覧表(付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」参照)にある文字・数字・記号を入力します。 漢字ひらがな入力モードのときに操作できます。 ▶**区点コード(4桁)を入力** 入力した区点コードに対応した文字が表示され、元の入力モードに戻ります。 ●入力した区点コードに対応する文字がないときは、スペースが入力されます。

日付／時刻入力		▶日付／時刻の形式を選択▶日付／時刻を入力 ●ダイヤルボタンで日付／時刻を入力します。 ●1800年から2099年まで入力できます。
電話帳引用		電話帳を呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 <FOMA端末内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ ｉコンシェルで取得した住所、URL、メモ <FOMAカード内> 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス ▶電話帳を検索▶電話帳を選択 ▶引用したい項目にチェック▶✉(完了)
個人データ引用		お客様の個人データを呼び出して引用します。引用できる項目は以下のとおりです。 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、誕生日、メモ ▶端末暗証番号を入力▶引用したい項目にチェック ▶✉(完了)
位置情報貼り付け		
	現在地貼付 [メール本文入力画面のみ]	現在地を測位して(P.306参照)位置情報を取得し、位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶●(確定)▶YES
	位置履歴より参照 [メール本文入力画面のみ]	位置履歴(P.310参照)から位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶位置履歴を選択▶●(選択)▶YES
	電話帳より参照 [メール本文入力画面のみ]	電話帳に登録している位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶電話帳を選択▶●(選択)▶YES
	自局番号より参照 [メール本文入力画面のみ]	「自局番号表示」に登録している位置情報をURL化してｉモードメール本文に貼り付けます。 ▶端末暗証番号を入力▶●(選択)▶YES
バーコードリーダー		バーコードリーダーを起動します。(P.226参照)

文字入力設定		
	ユーザ辞書	P.410参照
	学習履歴	P.411参照
	入力モード切替	文字入力方式を切り替えます。 ▶入力モードを選択 ●「文字入力方式」の「入力モード」(P.404参照)で選択していない入力モードは選択できません。
	予測機能	P.406参照
	関係候補表示	関係候補を表示するかどうかを設定します。 ▶ON･OFF
	文字確定時間	モード1(かな方式)で文字入力中に、入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。また、確定するまでの時間を選択できます。 同じボタンを押して入力する文字が続く場合でも、Oを押してカーソルを移動する操作を省略できます。 ▶速い･普通･遅い･OFF
	2タッチ／ニコタッチガイダンス	モード2(2タッチ方式)、モード3(ニコタッチ方式)で入力中に、1桁目のボタンを押したときに入力候補を画面の下に一覧表示するかどうかを設定します。 ▶ON･OFF
ヘルプ		文字入力の操作方法を確認できます。 ▶項目を選択
JUMP		カーソルを文頭または文末に移動します。 ▶文頭へJUMP･文末へJUMP ●文字入力(編集)画面が複数のページにわたるときは、カーソルはページの先頭または最後に移動します。
プレビュー [メール本文入力画面のみ]		送信する前に本文の内容を確認します。

お知らせ

<全角切替･半角切替>

●ニコタッチ方式の漢字ひらがな入力モードで半角切替した場合、半角カタカナ入力モードに切り替わります。

お知らせ

＜元に戻す(UNDO)＞
- 「元に戻す(UNDO)」で元に戻したあと、「元に戻す(UNDO)」の取り消しはできません。
- 文字入力(編集)画面を終了すると、「元に戻す(UNDO)」で元には戻せません。

＜絵文字入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては絵文字を入力できない場合があります。
- 一度絵文字入力を行ったあとは、はじめに入力した絵文字の履歴が表示されます。
- デコメ®絵文字は20件まで入力できますが、他に画像を挿入する場合は、挿入した画像の数だけ入力できる件数が少なくなります。

＜記号入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては、入力できない記号があります。
- 一度記号入力を行ったあとは、はじめに入力した記号の履歴が表示されます。

＜定型文入力＞
- 文字入力(編集)画面によっては定型文を入力できない場合があります。
- FOMA端末にあらかじめ登録された定型文は入力モードによって呼び出される内容が異なります。

＜電話帳引用＞
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。

＜個人データ引用＞
- 住所を引用する場合、郵便番号の「〒」や「-」は引用されません。
- 2in1のモードがAモードの場合はAナンバーの個人データ、Bモードの場合はBナンバーの個人データ、デュアルモードの場合はAナンバーとBナンバー両方の個人データが引用されます。

＜位置情報貼り付け＞
- 半角512文字まで貼り付けでき、貼り付けたURLはメール本文の文字数としてカウントされます。
- 貼り付けたURLの前には「 」が挿入されます。ただし、編集時に削除できます。

＜文字確定時間＞
- 文字確定時間の設定とボタン操作の速さによっては、うまく入力できない場合があります。

＜定型文＞ MENU 3 8

定型文を使用する

FOMA端末にあらかじめ登録された定型文や自作の定型文を文字入力(編集)画面から呼び出して入力できます。
定型文は5つのフォルダに分かれていて、各フォルダに10件ずつ登録されています。登録されている定型文を編集し、自作の定型文として保存できます。

定型文を表示する

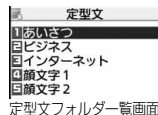
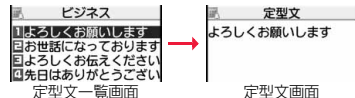
1 MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶定型文▶フォルダを選択

定型文フォルダ一覧画面

2 定型文を選択

定型文一覧画面

→ 定型文 よろしくお願いします

定型文画面

お知らせ
- メールの作成時に使用する自作の定型文には、「半角カタカナ」と「絵文字」は使わないでください。正しく表示されない場合があります。(ｉモードメールどうしでは絵文字を使用できます。)
- 「あいさつ」「ビジネス」フォルダにあらかじめ登録されている定型文は、漢字ひらがな入力モードでは漢字ひらがな表現、それ以外の入力モードでは半角カタカナ表現で呼び出されます。

定型文フォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ名編集	▶フォルダ名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●フォルダ名に入力した文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時のフォルダ名に戻ります。

つづく

フォルダ名初期化	フォルダ名をお買い上げ時のフォルダ名に戻します。 ▶YES

定型文一覧画面・定型文画面の機能メニュー

編集	▶定型文を入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●あらかじめ登録されている定型文の文字をすべて削除した場合は、お買い上げ時の定型文に戻ります。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
1件初期化	定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶YES
全件初期化	フォルダ内のすべての定型文をお買い上げ時の定型文に戻します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

文字の切り取り・コピーと貼り付け

切り取り・コピー

文字を最大全角5000文字/半角10000文字まで切り取り・コピーできます。

1 文字入力(編集)画面▶iα(機能)▶切り取り・コピー▶始点を選択

●iα(全選択)を押すとすべての文字を選択できます。

2 終点を選択

お知らせ

●デコメール®本文入力中に切り取り・コピーして貼り付けた場合、デコレーションの情報も貼り付けられます。
●デコメール®の本文などでは、データの容量によってメモリが不足するため、切り取り・コピーできない場合があります。

貼り付け

切り取り・コピーした文字を貼り付けます。

1 文字入力(編集)画面▶カーソルを貼り付け開始位置へ移動▶iα(機能)▶貼り付け

<ユーザ辞書>

ユーザ辞書に単語を登録する

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けてユーザ辞書に100件まで登録できます。

1 MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶ユーザ辞書▶<新規登録>▶単語を入力

●登録済みのユーザ辞書を選択すると、登録内容を確認できます。
●全角10文字/半角20文字まで入力できます。ただし、改行は入力できません。

2 読みを入力

●ひらがなで10文字まで入力できます。また、「長音(ー)」以外の記号は登録できません。
●スペースを入力しても、自動的につめて登録されます。

ユーザ辞書表示中の機能メニュー

新規登録	P.410「ユーザ辞書に単語を登録する」手順1へ進みます。
編集	P.410「ユーザ辞書に単語を登録する」手順1へ進みます。 ●✉(編集)を押しても編集できます。
1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいユーザ辞書にチェック▶✉(完了)▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<1件削除><全削除>
- 文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合、機能メニューから「削除」を選択し、「1件削除」または「全削除」を選択します。

<選択削除>
- 文字入力(編集)中の機能メニューからユーザ辞書を表示した場合は表示されません。

学習履歴を利用する

一度入力した文字列が自動的に記憶され、学習履歴として変換時の候補になります。

学習履歴を確認する

1 **文字入力(編集)中の機能メニュー▶文字入力設定▶学習履歴▶行を選択▶履歴を選択**

- 学習履歴を削除するには[iα]([機能])を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」を選択します。「全削除」を選択した場合は端末暗証番号の入力が必要です。

学習履歴作成 MENU 3 8

FOMA端末に保存されている送信メールの題名・本文から新たに学習履歴を作成します。作成前の学習履歴はすべて削除されます。

1 **MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶学習履歴作成▶OK▶端末暗証番号を入力▶YES▶OK**

学習履歴初期化 MENU 3 5

学習履歴をお買い上げ時の初期状態に戻します。

1 **MENU▶設定／サービス▶その他▶文字入力方式▶学習履歴初期化▶端末暗証番号を入力▶YES**

<ダウンロード辞書> MENU 3 8

ダウンロードした辞書を使用する

サイトからダウンロードした辞書(P.192参照)を有効にします。

1 **MENU▶ステーショナリー▶定型文／辞書▶ダウンロード辞書▶ダウンロード辞書を選択**

選択したダウンロード辞書が有効になり、「★」マークが付きます。
- ダウンロード辞書を無効にするには、同様の操作を行います。
- お買い上げ時に登録されている辞書は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.193参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.37参照)が設定されます。

ダウンロード辞書表示中の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを編集 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。
辞書ファイル設定	辞書を有効／無効にします。操作するごとに有効／無効が切り替わります。
辞書情報	辞書のタイトル、バージョンを表示します。
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

<タイトル編集>
- タイトルに入力した文字をすべて削除した場合は、元のタイトルに戻ります。

<モード2(2タッチ方式)>

モード2(2タッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと入力候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。入力候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ダイヤルボタンの文字割り当て(2タッチ方式)についてはP.471参照。
- 「2タッチ方式」への切り替えについてはP.404参照。

入力モードの切替(2タッチ方式)

文字入力(編集)画面で[✉](文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 **[MENU]▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択**

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→[4][1]
だ→[4][1]、[*]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- 文字を入力したあとに[*]を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。
- [8][0]と押すと、大文字／小文字入力モードが切り替わります。

ひらがなを入力後、P.405手順3へ進みます。

<モード3(ニコタッチ方式)>

モード3(ニコタッチ方式)で文字を入力する

2桁の数字をダイヤルボタンで押すと、それに対応した文字(記号)が入力されます。1つ目のボタンを押すと入力候補となる文字(記号)が画面の下に一覧表示されます。入力候補を表示するには、あらかじめ「2タッチ／ニコタッチガイダンス」を「ON」に設定します。

- ダイヤルボタンの文字割り当て(ニコタッチ方式)についてはP.472参照。
- 「ニコタッチ方式」への切り替えについてはP.404参照。

入力モードの切替(ニコタッチ方式)

文字入力(編集)画面で[✉](文字)を押して入力モードを切り替えます。入力する機能によっては表示されない入力モードがあります。

文字を入力する

<例>テキストメモに「タダの菓子」を入力する

1 **[MENU]▶ステーショナリー▶テキストメモ▶<未登録>を選択**

文字入力(編集)画面が表示されます。

2 **ひらがなを入力**

た→[4][1]
だ→[4][1]、[*]
の→[5][5]
か→[2][1]
し→[3][2]

- 文字を入力したあとに[*]を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。

ひらがなを入力後、P.405手順3へ進みます。

ネットワークサービス

■利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。
各サービスの概要や利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- 詳しくは「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
留守番電話サービス	要	有料	414
キャッチホン	要	有料	416
転送でんわサービス	要	無料	418
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	419
発信者番号通知サービス	不要	無料	46
番号通知お願いサービス	不要	無料	420
デュアルネットワークサービス	要	有料	420

サービス名称	お申し込み	月額使用料	参照先
英語ガイダンス	不要	無料	421
マルチナンバー	要	有料	422
2in1	要	有料	424
公共モード(ドライブモード)	不要	無料	67
公共モード(電源OFF)	不要	無料	67
OFFICEED	要	有料	429
メロディコール	要	有料	94

- 「OFFICEED」は申し込みが必要な有料サービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご覧ください。
- 「サービス停止」とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。(P.430参照)
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

<メッセージ問い合わせ>
新しい伝言メッセージがあるか確認する

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているかどうかを確認します。

1 MENU▶**設定/サービス▶NWサービス▶留守番電話▶メッセージ問い合わせ▶OK**

問い合わせ結果について

- 伝言メッセージがあるときは「留守番電話あり」のアイコン( )と留守番電話アイコン(など)を表示してお知らせします。
- 伝言メッセージがあることを示す留守番電話アイコン(など)は、留守番電話サービスセンターに電話をかけて伝言メッセージの保存または消去の操作をするか、「留守番アイコン消去」の操作を行うと消去されます。
- 留守番電話サービスセンターでお預かりしている伝言メッセージの件数によって、 、 、 … (6件以上)と表示が変わります。表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
- 「件数増加時鳴動設定」を設定すると、伝言メッセージが増加したときに着信音が鳴ります。
- 伝言メッセージの再生のしかたについてはP.415参照。

「 」が表示されているときは

伝言メッセージの問い合わせができません。「 」が消える場所で利用してください。

<留守番電話>
留守番電話サービスを利用する

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話/テレビ電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモ(P.68参照)を同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記録され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 留守番電話サービスは音声電話、テレビ電話に有効です。
- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、音声電話とテレビ電話それぞれ最大20件まで録音/録画でき、最長72時間保存されます。
- テレビ電話の伝言メッセージが留守番電話サービスセンターにあるときは、SMSにて通知されます。
- キャラ電で留守番電話に接続された場合、DTMF操作ができません。機能メニューからDTMF送信モードに切り替えてください。(P.73参照)
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音(「着信音選択」で設定した着信音)が鳴ります。(着信音が鳴る時間は変更可能です。P.415参照)その間に応答すれば、そのまま通話できます。応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続します。
- かかってきた電話をボタン操作だけで留守番電話サービスセンターに接続できます。また、通話中にかかってきた電話も接続できます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1:サービスを開始に設定する
ステップ2:電話をかけてきた方が伝言を録音/録画する※
ステップ3:伝言メッセージを再生する

※急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

留守番電話サービスを利用する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**留守番電話**▶**以下の操作を行う**

留守番メッセージ再生	留守番電話に録音された伝言メッセージを再生します。 ▶**再生(音声電話)・再生(テレビ電話)**▶YES ▶**音声ガイダンスに従って操作** ●音声電話またはテレビ電話のどちらかだけが録音されている場合は、音声電話／テレビ電話を選択する画面は表示されません。
留守番サービス開始	▶YES▶YES▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。
留守番サービス停止	▶YES
留守番呼出時間設定	留守番電話サービスセンターに接続するまでの呼出時間を設定します。 ▶**呼出時間(秒)を入力** ●「000」～「120」の3桁を入力します。
留守番設定確認	留守番電話サービスの設定内容を確認します。
留守番サービス設定	留守番電話サービスの設定内容を切り替えます。 ▶**設定(音声電話)・設定(テレビ電話)**▶YES ▶**音声ガイダンスに従って操作**
メッセージ問い合わせ	P.414参照
件数増加時鳴動設定	伝言メッセージが増えたときに着信音を鳴らすように設定します。「着信音選択」の「メール」で設定した着信音が約5秒間鳴ります。 ▶YES・NO
留守番アイコン消去	待受画面にある留守番電話アイコン(などど)を消去します。 ▶YES
着信通知開始	電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報(着信日時や発信者番号)をSMSにてお知らせします。 ▶**項目を選択**▶YES **全着信**. . . . . . . .すべての着信についてお知らせします。 **発番号あり** . . .相手の電話番号が通知された着信についてのみお知らせします。
着信通知停止	▶YES
着信通知開始設定確認	着信通知の設定内容を確認します。
留守番テレビ電話設定	かかってきた電話がテレビ電話でも留守番電話サービスを利用するかどうかを設定します。 ▶**ON・OFF** ●「ON」に設定しても、留守番電話サービスを「開始」に設定していないと利用できません。

お知らせ

<留守番メッセージ再生><留守番サービス設定>
- 通話中は操作できません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作(0～9、*、#)を行った場合、を押しても通話が終わらないことがあります。この場合はをもう一度押してください。

<留守番呼出時間設定>
- 0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

<留守番アイコン消去>
- 留守番電話アイコンを消去しても、留守番電話サービスセンターに保存されているメッセージは消去されません。

<着信通知開始>
- SMS一括拒否を設定している場合でも着信履歴は通知されます。

着信中の電話を留守番電話サービスセンターに接続する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で留守番電話サービスセンターに接続できます。留守番電話サービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って留守番電話を利用できます。

1 着信中▶i α(機能)▶留守番電話

- 着信中にi α(機能)を押し、#を押してもかかってきた電話が留守番電話サービスセンターに接続されます。

指定留守番電話

電話帳に登録されている電話番号からの電話を、留守番電話サービスの開始／停止の設定に関わらず、留守番電話サービスセンターへ自動的に接続できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 電話帳詳細画面▶i α(機能)▶電話帳指定設定▶端末暗証番号を入力▶指定留守番電話

「指定留守番電話」に「★」マークが付きます。

- 指定留守番電話を解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

- 本機能を設定した電話番号から電話がかかってきたときは、着信音を約1秒間鳴らしてから留守番電話サービスセンターに接続します。このとき電話がかかってきたことをデスクトップのアイコン(P.28、P.68参照)と「着信履歴」でお知らせします。
- 本機能を設定していても、留守番電話サービス停止中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての電話が留守番電話サービスセンターに接続されなくなります。
  ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「着信時電話帳利用」を「利用する」に設定している場合、パーソナルデータロック中も指定した電話番号からの電話は留守番電話サービスセンターに接続されます。

<キャッチホン>

キャッチホンを利用する

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ「通話中の着信動作選択」(P.421参照)を「通常着信」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声通話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

キャッチホンサービスを利用する

1 MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶キャッチホン▶以下の操作を行う

キャッチホンサービス開始	▶YES
キャッチホンサービス停止	▶YES
キャッチホンサービス設定確認	キャッチホンの設定内容を確認します。

通話中にかかってきた電話に出る

1 通話中着信▶発信キー

最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた電話を受けることができます。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- 発信キーを押すたびに通話する相手が切り替わります。

お知らせ

- キャッチホンを利用できない通信・着信の場合、着信画面で[発信キー]を押すと、通話を終了すれば新しい着信に応答できる旨の確認画面が表示されます。[終話キー]を押すと元の通話が終了し、着信画面が表示されます。「OK」を選択すると、通話中着信の画面に戻ります。
- テレビ電話中に着信があった場合は、以下のような動作になります。
  - ・着信時の画像に設定されたｉモーション、Flash画像は表示されません。
  - ・元の通話の相手には「内蔵」の代替画像が送信されます。
  - ・バイブレータは動作しません。
- 117にかけているときに音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は鳴りますが電話に出ることはできません。着信履歴には不在着信として残ります。

通話を終了してかかってきた電話に出る

1 通話中着信▶[終話キー]

着信音が鳴ります。かかってきた電話に応答できます。

元の通話を続ける

1 通話中着信▶[iαキー](機能)▶以下の操作を行う

着信拒否	着信を拒否し、元の通話に戻ります。
転送でんわ	かかってきた電話を転送先に転送し、元の通話に戻ります。
留守番電話	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続し、元の通話に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話接続中、応答保留中、伝言メモ動作中の着信は拒否されます。元の通話を終了後に「不在着信あり」のアイコンが表示され、着信履歴が残ります。（留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスの契約および設定により、「不在着信あり」のアイコンは表示されず、着信履歴にも残らない場合があります。）

通話を保留して電話をかける

1 通話中に別の相手の電話番号を入力▶[発信キー]

新しくかけた相手とお話しができます。
最初の方との通話は自動的に保留になります。

- 保留中の相手がいるときは「マルチ接続中」と表示されます。
- [発信キー]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して保留中の電話に出る

1 マルチ接続中▶[終話キー]

着信音が鳴ります。

2 [発信キー]または[●](通話)を押す

- 通話中の相手が通話を終了したときは、[発信キー]を押して保留中の相手と通話します。

保留中の電話を終了する

1 マルチ接続中▶[iαキー](機能)▶保留呼切断

お知らせ

- 保留中に着信があった場合は、保留が解除されます。
- マルチ接続中に別の電話がかかってきた場合、着信画面が表示されます。[iαキー](機能)を押して「保留呼切断」を選択すると保留中の電話が終了します。「通話呼切断」を選択するとお話し中の電話が終了します。

＜転送でんわ＞

転送でんわサービスを利用する

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話／テレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモ（P.68参照）を同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、「伝言メモ設定」の呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信」として記憶され、「不在着信あり」のデスクトップアイコンが待受画面に表示されます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに電話がかかってきた場合は、着信音（「着信音選択」で設定した着信音）が鳴ります。（着信音が鳴る時間は変更可能です。P.418参照）その間に応答すれば、そのまま通話できます。
- かかってきた電話をボタン操作だけで転送できます。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：　転送先の電話番号を登録する
ステップ2：　転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ3：　お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：　電話に出ないと指定した転送先へ自動的に転送される

転送でんわサービスを利用する

1 MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶転送でんわ▶以下の操作を行う

転送サービス開始	▶転送先設定▶転送先の電話番号を入力 ●[o]を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。（P.83参照） ▶呼出時間設定▶呼出時間（秒）を入力 ●「000」～「120」の3桁を入力します。 ▶開始▶YES
転送サービス停止	▶YES
転送先変更	▶転送先の電話番号を入力▶項目を選択 **転送先変更** . . . .現在転送でんわサービスを使っているときに選択します。 **転送先変更+転送開始** . . . .転送でんわサービス停止中で、転送先の変更と同時に転送でんわサービスを開始したいときに選択します。 ●[o]を押すと電話帳検索画面から電話番号を選択できます。（P.83参照）
転送先通話中時設定	転送先が通話中のときは留守番電話に録音するように設定します。 ▶YES
転送サービス設定確認	転送先の電話番号や呼出時間などを確認します。

お知らせ

- 電波の届かない場合や、電源が入っていないときは、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスの契約者の負担となります。
- 転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定した場合は、着信履歴には残りません。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 1 4 2 9 ▶ 📞 ▶ **音声ガイダンスに従って操作**

着信中の電話を転送する

かかってきた電話を簡単なボタン操作で「転送先」に設定した電話番号に転送できます。転送でんわサービスを「開始」に設定していないときでも、この機能を使って転送できます。

1 **着信中▶** i α（ 機能 ）**▶転送でんわ**

指定転送でんわ

指定した電話帳に登録されている電話番号からの電話を、転送でんわサービスの開始／停止の設定に関わらず、着信音を約1秒間鳴らしてから自動的に転送できます。
電話番号は20件まで指定できます。
相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
「番号通知お願いサービス」も合わせて設定することをおすすめします。

1 **電話帳詳細画面▶** i α（ 機能 ）**▶電話帳指定設定**
▶端末暗証番号を入力▶指定転送でんわ

「指定転送でんわ」に「★」マークが付きます。
●指定転送でんわを解除するには、同様の操作を行います。

お知らせ

●本機能を設定していても、転送でんわサービス停止中に「パーソナルデータロック」を設定すると、すべての着信が転送されなくなります。
ただし、パーソナルデータロックの「カスタマイズ」で「着信時電話帳利用」を「利用する」に設定している場合、パーソナルデータロック中も指定した電話番号からの電話は転送されます。
●転送先が未設定の場合、転送でんわサービス未契約の場合は、不在着信となります。

＜迷惑電話ストップ＞

迷惑電話ストップサービスを利用する

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。
●着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、着信履歴にも記録されません。

■迷惑電話ストップサービスに設定中の着信と各サービスとの関係

サービス名	迷惑電話拒否登録した方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません）
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。（転送先には転送されません）
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード（ドライブモード）	着信拒否ガイダンスが流れます。（公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れません）

1 MENU **▶設定／サービス▶NWサービス**
▶迷惑電話ストップ▶以下の操作を行う

迷惑電話着信拒否登録	最後に着信通話した相手の電話番号を着信できないように拒否登録します。 ▶YES▶OK
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信できないように拒否登録します。 **▶電話番号を入力**▶YES ●Oを押すと電話帳検索画面、Oを押すと発信履歴一覧画面、Oを押すと着信履歴一覧画面から電話番号を選択できます。

ネットワークサービス

つづく

迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶YES▶OK
迷惑電話全登録削除	▶YES▶OK
拒否登録件数確認	拒否登録している件数を確認します。

<番号通知お願いサービス>

番号通知お願いサービスを利用する

電話番号を通知してこない音声電話／テレビ電話に対して、番号通知のお願いガイダンスで応答し、自動的に電話を切断するサービスです。

- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、「着信履歴」に記憶されず、「不在着信あり」のデスクトップアイコンも表示されません。

■番号通知お願いサービスが「開始」中の着信と各サービスとの関係

サービス名	発信者番号を通知しない方からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。(メッセージはお預かりしません)
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。(転送先には転送されません)
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの着信の場合、着信拒否ガイダンスが流れます。
公共モード(ドライブモード)	番号通知お願いガイダンスが流れます。(公共モード(ドライブモード)のガイダンスは流れません)

1 MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶番号通知お願いサービス▶以下の操作を行う

番号通知お願い開始	▶YES▶OK
番号通知お願い停止	▶YES▶OK
番号通知お願い確認	番号通知お願いサービスの設定内容を確認します。

お知らせ

- FOMA端末の「非通知着信設定」を「拒否」に設定しているときに本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。
- 本機能の設定･確認は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<デュアルネットワーク>

デュアルネットワークサービスを利用する

お使いになっているFOMA端末の電話番号でmova端末を利用いただけます。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用していない端末から行ってください。

1 MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶デュアルネットワーク▶以下の操作を行う

デュアルネットワーク切替	FOMA端末を利用できるように切り替えます。FOMA端末がFOMAエリア内にあるときに操作してください。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.112参照。
デュアルネットワーク状態確認	デュアルネットワークサービスの設定内容を確認します。

ネットワークサービス

<英語ガイダンス>

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

「留守番電話サービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

■**発信時**(お客様ご自身へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
英語	英語でガイダンスします。

■**着信時**(お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンス)

ガイダンス言語	説明
日本語	日本語でガイダンスします。
日本語+英語	日本語でガイダンスしたあとに英語でガイダンスします。
英語+日本語	英語でガイダンスしたあとに日本語でガイダンスします。

1 **MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶英語ガイダンス▶以下の操作を行う**

ガイダンス設定	▶項目を選択 発信時+着信時 . . . 発信時と着信時のガイダンスを一度に設定します。 発信時 . . . . 発信時のガイダンスを設定します。 着信時 . . . . 着信時のガイダンスを設定します。 ▶ガイダンスに設定する言語を選択▶YES ●「発信時+着信時」を選択した場合は、発信時のガイダンスを設定したあとに、着信時のガイダンスを設定します。
ガイダンス設定確認	英語ガイダンスの設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<サービスダイヤル>

サービスダイヤルを利用する

ドコモ総合案内･受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

●お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。

1 **MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶サービスダイヤル▶以下の操作を行う**

ドコモ故障問合せ	故障お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶◎(発信)
ドコモ総合案内･受付	総合お問い合わせ先へ電話をかけます。 ▶◎(発信)

<通話中の着信動作選択>

通話中に電話がかかってきたときの応対方法を選択する

「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」を契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話/テレビ電話、および64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

●「留守番電話サービス」、「転送でんわサービス」、「キャッチホン」が未契約の場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。

●通話中の着信動作選択を利用するには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。なお、キャッチホンを「開始」に設定している場合は、通話中着信設定を「開始」にする必要はございません。

1 **MENU▶設定/サービス▶NWサービス▶通話中の着信動作選択▶以下の操作を行う**

留守番電話	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。

つづく

転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話を転送先へ転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信の着信を拒否します。
通常着信	音声通話中に音声電話がかかってきた場合、「キャッチホン」が「開始」に設定されているときは「キャッチホン」の利用が可能です。音声通話中(「キャッチホン」が「停止」に設定されているとき)、テレビ電話中や64Kデータ通信中の場合、以下のいずれかの動作が可能です。 ●通話中の音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信に出ることができます。 ●通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話および64Kデータ通信を、機能メニューから手動で操作できます。 ●「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」が「開始」に設定されている場合は、その設定に従います。

通話中着信設定

通話中の着信動作選択で選択した機能の使用を開始／停止したり、設定内容を確認できます。

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶通話中着信設定▶以下の操作を行う**

通話中着信設定開始	▶YES
通話中着信設定停止	▶YES
通話中着信設定確認	着信動作の設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<遠隔操作設定>

遠隔操作を設定する

「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」などを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

●海外で「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を設定しておく必要があります。

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶遠隔操作設定▶以下の操作を行う**

遠隔操作開始	▶YES
遠隔操作停止	▶YES
遠隔操作設定確認	遠隔操作の設定内容を確認します。

お知らせ

●本機能の設定･確認はお客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末から行います。一般電話、公衆電話、他の携帯電話からの遠隔操作はできません。

<マルチナンバー>

付加番号を設定する

FOMA端末の電話番号として基本契約番号のほかに、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加して利用いただけます。

●FOMAカードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定(名称、電話番号など)が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
●発信中／着信中の画面には、マルチナンバー(基本契約番号／付加番号1／付加番号2)に対応した名称が表示されます。
●リダイヤル、発信履歴、着信履歴から発信する場合、以前の発信や着信したマルチナンバーが表示され、この番号で発信されます。

電話番号登録

付加番号の登録と登録名の編集を行います。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**マルチナンバー**▶**電話番号登録**▶**付加番号を選択**

- iα(機能)を押して「編集」を選択、または✉(編集)を押しても登録／編集できます。
- 登録済みの付加番号を選択すると、登録名と電話番号を確認できます。
- 登録済みの付加番号を削除するにはiα(機能)を押して「付加番号1件削除」または「付加番号全件削除」を選択し、「YES」を選択します。

2 **登録名を入力**▶**電話番号を入力**

- 登録名は全角8文字/半角16文字まで入力できます。

通常発信番号設定

通常発信番号設定を切り替えることにより、すべての発信先に設定した番号で電話をかけることができます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定**▶**電話番号を選択**

基本契約番号. . . . . 契約の電話番号で発信します。
付加番号1・2. . . . . 付加番号で発信します。

- 登録名を変更している場合は、それぞれの登録名が表示されます。ただし、パーソナルデータロック中は登録名は表示されません。

2 **YES**

電話をかけるときに発信番号を設定する

電話をかける前に、機能メニューから相手に通知する番号を選択して発信します。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴の詳細画面を表示

2 iα(機能)▶**マルチナンバー**▶**電話番号を選択**

- 付加した電話番号を消去する場合は、「発番号設定消去」を選択します。

お知らせ

- 「基本契約番号」「付加番号1･2」を選択した場合は、電話番号のあとに「⁎590＃」「⁎591＃」「⁎592＃」が付加されます。

通常発信番号設定確認

通常発信番号を確認します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**マルチナンバー**▶**通常発信番号設定確認**

着信音設定

付加番号に着信した場合の着信音を設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**マルチナンバー**▶**着信音設定**▶**付加番号を選択**

P.92手順2へ進みます。
「通常着信音と同じ」に設定すると、「着信音選択」の「電話」または「テレビ電話」で設定した着信音になります。

<2in1>

2in1を利用する

1つの携帯電話で、2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるように利用いただけるサービスです。
2in1には次の3種類のモードがあります。

Aモード
お客様電話番号(Aナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Aアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード
2in1電話番号(Bナンバー)での発信とｉモードメールアドレス(Bアドレス)での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード
Aモード·Bモード両方の機能を備えたモードです。

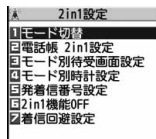
- 2in1の詳細は「ご利用ガイドブック(2in1編)」をご覧ください。
- ｉモード契約中は、Bモードでもパケット通信が可能です。
- 2in1とマルチナンバーはどちらか一方のみの契約となります。
- 2in1利用中にFOMAカードを差し替えると、2in1設定がOFFになります。2in1を利用する場合は、再度2in1設定をONにしてください。
- 各モードごとの動作についてはP.427をご覧ください。

2in1をONにする

1 **MENU ▶設定／サービス▶NWサービス▶2in1設定▶端末暗証番号を入力▶YES**

2in1がONに設定されると、2in1設定メニュー画面が表示されます。

- 待受画面で▲を1秒以上押してから端末暗証番号を入力しても表示されます。

2in1設定
1モード切替
2電話帳 2in1設定
3モード別待受画面設定
4モード別時計設定
5発着信番号設定
62in1機能OFF
7着信回避設定

2in1設定メニュー画面

2in1の設定をする

1 **2in1設定メニュー画面▶以下の操作を行う**

モード切替	利用するモードに切り替えます。 **▶モードを選択** ●2in1がONのときは、待受画面で▲を1秒以上押して端末暗証番号を入力しても、モードを選択する画面が表示されます。 ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、着信回避設定も変更する旨の確認画面が表示されます。
電話帳2in1設定	FOMA端末(本体)に登録した電話帳の電話帳2in1設定を変更します。 **▶項目を選択** **Aに設定**. . . . . A用の電話帳として設定します。Aモードとデュアルモードのときに利用できます。 **Bに設定**. . . . . B用の電話帳として設定します。Bモードとデュアルモードのときに利用できます。 **共通に設定**. . . A･B両方の電話帳として設定します。すべてのモードで利用できます。 **▶設定方法を選択** **1件設定**. . . . . . . 呼び出した電話帳1件のみを設定します。 **複数件設定**. . . . . 呼び出した電話帳の一覧から複数件選択し、✉(完了)を押します。 **グループ設定**. . . 呼び出した電話帳のグループ1件を設定します。

モード別待受画面設定		デュアルモード中またはBモード中に表示される待受画面を設定します。 ▶**モードを選択**▶**待受画面を設定** ●待受画面の設定方法についてはP.99参照。ただし、「ｉアプリ待受画面」は表示されません。 ●「設定解除」を選択すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
モード別時計設定		デュアルモード中またはBモード中の待受画面に表示される時計について設定します。 ▶**モードを選択**▶**時計を設定** ●時計の設定方法についてはP.110参照。
発着信番号設定		
	発着信番号表示設定	画面に表示される電話番号や電話帳に登録した名前の文字フォントと色をAナンバー、Bナンバーそれぞれに設定します。 ▶**Aナンバー･Bナンバー**▶**フォントと色を設定** ●フォントと色の設定方法についてはP.109参照。
	Bナンバー着信設定	Bナンバーへの着信音およびBアドレスへのメール着信音を設定します。 ▶**項目を選択** **電話** . . . . 音声電話の着信音を設定します。 **テレビ電話** . . テレビ電話の着信音を設定します。 **メール**. . . . . . ｉモードメール、SMSの着信音を設定します。 ▶**着信音の種類を選択** P.92手順3へ進みます。 ●「設定解除」を選択すると、お買い上げ時の状態に戻ります。
2in1機能OFF		2in1をOFFにします。 ▶YES
着信回避設定		
	着信回避設定変更	Aナンバー、Bナンバーそれぞれの着信回避設定を手動で設定します。 ▶**Aナンバー･Bナンバー**▶**項目を選択** **変更しない**. . . 着信回避設定を変更しません。 **着信する**. . . . . 選択した電話番号への着信を受けます。 **着信しない**. . . 選択した電話番号への着信を回避します。 ▶[メール]（完了）▶YES ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。
	着信回避設定確認	着信回避設定を確認します。
	モード切替連動設定	モード切替連動設定の開始／停止を切り替えます。「開始」に設定すると、2in1のモード切替に連動して着信回避設定が自動的に変更され、AモードのときはAナンバーへの着信のみ、BモードのときはBナンバーへの着信のみ、デュアルモードのときはAナンバー･Bナンバー両方への着信を受けることができます。 ▶YES
	着信回避設定(海外)	海外から着信回避設定を操作します。 ▶YES▶**音声ガイダンスに従って操作** ●「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、「停止」に切り替える必要がある旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

<モード別待受画面設定>

●Aモード中の待受画面を設定するにはP.99「待受画面を設定する」参照。

<モード別時計設定>

●Aモード中の時計を設定するにはP.110「時計の表示を設定する」参照。

<Bナンバー着信設定>

●Aナンバーへの着信音およびAアドレスへのメール着信音を設定するにはP.92「着信音選択」参照。

●相手が発信者番号を通知せずにBナンバーに電話がかかってきたときは、「非通知着信設定」で設定している着信音が鳴ります。

つづく

お知らせ

<モード切替連動設定>

- 「モード切替連動設定」を「開始」に設定している場合、圏外では2in1のモードを切り替えることができません。

デュアルモード中に電話をかける

デュアルモード中は、A設定／共通設定の電話帳またはAナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はAナンバー発信、B設定の電話帳またはBナンバーの発着信履歴から電話をかける場合はBナンバー発信が初期状態になります。また、以下の操作で電話をかける前に相手に通知する番号を選択できます。

電話番号を入力してかける場合

1 **電話番号を入力▶[発信キー]または[■](発信)**

2 **Aナンバー・Bナンバー**

- 中止をする場合には、「中止」を選択します。

電話帳や履歴画面から発信番号を選択する場合

1 **電話帳・リダイヤル・発信履歴・着信履歴・送信アドレス一覧・受信アドレス一覧の詳細画面を表示**

2 **[iα](機能)▶2in1発信▶Aナンバー・Bナンバー**

- 送信アドレス一覧、受信アドレス一覧から操作する場合、[iα](機能)を押して「電話発信」を選択して発信方法を選択し、「2in1設定」を選択します。
- 中止する場合は、「2in1発信解除」を選択します。

デュアルモード中にｉモードメールを送信する

デュアルモード中にｉモードメールを作成する場合、送信者アドレスを「Aアドレス」「Bアドレス」から選択できます。

- 以下の場合は、電話帳の2in1設定、発着信した電話番号、送受信したメールアドレスに従って、初期状態の送信者アドレスが自動的に設定されます。
  - ･電話帳に登録されているメールアドレスを宛先に設定した場合（共通設定の電話帳の場合はAアドレスが初期状態になります。複数の宛先がある場合は最後の宛先メールアドレスの2in1設定に従います。）
  - ･リダイヤル、発信履歴、着信履歴、送信アドレス一覧、受信アドレス一覧からのｉモードメール作成
  - ･ｉモードメールの返信、引用返信、転送、再編集

1 **メール作成画面・デコメアニメ®作成画面▶[iα](機能)▶送信者アドレス切替A/B▶Aアドレス・Bアドレス**

ｉモードメール作成の場合はP.130手順2に進みます。
デコメアニメ®作成の場合はP.136手順2に進みます。

ネットワークサービス

■モードごとに利用できるサービスについて

●モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています。（Aモードと共通の動きをするものは除いています）

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>Aモード</th><th>Bモード</th><th>デュアルモード</th></tr>
<tr><td rowspan="2">音声電話
テレビ電話</td><td>発信</td><td>Aナンバー</td><td>Bナンバー</td><td>発信時に選択可※1</td></tr>
<tr><td>着信</td><td colspan="3">すべて可※2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">電話帳※3</td><td>表示</td><td>A設定／共通設定の電話帳</td><td>B設定／共通設定の電話帳</td><td>すべての電話帳</td></tr>
<tr><td>名前変換※4</td><td>A設定／共通設定の電話帳</td><td>B設定／共通設定の電話帳</td><td>すべての電話帳</td></tr>
<tr><td>新規登録時の2in1設定</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td>赤外線／iC／microSDカードからの全件受信</td><td colspan="3">送信元の2in1設定をコピー※5</td></tr>
<tr><td>赤外線／iC／microSDカードからの1件受信</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td>「FOMAカードへコピー」</td><td colspan="3">「FOMAカードへコピー」時には、2in1設定は共通設定</td></tr>
<tr><td>FOMAカードから「本体へコピー」</td><td>A設定の電話帳</td><td>B設定の電話帳</td><td>A設定の電話帳</td></tr>
<tr><td colspan="4" style="display:none"></td></tr>
<tr><td>リダイヤル
発信履歴
着信履歴
受信アドレス履歴
着もじの送信メッセージ詳細履歴</td><td>表示</td><td>Aナンバー／Aアドレスの履歴</td><td>Bナンバー／Bアドレスの履歴</td><td>すべての履歴</td></tr>
<tr><td rowspan="5">ｉモードメール</td><td>表示※6</td><td>Aアドレスで送受信したｉモードメール</td><td>Bアドレスで送受信したｉモードメール</td><td>すべてのｉモードメール</td></tr>
<tr><td>送信</td><td>Aアドレスからのｉモードメール</td><td>Bアドレスからのｉモードメール</td><td>送信時に選択可※7</td></tr>
<tr><td>受信</td><td>Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり）
Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし）</td><td>Aアドレス宛のｉモードメール（鳴動なし）
Bアドレス宛のｉモードメール（鳴動あり）</td><td>すべてのｉモードメール（鳴動あり）</td></tr>
<tr><td>赤外線／iC／microSDカードからの全件受信</td><td colspan="3">送信元の状態をコピー※5</td></tr>
<tr><td>赤外線／iC／microSDカードからの1件受信</td><td colspan="3">Aアドレスのｉモードメール</td></tr>
</table>

つづく

項目		Aモード	Bモード	デュアルモード
SMS	表示※6	Aナンバーで送受信したSMS	Bナンバーで受信したSMS	すべてのSMS
	送信	AナンバーからのSMS	利用不可	AナンバーからのSMS
	受信	Aナンバー宛のSMS(鳴動あり) Bナンバー宛のSMS(鳴動なし)	Aナンバー宛のSMS(鳴動なし) Bナンバー宛のSMS(鳴動あり)	すべてのSMS(鳴動あり)
	赤外線/iC/microSDカードからの全件受信	送信元の状態をコピー※5		
	赤外線/iC/microSDカードからの1件受信	AナンバーのSMS		
	「FOMAカードへコピー」	AナンバーのSMS		
	「FOMAカードからコピー」	AナンバーのSMS	表示不可	AナンバーのSMS
iアプリ		すべて利用可	利用可※8	利用可※9
自局番号表示		Aナンバー	Bナンバー	Aナンバー/Bナンバー
留守番電話	伝言メッセージの録音	すべて可※10		
	サービスへの接続番号※11	Aナンバー	Bナンバー※12	発信時に選択可
転送でんわ	転送先への転送	すべて可		
	サービスへの接続番号※11	Aナンバー	Bナンバー※13	発信時に選択可

※1　A設定/共通設定の電話帳の場合はAナンバー発信、B設定の電話帳の場合はBナンバー発信が初期状態になります。
※2　「指定着信許可」を設定している場合、現在のモードに関わらず、指定先からのみ着信します。
「指定着信拒否」を設定している場合、現在のモードに関わらず、指定先からの着信のみを拒否します。
※3　電話帳にシークレット登録をしている場合、シークレットモードが優先されます。
※4　発信元番号、発信先番号、送信元番号、送信先番号、送信元アドレス、送信先アドレスが電話帳に登録されている場合に、電話帳との照合により、各番号·各アドレスが登録されている電話帳の名前に変換して表示する機能です。
※5　送信元が2in1非対応機種の場合、すべてA設定になります。
※6　microSDカード内のメール·SMSは、Bモード中はBモード属性情報が無いものは表示されません。
※7　A設定/共通設定の電話帳からiモードメールを作成した場合はAアドレスからの送信、B設定からの電話帳からiモードメールを作成した場合はBアドレスからの送信が初期状態になります。
※8　メッセージアプリ、iアプリ待受画面は除きます。
※9　iアプリ待受画面は除きます。
※10　AナンバーとBナンバーへの伝言メッセージをそれぞれ40件(音声電話20件+テレビ電話20件)まで録音できます。
Aナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示され、Bナンバーへの伝言メッセージがある場合に「」などが表示されます。
※11　AナンバーとBナンバーそれぞれにおいてサービスの開始/停止などが設定できます。
※12「留守番設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。
※13「転送サービス設定確認」を実行すると、AナンバーとBナンバーどちらの番号で発信するかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- Aモード中にB設定の電話帳(Bモード中の場合はA設定の電話帳)に設定されている画像やメロディデータを削除またはmicroSDカードに移動する場合や、設定中の2in1のモード以外で待受画面に設定されている画像を削除またはmicroSDカードに移動する場合、機能設定中である旨のメッセージは表示されません。
- Bモード中は以下のメール機能を利用できません。
  ･SMS作成　･SMSの転送　･SMSの返信
  ･チャットメール　･ｉモードメール本文からのｉアプリ To機能
- デュアルモード中はBナンバー発信のリダイヤル／発信履歴、Bナンバー着信の着信履歴からはSMS作成を利用できません。
- デュアルモード中はBナンバー宛のSMSから「返信」はできません。
- 現在のモードに関わらず、緊急通報110番／119番／118番への発信時は、Aナンバーを通知します。
- 外部機器から発信･ATコマンド発信を行った場合、Aモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーでの発信になります。
- 現在のモードに関わらず、受信BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール･SMSを合わせて2500件、送信BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール･SMSを合わせて1000件、保存BOXに保存できるのはすべてのｉモードメール･SMSを合わせて20件までです。
- Bナンバー宛のSMSは返信不可となりますが、「返信不可振分け」に設定したフォルダには保存されません。
- 「既読メール全削除」「受信メール全削除」「既読削除」「SMS送達通知全削除」「フォルダ内全削除」「全削除」は、すべてのｉモードメール･SMSが対象となります。
- 現在のモードに関わらず、電話帳の「全削除」はすべての電話帳が対象となります。

<OFFICEED>

OFFICEEDを利用する

「OFFICEED」は指定されたIMCS(屋内基地局設備)で提供されるグループ内定額サービスです。
ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ(http://www.docomo.biz/d/212/)をご確認ください。

OFFICEED圏外転送機能を利用する

OFFICEED圏外転送機能を利用して、OFFICEED着信をOFFICEEDエリア外へ転送することができます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**NWサービス**▶**OFFICEED**▶**以下の操作を行う**

エリア表示設定	OFFICEEDエリア内にいるとき、「OFFICEED」を表示するかどうかを設定します。 ▶ON･OFF ●「ON」を選択した場合、エリア表示設定を「ON」にするかどうかの確認画面が表示されます。
圏外転送開始	OFFICEED圏外転送機能を開始します。 ▶YES
圏外転送停止	OFFICEED圏外転送機能を停止します。 ▶YES
圏外転送設定確認	OFFICEED圏外転送機能の設定を確認します。

<追加サービス>

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

サービスを登録する

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶追加サービス▶追加サービス▶<未登録>を選んでiα(機能)▶設定追加**

- iα(機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みのサービスの設定を変更できます。
- 登録済みのサービスを削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。
- 10件まで登録できます。

2 **サービス名を入力▶特番・USSD**

追加するサービス内容によって「特番」または「USSD」を選択します。
- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。

3 **特番またはサービスコード(USSD)を入力▶YES**

お知らせ

- サービスを利用する場合には、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」の確認・入力が必要です。
  特番
  . . . サービスセンターに接続するための番号です。
  サービスコード(USSD)
  . . . FOMA端末ではUSSDとして入力します。サービスセンターに通知するためのコードです。

登録したサービスを利用する

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶追加サービス▶追加サービス▶サービスを選択▶●(送信)**

サービスセンターに発信します。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したとき、サービスセンターから返ってくるコード(USSD)に対応した応答メッセージを10件まで登録できます。登録したコマンドが応答として返ってきたときに応答メッセージ名が表示されます。

1 **MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶追加サービス▶応答メッセージ設定▶<未登録>を選んでiα(機能)▶設定追加**

- 登録済みの応答メッセージを選択すると、設定を確認できます。
- iα(機能)を押して「設定変更」を選択すると、登録済みの応答メッセージの設定を変更できます。
- 登録済みの応答メッセージを削除するにはiα(機能)を押して「1件削除」または「全削除」を選択し、「YES」→「OK」と選択します。

2 **コマンドを入力**

- ドコモから通知されたコード(USSD)を入力します。

3 **応答メッセージ名を入力▶YES**

- 全角10文字/半角20文字まで入力できます。

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。

- 海外の主なネットワークには、以下の3種類の通信方式があります。

  3Gネットワーク

  世界標準規格である3GPP(3rd Generation Partnership Project)※に準拠した第3世代移動通信方式です。

  ※第3世代移動通信システム(IMT-2000)に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

  GSM(Global System for Mobile Communications)ネットワーク

  世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信方式です。

  GPRS(General Packet Radio Service)ネットワーク

  GSM通信方式を利用してGPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信方式です。
- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えが自動で行われるよう設定されています。(P.437参照)
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - ・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
  - ・「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」
  - ・ドコモの「国際サービスホームページ」
  - ・データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされているPDFファイル「海外ご利用ガイド」

お知らせ

- 本書の巻末には、クイックマニュアル「海外利用編」を記載していますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。
- 国／地域番号、国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号については、P.434、P.435をご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
SMS	○	○	○
iモード※2	○	×	○
iモードメール	○	×	○
iチャネル※2※3	○	×	○
iコンシェル※4	○	×	○
iウィジェット※5	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○:利用できます。　×:利用できません。

※1 2in1のモードがBモードまたはデュアルモードの場合は、Bナンバーから発信することはできません。

※2 iモードの海外利用設定が必要となります。(P.433参照)

※3 iチャネル設定が必要となります。iチャネルの受信ごとに(ベーシックチャネル含む)パケット通信料がかかります。

※4 iコンシェルの海外利用設定が必要となります。(P.212参照)インフォメーションを受信するたびにパケット通信料がかかります。

※5 iウィジェットローミング設定が必要となります。(P.292参照)iウィジェット画面を表示すると複数のウィジェットアプリが通信する場合があり、この場合1通信ごとにパケット通信料がかかります。

お知らせ

- 海外では、GPS機能･64Kデータ通信は利用できません。
- マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信はできません。
- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国･地域および通信事業者などの情報については、「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 海外でのパケット通信料は日本国内でのパケット通信料と異なります。

ご利用時の確認

ご出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- ご自分のFOMAカードがWORLD WINGに対応しているかどうかご確認ください。（緑色／白色のカードが対応しております。）（P.38参照）
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。

■充電について
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意についてはP.17参照。
- ACアダプタ（別売）での充電方法についてはP.40、P.41参照。

■ｉモードについて

日本国内で海外利用設定を設定する場合は、「iα▶お客様サポート▶各種設定（確認･変更･利用）▶その他サービス設定･確認▶海外利用設定▶ｉモード利用設定▶「利用する」を選択▶ｉモードパスワードを入力▶決定」の操作を行ってください。

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定／解除などは、海外からも操作できます。
- あらかじめ「遠隔操作設定」を設定する必要があります。（P.422参照）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。

■SMSについて

国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外通信事業者をご利用の相手との間でSMSの送受信ができます。
- 海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信するときの宛先は、相手の電話番号の前に「＋」と相手の国／地域番号を入力します。
  相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。ただし、イタリアなど一部の国･地域に送信するときは「0」が必要な場合があります。
- 海外通信事業者を利用している相手にSMSを送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。

滞在先での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。
- 画面の上部には利用中のネットワークの種類が表示されます。
  - 3G（パケット）：パケット通信に対応している3Gネットワーク
  - 3G：パケット通信に対応していない3Gネットワーク
  - GSM：GSMネットワーク
  - GPRS：GPRSネットワーク
- 「オペレータ名表示設定」を「表示あり」に設定しているときは、接続している通信事業者名が待受画面に表示されます。
- 海外で海外利用設定を設定する場合は、「iα▶ｉMenu 検索▶海外利用設定▶ｉモード利用設定▶「利用する」を選択▶ｉモードパスワードを入力▶決定」の操作を行ってください。
- 「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定している場合は、利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して接続し直されます。
- 「時計設定」を「自動時刻時差補正する」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻･時差に関する情報を受信すると、FOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。（P.44参照）

■お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失･盗難された後に発生した通話･通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先の「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号」が必要になります。

つづく

■主要国の国／地域番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国／地域番号は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	353	デンマーク	45
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
アラブ首長国連邦	971	トルコ	90
イギリス	44	ニュージーランド	64
イタリア	39	ノルウェー	47
インド	91	ハンガリー	36
インドネシア	62	フィリピン	63
オーストラリア	61	フィンランド	358
オランダ	31	ブラジル	55
カナダ	1	フランス	33
韓国	82	ベトナム	84
ギリシャ	30	ベルギー	32
シンガポール	65	ポーランド	48
スイス	41	ポルトガル	351
スウェーデン	46	香港	852
スペイン	34	マカオ	853
タイ	66	マレーシア	60
台湾	886	モナコ	377
チェコ	420	ルクセンブルク	352
中国	86	ロシア	7

●このほかの国の番号および詳細については「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

■主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	ブラジル	0021/0014
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	ブラジル	0021
カナダ	011	フランス	00
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

●一部ご利用になれない場合があります。
●ユニバーサルナンバーは、表に記載のある国のみご利用可能です。
●ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
●携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されます。

●FOMAネットワークに接続できない場合は、「3G/GSM切替」を「自動」に、「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。

滞在先で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

電話帳を利用して日本に国際電話をかける

滞在先から日本の一般電話、携帯電話に電話をかける場合、電話帳から簡単な操作で国際電話をかけることができます。

●電話番号が「0」で始まる場合のみ有効です。また、あらかじめP.58「国際ダイヤルアシスト設定」の「自動変換機能設定」を「ON」および「日本（81）」に設定しておく必要があります。（お買い上げ時の設定）

1 電話帳詳細画面▶[発信キー]または[●]（発信）▶発信

電話番号の先頭の「0」が「＋81」に置き換わって発信されます。

●[✉]（テレビ電話）を押すと国際テレビ電話発信になります。
●「元の番号で発信」を選択した場合は、電話帳に登録されている電話番号のままの発信になります。

お知らせ

●リダイヤルや発信履歴などからも、また直接ダイヤル入力しても同様の操作で国際電話をかけることができます。

海外利用

「＋」を利用して国際電話をかける

発信時に[0]を1秒以上押すと「＋」が入力できます。「＋」を利用すれば、滞在先から日本などに国際電話をかけることができます。

1 **[0]（1秒以上）▶国／地域番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶[発信キー]または[●]（ 発信 ）**

- 日本に国際電話をかける場合は、国／地域番号に「81」を入力してください。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国･地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- [メールキー]（テレビ電話）を押すと国際テレビ電話発信になります。

国際電話発信

あらかじめ、国／地域番号設定（P.59参照）で国／地域番号を登録していると、滞在先から日本などに国際電話をかけることができます。

- 通信事業者によっては発信者番号が通知されなかったり、正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

1 **電話番号を入力**
または
電話帳･リダイヤル･発信履歴･着信履歴の詳細画面を表示

2 **[iα]（ 機能 ）▶国際ダイヤルアシスト▶国／地域名称を選択▶[発信キー]または[●]（ 発信 ）**

- [メールキー]（テレビ電話）を押すと国際テレビ電話発信になります。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して音声電話やテレビ電話をかけます。

1 **相手先電話番号を入力▶[発信キー]または[●]（ 発信 ）**

- [メールキー]（テレビ電話）を押すとテレビ電話発信になります。
- 電話帳を利用して滞在国内に電話をかける場合は、P.435の手順で「元の番号で発信」を選択してください。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

日本国内での操作と同じ操作で海外でも音声電話やテレビ電話を受けることができます。（P.62参照）

■日本から電話をかけてもらうときは

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090（または080）－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から電話をかけてもらうときは

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」（日本の国／地域番号）を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号－81－90（または80）－XXXX－XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。

お知らせ

- 海外での利用時には、「非通知着信設定」、「登録外着信拒否」、「電話帳指定設定（指定発信制限は除く）」が動作しない可能性があります。また、「通話中の着信動作選択」の設定に関わらず、「通常着信」として動作する可能性があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、日本からの国際転送になります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には着信料がかかります。

＜3G/GSM切替＞

利用するネットワークを設定する

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ローミング設定**▶**3G/GSM切替**▶**ネットワークの種類を選択**

自動 . . . . 3G、GSM、GPRSネットワークを利用します。（3Gネットワークが優先されます。）

3G . . . . 3Gネットワークを利用します。

GSM/GPRS . . . . GSM、GPRSネットワークを利用します。「自動」や「3G」から「GSM/GPRS」に設定を変更すると、日本国内では圏外になる旨の確認画面が表示されます。

お知らせ

- 「自動」や「3G」に設定している場合、日本国内ではFOMAネットワークを利用します。「GSM/GPRS」に設定している場合、FOMAネットワークには接続されず圏外になります。

＜ネットワークサーチ設定＞

通信事業者の検索方法を設定する

利用中のネットワークが圏外になった場合に、自動的にネットワークを検索して他の通信事業者に接続し直すかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ローミング設定**▶**ネットワークサーチ設定**▶**項目を選択**

オート . . . . 自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル . . . . 一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。利用できない通信事業者には「×」が表示されます。

ネットワーク再検索 . . . 「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

2 **通信事業者を選択**

- 「3G/GSM切替」の設定により、表示される通信事業者は異なります。
- ✉（更新）を押すと再度通信事業者の一覧が表示されます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外になった場合は「◎」が表示されます。
- 「マニュアル」に設定しているときに圏外でFOMA端末の電源を入れ直した場合は、圏内で再度通信事業者を選択してください。
- 渡航先でネットワークを「マニュアル」に設定して接続した場合は、帰国後に設定を「オート」に設定してください。

＜優先ネットワーク設定＞

優先的に接続する通信事業者を設定する

「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定しているときに接続する通信事業者の優先順位を設定します。通信事業者は20件まで登録できます。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ローミング設定**▶**優先ネットワーク設定**

- 登録済みの通信事業者を選択すると、登録内容を確認できます。

2 i α（機能）▶**リストから登録**

- 国／地域名で通信事業者を検索する場合は、✉（検索）を押して国／地域名を選択します。国／地域選択リストで再度✉（検索）を押し、国／地域名を入力して検索することもできます。

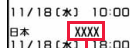
3 **通信事業者を選択**▶●（確定）▶**ネットワークの種類を選択**▶✉（完了）▶**YES**

優先ネットワーク設定表示中の機能メニュー

在圏ネットワーク登録	現在接続している通信事業者を登録します。 ▶✉（完了）▶YES
リストから登録	P.438「優先的に接続する通信事業者を設定する」参照
マニュアル登録	国／地域番号とオペレータ番号を入力して通信事業者を登録します。リストにない通信事業者も登録できます。 ▶**国／地域番号（3桁）とオペレータ番号（2～3桁）を入力**▶**ネットワークの種類を選択**▶✉（完了）▶YES
優先順位変更	▶**変更後の優先順位を選択**▶✉（完了）▶YES
1件削除	▶YES▶✉（完了）▶YES
全削除	▶YES▶✉（完了）▶YES

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、「DOCOMO」のネットワークが利用可能な場合は、優先的に接続されます。
- 本機能の設定はFOMAカードに記憶されます。
- FOMAカードが挿入されていないときは設定できません。

＜オペレータ名表示設定＞

通信事業者名を待受画面に表示する

現在接続している通信事業者名を待受画面に表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**国際ローミング設定**▶**オペレータ名表示設定**▶**表示あり・表示なし**

「表示あり」に設定したときは

待受画面に通信事業者名が表示されます。ただし、「DOCOMO」のネットワークを利用している場合は表示されません。

11/18(水) 10:00
日本 XXXX
11/18(水) 18:00
通信事業者名

＜在圏状態表示＞

通信方式を確認する

現在接続している通信事業者が回線交換（CS）※1、パケット交換（PS）※2に対応しているかどうかを表示します。

※1 音声電話、テレビ電話などで使用する通信方式
※2 iモード、iモードメールなどで使用する通信方式

1 MENU▶**設定／サービス**▶**ネットワーク設定**▶**在圏状態表示**

<ローミングガイダンス設定>
ローミング中のガイダンスを設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- ローミングガイダンスを設定した場合でも、海外通信事業者により、外国語のガイダンスが流れる場合があります。
- ガイダンス設定を行わない場合でも、海外通信事業者で設定している呼び出し音が流れます。
- 日本国内で設定してください。

1 MENU▶設定／サービス▶NWサービス▶ローミングガイダンス設定▶以下の操作を行う

開始	▶YES
停止	▶YES
確認	「ローミングガイダンス設定」の設定内容を確認します。

<ローミング着信通知>
ローミング中に着信履歴を通知する

国際ローミング中に、電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、かかってきた電話に応答できなかったときに、その着信の情報(着信日時や発信者番号)をSMSにてお知らせします。

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶ローミング着信通知▶以下の操作を行う

開始	▶YES
停止	▶YES
確認	「ローミング着信通知」の設定内容を確認します。
着信通知設定(海外)	国際ローミング中に「ローミング着信通知」を設定します。 ▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

<ローミング時着信規制>
ローミング中に着信を受け付けないように設定する

- 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶ローミング時着信規制▶以下の操作を行う

開始	▶項目を選択 **全着信規制** . . . . 音声電話やテレビ電話を含め、すべての着信を受け付けません。 **デジタル通信着信規制** . . . . テレビ電話の着信のみを受け付けません。 ▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.112参照。
停止	▶YES▶ネットワーク暗証番号を入力 ●ネットワーク暗証番号についてはP.112参照。
確認	「ローミング時着信規制」の設定内容を確認します。

ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスの一部を利用します。
また、ローミングガイダンスの設定も行うことができます。
- 2in1の「着信回避設定」についてはP.425参照。
- 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

滞在先で留守番電話サービスの操作をする

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶留守番電話(海外)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で転送でんわサービスの操作をする

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶転送でんわ(海外)▶項目を選択▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先でローミングガイダンスの操作をする

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶ローミングガイダンス(海外)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で遠隔操作の設定をする

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶遠隔操作設定(海外)▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

滞在先で番号通知お願いサービスの操作をする

1 MENU▶設定／サービス▶ネットワーク設定▶国際ローミング設定▶番号通知お願いサービス▶YES▶音声ガイダンスに従って操作

お知らせ
- 海外から操作した場合は、利用した国の国際通話料がかかります。
- あらかじめ「遠隔操作設定」を設定する必要があります。(P.422参照)

パソコン接続

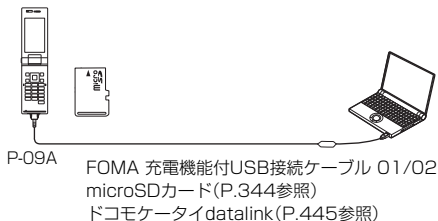
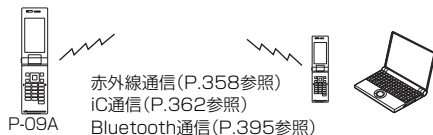
データ通信の詳細については、付属のCD-ROM内またはドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」(PDF形式)をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。
ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送（OBEX™通信）とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- データ通信中に他の機能を起動したり操作したりできないことがあります。詳しくはP.478「マルチアクセスの組み合わせ」をご覧ください。
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。（PPP接続ではパケット通信できません。）

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。（受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsのベストエフォート方式）※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02（別売）やBluetooth通信で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion III」「musea」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）やBluetooth通信で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion III」「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。

接続先(インターネットサービスプロバイダなど)の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が利用できるパソコンであること
- Bluetooth通信で接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

■パソコン本体
PC-AT互換機
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使用する場合:
　USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0※準拠)
　※本FOMA端末は、「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。
Bluetooth通信を使用する場合:
　Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)
ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。

■OS※
Windows 2000、Windows XP、Windows Vista (各日本語版)
※「ドコモ コネクションマネージャ」は、Windows 2000 Service Pack4以上、Windows XP Service Pack2以上
(動作環境詳細はドコモのホームページをご確認ください。)

■必要メモリ
Windows 2000:64Mバイト以上
Windows XP:128Mバイト以上
Windows Vista:512Mバイト以上

■ハードディスク容量※
5Mバイト以上の空き容量
※「ドコモ コネクションマネージャ」は15Mバイト以上の空き容量
- OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
- 必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)※
- 付属CD-ROM「P-09A用CD-ROM」

※USB接続の場合

お知らせ

- USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を使う

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。
パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信方式に利用できます。

- 「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。(P.353参照)
- ご使用前に「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストールが必要です。

Bluetooth通信を使う

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。
パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。

- Bluetooth機能を利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機能の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
- 通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。(P.358参照)
データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ転送(OBEX™通信)の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする

- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。
以下のような流れになります。
詳しくはPDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

USB接続の場合

パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で接続する

↓

「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)をダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

↓

インストール後の確認をする

Bluetooth接続の場合

パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する

↓

モデムの確認をする

↓

「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする

または

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする

↓

接続する

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。
- ATコマンドの詳細については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMを利用する

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、「パソコン接続マニュアル」「区点コード一覧」取扱説明書(PDF)が収録されております。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

警告画面が表示されたときは

CD-ROMをパソコンにセットすると、警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。

ドコモケータイdatalinkのご紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の「電話帳」や「メール」などをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しており、詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへの接続も可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル(別売)が必要となります。

付録／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

機能一覧表

の項目はP.125「設定リセット」、※の項目はP.248「TV設定リセット」を行うと、お買い上げ時の設定に戻ります。P.126「端末初期化」を行うと、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。

- 端末初期化を行っても、削除したプリインストールｉアプリは元に戻りません。

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	受信BOX		プリインストールデータのみ(FOMAカード内は除く) ユーザ作成フォルダ:なし　ｉアプリメール用フォルダ:なし	147
	送信BOX		メールなし(FOMAカード内は除く) ユーザ作成フォルダ:なし　ｉアプリメール用フォルダ:なし	148
	保存BOX		メールなし(FOMAカード内は除く)	148
	新規メール作成		サイズの大きなファイル添付時の確認表示:確認画面を表示する	141
	新規デコメアニメ作成		－	136
	テンプレート	デコメール	プリインストールデータのみ	138
		デコメアニメ	プリインストールデータのみ	139
	ｉモード問い合わせ		－	144
	SMS作成		－	174
	SMS問い合わせ		－	175
	チャットメール		機能 チャットメンバー:未登録(「自分」は除く)	169
	メール選択受信		－	143
	メール設定	スクロール設定	1行スクロール	162
		文字サイズ設定	標準表示	109
		メール一覧表示設定	一覧表示部:日時＋差出人／宛先　題名　本文表示／電話帳登録名で表示:チェックあり	162
		本文表示設定	通常表示	162
		メールセキュリティ設定	すべてチェックなし	121
		シークレットメール表示設定	表示する	120
		カラーラベル自動設定	未登録	163
		返信時自動学習設定	学習する	163
		冒頭文／署名設定	冒頭文:未入力　自動貼付:チェックあり	164
			署名:未入力　自動貼付:チェックあり	164
			引用符:〉	164
		ｉモード問い合わせ設定	すべてチェックあり	163
		メッセージ自動表示設定	メッセージR優先	165
		受信表示設定	通知優先	163
		メール選択受信設定	OFF	143
		添付ファイル優先受信	すべてチェックあり	163

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
メール	メール設定	添付ファイル自動再生設定	自動再生する	163
		Feel＊Mail設定	すべてON	164
		チャット設定	お知らせ音設定:チャットお知らせ音1	172
			チャットメール画像設定:有効	172
			ユーザ詳細設定 ユーザ名:自分　画像:りんごさん	172
		メール設定確認	−	163
	SMS設定	SMS送達通知設定	要求しない	176
		SMS有効期間設定	−	176
		SMS本文入力設定	日本語入力(70文字)	176
		SMS center設定	−	176
	緊急速報「エリアメール」設定	受信設定	利用する	168
		ブザー鳴動時間	10秒	168
		マナー／公共モード時設定	鳴動する	168
		着信音確認	−	168
		その他	受信登録:緊急地震速報、災害・避難情報	169
iモード	iMenu検索		ボタン操作切り替え時の確認表示:確認画面を表示する	182
			SSL/TLS通信時の確認表示:確認画面を表示する	179
	Bookmark		未登録 ユーザ作成フォルダ:なし	188
	画面メモ	iモードブラウザ	未登録 ユーザ作成フォルダ:なし	189
		フルブラウザ	未登録 ユーザ作成フォルダ:なし	189
	ラストURL		なし	187
	URL入力		URL入力履歴なし	187
	iチャネル	チャネル一覧	−	209
		テロップ表示設定	ON	210
		テロップ文字サイズ設定	標準表示	210
		テロップ色設定	パターン1	210
		テロップ速度設定	標準	210
		iチャネル初期化	−	210

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ｉモード	ｉモード設定	ｉモードブラウザ設定	文字サイズ設定：標準表示	109
			画像表示設定※：表示する	197
			サウンド設定：レベル4	197
			動画自動再生設定：有効	208
			ページ内動画取得設定：毎回確認	197
			Script動作設定：有効	197
			ポインタ／スクロール設定 ポインタ表示：表示しない　速度設定：低速	197
			端末情報利用設定：有効	197
			Cookie設定：有効（Cookieなし）	200
			Referer設定：有効	200
			ウィンドウ自動起動設定：自動起動する	197
		フルブラウザ設定	表示モード設定：PCレイアウトモード	181
			全画面表示設定：全画面表示しない	198
			拡大縮小設定：100％	198
			画像表示設定：表示する	197
			サウンド設定：レベル4	197
			動画自動再生設定：有効	208
			ページ内動画取得設定：毎回確認	197
			Script動作設定：有効	197
			ポインタ／スクロール設定 ポインタ表示：表示する　速度設定：中速 スクロール中のフォーカス表示：表示しない	197
			端末情報利用設定：有効	197
			Cookie設定：有効（Cookieなし）	200
			Referer設定：有効	200
			ウィンドウ自動起動設定：自動起動する	197
			フルブラウザホーム設定：ホームURL　http://www.google.co.jp	198
			フルブラウザ確認表示：毎回表示	198
			フルブラウザ利用設定：利用しない	198
		共通設定	証明書設定：すべて有効	201
			セキュア通信サービス設定 センター接続先設定：ドコモ	203
			接続先設定（MENU81）：ｉモード	199
			ｉモードボタン設定：ｉMenu･検索接続	199

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
iモード	iモード設定	iモード設定確認	−	199
	フルブラウザホーム		−	180
iアプリ	ソフト一覧(本体)		プリインストールiアプリのみ	271
			画面表示:アイコン表示	271
			機能 自動起動時刻設定:すべてチェックなし	286
			機能 省電力設定:有効にする	274
	iアプリ(microSD)	ソフト一覧	−	271
		iアプリデータ	−	290
	iアプリコール履歴		履歴なし	288
	iアプリ実行情報	待受画面終了情報	情報なし	290
		ウィジェットアプリ終了情報	情報なし	292
		セキュリティエラー履歴	履歴なし	273
		自動起動情報	情報なし	287
		トレース情報	情報なし	273
	iアプリ設定	自動起動設定	許可しない	286
		ソフト情報表示設定	表示しない	271
		iウィジェットローミング設定	通信しない	292
		iウィジェット効果音設定	ON	292
		iアプリコール機能設定	iアプリコールダウンロード設定:拒否しない	288
			iアプリコール音設定 着信鳴動音選択:着信音3　鳴動時間設定:5秒 バイブレータ選択:OFF　イルミネーション選択:色2	288
		iアプリ音優先設定	ミュージック/ワンセグ優先	286
		α照明設定	システム依存	286
		α省電力設定	設定しない	286
		αバイブレータ	システム依存	286
		iアプリ設定確認	−	286
	iアプリについて		−	272
設定/サービス	サウンド	着信音選択(MENU13)	電話・テレビ電話:着信音1　メール・チャットメール:着信音2 メッセージR・メッセージF・iコンシェル:着信音3	92
		着信音量(MENU50)	すべてレベル4	65
		ボタン確認音(MENU30)	ON	95
		メロディ効果(MENU64)	ステレオ・3Dサウンド設定:ON	93
			再生位置選択:フルコーラス再生	93
		イヤホン切替設定(MENU51)	イヤホンとスピーカー	96

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	サウンド	**メール／メッセージ鳴動** (MENU68)	すべてON 鳴動時間：すべて5秒	95
		充電確認音	ON	95
	ディスプレイ	**画面表示設定**(MENU56)	待受画面 本体色「BLACK」：ブラック 本体色「GOLD」：ゴールド 本体色「VIOLET」：バイオレット	99
			時計 待受時計 表示位置 本体色「BLACK」「VIOLET」：パターン12 本体色「GOLD」：アイコン時計 パターン 本体色「BLACK」「VIOLET」：パターン5 本体色「GOLD」：パターン1 表示サイズ 本体色「BLACK」「VIOLET」：大きく表示 本体色「GOLD」：小さく表示 曜日表示 本体色「BLACK」「VIOLET」：英語 本体色「GOLD」：日本語 アイコン時計：パターン5	110
			電話発信・電話着信・テレビ電話発信・テレビ電話着信・メール送信・メール受信・問い合わせ・メール／メッセージ着信結果：パターン2	100
			アイコンカラー設定：カラー	101
			電池アイコン 本体色「BLACK」「VIOLET」：パターン3 本体色「GOLD」：パターン2	101
			アンテナアイコン 本体色「BLACK」「VIOLET」：パターン1 本体色「GOLD」：パターン2	101
			ウェイクアップ表示：Wake up	100
		照明設定(MENU70)	通常時：ON 省電力モード：ON（省電力モード移行） 待ち時間：60秒	102
			充電時：標準	103
			範囲：液晶＋ボタン	103
			明るさ：自動設定	103
			ふんわり点灯：ON	103
		ビューブラインド	OFF コントラスト：レベル1（ON設定時）	104

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	ディスプレイ	カラーテーマ設定(MENU86)	ブラック	104
		マチキャラ	マチキャラ設定:ひつじのしつじくん	106
		メニューアイコン設定(MENU57)	本体色「BLACK」:ブラック 本体色「GOLD」:ゴールド 本体色「VIOLET」:バイオレット	104
		プライベートメニュー設定(MENU52)	スケジュール、microSD、テキストメモ、バーコードリーダー、アラーム、赤外線受信、地図･GPS、ボイスレコーダー、USBモード設定、ドキュメントビューア、電卓、マイドキュメント	385
			機能 背景イメージ変更:スタンダード	386
		デスクトップ(MENU63)	使いかたナビ、Bluetooth、i コンシェル	28
		プライベートウィンドウ(MENU93)	ON 時計 本体色「BLACK」「GOLD」:パターン2 本体色「VIOLET」:パターン1 表示方向:パターン2 明るさ:レベル3 着信表示:ON 着もじ表示:OFF メール表示:OFF i チャネルテロップ表示:OFF 通信中表示:ON	102
		フォント設定(MENU66)	フォント1	108
		文字サイズ設定	すべて標準表示	109
		バイリンガル(MENU15)	Japanese	110
		オープン新着表示	OFF	102
		画質モード設定	ダイナミック	104
		液晶AI	ON	103
		表示アイコン説明(MENU36)	－	31

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	イルミネーション	イルミネーション一括設定	－	106
		着信イルミネーション (MENU89)	着信イルミネーション選択 本体色「BLACK」 電話・テレビ電話：B-Signal メール・チャットメール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：B-Rhythm 本体色「GOLD」 電話・テレビ電話：F-Signal メール・チャットメール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：F-Rhythm 本体色「VIOLET」 電話・テレビ電話：C-Signal メール・チャットメール・メッセージR・メッセージF・ｉコンシェル：C-Rhythm	107
			パターン設定：固定パターン	107
			カラー設定：すべて初期状態	107
		通話中イルミネーション	OFF	106
		不在未読イルミネーション	24時間後に消灯	106
		Music&Video Ch イルミネーション	OFF	106
		クローズイルミネーション	ON	107
		時報イルミネーション	OFF	107
		ミュージック イルミネーション	ON	107
		Bluetoothイルミネーション	ON	107
		ICカードイルミネーション	ON	107
		サイドボタン イルミネーション	本体色「BLACK」：B-HOTARU　本体色「GOLD」：F-HOTARU 本体色「VIOLET」：C-HOTARU	107
		設定確認	－	107
	きせかえ		「データBOX」の「きせかえツール」と同じ	461
	ｉコンシェル	インフォメーション表示設定	する	212

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	ロック／セキュリティ	セルフモード	解除	116
		オールロック	解除	114
		パーソナルデータロック	設定／解除：解除	117
			カスタマイズ アラーム鳴動 アラーム・スケジュールアラーム・ToDoアラーム・視聴予約：通知しない 録画予約：録画しない 着信動作 メール受信・インフォメーション受信：通知しない 着信時電話帳利用：利用しない 画面／音 画面表示設定：プリインストールを表示 着信音選択：プリインストールで鳴動 ｉチャネルテロップ表示：表示しない	117
		ICカードロック	解除	296
		シークレットモード（MENU40）	解除	120
		シークレット専用モード（MENU41）	解除	120
		ダイヤル発信制限	解除	118
		登録外着信拒否	許可	123
		非通知着信設定（MENU10）	すべて許可 着信音選択：すべて通常着信音と同じ	122
		端末暗証番号変更（MENU29）	0000	113
		FOMAカード（UIM）設定	－	113
		スキャン機能	スキャン機能設定：すべて有効	502
		ロック設定	閉じタイマーロック設定：すべてOFF	118
			開きロック解除設定：すべてOFF	118
			電源OFF時ICロック設定：電源OFF直前の設定	296
	時間／料金	通話時間／料金（MENU61）	前回通話時間・積算通話時間：0秒　前回通話料金：￥＊＊ 時間リセット日時・料金リセット日時：--/-- --:--	389
		積算リセット（MENU60）	－	389
		通話料金通知	OFF 上限料金：0円（ON設定時）　通知方法：アイコン（ON設定時） 自動リセット設定：OFF（ON設定時）	390
		上限値アイコン消去	－	390

付録／困ったときには

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	時計	時計設定（MENU31）	自動時刻時差補正する	44
		ワールドウォッチ	OFF	45
		サマータイム	OFF	45
		自動電源ON／OFF設定	すべてOFF	376
		アラーム通知設定	通知優先	385
	着信	バイブレータ（MENU54）	すべてOFF	94
		マナーモード選択（MENU20）	マナーモード	97
			オリジナルマナー設定時 伝言メモ：OFF　バイブレータ：ON　電話着信音量：消去 メール着信音量：消去　アラーム音量：消去　メモ確認音：ON ボタン確認音：OFF　通話中マイク感度：アップ　低電圧アラーム：OFF	
		着信アンサー設定（MENU58）	エニーキーアンサー	64
		オープン設定	すべて着信継続	64
		履歴表示設定	すべてON	119
		電話帳画像着信設定	ON	101
		発着信番号表示設定	ダイヤルフォント：パターン1	109
			文字色：白色	109
		呼出時間表示設定（MENU90）	呼出動作開始時間：OFF 開始時間：1秒（ON設定時）	123
			時間内不在着信表示：表示する	123
		確認機能設定（MENU65）	電子音	108
		パケット通信中着信設定	テレビ電話優先	76
		自動発着信設定	イヤホンスイッチ発信設定：OFF	394
			オート着信設定：オート着信なし 呼出時間：6秒（オート着信あり設定時）	394
		メロディコール設定	－	94
	通話	受話音量	レベル4	65
		クローズ動作設定（MENU18）	終話	65
		保留音設定	応答保留音：応答保留音1　通話中保留音：パガニーニの主題による	66
		受話音質設定	しっかり+ナチュラルトーク	60
		ノイズキャンセラ（MENU76）	ON	60
		通話品質アラーム（MENU75）	アラームなし	95
		再接続機能（MENU77）	アラームなし	60

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	テレビ電話	受信画質設定	標準	74
		画像選択	応答保留選択:内蔵　通話保留選択:内蔵　代替画像選択:キャラ電(カンガルー) 伝言メモ選択:内蔵　伝言メモ準備選択:内蔵　動画メモ選択:内蔵	74
		テレビ電話ハンズフリー設定	ON	74
		音声自動再発信	OFF	75
		テレビ電話切替機能通知	−	75
		テレビ電話着信拒否	OFF	124
	ネットワーク設定	プレフィックス設定	WORLD CALL(009130010)	59
		国際ローミング設定	ネットワークサーチ設定:オート	437
			オペレータ名表示設定:表示あり	438
			3G/GSM切替:自動	437
		国際ダイヤルアシスト設定	自動変換機能設定:ON	58
			国／地域番号設定:日本(81)	59
			国際プレフィックス設定:WORLD CALL(009130010)	59
		在圏状態表示	−	438
	NWサービス	発信者番号通知(MENU17)	−	45
		留守番電話	件数増加時鳴動設定:YES	415
		キャッチホン	−	416
		転送でんわ	−	418
		迷惑電話ストップ	−	419
		番号通知お願いサービス	−	420
		2in1設定	OFF	424
			モード切替:デュアルモード	424
			モード別待受画面設定 デュアルモード待受画面:チェア&テーブル Bモード待受画面 本体色「BLACK」:エレベーター 本体色「GOLD」:シカゴ 本体色「VIOLET」:灯台	425

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	NWサービス	2in1設定	モード別時計設定 　デュアルモード時計･Bモード時計 　　待受時計 　　　表示位置:パターン12 　　　パターン:パターン5 　　　表示サイズ:大きく表示 　　　曜日表示:英語 　　アイコン時計:パターン4	425
			発着信番号設定 　発着信番号表示設定 　　Aナンバー 　　　ダイヤルフォント:パターン1 　　　文字色:白色 　　Bナンバー 　　　ダイヤルフォント:パターン2 　　　文字色:黄緑色 　Bナンバー着信設定 　　電話･テレビ電話:着信音4　　メール:着信音5	425
			着信回避設定 　モード切替連動設定:停止	425
		マルチナンバー	電話番号登録:未登録	423
			着信音設定:すべて通常着信音と同じ	423
		通話中の着信動作選択	通常着信	421
		通話中着信設定	－	422
		遠隔操作設定	－	422
		デュアルネットワーク	－	420
		英語ガイダンス	－	421
		ローミングガイダンス設定	－	439
		追加サービス	追加サービス:未登録	430
			応答メッセージ設定:未登録	430

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
設定／サービス	NWサービス	サービスダイヤル	―	421
		OFFICEED	―	429
		着もじ	メッセージ作成：未登録	54
			メッセージ表示設定：番号通知ありのみ	55
			送信メッセージ詳細履歴：履歴なし	55
			着もじ優先設定：OFF	56
	その他	サイドボタン操作	閉じた時有効	119
		マルチボタン長押し登録	ピクチャフォルダジャンプ	386
		文字入力方式（MENU35）	入力モード：すべてチェックあり 優先入力方式：モード1（かな方式）	404
			予測機能：ON	406
			シークレット学習設定：学習する	406
		電池残量	―	42
		ポーズダイヤル（MENU84）	未登録	56
		サブアドレス設定	ON	60
		イヤホンマイク設定	イヤホンマイク	393
		ボイス設定	ボイスダイヤル自動発信：OFF	90
			ボイスイヤホン発信：OFF	90
			音声読み上げ設定：OFF	374
			音声読み上げ音量：レベル4	375
			音声読み上げ速度：標準	375
			音声読み上げ出力先：スピーカー	375
			音声読み上げ有効設定：標準	375
		USBモード設定	通信モード	353
		設定確認	―	402
		設定リセット（MENU23）	―	125
		端末初期化	―	126
		ソフトウェア更新	自動更新設定：自動で更新 曜日：指定なし　時刻：3:00	498

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	マイピクチャ(MENU46)		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	318
			自作アニメ:未登録	325
			機能 フォルダセキュリティ:すべて解除	356
			機能 ピクチャ編集 文字スタンプ 文字色:16色、黒色　フォント:フォント1　文字サイズ:通常サイズ	324
			機能 ピクチャ貼付 待受画面 本体色「BLACK」:ブラック 本体色「GOLD」:ゴールド 本体色「VIOLET」:バイオレット ウェイクアップ表示:Wake up	319
			機能 貼付表示位置:中央に表示	320
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 ピクチャ一覧・タイトル名一覧:ピクチャ一覧	321
			機能 表示サイズ設定:標準	322
	ミュージック		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	260
			画面表示:タイトル+画像	260
			音量調節:レベル12	261
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	266
	Music&Videoチャネル		データなし	252
			前回再生した番組の情報:なし	252
			画面表示:タイトル+画像	252
			音量調節:レベル12	253
			機能 再生モード変更:ノーマル	254
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	255

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	iモーション／ムービー		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	326
			プレイリスト:未登録	331
			しおり:すべて未登録	328
			再生履歴:履歴なし	328
			音量調節 iモーション:レベル4　ムービー:レベル12	326
			機能 フォルダセキュリティ:すべて解除	356
			機能 iモーション貼付:すべて解除	328
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 一覧表示切替:タイトル+画像	329
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	330
			機能 表示サイズ設定 iモーション:画面サイズで表示　ムービー:等倍表示	331
			機能 全画面モード切替:縦画面再生	331
	メロディ(MENU16)		プリインストールデータのみ ユーザ作成フォルダ:なし	340
			プログラム:未登録	357
			機能 着信音設定:すべて解除	341
			機能 ソート:新しい順	342
	マイドキュメント		プリインストールデータのみ	364
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 一覧表示切替:画像	365
	きせかえツール		プリインストールデータのみ	343
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 一覧表示切替:画像	343
	マチキャラ		プリインストールデータのみ	339
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 一覧表示切替:画像	340
	キャラ電		プリインストールデータのみ	337
			機能 代替画像設定:カンガルー	71
			機能 キャラ電撮影 カメラモード:フォトモード　記録サイズ設定:QCIF(176×144) 映像／音声選択:映像+音声　記録品質設定:標準	339
			機能 表示サイズ設定:画面サイズで表示	338

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
データBOX	ワンセグ	イメージ	データなし	319
			機能 ソート:新しい順	321
			機能 ピクチャー覧・タイトル名一覧:ピクチャー覧	321
			機能 表示サイズ設定:標準	322
		ビデオ	音量調節:レベル12	334
			機能 一覧表示切替:タイトル+画像	335
		しおり	すべて未登録	335
	ドキュメントビューア		−	368
	SDその他ファイル		−	352
LifeKit	バーコードリーダー	コード読み取り	−	226
		保存データ一覧	未登録	228
	赤外線受信(MENU79)	受信	−	360
		全件受信	−	361
	microSD	microSDデータ参照	−	345
		バックアップ／復元	−	351
	カメラ	フォトモード・ ムービーモード	機能 撮影モード選択:通常撮影	222
			機能 画像サイズ設定 フォトモード:待受(480×854)　連写モード:VGA(480×640) ムービーモード:QVGA(320×240)	222
			機能 動画容量設定:メール制限(大)	222
			機能 画質設定:ファイン	222
			機能 撮影設定 手ブレ補正:オート　シャッター音選択:シャッター音1 ちらつき補正設定:自動	222
			機能 保存設定 保存先設定:本体　自動保存設定:OFF　ファイル制限:なし	223
			機能 連写設定 連写モード設定:オート 撮影間隔:0.5秒 撮影枚数 VGA(480×640):4枚(固定) QVGA(240×320)・QCIF(144×176)・Sub-QCIF(96×128):5枚	223
			機能 表示サイズ設定:等倍表示	223
			機能 アイコン表示:ON	223
		フォト再生	「データBOX」の「マイピクチャ」と同じ	460
		ムービー再生	「データBOX」の「ｉモーション／ムービー」と同じ	461

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
LifeKit	Bluetooth	登録機器リスト	未登録	398
			機能 優先機器設定:未設定	398
		新規機器登録	–	397
		Bluetooth起動・ Bluetooth電源オフ	–	399
		接続待機	–	399
		ダイヤルアップ登録待機	–	399
		Bluetooth設定	セキュリティ設定:セキュリティ設定無し	401
			全件転送パスワード設定:パスワード無し	401
			サーチ時間:5秒	401
			着信音送出設定:送る	401
			切断時通話設定:通話終了	401
			ヘッドセット操作による発信:有効	402
			ミュージックプレーヤー自動起動:立ち上げ/立ち下げ有り	402
			自局情報 機器名称:P09A	402
	地図・GPS	地図	–	307
		現在地確認	–	306
		現在地通知	–	309
		位置履歴	履歴なし	310
		地図・GPSアプリ	プリインストールｉアプリのみ	307
		GPS設定	地図設定 地図選択:地図アプリ 地図起動時動作設定:測位を行ってから起動	310
			GPSボタン設定:地図を見る	311
			測位鳴動音・イルミネーション 現在地確認 測位鳴動音選択:OFF　鳴動時間設定:3秒 バイブレータ選択:OFF　イルミネーション選択:OFF 現在地通知 測位鳴動音選択:着信音1　鳴動時間設定:3秒 バイブレータ選択:OFF　イルミネーション選択:色5 位置提供 測位鳴動音選択:着信音2　鳴動時間設定:20秒 バイブレータ選択:OFF　イルミネーション選択:色5	311
			測位モード設定:すべて標準モード	311
			現在地通知先登録:未登録	312
			位置提供設定:位置提供OFF	312

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
LifeKit	地図・GPS	GPS設定	サービス利用接続先選択：契約時接続先	314
	伝言メモ／音声メモ（MENU55）	メモの再生／消去	未登録	70
		テレビ電話メモの再生／消去	未登録	70
		伝言メモ設定	OFF 応答メッセージ：標準（ON設定時）　呼出時間：13秒（ON設定時）	68
		音声メモ録音	－	388
		おしゃべり機能	未登録	94
	ボイスレコーダー		機能 容量設定：メール制限（大）	364
			機能 保存設定 保存先設定：本体　自動保存設定：OFF　ファイル制限：なし	364
	電話帳お預かりサービス	お預かりセンターに接続	－	125
		通信履歴表示	履歴なし	125
		電話帳内画像送信設定	しない	125
iコンシェル			－	211
電話帳	電話帳登録	本体	未登録	78
		FOMAカード（UIM）	－	78
	電話帳検索	全検索	－	83
		フリガナ検索	－	83
		グループ検索	－	83
		メモリ番号検索	－	83
		名前検索	機能 ソート：フリガナ順	85
		電話番号検索	機能 ソート：フリガナ順	85
		アドレス検索	機能 ソート：フリガナ順	85
		ツータッチダイヤル検索	－	83
	FOMAカード（UIM）操作	コピー	－	391
		削除	－	391
	発着信履歴（MENU24）	発信履歴	履歴なし	52
			機能 送信アドレス一覧：履歴なし	158
		着信履歴	履歴なし	52
			機能 受信アドレス一覧：履歴なし	158
	自局番号表示（MENU0）		未登録（Aナンバーの場合、自局番号は除く）	387
	グループ設定		機能 グループ編集 グループ名：グループ01～19（FOMAカード内は除く） 設定：なし	82

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
電話帳	電話帳指定設定	指定発信制限	すべて解除	122
		指定着信拒否	すべて解除	122
		指定着信許可	すべて解除	122
		指定転送でんわ	すべて解除	122
		指定留守番電話	すべて解除	122
	電話帳設定(MENU26)	文字サイズ設定	すべて標準表示	109
		ボイスダイヤル設定	未登録	89
		メールグループ	未登録	162
			機能 グループ名編集:メールグループ1～20	162
		チャットグループ	未登録	173
			機能 グループ名編集:グループ1～5	173
		電話帳画像転送	する	362
	電話帳登録件数		―	88
ステーショナリー	アラーム(MENU44)		未登録	376
			設定:すべてOFF	376
	スケジュール(MENU45)		未登録	379
			機能 各種設定 きせかえ設定:パターン1 休日カスタマイズ 日曜日:赤　月曜日～金曜日:指定なし　土曜日:青	381
	ToDo(MENU95)		未登録	384
			機能 カテゴリー別表示:すべて	384
			機能 ソート／フィルタ:登録順	384
	テキストメモ(MENU42)		未登録	390
	電卓(MENU85)		―	390
	使いかたナビ		―	36
	定型文／辞書(MENU38)	定型文	すべて初期状態	409
		ユーザ辞書	未登録	410
		ダウンロード辞書	プリインストールデータのみ	411
			機能 辞書ファイル設定:すべて有効	411
		学習履歴作成	―	411

つづく

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
MUSIC	ミュージックプレーヤー		データなし	259
			プレイリスト:未登録	267
			前回再生した曲の情報:なし	259
			画面表示:タイトル+画像	259
			音量調節:レベル12	261
			機能 再生モード変更:ノーマル	263
			機能 サウンド効果 リ.マスター設定:OFF　リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	266
	Music&Videoチャネル		「データBOX」の「Music&Videoチャネル」と同じ	460
ワンセグ	ワンセグ視聴		起動時の確認表示※:免責事項の確認画面を表示する	230
			データ放送の確認表示※:免責事項の確認画面を表示する	247
			放送用保存領域:未登録	230
			音量調節:レベル12	234
	番組表		—	238
	視聴予約リスト		未登録	241
	録画予約リスト		未登録	242
			録画予約時の確認表示:免責事項の確認画面を表示する	243
	予約録画結果		未登録	246
	テレビリンク		未登録	239
	チャンネルリスト選択		未登録	232
	チャンネル設定	地域選択	—	232
		自動チャンネル設定	—	231
	ユーザ設定	表示設定※	字幕表示設定:ON	246
			横画面字幕位置設定:下部に表示	246
			アイコン常時表示設定:ON	246
			メールテロップ表示設定:受信通知のみ	246
		映像設定※	モバイルWスピード:ON	246
			画質モード設定:ダイナミック	246
		照明設定※	常時点灯	246
		音声設定※	サウンド効果 自動音量設定:ON　リ.マスター設定:OFF リスニング設定:OFF　イコライザー設定:ノーマル	246
			クローズ音声継続設定:ON	247
		録画設定※	電池少量時録画設定:録画を継続する	247
			視聴中着信録画設定:OFF	247

大項目	中項目	小項目	お買い上げ時	参照先
ワンセグ	ユーザ設定	データ放送設定※	画像表示設定:表示する	247
			サウンド設定:ON	247
		ECOモード※	解除	247
		チャンネル設定初期化	−	247
		放送用保存領域消去	−	248
		TV設定リセット	−	248
		TV設定確認	−	248
おサイフケータイ	ICカード一覧		プリインストールｉアプリのみ	295
	DCMX		−	280
	トルカ		データなし ユーザ作成フォルダ:なし	298
			機能 検索／並び替え ソート:新しい順	301
	ICカードロック設定	ICカードロック	解除	296
		電源OFF時ICロック設定	電源OFF直前の設定	296
	設定	トルカ取得設定	許容する	303
		トルカ自動読取設定	許容する	303
		トルカ受信表示設定	表示する	303
		データ放送トルカ設定	自動取得する	303
		トルカ重複チェック設定	行う	303
	ICオーナー確認		−	296
	ICオーナー変更		−	296
	ｉモードで探す		−	193
その他	プライベートウィンドウの時計表示		アイコンと日付／時刻	32
	リダイヤル		履歴なし	52
	公共モード(ドライブモード)		解除	67
	マナーモード		解除	96
	テレビ電話		機能 照明設定:常時点灯	73
	文字入力		機能 文字入力設定 学習履歴:未登録 関係候補表示:ON 文字確定時間:OFF 2タッチ／ニコタッチガイダンス:ON	408

シンプルメニュー機能一覧表

大項目	中項目／小項目		参照先
電話	電話帳登録		78
	電話帳検索		83
	発着信履歴	発信履歴	52
		着信履歴	52
	伝言メモ	メモの再生／消去	70
		テレビ電話メモの再生／消去	70
		伝言メモ設定	68
		音声メモ録音	388
		おしゃべり機能	94
	自分の電話番号		46
メール	受信メール		147
	送信メール		148
	保存メール		148
	新規メール作成		130
	メール問い合わせ		144
iモード	iメニュー検索		178
	ブックマーク		188
	画面メモ	iモードブラウザ	189
		フルブラウザ	189
	ラストURL		187
	URL入力		187
	フルブラウザホーム		180
カメラ	写真をとる		217
	動画をとる		219
	写真を見る		318
	動画を見る		326
ワンセグ	ワンセグ視聴		233
	録画予約		242
	チャンネル設定	地域選択	232
		自動チャンネル設定	231
データBOX	写真／静止画		318
	動画		326

大項目	中項目／小項目		参照先
データBOX	音楽／メロディ	ミュージック	260
		メロディ	340
	ワンセグ	イメージ	319
		ビデオ	334
		しおり	335
	Music&Videoチャネル		252
	きせかえツール		343
	マチキャラ		339
	その他データ	マイドキュメント	364
		ドキュメントビューア	368
		キャラ電	337
		SDその他ファイル	352
ツール	スケジュール		379
	アラーム		376
	電卓		390
	テキストメモ		390
	赤外線受信	受信	360
		全件受信	361
	使いかたナビ		36
設定	着信音／音量	着信音選択	92
		着信音量	65
		ボタン確認音	95
		メロディ効果	93
		イヤホン切替設定	96
		メール／メッセージ鳴動	95
		充電確認音	95
	画面／文字	画面表示設定	99
		照明設定	102
		ビューブラインド	104
		カラーテーマ設定	104
		マチキャラ	106
		メニューアイコン設定	104

大項目	中項目／小項目		参照先
設定	画面／文字	プライベートメニュー設定	385
		デスクトップ	28
		プライベートウィンドウ	102
		フォント設定	108
		文字サイズ設定	109
		バイリンガル	110
		オープン新着表示	102
		画質モード設定	104
		液晶AI	103
		表示アイコン説明	31
	セキュリティ	セルフモード	116
		オールロック	114
		パーソナルデータロック	116
		ICカードロック	296
		シークレットモード	120
		シークレット専用モード	120
		ダイヤル発信制限	118
		登録外着信拒否	123
		非通知着信設定	122
		端末暗証番号変更	113
		FOMAカード(UIM)設定	113
		スキャン機能	502
		ロック設定	118
	きせかえ		105
	通話料金	通話時間／料金	389
		積算リセット	389
		通話料金通知	390
		上限値アイコン消去	390
	日付時刻	時計設定	44
		ワールドウォッチ	45
		サマータイム	45
		自動電源ON／OFF設定	376
		アラーム通知設定	385
	着信	バイブレータ	94
		マナーモード選択	97
		着信アンサー設定	64

大項目	中項目／小項目		参照先
設定	着信	オープン設定	64
		履歴表示設定	119
		電話帳画像着信設定	101
		発着信番号表示設定	109
		呼出時間表示設定	123
		確認機能設定	108
		パケット通信中着信設定	76
		自動発着信設定	394
		メロディコール設定	94
	NWサービス	発信者番号通知	45
		留守番電話	414
		キャッチホン	416
		転送でんわ	418
		迷惑電話ストップ	419
		番号通知お願いサービス	420
		2in1設定	424
		マルチナンバー	422
		通話中の着信動作選択	421
		通話中着信設定	422
		遠隔操作設定	422
		デュアルネットワーク	420
		英語ガイダンス	421
		ローミングガイダンス設定	439
		追加サービス	430
		サービスダイヤル	421
		OFFICEED	429
		着もじ	54

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧(かな方式)

表示／ボタン	漢	カナ	英	数
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ1	. / @ - : ~※2 ～※1 _ 1	1
2	かきくけこ	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれろ	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
0	わをんゎー	ワヲンヮ※1ー0	0	0
*	改行※3	改行※3	改行※3	*
#	、。?!・□(スペース)	、。?!・□(スペース)	, . ? ! ' - & ( ) ¥ □(スペース)	#

※1:全角で文字を入力しているときに表示
※2:半角で文字を入力しているときに表示
※3:文字を入力したあとに*を押すと、大文字・小文字の切り替えや、濁点・半濁点の入力ができます。

- 文字を入力後、(クリア)を押すと押すごとに逆順に文字が変わります。
- 数字入力モードで0を1秒以上押すと、「+」を入力できます。
- 英字入力モードで大文字を入力したあとに続けて入力すると、大文字→小文字の順で表示されます。また、機能によっては大文字→小文字の順で表示されます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（2タッチ方式）

漢字ひらがな入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ
2	か	き	く	け	こ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ
3	さ	し	す	せ	そ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
4	た	ち	つ	て	と	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ
5	な	に	ぬ	ね	の	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Ｚ	？	！	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	■
9	ら	り	る	れ	ろ	１	２	３	４	５
0	わ	を	ん	゛	゜	６	７	８	９	０

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
2						ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ
3						ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
4			っ			ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ
5						ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
6						ｚ				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					■
9										
0	ゎ			、	。					

カタカナ入力モード

<大文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	■
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

<小文字入力モード>

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					■
9										
0	ヮ※1			､	｡					

英字入力モード

1桁目＼2桁目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	"	$	%	'	+	a	b	c	d	e
2	,	.	:	;	<	f	g	h	i	j
3	=	>	@	[	]	k	l	m	n	o
4	^	_	‘※1`※2	{	|	p	q	r	s	t
5	}	～※1~※2				u	v	w	x	y
6						z	?	!	-	/
7						¥	&			
8		(		)		*	#			
9						1	2	3	4	5
0						6	7	8	9	0

■：大文字入力モード／小文字入力モードの切り替え

※1：全角で文字を入力しているときに表示されます。

※2：半角で文字を入力しているときに表示されます。

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 文字を入力したあとに(＊)を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。
- 数字入力モードで(0)を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧（ニコタッチ方式）

漢字ひらがな入力モード

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	あ	い	う	え	お	.	ー	@	_	1
	2	か	き	く	け	こ		a	b	c	2
	3	さ	し	す	せ	そ		d	e	f	3
	4	た	ち	つ	て	と	っ	g	h	i	4
	5	な	に	ぬ	ね	の		j	k	l	5
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ		m	n	o	6
	7	ま	み	む	め	も	p	q	r	s	7
	8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ	t	u	v	8
	9	ら	り	る	れ	ろ	w	x	y	z	9
	0	わ	を	ん	、	。	—	・	!	?	0

カタカナ入力モード

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	.	-	@	_	1
	2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ		a	b	c	2
	3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ		d	e	f	3
	4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ｯ	g	h	i	4
	5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ		j	k	l	5
	6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ		m	n	o	6
	7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	p	q	r	s	7
	8	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ｬ	ｭ	ｮ	t	u	v	8
	9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	w	x	y	z	9
	0	ﾜ	ｦ	ﾝ	､	｡	-	･	!	?	0

お知らせ

- 文字割り当てのない空白部分の入力操作をするとスペースが入力されます。
- 文字を入力したあとに[*]を押すと、大文字･小文字の切り替えや、濁点･半濁点の入力ができます。また、「か」を入力したあとに[*]を押すと「ヵ」に、「け」を入力したあとに[*]を押すと「ヶ」に切り替わります。
- 数字入力モードで[0]を1秒以上押すと、「＋」を入力できます。

記号一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は記号を音声で読み上げます。

記号	音声読み上げ
、	－
。	－
，	コンマ※1
．	ドット※1
・	テン
：	コロン
；	セミコロン
？	ギモンフ※1
！	カンタンフ※1
゛	ダクテン
゜	ハンダクテン
´	－
｀	－
¨	ウムラウト
＾	ヤマガタキゴウ※1
￣	オーバーライン
＿	アンダーライン
ヽ	－
ヾ	－
ゝ	－
ゞ	－
〃	－
仝	ドウ
々	－
〆	シメ
〇	ゼロ
ー	チョーオン※2
―	ダッシュ
‐	ハイフン
／	スラッシュ
＼	バックスラッシュ
～	カラ※3

記号	音声読み上げ
‖	－
｜	タテセン※1
…	テンテンテン
‥	テンテン
‘	－
’	アポストロフィ※1
“	－
”	インヨウフ※1
（	カッコ
）	トジカッコ
〔	カッコ
〕	トジカッコ
［	カッコ
］	トジカッコ
｛	カッコ
｝	トジカッコ
〈	カッコ
〉	トジカッコ
《	カッコ
》	トジカッコ
「	カギカッコ
」	トジカギカッコ
『	カギカッコ
』	トジカギカッコ
【	カッコ
】	トジカッコ
＋	プラス
－	マイナス※4
±	プラスマイナス
×	カケル
÷	ワル
＝	イコール

記号	音声読み上げ
≠	ノットイコール
＜	ショーナリ
＞	ダイナリ
≦	ショーナリイコール
≧	ダイナリイコール
∞	ムゲンダイ
∴	ユエニ
♂	オス
♀	メス
°	ド
′	フン
″	ビョー
℃	ドシー
￥	エン
＄	ドル
￠	セント
￡	ポンド
％	パーセント
＃	イゲタ
＆	アンド
＊	アスタリスク
＠	アットマーク
§	セクション
☆	ホシ
★	クロホシ
○	マル
●	クロマル
◎	ニジューマル
◇	ヒシガタ
◆	クロヒシガタ
□	シカク
■	クロシカク

記号	音声読み上げ
△	サンカク
▲	クロサンカク
▽	ギャクサンカク
▼	クロギャクサンカク
※	コメジルシ
〒	ユービンバンゴー
→	ミギヤジルシ
←	ヒダリヤジルシ
↑	ウエヤジルシ
↓	シタヤジルシ
〓	ゲタキゴー
∈	ゾクスル
∋	フクム
⊆	ブブンシューゴー
⊇	ブブンシューゴーフクム
⊂	シンブブンシューゴー
⊃	シンブブンシューゴーフクム
∪	ガッペー
∩	キョーツー
∧	オヨビ
∨	マタワ
¬	ヒテー
⇒	ナラバ
⇔	ドーチ
∀	スベテノ
∃	アル
∠	カク
⊥	スイチョク
⌒	コ
∂	ラウンドディー

記号	音声読み上げ
∇	ナブラ
≡	ゴードー
≒	ニアリーイコール
≪	ショーナリショーナリ
≫	ダイナリダイナリ
√	ルート
∽	ソージ
∝	ヒレー
∵	ナゼナラバ
∫	インテグラル
∬	ダブルインテグラル
Å	オングストローム
‰	パーミル
♯	シャープ
♭	フラット
♪	オンプ
†	ダガー
‡	ダブルダガー
¶	ダンラクキゴー
◯	マル
ゐ	イ
ゑ	エ
ヰ	イ
ヱ	エ
ヴ	ヴ
ヵ	カ
ヶ	ケ
Α	アルファ
Β	ベータ
Γ	ガンマ
Δ	デルタ
Ε	イプシロン

つづく

記号	音声読み上げ
Ζ	ゼータ
Η	イータ
Θ	シータ
Ι	イオタ
Κ	カッパ
Λ	ラムダ
Μ	ミュー
Ν	ニュー
Ξ	グザイ
Ο	オミクロン
Π	パイ
Ρ	ロー
Σ	シグマ
Τ	タウ
Υ	ユプシロン
Φ	ファイ
Χ	カイ
Ψ	プサイ
Ω	オメガ
α	アルファ
β	ベータ
γ	ガンマ
δ	デルタ
ε	イプシロン
ζ	ゼータ
η	イータ
θ	シータ
ι	イオタ
κ	カッパ
λ	ラムダ
μ	ミュー
ν	ニュー
ξ	グザイ
ο	オミクロン
π	パイ
ρ	ロー

記号	音声読み上げ
σ	シグマ
τ	タウ
υ	ユプシロン
φ	ファイ
χ	カイ
ψ	プサイ
ω	オメガ
А	アー
Б	ベー
В	ヴェー
Г	ゲー
Д	デー
Е	イェー
Ё	ヨー
Ж	ジェー
З	ゼー
И	イー
Й	イークラトコエ
К	カー
Л	エリ
М	エム
Н	エヌ
О	オー
П	ペー
Р	エル
С	エス
Т	テー
У	ウー
Ф	エフ
Х	ハー
Ц	ツェー
Ч	チェー
Ш	シャー
Щ	シチャー
Ъ	ツボルディーズナーク
Ы	ウイ

記号	音声読み上げ
Ь	ミャーフィーズナーク
Э	エー
Ю	ユー
Я	ヤー
а	アー
б	ベー
в	ヴェー
г	ゲー
д	デー
е	イェー
ё	ヨー
ж	ジェー
з	ゼー
и	イー
й	イークラトコエ
к	カー
л	エリ
м	エム
н	エヌ
о	オー
п	ペー
р	エル
с	エス
т	テー
у	ウー
ф	エフ
х	ハー
ц	ツェー
ч	チェー
ш	シャー
щ	シチャー
ъ	ツボルディーズナーク
ы	ウイ
ь	ミャーフィーズナーク
э	エー
ю	ユー

記号	音声読み上げ
я	ヤー
─	－
│	－
┌	－
┐	－
┘	－
└	－
├	－
┬	－
┤	－
┴	－
┼	－
━	－
┃	－
┏	－
┓	－
┛	－
┗	－
┣	－
┳	－
┫	－
┻	－
╋	－
┠	－
┯	－
┨	－
┷	－
┿	－
┝	－
┰	－
┥	－
┸	－
╂	－
①	マルイチ
②	マルニ
③	マルサン

記号	音声読み上げ
④	マルヨン
⑤	マルゴ
⑥	マルロク
⑦	マルナナ
⑧	マルハチ
⑨	マルキュー
⑩	マルジュー
⑪	マルジューイチ
⑫	マルジューニ
⑬	マルジューサン
⑭	マルジューヨン
⑮	マルジューゴ
⑯	マルジューロク
⑰	マルジューナナ
⑱	マルジューハチ
⑲	マルジューキュー
⑳	マルニジュー
Ⅰ	イチ
Ⅱ	ニ
Ⅲ	サン
Ⅳ	ヨン
Ⅴ	ゴ
Ⅵ	ロク
Ⅶ	ナナ
Ⅷ	ハチ
Ⅸ	キュー
Ⅹ	ジュー
㍉	ミリ
㌔	キロ
㌢	センチ
㍍	メートル
㌘	グラム
㌧	トン
㌃	アール
㌶	ヘクタール
㍑	リットル

付録／困ったときには

記号	音声読み上げ
㍗	ワット
㌍	カロリー
㌦	ドル
㌣	セント
㌫	パーセント
㍊	ミリバール
㌻	ページ
㎜	ミリメートル
㎝	センチメートル

記号	音声読み上げ
㎞	キロメートル
㎎	ミリグラム
㎏	キログラム
㏄	シーシー
㎡	ヘーホーメートル
㍻	ヘーセー
〝	－
〟	－
№	ナンバー

記号	音声読み上げ
㏍	ケーケー
℡	デンワ
㊤	マルウエ
㊥	マルナカ
㊦	マルシタ
㊧	マルヒダリ
㊨	マルミギ
㈱	カッコカブ
㈲	カッコユー

記号	音声読み上げ
㈹	カッコダイ
㍾	メージ
㍽	タイショー
㍼	ショーワ
≒	ニアリーイコール
≡	ゴードー
∫	インテグラル
∮	ファイ
∑	シグマ

記号	音声読み上げ
√	ルート
⊥	スイチョク
∠	カク
∟	チョッカク
⊿	サンカッケー
∵	ナゼナラバ
∩	キョーツー
∪	ガッペー

※1 URL、メールアドレス以外の場合は読み上げません。
※2 ひらがな、カタカナ、漢字のあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※3 ひらがな、カタカナのあとにある場合は直前の文字の語尾をのばして読み上げます。
※4 URL、メールアドレスの場合は「ハイフン」と読み上げます。

お知らせ

- 「①」～「∪」の特殊記号は、i モード対応端末以外の携帯電話やパソコンに送信した場合、正しく表示されないことがあります。また、 の特殊記号は、SMSの本文には入力できず、半角スペースに置き換えて入力されます。

記号入力変換表

文字入力(編集)画面で「きごう」と入力して変換すると記号の候補が表示されます。次のような文字を入力して変換しても記号を入力できます。

入力	変換
おなじ	〃 々
から	～
かんま	，
こんま	，
たてせん	‖ ｜
てんてん	… ‥
りーだ	…
しめ	〆
かっこ	‘’ “” （）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】
たす	＋
ひく	－

入力	変換
ぷらすまいなす	±
かける	×
わる	÷
いこーる	＝
ふとうごう	＜＞≦≧
しょうなり	＜
だいなり	＞
しょうなりいこーる	≦
だいなりいこーる	≧
むげんだい	∞
おす	♂

入力	変換
めす	♀
ならば	⇒
どうち	⇔
にありいこーる	≒
ちいさい	≪
おおきい	≫
るーと	√
ど	° ℃
ふん	′
びょう	″
どる	＄
せんと	¢
ぽんど	£

入力	変換
せつ	§
ほし	＊☆★
あっと	＠
まる	。○●◎〇
しかく	◇◆□■
さんかく	△▲▽▼
こめ	※
ゆうびん	〒
やじるし	→←↑↓
うえ	↑
した	↓
みぎ	→

入力	変換
ひだり	←
あすたりすく	＊
おんぐすとろーむ	Å
しゃーぷ	♯
ふらっと	♭
おんぷ	♪
だがー	†
だぶるだがー	‡
だんらく	¶
おーむ	Ω
でんわ	℡

絵文字一覧表

「音声読み上げ設定」を「ON」に設定している場合は絵文字を音声で読み上げます。

絵文字	音声読み上げ
	ハートマーク
	ユレルハートマーク
	シツレンマーク
	フクスーハートマーク
	ワーイマーク
	プンプンマーク
	ガクーマーク
	モウヤダーマーク
	フラフラマーク
	ルンルンマーク
	オンセンマーク
	カワイイマーク
	チュッマーク
	ピカピカマーク
	ヒラメキマーク
	ムカッマーク
	パンチマーク
	バクダンマーク
	ムードマーク
	ネムイマーク
	ビックリマーク
	ビックリハテナマーク
	ニジュービックリマーク
	ドーンマーク
	アセアセマーク
	アセタラーッマーク

絵文字	音声読み上げ
	ダッシュマーク
	ウーマーク
	ウーンマーク
	グッドマーク
	バッドマーク
	ミギナナメウエヤジルシマーク
	ミギナナメシタヤジルシマーク
	ヒダリナナメウエヤジルシマーク
	ヒダリナナメシタヤジルシマーク
	ハレマーク
	クモリマーク
	アメマーク
	ユキマーク
	カミナリマーク
	タイフーマーク
	キリマーク
	コサメマーク
	オヒツジザマーク
	オウシザマーク
	フタゴザマーク
	カニザマーク
	シシザマーク
	オトメザマーク
	テンビンザマーク

絵文字	音声読み上げ
	サソリザマーク
	イテザマーク
	ヤギザマーク
	ミズガメザマーク
	ウオザマーク
	スポーツマーク
	ヤキューマーク
	ゴルフマーク
	テニスマーク
	サッカーマーク
	スキーマーク
	バスケットマーク
	モータースポーツマーク
	ページャマーク
	デンシャマーク
	チカテツマーク
	シンカンセンマーク
	セダンマーク
	アールブイマーク
	バスマーク
	フネマーク
	ヒコーキマーク
	イエマーク
	ビルマーク
	ユービンキョクマーク
	ビョーインマーク

絵文字	音声読み上げ
	ギンコーマーク
	エーティーエムマーク
	ホテルマーク
	コンビニマーク
	ガソリンスタンドマーク
	チューシャジョーマーク
	シンゴーマーク
	トイレマーク
	レストランマーク
	キッサテンマーク
	バーマーク
	ビールマーク
	ファーストフードマーク
	ブティックマーク
	ビヨーインマーク
	カラオケマーク
	エーガマーク
	ユーエンチマーク
	オンガクマーク
	アートマーク
	エンゲキマーク
	イベントマーク
	チケットマーク
	キツエンマーク

絵文字	音声読み上げ
	キンエンマーク
	カメラマーク
	カバンマーク
	ホンマーク
	リボンマーク
	プレゼントマーク
	バースデーマーク
	デンワマーク
	ケータイデンワマーク
	メモマーク
	テレビマーク
	ゲームマーク
	シーディーマーク
	ハートマーク
	スペードマーク
	ダイヤマーク
	クラブマーク
	メマーク
	ミミマーク
	グーマーク
	チョキマーク
	パーマーク
	アシマーク
	クツマーク
	メガネマーク
	クルマイスマーク

絵文字	音声読み上げ
	シンゲツマーク
	カケヅキマーク
	ハンゲツマーク
	ミカヅキマーク
	マンゲツマーク
	イヌマーク
	ネコマーク
	リゾートマーク
	クリスマスマーク
	カチンコマーク
	フクロマーク
	ペンマーク
	ヒトカゲマーク
	イスマーク
	ヨルマーク
soon	スーンマーク
ON!	オンマーク
end	エンドマーク
	トケーマーク
	デンワヘマーク
	メールヘマーク
FAX	ファックスヘマーク
	アイモードマーク
	アイモードマーク
	メールマーク
	ドコモテーキョーマーク

絵文字	音声読み上げ
	ドコモポイントマーク
	ユーリョーマーク
FREE	ムリョーマーク
ID	アイディーマーク
	パスワードマーク
	ツギアリマーク
CL	クリアマーク
	サーチマーク
NEW	ニューマーク
	イチジョーホーマーク
	フリーダイヤルマーク
#	シャープダイヤルマーク
	モバキューマーク
1	シカクイチ
2	シカクニ
3	シカクサン
4	シカクヨン
5	シカクゴ
6	シカクロク
7	シカクナナ
8	シカクハチ
9	シカクキュー
0	シカクゼロ

絵文字	音声読み上げ
OK	ケッテーマーク
	アイアプリマーク
	アイアプリマーク
	ティーシャツマーク
	ガマグチサイフマーク
	ケショーマーク
	ジーンズマーク
	スノボマーク
	チャペルマーク
	ドアマーク
	ドルブクロマーク
	パソコンマーク
	ラブレターマーク
	レンチマーク
	エンピツマーク
	オーカンマーク
	ユビワマーク
	スナドケーマーク
	ジテンシャマーク
	ユノミマーク
	ウデドケーマーク
	ムムマーク
	ホッマーク
	ヒヤアセマーク
	ヒヤアセマーク
	プクッマーク

絵文字	音声読み上げ
	ボケーッマーク
	ラブラブマーク
	オーケーマーク
	アッカンベーマーク
	ウィンクマーク
	ウレシイマーク
	ガマンマーク
	ネコマーク
	ナキマーク
	ナミダマーク
NG	エヌジーマーク
	クリップマーク
©	コピーライトマーク
TM	トレードマーク
	ハシルヒトマーク
秘	マルヒマーク
	リサイクルマーク
®	レジストレッドマーク
	キケンマーク
禁	キンシマーク
空	クーシツマーク
合	ゴーカクマーク
満	マンシツマーク
	サユーマーク
	ジョーゲマーク
	ガッコーマーク

絵文字	音声読み上げ
	ナミマーク
	フジサンマーク
	クローバーマーク
	サクランボマーク
	チューリップマーク
	バナナマーク
	リンゴマーク
	ワカバマーク
	モミジマーク
	サクラマーク
	オニギリマーク
	ショートケーキマーク
	トックリマーク
	ドンブリマーク
	パンマーク
	カタツムリマーク
	ヒヨコマーク
	ペンギンマーク
	サカナマーク
	ウマイマーク
	ウッシッシマーク
	ウママーク
	ブタマーク
	ワイングラスマーク
	ゲッソリマーク

お知らせ

- 絵文字はすべて全角文字でカウントされます。
- 絵文字は、ｉモード対応端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信すると正しく表示されません。また、「」～「」の絵文字は対応していないｉモード対応携帯電話では正しく表示されません。

付録／困ったときには

マルチアクセスの組み合わせ

通信イベント＼通信状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール		SMS※1		iアプリ	iアプリソフト動作中	パケット通信（データ通信）		64Kデータ通信	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信	送信	受信	発信	発信	送信	受信	送信	受信
音声電話	△※2	△※3	×	×※4	○	○	△※6	○	△※6	×	×	○	△※6	×	×※4
テレビ電話	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	△※6	×	×	×	×	×	×※4
iモード	○	○	△※7	△※8	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
iモードメール	○	○	△※7	△※8	○	×	×	×	△※6※9	×	×	×	×	×	×
SMS※1	○	○	○	○	○	×	△※6※9	×	△※6	○	○	○	△※6	○	△※6
iアプリ※10	×	○	×	△※8	×	×	△※6	×	△※6	×	×	×	×	×	×
iアプリソフト動作中	○	○	△※7	△※8	×	○	△※6	○	△※6	×	×	×	×	×	×
パケット通信（データ通信）	○	○	×	×※5	×	×	×	○	○	×	×	×	×※4	×	×
64Kデータ通信	×	×※4	×	×※4	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×※4

○：起動できます。
△：条件により起動できます。
×：起動できません。現在の通信状態を継続します。（発生した通信は拒否されます。）
※1　：iコンシェルのインフォメーション、iアプリコールを含みます。
※2　：「キャッチホン」を契約されていれば、現在の音声電話を保留にして発信できます。
※3　：最大音声回線数＋1の状態のとき、留守番電話、キャッチホン、転送でんわを起動できます。（P.414、P.416、P.418参照）
※4　：「キャッチホン」、「留守番電話」、「転送でんわ」を契約されている場合、通話／通信を終了したあと、着信に応答できます。（P.422参照）
※5　：不在着信として着信履歴に残ります。
※6　：画面に「（ピンク）」「」「」などを表示して受信をお知らせします。
※7　：iモード接続を切断し、発信します。
※8　：「パケット通信中着信設定」に従って動作します。
※9　：iモードメールとSMSは1回線ずつ同時使用が可能です。
※10：iアプリのバージョンアップ、iアプリをダウンロード中の場合です。

マルチタスクの組み合わせ

同じグループの機能が競合したとき（表中の　　部分）は、起動中の機能を切り替える画面が表示されます。ただし、操作によっては表示されないこともあります。

発生した機能／使用中の機能	音声電話	テレビ電話	メール	iモードグループ			設定／サービス※2	ツールグループ							プライベートメニュー※2
				iモード※1	iアプリ	iコンシェル		データBOX※1	LifeKit※3	電話帳※4	ステーショナリー	MUSIC※5	ワンセグ※5	おサイフケータイ※5	
音声電話	×	×	○	○	×	○	○	×	○※6	○	○※7	×	×	○	○
テレビ電話	×	×	×	×	×	×	×	×	×※8	×	×	×	×	×	×
メール	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード※1	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○※9	○※9	○	○
iコンシェル	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
設定／サービス※2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
データBOX※1※10	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○
LifeKit※3	○※11	○※11	○※12	○	○	○	○	×	×※13	×	×	×	×	×	○
電話帳※4	○	○	○	○	○	○	○	×	×※13	×	×	○	×	×	○
ステーショナリー	○	○	○	○	○	○	○	×	×※13	×	×	○※15	×	×	○
MUSIC※5	○※16	○※16	○※17	○	○※9	○	○	○※16※18	×※14	○	○※15	×	×	○	○
ワンセグ※5	○※16	○※16	○	○	○※9	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○
おサイフケータイ※5	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○

○：同時に起動できます。　×：同時に起動できません。

※1　：PDFデータを表示中はｉモードグループが使用中になります。ただし、ワンセグやデータBOXの「ワンセグ」とは同時に起動できません。
※2　：機能によっては利用できません。
※3　：「赤外線受信」、「microSD」はマルチタスクで起動できません。
※4　：「FOMAカード（UIM）操作」はマルチタスクで起動できません。また、他の機能の起動中に「電話帳指定設定」は起動できません。
※5　：ツールグループ以外の機能も含まれます。
※6　：通話中に起動できるLifeKitは、「バーコードリーダー」の保存データ一覧、「カメラ」の静止画撮影、「Bluetooth」、「地図·GPS」、「電話帳お預かりサービス」の各機能だけです。
※7　：通話中に起動できるステーショナリーは、「スケジュール」、「ToDo」、「テキストメモ」、「電卓」、「使いかたナビ」の各機能だけです。
※8　：通話中にGPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※9　：ｉアプリによってはMUSICやワンセグと同時に起動できないものやバックグラウンド再生できないものもあります。

つづく

※10：ピクチャビューア（microSDカード）、ｉモーションプレーヤー、ビデオプレーヤー、キャラ電プレーヤー、メロディプレーヤー使用中や、データBOXからの「ミュージック」のデモ再生中にマルチタスクで機能を切り替えた場合、表示、再生が終了します。ｉモーション編集中に機能を切り替えることはできません。
※11：「伝言メモ」、「テレビ電話伝言メモ」、「音声メモ」、「動画メモ」の再生中、「音声メモ録音」の録音中に着信があった場合は、再生／録音を停止します。
「バーコードリーダー」でデータの読み取り中に着信があった場合は、読み取り中のデータを破棄します。
※12：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、「バーコードリーダー」でデータの読み取り中にメールを受信すると、読み取り中のデータを破棄します。
※13：GPSの位置提供要求は受信できます。サービスごとの利用設定が「拒否」以外のときは、位置情報を提供できます。
※14：「バーコードリーダー」、「カメラ」、「地図･GPS」、「ボイスレコーダー」の場合は同時に起動できます。ただし、「地図･GPS」以外ではバックグラウンド再生はできません。
※15：「使いかたナビ」とMUSICは同時に起動できません。
※16：バックグラウンド再生はできません。
※17：「受信表示設定」を「通知優先」に設定している場合は、メールを受信すると、再生は中断します。
※18：「ミュージックプレーヤー」、「ミュージック」、「Music&Videoチャネル」、「ムービー」は同時に起動できません。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料+通話料） ※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料+通話料）	（局番なし）106

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2009年4月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2009年4月現在）
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）

お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署などに接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ･電池パック P19
- ･リアカバー P37
- ･FOMA ACアダプタ 01/02※1
- ･FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1
- ･FOMA DCアダプタ 01/02
- ･FOMA 補助充電アダプタ 01
- ･FOMA乾電池アダプタ 01
- ･卓上ホルダ P34
- ･FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02※2
- ･FOMA USB接続ケーブル※2
- ･FOMA室内用補助アンテナ※3
- ･FOMA室内用補助アンテナ(スタンドタイプ)※3
- ･キャリングケースS 01
- ･車内ホルダ 01
- ･イヤホンマイク 01
- ･ステレオイヤホンマイク 01
- ･スイッチ付イヤホンマイク P001/P002※5
- ･ステレオイヤホンセット P001※5
- ･平型スイッチ付イヤホンマイク P01/P02※4
- ･平型ステレオイヤホンセット P01※4
- ･イヤホンジャック変換アダプタ P001※4
- ･外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- ･イヤホン変換アダプタ 01
- ･平型コネクタ･ステレオミニジャック変換アダプタ P01※4
- ･Bluetoothヘッドセット F01※6
- ･Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ･ワイヤレスイヤホンセット P01/02
- ･骨伝導レシーバマイク 01※4/02
- ･車載ハンズフリーキット 01※7
- ･FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01

※1 ACアダプタでの充電方法についてはP.40、P.41参照。

※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 日本国内で使用してください。
※4 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※5 イヤホンジャック変換アダプタ P001と外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※6 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※7 P-09Aを充電するためには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画(MP4形式のファイル)を再生するには、アップルコンピュータ(株)のQuickTimePlayer(無料)ver.6.4以上(またはver.6.3+3GPP)が必要です。
QuickTimeは下記のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

お知らせ

- ●ダウンロードするにはインターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては、別途通信料がかかります。
- ●動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページを参照してください。

AV機器とのリンク

他の機器からmicroSDカードに保存したASF形式の動画をFOMA端末で再生できる場合があります。FOMA端末で録画した動画を他の機器で再生できる場合もあります。対応AV機器とのリンクに関する情報はこちらをご覧ください。
http://panasonic.jp/mobile/

対応AV機器とのリンクに関するお問い合わせ先

■パナソニック モバイルコミュニケーションズ　お客様ご相談センター
一般電話からは 0120-15-8729
携帯電話･PHSからは　045-938-4023
受付時間　午前9:00～午後5:00(土･日･祝日･所定の休日は除く)
●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。ソフトウェア更新についてはP.497参照。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

症状	チェック項目	参照先
FOMA端末の電源が入らない	●電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●電池切れになっていませんか。	39 40
充電ができない（例：FOMA端末の着信／充電ランプが点灯しない、または点滅する）	●電池パックが正しく取り付けられていますか。 ●アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライタソケットに正しく差し込まれていますか。 ●アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 ●ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。 ●卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れているときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 ●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して着信／充電ランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	39 － 41 41 － 40
操作中・充電中に熱くなる	●操作中や充電中、また、充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	－
電池の使用時間が短い	●圏外の状態で長い時間放置するようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態になるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 ●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 ●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	43 40 40
電源断・再起動が起きる	●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れているときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	－
ボタンを押しても動作しない	●オールロックを設定していませんか。 ●ボタンロックを設定していませんか。 ●サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定していませんか。	114 119 119
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	●FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	－
FOMAカードが認識されない	●FOMAカードを正しい向きで挿入していますか。	37
ダイヤルボタンを押しても発信できない	●ダイヤル発信制限を設定していませんか。 ●指定発信制限を設定していませんか。 ●オールロックを設定していませんか。 ●セルフモードを設定していませんか。	118 121 114 116

つづく

症状	チェック項目	参照先
着信音が鳴らない	●着信音量を「消去」にしていませんか。 ●公共モード、マナーモード、セルフモードを設定していませんか。 ●指定着信拒否、指定着信許可、非通知着信設定、呼出時間表示設定、登録外着信拒否を設定していませんか。 ●留守番電話サービス、転送でんわサービス、伝言メモ設定、オート着信設定のいずれかの呼出時間を0秒にしていませんか。	65 67 96 116 121 122 123 68 394 415 418
通話ができない（例：場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	●電源を入れ直すか、電池パックまたはFOMAカードを入れ直してください。 ●電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は「 」を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 ●指定着信拒否、指定着信許可など着信制限を設定していませんか。 ●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	37 39 43 － 121 －
ディスプレイが暗い	●照明設定の明るさを変更していませんか。「自動設定」に設定している場合は周囲の明るさによって変わります。 ●省電力モードを設定していませんか。 ●ワンセグのECOモードを設定していませんか。 ●ビューブラインドが「ON」になっていませんか。	103 102 247 104
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	●受話音量を変更していませんか。 ●受話音質設定、ゆったりトークの設定を変更すると、相手の声が聞き取りやすくなります。	65 60
各機能で設定した画像やメロディなどが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	●画像やメロディなどの取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されていますか。	37

症状	チェック項目	参照先
メールを自動で受信しない	●メール設定のメール選択受信設定を「ON」に設定していませんか。	143
ｉモード、ｉモードメール、ｉアプリ、ｉチャネルに接続できない	●接続先設定を「ｉモード」以外に設定していませんか。 ●ｉモードを途中からご契約いただいた場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	199 43
ｉモードマークが点滅したまま消えない	●ｉモード問い合わせ･メール送受信などのあとや途中でｉモード接続が途切れたときは、ｉモードマークは点滅したままになります。データのやりとりを行わなければ自動的に切断されますが、 を押せばすぐに終了できます。	－
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	●近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を「接写」に設定してください。 ●人物を撮影するときは、フォーカス設定を「顔認識」に設定してください。 ●手ブレ補正を「オート」に設定して撮影してください。 ●カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	222 222 222 214
ワンセグの視聴ができない	●地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 ●チャンネル設定をしていますか。	230 231
おサイフケータイ対応ｉアプリが削除できない	●ICカード内データを削除しないと、削除できないｉアプリがあります。ICカード内データを削除してからｉアプリを削除してください。削除できない場合、ドコモショップなどまでお問い合わせください。なお、「iD 設定アプリ」は削除できません。	－
おサイフケータイが使えない	●電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。 ●ICカードロックを起動していませんか。 ●FOMA端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。	39 115 296 295

症状	チェック項目	参照先
「圏外」が表示され、国際ローミングサービスが利用できない	●国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 ●利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」などの国際サービスガイドで確認してください。 ●ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。 ●日本国内から海外へ移動したあとに3G/GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。	－ － 437 43 437
海外での利用中に音声電話やテレビ電話がかかってこない	●ローミング時着信規制を「開始」に設定していませんか。 ●パケット通信中着信設定を「テレビ電話優先」以外に設定していませんか。 ●GSM/GPRSネットワーク利用中にテレビ電話は利用できません。	439 76 432
海外で利用中に突然、発信や着信ができない	●ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を清算していただくことで、サービスを再開します。 ●3G/GSM切替の設定を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信してしまうため、利用できない場合があります。設定を滞在中の国や地域に対応するネットワーク（3GまたはGSM/GPRS）に変更してください。	－ 437
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	●相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。	－
データ転送が行われない	●USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	－
microSDカードに保存したデータが表示されない	●microSDチェックディスクを行ってください。	353
プレビューで「×」が表示される	●画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。	－
添付ファイルが削除されて画像を見ることができない	●添付ファイル優先受信を確認してください。 ●メールサイズ制限の設定を確認してください。詳しくは「ご利用ガイドブック（ｉモード<FOMA>編）」をご覧ください。	163 －
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	●Bluetooth通信対応機器（市販品）側を登録待機状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	398
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	●相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－

こんな表示が出たら

- エラーメッセージの中の「(数字)」は、iモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

ア

相手を発見できませんでした
…Bluetooth機器からの応答がないため、登録または接続できませんでした。

以下の宛先にはメール送信できませんでした(561)
Mails could not be sent to following address.(561)
●●@△△△.ne.jp※
…表示された宛先にメールが正しく送信できませんでした。
※メールアドレスは送信先により表示が異なります。

一部移動できませんでした
…選択したファイルに移動できないファイルが含まれていたため、一部移動できませんでした。

一部コピーできませんでした
…選択したファイルにコピーできないファイルが含まれていたため、一部コピーできませんでした。

一部保存できませんでした
…選択したファイルにFOMA端末またはmicroSDカードにコピーできないファイルが含まれていたため、一部保存できませんでした。

移動できません
…FOMA端末に移動することのできないiアプリのためmicroSDカードからFOMA端末に移動できませんでした。

今いる場所の確認に失敗しました
今いる場所の送信に失敗しました
…圏外などエラーが発生したため、現在地の確認または位置提供に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

応答がありませんでした(408)
…サイトやインターネットホームページからの応答がないため接続できませんでした。再度操作してください。

同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードできません
該当するサービスを削除しますか?
同じサービスを利用するソフトがあるためバージョンアップできません
該当するサービスを削除しますか?
…同じICカードを使ったサービスを利用するソフトがすでにダウンロード済みの場合、すでに登録されている該当サービスを削除しないと、新しいサービスをダウンロードまたはバージョンアップできません。「YES」を選択すると削除対象となるサービスが表示されますので、登録済みのサービスを削除してください。

音声切替できません
…音声が1つしかないため切り替えできません。

カ

書換え失敗しました
…ソフトウェア更新に失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

画像が登録できなかった電話帳があります
…画像がいっぱいになったため一部の電話帳の画像が登録できませんでした。

画像に誤りがあり正しく動作しません
…Flash画像に誤りがあったため、Flash画像の再生が正常に終了できませんでした。

画像の容量がオーバーするため入力できません
…デコメ®絵文字入力時に挿入画像最大サイズを超えたため、入力できませんでした。

画像表示設定が表示しないのため画像取得できません
…画像表示設定が「表示しない」に設定されているため画像を取得できません。設定を「表示する」にしてから再度操作してください。(P.197参照)

起動できませんでした
…ソフトウェア更新が正常に完了していない可能性がありますので、ドコモ指定の故障取扱窓口にお問い合わせください。

圏外です
…電波が届いていません。電波の強い場所で再度操作してください。

現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため移動できません
現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため起動できません
現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないため削除できません
現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためダウンロードできません
現在お使いのFOMAカードがICオーナーではないためバージョンアップできません
…ICカードに対応付けしたFOMAカードとは異なるFOMAカードが挿入されているため移動、起動、削除またはダウンロード、バージョンアップできません。ICカードに対応付けしたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

限定視聴のため視聴できません
…限定受信放送のため視聴できません。

このカードでは無効な機能です
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

このカードは使用できません
…P-09Aでは使用できないメモリーカードです。P-09Aに対応したmicroSDカードをご利用ください。(P.344参照)

このカードは認識できません
…正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください。(P.37参照)
…FOMAカードにエラーが発生したか、PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

このカードは認識できません
再起動します
…FOMAカードを正しく認識できませんでした。再起動後、待受画面に戻ります。

この画像は保存できません
…正常に表示できなかった画像のため保存できません。また、正常に表示された場合でも、ファイルの形式によっては保存できない場合があります。

この機能は利用できません
…挿入されているFOMAカードでは操作できない機能です。

このサイトとのSSL/TLS通信は無効です
…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したため接続できませんでした。

このサイトの安全性が確認できません
SSL/TLS通信を切断します
…対応していないSSL/TLS証明書のため接続を中断しました。

このサイトは安全でない可能性があります
SSL/TLS通信を切断します
…SSL/TLS証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。

この接続先の安全性が確認できません
SSL/TLS通信を切断します
…SSL/TLS証明書の有効期限が切れているため接続を中断します。

この接続先は安全でない可能性があります
SSL/TLS通信を切断します
…SSL/TLS証明書の内容が一致していないため接続を中断します。

このソフトは現在利用できません
…使用期限が過ぎたかサーバ側から使用停止状態に設定されているため起動できません。

このソフトは最新です
…目的のソフトが更新されていないため実行できません。

このデータはダウンロードできません
…データが不正なためダウンロードできません。
…すでに最大保存件数まで保存しているか、メモリの空きが不足しているため番組をダウンロードできません。

このデータは貼り付けできません
…使用できない文字を貼り付けようとしています。貼り付ける文字を確認してから再度操作してください。(P.410参照)

このデータは表示できません

このファイルは表示できません
…対応していないファイルのため表示できません。

このメールは再送信できません
…宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。

このメールは再送信できません
再編集して送信してください
…宛先が不正であったり、メール本文が入力可能なサイズを超えているため再送信できません。再編集してから送信してください。(P.154参照)

これ以上機能を起動できません
…マルチタスクで使用できる最大数の機能が起動しています。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.374参照)

サ

再生可能日前です
再生できません
…再生可能日前のためファイルを再生できません。

最大サイズを超えたので中断しました
…データ量が最大サイズを超えたので正常にダウンロードできませんでした。
…サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため受信を中断し、取得できた分のみ表示します。

最大サイズを超えています
受信できません(452)
…最大サイズを超えるデータを受信しようとしたため、受信できませんでした。

最大サイズを超えているためダウンロードできません
…最大サイズを超えるPDFデータをダウンロードしようとしたため、ダウンロードできませんでした。

サイトに接続できませんでした(403)
…サイトやインターネットホームページに接続できません。

作成可能サイズを超えるため一部削除されます
…宛先・題名・本文のいずれか(または複数)が入力可能文字数を超えていたため、一部削除されました。

シークレットデータではないため呼び出せません
…シークレット専用モードに切り替えているため呼び出せません。シークレット専用モードを解除してから操作してください。(P.120参照)

シークレットデータのため呼び出せません
…シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えていないため呼び出せません。シークレットモードまたはシークレット専用モードに切り替えてから操作してください。(P.120参照)

つづく

システムを再起動しました
…エラーが発生したため、再起動後、待受画面に戻ります。

指定サイトがみつかりません(404)
…サイトやインターネットホームページが存在しないか、URLが間違っている可能性があります。URLを確認してから再度操作してください。(P.187参照)

指定したサイトへは接続できませんでした(504)
…サーバからの応答がなかったため接続できません。

指定のページ番号は無効です
…入力されたページ番号は無効です。正しいページ番号を入力して再度操作してください。(P.365参照)

自動更新設定ができませんでした
…エラーが発生したため自動更新設定が設定できませんでした。

自動時刻時差補正情報を受信していないため再生できません
…自動時刻時差補正情報を受信していないため、再生期間･再生期限付きのファイルを再生できませんでした。

自動変換機能設定中
削除できません

自動変換機能設定中
全削除できません
…自動変換機能設定で設定されている国／地域番号や国際電話アクセス番号は削除できません。設定を変更／解除してから再度操作してください。(P.58参照)

しばらくお待ちください
…音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

しばらくお待ちください
(パケット)
…パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

しばらくたってから操作してください
…現在、起動できない状態になっています。しばらくしてから再度操作してください。

受信可能なチャンネルがサーチできませんでした
…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

受信できませんでした
…接続先設定で設定した接続先アドレスが間違っているため選択受信できません。設定を確認してから再度操作してください。(P.199参照)

受信できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

詳細を保存することができません
…トルカの詳細データが非対応データのため保存できませんでした。

シリアルポート登録待機できませんでした
…シリアルポート登録待機中にエラーが発生したためシリアルポート登録待機できませんでした。

スケジュールがいっぱいです
…FOMA端末内のスケジュールがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なスケジュールを削除してから再度操作してください。(P.381、P.382参照)

すでに他の機能が起動中です
解除できません

すでに他の機能が起動中です
起動できません

すでに他の機能が起動中です
切り替えできません

すでに他の機能が起動中です
接続できません

すでに他の機能が起動中です
設定できません

すでに他の機能が起動中です
登録できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.374参照)

すべて保護のため削除できません
…すべて保護されているため削除できません。保護を解除してから再度操作してください。(P.154、P.166、P.191参照)

赤外線送信できませんでした
…エラーが発生したため赤外線送信ができませんでした。

積算料金上限規制中
発信できません
…積算通話料金が上限を超えました。積算通話料金をリセットしてください。(P.389参照)

セキュリティエラーのため終了しました

セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました
…ｉアプリDXが強制終了しました。(P.273参照)

接続相手が見つかりません
…iC通信の際に、接続先が見つかりませんでした。

接続先が対応していません
…接続先設定で設定した接続先アドレスが対応していないため操作できません。設定を確認してから再度操作してください。(P.199参照)
…ユーザ証明書を操作中のため接続できません。ユーザ証明書の操作を終了してから再度操作してください。

接続できません
…接続先設定で設定した接続先アドレスが間違っているため接続できません。設定を確認してから再度操作してください。(P.199参照)
…電波が弱いため接続できません。電波の強い場所で再度操作してください。

接続できませんでした
…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

接続できませんでした
相手機器の状況を確認してください
…接続しようとしたサービスが、相手のBluetooth機器で有効になっていないため接続できませんでした。
…FOMA端末が対応しているサービスにBluetooth機器が対応していないため、登録できませんでした。

接続できませんでした(503)

接続できませんでした(562)
…ネットワークの問題で接続できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

接続に失敗しました
…通話中に、音声をBluetooth機器に切り替える際に、Bluetooth機器との接続に失敗しました。

設定できませんでした
…エラーが発生したため設定できませんでした。

前回のソフトウェア更新は正しく終了されませんでした
ソフトウェア更新を最初から実行してください
…ソフトウェア更新中にFOMA端末の電源が切られました。再度ソフトウェア更新を行ってください。(P.497参照)

選局情報がありません
…チャンネル情報が取得できないためお勧めメールを作成できません。

全件送信できません
…選択したファイルがすべてFOMA端末外への出力が禁止されているファイルのため送信できませんでした。

選択受信設定中です
起動できません
…メール選択受信設定が「ON」に設定されているため起動できません。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。(P.143参照)

選択できません
…「ｉモーション切り出し」で終点を選択する際に、始点より前または始点と同位置を選択したため選択できませんでした。もう一度始点から選択し直してください。(P.333参照)

操作が行われていない可能性があります
…処理中にmicroSDカードが取り外されたため、またはエラーが発生したため操作が行われていない可能性があります。「ムービー」フォルダ内のデータを確認してください。(P.326参照)

操作内容をご確認ください
…エラーが発生したため操作できませんでした。

送信先にデータを登録できません
…送信相手がデータをロックしています。

送信できない宛先があります

送信できなかった宛先があります
…いくつかの宛先が正しくありません。宛先を正しく入力してから送信してください。(P.130、P.169参照)

送信できませんでした

送信できませんでした(552)

送信できませんでした(XXX)
…メールが正しく送信できませんでした。XXXには3桁の数字が表示されます。

送信できません
宛先を確認してください(451)
…メールが正しく送信できませんでした。宛先を確認してから再度操作してください。(P.130、P.169参照)

送信できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています
…回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

送信に失敗しました
…現在地通知中に圏外になるなどで、現在地の通知に失敗しました。電波の強い場所で再度操作してください。

送信不可のファイルが添付されているため再送信できません
…メールにFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているため、再送信できませんでした。

送信メールが壊れているため再送信できません
…メールの本文のサイズがオーバーしていたり、本文の添付情報が壊れていたりしているため再送信できませんでした。

ソフトウェア更新機能起動中です
起動できません
…ソフトウェア更新中のため起動できませんでした。ソフトウェア更新が終了してから再度操作してください。

ソフトに誤りがあります

ソフトに誤りがあるためダウンロードできません
…ソフトのデータが不正なためダウンロードやバージョンアップができません。

つづく

ソフトを起動しICカード内データを削除後ソフトを削除してください
…ICカード内にデータが残っているためおサイフケータイ対応ｉアプリを削除できません。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して登録データを削除してから再度操作してください。

タ

対応機種ではありません
…ダウンロードやバージョンアップしようとしているソフトがFOMA端末に対応していません。

対応していないコンテンツがあります
…FOMA端末に対応していないデータが含まれています。

対応ソフトがあるため削除できません
…対応するメール連動型ｉアプリがあるため削除できません。

対応ソフトが削除されています
フォルダ内表示を参照してください
…対応するメール連動型ｉアプリが削除されています。

タイトル変更できません
…タイトル編集時に文字を入力しなかったり、空白のみ入力したりすることはできませんのでタイトルを変更できませんでした。文字を入力してから再度操作してください。(P.319参照)

タイムアウトしました
…Bluetoothパスキー入力中に相手のBluetooth機器から切断されました。
…Bluetooth機器からの応答がないため登録または接続できませんでした。
…ダイヤルアップ登録待機の最大待機時間が経過したためダイヤルアップ登録待機を終了しました。

ダイヤル発信制限設定中です
…ダイヤル発信制限が設定されています。ダイヤル発信制限を解除してから再度操作してください。(P.118参照)

ダウンロード済みデータがあります
ネットワーク接続できません
…ムービー取得完了の画面で保存を行い、データ取得完了の画面を終了してください。(P.208参照)

ダウンロードできませんでした

ダウンロードできませんでした
更新を中止します
…他の機能が起動中、またはエラーが発生したためダウンロードができませんでした。

ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい
…パケ･ホーダイ／パケ･ホーダイフル／パケ･ホーダイ ダブルをご利用の場合、一定時間内に大量の通信を行うと、一定時間接続できなくなることがあります。しばらくしてから再度操作してください。

ただいまｉモードメールが混みあっています
しばらくお待ち下さい(553)
…回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

チャネル情報取得に失敗しました
…ｉチャネルで情報を取得する際に、チャネル情報が一部不足またはすべて取得できなかったため取得に失敗しました。

チャンネルは見つかりませんでした
…現在その地域で受信できる放送局が見つかりませんでした。

中断されました
…データ通信中にパソコン側から接続が切断されました。

通知アイコン点灯していません
…上限通知アイコンが点灯していないため上限通知アイコンは消去できません。

データが不足しているため起動できません
…起動しようとしたｉアプリが部分データしか保存されていないため起動できませんでした。ｉアプリをすべてダウンロードしてから再度操作してください。(P.270参照)

データ結合できませんでした
…読み取ったデータを結合できませんでした。今まで読み込んだデータは破棄されます。

電話帳がいっぱいです
…FOMA端末内の電話帳がいっぱいになったため受信できませんでした。不要な電話帳を削除してから再度操作してください。(P.88参照)

登録外着信拒否設定中です
…登録外着信拒否が「拒否」に設定されています。設定を「許可」にしてから再度操作してください。(P.123参照)

登録機器がいっぱいです
上書きできる機器がありません
…Bluetooth機器が最大登録台数まで登録されているためこれ以上登録できません。不要なBluetooth機器を削除してください。(P.398参照)

登録中です
しばらくしてからご利用ください(554)
…ユーザ登録中のため操作できません。しばらくしてから再度操作してください。

登録できませんでした
…エラーが発生したため登録できませんでした。

ナ

入力形式が正しくありません
…入力したUSSDが間違っています。正しいUSSDを入力してください。(P.430参照)

入力データまたはURLが長すぎます
…入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから再度送信してください。(P.184参照)

入力データをご確認ください(205)
…入力内容が間違っています。入力内容を確認してから再度操作してください。

認証タイプに未対応です(401)
…対応していない認証タイプのため接続できません。

認証できませんでした
…認証エラーが発生しました。

ネットワークを見つけられません
…指定したネットワークに接続できません。ただし、その後アンテナマークが表示されればネットワークに接続できています。

残りのデータを取得できません
データを削除しました
…部分的に保存したファイルの残りのデータをダウンロードする際に、エラーが発生してダウンロードできないため、データが削除されました。

ハ

バージョンアップできません

バージョンアップできませんでした
…エラーが発生したためバージョンアップができませんでした。

パーソナルデータロック設定中です
…パーソナルデータロックが設定されています。パーソナルデータロックを解除してから再度操作してください。(P.117参照)

パーソナルデータロック設定中です
内蔵代替画像を送信します
…パーソナルデータロックが設定されているときは「内蔵」の代替画像が送信されます。

倍率を入力してください
…倍率が入力されていません。倍率を入力してから再度操作してください。(P.366参照)

発信できません
…エラーが発生したため発信できませんでした。

番組更新中です
…Music&Videoチャネルの番組更新中のため、ダウンロードまたは再生ができません。しばらくたってから再度操作してください。

ピクチャが表示できません
…画像データが不正なため表示できません。

表示できません
…対応するソフトが起動中です。ソフトを終了してから再度操作してください。(P.272参照)

ファイル名変更できません
…ピリオドから始まるファイル名や半角英数字以外の禁止文字を含んだファイル名には変更できません。正しいファイル名を入力してから再度操作してください。(P.320参照)

フォーマットエラーです
正しいフォーマットのカードを挿入してください
…P-09A未対応フォーマットのmicroSDカードです。P-09Aでフォーマットしてください。(P.352参照)

フォトが大きすぎるため作成できません
…撮影した画像が大きすぎるためｉモードメールに添付できません。

振分け条件がいっぱいのため登録できません
…すでに最大件数設定されています。不要な設定を解除してから再度操作してください。(P.161参照)

編集中のため削除できません
…他の機能で使用しているため削除できません。他の機能を終了してから再度操作してください。(P.374参照)

他の機能が起動中のため起動できません
…マルチタスクで同時に起動できない機能です。使っていない機能を終了してから再度操作してください。(P.374参照)

保護のため削除できません
…保護されているデータのため削除できませんでした。保護を解除してから再度操作してください。(P.154、P.166、P.191参照)

保存可能サイズを超えているため設定できません
…「ファイル制限」を設定することによって保存可能サイズを超えてしまったため設定できませんでした。

保存期限が過ぎたためファイルを受信できません(492)
…未取得の添付ファイルがｉモードセンターの保存期間を過ぎているため取得できませんでした。

保存先設定できません
…フォルダ内に保存できる空き番号が存在しないため設定できません。

保存できません
…サイトからデータを取得できなかったため保存できませんでした。

保存できませんでした
…エラーが発生したためトルカのコピーができませんでした。
…エラーが発生したため保存できませんでした。

本文中画像が削除されます
…FOMA端末外への出力が禁止されている画像がメール本文に貼り付けられているため削除されました。

本文編集できません
…添付ファイルが10000バイトあるため、本文を入力できません。

マ

見つかりませんでした
…FOMA端末の周辺にBluetooth機器が1台も見つかりませんでした。

つづく

無効なデータです
…ムービーを再生する際にデータが以下のような場合、再生できません。
・Windows Media以外のデータ、またはファイルの中身が不正なデータの場合
・画像サイズが800ドット×480ドットより大きい、または画像ビットレートが2Mbpsより大きい、または音声ビットレートが384kbpsより大きいデータの場合
・保存可能なデータをダウンロードする際にサーバから不明な応答があった場合
・対応していないストリーミングサーバであった場合(FOMA端末で対応するストリーミングサーバはWindows Media Services 4.1、Windows Media Services 9のみ)

無効なデータを受信しました

無効なデータを受信しました(XXX)
…受信したデータにエラーがあるため表示または保存できません。受信したデータは破棄されます。
XXXには3桁の数字が表示されます。

メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません
…メールセキュリティ設定中のためダウンロードできません。メールセキュリティを解除してから再度操作してください。(P.121、P.153参照)

メール選択受信設定が受信しないに設定されています
…メール選択受信設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。(P.143参照)

メールフォルダ利用中のため起動できません

メールフォルダ利用中のため削除できません

メールフォルダ利用中のためダウンロードできません
…対応するソフトが使用中です。ソフトを終了してから再度操作してください。(P.272参照)

メールを作成できません
…FOMA端末が読み込み中のためｉモードメールを作成できませんでした。しばらくしてから再度操作してください。

メモリ機能動作中
設定できません
…microSDカードが使用中のため設定できません。

メモリ番号:XXX
書き換えできません
…シークレット登録した電話帳のメモリ番号と同じメモリ番号のため登録できません。違うメモリ番号に登録してください。
XXXには3桁の数字が表示されます。(P.80参照)

メモリ不足です
更新を中止します

メモリ不足です
ドキュメントビューアを終了します

メモリ不足です
トルカ一覧に戻ります

メモリ不足です
ページを表示できません
Memory shortage
Unable to display the page

メモリ不足です
文字スタンプが作成できませんでした
…メモリが不足したため処理を中断します。

メロディが設定されていません
…プログラム編集がされていない状態でプログラムを再生しようとしたときに表示します。プログラムを編集後、プログラム再生してください。(P.357参照)

ヤ

容量不足です
…保存容量がいっぱいのため操作できません。

呼出時間表示設定中です
…呼出時間表示設定が「ON」に設定されています。設定を「OFF」にしてから再度操作してください。(P.123参照)

読み込みエラーです

読み込みできませんでした
…microSDカードの情報読み込み中にエラーが発生しました。

読み込みできませんでした
終了します
…microSDカードの情報読み込み中にmicroSDカードが抜かれました。microSDカードを装着してから再度操作してください。(P.344参照)
…「移行可能コンテンツ」フォルダ内に保存されているファイルを、保存したときと異なるFOMAカードを挿入して再生しようとしたため読み込みできません。ファイルの保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

ラ

ライセンス取得できませんでした
…ムービーのライセンス情報の取得ができなかったため再生できません。

利用可能なピクチャがありません
…サイズに合ったフレームがありません。

履歴表示OFF設定中です
…履歴表示設定が「OFF」に設定されています。設定を「ON」にしてから再度操作してください。(P.119参照)

リンク先のページをダウンロードしていません
…PDFデータにリンクが設定されていて、そのリンク先がダウンロードされていないため表示できませんでした。

録画準備中です
録画できません
…録画終了直後は録画できません。しばらくしてから再度操作してください。

英数字

FOMAカード(UIM)が異なるため起動できませんでした
…FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリダウンロード時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

FOMAカード(UIM)が異なるためご利用できません
…FOMAカードセキュリティ機能により操作できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

FOMAカード(UIM)が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
…FOMAカードセキュリティ機能によりｉアプリを起動できません。データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

FOMAカード(UIM)が異なるため正しく表示できません
…FOMAカードセキュリティ機能により画面メモが正しく表示できません。画面メモ保存時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。(P.37参照)

FOMAカード(UIM)もしくは楽曲データのライセンス情報が異なるため再生できません
…FOMAカードセキュリティ機能により再生できません。着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードを挿入してから再度操作してください。FOMAカードが着うたフル®の取得時に挿入していたFOMAカードである場合、FOMA端末内の楽曲ライセンス情報が不正なため再生できません。端末初期化を行ってから再度操作してください。(P.126参照)

ｉアプリ To 設定されていません
…「ｉアプリ To 設定」でチェックが付いていないためｉアプリを起動できません。チェックを付けてから再度操作してください。(P.273参照)

ｉモードセンターが混み合っています
しばらくお待ちください(555)
…回線設備が故障、または回線が非常に混み合っています。しばらくしてから再度操作してください。

ｉモード問い合わせがすべて無効に設定されています
…ｉモード問い合わせ設定の項目すべてにチェックが付いていません。問い合わせる項目にチェックを付けてから再度操作してください。(P.163参照)

ICカード機能停止中のためダウンロードできません
…ICカードロック中のためダウンロードやバージョンアップができませんでした。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.296参照)

ICカード内データがいっぱいのためダウンロードできません
いずれかのサービスを削除しますか？
…おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする際、ICカード内データの容量が足りない場合に表示されます。
「YES」を選択すると、すでに登録しているおサイフケータイのサービス名と、ICカード内の容量(バイト数)が表示されますので、不足エリアサイズを確認したあと、削除するサービスを選択し、ｉアプリを起動して削除してください。

ICカードロック設定中です
…ICカードロックが設定されています。ICカードロックを解除してから再度操作してください。(P.296参照)

iC送信できませんでした
…エラーが発生したためiC送信できませんでした。

IDに誤りがあります
…入力したIDに間違いがあります。正しいIDを入力してください。(P.312参照)

microSDに書き込み保護がかけられています
…microSDカードがライトプロテクトされているため書き込みできません。外部機器などでmicroSDカードのライトプロテクトを解除してから再度操作してください。

microSDの交換またはチェックディスクをおすすめします
…microSDカードのフォーマットが異常です。microSDカードをチェックディスクしてください。(P.353参照)

PIN1がロックされました
PINロック解除コードを入力してください
…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.114参照)

つづく

PIN1コードが違います
…入力したPIN1コードが間違っています。正しいPIN1コードを入力してください。(P.112参照)

PIN1コードが認識できませんでした

PIN1コードがロックされています
…PIN1コードを3回間違えるとPINロックがかかります。PINロック解除コードを入力してください。(P.114参照)

PINロック解除コードが認識できませんでした

PINロック解除コードがロックされています

PINロック解除コードがロックされました
…PINロック解除コードを10回間違えるとPINロック解除コードがロックされます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SMS center設定を確認してください
…SMS center設定でSMSセンターが正しく設定されていません。SMS center設定を設定してから再度操作してください。(P.176参照)

SSL/TLS通信が切断されました
…改ざんされたSSL/TLS証明書を受信したか、SSL/TLSエラーが発生したため接続できませんでした。

SSL/TLS通信が無効です
…サーバの認証エラーのため接続できません。

SSL/TLS通信が無効に設定されています
…証明書設定でそのサーバのSSL/TLS証明書が無効に設定されています。有効に設定してから再度操作してください。(P.201参照)

Toの宛先を設定してください
…「To」に宛先が入力されていません。「To」に宛先を入力してから再度操作してください。(P.130、P.132参照)

ToDoがいっぱいです
…FOMA端末内のToDoがいっぱいになったため受信できませんでした。不要なToDoを削除してから再度操作してください。(P.385参照)

URLが不正です
…URLが不正なためサイトやインターネットに接続できません。

10～100000円の間で設定してください
…通話料金通知の上限料金は10～100000円の間で設定してください。(P.390参照)

+の位置が不正です
…「+」の位置が間違っています。電話番号の先頭に入力してください。(P.58参照)

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※本FOMA端末は、電話帳やiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。
  ※本FOMA端末は電話帳お預かりサービス(お申し込みが必要な有料サービス)をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  ※パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink(P.445参照)とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡のうえ、ご相談ください。

◎お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
・お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障受付窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子(イヤホンマイク端子)・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

つづく

◎お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
・火災・けが・故障の原因となります。
・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいたうえでお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

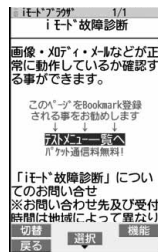
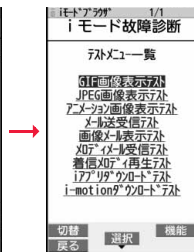
●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所:スピーカー、受話口部

●FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◎メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

・お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
・FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います。(一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります。)
※FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ｉモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面　テストメニュー一覧画面

●「ｉモード故障診断サイト」への接続方法
ｉモードサイト:
ｉMenu→お知らせ→サービス・機能
→ｉモード→ｉモード故障診断

サイト接続用QRコード

●ｉモード故障診断時のパケット通信料は無料となります。(海外からのアクセスの場合は有料になります)
●FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
●各テスト項目で動作をご確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
●ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報(機種名やメールアドレスなど)が自動的にサーバ(ｉモード故障診断サーバ)に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
●ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

<ソフトウェア更新>

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
FOMA端末を操作するうえで重要な部分であるソフトウェアを更新することで、FOMA端末の機能・操作性を向上させることができます。
※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

【自動更新】：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
【即時更新】：更新したいときすぐに更新を行います。
【予約更新】：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

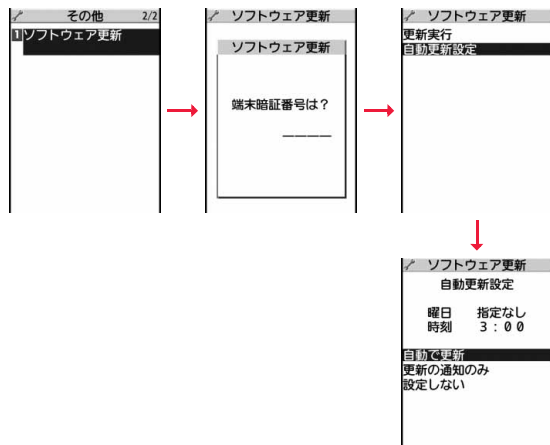
■ご利用にあたって
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ・電源が入っていないとき
  - ・日付時刻を設定していないとき
  - ・通話中
  - ・圏外にいるとき
  - ・PIN1コードロック中
  - ・おまかせロック中
  - ・セルフモード設定中
  - ・他の機能が起動中のとき
  - ・FOMAカードを挿入していないとき
  - ・パソコンなどの外部機器と接続中のとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用できません。（ダウンロード中は音声着信・着信転送・伝言メモ操作が可能です。）
- ソフトウェア更新の際にはサーバ（当社のサイト）へSSL/TLS通信を行います。SSL/TLS証明書を有効にしておいてください。（お買い上げ時：有効　設定方法についてはP.201参照。）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。
- 「メール選択受信設定」を「ON」に設定してある場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ソフトウェア更新を自動で行う＜自動更新設定＞

新しいソフトを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
書き換え可能な状態になると、「書き換え予告アイコン」が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えをするかを選択できます。
「書き換え予告アイコン」が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、「書き換え予告アイコン」は消去されます。

- 待受画面にソフトウェア更新のお知らせアイコンが表示されているときは、「自動更新設定」を変更できません。その場合は、お知らせアイコンを選択し、ソフトウェア更新が必要かチェックせずにお知らせアイコンを消去することで、「自動更新設定」を変更できるようになります。

自動更新日時の設定

1 MENU▶**設定／サービス**▶**その他**▶**ソフトウェア更新**▶**端末暗証番号を入力**▶**自動更新設定**

更新が必要な場合

1 **待受画面で「書き換え予告アイコン」を選択し、書き換え時刻の確認、書き換え時刻の変更、今すぐ書き換えのいずれかを選択します。**

- 書き換え予告アイコンは、設定時刻に書き換えを開始することを通知します。

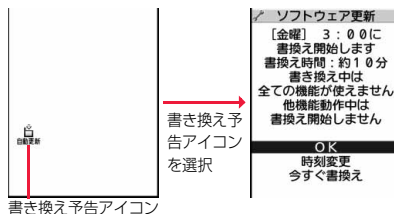
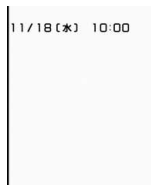
自動更新

書き換え予告アイコン

書き換え予告アイコンを選択

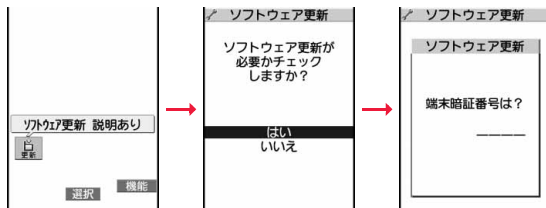
ソフトウェア更新
［金曜］ 3：00に
書換え開始します
書換え時間：約10分
書き換え中は
全ての機能が使えません
他機能動作中は
書換え開始しません
OK
時刻変更
今すぐ書換え

2 **「OK」を選択します。**

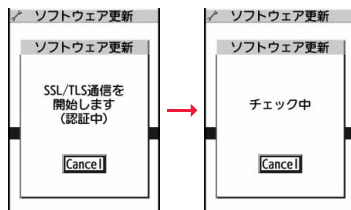
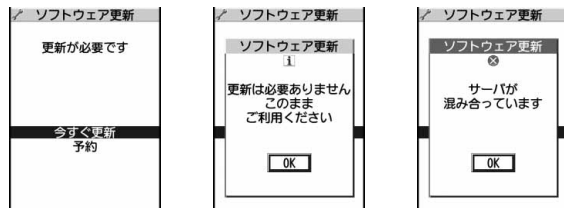
11/18［水］ 10:00

- 選択後は一度待受画面に戻り、設定時刻に書き換えを開始します。
- 「時刻変更」を選択した場合は、書き換えを行う曜日と時刻を設定します。
- 「今すぐ書換え」を選択した場合の操作についてはP.500「すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）」参照。
- 書き換え予告アイコンは、一度確認すると消えます。

ソフトウェア更新を起動する

「自動更新設定」で「更新の通知のみ」を選択した場合、ソフトウェア更新が必要になると「更新お知らせアイコン」でお知らせします。
ソフトウェア更新を起動するには「更新お知らせアイコン」を選択して行う方法とメニュー画面から行う方法があります。

「更新お知らせアイコン」を選択してソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で「更新お知らせアイコン」を選択します。

- 「いいえ」を選択すると、お知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。
- 「更新お知らせアイコン」は以下の場合に表示されます。
  - ･ドコモから通知があった場合
  - ･手順3で「更新が必要です」と表示された場合
  - ･予約起動でソフトウェア更新実行時に更新処理が失敗した場合
  - ･ソフトウェア更新の予約を取り消した場合

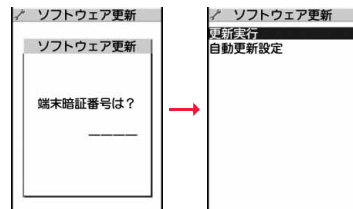
2 ソフトウェア更新が必要かチェックします。

- チェック中は音声電話を受けることができます。

3 ソフトウェア更新が不要の際は「更新は必要ありません」と表示されますので、そのままご利用ください。更新が必要な場合には「更新が必要です」と表示されます。このとき、「今すぐ更新」するか「予約」するかを選択できます。

ソフトウェア更新画面

※更新が必要ない場合の画面

※サーバが混み合っていて、ソフトウェア更新ができない場合の画面（しばらく待ってから再度ソフトウェア更新を起動してください。）

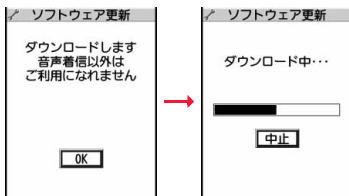
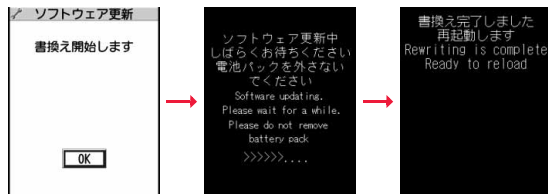
メニューからソフトウェア更新を起動する

1 MENU▶設定／サービス▶その他▶ソフトウェア更新▶端末暗証番号を入力▶更新実行

2 P.499［「更新お知らせアイコン」を選択してソフトウェア更新を起動する］手順2へ進みます。

すぐにソフトウェアを更新する(即時更新)

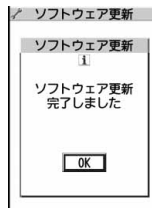
1 「今すぐ更新」を選択すると「ダウンロードします」と表示され、しばらくするとダウンロードを開始します。(「OK」を選択するとすぐにダウンロードを開始します。)

- ダウンロード中は音声電話を受けることができます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどを選択しなくても更新処理が実行されます。

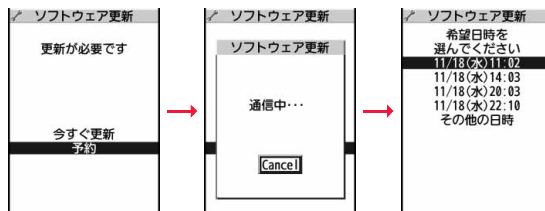
ソフトウェア更新
ダウンロードします
音声着信以外は
ご利用になれません
OK
→
ソフトウェア更新
ダウンロード中･･･
中止

2 ダウンロードが終わると、ソフトウェアを書き換えます。(「OK」を選択すると、すぐに書き換えを開始します。)
書き換えが終わると、自動的に再起動します。

- 書き換えを開始するまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 書き換え中は電話を受けることもできません。

※ソフトウェア書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
また、ACアダプタ(別売)などを接続していても、一時的に充電を停止します。

3 更新の完了を確認したら「OK」を選択して終了です。

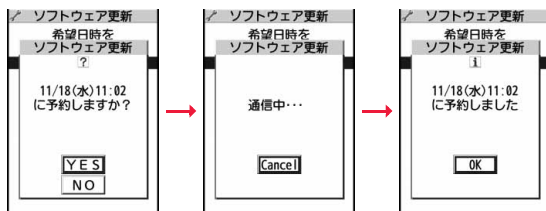
- 更新完了時に「OK」を選択しなかった場合、待受画面に更新が完了したことを表す「書き換え完了アイコン」が表示されます。
「書き換え完了アイコン」は、一度確認すると消去されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する(予約更新)

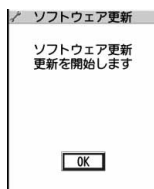
ダウンロードに時間がかかる場合、サーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する時刻をサーバと通信して設定しておけます。

1 ソフトウェア更新画面で「予約」を選択します。

予約可能な日時が表示されます。
- ソフトウェア更新の予約では、サーバの時刻が表示されます。

「その他の日時」を選択した場合

サーバと通信をしたあと、希望日と時間帯を選べます。時間帯を選択する画面には各時間帯の予約空き状況が
○:空きあり、△:空きわずか、×:空きなし
のように表示されます。希望する時間帯を1つ選択すると、再びサーバと通信して予約時刻の候補が表示されます。

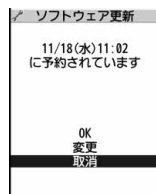
2 選択した日時の確認を行います。「YES」を選択します。再度サーバと通信を行い、予約は完了です。

予約した時刻になったときは

右の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します。
予約時刻前には、電池パックをフル充電し、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。

お知らせ

- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。
- アラームなどが起動している場合には、ソフトウェア更新が起動されない場合があります。
- 予約が完了したあとにP.126「端末初期化」を行うと、予約時刻になってもソフトウェア更新は起動しません。
  再度ソフトウェア更新の予約を行ってください。

予約した日時を確認・変更・取り消す

設定メニューから「ソフトウェア更新」を選択し、端末暗証番号を入力して「更新実行」を選択すると、予約時刻を確認できます。

予約を確認した画面から予約日時の変更や予約を取り消せます。変更する場合には「変更」を選択します。取り消す場合には「取消」を選択します。

ソフトウェアの更新を終了する

各画面で「Cancel」を選択した場合は、操作終了の画面が表示されます。

「YES」を選択すると、ソフトウェア更新を終了して待受画面に戻ります。「NO」を選択すると前の画面に戻ります。

お知らせ

- 操作中に電池残量が少なくなった場合、ソフトウェアの書き換えは行われず、操作が終了します。

<スキャン機能>

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロード・ｉモードメールやSMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。（P.502参照）
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防げませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャン機能を設定する<スキャン機能設定>

スキャン機能を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックできます。
また、メッセージスキャンを「有効」に設定すると、受信したSMSを表示する際、自動的にチェックできます。

1 **MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶スキャン機能設定▶項目を選択**

スキャン機能……スキャン機能を実行するかどうかを設定します。
メッセージスキャン……SMSを表示する際にスキャン機能を実行するかどうかを設定します。

- 「スキャン機能」を「無効」に設定しているときは、「メッセージスキャン」は設定できません。

2 **有効・無効▶YES**

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。（P.503参照）

お知らせ

- 留守番電話の着信通知機能などのSMSはスキャン対象外となります。

パターンデータを更新する<パターンデータ更新>

1 **MENU▶設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶パターンデータ更新▶YES▶YES**

- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

2 **OK**

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 以下の場合はパターンデータを更新できません。
  - ･日付時刻を設定していないとき
  - ･通話中
  - ･圏外にいるとき
  - ･FOMAカードを挿入していないとき
  - ･オールロック中
  - ･他の機能が起動中のとき
  - ･パソコンなどの外部機器と接続中のとき
  - ･セルフモード設定中
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。

パターンデータを自動的に更新する<自動更新設定>

パターンデータが新しくなったときに、FOMA端末内のパターンデータを自動的に更新するかどうかを設定します。

1 MENU▶**設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶自動更新設定▶有効・無効**

2 **YES▶OK**

- 手順1で「有効」を選択した場合は、自動更新時に携帯電話情報を送信する旨の確認画面が表示されます。
- ｉモード接続中に中止する場合は「Cancel」を選択します。

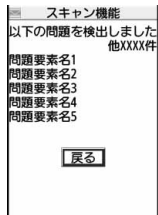
お知らせ

- 自動更新設定および自動更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- 自動更新が終了すると、デスクトップに「 」（パターン更新完了）の「お知らせアイコン」が表示されます。更新できなかった場合には「 」（パターン更新失敗）が表示されます。「 」を選択すると、更新結果の内容が表示されます。

スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

障害を引き起こす可能性を含むデータがあった場合は警告画面が表示されます。警告画面で「詳細」を選択すると問題要素の名前が表示されます。

- 問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略されます。
- 検出した問題要素によっては、「詳細」が表示されない場合があります。

■スキャン結果の表示について

警告レベル0	警告レベル1	警告レベル2
スキャン機能 正常に動作できない場合があります OK 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細
OK ...... 動作を継続します。	YES.....動作を中止し、終了します。 NO.......動作を継続します。	OK.......動作を中止し、終了します。

警告レベル3	警告レベル4
スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ YES NO 詳細	スキャン機能 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細
YES.... データを削除し、終了します。 NO...... 動作を中止し、終了します。	OK ....データを削除し、終了します。

- ｉモードメールやSMSを表示する際の警告画面は、上記の画面と異なる場合があります。

パターンデータのバージョンを確認する<バージョン表示>

1 MENU▶**設定／サービス▶ロック／セキュリティ▶スキャン機能▶バージョン表示**

主な仕様

■本体

項目			仕様
品名			P-09A
サイズ(閉じたとき)			高さ：約110mm 幅　：約50mm 厚さ：約12.5mm(最厚部：約16.5mm)
質量(電池パック装着時)			約110g
連続待受時間	FOMA/3G	3G/GSM切替[3G]	移動時：約400時間
		3G/GSM切替[自動]	静止時：約610時間 移動時：約380時間
	GSM	3G/GSM切替[自動]	静止時：約260時間
連続通話時間	FOMA/3G		音声電話時　：約190分 テレビ電話時：約140分
	GSM		音声電話時　：約230分
ワンセグ視聴時間			約290分 (モバイルWスピード OFF時：約320分) (ECOモード時：約410分)
充電時間			ACアダプタ：約120分 DCアダプタ：約120分
液晶部	方式		ディスプレイ　　　　　：TFT　262,144色 プライベートウィンドウ：有機EL　1色
	サイズ		ディスプレイ　　　　　：約3.0inch プライベートウィンドウ：約0.9inch
	画素数		ディスプレイ： 409,920画素(480ドット×854ドット) プライベートウィンドウ： 4,608画素(128ドット×36ドット)
撮像素子	種類		CMOS
	サイズ		1/4.0inch
カメラ部	有効画素数		約320万画素
	記録画素数(最大時)		約320万画素
記録部	静止画記録枚数※1		最大約2400枚(お買い上げ時) 最大約3500枚(削除可能プリインストールデータ削除時)
	静止画連続撮影		VGA：4枚　QVGA：5～10枚 QCIF：5～20枚　Sub-QCIF：5～20枚
音楽再生	連続再生時間※2		SDオーディオ(バックグラウンド再生対応)： 約6500分※3 着うたフル®(バックグラウンド再生対応)： 約6000分※3 ｉモーション(着うた®を含む)： 約1260分※3 WMAデータ(バックグラウンド再生対応)： 約4800分 Music&Videoチャネル (バックグラウンド再生対応) 　音声：約6000分 　動画：約240分
保存容量	着うた®		約250Mバイト※4
	着うたフル®		

※1：画像サイズ：Sub-QCIF(128×96)、画質：ノーマル、ファイルサイズ：10Kバイト
※2：連続再生時間とは、FOMA端末を閉じた状態で、ステレオイヤホンマイク01(別売)を使用して再生できる時間の目安です。
※3：ファイル形式：AAC形式
※4：静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、トルカ、ｉアプリと共有

■電池パック

項目	仕様
品名	電池パック P19
使用電池	Li-ion(リチウムイオン)電池
電圧	3.7V
容量	800mAh

静止画撮影の仕様

ファイル形式	JPEG
圧縮方式	Baseline方式
拡張子	jpg
タイトル／ファイル名	保存日時と枚数により自動設定(2009年11月18日10時00分1枚目に撮影した場合) タイトル 「2009/11/18 10:00」 ファイル名 「200911181000000」(保存先設定:本体) 「P1000001」(保存先設定:microSD)
最大ファイルサイズ	1.0Mバイト
メール添付･出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約250Mバイト(本体)

保存できる静止画枚数の目安

保存できる枚数は撮影環境により異なります。
※本体･microSDカードには保存可能なファイル数に上限があります。

■P-09Aに保存可能な枚数

画質設定／画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
3M(1536×2048)	約260枚	約323枚	約367枚
2Mワイド(1920×1080)	約372枚	約516枚	約640枚
2M(1200×1600)	約372枚	約516枚	約640枚
1M(960×1280)	約516枚	約727枚	約969枚
待受(480×854)	約1684枚	約2285枚	約2909枚
VGA(640×480)	約2461枚	約2909枚	約3500枚
QVGA(240×320)	約3500枚	約3500枚	約3500枚
QCIF(176×144)	約3500枚	約3500枚	約3500枚
Sub-QCIF(128×96)	約3500枚	約3500枚	約3500枚

●削除可能なプリインストールデータを削除した場合の保存可能枚数です。

■microSDカード(64Mバイト)に保存可能な枚数

画質設定／画像サイズ	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
3M(1536×2048)	約62枚	約77枚	約87枚
2Mワイド(1920×1080)	約90枚	約124枚	約154枚
2M(1200×1600)	約90枚	約124枚	約154枚
1M(960×1280)	約124枚	約175枚	約227枚
待受(480×854)	約387枚	約552枚	約645枚
VGA(640×480)	約552枚	約645枚	約774枚
QVGA(240×320)	約1290枚	約1290枚	約1935枚
QCIF(176×144)	約1935枚	約1935枚	約3870枚
Sub-QCIF(128×96)	約3870枚	約3870枚	約3870枚

動画撮影の仕様

ファイル形式	MP4、ASF(「動画容量設定」を「長時間」に設定した場合)
符号化方式	映像:MPEG4　音声:AMR、G.726
拡張子	3gp、asf
タイトル／ファイル名	撮影日時により自動設定(2009年11月18日10時00分に撮影した場合) タイトル 「2009/11/18 10:00」 ファイル名 「200911181000」(保存先設定:本体) 「MOL001」(保存先設定:microSD)
最大ファイルサイズ	2Mバイト(保存先設定:本体) 撮影時にｉモーションメール添付可能なサイズに制限できます。(P.222参照)
メール添付･出力	メール添付やmicroSDカードなどによるFOMA端末外への出力可能
保存容量	約250Mバイト(本体)

録画時間の目安

撮影できる時間は撮影環境により異なります。撮影画面に表示される記録可能時間･容量も参考にしてください。

■P-09Aに録画可能な時間(ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください)

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA (640×480)	メール制限 (小)	通常	約2秒	約4秒	約8秒	約15分	約31分	約60分
		映像のみ	約2秒	約4秒	約8秒	約15分	約31分	約61分
		音声のみ	約305秒			約2581分		
	メール制限 (大)	通常	約8秒	約16秒	約30秒	約15分	約31分	約60分
		映像のみ	約8秒	約16秒	約30秒	約15分	約31分	約61分
		音声のみ	約20分			約2581分		
HVGAワイド (640×352)	メール制限 (小)	通常	約3秒	約5秒	約10秒	約20分	約40分	約80分
		映像のみ	約3秒	約5秒	約10秒	約21分	約41分	約82分
		音声のみ	約305秒			約2581分		
	メール制限 (大)	通常	約11秒	約20秒	約40秒	約20分	約40分	約80分
		映像のみ	約11秒	約20秒	約40秒	約21分	約41分	約82分
		音声のみ	約20分			約2581分		
QVGA (320×240)	メール制限 (小)	通常	約4秒	約5秒	約15秒	約31分	約40分	約120分
		映像のみ	約4秒	約5秒	約15秒	約31分	約41分	約123分
		音声のみ	約305秒			約2581分		
	メール制限 (大)	通常	約16秒	約20秒	約59秒	約31分	約40分	約120分
		映像のみ	約16秒	約20秒	約60秒	約31分	約41分	約123分
		音声のみ	約20分			約2581分		
QCIF (176×144)	メール制限 (小)	通常	約10秒	約35秒	約69秒	約79分	約291分	約576分
		映像のみ	約10秒	約39秒	約78秒	約82分	約328分	約656分
		音声のみ	約305秒			約2581分		
	メール制限 (大)	通常	約39秒	約141秒	約279秒	約79分	約291分	約576分
		映像のみ	約40秒	約159秒	約318秒	約82分	約328分	約656分
		音声のみ	約20分			約2581分		
Sub-QCIF (128×96)	メール制限 (小)	通常	約19秒	約62秒	約122秒	約154分	約523分	約1026分
		映像のみ	約20秒	約78秒	約156秒	約164分	約656分	約1313分
		音声のみ	約305秒			約2581分		
	メール制限 (大)	通常	約75秒	約254秒	約497秒	約154分	約523分	約1026分
		映像のみ	約80秒	約318秒	約10分	約164分	約656分	約1313分
		音声のみ	約20分			約2581分		

●削除可能なプリインストールデータを削除した場合の録画可能時間です。

■microSDカード(64Mバイト)に録画可能な時間(ボイスレコーダーの録音時間は「音声のみ」をご覧ください)

画像サイズ	動画容量設定	撮影種別設定	1回あたりの録画可能時間			総録画可能時間		
			画質設定			画質設定		
			スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
VGA (640×480)	長時間	通常	約227秒	約447秒	約14分	約227秒	約447秒	約14分
		映像のみ	約231秒	約462秒	約15分	約231秒	約462秒	約15分
		音声のみ	約180分			約624分		
HVGAワイド (640×352)		通常	約302秒	約577秒	約18分	約302秒	約577秒	約18分
		映像のみ	約308秒	約10分	約20分	約308秒	約10分	約20分
		音声のみ	約180分			約624分		
QVGA (320×240)		通常	約447秒	約577秒	約26分	約447秒	約577秒	約26分
		映像のみ	約462秒	約10分	約30分	約462秒	約10分	約30分
		音声のみ	約180分			約624分		
QCIF (176×144)		通常	約18分	約60分	約96分	約18分	約60分	約96分
		映像のみ	約20分	約80分	約160分	約20分	約80分	約160分
		音声のみ	約180分			約624分		
Sub-QCIF (128×96)		通常	約34分	約96分	約137分	約34分	約96分	約137分
		映像のみ	約40分	約160分	約180分	約40分	約160分	約320分
		音声のみ	約180分			約624分		

FOMA端末の保存・登録・保護件数

機能		保存・登録件数＜保護件数＞	参照先
電話帳		1000※1	78
ワンセグ	テレビリンク	50	239
	視聴予約	100	241
	録画予約	100	242
スケジュール	スケジュール	2500※2	379
	祝日	100※3	380
ToDo		100	384
テキストメモ		20	390
メール（SMSとｉモードメールの合計）	受信メール	最大2500※3、※4、※5、※6＜最大2500※4＞	147
	送信メール	最大1000※4、※6、※7＜最大1000※4＞	148
	保存メール※8	最大20※4	148
	ユーザ作成フォルダ（受信BOX）	22	153
	ユーザ作成フォルダ（送信BOX）	22	153
エリアメール		30	147
テンプレート	デコメール®	最大100※3、※4	138
	デコメアニメ®	最大100※3、※4	139
メッセージ	メッセージR	最大100※4＜最大50※4＞	166
	メッセージF	最大100※4＜最大50※4＞	166
ブックマーク	ブックマーク	600	188
	ブックマークフォルダ	40（「Bookmark」を含む）	188
画面メモ（ｉモードブラウザ）	画面メモ	最大300※4＜最大150※4＞	189
	画面メモフォルダ	40（「画面メモ」を含む）	190
画面メモ（フルブラウザ）	画面メモ	最大300※4＜最大150※4＞	189
	画面メモフォルダ	40（「画面メモ」を含む）	190
静止画		最大3500※4、※9、※10	318
	ユーザ作成フォルダ	20	356
ｉモーション		最大3500※4、※9、※10	326
	ユーザ作成フォルダ	19	356
メロディ		最大3500※4、※9、※10	340
	ユーザ作成フォルダ	20	356
キャラ電		3※3	337
PDFデータ		最大3500※4、※9、※10	364
Music&Videoチャネル	配信番組	2	252
	保存番組	最大10※4、※10	252
きせかえツール		最大3500※4、※9、※10	343
マチキャラ		最大3500※4、※9、※10	339
トルカ		最大495※4、※10	296
	ユーザ作成フォルダ	20	298
ｉアプリ		最大100※4、※10	270
	メール連動型ｉアプリ	5	270

※1　：50件までFOMAカードに保存できます。
※2　：ｉスケジュールも含めます。
※3　：お買い上げ時に登録されているデータも含めます。
※4　：データ量によって実際に保存・登録、保護できる件数が少なくなる場合があります。
※5　：「チャット」フォルダ、「ゴミ箱」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※6　：SMSは、さらに受信メールと送信メールを合わせて20件までFOMAカードに保存できます。（P.391参照）
※7　：「チャット」フォルダ、ｉアプリメール用フォルダ内のメールも含めます。
※8　：作成中の未送信メールを保存できます。
※9　：お買い上げ時に登録されているデータのうち、デコメ®絵文字、デコメ®ピクチャ、PDFデータ、きせかえツール、マチキャラのみ保存・登録件数に含まれます。
※10：静止画、ｉモーション、メロディ、PDFデータ、ミュージック、Music&Videoチャネル、きせかえツール、マチキャラ、トルカ、ｉアプリのファイルは保存・登録件数や容量を共有しています。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-09Aの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機P-09AのSARの値は0.625W/kgです。
この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ：
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ：
http://panasonic.jp/mobile/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.525 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.
*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

The product “P-09A” is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

※The European RTTE approval of this product is limited to the use of the P-09A handset, Battery Pack and FOMA AC Adapter for Global use (100 to 240 V AC) only. Other accessories are not part of the approval.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user’s authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.581 W/kg, and when worn on the body, is 0.380 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/ after search on FCC ID UCE209018A.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

- 「FOMA」「mova」「着もじ」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉアプリDX」「ｉモーション」「デコメール®」「デコメ®」「着モーション」「キャラ電」「トルカ」「きせかえツール」「電話帳お預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「ビジュアルネット」「Vライブ」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「セキュリティスキャン」「ｉモーションメール」「ｉエリア」「ショートメール」「WORLD WING」「公共モード」「メッセージF」「パケ・ホーダイ」「ファミリーワイドリミット」「マルチナンバー」「DoPa」「sigmarion」「musea」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「ケータイお探しサービス」「マチキャラ」「IMCS」「OFFICEED」「うた・ホーダイ」「2in1」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「デコメアニメ®」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」「docomo SMART series」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴ「i-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iC」ロゴ「iD」ロゴ「Music&Videoチャネル」ロゴ「HIGH-SPEED」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「地図トーク」は、株式会社ゼンリンデータコムの商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- ナビダイヤルサービス名称およびナビダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- ［FeliCaマーク］はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。

- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 使いかたナビ®は株式会社カナックの登録商標です。
- 「ワンプッシュオープン™」はパナソニック株式会社の商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule®は株式会社エイチアイの商標です。
- カメラAF用検出機能は、オムロン株式会社のOKAO Visionを使用しています。
  OKAOは日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

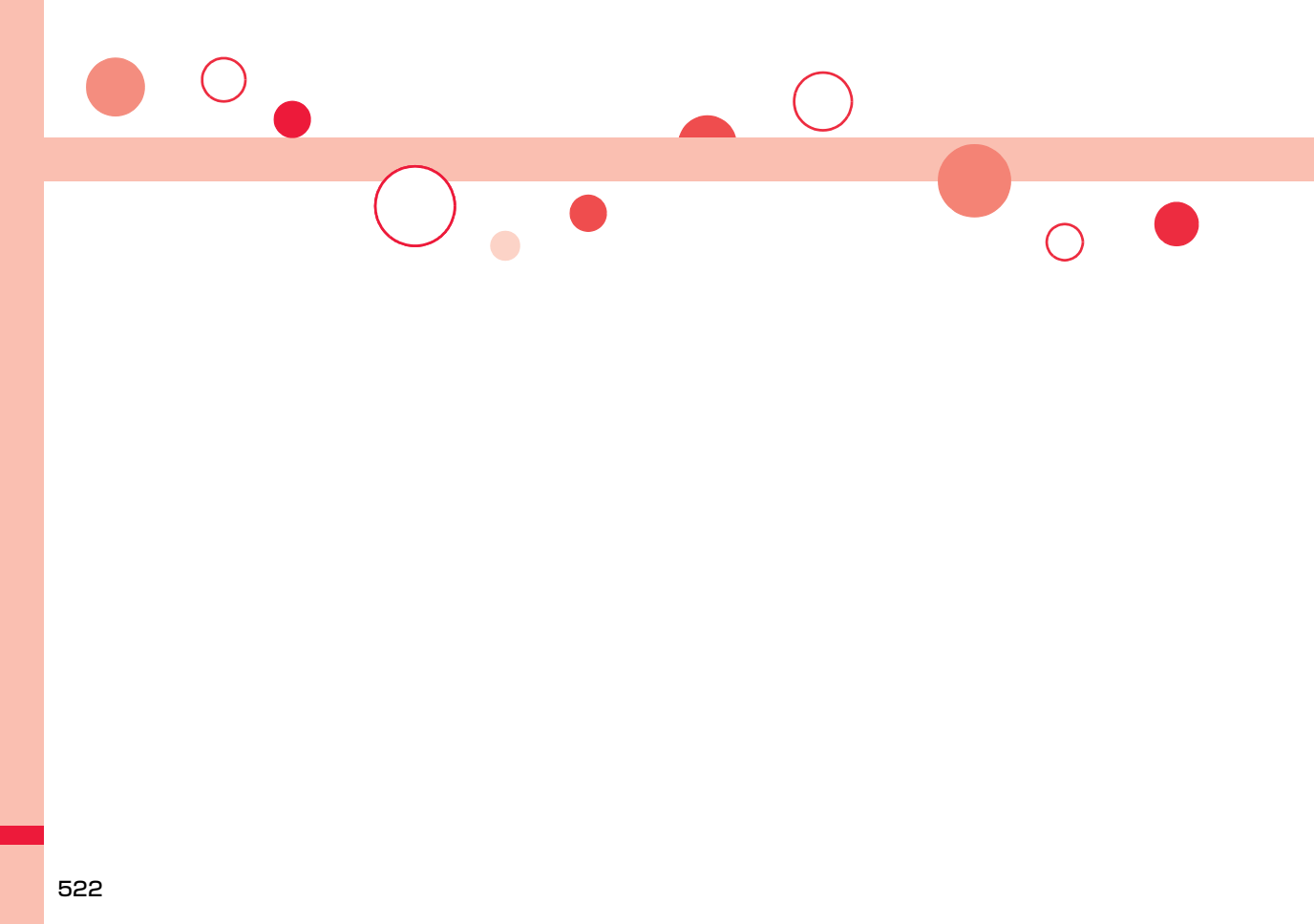
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright © 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- IrFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™およびAdobe Reader® LE テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2008 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe Reader LE Copyright © 1993-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

つづく

- FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「CROSS YOU」は、ソニー株式会社の商標です。
- Google、モバイルGoogleマップは、Google Inc.の登録商標です。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、本製品付属CD-ROM内の「GPL･LGPL等について」フォルダ内の「readme.txt」をご参照ください。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2009 All Rights Reserved.
- テキストプロファイラはオムロン株式会社の商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 本製品のBluetoothソフトウェア･スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth™ Stack for Embedded Systems Spec 2.0を搭載しております。
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ･ MPEG-4 Visual、AVC、VC-1の規格に準拠する動画(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録する場合
  - ･ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合
  - ･ MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 「PRINT Image Matching」「PRINT Image MatchingⅡ」「PRINT Image MatchingⅢ」に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産･販売されています。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
  Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
  Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品に搭載しているWindows Media Technologyはマイクロソフト社および第三者の知的財産権により保護されています。本製品以外にマイクロソフト社およびその関連会社の許可なくその技術を使用することおよび頒布することは禁止されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトもしくはマイクロソフトによる承認を受けた子会社からのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツプロバイダーは、本製品に含まれるWindows Mediaデジタル著作権管理技術(WM-DRM)によってコンテンツの内容を保護し(以下、"保護コンテンツ"といいます)、そのコンテンツの著作権を含む知的財産権が不正に利用されないようにしています。本製品は、保護コンテンツの再生にWM-DRMソフトウェアを使用しています。本製品のWM-DRMソフトウェアの安全性が損なわれた場合、保護コンテンツの所有者はWM-DRMソフトウェアによる本製品の保護コンテンツの複製、表示、再生を可能にする新ライセンス取得権の無効化をマイクロソフトに要求できます。無効化は、WM-DRMソフトウェアによる保護コンテンツ以外のコンテンツの再生能力に影響するものではありません。インターネットもしくはパソコンから保護コンテンツのライセンスをダウンロードする際に、無効化されたWM-DRMソフトウェアリストが製品に送付されます。Microsoftはライセンスとともに、保護コンテンツ所有者に代わり無効化リストを製品にダウンロードする場合があります。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の引きかた

●本索引は、本書に記載されている用語や記載内容を要約した用語を50音順に収録しています。知りたい内容が見つからない場合は、別の用語で探してください。

<例：iアプリの「ソフト設定」でiアプリ待受画面を設定したいとき>

ソフト設定………273
アイコン情報………273
位置情報利用………274
地図設定………274
着信音／画像変更………274
通信設定………273
電話帳／履歴参照………274
トルカ参照………274
番組表ボタン設定………274
待受画面設定………289

待受画面設定(カメラ)………220
待受画面設定(iアプリ)………289
待受サイズ変換………324

iアプリバンキング………283
iアプリ待受画面………99, 289
iアプリメール………271

◆◇◆ ア ◆◇◆

◆◇◆ カ ◆◇◆

◆◇◆ サ ◆◇◆

◆◇◆ タ ◆◇◆

◆◇◆ ナ ◆◇◆

◆◇◆ ハ ◆◇◆

◆◇◆ マ ◆◇◆

◆◇◆ ヤ ◆◇◆

◆◇◆ ラ ◆◇◆

◆◇◆ ワ ◆◇◆

◆◇◆ 英数字 ◆◇◆

クイックマニュアル

クイックマニュアルのご使用方法

本書に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。
クイックマニュアル「海外利用編」は、海外で国際ローミング(WORLD WING)をご利用いただく際に携帯してください。

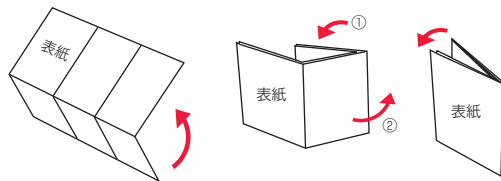
■切り取りかた

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。定規などを切り取り線に合わせて切り取れます。

- はさみなどで切り取る際には、けがなどに気を付けてください。

■折りかた

下図のように、表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折り畳んでお使いください。

- 1枚目、2枚目と順番に重ね、折り畳んでお使いください。

docomo P-09A

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先 <ドコモ インフォメーションセンター>

ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)151(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)113(無料) ※一般電話などからはご利用になれません。
一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、ｉモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
  ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/
  ｉモードサイト　ｉMenu▶お客様サポート▶ドコモショップ

<切り取り線>

電話帳の登録(本体)

(1秒以上)→本体

名前を入力

カナ→フリガナを編集

GR グループ→グループを選択

電話番号→電話番号を入力→アイコンを選択(4番号まで)

メールアドレス→メールアドレスを入力→アイコンを選択(3アドレスまで)

住所→郵便番号を入力→住所を入力

位置情報→項目を選択

現在地確認から付加
……現在地を測位して位置情報を登録→位置情報を確認→●

位置履歴から付加
……位置履歴から位置情報を選択して登録

画像から付加
……画像に登録されている位置情報を登録→フォルダを選択→画像を選択

自局番号から付加
……「自局番号表示」に登録している位置情報を登録→端末暗証番号を入力→●

誕生日→誕生日を入力

メモ→メモを入力

静止画→項目を選択

静止画選択…データBOX内の静止画を登録
静止画撮影…カメラを起動して撮影した静止画を登録

NO メモリ番号→3桁のメモリ番号を入力→✉

リダイヤル・発信履歴・着信履歴から登録

■FOMA端末(本体)に追加登録

リダイヤル・発信履歴・着信履歴を表示→i α→電話帳登録→本体→追加登録→検索方法を選択→電話帳を検索→登録する電話帳を選択→●→✉→YES

電話帳の修正

電話帳詳細画面を表示→MENU→修正したい項目を選択→内容を修正→✉→YES

文字の入力

■入力文字

漢・・・・・漢字ひらがな
ｶﾅ・・・・・カタカナ
英・・・・・英字
数・・・・・数字

■文字入力方式の選択

MENU→設定／サービス→その他→文字入力方式→入力モード→

モード1(かな方式)にチェック
モード2(2タッチ方式)にチェック
モード3(ニコタッチ方式)にチェック

→✉→優先的に使うモードを選択

■大文字・小文字切替、濁点・半濁点入力
文字を入力→＊を数回押す

■句読点入力
＃を数回押す

■漢字ひらがな、カタカナ、英字、数字入力モードの切替
✉を数回押す

■絵文字入力
MENU→絵文字を選択

■記号入力
＃(1秒以上)→記号を選択

■改行入力

＊を押す

■スペース入力

→絵文字／記号入力→スペース入力

■文字消去

でカーソル移動→CLR

テキストメモに「タダの菓子」を入力

■文字入力(編集)画面を表示

MENU→ステーショナリー→テキストメモ
→<未登録>を選択

■ひらがなを入力(モード1)

た→4を1回、を1回
だ→4を1回、＊を1回
の→5を5回
か→2を1回
し→3を2回

■文字を変換

で「の」までカーソルを移動→
→で「タダの」を選んで
→同様に残りの文字を確定

カメラ

■静止画撮影

TV→またはO→またはO

■連続撮影

TV→TV→TV→またはO
→静止画を選んでTV→またはO
※連続撮影した静止画を1枚だけ選択して保存する場合の手順です。

■動画撮影

TV→TV→またはO→またはO
→またはO

ワンセグ

■自動チャンネル設定

MENU→ワンセグ→チャンネル設定
→自動チャンネル設定→YES→YES
→タイトルを入力

■地域選択

MENU→ワンセグ→チャンネル設定→地域選択
→地域を選択→都道府県を選択→YES

■チャンネルリスト選択

MENU→ワンセグ→チャンネルリスト選択
→チャンネルリストを選択

■ワンセグを見る

TV(1秒以上)

音楽再生

■Music&Videoチャネル再生

MENU→MUSIC→Music&Videoチャネル
→番組を選択
または
MENU→データBOX→Music&Videoチャネル
→配信番組・保存番組→番組を選択

■ミュージックプレーヤー再生

MENU→MUSIC→ミュージックプレーヤー
→全曲→曲を選択

テレビ電話をかける・受ける

■テレビ電話をかける

相手の電話番号を入力→
→お話が終わったらで通話を終了

■テレビ電話を受ける

着信音が鳴り、着信／充電ランプが点滅
→または
→お話が終わったらで通話を終了

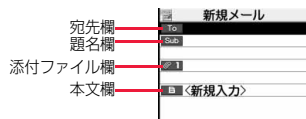
■ハンズフリーに切り替える

通話中・発信中・接続中→

<切り取り線>

ｉモードメール

ｉモードメールの作成・送信

✉→✉

宛先欄を選択→入力方法を選択
→宛先を入力または選択

題名欄を選択→題名を入力

本文欄を選択→本文を入力

✉を押してメールを送信→送信完了後●

ファイルの添付

■ピクチャ・メロディ・ｉモーション・トルカ・PDF・電話帳・スケジュール・ToDo・Bookmark・ドキュメントファイル・その他

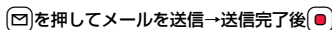
作成画面を表示→添付ファイル欄を選択
→添付したいファイルの種類を選択
→フォルダを選択→ファイルを選択

ファイルによって選択方法は異なります。

ｉモードメールの受信

「✉（ピンク）」が点滅
→受信結果画面が表示→「メール」を選択
→表示したいｉモードメールを選択

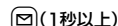
ｉモード問い合わせ

✉（1秒以上）

その他のメール機能

■返信

返信したいメールを選択または表示
→iα→返信／転送→ｉモードメールで返信・デコメアニメで返信・引用返信→本文欄を選択
→本文を入力→✉→送信完了後●

■転送

転送したいメールを選択または表示→iα
→返信／転送→転送→宛先欄を選択
→入力方法を選択→宛先を入力または選択
→✉→送信完了後●

機能一覧表

	メニュー	機能名称
メール		受信BOX
		送信BOX
		保存BOX
		新規メール作成
		新規デコメアニメ作成
		テンプレート
		ｉモード問い合わせ
		SMS作成
		SMS問い合わせ
		チャットメール
		メール選択受信
		メール設定
		SMS設定
		緊急速報「エリアメール」設定
ｉモード		ｉMenu 検索
		Bookmark
		画面メモ
		ラストURL

	メニュー	機能名称
ｉモード		URL入力
		ｉチャネル
		ｉモード設定
		フルブラウザホーム
ｉアプリ		ソフト一覧（本体）
		ｉアプリ（microSD）
		ｉアプリコール履歴
		ｉアプリ実行情報
		ｉアプリ設定
		ｉアプリについて
設定／サービス	サウンド	
	13	着信音選択
	50	着信音量
	30	ボタン確認音
	64	メロディ効果
	51	イヤホン切替設定
	68	メール／メッセージ鳴動
		充電確認音
	ディスプレイ	
	56	画面表示設定
	70	照明設定

設定／サービス		
		ビューブラインド
	86	カラーテーマ設定
		マチキャラ
	57	メニューアイコン設定
	52	プライベートメニュー設定
	63	デスクトップ
	93	プライベートウィンドウ
	66	フォント設定
		文字サイズ設定
	15	バイリンガル
		オープン新着表示
		画質モード設定
		液晶AI
	36	表示アイコン説明
	イルミネーション	
		イルミネーション一括設定
	89	着信イルミネーション
		通話中イルミネーション
		不在未読イルミネーション
		Music&Video Chイルミネーション

18

設定／サービス		
		クローズイルミネーション
		時報イルミネーション
		ミュージックイルミネーション
		Bluetoothイルミネーション
		ICカードイルミネーション
		サイドボタンイルミネーション
		設定確認
	きせかえ	
	ｉコンシェル	
		インフォメーション表示設定
	ロック／セキュリティ	
		セルフモード
		オールロック
		パーソナルデータロック
		ICカードロック
	40	シークレットモード
	41	シークレット専用モード
		ダイヤル発信制限
		登録外着信拒否
	10	非通知着信設定

19

設定／サービス		
	29	端末暗証番号変更
		FOMAカード(UIM)設定
		スキャン機能
		ロック設定
	時間／料金	
	61	通話時間／料金
	60	積算リセット
		通話料金通知
		上限値アイコン消去
	時計	
	31	時計設定
		ワールドウォッチ
		サマータイム
		自動電源ON／OFF設定
		アラーム通知設定
	着信	
	54	バイブレータ
	20	マナーモード選択
	58	着信アンサー設定
		オープン設定
		履歴表示設定

20

設定／サービス		
		電話帳画像着信設定
		発着信番号表示設定
	90	呼出時間表示設定
	65	確認機能設定
		パケット通信中着信設定
		自動発着信設定
		メロディコール設定
	通話	
		受話音量
	18	クローズ動作設定
		保留音設定
		受話音質設定
	76	ノイズキャンセラ
	75	通話品質アラーム
	77	再接続機能

21

設定／サービス		
	テレビ電話	
		受信画質設定
		画像選択
		テレビ電話ハンズフリー設定
		音声自動再発信
		テレビ電話切替機能通知
		テレビ電話着信拒否
	ネットワーク設定	
		プレフィックス設定
		国際ローミング設定
		国際ダイヤルアシスト設定
		在圏状態表示
	NWサービス	
	17	発信者番号通知
		留守番電話
		キャッチホン
		転送でんわ
		迷惑電話ストップ
		番号通知お願いサービス
		2in1設定

22

設定／サービス		
		マルチナンバー
		通話中の着信動作選択
		通話中着信設定
		遠隔操作設定
		デュアルネットワーク
		英語ガイダンス
		ローミングガイダンス設定
		追加サービス
		サービスダイヤル
		OFFICEED
		着もじ
	その他	
		サイドボタン操作
		マルチボタン長押し登録
	35	文字入力方式
		電池残量
	84	ポーズダイヤル
		サブアドレス設定
		イヤホンマイク設定
		ボイス設定

23

<切り取り線>

設定／サービス		USBモード設定
		設定確認
	23	設定リセット
		端末初期化
		ソフトウェア更新
データBOX	46	マイピクチャ
		ミュージック
		Music&Videoチャネル
		ｉモーション／ムービー
	16	メロディ
		マイドキュメント
		きせかえツール
		マチキャラ
		キャラ電
		ワンセグ
		ドキュメントビューア
		SDその他ファイル
LifeKit		バーコードリーダー
	79	赤外線受信
		microSD
		カメラ

LifeKit		Bluetooth
		地図･GPS
	55	伝言メモ／音声メモ
		ボイスレコーダー
		電話帳お預かりサービス
ｉコンシェル		－
電話帳		電話帳登録
		電話帳検索
		FOMAカード(UIM)操作
	24	発着信履歴
	0	自局番号表示
		グループ設定
		電話帳指定設定
	26	電話帳設定
		電話帳登録件数
ステーショナリー	44	アラーム
	45	スケジュール
	95	ToDo
	42	テキストメモ
	85	電卓

ステーショナリー		使いかたナビ
	38	定型文／辞書
MUSIC		ミュージックプレーヤー
		Music&Videoチャネル
ワンセグ		ワンセグ視聴
		番組表
		視聴予約リスト
		録画予約リスト
		予約録画結果
		テレビリンク
		チャンネルリスト選択
		チャンネル設定
		ユーザ設定
おサイフケータイ		ICカード一覧
		DCMX
		トルカ
		ICカードロック設定
		設定
		ICオーナー確認
		ICオーナー変更
		ｉモードで探す

<切り取り線>

■公共モード(ドライブモード)

[＊](1秒以上)

■マナーモード

[#](1秒以上)

ネットワークサービス

留守番電話サービス

■留守番サービス開始

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→留守番電話→留守番サービス開始→YES
→YES→呼出時間(秒)を入力

■留守番サービス停止

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→留守番電話→留守番サービス停止→YES

■留守番メッセージ再生

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→留守番電話→留守番メッセージ再生
→再生(音声電話)･再生(テレビ電話)→YES
→音声ガイダンスに従って操作

キャッチホン

■キャッチホンサービス開始

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→キャッチホン→キャッチホンサービス開始
→YES

■キャッチホンサービス停止

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→キャッチホン→キャッチホンサービス停止
→YES

■通話中にかかってきた電話に出る

通話中着信→[通話]

[通話]を押すたびに通話する相手が切り替わります。

転送でんわサービス

■転送サービス開始

MENU→設定／サービス→NWサービス
→転送でんわ→転送サービス開始→転送先設定
→転送先の電話番号を入力→呼出時間設定
→呼出時間(秒)を入力→開始→YES

■転送サービス停止

MENU→設定／サービス→NWサービス
→転送でんわ→転送サービス停止→YES

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料+通話料）※電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料+通話料）	（局番なし）106

主なアイコン

11/18(水)　10:00

：電池残量（目安）

：電波受信レベル（目安）

self：セルフモード中

（ピンク）：未読ｉモードメール・SMSあり

R F（黄色）：未読メッセージR/Fあり

（ピンク）：ｉモードセンターにｉモードメールあり

R F（黄色）：ｉモードセンターにメッセージR/Fあり

：ｉモードセンターにｉモードメールあり（メール選択受信設定を「ON」に設定中）

：オールロック中

：パーソナルデータロック中

：ダイヤル発信制限中

：シークレットモード、シークレット専用モード中

：ICカードロック中

：閉じタイマーロック設定中

：ボタンロック中

：バイブレータを「OFF」以外に設定中（P.20参照）

：着信音量を「消去」に設定中またはメール／メッセージ鳴動を「OFF」に設定中

：マナーモード中（P.27参照）

：公共モード（ドライブモード）中（P.27参照）

SIDE：サイドボタン操作を「閉じた時無効」に設定中（P.23参照）

＜紛失時などの緊急連絡先＞

おまかせロック

※ドコモプレミアクラブ会員の場合、手数料無料で何回でもご利用いただけます。ドコモプレミアクラブ未入会の場合、有料のサービスとなります。（ただしご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。）また、ケータイあんしんパックご契約の場合、ケータイあんしんパック定額料金内でご利用いただけます。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

受付時間 24時間

その他緊急連絡先

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

＜連絡先：　　　　　　　　　　＞

● ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

＜切り取り線＞

docomo P-09A

クイックマニュアル「海外利用編」

海外での紛失、盗難、精算などについて

＜ドコモ インフォメーションセンター＞(24時間受付)

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1)	-81-3-5366-3114*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-09Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

● 一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)	-800-0120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.16、P.20をご覧ください。

● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

海外での故障に関して

＜ネットワークテクニカルオペレーションセンター＞(24時間受付)

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1)	-81-3-6718-1414*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-09Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。(「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。)

● 一般電話などからの場合

＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)	-800-5931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、P.16、P.20をご覧ください。

● お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

海外で利用するための準備

● 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
・「ご利用ガイドブック(国際サービス編)」
・「ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)」
・ドコモの「国際サービスホームページ」
・データBOXの「マイドキュメント」にプリインストールされているPDFファイル「海外ご利用ガイド」

iモードの設定

■日本で設定

iα→お客様サポート→各種設定(確認・変更・利用)
→その他サービス設定・確認→海外利用設定
→iモード利用設定→「利用する」を選択
→iモードパスワードを入力→決定

■海外で設定

iα→ i Menu 検索→海外利用設定
→iモード利用設定→「利用する」を選択
→iモードパスワードを入力→決定

＜切り取り線＞

遠隔操作設定

■日本で設定

MENU→設定／サービス→NWサービス
→遠隔操作設定→遠隔操作開始→YES

■海外で設定

MENU→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→遠隔操作設定(海外)
→YES→音声ガイダンスに従って操作

時計設定

MENU→設定／サービス→時計→時計設定
→自動時刻時差補正する

通信方式と利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
SMS	○	○	○
iモード	○	×	○
iモードメール	○	×	○
iチャネル	○	×	○
iコンシェル	○	×	○
iウィジェット	○	×	○
パソコンと接続して行うパケット通信	○	×	○

○:利用できます。　×:利用できません。

● 海外では、GPS機能・64Kデータ通信は利用できません。

通信事業者の検索方法の設定

MENU→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→ネットワークサーチ設定
→項目を選択

オート……自動的に他の通信事業者に接続し直します。設定が終了します。

マニュアル…一覧で表示される通信事業者に手動で接続します。

ネットワーク再検索……「オート」に設定しているときは、自動的に接続先が切り替わり、設定が終了します。「マニュアル」に設定しているときは、通信事業者の一覧が表示されます。

→通信事業者を選択

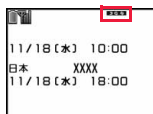
優先的に接続する通信事業者の設定

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→優先ネットワーク設定
→[iα]→リストから登録→通信事業者を選択
→[●]→ネットワークの種類を選択→[✉]→YES

通信事業者名を待受画面に表示

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→オペレータ名表示設定
→表示あり・表示なし

ディスプレイ

利用中のネットワークの種類が表示されます。

帰国後の設定

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに接続されます。

- FOMAネットワークに接続できない場合は、「3G/GSM切替」を「自動」に、「ネットワークサーチ設定」を「オート」に設定してください。

電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

■電話帳を利用して日本に国際電話をかける

電話帳詳細画面を表示→[📞]または[●]→発信
[✉]を押すと国際テレビ電話発信になります。

■「+」を利用して国際電話をかける

[0](1秒以上)→「国／地域番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順に入力」
→[📞]または[●]
[✉]を押すと国際テレビ電話発信になります。

日本に国際電話をかける場合は、国／地域番号に「81」を入力してください。
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

相手先電話番号を入力→[📞]または[●]
[✉]を押すとテレビ電話発信になります。

■電話帳を利用して電話をかける

電話帳詳細画面を表示→[📞]または[●]
→元の番号で発信

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

電話を受ける

電話がかかってきたら[📞]または[●]

ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

[MENU]→設定／サービス→NWサービス
→ローミングガイダンス設定

ネットワークサービスの利用

海外でネットワークサービスを利用する場合は、あらかじめ「遠隔操作設定」を設定しておく必要があります。

- 海外通信事業者によっては、設定できないことがあります。

■ローミング時着信規制

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→ローミング時着信規制

■留守番電話(海外)

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→留守番電話(海外)

■転送でんわ(海外)

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定→転送でんわ(海外)

■ローミングガイダンス(海外)

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定
→ローミングガイダンス(海外)

■番号通知お願いサービス

[MENU]→設定／サービス→ネットワーク設定
→国際ローミング設定
→番号通知お願いサービス

<切り取り線>

<切り取り線>

主要国の国／地域番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国／地域番号は、以下の番号を使用してください。

ご利用地域	番号
アイルランド	353
アメリカ合衆国	1
アラブ首長国連邦	971
イギリス	44
イタリア	39
インド	91
インドネシア	62
オーストラリア	61
オランダ	31

ご利用地域	番号
カナダ	1
韓国	82
ギリシャ	30
シンガポール	65
スイス	41
スウェーデン	46
スペイン	34
タイ	66
台湾	886
チェコ	420
中国	86
デンマーク	45
ドイツ	49

ご利用地域	番号
トルコ	90
ニュージーランド	64
ノルウェー	47
ハンガリー	36
フィリピン	63
フィンランド	358
ブラジル	55
フランス	33
ベトナム	84
ベルギー	32
ポーランド	48
ポルトガル	351
香港	852

ご利用地域	番号
マカオ	853
マレーシア	60
モナコ	377
ルクセンブルク	352
ロシア	7

- このほかの国の番号および詳細については「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」を確認してください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アラブ首長国連邦	00
イギリス	00
イタリア	00
インド	00
インドネシア	001
オーストラリア	0011
オランダ	00
カナダ	011
韓国	001

ご利用地域	アクセス番号
ギリシャ	00
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	002
チェコ	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
トルコ	00
ニュージーランド	00

ご利用地域	アクセス番号
ノルウェー	00
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	00
ブラジル	0021/0014
フランス	00
ベトナム	00
ベルギー	00
ポーランド	00
ポルトガル	00
香港	001
マカオ	00
マレーシア	00

ご利用地域	アクセス番号
モナコ	00
ルクセンブルク	00
ロシア	810

ユニバーサルナンバー用 国際電話識別番号（表2）

ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00
アメリカ合衆国	011
アルゼンチン	00
イギリス	00
イスラエル	014
イタリア	00
オーストラリア	0011
オーストリア	00
オランダ	00
カナダ	011

ご利用地域	国際識別番号
韓国	001
コロンビア	009
シンガポール	001
スイス	00
スウェーデン	00
スペイン	00
タイ	001
台湾	00
中国	00
デンマーク	00
ドイツ	00
ニュージーランド	00
ノルウェー	00

ご利用地域	国際識別番号
ハンガリー	00
フィリピン	00
フィンランド	990
ブラジル	0021
フランス	00
ブルガリア	00
ペルー	00
ベルギー	00
ポルトガル	00
香港	001
マレーシア	00
南アフリカ	09
ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用編」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP.1の「海外での故障に関して」をご覧ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先の「国際電話アクセス番号（表1）」または「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。
- 携帯電話や公衆電話、ホテルなどからユニバーサルナンバーはご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

<切り取り線>

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　iMenu ▶ お客様サポート ▶ お申込・お手続き ▶ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）（P.67）
電話をかけてきた相手に、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンス、または電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

●伝言メモ機能（P.68）
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。

●バイブレータ（P.94）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード／スーパーサイレント／オリジナルマナー（P.96）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します（マナーモード・スーパーサイレント）。
マナーモードに伝言メモ機能の有無の設定やバイブレータ・着信音の設定の変更もできます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.414）、転送でんわサービス（P.418）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

iモードサイト　iMenu ▶ お客様サポート ▶ ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
＜ドコモ インフォメーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-09Aから、ご利用の場合は＋81-3-5366-3114でつながります。
（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.434、P.435をご覧ください。

海外での故障に関して
＜ネットワークテクニカルオペレーションセンター＞（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※P-09Aから、ご利用の場合は＋81-3-6718-1414でつながります。
（「＋」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合
＜ユニバーサルナンバー＞

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.434、P.435をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'09.6（第2.2版）

3TR100191BAA
F0509F1069-Ⓒ

P-09A

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

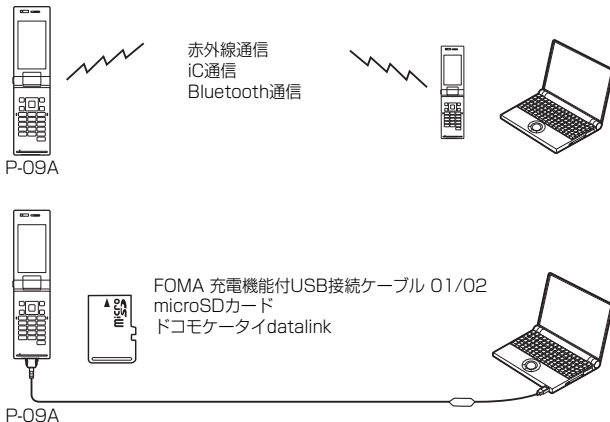
本マニュアルでは、P-09Aでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」・「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

FOMA端末から利用できるデータ通信

FOMA端末とパソコンを接続してご利用できるデータ通信は、データ転送(OBEX™通信)とパケット通信・64Kデータ通信に分類されます。
FOMA端末はパケット通信用アダプタ機能を内蔵しています。

- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください。(PPP接続ではパケット通信できません。)
- 海外では、64Kデータ通信はご利用になれません。

データ転送(OBEX™通信)

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。(受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsのベストエフォート方式)※ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」など、FOMAパケット通信に対応した接続先を利用します。
パケット通信はFOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)やBluetooth通信で接続し、各種設定を行うことで利用でき、高速通信を必要とするアプリケーションの利用に適しています。
P.5以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

※技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA「sigmarion III」「musea」などHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、通信速度が遅くなる場合があります。

- パケット通信では送受信したデータ量に応じて課金されます。画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料金がかかる通信方式です。FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)やBluetooth通信で接続し、通信を行います。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」などのFOMA 64Kデータ通信対応の接続先、またはISDNの同期64K対応の接続先をご利用ください。P.5以降の説明に従って、設定と接続を行ってください。

- 64Kデータ通信では、接続した時間量に応じて課金されます。長時間にわたる接続を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

次ページにつづく

お知らせ

- FOMA端末は、Remote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarion III」、「musea」に接続してデータ通信を行うことができます。「musea」を利用する場合は、アップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

ご使用になる前に

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaの接続先には接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。
詳しくはCD-ROM内の「FirstPassPCSoft」フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内でFOMA端末による通信を行うには、以下の条件が必要になります。

・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）が利用できるパソコンであること
・Bluetooth通信で接続する場合は、パソコンがBluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDRのDial-up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル）に対応していること
・FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
・FOMAサービスエリア内であること
・パケット通信の場合、接続先がFOMAのパケット通信に対応していること
・64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状況が悪い場合は通信ができないことがあります。

動作環境

データ通信におけるパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	説　明
パソコン本体	PC-AT互換機 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使用する場合: USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0※準拠) ※本FOMA端末は、「USB2.0 High-Speed」には対応しておりません。 Bluetooth通信を使用する場合: Bluetooth標準規格Ver.1.1、Ver.1.2またはVer.2.0+EDR準拠(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル) ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color16ビット以上を推奨。
OS	Windows Vista、Windows XP、Windows 2000(各日本語版) ●「ドコモ コネクションマネージャ」は、Windows 2000 Service Pack4以上、Windows XP Service Pack2以上 (動作環境詳細はドコモのホームページをご確認ください。)
必要メモリ	Windows Vista:512Mバイト以上 Windows XP:128Mバイト以上 Windows 2000:64Mバイト以上(各日本語版)
ハードディスク容量	5Mバイト以上の空き容量 ●「ドコモ コネクションマネージャ」は15Mバイト以上の空き容量

●OSアップグレードからの動作は保証いたしかねます。
●必要メモリおよびハードディスクの空き容量はシステム環境によって異なることがあります。
●メニューが動作する推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer7.0以降※です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
<Windows Vistaの場合>
「コンピュータ」などでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
<Windows XP、Windows 2000の場合>
マイコンピュータなどでCD-ROMを参照して、「index.html」をダブルクリックしてください。
※Windows XP、Windows 2000の場合、推奨環境はMicrosoft® Internet Explorer6.0以降です。

■CD-ROMをパソコンにセットすると

警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
「はい」をクリックしてください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェア、ソフトウェアを使います。
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)※
・付属CD-ROM「P-09A用CD-ROM」
※USB接続の場合

お知らせ

●USBケーブルは専用の「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02」または、「FOMA USB接続ケーブル」をご利用ください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
●USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

FOMA端末と他の機器との接続方法

FOMA端末と他の機器を接続するには、次の3つの方法があります。

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を使う

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を使って、USBポートを装備したパソコンと接続します。(P.6参照)

パケット通信、64Kデータ通信、データ転送のすべての通信方式に利用できます。

- データ通信を行うには「USBモード設定」を「通信モード」に設定してください。
  「MENU▶設定/サービス▶その他▶USBモード設定▶通信モード」の操作を行います。
- ご使用前にFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要です。

Bluetooth通信を使う

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続します。(P.11参照)

パケット通信、64Kデータ通信を行う場合に利用できます。

- Bluetooth機能を利用してデータ通信を行う場合は、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機能の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。
- 通信の際はBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムをご使用ください。ご使用になる場合のインストール方法や設定方法については、ご使用のパソコンメーカまたはBluetooth機器メーカにご確認ください。

赤外線通信を使う

赤外線を使って、FOMA端末と赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末、携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。

データ転送を行う場合のみ利用できます。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）をご利用になる場合には、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールしてください。

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をダウンロード、インストールする（P.7参照）
●付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。

データ通信の準備の流れ

パケット通信・64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

USB接続の場合

1. パソコンとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続する
2. 「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をダウンロード、インストールする（P.7）
   ●付属のCD-ROMからインストール、またはドコモのホームページからダウンロードしてインストールします。
3. インストール後の確認をする（P.9）

Bluetooth接続の場合

1. パソコンとFOMA端末をBluetooth通信でワイヤレス接続する（P.11）
2. モデムの確認をする（P.12）

以降（共通）

- 「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする（P.14）
- 「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに手動で通信の設定をする（P.19、P.36）

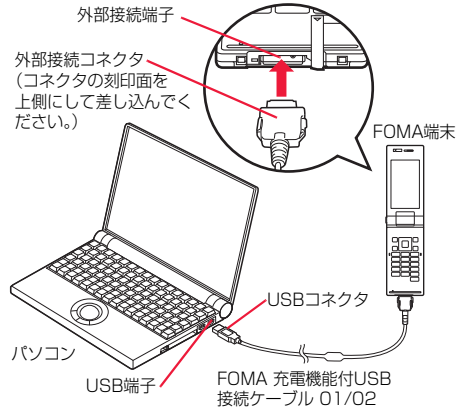
接続する（P.18、P.34）

■付属の「P-09A用CD-ROM」について

FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02で接続してパケット通信を行うときには、付属の「P-09A用CD-ROM」の「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をパソコンにインストールしてください。また、通信を行う際にAPNやダイヤルアップの設定が簡単に行える「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールすることをおすすめします。

パソコンとFOMA端末を接続する

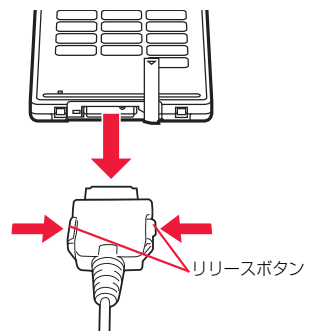
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)の取り付け方法について説明します。

1 FOMA端末の外部接続端子の向きを確認し、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の外部接続コネクタをまっすぐ「カチッ」と音がするまで差し込む

2 FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のUSBコネクタをパソコンのUSB端子に接続する

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02のコネクタは無理に差し込まないでください。故障の原因となります。各コネクタは正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- USBケーブルは専用のFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をご利用ください。(パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。)
- FOMA端末に表示される「 」は、パケット通信または64Kデータ通信のFOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールを行い、パソコンとの接続が認識されたときに表示されます。FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストール前には、パソコンとの接続が認識されず、「 」も表示されません。

■取り外し方

1. FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く。
2. パソコンのUSB端子からFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を引き抜く。

お知らせ

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02は無理に取り外さないでください。故障の原因となります。
- データ通信中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外さないでください。パソコンやFOMA端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02の取り付け･取り外しは連続して行わないでください。一度、取り付け･取り外しを行った場合は、間隔をおいてから再び行ってください。

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは、ご使用になるパソコンにFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)で初めて接続するときに必要です。

●Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合はFOMA通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする必要はありません。
●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

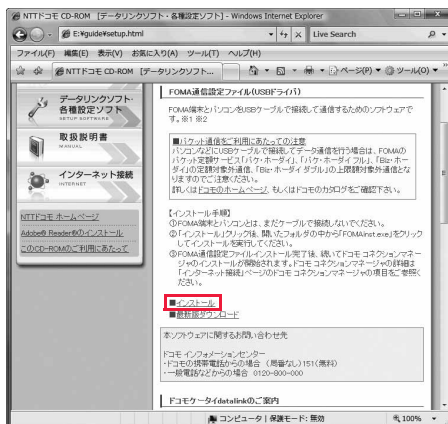
Windows Vistaの例

1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を接続する(P.6参照)**

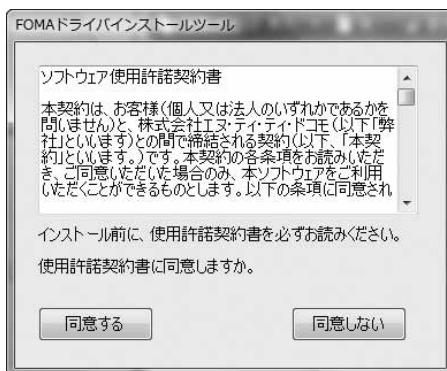
2 **Windowsを起動し、付属の「P-09A用CD-ROM」をパソコンにセットする**

3 **「データリンクソフト・各種設定ソフト」をクリックする**

●「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

4 **「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の「インストール」をクリックする**

5 **開いたフォルダの中から「FOMAinst.exe」をダブルクリックし、「続行」をクリックする**

●Windows XP、Windows 2000の場合、「続行」をクリックする必要はありません。

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「同意する」をクリックする

7 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をパソコンに接続する

インストールが始まります。

8 「FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが完了しました。」が表示されます。

●FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが終了します。

9 続いて、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする場合は、「インストールする(推奨)」をクリックする

「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールについては、P.14参照。

●「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールしない場合は手順10へ進みます。

10 「閉じる」をクリックする

インストールしたドライバを確認する

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正しくインストールされていることを確認します。

Windows Vistaの例

1 **「 (スタート)」▶「コントロールパネル」を開く ▶「システムとメンテナンス」を開く**

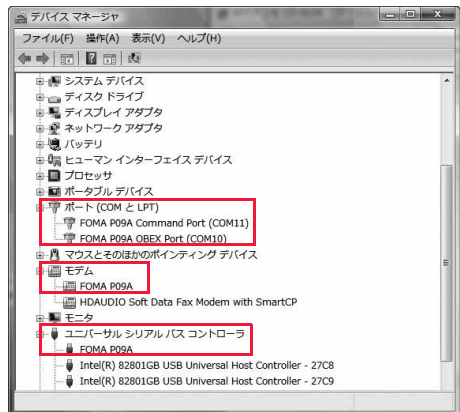
<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く
<Windows 2000の場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く→「システム」を開く

2 **「ハードウェアとデバイスを表示」を開く ▶「続行」をクリックする**

<Windows XP、Windows 2000の場合>
「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

3 **各デバイスをクリックして、インストールされたドライバ名を確認する**

「ポート（COMとLPT）」、「モデム」、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」の下にすべてのドライバ名が表示されていることを確認します。

●COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

デバイス名	FOMA通信設定ファイル（ドライバ）名
ポート（COMとLPT）	・FOMA P09A Command Port ・FOMA P09A OBEX Port
モデム	・FOMA P09A
<Windows Vistaの場合> ユニバーサル シリアル バス コントローラ <Windows XP、Windows 2000の場合> USB（Universal Serial Bus）コントローラ	・FOMA P09A

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のアンインストールが必要になった場合（バージョンアップする場合など）は、次の手順で行ってください。

●必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。

Windows Vistaの例

1　FOMA端末とパソコンがFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続されている場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を取り外す

2　「（スタート）」▶「コントロールパネル」▶「プログラムのアンインストール」を開く

＜Windows XPの場合＞
「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開く
＜Windows 2000の場合＞
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開く

3　「FOMA P09A USB」を選択し「アンインストールと変更」をクリックして、「続行」をクリックする

＜Windows XP、Windows 2000の場合＞
「FOMA P09A USB」を選択して、「変更と削除」をクリックする

4　「OK」をクリックする

5　「はい」をクリックしてWindowsを再起動する

以上でアンインストールは終了です。
●「いいえ」をクリックした場合は、手動で再起動をしてください。

お知らせ

●「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）をインストールするときに、途中でパソコンからFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を抜いてしまったり、「キャンセル」ボタンをクリックしてインストールを中止してしまった場合は、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）が正常にインストールされない場合があります。このような場合は、「P-09A用CD-ROM」内の「P09A_USB_Driver」→「Drivers」→「Win2k_XP」または「WinVista32」を開き「P09A_un.exe」を実行して「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）を一度削除してから、再度インストールし直してください。

<ダイヤルアップ通信サービス>

Bluetooth通信を準備する

Bluetooth通信対応パソコンとFOMA端末をワイヤレス接続して、データ通信を行います。

初めてパソコンと接続する

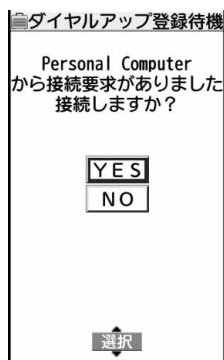
初めてFOMA端末に接続するパソコンの場合、パソコンをFOMA端末に登録します。

1 **MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶ダイヤルアップ登録待機**

- 解除する場合は待機中に✉(中止)を押します。また、待機中に5分間接続がなかった場合は自動的に解除されます。
- 接続待機中は「(青色)」が点灯します。

2 **パソコンからBluetoothデバイスの検索と機器登録をする**

- FOMA端末が接続待機中に、パソコンで機器登録を行ってください。
- パソコンの操作方法の詳細は、ご使用になるパソコンの取扱説明書をお読みください。
（ご覧になる取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されています。）

3 **接続要求の画面が表示されたら「YES」を選択**

4 **Bluetoothパスキーのテキストボックスを選択▶Bluetoothパスキーを入力▶確定**

- Bluetoothパスキーは半角英数字で1～16桁入力できます。
- FOMA端末とパソコンに同一のBluetoothパスキーを入力してください。

5 **パソコンが機器登録されワイヤレス接続が開始される**

接続が完了すると、「(青色)」が点滅します。

お知らせ

- ダイヤルアップ登録待機中はヘッドセットサービスまたはハンズフリーサービスの接続待機はできません。
- パソコンにFOMA端末を登録する際、パソコンが複数の機器を検索した場合は、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索した場合は、機器アドレスで判別してください。
- ダイヤルアップ登録待機中は、周囲のすべてのBluetooth機器から検索されますが、ダイヤルアップ通信サービス以外のサービスは接続できません。

■登録済みのパソコンと接続するには

登録済みのパソコンからFOMA端末に接続する場合、「接続待機」で「ダイヤルアップ」を接続待機に設定しておけば、パソコンから接続操作を行うとFOMA端末に接続できます。
「ダイヤルアップ登録待機」中でも接続できます。

モデムの確認をする

通信の設定を行う前にご使用になるモデムのモデム名やダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認しておきます。

Windows Vistaの例

1 「(スタート)」▶「コントロールパネル」を開く▶「システムとメンテナンス」を開く

<Windows XPの場合>
「スタート」→「コントロールパネル」を開く→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を開く
<Windows 2000の場合>
「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開く→「システム」を開く

2 「ハードウェアとデバイスを表示」を開く▶「続行」をクリックする

<Windows XP、Windows 2000の場合>
「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリックする

3 各デバイスをクリックして、モデム名またはCOMポート番号を確認する

「ポート(COMとLPT)」、「モデム」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されています。

ダイヤルアップ通信サービスを停止する

接続中のダイヤルアップ通信サービスを停止します。

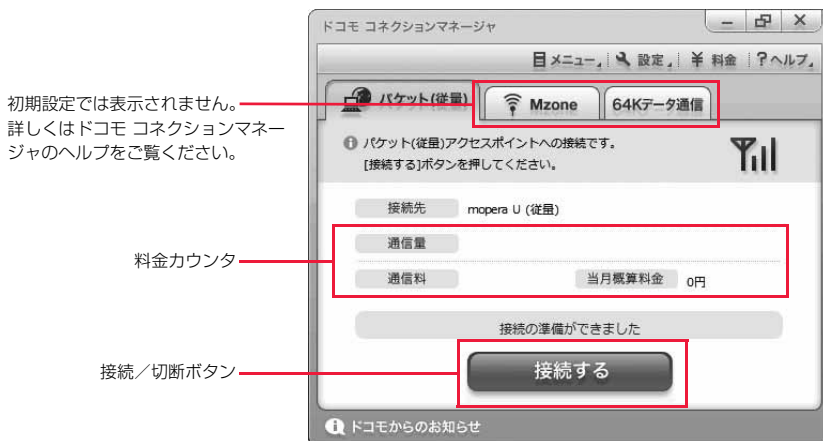
1 MENU▶LifeKit▶Bluetooth▶登録機器リスト

2 接続中のBluetooth機器を選択

3 ダイヤルアップ▶YES

ダイヤルアップ通信サービスが停止します。

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uのお申込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行なうことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。

本書では、「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法までをご案内いたします。
端末を使ってインターネットに接続するためには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ(mopera Uなど)のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

■従量制データ通信(「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」など含む)のご利用について

パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロード(例:アプリケーションや音楽・動画データ、OS・ウイルス対策ソフトのアップデート)などのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。
なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービス「パケ・ホーダイ」、「パケ・ホーダイフル」、「Biz・ホーダイ」の定額対象外通信、「Biz・ホーダイ ダブル」の上限額対象外通信となりますのでご注意ください。

■定額データプランのご利用について

定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プラン・インターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくはドコモのホームページをご確認ください。

■moperaのご利用について

接続設定方法についてはmoperaのホームページをご確認ください。
http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

インストールの流れ

ステップ1 **FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)または、FOMA USB接続ケーブル(別売)を用意する**

ステップ2 **サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認する**

ステップ3 **「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトがインストールされている場合は、自動的に起動しないように設定を変更する**

●「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用についてはP.19参照。

■Internet Explorerの設定について

本ソフトをインストールする前に、Internet Explorerのインターネットオプションで、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」
   →「インターネットオプション」を選択する。
2. 「接続」タブを選択し、「ダイヤルしない」を選択する。
3. 「OK」をクリックする。

お知らせ

<「ドコモ コネクションマネージャ」以外の接続ソフトのご利用について>

●本ソフトには、以下のソフトと同等の機能が搭載されているため、以下のソフトを同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを実施してください。

- ･mopera Uかんたんスタート
- ･Uかんたん接続設定ソフト
- ･FOMA PC設定ソフト
- ･FOMAバイトカウンタ

また、本ソフトでMzone(公衆無線LAN接続)を利用する場合は、以下の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールをおこなってください。

以下のソフトを同時にインストールした場合、本ソフトでのMzone接続はご利用いただけません。

- ･U公衆無線LANユーティリティソフト
- ･ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ･ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

ドコモ コネクションマネージャをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。
「ドコモ コネクションマネージャ」を使うと、簡単な操作でダイヤルアップ、通信設定最適化や接続先(APN)の設定ができます。

- 必ずAdministrator権限またはパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。
- 起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
  ウイルスチェックソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
  (例)タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」を選択します。

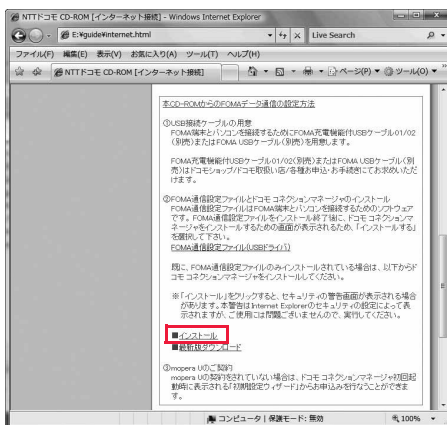
Windows Vistaの例

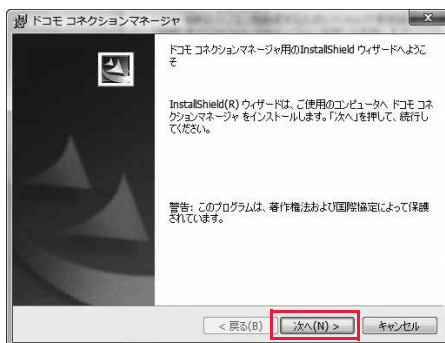
1 付属の「P-09A用CD-ROM」をパソコンにセットする

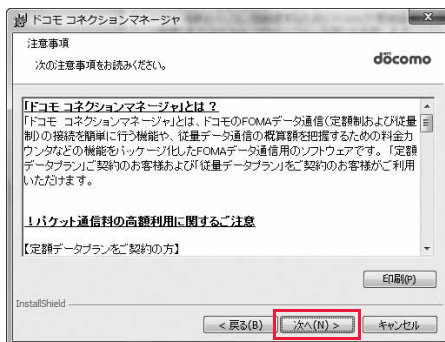
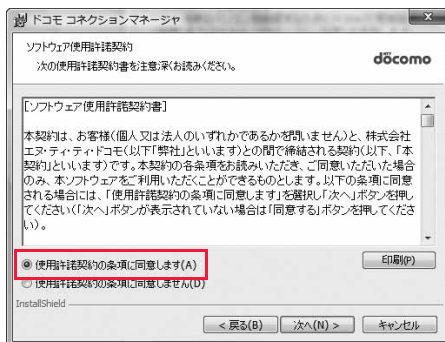
2 「インターネット接続」をクリックする

- 「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール中にこの画面が表示された場合は画面を閉じてください。

3 「本CD-ROMからのFOMAデータ通信の設定方法」の操作②にある「インストール」をクリック▶「続行」をクリックする

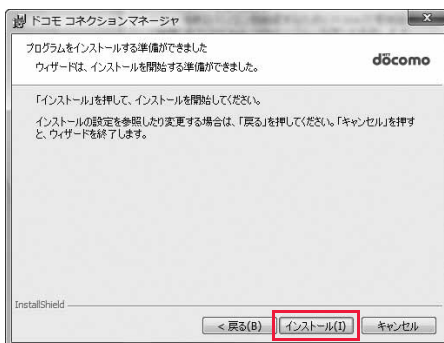
- Windows XP、Windows 2000の場合、「続行」をクリックする必要はありません。

Windows XPで、MSXML6･Wireless LAN APIが環境にない場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」をインストールする前に、それらをインストールする必要があります。確認の画面が表示されたときは「Install」をクリックして、MSXML6･Wireless LAN APIをインストールします。MSXML6･Wireless LAN APIのインストール完了後、Windowsを再起動すると、自動的に「ドコモ コネクションマネージャ」のインストールがはじまります。

次ページにつづく

4 「次へ」をクリックする

5 注意事項をご確認のうえ、「次へ」をクリックする

6 使用許諾契約書の内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックする

7 インストール先のフォルダを確認して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

8 「インストール」をクリックする

インストールがはじまります。

9 「完了」をクリックする

これでインストールは完了です。

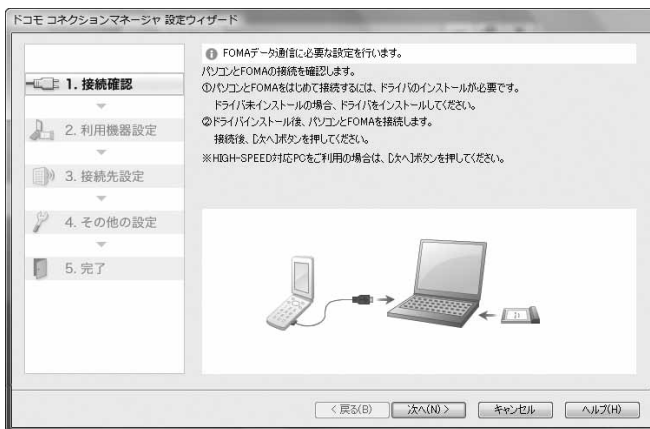
ドコモ コネクションマネージャを起動する

Windows Vistaの例

1 **「(スタート)」▶「すべてのプログラム」▶「NTT DOCOMO」▶「ドコモ コネクションマネージャ」▶「ドコモ コネクションマネージャ」**

<Windows XP、Windows 2000の場合>
「スタート」→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」
「ドコモ コネクションマネージャ」が起動します。

2 **初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。**

以降はソフトの案内に従って操作・設定をすることで、インターネットに接続する準備が整います。
詳しくは、「ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル.pdf」をご覧ください。

■切断する場合

ブラウザソフトやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。
通信をご利用にならない場合は、必ず「ドコモ コネクションマネージャ」の「切断する」をクリックして通信を切断してください。
OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

パケット通信の設定をする

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、パケット通信の接続を設定する方法について説明します。
パケット通信では、パソコンからさまざまな設定を行う場合にATコマンドを使用します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは、Windows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先（APN）の設定（P.21参照）は不要です。
発信者番号通知／非通知の設定（P.24参照）は必要に応じて行います。（「mopera U」または「mopera」をご利用の場合は、「通知」に設定する必要があります。）
＜ATコマンドによるパケット通信設定の流れ＞

COMポート番号を確認する（P.19参照）

ATコマンド入力をサポートする通信ソフトを起動する（P.21手順3参照）

接続先（APN）の設定をする（P.22手順7参照）

発信者番号の通知／非通知を設定する（P.24手順2参照）

その他の設定をする（P.37参照）

通信ソフトを終了する（P.23手順9参照）

■ATコマンドについて
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ATコマンドを入力することによって、パケット通信やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）ができます。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

COMポート番号を確認する

手動で通信設定を行う場合、「FOMA通信設定ファイル」（ドライバ）のインストール後に組み込まれた「FOMA P09A」（モデム）に割り当てられたCOMポート番号を指定する必要があります。確認方法はご利用になるパソコンのOSによって異なります。
- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合、接続先（APN）の設定が不要なため、モデムの確認をする必要はありません。

Windows Vistaの場合

1 「（スタート）」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「ハードウェアとサウンド」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

次ページにつづく

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P09A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.21参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください(ご使用になるソフトの設定に従ってください。)

Windows XPの場合

1 「スタート」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」から「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力して、「OK」をクリックする

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P09A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.21参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows 2000の場合

1 「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」を開く

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」を開く

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

次ページにつづく

4 「モデム」タブを開き、「FOMA P09A」の「接続先」欄のCOMポート番号を確認して、「OK」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの「接続先」欄のCOMポート番号を確認してください。
- 確認したCOMポート番号は、接続先(APN)の設定(P.21参照)で使用します。
- プロパティ画面に表示される内容およびCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

接続先(APN)の設定をする

パケット通信を行う場合の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は10個まで登録でき、1〜10の「cid」(P.23参照)という番号で管理されます。
「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先(APN)の設定は不要です。
ここでは接続先(APN)が「XXX.abc」で、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)を利用した場合を例として説明します。実際のAPNはインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
ここでの設定はダイヤルアップネットワークの設定(P.25参照)での接続先番号となります。

Windows XPの例

1 FOMA端末とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を接続する

2 FOMA端末の電源を入れて、FOMA端末と接続したFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02をパソコンに接続する

3 ハイパーターミナルを起動する

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。
ハイパーターミナル起動後に、「『既定のTelnet』プログラムにしますか?」と表示された場合、任意で設定します。設定内容につきましては、パソコンメーカおよびマイクロソフトにご確認ください。

- Windows 2000では、パソコンで「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」を開きます。

4 「名前」の欄に任意の名前を入力して、「OK」をクリックする

ここでは例として「Sample」と入力します。

次ページにつづく

5 接続方法を選択する

<「FOMA P09A」のCOMポート番号を選択できる場合>

「接続方法」で「FOMA P09A」がインストールされたCOMポート番号を選択して「OK」をクリックします。
このあと手順6へ進んでください。

- ここでは例として「COM3」を選択します。実際に「接続方法」で選択する「FOMA P09A」のCOMポート番号についてはP.19参照。

<「FOMA P09A」のCOMポート番号を選択できない場合>

「キャンセル」をクリックして「接続の設定」画面を閉じ、次の操作を行ってください。

(1)「ファイル」メニュー→「プロパティ」を選択します。
(2)「Sampleのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」の欄で「FOMA P09A」を選択します。
(3)「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外します。
(4)「OK」をクリックします。

このあと手順7へ進んでください。

6 COMポート番号のプロパティが表示されるので、「OK」をクリックする

- 手順5でCOMポート番号を選択した場合に表示されます。

7 接続先(APN)を設定する

AT+CGDCONT=cid,"PDP_type","APN"の形式で入力します。
cid:2もしくは4~10までのうち任意の番号を入力します。
※すでにcidが設定してある場合は、設定が上書きされますので注意してください。
"PDP_type"については"PPP"または"IP"と入力します。
"APN":APNを" "で囲んで入力します。
(例:cidの2番にXXX.abcというAPNを設定する場合)
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
入力後⏎を押して、OKと表示されればAPNの設定は完了です。

- 現在のAPN設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT?⏎」と入力します。APN設定が一覧で表示されます。

8 「OK」と表示されることを確認する

```
Sample - ハイパーターミナル
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 通信(C) 転送(T) ヘルプ(H)
AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc"
OK
_
```

9 「ファイル」メニュー▶「ハイパーターミナルの終了」を選択して、ハイパーターミナルを終了する

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」と表示されたときは、「はい」を選択してください。
- 「セッションXXXを保存しますか？」と表示されますが、特に保存する必要はありません。

お知らせ

- 接続先(APN)は、FOMA端末に登録される情報であるため、異なるFOMA端末を接続する場合は、再度FOMA端末に接続先(APN)を登録する必要があります。
- パソコン側の接続先(APN)を継続利用する場合は、同一cid番号に同一接続先(APN)をFOMA端末に登録してください。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1 ↵」と入力してください。

■cid(登録番号)について

FOMA端末にはcid1からcid10までの登録番号があり、お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」が、cid3には「mopera.net」が接続先(APN)として登録されています。「mopera U」または「mopera」以外に接続する場合は、cid2とcid4～10のいずれかにプロバイダまたはネットワーク管理者より指示される接続先(APN)を設定する必要があります。

お買い上げ時のcid登録

登録番号(cid)	接続先(APN)
1	mopera.ne.jp (mopera)
2	未設定
3	mopera.net (mopera U)
4～10	未設定

■cidに登録した接続先(APN)に接続するときの「電話番号」について

「＊99＊＊＊＜cid番号＞＃」

(例)cid2に登録した接続先(APN)に接続する場合

＊99＊＊＊2#

■接続先(APN)設定のリセット／確認について

接続先(APN)設定のリセット／確認もATコマンドを使って行います。

接続先(APN)設定のリセット

リセットを行った場合、cid1の接続先(APN)設定が「mopera.ne.jp」(初期値)に、cid3の接続先(APN)設定が「mopera.net」(初期値)に戻り、cid2とcid4～10の設定は未登録となります。

(入力方法)

AT+CGDCONT= ↵ (すべてのcidをリセットする場合)

AT+CGDCONT=〈cid〉 ↵ (特定のcidのみリセットする場合)

接続先(APN)設定の確認

現在の設定内容を表示させます。

(入力方法)

AT+CGDCONT? ↵

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信を行うときに、通知／非通知設定(接続先にお客様の発信者番号を通知するかどうかの設定)を行えます。発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。発信者番号の通知／非通知設定は、ダイヤルアップ接続を行う前にATコマンド(＊DGPIRコマンド)で設定できます。

1 「ハイパーターミナル」などの通信ソフトを起動する

- 「ハイパーターミナル」での操作方法についてはP.21参照。

2 ＊DGPIRコマンド(P.39参照)で発信者番号の通知／非通知を設定する

- 発信／着信応答のときに自動的に184(非通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=1↵」と入力します。
- 発信／着信応答のときに自動的に186(通知)を付ける場合は、「AT＊DGPIR=2↵」と入力します。

3 「OK」と表示されることを確認する

お知らせ

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。
- 入力したATコマンドが表示されない場合は「ATE1↵」と入力してください。

■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定(P.25参照)でも、接続先の番号に186(通知)／184(非通知)を付けることができます。

＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で186(通知)／184(非通知)の設定を行った場合、以下のようになります。

ダイヤルアップネットワークの設定(cid=3の場合)	＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊3#	設定なし	通知
	非通知	非通知
	通知	通知
184＊99＊＊＊3#	設定なし	非通知 (ダイヤルアップネットワークの184が優先される)
	非通知	
	通知	
186＊99＊＊＊3#	設定なし	通知 (ダイヤルアップネットワークの186が優先される)
	非通知	
	通知	

- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、発信者番号の通知が必要です。

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークの設定をする

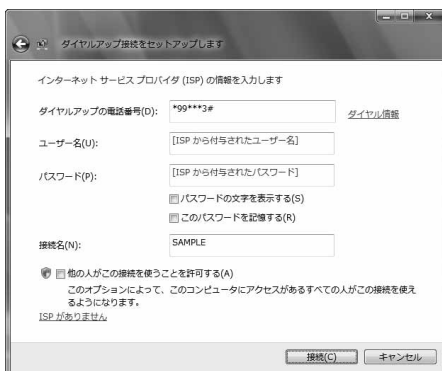
1 「(スタート)」▶「接続先」
▶「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする

2 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して、「次へ」をクリックする

3 モデムの選択画面が表示された場合は、「FOMA P09A」をクリックする

●Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
●モデムの選択画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます

4 「接続名」の欄に任意の名前を入力する

●ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

5 「ダイヤルアップの電話番号」の欄に接続先番号を入力する

●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

6 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「接続」をクリックする▶「スキップ」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。
●ここでは、すぐに接続せずに設定の確認のみを行います。

7 「接続をセットアップします」をクリックする
▶「閉じる」をクリックする

8 「(スタート)」▶「接続先」
▶接続済みの接続先を選んで、右クリックから「プロパティ」を選択する

次ページにつづく

9 「全般」タブで設定を確認する

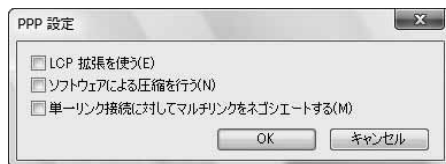
パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、ボタンをクリックして「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。
「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P09A」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。

10 「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

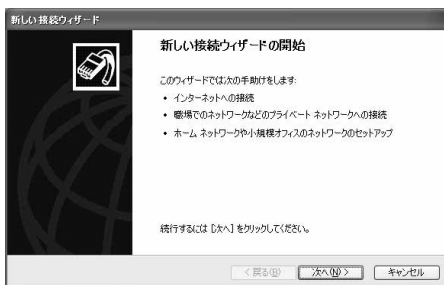
「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル バージョン4（TCP/IPv4）」を選択します。
「QoSパケットスケジューラ」は必要に応じて設定してください。
一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

11 「オプション」タブをクリックして、「PPP設定」をクリックする

12 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

13 手順10の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

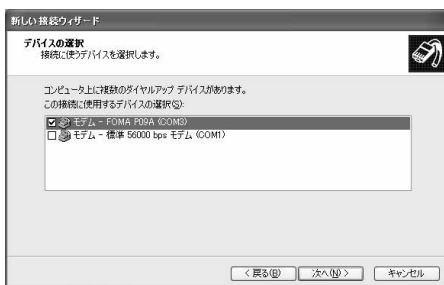
1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を開く

2 「新しい接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

3 「インターネットに接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して、「次へ」をクリックする

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「FOMA P09A」のみチェックを付けて「次へ」をクリックする

- Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムのみチェックを付けてください。
- 「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。

7 「ISP 名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

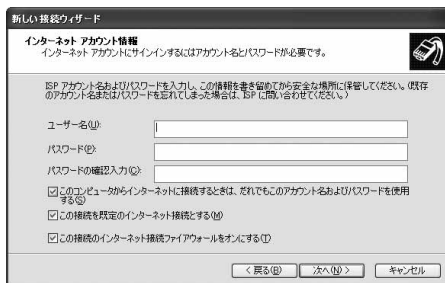
- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

次ページにつづく

8 「電話番号」の欄に接続先番号を入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.23参照。

9 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」の欄にインターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

10 「完了」をクリックする

11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

12 ダイヤルアップのアイコンを選択して、「ネットワークタスク」▶「この接続の設定を変更する」を選択する

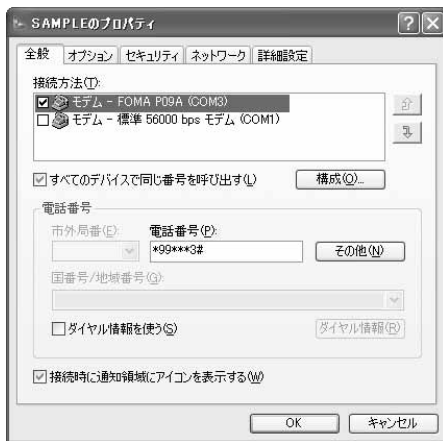
ここでは手順7で入力した名前のアイコンをクリックします。

次ページにつづく

13「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の欄で「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。また、複数のモデムにチェックが付いている場合は、⇧ボタンをクリックして「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」の優先順位を一番上にするか、「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」以外のモデムのチェックを外してください。

「ダイヤル情報を使う」にチェックされている場合にはチェックを外します。

- 「FOMA P09A」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
- mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
  mopera U以外の接続先番号についてはP.23参照。

14「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

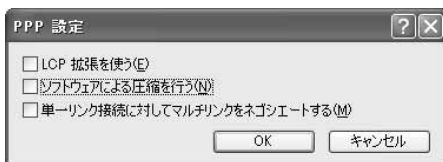
「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

「QoSパケットスケジューラ」は設定変更ができませんので、そのままにしておいてください。

続いて「設定」をクリックします。

一般ISPなどに接続する場合のTCP/IP設定は、ISPまたはネットワーク管理者に確認してください。

15 すべてのチェックを外して、「OK」をクリックする

16 手順14の画面に戻り、「OK」をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップネットワークの設定をする

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」の中の「新しい接続の作成」をダブルクリックする

3 「所在地情報」の画面が表示された場合は、「市外局番」を入力して、「OK」をクリックする

- 「所在地情報」の画面は、手順2で「新しい接続の作成」を初めて起動したときのみ表示されます。
- 2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されるので、手順5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」が表示されたら、「OK」をクリックする

5 「ネットワークの接続ウィザード」の画面が表示されたら、「次へ」をクリックする

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して、「次へ」をクリックする

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

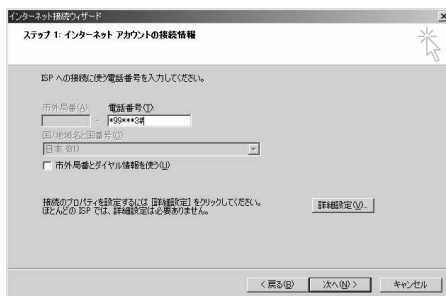
8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して、「次へ」をクリックする

次ページにつづく

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」の欄が「FOMA P09A」になっていることを確認して、「次へ」をクリックする

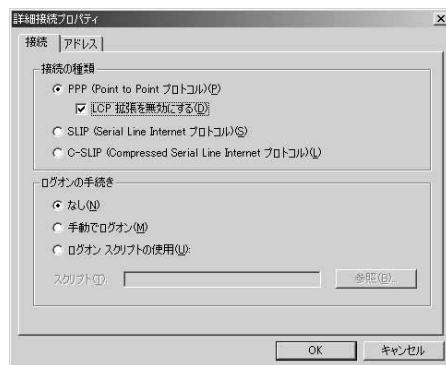
●選択されていない場合には、「FOMA P09A」を選択します。
●Bluetooth通信でワイヤレス接続する場合は、ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムを選択してください。
●お使いになるパソコンの動作環境によっては、「モデムの選択」の画面は表示されません。その場合は、手順10へ進みます。

10 「電話番号」の欄に接続先番号を入力する

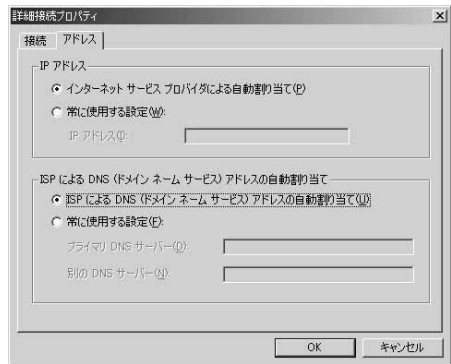
●「市外局番」の欄には何も入力しません。
●「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。
●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3＃」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.23参照。

11 「詳細設定」をクリックする

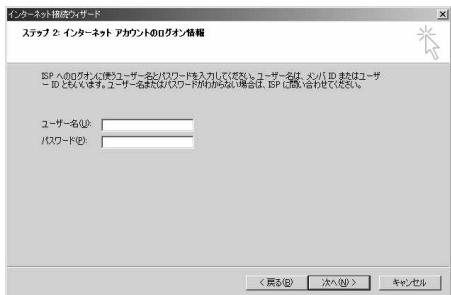
12 「接続」タブの中の設定を行う

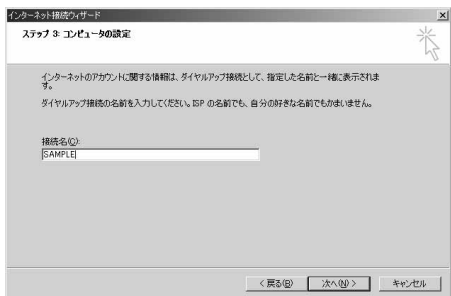
「接続の種類」、「ログオンの手続き」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
設定を確認したら、「アドレス」タブをクリックします。
●**「接続」タブでの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

次ページにつづく

13 IPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスの設定を行う

「IPアドレス」、「ISPによるDNS(ドメインネームサービス)アドレスの自動割り当て」について、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたとおり設定します。
すべての入力が終わったら、「OK」をクリックします。手順10の画面に戻るので、「次へ」をクリックします。

- **IPアドレスおよびDNSアドレスの設定内容については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

14 「ユーザー名」、「パスワード」の欄にインターネットサービスプロバイダまたは管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力して、「次へ」をクリックする

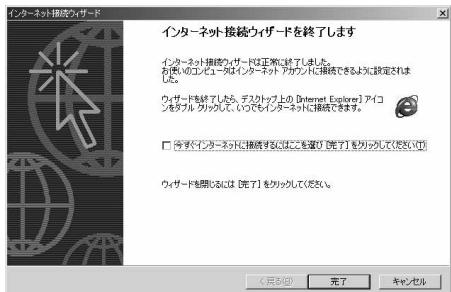
- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。この場合、「ユーザー名を空白のままにしておきますか?」という画面と「パスワードを空白のままにしておきますか?」という画面が表示されます。それぞれの画面で「はい」をクリックして手順15へ進みます。

15 「接続名」の欄に任意の名前を入力して、「次へ」をクリックする

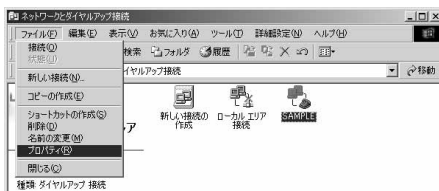
- ここでは例として「SAMPLE」と入力します。

16 「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックする

- インターネットメールの設定をする場合は、「はい」を選択します。
- **設定する場合の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。**

17 続いて「TCP/IP」の設定をする

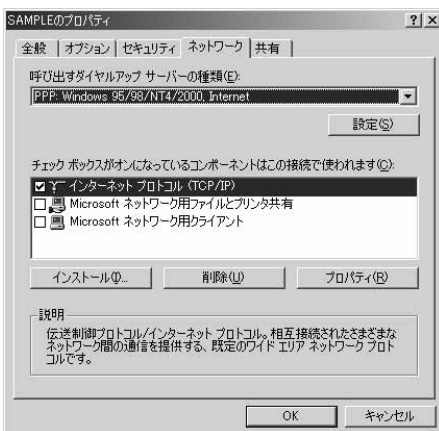
- インターネット接続ウィザードを終了する画面が表示された場合は、「今すぐインターネットに接続するにはここを選び[完了]をクリックしてください」のチェックを外して、「完了」をクリックします。

次ページにつづく

18「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開く

19 手順15で入力した接続先名のアイコンを選択して、「ファイル」メニュー ▶「プロパティ」を選択する

20「全般」タブで設定を確認する

●パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の欄で「モデム－FOMA P09A」または「モデム－ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデムの名前」にチェックが付いているのを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックを付けます。
●「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックされている場合にはチェックを外します。
●「FOMA P09A」または「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」に割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。
●mopera Uに接続する場合、接続先番号には「＊99＊＊＊3#」を入力します。
mopera U以外の接続先番号についてはP.23参照。

21「ネットワーク」タブをクリックして、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」の欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。
コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみをチェックします。
続いて「設定」をクリックします。

22 すべてのチェックを外して「OK」をクリックする

23 手順21の画面に戻り、「OK」をクリックする

ダイヤルアップ接続する

Windows Vistaでダイヤルアップ接続する

P.6の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「(スタート)」▶「接続先」を開く

2 接続先を選択して「接続」をクリックする

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示される

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了後、「閉じる」をクリックする

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

Windows XPでダイヤルアップ接続する

P.6の手順に従って、FOMA端末とパソコンを接続します。

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を開く

2 接続先を開く

「ダイヤルアップネットワークの設定をする」で設定したISP名(P.27参照)のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」→「この接続を開始する」を選択するか、接続先のアイコンをダブルクリックします。

3 内容を確認して「ダイヤル」をクリックする

●mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は、ユーザー名とパスワードは空欄でも接続できます。

4 接続中の状態を示す画面が表示されます

この間にユーザー名、パスワードの確認などのログオン処理が行われます。

5 接続完了です

接続が完了すると、タスクバーのインジケータから、メッセージが数秒間表示されます。

●ブラウザソフトを起動してホームページを閲覧したり、電子メールなどを利用できます。

●メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を再度確認してください。

お知らせ

●ダイヤルアップ設定を行ったFOMA端末でダイヤルアップ接続を行ってください。異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールが必要になることがあります。

●通信中はFOMA端末の消費電力が大きくなります。

●パケット通信中は、FOMA端末に通信状態が表示されます。

「 」(通信中、データ送信中)　「 」(通信中、データ受信中)

「 」(通信中、データ送受信なし)　「 」(発信中、または切断中)

「 」(着信中、または切断中)

●64Kデータ通信中は、FOMA端末に「 」が表示されます。

通信を切断する

Windows Vistaの例

1 タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリックする

2 「接続または切断」を選択し「切断」をクリックして、「閉じる」をクリックする

<Windows XP、Windows 2000の場合>

「切断」をクリックする

次ページにつづく

お知らせ

- ブラウザソフトを終了しただけでは、通信回線は切断されない場合があります。確実に切断するためには、この手順に従って回線を切断してください。
- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ネットワークに接続できないときは

ネットワークに接続できない(ダイヤルアップ接続ができない)場合は、まず以下の項目について確認してください。

こんなときは	こうします
「P-09A」がパソコン上で認識できない	・お使いのパソコンが動作環境(P.3参照)を満たしているかを確認してください。 ・「FOMA通信設定ファイル」(ドライバ)がインストールされているか確認してください。 ・FOMA端末がパソコンに接続され、電源が入っているか確認してください。 ・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)がしっかりと接続されているかを確認してください。 ・Bluetooth機器がダイヤルアップサービスで接続されているかを確認してください。
相手先に接続できない	・ID(ユーザー名)やパスワードの設定が正しいかどうか確認してください。 ・「mopera U」または「mopera」のように発信者番号の通知が必要な場合、電話番号に「184」を付加していないかどうかを確認してください。 ・モデムのプロパティで「フロー制御を使う」にチェックが付いていることを確認してください。 ・上記の確認を行っても相手先に接続できない場合は、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者に設定方法などについてご相談ください。

64Kデータ通信の設定

「ドコモ コネクションマネージャ」を使わずに、64Kデータ通信の接続を設定する方法について説明します。

ダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定

64Kデータ通信のダイヤルアップ接続とTCP/IPの設定はパケット通信での設定(P.19参照)と同じです。

以下の点に注意して操作してください。

- **64Kデータ通信では接続先(APN)の設定をする必要はありません。ダイヤルアップ接続の接続先にはインターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者から指定された接続先の電話番号を入力してください。(mopera Uに接続する場合は「＊8701」、moperaに接続する場合は「＊9601」と電話番号欄に入力してください。)**
- **「発信者番号通知／非通知の設定」、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。
(mopera Uまたはmoperaに接続する場合、発信者番号の通知が必要です。)**
- **設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワークの管理者にお問い合わせください。**

接続・切断のしかた

パケット通信での操作と同じです。P.18、P.34、P.35の手順に従って操作してください。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の機能の設定や変更を行うためのコマンド(命令)です。

※ATコマンド一覧では、以下の略を使用しています。

[AT]: FOMA P09A Command Portで使用できるコマンドです。

[M]: FOMA P09A(モデム)で使用できるコマンドです。

[&F]: AT&Fコマンドで設定が初期化されるコマンドです。

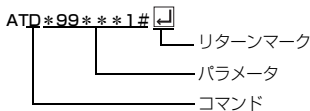
[&W]: AT&Wコマンドで設定が保存されるコマンドです。
ATZコマンドで設定値を呼び戻せます。

お知らせ

●外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1のAモード、デュアルモード中はAナンバー、Bモード中はBナンバーで発信します。

ATコマンドの入力形式

ATコマンドの入力は通信ソフトのターミナルモード画面で行います。必ず半角英数字で入力してください。

●入力例

●ATコマンドはコマンドに続くパラメータ(数字や記号)を含めて、必ず1行で入力します。

お知らせ

●ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末(ターミナル)のように動作させるモードのことです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている回線に送られます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードとオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の2つの方法があります。

・「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。

・「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。

●オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替える場合は、「ATO↵」と入力します。

※USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

■**設定の保存について**

AT+CGDCONTコマンドによる接続先(APN)設定、AT+CGEQMIN/AT+CGEQREQコマンドによるQoS設定、AT＊DGAPL/AT＊DGARL/AT＊DGANSMコマンドによる着信許可・拒否設定、AT＊DGPIRコマンドによるパケット通信の番号通知・非通知の設定、およびAT+CLIRコマンドによる発番号通知制限の設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF・ONまたは外部機器の取り外し時に初期化されてしまいますのでご注意ください。なお、[&W]が付いているコマンドについては、設定後に「AT&W↵」と入力することにより設定を保存できます。このとき、[&W]が付いている他の設定値も同時に保存されます。これらの値は、電源OFF・ON後であっても、「ATZ↵」と入力することにより、設定値を復元できます。

ATコマンド一覧

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
A/ [M]	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
AT%V [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT%V Ver1.00 OK
AT&Cn [M] [&F][&W]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。	n=0：CDは常にON n=1：CDは相手モデムのキャリアに応じて変化します。（初期値）	AT&C1 OK
AT&Dn [M] [&F][&W]	DTEから受け取る回路ER信号がオン／オフ遷移したときの動作を選択します。	n=0：ERの状態を無視します。（常にONとみなします。） n=1：ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になります。 n=2：ERがONからOFFに変化すると、オフラインコマンド状態になります。（初期値）	AT&D1 OK
AT&En [M] [&F][&W]	接続時の速度表示の仕様を選択します。	n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1：DTEシリアル通信速度を表示します。（初期値）	AT&E0 OK
AT&Fn [AT][M]	すべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT&Sn [M] [&F][&W]	DTEへ出力するデータセットレディ信号の制御を設定します。	n=0：DRは常にON（初期値） n=1：DRは回線接続時（通信呼確立時）にONとなります。	AT&S0 OK
AT&Wn [M]	現在の設定値を記憶します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	−
AT*DANTE [AT][M]	アンテナの本数を表示します。（0〜3）	0：FOMA端末のアンテナが圏外 1：FOMA端末のアンテナが0本または1本 2：FOMA端末のアンテナが2本 3：FOMA端末のアンテナが3本	AT*DANTE *DANTE:3 OK AT*DANTE=? *DANTE:(0-3) OK
AT*DGANSM=n [M]	パケット着信呼に対する着信拒否／許可設定のモードを設定します。 本コマンドによる設定は、設定コマンド入力後のパケット通信着信呼に対し有効となります。	n=0：着信拒否設定および着信許可設定を無効にします。（初期値） n=1：着信拒否設定（AT*DGARL）を有効にします。 n=2：着信許可設定（AT*DGAPL）を有効にします。 AT*DGANSM?：現在の設定を表示します。	AT*DGANSM=0 OK AT*DGANSM? *DGANSM:0 OK
AT*DGAPL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信許可を行うAPNを設定します。 APNの設定は、AT+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストに追加します。 n=1：<cid>で定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 <cid>が省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGAPL?：着信許可リストを表示します。	AT*DGAPL=0,1 OK AT*DGAPL? *DGAPL:1 OK AT*DGAPL=1 OK AT*DGAPL? OK
AT*DGARL=n [,cid] [M]	パケット着信呼に対して着信拒否を行うAPNを設定します。 APN設定は、+CGDCONTで定義された<cid>パラメータを用います。	n=0：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストに追加します。 n=1：<cid>で定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidが省略された場合には、すべてのcidに適用します。 AT*DGARL?：着信拒否リストを表示します。	AT*DGARL=0,1 OK AT*DGARL? *DGARL:1 OK AT*DGARL=1 OK AT*DGARL? OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT＊DGPIR=n [M]	本コマンドの設定は、発信時、着信時に有効となります。 ダイヤルアップネットワークでの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けることができます。（P.24参照）	n=0： APNをそのまま使用します。（初期値） n=1： APNに"184"を付加して使用します。（常に非通知） n=2： APNに"186"を付加して使用します。（常に通知） AT＊DGPIR?：現在の設定を表示します。	AT＊DGPIR=0 OK AT＊DGPIR? ＊DGPIR:0 OK
AT＊DRPW [AT][M]	受信電力指標を表示します。（0：最小値～75：最大値）	−	AT＊DRPW ＊DRPW:0 OK
+++ [M]	オンライン状態のとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	−	−
AT+CAOC [M]	現在もしくは直前呼の課金情報を表示します。	リザルト：+CAOC:"n" n：課金情報を16進数で表示します。	AT+CAOC +CAOC:"00001E" OK
AT+CBC [M]	バッテリー状態を表示します。	リザルト：+CBC:n,m n=0　：FOMA端末が充電池により動作している状態。 n=1　：充電中状態。 n=2　：充電池が取り外されている状態。 n=3　：電源供給に問題がある状態。 m=0～100：電池残量	AT+CBC +CBC:0,80 OK
AT+CBST=n,1,0 [M] [&W][&F]	利用するベアラサービスの設定を行います。	n=116：64000 bps (bit transparent)（初期値） n=134：64000 bps (multimedia)	AT+CBST=116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0 OK
AT+CDIP=n [M][AT] [&F][&W]	着信時に着サブアドレスをパソコンに表示するかどうかの設定をします。	n=0 ：着信時に着サブアドレスを表示しません。（初期値） n=1 ：着信時に着サブアドレスを表示します。 リザルト：+CDIP：<n>,<m> m=0：マルチナンバー未契約 m=1：マルチナンバー契約中 m=2：不明	AT+CDIP=0 OK AT+CDIP? +CDIP:0,1 OK
AT+CEER [AT][M]	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧（P.46参照）	AT+CEER +CEER:36 OK
AT+CGDCONT [M]	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	P.44参照。	P.44参照。
AT+CGEQMIN [M]	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ P.45参照。 AT+CGEQMIN=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQMIN? 現在の設定を表示します。	P.45参照。
AT+CGEQREQ [M]	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ=［パラメータ］ P.45参照。 AT+CGEQREQ=? 設定可能な値のリストを表示します。 AT+CGEQREQ? 現在の設定を表示します。	P.45参照。
AT+CGMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+CGMR 1234512345123456 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CGREG=n [M] [&F][&W]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。応答される通知により圏内／圏外を表示します。	n=0： 通知なし。（初期値） n=1： 通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CGREG? +CGREG：<n>,<stat> n：設定値 stat： 0：パケット圏外 1：パケット圏内 4：不明 5：パケット圏内（ローミング中）	AT+CGREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CGREG? +CGREG:1,0 OK （圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CGREG：1
AT+CGSN [M]	FOMA端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN 123456789012345 OK
AT+CLIP=n [AT][M] [&F][&W]	64Kデータ通信／テレビ電話着信時に相手の発信番号をパソコンに表示できます。	n=0： 通知しません。（初期値） n=1： 通知します。 リザルト：+CLIP：<n>,<m> m=0： 発信時の相手に番号を通知しないNW設定 m=1： 発信時の相手に番号を通知するNW設定 m=2： 不明	AT+CLIP=0 OK AT+CLIP? +CLIP:0,1 OK
AT+CLIR=n [M]	64Kデータ通信／テレビ電話通信を発信するとき、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。	n=0： CLIRサービスの契約に従い、発番通知されます（されません）。 n=1： 通話相手に番号発信しません。 n=2： 通話相手に番号発信します。（初期値） リザルト：+CLIR：<n>,<m> m=0： CLIRは起動していません。（常時通知） m=1： CLIRは起動しています。（常時非通知） m=2： 不明 m=3： CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4： CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト）	AT+CLIR=0 OK AT+CLIR? +CLIR:0,1 OK AT+CLIR=? +CLIR:(0-2) OK
AT+CMEE=n [M] [&F][&W]	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0： 通常のERRORリザルトを用います。（初期値） n=1： +CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用います。 n=2： +CME ERROR: <err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用います。 AT+CMEE?：現在の設定を表示します。 右記はFOMA端末や接続に異常がある場合のコマンドの実行例です。 +CME ERRORリザルトコードは下記のとおりです。 1： no connection to phone 10： SIM not inserted 15： SIM wrong 16： incorrect password 100： unknown	AT+CMEE=0 OK AT+CNUM ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CNUM +CME ERROR：10 AT+CMEE=2 OK AT+CNUM +CME ERROR：SIM not inserted
AT+CNUM [AT][M]	FOMA端末の自局電話番号を表示します。	number：電話番号（2in1のモードがBモードの場合は、Bナンバーを表示します。） type　：129もしくは145 129: 国際アクセスコード+を含まない 145: 国際アクセスコード+を含む リザルト：+CNUM:,<number>,<type>	AT+CNUM +CNUM:,"+819012345678",145 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+COPS=n,2,m [M]	接続する通信事業者を選択します。	n=0 ：オート（自動的にネットワークを検索して通信事業者を選択します。）（初期値） n=1 ：マニュアル（mに設定された通信事業者に接続します。） n=2 ：通信事業者との接続を解除（切断）します。 n=3 ：マッピングは行いません。 n=4 ：マニュアルオート（mに指定された通信事業者に接続できなかった場合に「オート」の処理を行います。） m ：国番号（MCC）と通信事業者番号（MNC）を16進数の値で表します。書式は以下の通りです。 Digit 1 of MCC･･･octet 1 bits 1 to 4. Digit 2 of MCC･･･octet 1 bits 5 to 8. Digit 3 of MCC･･･octet 2 bits 1 to 4. Digit 3 of MNC･･･octet 2 bits 5 to 8. Digit 2 of MNC･･･octet 3 bits 5 to 8. Digit 1 of MNC･･･octet 3 bits 1 to 4.	AT+COPS=1,2,"44F001" OK
AT+CPAS [M]	FOMA端末へ制御信号を送出できるかを表示します。	リザルト：+CPAS：n n=0 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能である。 n=1 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が不可能である。 n=2 ：不明(制御信号の送受信は保証されない) n=3 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ着信中である。 n=4 ：FOMA端末に対し、制御信号の送受信が可能であり、かつ通信中である。	AT+CPAS +CPAS:0 OK
AT+CPIN=n,m [M][AT]	UIMに関するパスワード(PIN1/PIN2)の入力を行います。	UIMがPIN1/PIN2入力待ち状態の時 n ：PIN1/PIN2 UIMがPIN1/PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち状態の時 n ：PINロック解除コード m：新しいPIN1/PIN2 AT+CPIN? ：現在のSIMに関して要求されているコード入力の状態を表示します。 リザルト：+CPIN：<state> <state>=READY ：コード入力要求なし <state>=SIM PIN ：PIN1コード入力待ち <state>=SIM PIN2 ：PIN2コード入力待ち <state>=SIM PUK ：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち <state>=SIM PUK2 ：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち	AT+CPIN="1234" OK AT+CPIN="12345678","1234" OK AT+CPIN? +CPIN:SIM PIN OK
AT+CR=n [M] [&F][&W]	回線接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、ベアラサービス種別を表示します。	n=0： 表示しません。（初期値） n=1： 表示します。 <serv>： パケット通信を意味する"GPRS"のみ表示します。（回線種別により"SYNC"、"AV64K"を表示します。） AT+CR?：現在の設定値を表示します。	AT+CR=1 OK ATD*99***1# +CR：GPRS CONNECT
AT+CRC=n [AT][M] [&F][&W]	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0： +CRINGを使用しません。（初期値） n=1： +CRING.<type>を使用します。 AT+CRC?で現在の設定を表示します。 +CRINGの書式は次のとおりです。 +CRING：<type> PPPパケット呼着信時 +CRING：GPRS "PPP",,,<APN>	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC：0 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
AT+CREG=n [AT][M] [&F][&W]	圏内・圏外情報の表示に関するリザルト表示の有無を設定します。	n=0：　通知なし。（初期値） n=1：　通知あり。圏内・圏外が切り替わったときに通知します。 （問い合わせ） AT+CREG? +CREG：<n>,<stat> n：　設定値 stat： 0：　音声圏外 1：　音声圏内 4：　不明 5：　音声圏内（ローミング中）	AT+CREG=1 OK （通知ありに設定） AT+CREG? +CREG：1,0 OK (圏外を意味している） （圏外から圏内に移動した場合） +CREG：1
AT+CUSD=n,"<str>",0 [M] [&F][&W]	ネットワークに対して、付加サービスの設定や問い合わせを行います。	n=0 ：中間リザルトを表示しません。（初期値） n=1 ：中間リザルトを表示します。 <str>：サービスコード 中間リザルト：m,"<str>",0 m=0：設定完了を示します。 m=1：ネットワークから更に情報が要求されていることを示します。	AT+CUSD=0, OK AT+CUSD=1,"*148*1*0000#",0 +CUSD:0,"148*7#",0 OK
AT+FCLASS=n [M] [&F][&W]	FOMA端末に通信種別を設定します。	n=0：データ通信（初期値）	AT+FCLASS=0 OK
AT+GCAP [M]	FOMA端末がサポートするATコマンドのリストを表示します。	リザルト +GCAP：n n=+CGSM　：GSMコマンドの一部または全部をサポートします。 n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポートします。 n=+W　　：+Wコマンドをサポートします。	AT+GCAP +GCAP:+CGSM,+FCLASS,+W OK
AT+GMI [M]	メーカ名（Panasonic）を表示します。	－	AT+GMI Panasonic OK
AT+GMM [M]	FOMA端末の製品名（FOMA P-09A）を表示します。	－	AT+GMM FOMA P09A OK
AT+GMR [M]	FOMA端末のバージョンを表示します。	－	AT+GMR Ver1.00 OK
AT+IFC=n,m [M] [&F][&W]	フロー制御方式の選択を行います。	n：　DCE by DTE m：　DTE by DCE 0：フロー制御なし 1：XON／XOFFフロー制御 2：RS／CS(RTS/CTS)フロー制御 初期値はn,m=2.2 AT+IFC?で設定値を問い合わせます。	AT+IFC=2,2 OK
AT+WS46=n [M]	FOMA端末の無線通信網を選択します。	FOMA端末では本コマンドによる無線通信網の選択は行わないため、モード設定に対してはERRORを応答します。 n=12：GSM/GPRS n=22：W-CDMA（Wideband CDMA） n=25：自動選択	AT+WS46=22 ERROR AT+WS46? 25 OK
ATA [AT][M]	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	－	RING ATA CONNECT
ATD [AT][M]	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	<cid>：1～10。+CGDCONTで設定したAPNを表します。cid1に発信する場合、「ATD＊99＊＊＊#」と省略できます。	ATD＊99＊＊＊1# CONNECT
ATEn [AT][M] [&F][&W]	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0：　エコーバックなし n=1：　エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATHn [AT][M]	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0：　回線を切断します。（省略可）	（パケット通信中） +++ ATH NO CARRIER

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATIn [AT][M]	認識コードを表示します。	n=0：「NTT DoCoMo」を表示します。 n=1：製品名を表示します。（+GMMと同じ） n=2：FOMA端末のバージョンを表示します。（+GMRと同じ） n=3：ACMP情報要素を表示します。 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を表示します。	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA P09A OK
ATOn [M]	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。（省略可）	ATO CONNECT
ATQn [M] [&F][&W]	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0：リザルトコードを表示します。（初期値） n=1：リザルトコードを表示しません。	ATQ0 OK ATQ1 （このとき、OKは応答されません。）
ATS0=n [M] [&F][&W]	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0：自動着信しません。（初期値） n=1～255：指定したリング回数で自動着信します。 （n≧10のとき、パケット（PPP）着信の場合は、自動着信せず約30秒で切断されます。） ATS0?で設定値を問い合わせます。	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS2=n [M] [&F]	エスケープキャラクタの設定を行います。	n=43：初期値 n=127：エスケープ処理は無効。 ATS2?で設定値を問い合わせます。	ATS2=43 OK ATS2? 043 OK
ATS3=n [M] [&F]	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13：初期値（n=13のみ指定可） ATS3?で設定値を問い合わせます。	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n [M] [&F]	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10：初期値（n=10のみ指定可） ATS4?で設定値を問い合わせます。	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n [M] [&F]	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8：初期値（n=8のみ指定可） ATS5?で設定値を問い合わせます。	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATS30=n [M][&F]	不活動タイマ（分）を設定します。ユーザーデータの送受信がないと、設定した時間以上で切断します。本コマンドの設定は、64Kデータ通信に限ります。設定が0の場合、不活動タイマOFFとなります。	n=0～255（初期値は0）（単位：分）	ATS30=0 OK
ATS103=n [M][&F]	着サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＊（アスタリスク） n=1：／（スラッシュ）（初期値） n=2：￥またはバックスラッシュ	ATS103=0 OK
ATS104=n [M][&F]	発サブアドレスの区切りのキャラクタを選択します。	n=0：＃（シャープ） n=1：％（パーセント）（初期値） n=2：＆（アンド）	ATS104=0 OK
ATVn [M] [&F][&W]	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0：リザルトコードを数値で返送します。 n=1：リザルトコードを文字で返送します。（初期値）	ATV1 OK
ATXn [M] [&F][&W]	接続時のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。 また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。	n=0：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示なし。 n=1：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=2：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出なし、速度表示あり。 n=3：ダイヤルトーン検出なし、ビジートーン検出あり、速度表示あり。 n=4：ダイヤルトーン検出あり、ビジートーン検出あり、速度表示あり。（初期値）	ATX1 OK

次ページにつづく

ATコマンド	概　要	パラメータ／説明	コマンド実行例
ATZn [M]	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	（オンライン時） ATZ NO CARRIER （オフライン時） ATZ OK
AT¥Sn [M]	現在設定されている各コマンド、Sレジスタの内容を表示します。	n=0のみ指定可能です。（省略可）	AT¥S E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 &E1 ¥V0 S000=000 S002=043 S003=013 S004=010 S005=008 S006=005 S007=060 S008=003 S010=001 S030=000 S103=000 S104=000 OK
AT¥Vn [M] [&F][&W]	接続時の応答コード仕様の選択を行います。	n=0：　拡張リザルトコードを使用しません。（初期値） n=1：　拡張リザルトコードを使用します。	AT¥V0 OK

※以下のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。
- ・AT（ATのみの入力）
- ・ATP（パルス設定）
- ・ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ・ATT（トーン設定）
- ・ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ・ATS10（自動切断遅延時間設定）

ATコマンドの補足説明

●コマンド名：　+CGDCONT=[パラメータ]　[M]

・概要

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

・書式

+CGDCONT=[<cid>[,"<PDP_type>"[,"<APN>"]]]

・パラメータ説明

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は以下のコマンド実行例を参照してください。

<cid>※　　：1～10
<PDP_type>：PPPまたはIP
<APN>※　　：任意

※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
FOMA端末では1～10が登録できます。お買い上げ時、<cid>=1にはmopera.ne.jpが、<cid>=3にはmopera.netが初期値として登録されていますので、cidは2もしくは4～10に設定します。
<APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。

・パラメータを省略した場合の動作

+CGDCONT=　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します
+CGDCONT=<cid>　　：指定された<cid>を初期値に設定します。
+CGDCONT=?　　：設定可能な値のリスト値を表示します。
+CGDCONT?　　：現在の設定を表示します。

・コマンド実行例

AT+CGDCONT=2,"PPP","abc"
OK

※abcというAPN名を登録する場合のコマンド（cidが2の場合）
※本コマンドは設定コマンドですが、＆Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。＆F、Zによるリセットも行われません。

次ページにつづく

●コマンド名：　　+CGEQMIN=[パラメータ]　　[M]
・概要
パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている4パターンが設定できます。
・書式
+CGEQMIN=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>[,<Maximum bitrate DL>]]]
・パラメータ説明
<cid>※　　　　　　　　　：1～10
<Maximum bitrate UL>※　：なし（初期値）または384
<Maximum bitrate DL>※　：なし（初期値）または7232
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最大通信速度[kbps]の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、384および7232を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。
・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQMIN=　　　　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQMIN=<cid>　　：指定された<cid>を初期値に設定します。
・コマンド実行例
以下の4パターンのみ設定できます。((1)の設定が各cidに初期値として設定されています。)
(1)上り/下りすべての速度を許容する場合のコマンド
（cidが2の場合）
AT+CGEQMIN=2
OK
(2)上り384kbps/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド
（cidが3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,384,7232
OK
(3)上り384kbps/下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cidが4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384
OK
(4)上りすべての速度/下り7232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cidが5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,7232
OK
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　　+CGEQREQ=[パラメータ]　　[M]
・概要
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている1パターンのみで初期値としても設定されています。
・書式
+CGEQREQ=[<cid>]
・パラメータ説明
<cid>※：1～10
※<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。
・パラメータを省略した場合の動作
+CGEQREQ=　　　　　：すべての<cid>に対し初期値を設定します。
+CGEQREQ=<cid>　　：指定された<cid>を初期値に設定します。
・コマンド実行例
以下の1パターンのみ設定できます。
(各cidに初期値として設定されています。)
(1)NWが設定する任意の速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3
OK
※本コマンドは設定コマンドですが、&Wにより書き込まれる不揮発メモリには記憶されません。&F、Zによるリセットも行われません。

●コマンド名：　　+CLIP
・概要
"AT+CLIP=1"の場合のリザルトが下記の書式で表示されます。
+CLIP：<number><type>
・コマンド実行例
AT+CLIP=1
OK
RING
+CLIP："09012345678",49

切断理由一覧

■64Kデータ通信

値	理由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手が呼び出し中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない伝達能力を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。

■パケット通信

値	理由
27	APNが存在しないか、もしくは正しくありません。
30	ネットワークより切断されました。
33	要求したサービスオプションは申し込まれていません。
36	正常に切断されました。

リザルトコード

■リザルトコード一覧

数字表示	文字表示	意味
0	OK	正常に実行しました
1	CONNECT	相手と接続しました
2	RING	着信が来ています
3	NO CARRIER	回線が切断されました
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません
7	BUSY	話中音の検出中です
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です
101	DELAYED	リダイヤル規制時間内

■拡張リザルトコード

&E0のとき
FOMA端末－基地局間の接続速度を表示します。

数字表示	文字表示	接続速度
121	CONNECT 32000	32000bps
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

次ページにつづく

&E1のとき

数字表示	文字表示	接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

お知らせ

- ATVnコマンド(P.43参照)がn=1に設定されている場合には文字表示形式(初期値)、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)やBluetooth通信で接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」(数字表示:100)が表示された場合には、通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。

■通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続
3	AV64K	テレビ電話64Kで接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■リザルトコード表示例

- ATX0が設定されている場合

AT¥Vコマンド（P.44参照）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：　ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例：　ATD＊99＊＊＊3#
1

- ATX1が設定されている場合※

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：　ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800

数字表示例：　ATD＊99＊＊＊3#
1 21

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>PACKET<接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>

文字表示例：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800 PACKET
mopera.net /384/7232
(mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大7232kbpsで接続したことを表します。)

数字表示例：ATD＊99＊＊＊3#
1215

※ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。
AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

'09.6(第1版)
F0509F0

P-09A

区点コード一覧

＜区点コード一覧表の見かた＞

最初に「区点1～3桁目」の数字を入力してから、次に「区点4桁目」の数字を入力します。

●区点コード一覧の表示は、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	【		あ		】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	【		い		】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	【		う		】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	【		え		】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	【		お		】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	【		か		】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
	【		き		】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机

区点 1～3桁目	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	【		く		】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	【		け		】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	【		こ		】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【		さ		】					
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【		し		】					
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【		す		】					
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【		せ		】					
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【		そ		】					
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	【		た		】					
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【		ち		】					
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【		つ		】					
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【		て		】					
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【		と		】					
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【		な		】					
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【		に		】					
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【		ぬ		】					
390									濡	
	【		ね		】					
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【		の		】					
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【		は		】					
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					

区点	区点4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【		ひ		】					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【		ふ		】					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【		へ		】					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【		ほ		】					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【		ま		】					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【		み		】					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【		む		】					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【		め		】					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	【		も		】					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	【		や		】					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	【		ゆ		】					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	【		よ		】					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	【		ら		】					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	【		り		】					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	【		る		】					
466	瑠	塁	涙	累	類					
	【		れ		】					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	【		ろ		】					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	【		わ		】					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇

区点 1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

'09.6(第1版)
F0509F0